さらば破壊王！ 小川直也が本誌だけに胸中を激白！

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

880 yen

紙のプロレス RADICAL

WANIMAGAZINE MOOK

89

2005

【クロアチア現地独占取材】
ミルコ・クロコップ

8.28PRIDE・GP展望大特集
エメリヤーエンコ・ヒョードル
セルゲイ・ハリトーノフ
シウバ×ショーグン
田村潔司

"神の子"が『紙プロ』に久々登場！
カラー8Pロングインタビュー
山本KID徳郁

『HERO'S』に新ヒーロー誕生！
風呂なし格闘家・所英男大特集!!

7・20 K-1 WORLD MAX速報

運命のヒョードル戦、待ったなし！

時は来た、それだけだ!!

さらば、ぼくらの愛した破壊王
追悼・橋本真也さんに
全47Pを捧ぐ
小川直也／ミスター・ヒト／辻よしなり

破壊王をド派手に追悼
ハッスル福岡&大阪詳報

爆弾濃密インタビュー2連発
前・新日本プロレス社長
草間政一

元・全日本女子プロレス興行会長
松永高司

紙のプロレス RADICAL No.89 橋本真也さん追悼号

発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-335[illegible]-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6 パレ・ジュノ2F 電話／03-5368-1795

もう泣くな、笑え！　そして忘れるな!!

『紙プロHand』橋本真也さん追悼企画

橋本真也入場テーマ「爆勝宣言」
橋本真也・ビッグマッチ用入場テーマ
ハッスル・キング入場テーマ「勝手にしやがれ」

7月31日まで無制限ダウンロードＯＫ!!
（※『紙プロHand』会員に限ります）

日本中の携帯から、破壊王のテーマが鳴り響きますように。



©DSE

「愛はすべてを超える!!」
（by橋本真也）

土曜コラム「破壊王の人生袈裟斬りチョップ」では、雑誌『紙プロ』にかつて掲載された（いまでは手に入らない号もアリ!）名（迷）相談を再録中です。破壊王の残してくれた破壊力バツグンの言葉たちを、どうぞ皆さんの心に残してください。

携帯サイト「紙のプロレスHand」への簡単アクセス方法

1 QRコードでクイック・アクセス!!

2 http://kamipro.dsn.ne.jp/hand/ を入力して直接アクセス

3 hand@kamipro.comへ空メールを送信

どの方法でもOKです!!

ユーザーとプロレスする携帯サイト
紙のプロレス Hand

『プロレスラー＆格闘家50の質問』コーナーに大森隆男登場!!　お楽しみに!!

［お問い合わせ］（株）ダブルクロス 03-5368-1795



8.28

EMELIANENKO FEDOR vs MIRKO CRO COP

ひとつの答えが出る!!




MIRKO CRO COP

[クロアチア・プーラ現地独占インタビュー]

ミルコ・クロコップ

ついにミルコ・クロコップのクロアチア現地取材に成功した! ミルコと言えば、取材がもっとも難しい選手の一人。特にこれまでプライベートや地元クロアチアでの練習取材などはほとんどシャットアウトしてきたが、今回ついにOKの返事をもらった。運命のヒョードル戦を前にいまミルコは何を考えているのか? クロアチア南部の街プーラへと飛んだ。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也
designed by hisa (Two Three)



運命の一戦を前に、ミルコの自信曇りなし

ヒョードルの最大のミステイクは2年前“グラウンド・バージン”の俺と闘わなかったことだ!!

6・26『PRIDE・GP』さいたま大会で"ヒョードル戦への最終関門"であるイブラヒム・マゴメドフ戦を無傷でクリアしたミルコ・クロコップは、その12日後、クロアチア南部の街プーラにいた。

プーラは首都ザグレブから車で約2時間半の距離にあるクロアチアのリゾート地。ミルコはアドリア海沿岸の温暖な気候が気に入り、ここに別荘としてコンドミニアムを購入。多くのクロアチア人と同様、夏の間をこの温暖な気候の中で過ごしている。

しかし、今年の夏は違う。8月28日に行われる"運命の一戦"に向けて、ザグレブにある自宅地下のジムにこもり、ひたすらトレーニングの日々を送ることになるのだ。その本格的な練習がスタートする前のつかの間の休息時間を割いて、ミルコは我々をプーラの別荘へと招き入れてくれた——。

——今日はミルコさんの別荘にお招きいただき感激です！ ご家族でおくつろぎのところすみませんが、インタビューよろしくお願いします。

ミルコ OK。まぁ、ゆっくりしていってくれ。と言っても俺はもう明日ザグレブに帰って、本格的にトレーニングをスタートさせるけどね。

——それならもちろん僕らも一緒にザグレブまで行かせていただきます（笑）。ここプーラにはいつから来ているんですか？

ミルコ 6月26日（日）に日本で試合をした後、火曜日に帰国。水曜日に国会の召集があったあと、金曜日からこっちに来ている。

——では、ちょうど1週間ですね。こちらでも練習はしているんですか？

ミルコ もちろん。トレーナーやスパーリング・パートナーも連れてきて、彼らのためのバンガローもとってあるからね。ただ、本格的な追い込んだトレーニングではない。基本的にはランニングとミット打ちを朝と夕方やって、昼間はリラックスにつとめている。やはりこっちは気候がいいから、体調も良くなる気がするしね。英気を養うにはちょうどいい。

——休みでも完全な休みにはしないと。

ミルコ アイドリングさせるという感じかな。時にはフィッシングやボートを楽しんだりもするけど、どうしても"あいつ"の顔が頭に浮かぶんで、バカンスにならないというのも大きな理由のひとつだ（笑）。

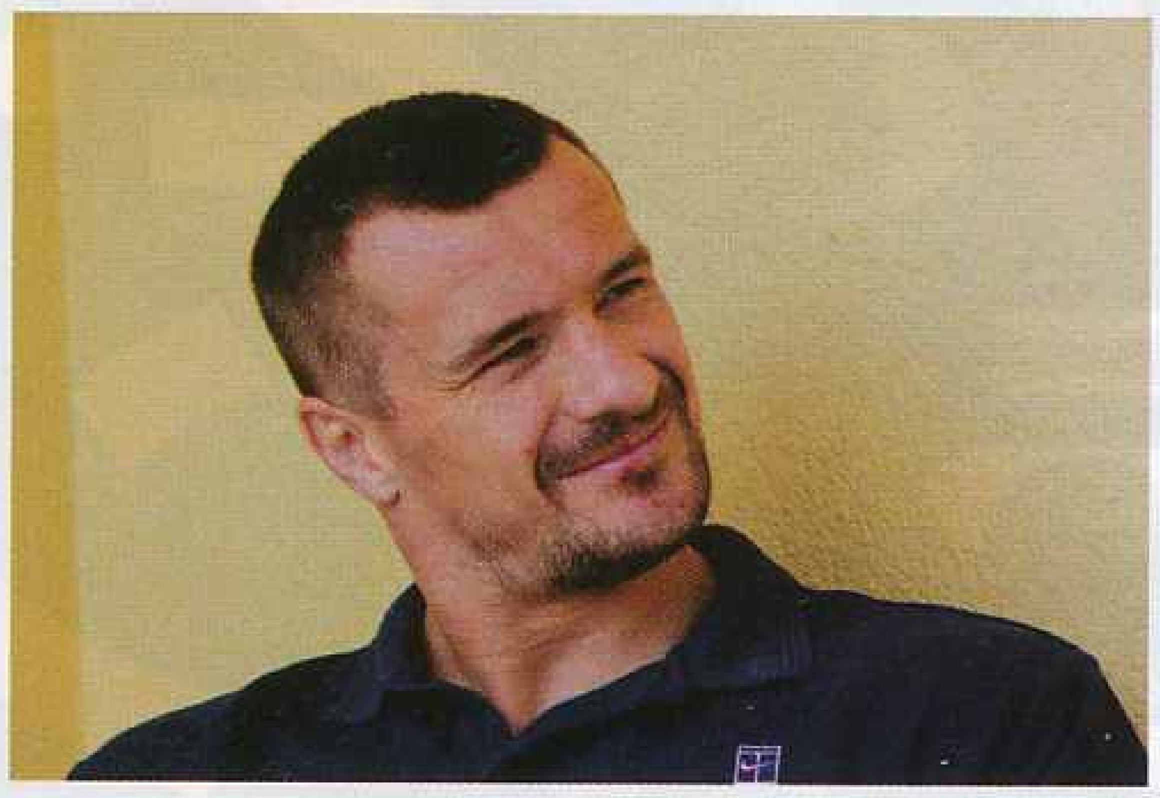
——いてもたってもいられない、と（笑）。

ミルコ 本当はイブラヒム戦のあとせめて2週間は、ここプーラでゆっくり身体を休める予定だったが、ヒョードル戦を控えて、はやる気持ちを鎮めるのは、なかなか大変なことだとつくづく感じたね。だから、とにかく8月28日に向けて、明日、7月11日朝8時にザグレブにある俺の自宅ジムにクロコップ・チームは全員集合。本格的な練習をスタートさせる。ところがファブリシオ（・ヴェウドゥム）のヤツが「彼女がエジプトに行っているので、12日からでいいですか？」とか言ってきやがったから、「ふざけるな！」と一喝してやった。

——さすがはチームのボスですね（笑）。

ミルコ あいつはブラジリアン柔術の世界ではチャンピオンになったけど、そういう点ではまだ子供。自分が一日遅れて合流するということが、どれだけチームに影響を与えるかわかってない。俺にとって生活やトレーニングの"リズム"というのが本当に大事なんだ。だから俺は自分のリズムを決して崩さないし、崩されたくない。

RKO
RO
OP



——ミルコさんが自分のリズムを崩さないというのは、僕らもこちらに来て実感させてもらってます（苦笑）。本来なら、せっかく美しいプーラに来ているのだから、その美しい風景とともにミルコ選手の写真を撮りたかったんですけど……。

ミルコ まぁ、でもクロアチアで俺がどう過ごしているか、俺のリアルな姿を撮りたいんだろう？ それなら、わざわざ撮影用に景色のいいところで撮ったとしても、それはリアルじゃないんじゃないか？

——まぁ、そうなんですけど（笑）。プーラの名跡であるローマ時代のコロッセオでミルコ選手の写真が撮れたらカッコいいと思うんですけどねぇ。

ミルコ たしかにローマン・アンフィシアターはここプーラの象徴だ。だけど、俺はここで生まれたわけじゃない。俺の故郷は別の場所だから、ここでは象徴的な写真はなおさら撮られたくないな。それに週末のあんな観光地に俺が現れたら、どうなるかわかるだろう？

——大騒ぎでしょうね（笑）。

ミルコ だから本音を言えば、人に囲まれるのがウザいというのが70%だ（笑）。

——たしかにこちらに来て驚いたのはミルコ選手の知名度の高さですよ。ホテルのフロントもタクシーの運転手も、話しかけた人間が１００％みんなミルコ選手を知っているだけでなく、みんな詳しかったですからね。

ミルコ ふんふん。

——これだけ人気があると、自国民の前で試合をしたいとか考えてないんですか？

ミルコ それはもちろんある。以前からクロアチアで凱旋試合をやりたいというのが俺の願いだからね。だから今日、あのコロッセオで俺の写真が撮れなくても、近い将来には撮れると思うよ。

——えっ、どういうことですか？

ミルコ どうやらマネージャーが、いつかあそこで俺に試合をやらせたがっていて、使用料やら何やらをプーラ市に問い合わせているんだ。

——ローマン・アンフィシアターで試合ですか！





クロアチア南部プーラにある別荘で行った今回の取材。ミルコは妻クラウディアさん、長男イワン君、そして母アナさんと共にリングとは違う、リラックスした表情を見せてくれた。



ミルコ　今日は有名なテノール歌手のコンサートをやってるんだろう？

――そうみたいですね。奇しくも昨年の『PRIDE・GP』のテーマソングとして使われた〃タイム・トゥ・セイ・グッバイ〃を歌っているアンドレア・ボッチェリのコンサートだって聞きました。

ミルコ　〃タイム・トゥ・セイ・グッバイ〃？どんな曲だ？

クラウディア（隣に座っていたミルコ夫人）あなた知らないの？　こういう曲よ。（と言って、サビのメロディを歌って聞かせる）

――去年の『PRIDE・GP』では、3大会ともオープニングでこの曲が流れてましたよね。覚えてませんか？

ミルコ（怪訝そうな顔で）俺は1回戦負けで、しかも大の字に寝ていたんだから、覚えているわけないだろ！

――す、すいません！　しかし、いつかあのコロッセオにリングを組んでミルコ選手が試合をしたら、かっこいいでしょうね。

ミルコ　5千人しか入れないらしいから、ちょっと小さいけどね。でも、すぐ隣が海だし、夏の夜に城壁の上に花火でも打ち上げるにはもってこいの会場ではある。

――その花火を合図にPRIDEのテーマ曲が〃ダン、ダン、ダダン〃と始まったら、メチャクチャしびれますよ！

ミルコ　そして、その闘いの模様をクロアチアから全世界に衛星放送で発信するというのが聞かされたプランだ。誰とやるかはともかく、クロアチアから映像を世界に発信するということはゼヒやりたい。

――自国民に自分の闘いを見せるというだけでなく、クロアチアを世界中の人々に知ってもらいたいという気持ちもあるわけですか。

ゆっくり身体を休めようにも“ヤツ”の顔が頭に浮かんでバカンスにならないよ（笑）

ミルコ　クロアチアを世界にアピールする。それが俺の役目だと思ってるからね。とにかくクロアチアで一度は生で俺の試合を見せてあげなくてはとも思っている。きちんと国歌斉唱を全員で起立して聞いて、そしていよいよ試合だという興奮を味わわせたいんだ。2年前のノゲイラ戦はクロアチアの国営放送で初めて生中継され、みんな誇りを持って国歌斉唱を聞いて、その後の1ラウンドは国中がお祭り騒ぎになっていたのに、それが2ラウンドでまるで国中を葬式のようにさせてしまった。その責任をとりたい、みんなの悔しさを晴らしたい。あれが俺にとって初めて国歌斉唱をしての試合だったからね。

――もちろん、それを実現させるためには、その前に最強のチャンピオンであるエメリヤーエンコ・ヒョードルを倒さないことには話にならないわけですよね。

ミルコ　もちろん。そして俺がヒョードルに対して思っている本音は、あの俺がノゲイラに負けた03年の11月、あのとき俺を倒しておかなかったのはヒョードル、お前の最大のミステイクだということだよ。あのときの俺といまの俺では、PRIDEファイターとしてあらゆる意味でレベルが違う。

MIR
CR



いま振り返れば、ヤツにとって、あのときが俺を叩いておく最大のチャンスだったはずだ。

――ヒョードルはその最大のチャンスをみすみす逃していたと。

ミルコ　そう。あのとき俺と闘わなかったことを、ヒョードルはたっぷりと後悔することになる。8月28日にね。

――やはり、あのノゲイラ戦の敗戦がミルコ選手を強くしたと。

ミルコ　それは言うまでもないだろう。俺にとっても、クロアチアの人々にも大きな出来事だった。その証拠に、あそこで俺がミノタウロに負けたことで、（自分が所属する）社会民主党が負けて政権を追われたとまで言われたんだ（笑）。

――ミルコさんがノゲイラに負けたことで政権交代（笑）。

ミルコ　そう言っても必ずしも間違いじゃないぐらい大きなことだったと思うよ。あの当時、俺が所属する社会民主党が与党でその党首のラチャン首相が俺の人気に目を付けて担ぎだした。選挙とあの試合は時期が重なっていたこともあって、それで負けて帰国した俺もずいぶんメディアに叩かれたしね。

――いま振り返ってみると、あのときの敗戦というのは、やはり選挙が影響してますか？　本当の意味で闘いに集中できてなかったというか。

ミルコ　いや、俺はあのとき試合では集中していたし、全力を出せたといまでも断言できる。ただ、1ラウンド10分もの間、俺の攻撃を耐えきるヤツに俺は初めて会ったんだ。それが自分の心に焦りと迷いを生んで、2ラウンドにひっくり返された。ノゲイラの精神力に俺は一本取られたんだ。

――試合でマウント・ポジションを取られるのも、関節を極められるのもあの試合が初めてでしたよね？

ミルコ　初めてだね。だから、冷たい言い方になるけど、あの試合でマイク・ベンチッチ（当時の柔術トレーナー）の限界を見たんだよ。そしてマイク・ベンチッチレベルの柔術家とはスパーリング中にグラウンドで対応できるようになったとしても、最強の寝業師とやってみたら、実際には歯が立たなかった。あのときノゲイラのように粘り強く、寝技になっても速く力強い相手に勝つには、いままでの練習だけではダメだと、そうハッキリと痛感させられたんだ。当然チームの再編成に迫られたよ。

――あの当時は、やはり寝かされたときの恐怖心というものはありましたか？

ミルコ　正直言ってあったね。闘いにおいて「何をされるかわからない」という状況が一番怖いんだよ。そりゃあ俺だって死にものぐるいでグラウンドの練習をしたつもりだったさ。でも、ノゲイラたちは毎日、最高レベルの柔術家に囲まれながら、常に極め方を研究しているわけだから、その差が試合に出てくるのはある意味当然の結果なのかもしれない。

――いまと違って、当時は練習環境やチームが未成熟だったわけですね。

ミルコ　いま考えれば、そりゃあミノタウロとマイク・ベンチッチじゃわけが違うよな（笑）。でも、俺もチームのメンバーもマネージャーもみんなあの当時は手探りだった。「自分の土俵に引きずり込んで、相手を仕留める」、そのたったひとつの戦術で闘い、それまでは勢いで結果を出して来たけれど、ノゲイラ戦では初めてそれだけでは押し切れず、2ラウンドに突入したとき、いま思えば心に迷いと焦りが生じて、その心の隙をつかれて、あれだけ警戒し、防ぐ練習をしてきたタックルを取られてしまった。でも、いまだったらミノタウロにマウントを許すことはないよ。

――おぉ～、そこまで自信をつけましたか。では、ヒョードルと寝技勝負になっても負けない？

ミルコ　寝技になっても、もう恐れることはない。ただ、俺はストライカーだから、勝負はあくまでスタンドでつけるつもりだ。せっかく練習で自信をつけても、それが過信になってしまったら元も子もないからね。





6・26『PRIDE』さいたま大会でレッドデビルからの刺客イブラヒム・マゴメドフと闘ったミルコは、きっちりと左ミドルでKO勝ち。最後の関門を突破したミルコはリング上にヒョードルを呼び、ガッチリと握手を交わした。2003年11月から流れていた格闘技界の今後を左右する大一番が、8月28日、いよいよ実現する！

トレーナーやマネージャーからも常に言われていることは「自信過剰になるな」ということなんだ。例えば、昨年のGP前に2月に2連戦を行い、日本の首相にお会いするという政治活動も行い、さらに映画の撮影までやったというのは「自分はスーパーマンなんだ」という感じで完全に過信していたからだろう。その結果がいま思い出しても恥ずかしい、ランデルマン戦の失態につながったんだろうな。

――やっぱり負ける時は何かしら予兆というか、原因はあるんでしょうね。

ミルコ　すべて〝後の祭り〟だけどね。GP1回戦についても3週間前ぐらいまでまったく相手が決まらなかったんだ。それでも問題はないだろうという自分の過信があの結果になってしまった。

――ノゲイラ戦の前は選挙活動、ランデルマン戦の前には映画の撮影がありましたが、やはりどこかしら試合に集中できない部分はありましたか？

ミルコ　自分では集中していたつもりだったけど、あったんだろうな。それからノゲイラ戦のときは、いろいろな〝雑音〟もあったしね。

――〝雑音〟ですか？

ミルコ　ノゲイラ戦の前から大晦日の話が取りざたされたり、いろんな噂や憶測が飛び交っていて、とてもうっとうしかったように覚えている。あれは余計だったな。

――今回はノゲイラ戦、ランデルマン戦の前にあったような、試合だけに集中できなくなるような要素は一切ないわけですか？

ミルコ　ないね。完全に集中しているし、ヒョードル戦へ向けてのチーム編成も満足いくものができたよ。

――先日、ロシアまで行ってヒョードルのインタビューをしてきたんですけど、ヒョ



ードルはミルコ選手のことを「あくまでPRIDEで3番手の選手」と見下していたんですよ。「ランデルマンに負けるようでは、それ以下かもしれない」とまで言ってるんですけど、それについてどう思いますか？

ミルコ　ヤツも俺や周りから「逃げた」と言われてるのを知ってるだろうから、ストレスがたまっていたんだろうな（笑）。試合前だ、舌戦もいいだろう。ただ、言わせておけばいいさ。その"3番手"が"2番手"よりも怖いってことを自分でよくわかっているからそう言うんだろう。

——"最大の難敵"であるとの思いの裏返しでそういう発言をしたと。

ミルコ　もし本気で俺を"3番手以下"だと思っているのなら、8月28日にヤツは"現実"を知ることになるだろう。

——この間、日本の調印式で実際に顔を合わせたときのヒョードルの印象はいかがでしたか？

ミルコ　別に。あとは闘うだけだ。フォトセッションで一緒にコスチューム姿で写真を撮られたとき、休んでいただけあって、ちょっと腹が出ているなとは思ったが、ヤツのことだから、8月28日には最高のコンディションに仕上げてくるだろう。大事なのは試合当日どこまで自分を高められるか。試合の2ヶ月前で比べるのはあまり意味がない。

——でも、今回6月に試合をしてコンディションがすでに出来上がっているミルコ選手と、これから身体を作らなければならないヒョードルとでは、ミルコ選手にアドバンテージはありませんか？

ミルコ　幸いなことに大きなケガもせずにイブラヒム戦を終えることができたので、いくらかのアドバンテージはそれはあるだろう。ヒョードルと比べてというより、俺にとって2ヶ月前にピークアウトするという、リズムを作れたことは、4ヶ月間隔を開けてヒョードルと闘うよりよかったんじゃないかとは思うよ。

ヒョードルだって"3番手"の俺が一番怖い相手だってよくわかってるはずさ

——完璧に6月の試合をクリアしたことは自信にもなりますか？

ミルコ　それは少なからずある。イブラヒムは決して弱い相手じゃない。名前を出して悪いが、去年やったオーヤマ（大山峻護）やヤマモト（山本宜久）のようなイージーマッチ、チューンナップ・ファイトじゃ決してなかったよ。イブラヒムの右フックは俺だから避けられたけど、対角線から出てくるから、ちょっと動きが悪いヤツならもらってKOされかねない。思っていたより10キロも重かったしね。

——だからか、闘い方も慎重でしたよね。

ミルコ　試合前、イブラヒムのビデオを見てみて体重さえ気をつけていれば大丈夫だとは感じていたが、万が一、サミングや"玉"を掴んでくるなんてことも考えられないこともない。だから慎重になったんだ。

——ヒョードルと同じチームですから、タイトルマッチを前に怪我をさせにくることも考えられる話ですからね。

ミルコ　実は最初はローマン・ゼンツォフが相手だと聞いていたんだ。それが急にレッドデビルのほうから「イブラヒムに変えてくれ」と言ってきたらしい。そのときはさすがに俺もマネージャーも疑ったよ。でも、よくよく調べさせたらローマンはケガの回復が思わしくなく、そんなヤツが俺と闘ったら、みすみす首を差し出すようなものだろう。それに、そのときヒョードルは言ったらしい「ローマンは俺の友達だから他の選手にしてやってほしい」とね。ローマンと俺を闘わせるのは、かわいそうだって言うんだ。

——ミルコの餌食になるのは自分の知らないヤツでいいと（笑）。あの日の他の試合はご覧になられたんですか？

ミルコ　俺の試合が第4試合だったんで、そのあとはじっくり見させてもらったし、後日、ＤＶＤで全試合見たよ。

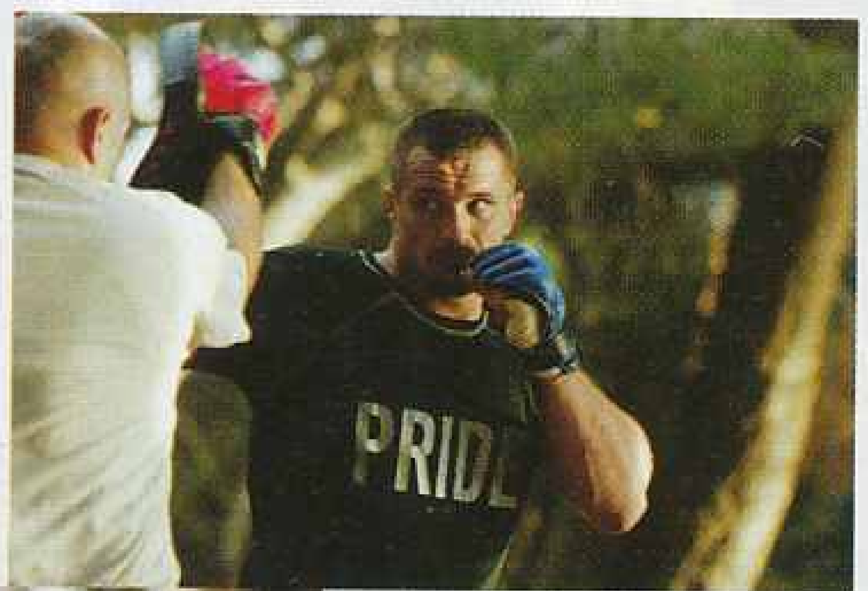
——ちょっと感想を聞かせてほしいんですけど、誰かとくに目についた選手や試合はありましたか？

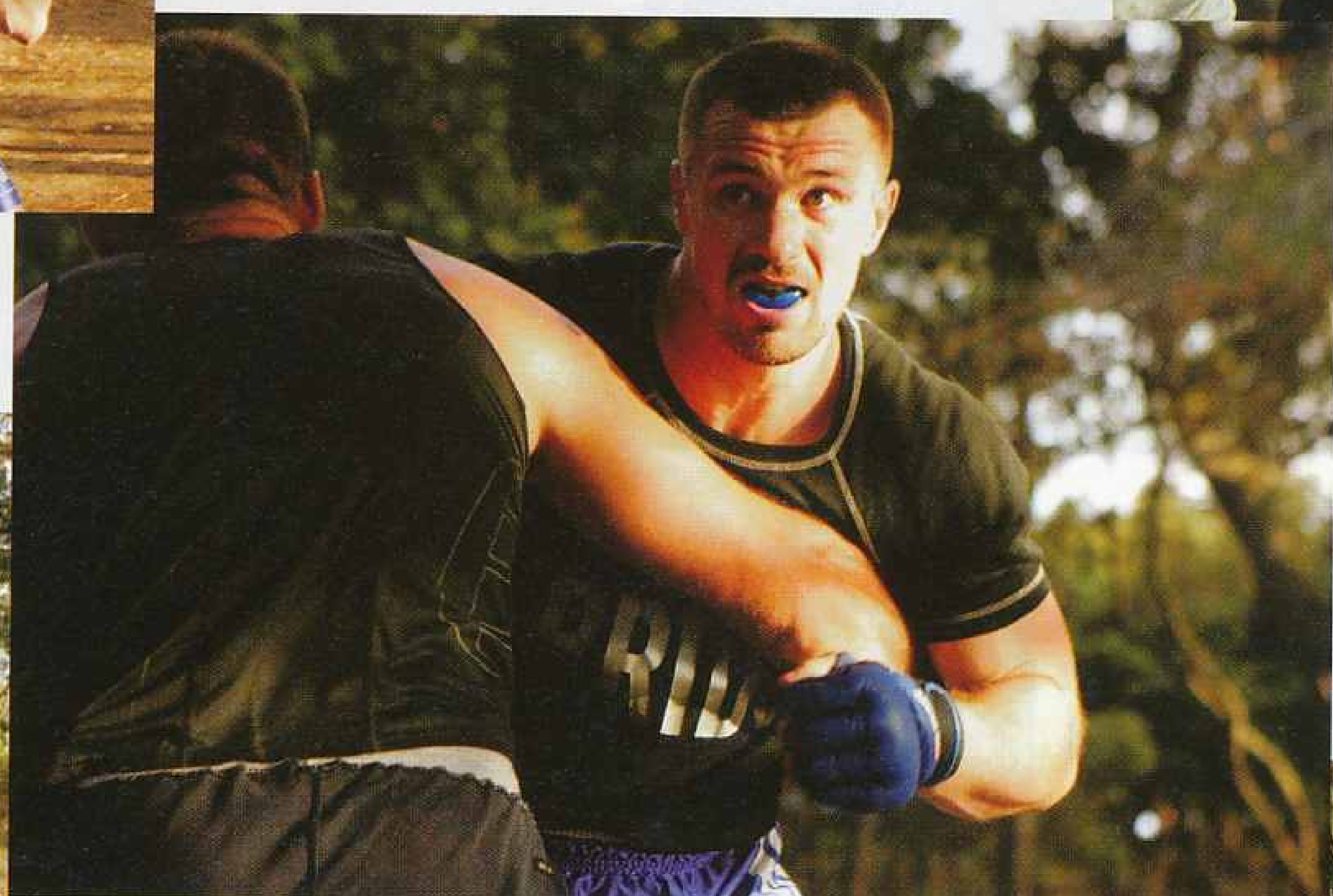
ミルコ　やっぱり目についたのは、セルゲイ（・ハリトーノフ）の試合だな。ゴングが鳴って両者が近づいてきて、すっと立ち止まったその距離が完全にセルゲイの距離だったよ。

——ほう。ある意味、そこで「勝負あった」って感じですか？

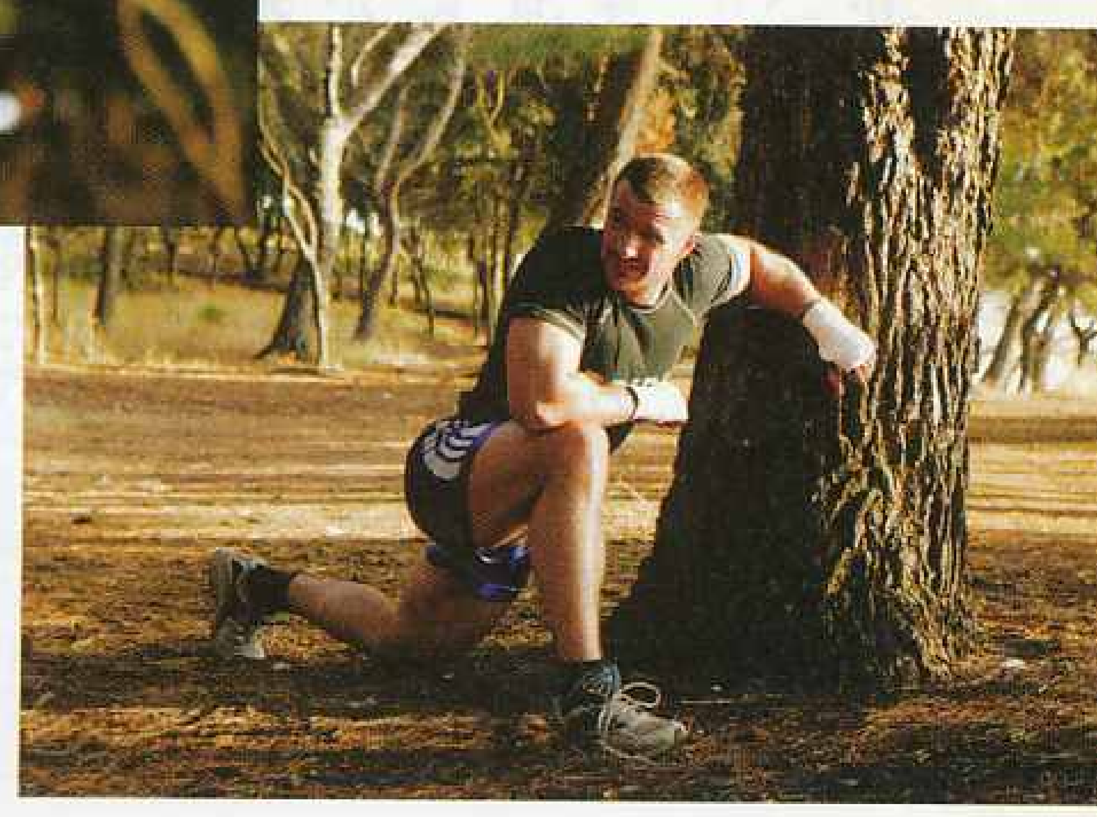
ミルコ　セルゲイはそう思ったんじゃないか？　逆にペドロは最後まで自分の距離がつかめずに沈められた。やはり1年半も試合していないペドロとこの1年間修羅場をくぐり抜けてきたセルゲイとの差がはっきりと出たのだろう。あとは4万人の観衆の中で初めて試合をしたペドロと毎回大観衆の前で闘っているセルゲイの差も感じたな。ペドロは飲まれてたよ。











ヒョードルにも時々垣間見せる弱さがある 俺の前でそれを見せたら……

——試合前のにらみ合いの時点で、ハリトーノフのほうが精神的に上回っている感じでしたよね。ミルコ選手自身、この2年間、誰よりも修羅場をくぐり抜けてきたと思いますけど、と同時にある意味、手の内をずいぶん見せて来たと思います。あらゆるタイプと闘って自分の苦手な部分も晒して来た。逆にヒョードルはあまり自分の弱いところを見せていなくて、しかもミルコ選手のような本格的なストライカーと闘った場合どうなるかというサンプルケースがない。それってどちらが有利に働くと思いますか？

ミルコ　有利不利はどっちもあるんじゃないか。君は「ヒョードルが弱い部分を見せていない」と言うけれど、奴もときどき垣間見せる弱さがあって、それは例えばフジタにフックをもらってグラッと来た時と、ケビンの動きについて行けずに後ろに（ジャーマンで）投げられたとき。これだけでも十分、いい研究材料にはなるよ。

——しかも2人ともミルコさんが2度も肌を合わせた相手ですもんね。


ミルコ　そう。特にフジタはフックがヒットしたあと、あそこで距離をとって打撃で攻める術をもっていたら、間違いなくフジタにも勝つチャンスがあった。あれがもしフジタじゃなく、俺だったら……。

——ヒョードルをＫＯしていたと。

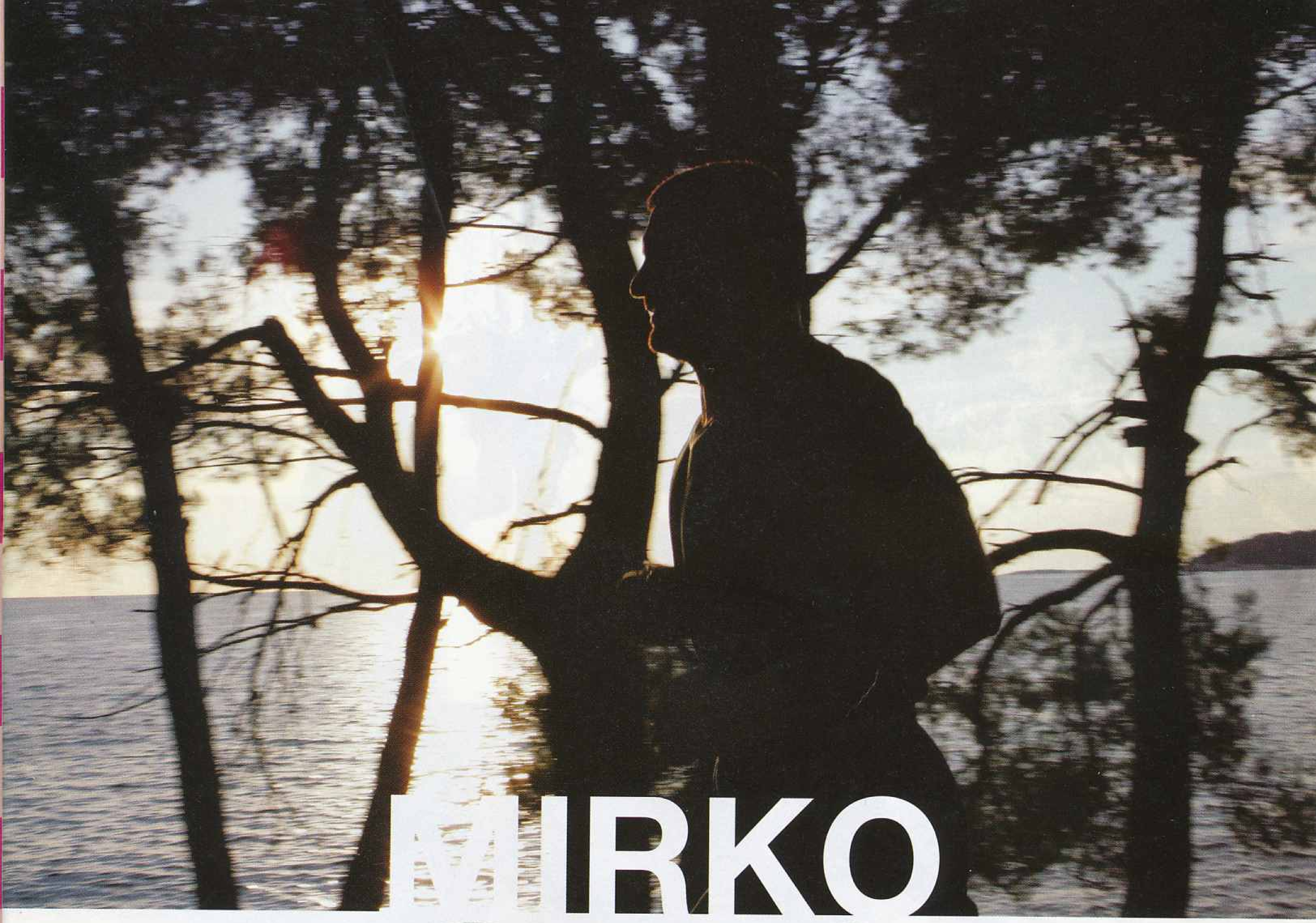
ミルコ　だから、たしかに俺は負けた試合も見せてきた。少なからず弱点を晒してきたこともある。しかし、その後の試合で必ず弱点を克服し、同じ闘い方じゃ俺には勝てないぜというところもしっかりと見せてきたつもりだ。だから、そういった意味じゃ五分五分だろう。

——あの時の弱点はすでに弱点じゃないと。

ミルコ　ただ、ヒョードルのような柔道的



MIRKO CRO COP



MIRKO CRO COP

な組み付いてから投げと崩しでテイクダウンを奪う相手とは闘ったことがないので、それは課題だとしっかり認識しているよ。

――そのために新しいメンバーが入ってくるらしいですね。

ミルコ そう。ブラジルからホドリゴという柔道家が俺のスパーリング・パートナーとして、明日からクロコップ・チームに加入することが決まっている。

――そのホドリゴはバーリ・トゥードはやったことない人なんですか？

ミルコ いや、ファス・バーリ・トゥードでペドロ・ヒーゾとも練習してきた総合格闘家だが、柔道での実績が一番あるヘビー級のファイターなんだ。とにかく力が強いというし、"テイクダウンの鬼"らしい。俺のスパーリング・パートナーにぴったりだってことで、マネージャーがスカウトしてきたんだ。

――それにしても、クロコップ・チームのころのところのメンバーの充実ぶりは凄いですね。柔術世界王者のファブリシオが加わったかと思えば、今度はファス・バーリ・トゥードの選手で柔道、柔術、バーリ・トゥードすべてこなすホドリゴも加入。

ミルコ さらにパウエル・ナッツラが8月頭からチームに合流したいと、マネージャーのところに連絡してきたそうだ。

――えっ、ナッツラまで合流ですか！ それは実現したらビッグニュースですね。この交流はお互いメリットが大きいでしょうし。

ミルコ なんと言っても柔道の金メダリストだし、総合格闘家としての潜在能力も高いからな。初めての試合でスタミナが切れたとはいえ、ミノタウロとあれだけやるのだから、たいしたもんだよ。

――それにしても打撃のミルコ、柔術のファブリシオ、柔道のナッツラと蒼々たるメンツですね。

ミルコ でも、さらに打撃の練習も力を入れておきたいとも思っているんだ。やはりチーム編成には終わりがないよ。あいつが入ったらもっといい練習ができるだろうとか、考え始めたら本当にキリがないんだ。そういった意味でも、いま俺たちのチームの練習にゼヒ参加してもらいたい選手がひとりいるんだよ。

――誰ですか？

ミルコ （ニヤリと笑って）セルゲイ・ハリトーノフ。

【05年7月10日／クロアチア・ミルコの別荘にて収録】

なんとミルコがヒョードル戦を前に、ハリトーノフに交流を呼びかけ！ というういところで、今月はここまで。クロアチア現地独占取材第2弾となる次号掲載の後編は、ミルコが語るハリトーノフ。そしてミルコ自身がヒョードルの闘い方を徹底的に分析。さらにパワーアップしたクロコップ・チームの紹介や、ミルコの自宅&プライベートショット大量公開など、今回以上にパワーアップ！ お楽しみに！

次号予告

紙のプロレスRADICAL No.90

8月19日（金）発売！

ミルコ・クロコップ クロアチア現地 独占取材第2弾

〜ザグレブ編〜

ミルコの自宅&家族との プライベートフォト一挙公開！



EMELIANENKO
FEDOR

余裕か？ はたまた王座陥落か!!
皇帝ヒョードルの真意を探れ！

100％の回復は難しいかもしれません（微笑）

エメリヤーエンコ・ヒョードル

「時は来た！」とは、まさにこのことか。来る8・28『PRIDE GP』さいたまスーパーアリーナ大会で、ヒョードルvsミルコのPRIDEヘビー級タイトルマッチがついに正式決定！
2003年11月の東京ドーム大会で一度は実現しかけたものの、ヒョードルのケガなどもあり、その後なかなか決行されなかったこの頂上対決がいよいよ実現する。……が、ファンもミルコも2年間待たされたというのに、当のヒョードルはここにきて「100％の調整はむずかしい」と不穏な発言。はたしてこれは余裕から出た言葉なのか、それとも……。現王者ヒョードルの真意を探れ！

聞き手／松下ミワ　撮影／乾晋也
designed by hisa（Two Three）

――サンクト・ペテルブルグで取材させていただいた前号につづき、ヒョードル選手には今号もご登場いただくことになりました。どうぞよろしくお願いします！

ヒョードル　どうも。

――まずは、先日のミルコvsイブラヒム戦についておうかがいしたいんですが。

ヒョードル　なんでも聞いてください。

――今回、ヒョードル選手と同門のイブラヒム選手が1RKO負けを喫したという結果に終わったわけですが、ヒョードル選手ご自身はセコンドで見ていて、二人の試合をどう思いましたか？

ヒョードル　そうですね、イブラヒムが負けることは私の予想の範囲内でした。試合を見てもわかるように、ミルコの実力からすればイブラヒムは敵ではなかったということです。

――普段、一緒に練習しているヒョードル選手から見てもミルコ選手とはレベルが違ったと？

ヒョードル　残念ながらそういうことですね。

――試合後、イブラヒム選手は「グラウンドで勝負をすれば、自分は勝てたんだ」とコメントを残していましたよね？

ヒョードル　でも、私自身はそうは思いませんでした。やはりミルコとイブラヒムとではレベルがずいぶん違います（キッパリ）。たしかにイブラヒムは立ち技もグラウンドもオールラウンドに練習していますが、ミルコをグラウンドに持ち込めなかったという点ですでに負けていますし、グラウンドの展開になってもやはり勝てなかったと思います。

――グラウンドになってもやっぱりダメ（笑）。逆に言えばヒョードル選手はそこまでミルコ選手の実力を認めているというわけですね。では、そんな難敵と対戦するイブラヒム選手に、ヒョードル選手自身はどんなアドバイスをしていたんですか？

ヒョードル　じつは試合前はあまり一緒に練習できなかったんですが、ただ一つ、やはりミルコのハイキックにだけは注意するように言ってました。絶対に左ハイを出してくるから、右手のガードを下げないようにと。それはセコンドに入っているときにも同じように言いつづけていました。まぁ、左ハイを出すまでもなく負けてしまったわけですけど（微笑）。

――では、やはりイブラヒム選手に足りなかったのは絶対的な実力だと？

ヒョードル　そうです。まあ、あえてもう一つ言うならば、試合中もちゃんと頭を使わないとダメですよね。私のように（微笑）。

「打撃の練習はまだ。いつ再開できるかもわかりません」

ANENKO
DOR

――私のように（笑）。しかし、それはイブラヒム選手にとってはかなり手厳しいお言葉だと思うんですが、実際にそういうアドバイスはされたんですか？

ヒョードル　いえ。試合直後はイブラヒムもかなり落ち込んでたので、帰国した後、また一生懸命トレーニングを積むようアドバイスするつもりです。

――このミルコvsイブラヒム戦はヒョードル選手のケガで、急きょ決まったカードだったわけですが、次はいよいよ皇帝自ら出陣というかたちになりますね。

ヒョードル　そうですね。試合の翌日には私とミルコの闘いの調印式もありましたし、ようやくという感じです。

――その調印式でミルコ選手は「人生でもっとも大切な試合になる」という話をしていましたが、その点ヒョードル選手は8月のミルコ戦をどのように位置づけているんですか？

ヒョードル　それは私にとっても同じです。大切な試合であることは間違いないですね。2年越しの対決がやっと実現したわけですし、私自身も相手が強い選手なのでモチベーションも高いです。

――右手のケガも試合までには完治しそうですか？

ヒョードル　う～ん、正直言って、たぶん完治はしないでしょう。

――え⁉　では完治しないままミルコ戦を迎えるというわけですか？

ヒョードル　そうなるでしょうね。現時点では100％回復することはむずかしいと思います。

――そんな悠長なことを！　ということは練習の方も十分にできてないんじゃないですか？

ヒョードル　打撃の練習はまだできていません。というか、いつ再開できるかもわかっていない状態です。そういう意味では、調整が遅れることはたしかですね。でも、だからといって焦ったりはしてないんですけど。

――焦りはないんですか（笑）。しかし、ファンにとってみたら、やはり2年間待たされたぶん最高の試合を見せてほしいところですが。

ヒョードル　それは大丈夫だと思いますよ。その2年間空いたというだけで、もう十分ミルコ戦は面白くなったんじゃないですか。私もミルコもこの2年間でかなり実力的にレベルアップしたと思いますから。

――たしかにそういうことはありますね。

ヒョードル　それに、私が大丈夫というからにはそれだけの裏付けもあるんですよ。

――それは、ぜひお伺いしたいですね。

ヒョードル　これからロシアの南にあるコーカサス山脈の山で本格的にトレーニングをします。そしてその後は、（アーネスト・）ホーストのいるボスジムで練習する予定です。『PRIDE』ではありませんが、ホーストはミルコに勝ったことがありますからね。私自身、ミルコの試合はいろいろ見て技術的なことはすべて把握しているつもり



6・26『PRIDE GP』でイブラヒムに勝利したミルコは、イブラヒムのセコンドとして来場していたヒョードルをリング上に呼び寄せ、高田本部長の目の前で8・28での対戦を約束させた。これにミルコは満面の笑みでヒョードルとガッチリ握手。この頂上決戦が今度こそ本当に見られる！

ですが、やはり実際に闘って勝ったホーストの意見というのは貴重だと思ってますから。

——なるほど。しかし、ミルコの動きをすべて把握しているということは、もうすでに試合運びのプランなんかも具体的に頭の中にあるわけですよね？

ヒョードル　それはまだ秘密ですね（微笑）。

——イブラヒム選手のコメントでは、「ヒョードルは寝技で勝負するだろう」と言われてましたが。

ヒョードル　それはリングに上がってみないとわかりません。誰も予想できないことなんじゃないでしょうか。

——ミルコの方はファブリシオ・ヴェウドゥムなど、一流の柔術家や柔道家と練習をしているそうですよ。

ヒョードル　そうですか。ミルコの寝技に関しては見たことがないので何もコメントできないんですが、ただ、立ち技は見ていて本当に上手いのがわかりますけどね。

——ミルコ選手の左ハイキックについてはどのような対策を立ててるんですか？

ヒョードル　いろいろ考えていますけど、それはヒミツです（微笑）。

——では質問を変えます。左ハイキック以外で、気をつけるべき攻撃は？

ヒョードル　ん〜、まあいろいろありますが、そのことについてはあまり話したくありませんね。申し訳ないですけど。でも、だいたいの選手はわかっていると思いますよ。

——そうですか。ではまるっきり別の話にしましょう。先日の『PRIDE』では同じヘビー級のハリトーノフ選手の活躍も見事でしたよね。あのUFCでバリバリ活躍しているペドロ・ヒーゾを打撃で完封するという。

ヒョードル　そうですね。彼は本当によく成長してると思いますよ。

——ヒョードル選手は前号のインタビューで「ハリトーノフとは闘おうと思わない」と言われてましたが、あの試合を観ても同じ気持ちですか？

ヒョードル　はい。向こうは私と闘いたいと言っているみたいですけど、私はできれば闘いたくないです。

——そうですか（笑）。逆に、ヒョードル選手が闘いたい選手っていうのはどんな選手なんでしょうか？

ヒョードル　ミルコに勝ったら、次は（ルーロン・）ガードナーと闘いたいと思ってます。

——「カンバンワ〜」でおなじみのガードナー選手ですか！　それはまたどうして？

ヒョードル　なぜなら彼はあのアレキサンダー・カレリンに勝った選手だからです。それに、オリンピックチャンピオンにはとても興味があります。そういう意味では、ガードナーに限らず、パウエル・ナッツラやヨシダ選手とも闘ってみたいと思ってますよ。

——そういえばナッツラ選手はノゲイラ選手相手に、序盤は互角の闘いでしたからね。

ヒョードル　彼とだったら体重の面でもちょうどいいんじゃないでしょうか。ただ、それもまずはミルコ戦を乗り越えてから、ということになりますね。

EMELIAN
FED

「大丈夫というのはそれだけの裏付けがあるんですよ」

——そういえば、先日の調印式の後にミルコ選手の映画発表会があったんですが、ヒョードル選手はその映画はご覧になりました？

ヒョードル　いえ。

——では、興味はあるんでしょうか？

ヒョードル　はい、それはもちろん（ニヤニヤ）。

——意味深な笑いですねぇ（笑）。そのミルコ選手ですが、格闘家にして政治家、俳優というように、いろんな肩書きをもっていますよね。ファイターがミルコ選手のように活動の幅を広げることについてヒョードル選手はどう思いますか？

ヒョードル　自分でそういう活動をしようとは思いませんが、その人の人生のためにはいいんじゃないですか（微笑）。個人のことについて、あまり言及したくはありません。

——しかし、ヒョードル選手もオフィシャルサイトにご自身が書いたイラストを掲載してますよね？　そういう芸術活動なんかは興味はないんでしょうか？

ヒョードル　ああ、ご覧になったんですね。ありがとうございます。でも、私が絵を描くのはあくまで娘のためですね。芸術活動ではないです、あれは。

——ヒョードル選手は、あくまで格闘技一本という感じなんですね。

ヒョードル　そうです。

——わかりました。では、そんな戦闘モード一色のヒョードル選手に、8月の頂上決戦、ぜひ頑張っていただきたいと思います。今日はありがとうございました。

ヒョードル　どういたしまして。

【05年6月27日／都内某ホテルにて収録】



『PRIDE GP』の翌日に行われた調印式は、ヒョードル、ミルコともにスーツ姿で現れ、厳粛なムードの中で調印書にサイン。「人生で最も大切な試合になる」とミルコが真剣にコメントするも、ヒョードルはいつもの表情で「私も楽しみです」とのれんに腕押し状態


次はやります！

［次号予告／ロシア特集第2弾！］

ヒョードルが所属するジム「レッドデビル」を徹底リポート!!



前号で予告していた「レッドデビル」特集……。すみません、次は必ずやってみせます！（たぶん）。というわけで、大金持ちオーナー、ワジム氏独占インタビューをはじめ、ヒョードル弟・アレキサンダーやロマン・ゼンツォフら、内容盛りだくさんでお届けします！　お楽しみに！



セルゲイ・ハリトーノフ

「戦争なんて言葉を軽々しく使ってほしくないね」

強すぎる！　6・26『PRIDE・GP 2005 2nd ROUND』におけるワンマッチで、セルゲイ・ハリトーノフはペドロ・ヒーゾをわずか2分でKOしてしまった。これまでUFCのトップ戦線で闘ってきたヒーゾに何もさせず、一方的に"無力化"したハリトーノフ。まさに底なしの強さを発揮し続け、いまだ謎の多い現役ロシア軍人の強さの核心に触れるべく、試合翌日にインタビューを試みた。

聞き手／橋本宗洋　撮影／吉場正和
designed by hisa (Two Three)

―先日のロシア取材では本当にお世話になりました。わざわざ地元トゥーラからモスクワまで来ていただいてのヴォルク・ハンさんとの対談は読者からも大反響がありましたよ。

ハリトーノフ　こちらこそお礼を言いたいよ。あれ以上のものはないというくらい素晴らしい内容だったね。

―パコージンさんからも「18冊くれ」って言われましたから（笑）。それでは、改めて日本でのインタビューということになるんですが、まず6・26さいたま大会でのペドロ・ヒーゾ戦勝利、おめでとうございます。

ハリトーノフ　ありがとう。

―2分ちょっとでKOという圧勝劇でしたけど、試合が短すぎて物足りなくはないですか？


ハリトーノフ　2分というのに気がつかないくらい早く終わってしまったというのが正直なところだね。でも、早く倒したことに不満はないよ。速やかに作戦を遂行できたのは兵士として喜ばしいことだから。

―対戦相手のヒーゾ選手は、UFCのヘビー級でもトップクラスの選手なんですけど、実際に闘ってみていかがでしたか？

ハリトーノフ　ヒーゾは非常にいい選手だと思ったね。闘っての感想というより、リングに上がった時点でそのことは分かっていたよ。

―相手を近くで見ただけで、実力が分かるものなんですか？

ハリトーノフ　それもあるし、私はビデオなどで彼の試合を何度も見ていたからね。彼がどれだけいい選手かというのはビデオ



Sergey Kh



を見ただけで分かったし、逆にいえば、私が彼のことをかなり研究してリングに上がっていたということでもある。ヒーゾの試合ぶりから、対策もしっかりと立てていたしね。

——その対策っていうのがどういうものだったか、教えてもらってもいいですか。……まあ、答えは「シークレット」のような気もするんですけども（笑）。

ハリトーノフ　いや、終わった試合に関してはシークレットはない（笑）。今回、私は打撃に重点を置いて練習してきたんだよ。というのも、ヒーゾはスタンドの打撃が非常に強い選手だから、それに対して私はグラウンドを狙ってくる……と向こうは考えるだろうと。その裏をかいて打撃で勝負しようとしたんだ。それがうまくいったね。もちろん、私のベースはサンボだからグラウンドの展開になったところでなんら問題はないわけだしね。

——なるほど。しかし打撃の相手にあえて打撃で勝とうっていうのも凄い話ですよね。

ハリトーノフ　それも作戦だよ（笑）。

——まあ、ベースがサンボとはいえハリトーノフ選手の打撃も相当にレベルが高いですからね。試合を見ていて印象に残ったのは、ハリトーノフ選手のパンチが見事なまでに全部当たっていたことなんですよ。逆にヒーゾ選手のパンチは届かない。その差はどういう部分にあったんですか？

ハリトーノフ　それは毎日のトレーニングに尽きるんじゃないかな。プラス、毎日寝るときと起きるとき、ヒーゾとの闘いを何度も思い描いて何度も何度も繰り返しイメージトレーニングしていたからね。ヒーゾの動きは私の頭の中に完璧にインプットされていたんだ。詩を覚えるようなものだよ。

——詩を覚えるように、ですか！　闘いを詩に例えるハリトーノフ選手とは対照的に、ヒーゾ選手は試合前「この試合は戦争になる」って言ってたんですよ。でも戦争だったらハリトーノフ選手には勝てないですよねぇ（笑）。

ハリトーノフ　戦争か……。その言葉は、あまり使いたくないな。戦争というのは人同士が殺し合うことなんだよ。武器を使って、お互いの命を奪い合うものなんだ。だが『PRIDE』は、あくまでスポーツだ。スポーツマン同士がリスペクトし合い、観客の前で正々堂々と闘うものだ。私はいまでも、ヒーゾに対して敬意を抱いている。だからこそ『PRIDE』にはたくさんのファンがいるんじゃないか。そういうものに対して、戦争という言葉はふさわしくないと思うね。

——やはり本当の戦争を知っているだけに……。

パコージン（ロシアン・トップチーム総監督）　私たちロシア人は戦争という言葉には慎重というか、真剣にならざるをえないんだよ。我々にとって戦争は他人事ではない。実際に多くの軍人が戦争に行き、そして多くの人々が死んでいるんだ。だから戦争と聞くと、あまり気分がよくないね。

ハリトーノフ　私も戦争でたくさんの友人を亡くしているんだ。その中には将来有望な、優秀なスポーツマンも大勢いた。

——そんな重い意味を持つ戦争という言葉を、軽々しく使うもんじゃない、と。

パコージン　『PRIDE』のようなスポーツというのは、頭と、技術と、トレーニングの成果を競い合うものだと私は思っているんだ。戦争とはまったく別のものだよ。

——分かりました。試合の話に戻ると、ヒーゾ戦を制した最大のポイントは、左のジャブだったんじゃないかと思うんですが、

haritonov

いかがですか？

ハリトーノフ　というより、ロシアで言うところの「家庭での準備」だろうね。

——家庭での準備ですか？

パコージン　前回、トゥーラに取材に来てもらったときにシークレットだったのがそれだよ（笑）。

——家庭での準備というのは、つまりジム以外での練習ということですか？

パコージン　そう。練習場だけでなく、家でも道でも、常に試合のことを考え、思いついたことは試してみるということだ。

——いつ、何時でも試合のことを忘れないという。そういえばトゥーラでは「次の試合はペドロ・ヒーゾかポーランド人の柔道家になりそうだ」って言ってましたけど、実はそのときもヒーゾ戦を想定した練習をしていたということですかね？

パコージン　そういうことになるかもしれないな（笑）。

——ヒーゾ戦でもハリトーノフ選手のパンチが強いということが改めて証明されたわけですが、先日モスクワでヴォルク・ハンさんに取材した際、ハリトーノフ選手がアマチュアボクシングのロシア・ナショナル選手権で準優勝したというお話を聞いたんですよ。それはもうシークレットじゃなくていいんですよね（笑）。

ハリトーノフ　ハンさんの話は本当だけど、少しだけ嘘も混ざっているな（笑）。

——あ、そうだったんですか。さすがハンさんですね（笑）。

ハリトーノフ　自分が言えるのは、力を試すためにボクシングの大会に出たことがあるということだね。

パコージン　私からもいいかな？

——ええ、もちろんです（笑）。

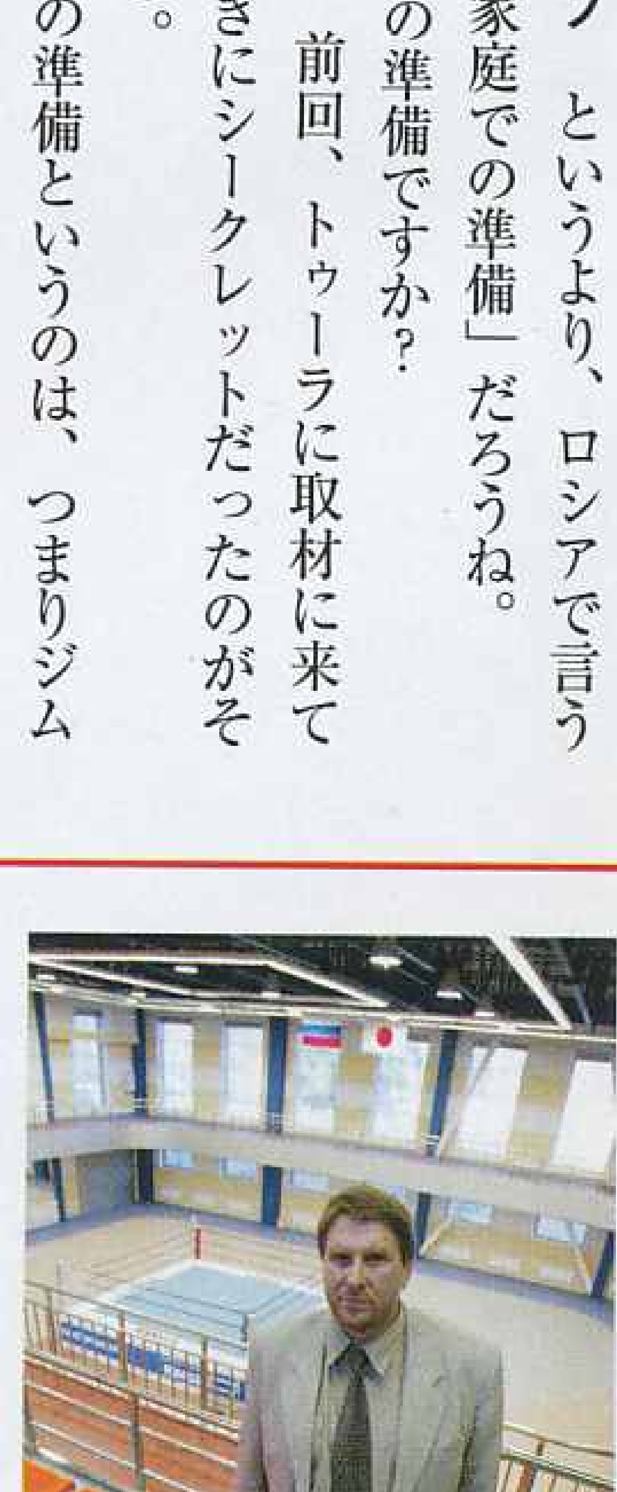
パコージン　セルゲイは『PRIDE』に参戦し始めた時点で、すでに体も出来上がっていたし、組み技も打撃もかなりのハイレベルだった。だが『PRIDE』で勝ち残っていくためには、常に自分を磨き、向上させなければいけないんだ。だから我々は、セルゲイに様々な経験を積むことを奨励したんだよ。幸い、セルゲイは向上心豊かな男だ。これからも鍛錬を怠らず、さらにレベルアップしていくと思うね。

——レベルアップのためのボクシング挑戦だったと。ボクシングといえば、ハリトーノフ選手のお父さんはボクシングのトレーナーだったとそうですね。先日ロシアでおうかがいしたことなんですが。

ハリトーノフ　そうだね。

——ということは、サンボを始めるより前

リングス・エカテリンブルグ 旗揚げ戦8月20日に変更



本誌前号でスクープしたロシア格闘技の殿堂『リングス・エカテリンブルグ』オープニング大会の日程が、８月13日から8月20日に変更となった。これは大会正式発表後、大反響があり、知事クラスの大物が多数列席するため、来賓のスケジュールに合わせて変更になったもの。日本からは金原弘光、高阪剛の出場も内定。そしてリングス総帥、前田日明も来場するというから、日本のファンにとっても、まさに見逃せないイベントといえそうだ。

からボクシング学んでいたんですか?

ハリトーノフ　ロシアでも話した通り、私の家は父がボクシングのコーチ、母親がバレーボールのコーチでね。スポーツマンに育つには理想的な家庭環境だったといっていい。強制されたことはなかったが、水泳、サッカー、バスケットボール、スキー、それにもちろん格闘技と様々なスポーツを幼い頃から経験してきたのは確かだよ。もちろん、一番熱中したのは格闘技だったし、父からボクシングの手ほどきも受けた。

——やっぱりそうですか。ハリトーノフ選手の試合を見ると、サンボと同等かそれ以上にボクシングがうまいなという印象を受けるのも当然ですよね。

ハリトーノフ　ただ父から教わったのは、ほんの初歩程度だよ。

——では本格的なボクシングの練習は何歳くらいから始めたんですか?

ハリトーノフ　本格的に、というと『PRIDE』に参戦し始めた頃からだね。

——それであれだけのパンチが打てるんですか!? リャザンの空挺部隊の養成学校でもボクシングをやっていたんじゃないんですか?

ハリトーノフ　やってはいたけど、遊び程度だよ。気が向いたときにグローブをはめて、というね。決して専門的にボクシングを学んだわけじゃない。

——ハリトーノフ選手の〝遊び程度〟は相当激しそうな気もしますが(笑)。でもこうして、試合のたびにいろいろなことが明らかになっていくのは、ハリトーノフ選手としては本意じゃないんじゃないですか?



総合格闘技界の中でも打撃では定評のあるUFCのトップファイター、ペドロ・ヒーゾが相手だけに、今回ばかりは苦戦を強いられると思われたハリトーノフだが、終わってみればペドロを打撃で圧倒しての完勝。この強さ本物だ。

Sergey Kha

〝シークレット〟がなくなっていくわけですから。勝つたびに秘密が解明されてしまうというのは、ある種ジレンマですよね。

ハリトーノフ　いや、まったく問題はないよ。私のことを知りたいのなら、どんどん聞いてくれ。喜んで答えるから。

——またまた(笑)。

パコージン　次の試合に直接、関係のあることなら別だが、終わった試合や試合以外のことであればセルゲイにシークレットはないんだ。他の選手たちが成長している以上にセルゲイは進化しているしね。

——いくら出してもまだシークレットな部分がたくさんある、という感じですか。

パコージン　次の試合に向けて、また新たなシークレットができているからね。そこに関してはノーコメントだ(笑)。

ハリトーノフ　それから軍隊のこともシークレットだね(笑)。

——8月には次期挑戦者決定戦としてマーク・ハント選手と闘うという噂もあるんですが、その辺はいかがですか?

パコージン　噂は噂なので、まだ具体的には分からないよ。

——では、もし仮にハントと闘ったとして、今回のヒーゾ戦のように殴り合いになると思いますか?

パコージン　それは秘密だ(笑)。

——やっぱりそうですか(笑)。

パコージン　小さな秘密だけ一つ教えよう。セルゲイは次の試合に向けて、エカテリンブルグのリングス・スポーツセンターで特訓を積むことになる。それは確かな事実だな。

——なるほど(笑)。では、今後タイトルマッチに挑むことになったとして、ヒョードルとミルコ、どちらと闘いたいですか……と聞かれると「どちらでもいい」と答えるでしょうから、質問を変えます(笑)。どちらが闘いやすいと思いますか?

ハリトーノフ　それはいい質問だ(笑)。でも、いま言えるのは2人ともいい選手だということだけだね(笑)。

パコージン　セルゲイはもちろん、我々もその2人には非常に敬意を表している。どちらと闘うことになっても、セルゲイと我々が全力で準備しなければいけないのは間違いないな。ただ、いまはまだ先のことは考えてないんだ。大事なのは、まず8月の試合だよ。タイトルマッチのことは、それから少しずつ考えていきたいと思っている。

——ハリトーノフ選手は〝本物の男〟になるために軍隊に入ったり、格闘技をやっているんだとおっしゃってましたよね。

ハリトーノフ　そうだね。

——これまでの軍隊生活や格闘技人生で、「本物の男になれた」と思った瞬間ってありましたか?

ハリトーノフ　ある程度のレベルまでは達していると思うし、理想像に近づいているとは思う。ただ、私は常に上を目指したいんだ。止まってしまったら人生は面白くない。もし「本物の男になれた」と思っても、すぐにもっと上を目指すことになるだろうね。

——その「本物の男になる」という目標のために、PRIDEヘビー級のタイトルはどういう位置づけになりますか? やっぱり欠かせないものというか。


ハリトーノフ　もちろん、そのための条件には入っているね。

——重要なポイントの一つであると。

ハリトーノフ　そうだね。PRIDEヘビー級のベルトを巻くことで、私はもう一段階、〝本物の男〟に近づけると思っている。

——近い将来、そうなることを願ってます。今日はありがとうございました!

【05年6月27日/都内某ホテルにて収録】



「シウバは親友であり、格闘技では父親のような存在さ」

MAURICIO SHOGUN

バ×マウリシオ・ショーグン

の殺戮2トップ であと一喰い!!


聞き手／ジャン斉藤
撮影／吉場正和
試合撮影／乾晋也
designed by hisa (Two Three)

シュートボクセが誇る殺戮2トップ、ヴァンダレイ・シウバとマウリシオ・ショーグンが『PRIDE・GP』2回戦をそれぞれ突破。きたる8・28『PRIDE・GP』決勝ラウンドでの同門対決がいよいよ現実味を帯びてきた！

その決勝ラウンド一回戦は、両者が初戦で当たらない組み合わせになった。シウバの相手は、桜庭和志を流血葬に追い込んだヒカルド・アローナ。激しく火花を散らすばかりか、血汗が飛び交う対抗戦を繰り広げるシュートボクセとブラジリアン・トップチームの対決。そしてこの二人は以前、宿泊先のホテルロビーで一触即発の事態を招いたことがあり、因縁浅からぬ関係。それぞれの意地と誇りを懸けた、遺恨決着戦となる。

ショーグンは、成長著しいアリスター・オーフレイムと。グランプリ台風の目といえる快進撃をはたす若き強者たちの新世代頂上対決となる。破竹の勢いで駆け上がってきたシウバ、ショーグンだが、簡単には決勝に駒を進めることはできない一回戦になったわけだ。

最後の関門は、最大過酷な大関門！もしそれを乗り越え同門対決が実現すれば、我々は映画やマンガ、すなわちフィクションの世界でしかでありえなかった格闘ドラマを体感することになるだろう。なぜなら、これまであまたの格闘技で同門対決は数多く行われてきたが、誰もが異論を挟むことのないミドル級最強を決める今回の闘いは、4万人以上の集客を必要をする興行論と、真の強者だけがエントリーできる競技論的側面がギリギリで融合した、おそらくいま



「新世代の中ではショーグンがいちばん強いと断言するよ」

WANDERLEI
SILVA

ヴァンダレイ・シウバ×マ

シュートボクセの
決勝同門対決ま

だかつてないトーナメントの最終駅で行われるからだ。

そして、シュートボクセを率いる名伯楽フジマール会長は、この対決を指してこう言う。

「ジムで普段行われている、仲間を容赦なく殴り踏みつけるバーリトゥード・スパーリングをリングでそっくりそのままお見せするだけだ」

サラリと軽く言いのける、この重さ！　フジマール会長だけでなく、当事者の二人も平然と、きたるべき対決を受けて入れている。決勝ラウンド進出が決まった6・26『PRIDE・GP』の翌日、あらためてその心境を二人に語っていただいた。

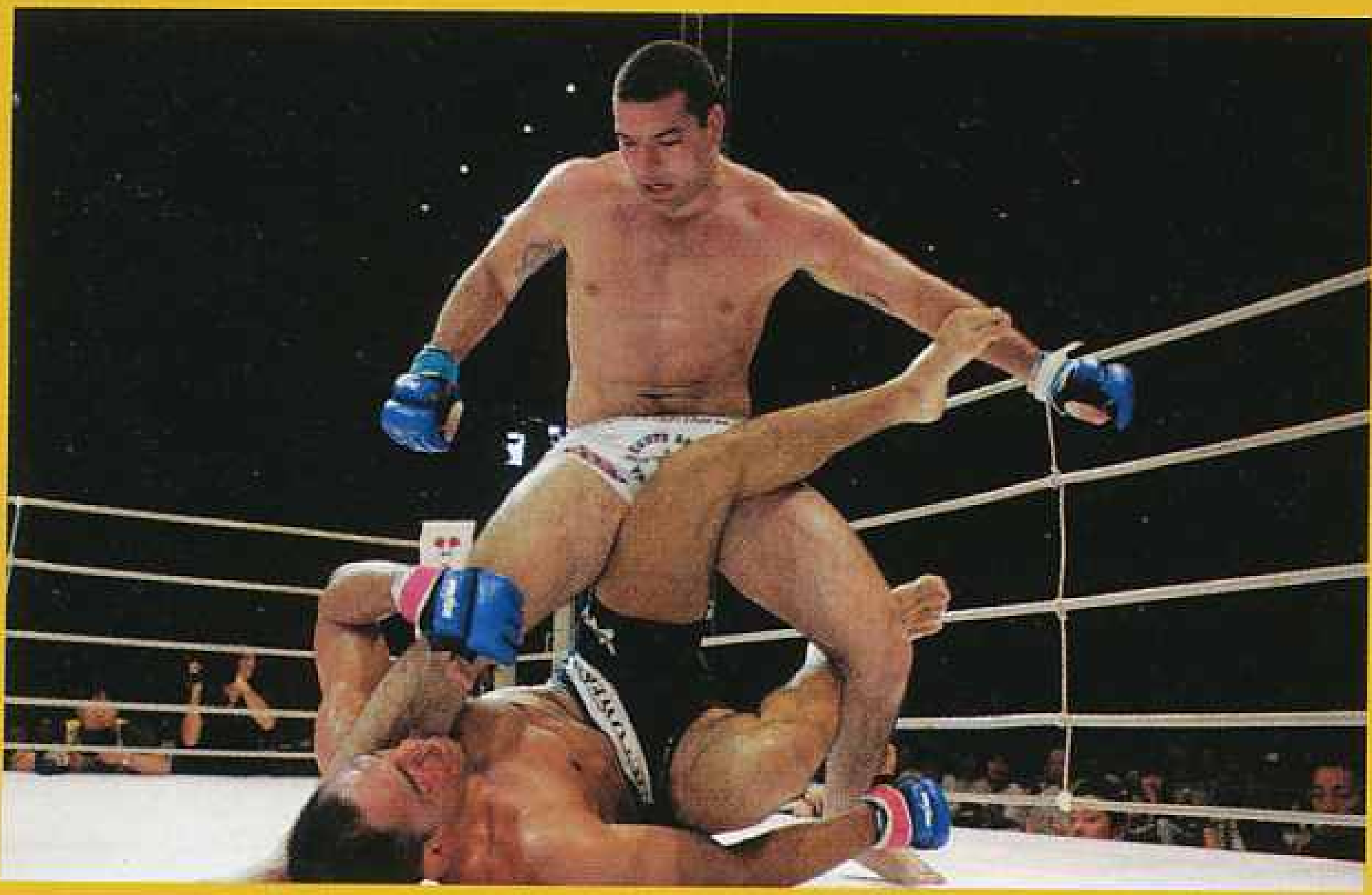
――『PRIDE・GP』2回戦は、二人揃って見事な勝利、おめでとうございます！

ショーグン　ありがとう。二人ともグランプリを勝ち上がったことがほんとにに嬉しいんだ。なぜって、グランプリの決勝戦でヴァンダレイと俺が闘うことこそが、我がシュートボクセの悲願なんだから。

シウバ　そうだな。俺とショーグンが決勝戦で対決することをチームの皆が願っている。そのためにシュートボクセは一丸となってトレーニングしてきたんだから、ここまで来たらかならず実現させたい。俺たち二人で、グランプリのファイナルを迎えるに相応しい息を呑むようなアグレッシブファイトをやってやるよ。

ショーグン　そうだね。ヴァンダレイやフジマール会長とも話しあって、『決勝で同門対決が実現したら真剣勝負でお互い殴

りあう！』という決定はなされている。それに俺たちはへたな試合以上の殴り合いを普段のスパーリングで毎日毎日やってるんだ。手を抜かずにやりあうことが、きっと、シウバと俺のプライドになるよ。１ミリも迷わないのさ。
シウバ　（深く頷く）。
——ちなみに決勝同門対決が実現すれば、二人の恩師であるフジマール会長はどちらのセコンドにつかれるんですか？
シウバ　俺。コーチのファエアノ、ムリーロ・ニンジャ、ニーノ（・〝エルビス〟・シエンブリ）はショーグンのセコンドに就く。
——どういう分担なんでしょうか？
ショーグン　俺が嫌われたんだよ（肩をすくめながら）。
シウバ　ガハハハハ！　いやいや、俺のほうがフジマール会長と付き合いが長いからだよ（笑）。
——ショーグン選手は不満があるんですか？
ショーグン　いや、冗談さ。不満なんてまったくないよ。昔っから皆で練習しているし、たとえコーナーを分けても気持ちは一緒だから。
——ちなみに、その話し合いは２人でされたんですか？
シウバ　いや、ジムのみんなで話し合ったんだ。特別そういう場を設けたわけではないよ。ある日、「もしもグランプリの決勝に２人が残ったときセコンドはどうするんだ」と、たまたまそういう話になって、じゃあどう振りわけるか決めようってことになったのさ。ものすごく現実的な話になっているから、あと一回勝たないと俺とショーグンの決勝戦はないってことを忘れそうになるよ。
——ぜひお二人の決勝戦を実現していただ



○マウリシオ・ショーグン（3R 判定3-0）アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ●

ブラジルを代表するチーム同士の対抗戦は、進化する総合格闘技の“いま”を象徴するようなハイレベルな攻防だった。１Ｒはホジェリオのボクシングが冴え、ショーグンからダウンを奪う。グラウンドでも一本を奪いに積極的に動き、ホジェリオ優勢の旗色だったが、徐々にショーグンがペースUP！　猪木アリ状態から飛び込みパンチ、そして十八番の踏みつけで追い込む!!　フルマークの判定勝利を手にした



○ヴァンダレイ・シウバ（1R5分24秒／KO）中村和裕●

袖を切り落とした柔道着で登場した中村カズ。これは決して小池百合子環境大臣率いるチーム−6℃に協力するためのクール・ビズな仕業ではなく、道着を駆使したシウバ攻略のため！　しかしシウバの道着対策は万全で中村は秘策を出すどころか、逆に道着をつかまれ利用されてしまう局面も。最後は中村が道着を脱ぎ捨てた瞬間をシウバが急襲!!　上に乗ってパンチを落とし続け勝負を決した

MAURICIO SHOGUN

くためにも、ショーグン選手に何かアドバイスがあればお願いします。
シウバ　いやいや、ショーグンは死ぬほどトレーニングしているから何の問題もないよ。アドバイスがあるとすれば、この姿勢を続けていってほしいってことだな。
——ショーグン選手のほうはシウバ選手に何かアドバイスはありますか。
ショーグン　ヴァンダレイに言うことなんてないよ。シュートボクセでいちばん経験豊かな選手だし、試合では彼のチョイスが他のなによりベストな結果をもたらしているからね。
——ところで、昨日、シウバ選手はご自分の試合が控えているにもかかわらずショーグン vs ホジェリオ戦をリングサイドで観戦する姿が印象的でした。やはり弟分であるショーグン選手のことが心配だったんでしょうか？
シウバ　……じつを言えば、ひとりの『PRIDE』ファンとして、あの試合をぜひ見届けたかったんだよ（笑）。
——あ、ファンとして（笑）。たしかにこのカードはブラジルを代表するチーム同士の対抗戦となりましたからね。
シウバ　チームの看板だけじゃないさ。二人は実力も一流だから、絶対に素晴らしい試合になると思っていたんだよ。その証拠にブラジルでの注目度もほんとうに高かったんだ。
ショーグン　そうそう。ホジェリオとの試合は、ブラジルの格闘技雑誌でも大きく取り上げられていたんだよ。
——ショーグン選手は実際にホジェリオと闘われた感想はいかがでしたか？
ショーグン　過酷な試合展開になるだろうことはわかっていたけど、ホジェリオの打撃は予想以上だったよ。おかげでモデルの仕事はとうぶんできそうにないな（笑）。
——それは困りましたねえ（笑）。
シウバ　ガハハハ。
ショーグン　まぁ普段のスパーリングでも、毎日のようにシウバの打撃をもらって顔を腫らしているから、もう馴れっこなんだけどね。
シウバ　俺もショーグンのパンチでこれくらいの青あざをしょっちゅうつくっているよ（笑）。
ショーグン　アザができたのが試合か、スパーリングかの違いなんだ（笑）。
シウバ　とにかくホジェリオ戦は期待していた以上のすばらしい試合だったね。ラウンド終盤には、二人が耐えてきた可酷な練習風景がみえるようだったよ。
——ホジェリオはショーグン選手得意の踏みつけを何度も交わして、逆にショーグン選手は何度も差し合いを制して、有利なポジションを奪っていましたね。
ショーグン　それはずいぶんニーノと柔術の練習をしてきた成果だね。ニーノは柔術のスパーでシュートボクセの誰からも一本を奪うほどのテクニシャンなんだ。ま、彼の寝技の実力は、いまさらボクが言うことじゃないけど（笑）。
シウバ　同感だな。シュートボクセにとってニーノはなくてはならない重要な存在なんだ。先日のチョーナン（長南亮）戦は久しぶりの試合ということで試合勘がつかめず膠着してしまったが、もしいま闘うことになればあっという間にあのピラニアを釣り上げる実力を持っている。
ショーグン　今度やればニーノが勝つ。いますぐチョーナンを呼んで闘わせたいぐらいだ。いま彼はどこにいるんだ？（笑）。
——知りません。最近は電動エアガンを持って玉川近辺をウロウロしてるみたいです

けど（笑）。で、話は戻りますが、ショーグン選手はシウバ選手の試合をご覧になりましたか？

ショーグン　ああ、もちろん見たよ。たしかにナカムラ（中村和裕）は前より進歩してたけど、ヴァンダレイには適わなかった。圧倒的なKO勝利。さすが現役ミドル級チャンピオンだ！　って仲間として誇らしく思ったよ。

シウバ　将来のチャンピオンから誉められるとうれしいな（笑）。

ショーグン　ワハハハハ！　いやいや、ヴァンダレイは文句なしにすばらしいよ。経験だって豊富だし、すごく仲間思いだし、ずっと見上げつづけていたい先輩さ。俺にとってシウバは賭け値ない親友であり、こと格闘技の道においては父親のような存在だよ。まだまだ経験が足りない俺を、見守りながらより強さへと導いてくれるんだ。

シウバ　俺だってショーグンのことはずいぶん認めているんだ。『PRIDE』のニュー・ジェネレーションのなかではいちばん強いと思っているし、いずれ『PRIDE』を背負うだろうポテンシャルの高さを感じるよ。もっとも彼の才能については、俺だけじゃなくシュートボクセのみんなが首を縦に振るところさ。そして、なかでも驚くべきことは実際のリングで普段と同じ力を出せるというところだな。

――〝道場チャンピオン〟で終わってしまう選手は数多いけど、ショーグン選手は違うんですね。

シウバ　たいていはリングに上がれば緊張して身体が思うように動かない。リングはなかなかリラックスできる場所じゃないからな（笑）。

――それで、その普段の練習でショーグン選手が、弟であるショーリン選手を骨折させるほど痛めつけたという話を耳にしたんですけど。

ショーグン　あぁ、そんなこともあったなぁ。あのときはショーリンの肋骨を折ってしまったんだよね。でも、なんで俺がそこまでしたかというと、弟がシュートボクセの練習に遅刻してきたからなんだ。

――前日にパーティーへ遊びに出かけて、そのせいでちょっと遅刻してしまったようですね。

ショーグン　ちょっとでも遅刻は遅刻だ。あいつの夢は『PRIDE』で活躍するような一流のバーリ・トゥーダーになることなんだけど、『PRIDE』という舞台をめざすなら何をおいても練習はきっちりやらないと無理だよ。

――なにもそこまでやらなくても、という気もしますけど（笑）。

ショーグン　いやいや、遅刻するってことは練習時間が短くなるってことだけじゃないよ。必死にやってるほかの仲間たちにとても失礼なことだからさ、俺たちの弟がそんなんじゃチームの士気が下がるだろ？

――『PRIDE』の第一線で活躍するようなトップファイターを輩出しているチームですからそのくらい厳しいのはむしろ当然のことなのかもしれないですね。

シウバ　そうだな。俺たちの練習は激しいから、そういうもんだと思ってるね。大小あれ、怠慢というのは必ず試合に影響するから。

――そんな制裁があったあともショーリン選手はシュートボクセの練習を続けているんですか？

ショーグン　もちろんさ。いまはしっかり練習しているから、『PRIDE』のファンにご挨拶できる日もそう遠くないんじゃないかな。そのときはショーリンを応援してやってくれよ。

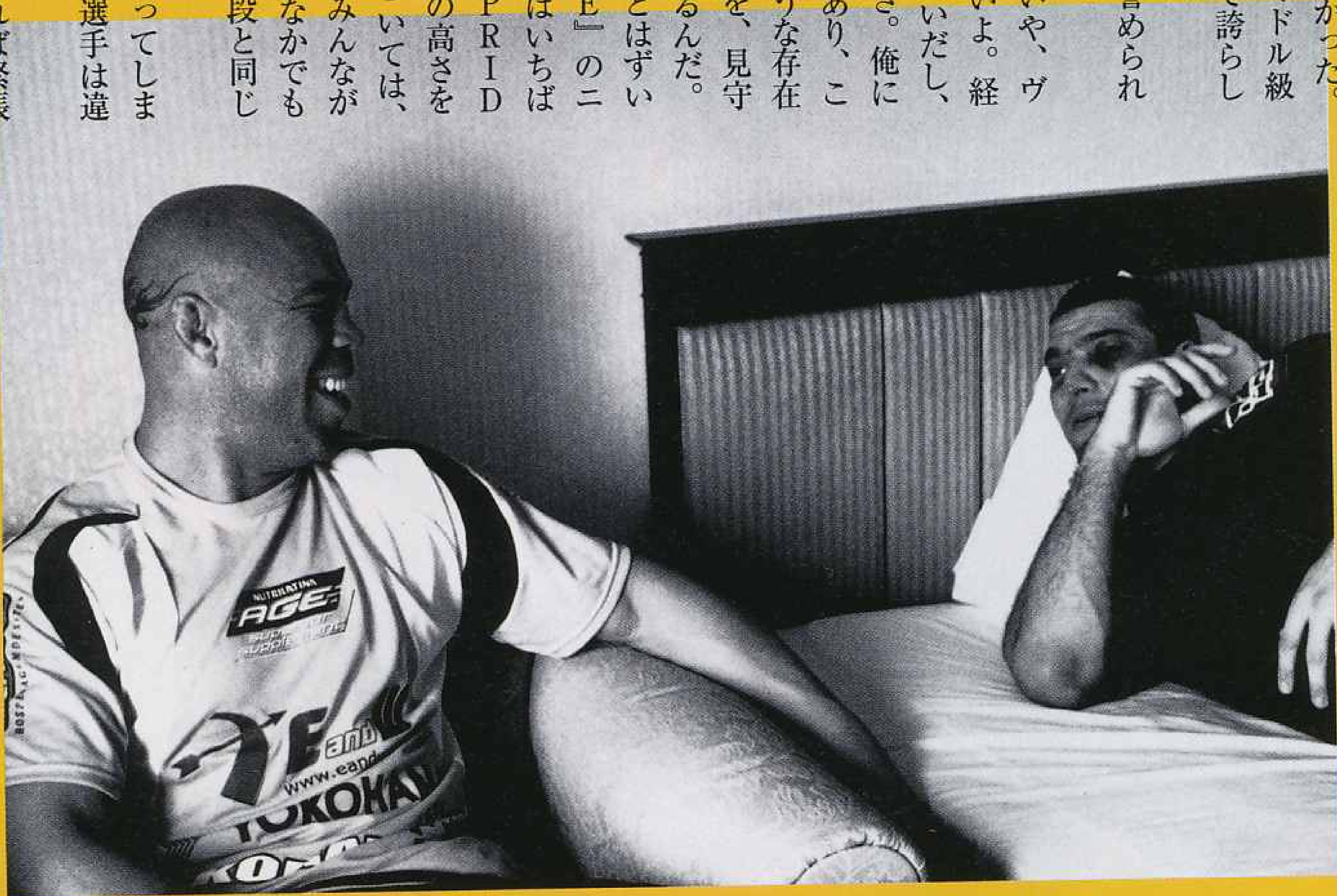
シウバ　そして、シュートボクセの過酷な練習に身を委ねているファイターはまだまだいる。制圧するのはこのグランプリじゃないってことだよ。

――わかりました！　今後のシュートボクセのさらなる躍進、そして決勝同門対決を期待しています！

【05年6月27日／都内ホテルにて収録】

「毎日のようにシウバの打撃をもらって顔を腫らしているから（笑）」

「俺もショーグンとのスパーで青あざをつくっているよ」



【ヴァンダレイ・シウバ】ブラジル出身。現PRIDEミドル級チャンピオン。2年前に開催されたPRIDEミドル級GP優勝。今回のミドルGPでは、吉田秀彦、中村カズを破り、決勝ラウンド進出。二期連続優勝を目指している

【マウリシオ・ショーグン】ブラジル出身。PRIDE戦績は6戦全勝でいまだ負けなし。クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン、ノゲイラ弟を破り、決勝ラウンド進出。兄はPRIDE常連ファイターのムリーロ・ニンジャ

WANDERLEI SILVA

ミドル級&ヘビー級“最強決定戦”!!

『PRIDE GP 2005』決勝戦

さいたまスーパーアリーナ

8月28日（日）開始16:00（予定）

［決定カード］

＜PRIDEミドル級GP＞

ヴァンダレイ・シウバ vs ヒカルド・アローナ

マウリシオ・ショーグン vs アリスター・オーフレイム

＜PRIDEヘビー級タイトルマッチ＞

［王者］エメリヤーエンコ・ヒョードル vs ミルコ・クロコップ［挑戦者］

［お問い合わせ］

ドリームステージエンターテインメント

TEL.03-5464-1531



柔道金メダリスト瀧本に判定勝ち!

6·26PRIDE GP さいたまスーパーアリーナ

田村潔司（3R 判定3-0）瀧本誠

（♪演歌が流れる）

――いいBGMですね（笑）。

田村　ハハハハハ。有線変えようか？

――いや、変えなくても全然いいんですけど。

田村　あ、こういうのが好き？

――いや、特に好きってわけじゃないですけど、BGMが北島サブちゃんの格闘技ジムって素敵だなと思って（笑）。以前はアイドル系とかがよく流れてましたよね。

田村　20代の子が多いからね、モー娘。とかでしょ？ 俺のモーヲタ疑惑ってそっから広がったんだよな。

――ありましたねぇ（笑）。『紙プロ』でも掟ポルシェさんと田村さんの「モー娘。の素晴らしさを語る対談」をやりましょうと申し込んだんですけど、速攻断られましたよね（笑）。

田村　だって俺はモーヲタじゃないもん！

――でも、田村さん結構アイドル好きですよね？

田村　キライじゃないけどさ、世代が違うから。昨日も『ミュージックステーション』とか見てたんだけど、もう全然わかんないのよ。

――僕もまったくわからないですね。僕の場合、iPodに入ってる大半が70年代の曲ですから（笑）。

田村　それならたぶん俺の方が知ってるでしょ。ケツメイシとか知ってる？

――名前だけなら。

田村　コブクロは？

――なんとなく。

田村　コブクロはね、すごいいいのよ。

――そうなんですか？ ターザン山本！さんはどっかの雑誌でボロクソに言ってましたけど。

田村　コブクロを？

――はい。

田村　あの人おかしいよ！

――おかしいのは昔からわかってるんですけど（笑）、あの人は恋愛論には凄くうるさいんで、恋愛の歌詞とかなったら、すごい噛み付くんですよ。「俺の恋愛の歌詞の方がすごい！」っていつも豪語してますからね。まぁ、採用されたことはまったくないわけですけど（笑）。

田村　見てみたいよね、それ（笑）。

――そんな話は置いといて、本題に入ります。先日は柔道金メダリスト瀧本誠選手からの勝利、おめでとうございます！

田村　それ、ホントに心から言ってる？

――いや、本当ですよ！

田村　んじゃ、ありがとう。

――でも、田村さん自身は勝ったのにあまりご機嫌がよろしくないということをチラッと耳にしたんですけど。

田村　そんなことないよ。いまはもう全然普通。

――試合直後は非常に気分が悪かったんじゃないですか？ PRIDEオフィシャルサイトのインタビューでもかなり暴走してたみたいですし（笑）。

田村　う～ん、あれはShow（大谷泰顕氏）のインタビューだったから。知らない人に聞かれたらタテマエの話になるけど、知ってる人だとね。だからガンツもあのタイミングでインタビューしてたら、俺もあんな感じでぶっちゃけてたと思うよ（笑）。

――じゃあ、やっぱりあのときはイラついてたわけですか（笑）。

田村　まあ、そんときは気分悪かったんだろうね。

――そのイラつきの原因は何だったんですか？ そのインタビューでは「フジテレビもDSEも気に入らない」とズバリ言ってますが。

田村　ハハハ！ フジはやっぱりどっちかっていうと"瀧本側"だからさ、そういう意味で気に入らないと言ったのかな。

――煽りVTRがってことですか？ それとテレビの編集が？

田村　試合の（地上波）放送は見てないんだけど俺側の人たちが「あんな放送でいいんですか？ テレビの編集でどうにかなるもんなんですね」って言ってくるからさ、事実確認をしないでこういうふうになっちゃったの。

――でも、確かに田村さんが完全に試合を支配していた1Rがまるまるカットされるという、素敵な編集でした（笑）。

田村　だからそれで怒ってたんじゃないの？

――ムカついたと？

田村　だって1Rが削られてたってのは事実なんでしょ？ それならムカつくね。

――そしてさらに「骨折して手術してウエイトもちゃんとできない人間を引っ張り出しといてさ」とも言ってますけど（笑）。

田村　アハハハハ！

――この発言の意図を推測するに「右手が使えない状態で結果も出したのに、ケガして出てきたってことにまったく触れてないじゃないかよ！」っていう怒りがあった



田村潔司

「イライラの根源を探る」

プロレスvs柔道、"陰の異種格闘技戦"と言われた田村vs瀧本は、田村が"作戦通り"の試合運びで判定勝ち！　見事、柔道金メダリストを破ったが、試合後の田村は勝ったにも関わらず不機嫌が続いているという。この田村のイライラの原因はなんなのか？　そして道場対抗戦をぶち上げた真意は？　7・17『武士道』の前日、田村をキャッチした。

聞き手／堀江ガンツ　本文構成／松下ミワ　撮影／乾晋也

designed by hisa (Two Three)

んじゃないかと思うんですが。

田村　ん～、どうなんだろうね。ただ選手って消耗品だからさ。試合の前は「お願いします」って頭をペコペコ下げられるけど、試合が終わってからはフォローっていうのが一切ないから、それがムカつく。

――ムカつきましたか（笑）。

田村　仕事って割り切っちゃえば仕方ないかもしれないけどさ。

――じゃあ、田村vs瀧本戦を一刀両断してた榊原代表の試合後のコメントとかにも怒りを覚えたりしたんですか？

田村　榊原さんねぇ……。まあ他の試合と比べたらそうなってたかもしれないし、それはそれで一応反省する部分はあるんだけど。でもさあ、試合はもうしょうがないもん！

――たしかに、ミドル級GPのショーグン対ホジェリオなんかも含め、凄い試合がつづいてたんですけど。でも田村対瀧本っていうのは、もともとちょっとベクトルが違う試合でもありましたよね。

田村　だから全体通して言えば批判されることもあるんだろうけど、勝敗に関して言えば「白」を取ったからいいのかなっていうのが、今回だけはある。

――田村さんにとっては今回一番大事なことは、瀧本戦で結果を出すことだったと。だから相対的に『PRIDE』の他の試合の内容や激しさと比べられて斬られるのは納得いかないわけですか。

田村　でもそれはしょうがないと思うよ。ただ瀧本戦に関して言えば、すごく"間"が必要な闘いだったからさ。俺はもう年寄りだからガーッと向かってくる若い勢いをかわして自分のペースに持っていくっていうのが必要なのよ。それで今回は瀧本選手を懐に入らせない戦法を取ったわけ。それ

田村潔司

は作戦通りだったし、十分準備ができなかった状況で勝てたっていうのは自信になったから、周りからどう言われようが、ある意味構わないっていう部分はあるよね。

――でも、見る側にとっては「あそこまでいって何でKOしないんだよ」っていう思いはどうしても出てきますよ。

田村 もちろんそこは反省はするんだけど、やっぱ金メダリストっていうのは並大抵の根性じゃないからね。

――だからまあ、今回の試合は視点の問題とも言えると思うんですよね。だって、ちょっと見方を変えたらプロレスラーがガチンコで金メダリストを完封したわけですから。プロレスファンは誇りに思うべきだっていう意見が出てもいいですよね。

田村 おっ！　いいね～、それ。

――いままでプロレスラーでちゃんと金メダリストに勝った人っているのかなって考えると、いなかったりするわけじゃないですか。

田村 （しばらく考えて）うん。だから勝ち負けに関して非難されたりするのはいいんだけど、内容のことをいわれてもね。

――内容っていうのもむずかしいところだと思うんですよ。だって、純粋に試合内容だけで考えたら、名勝負として賞賛された田村さんとヘンゾ・グレイシーの試合（00・2・26『RINGS』）は瀧本戦と実は質が似てる気がするんですよね。

田村 あ、そう？

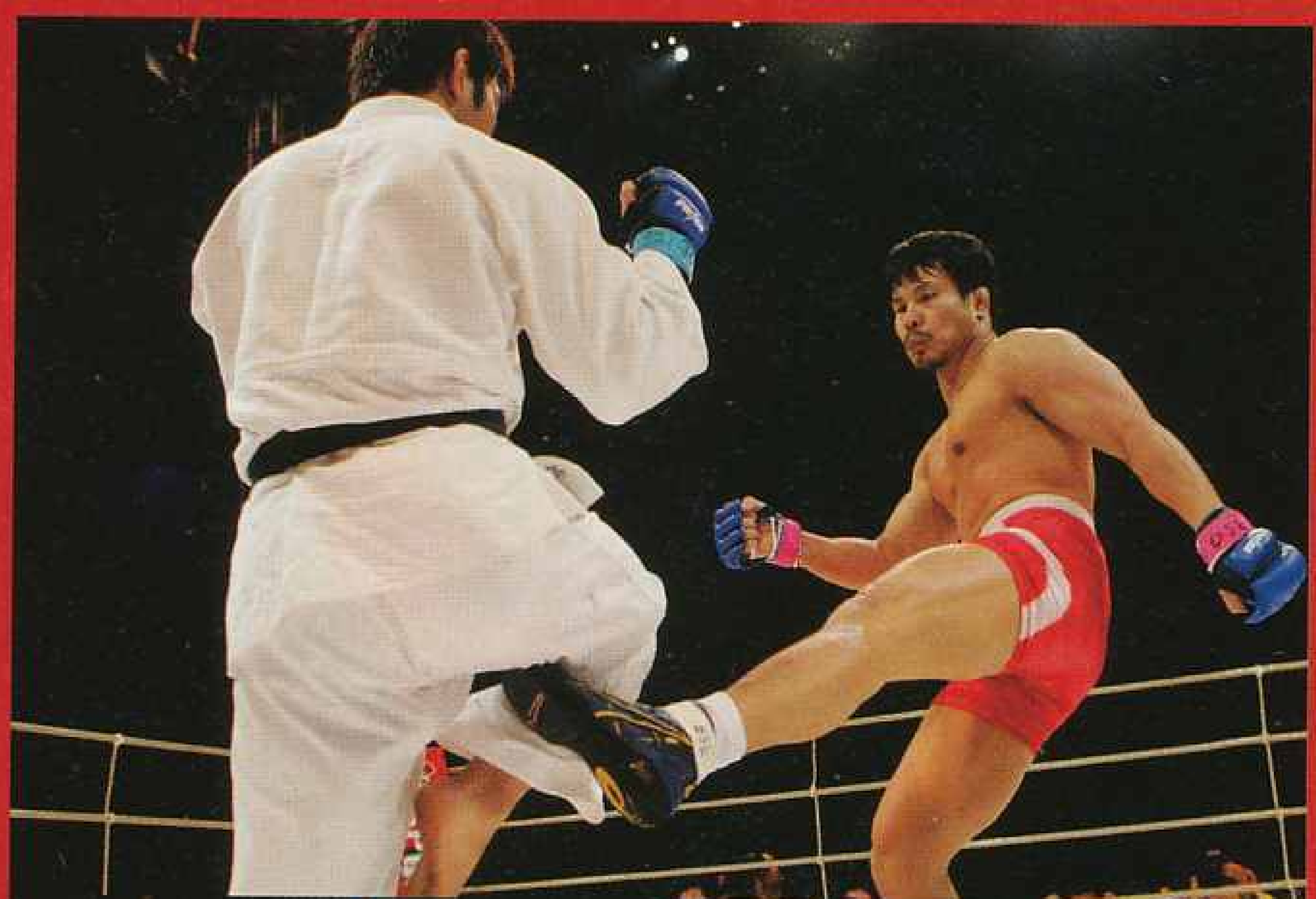
――あの試合も田村さんがヘンゾの良さを完封して、〝負けない闘い〟で判定勝ちしたのに、武道館の天井が吹っ飛びそうなほど盛り上がったじゃないですか。でも瀧本戦は同じように勝ったのに、非常に静かだったという（笑）。

田村 周りがそんなに期待してなかったんじゃない？

――いや、たぶん瀧本選手……というか〝金メダル〟がもう上位概念になってないんでしょうね。ヘンゾのときは〝グレイシー〟が上位概念だったから、それを打ち破った田村さんにみんな声援を送った。でも、金メダリストに勝つだけじゃ完全に満足してもらえない『PRIDE』のリングって、選手にとってはキツすぎる部分ってありませんか？

田村 そういう感じは多少あるけど。ただ「もっといけ！」っていう感情はすごいわかるのよ。だからプロとして少しでも穴を埋めなきゃっていうのはあるよね。

――でも、桜庭選手とかあの世界最高レベルの試合をやっても、負けたら「もうダメだ」とかいう声が出たりするわけじゃないですか。





“陰の異種格闘技戦”と言われた田村vs瀧本戦。田村は2年前の吉田戦と同じようにローキックを中心に自分の距離で闘い、一本こそ奪えなかったが、柔道金メダリスト相手に判定勝ちを収めた。試合後、田村は瀧本のセコンドについた吉田に道場対抗戦を提案。これが『武士道』での大久保vs村田につながる。

全体を通して見たら批判されるんだろうけど今回だけは勝敗で白を取ったからいい

田村 もう日本人があの階級で勝てないのはしょうがないよね。むかしは大きな外国人相手でもカバーできたけど、いまみたいに力もある、技術もあるじゃ、もうどうしようもない。そんな小手先でごまかせるようなレベルじゃないからね。

――例えばサッカーなんかだとワールドカップの予選で勝っただけで「すごい！」って大騒ぎになりますけど、『PRIDE』のミドル級以上で外国人の強豪と闘ってる日本人って、サッカーで言えば、毎回、日本代表がブラジル代表とかと試合をしてるようなもんだと思うんですよ。

田村 そうそう。それぐらいで見てもらえるといいよね。

――だから『PRIDE』も毎回、世界を相手にするんじゃなくて、日本人対決がもっとあってもいいと思うし。そういった意味では、U-FILEと吉田道場との対抗戦なんかも意味のある企画だと思うんですけど、いかんせん会場のリアクションが薄かった（笑）。

田村 見事にシラけてたね（苦笑）。

――あれはどういった思いで発言されたんですか？

田村 思いはとくにない。

――ないことはないでしょう（笑）。

田村 そうねえ、下につながればいいかなって感じかな。もし吉田選手と再戦できるのであれば、ただ対戦しても面白くないから下を絡めてやろうって。そしたら次の世代にもつながっていくし、点で終わらないと思うから。『武士道・其の八・』に出る大久保（一樹）にとっても、対抗戦という言葉は刺激になっただろうし。勝たなきゃいけないっていう、そういう周りのプレッシャーがある試合ってあるじゃないですか。その意味で大久保もカト・クン・リー戦（01・8・18『DEEP』）以来のプレッシャーを感じてるみたいだからさ（笑）。

――それ、負けられないの意味が違うと思うんですけど（笑）。大久保ちゃんはカトに勝って欽ちゃんジャンプで喜んでましたからね。

田村 でもあのときは大久保に情報をあんまり与えなかったんだよ。ジム生たちも「拳銃の弾をよけるヤツだ！」とか言って

あおってたりして。そしたら、大久保の中ですごい強い人なんだろうって幻想が巨大化してたんだよ（笑）。

――実際はタコス屋の親父みたいな相手なのに（笑）。でも今回は注目度が違いますからね。いま『PRIDE武士道』で闘ってる選手もマニアにしか知られてない強豪相手に結果を出さなきゃいけないから大変だと思いますけど。

田村　それってさあ、マッチメイクしてる人がよくないんじゃないの？

――ある意味チャンスでもあるんでしょうけど、相当しんどいギャンブルですよね。

田村　K・1はその点でちょっと違うんでしょ？　この二人が試合したら面白いかなって客観的な目で見てさ。

――たぶん「この人が勝ったらもっと人気が上がるから」って、そこまで計算してるでしょうね。その点で『PRIDE』は過酷ですもんね。いきなり結果出してみろっていう。

田村　マッチメイクには多少遊びがあってもいいんだけどなぁ。

――話を対抗戦に戻しますけど、前号インタビューでは「柔道に借りを返したい」という発言がありましたけど、瀧本選手に判定勝ちしただけではまだ〝柔道〟に借りは返せてないんですか？

田村　だから〝柔道〟というのは吉田選手のことなんだよね。ま、今回負けてたら吉田戦は遠のいてただろうけど。

――じゃあ、やっぱり吉田選手に借りを返すための関門だったと？

田村　そういうわけでもないけど、たまたまそうなってるよね。でも、一歩近づいたら一歩離れていくからね、吉田選手は。やりたくないんだろうね、俺と。吉田選手にとったらやりづらい相手だもん。

――瀧本戦のあとリング上で言葉を交わしてましたけど、なにをお話されたんですか？

田村　今度試合しませんかって。そしたら「はいはい」だって。「はい」は一回でいいよって（笑）。

――流されたんですね（笑）。これで大久保選手が負けたら、さらに吉田戦は遠のくかもしれないですから、大久保ちゃん責任重大ですよ！

田村　そうかもね（笑）。でも大久保がたとえ勝っても吉田選手は俺とはやんないと思うな。対抗戦にすれば（自分の道場の）若い子出せるから便乗したんだと思う。だから大将戦はない！

――対抗戦はいいけども、大将戦は話は別ですか（笑）。

田村　だって向こうがやる気満々だったらもう再戦はしてるでしょ。だって2年もたってるんだから。

――じゃあ、ウチであおりにあおって来年の無差別級GP一回戦あたりで吉田vs田村を実現させましょう！

田村　無差別級やるの？

――いや、まったく知りませんけど（笑）。

田村　でもそういうのも面白いかもしれないね。ミドルとヘビーで対抗戦って。

弟子が出せるから対抗戦に便乗しただけで、吉田選手は俺と再戦したくないでしょう





7・17『武士道』でU-FILEvs吉田道場の対抗戦として行われた大久保一樹vs村田龍一の一戦は、序盤から村田が積極的に攻め、大久保ちゃんはなぜかスタンドでも劣勢を強いられるが、1R終盤、村田のスタミナが切れ始めると形勢逆転。腕十字で強豪柔道家から一本勝ちを奪った大久保はママに抱きつく子供のように田村に抱きついた。

――え？　ヘビーとやるんですか？

田村　そうそう。吉田選手とか中村、桜庭、俺とかで、ヘビーは外人選手。

――田村vsヒョードル？

田村　そういうこと。

――田村vsミルコ？

田村　そんな感じ。

――田村vsハリトーノフ？

田村　だから俺を潰す気？（笑）。

――いやいや、ヘビー級に立ち向かって行ったリングス時代の不屈の魂が復活したのかなっていう（笑）。

田村　……（無言）。

――話が広がらないようなので、田村さん、この夏のご予定は？

田村　全然ないね。次の試合はちょっと水面下で動いてるのがあるんだけど、まだ発表できる段階ではないんで。

――水面下で？　田村さんの試合？

田村　いろいろ話をもらったり、こういうのできませんかって話もしてて。ツメまでいってないんだけどね。『PRIDE』側とか新日本関係もあるけど。

――新日本からもあるんですか？

田村　以前あったよ。お断りしたけど。

――〝『PRIDE』側〟って表現も気になるんですけど。ついに髙田モンスター軍入りするということですか？

田村　いや、それ以上はもう言えないな。インパクトに欠けるから。このへんにしといて。

――わかりました。では、やはり今後の動向も見逃せない田村選手でしたということでおわりにしましょう。

田村　いや、今後の動向もなにも、もう年寄りなんだから働かせないでよ！（笑）。

【05年7月16日／登戸・U-FILE CAMPにて収録】



堀辺正史の活字バーリ・トゥード夏期集中講座
進化し変化し続けるPRIDEの“今”を大分析!!

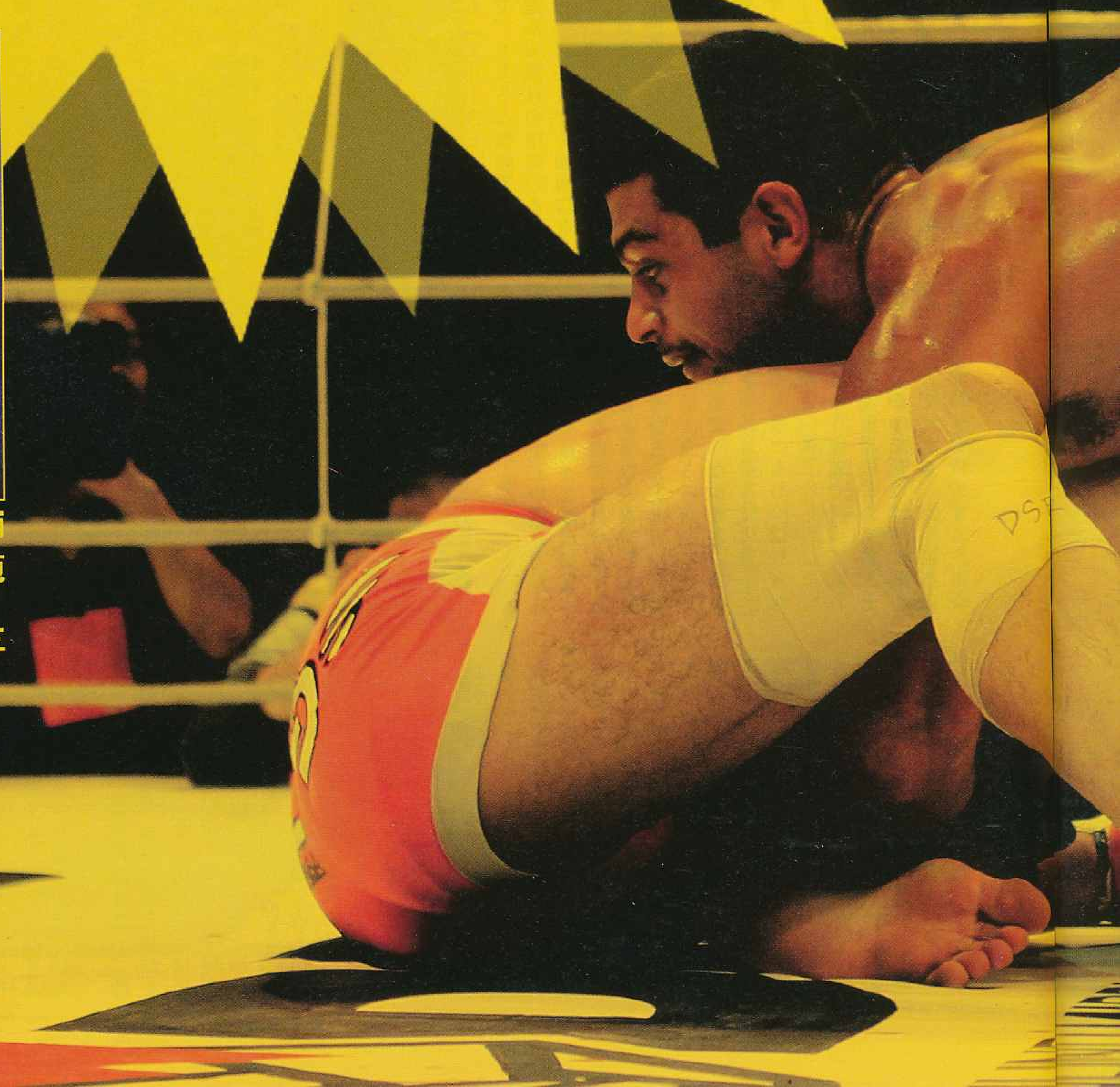
アローナのヒザ蹴りこそがPRIDEの進化の象徴なんです!

サクがアローナに、カズがシウバにそれぞれ敗れ、ついに決勝のベスト4を待たずに日本人がすべて姿を消してしまった『PRIDEミドル級GP』。そんな日本人ファイターの現状に「情けない」という声も聞かれるが、本当に彼らはだらしなかったのか？レベルアップの一途をたどる『PRIDE』の“今”をおなじみ骨法・堀辺師範が大分析します!

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也　designed by Tani-Yan (Two three)



本日の講師
日本武道傳骨法創始師範
堀辺正史先生



PRIDEの〝発明王〟である桜庭に アローナが新たな〝発明〟で勝ったところに PRIDEの奥深さ面白さがあるんです！

――先生、今月もまた『PRIDE』についてお話を伺いたいと思いますので、よろしくお願いします！

堀辺　今回も〝変態〟の話ですか？（笑）。

――いや、〝変態〟については前回（87号）たっぷり聞かせていただいたので十分です（笑）。今回は6月のミドル級GP2回戦を受けての話なんですけど、『PRIDE』の見方、先生の言う〝眼鏡〟のことですが、観客の方が『PRIDE』の見方をまたひとつ変えないと『PRIDE』の本質や、いまリング上で何が起こっているのかが見えなくなってきていると思うんです。それで先生に改めて2005年夏バージョンの〝PRIDE見方〟というものを教えていただけないかと思いまして。

堀辺　はい。やっぱり『PRIDE』の特色というのはいくつかあるけれども、一言で言えば日々変化しているということなんですよ。

――変化して、進化している。

堀辺　それに尽きるんです。〝尽きる〟ということは、もう話がこれで全部終わっちゃったわけだけどね（笑）。

――も、もう終わりですか⁉（笑）。

堀辺　だからどう進化しているかをこれから話しますけど、『PRIDE』というのは変化し、進化している。これがもう本質なんですよ。

――逆に言うと、ファンやマスコミも『PRIDE』と同時に見る目を変化し、進化していかないと、本質を見失うわけですよね。

堀辺　そういうことですね。我々も進化していかないといけないんだけれども、まず大切なのは何が変わって何が変わらないのかということを見極めるということですよね。じゃないと郵政民営化みたいなもので、国民の多く民営化するとどうなるのかをほとんど知らない。それと同じになっちゃう。だから『PRIDE』のどこが進化しているかを押さえるってことが大切なんですよ。

――漠然と「レベルが上がった」という言葉だけで済ませるのはマズイというわけですね。

堀辺　今回の大会についても一戦一戦に進化があったわけだけども、みんなが注目していたアローナvs桜庭の試合の中にもね、大きな進化のひとつが見られたわけです。

――おお、先生は桜庭vsアローナ戦に『PRIDE』の大いなる進化を見たというわけですか。

堀辺　見ました！　バンバン見ました！

――バンバン見ましたか（笑）。

堀辺　具体的にどこに見たかと言うと、アローナのヒザ蹴りなんですよ。今回の試合でアローナは桜庭にがぶった状態で強烈なヒザ蹴りを何発も出してますよね。しかもヒザだけをちょんちょんと出してるんじゃなくて、お尻の筋肉まで大きく動いて蹴っている。普通は、ああいうヒザ蹴り出しちゃうと、抑えてる方の力がどうしても弱くなるんですよね。もしくは、押さえる方に力が行ってあまり強いヒザ蹴りが打てなくなるんです。

――だからこそ、ヒザ蹴りをやってきたときが、がぶられた側からしたら逆転のチャンスでもあるわけですよね。

堀辺　そう。『PRIDE．14』でヒザ蹴りが解禁されたときは、「ヒザを解禁したら死人が出る」なんて言う人もいましたけど、もうPRIDEファイターはそれを克服して、がぶってからのヒザはまともに入らなくなってたんですよ。これも『PRIDE』の進化のひとつで、もちろん桜庭選手もそういう進歩の流れの中にいるひとりだから、直接ヒザを顔面にもらってるということは、ほぼなかったんだけれども今回のアローナは、その防御の技術を一段越えて、4点ポジションの抑え込みとヒザ蹴りが進化していた。桜庭選手を上から完璧に押さえ、なおかつ大きく振りかぶってヒザ蹴りを出してましたよね。これは、ものすごく大きな進歩なんです！

――アローナは4点ポジションで抑えながら足をこんなに上げてましたよね（手を高く上げながら）。

堀辺　そうです。普通はああいう状態になるとバランスが崩れるわけですよ。しかし、今回アローナはがぶった状態でそのまま体勢を変えないでヒザ蹴りを出せるようにしてきたんですよね。アローナvs桜庭の勝負の分かれ目はそれに尽きるんですよ。同時にそれは『PRIDE』の進歩を象徴するものであったということです。

――なるほど。簡単にいうと新たな発明をアローナがしたということですね。

堀辺　そうです。あのヒザ蹴りの写真をもう一回見てください。他の人の姿勢と彼の姿勢にひとつ変化があることを気づかないといけない。それはどこだと思いますか？

――重心の問題ですか？

堀辺　もちろん重心の置き方もあるんだけども、もっと端的に言うならば、背中なんですね。ヒザ蹴りを出すとき下手な人だったら背中は丸っこくなるし、上手い人でも水平ぐらい。ところがね、アローナは背中がこうなってる（自らエビぞりポーズをとりながら）！

――エビぞり！　もしくはしゃちほこですか！（笑）

堀辺　そういう表現で言っていいね。それが完璧に出てきてる。そして足が上がった分だけ逆に胸が下にあるんです。重心が下にあるぶん威力が増すわけですよ。だからアローナの勝利は決して偶然じゃないんですよね。あのエビぞりの形を見て、アローナが稽古の中で技術を進化させてきたということが一目でわかりましたよ。形っていうのは機能を表しますからね。

――たしかに美しかったですよね、あの形は。

堀辺　機能美があった。だからあの形の中にいままでとは違った威力、4点ポジションにおけるヒザ蹴りの有効性というのを彼は生み出してあのリングに上がっていたわけです。

――それはやはり組技世界一、特に押さえ込みの強さには定評があるアローナならではの打撃なんでしょうか？

堀辺　そういうことですね。その、抑え込む、あるいは抑え込ませないという寝技の基本あってのことなんですよ。アルティメット以前は寝技になったときには打撃を使わないようになってたでしょ。それは打撃を出すと抑え込みが解除される危険性が高いというところからきてるわけ、そもそもね。

――そういえば吉田秀彦選手が言ってました。ヴァンダレイ・シウバのサイドをとったとき、柔道式に押さえ込むだけならずっと押さえ込める。でも、そこからパンチを出そうとするとシウバが逃げちゃうって。

堀辺　まさにその通り！　一般の人はどんなヒザ蹴りを出しても、形が似てるから「ああ同じ技だ」と考えるけれども、形だけで機能を判断しちゃうのはド素人なんですよ。確かに形と機能は密接に関

係してるけれどもね。しかし、例えばクルマの新車が出た場合に、スポーツカーなんかでもどの部分をカットしてどの部分が流線型になったかとかで、マニアはどのぐらいスピードがアップするかっていうのはわかるわけですよ。

——新幹線の新型なんかも全部そうですよね。

堀辺　今回のアローナは胸が凸面になった状態で足を上げるっていうことと、抑え込みが同時に可能だったと。簡単に言うけども、実際の試合の中であれを出すっていうことは大変なことですよ。しかも、形は似ていても明らかに進化した技術だったわけだから。例えば「R」という技があったとしたら、形としては「R」という記号でみんな表せるかもしれないけども、アローナのヒザ蹴りは「R'(ダッシュ)」という表現に変わる。要は質が違うということです。いままでの『PRIDE』も、毎回毎回微妙に進化してきたわけですけど、そんなことを追求する人があまりいなかったから、マスメディアでも論じられていなかった。けれども、本当はそういうことを追求したらものすごく面白いことがいっぱいあるんですよ。

——さっきの自動車の話で言うと、マニアならそこを見るべきであり、それがわかるとより面白く見れるわけですね。

堀辺　そうです。今回はとくにそういうことが象徴的に起きたけれども、それに類することはいままでにいっぱいあったんですよ。そういった革命的な〝発明〟を次々と発表してきたのが、何を隠そう桜庭選手だったわけですよ。

——ある意味、サクは『PRIDE』の発明王だったわけですね。

堀辺　だったんです。例えば猪木ーアリ状態からの足越えなんていうのは桜庭が発明したパターンがいっぱいありますよ。飛び上がって相手の顔面を踏みつけたり、あるいは手をついて一回転して反対側にいっちゃうとかね。こういうことは例えばヒクソンの柔術セミナーとかでも教えてくれなかったでしょう。より正確に言うと、教えてくれないんじゃなくて、教えられない。寝技をあれだけ深く研究した一族の中にも、あの技はなかったんです。

——発想がなかったということですね？

堀辺　IQレスラーっていう名前がついてるように、いままでの定説を桜庭は破った。そういう技をね、試合の中で作ってしまったわけですよ。そうすると、はじめて使う技をやられた相手はどう対処していいかわからない。それでグレイシーは敗れたんです。

——逆に言うと、グレイシーを破る方法を発明したから、サクはグレイシー一族を次々と打ち破ったわけですね。

堀辺　そういうことですね。だから桜庭選手も『PRIDE』という闘いを進化させた大きな主要選手のひとり。いままで桜庭選手を評価するときに、桜庭が『PRIDE』の闘いを進化させたと考えた人はほとんどいなかったんですよ。ただ面白いっていう評価だった。それも間違ってはいないんですよ。でもそれは観客側に立った桜庭論なんです。もちろん「お客さんに満足してもらいたい」っていう桜庭の気持ちを汲めば、彼の意にも適ってるんだけども。もう一つ格闘技の専門的見地から言えば、桜庭選手は新しい技をどんどん作ってきた発明王であり、それによって『PRIDE』を進化させた立役者なんです。

——サクは試合をすることで『PRIDE』の人気を上げるだけでなく、『PRIDE』の試合レベル自体を上げていったと。

堀辺　いまのシュートボクセ勢を見ればそれがよくわかりますよ。彼らはある時期は桜庭を倒すことを最大の目標にしていたわけです。シウバはその象徴とも言える。だから桜庭から得た発想をもっと追求して、猪木ーアリ状態で上になった場合のバリエーションを徹底的に発展させることができた。



いまやPRIDEマットのスタンダードとなった"猪木ーアリ状態"からジャンプ一番攻撃に転じるテクニック。これももともとはと言えば、桜庭の思いつきによりPRIDEで初公開されたものだ。

でも、もし格闘界に特許権があるならば、その最初の特許出願をしたのは桜庭です。桜庭選手はそういった〝特許〟がPRIDEファイターの中でもっとも持っている人なんですよね。その進化の代名詞である桜庭を今回アローナがさらに新しい〝特許技〟で破ったところに、『PRIDE』の奥深さを感じますね。「進歩したからもうこのへんでいいだろう」と思っていると、またそれを破るヤツが出てきて、実効性のある技を作ってしまうという。そこが『PRIDE』の最大の面白さでもあるんですよ。

——『PRIDE』もそろそろ技術的に成熟期に入って来たかなと思ってましたけど、まだまだ進化の途中だったんですね。

堀辺 そういう意味でいうと、アローナvs桜庭戦ってのは勝敗の重みももちろんあるんだけども、『PRIDE』の面白さを違った形で伝えた試合なんですよ。『PRIDE』の奥の深さ、進歩の度合いというものを見せてくれた。ということは『PRIDE』はもう進歩しないと出てこられないリングになっちゃったということですよね。

——いや、ホントにすごいリングになってますよね。例えばパウエル・ナツラだって、数年前の『PRIDE』だったら、もっとセンセーショナルに強さをアピールできたと思うんですよ。

堀辺 いや、あのナツラはすごい選手です！　最初に地上波で見たときは短く編集されてノゲイラが勝ってるところからの映像だったから、「あれ、ナツラってこんなに弱いはずないな」って思ってたんです。でも、あとでノーカット版を見たらやっぱりある時点まではナツラがノゲイラを寝技でリードしてましたね、完璧に。だから、地上波でしか見てない人は「金メダリストっていうけれど、大した選手じゃないんじゃないか」って評価したと思うんですけど、あればはっきり言ってテレビ局の出し方が悪い！　あれだけの選手のいいところを何も視聴者に見せられなかったという点では、あの編集は難ありですよ！

——せっかく柔道界から超大物が総合に参戦してきたのに、もったいないですよね。

堀辺 だからマッチメイクについても、もう少し考えてほしいですね。デビュー戦で百戦錬磨のノゲイラとやらされたら、いくらナツラでもそりゃ勝てませんよ。『PRIDE』のトップレベルはそんな簡単なもんじゃないです。あのナツラをしたって勝てないのは当たり前。しかし、これまでいろいろ柔道選手が『PRIDE』のリングに上がってきましたけども、はっきり言ってナンバーワンの素質を持ってますよ、ナツラは。それは間違いない。ああいう素材のいい選手が『PRIDE』のリングに上がるという決心をしてくれたんだから、主催者側は1回か2回ぐらい別の人と試合をさせて、試運転をさせてやるぐらいの配慮があってもよかったんですよね。決して甘くしろということではないですよ。

——〝門番〟レベルの選手に勝ってから、徐々に相手のレベルを上げていくのがスポーツとしては当たり前ですもんね。

堀辺 本当はね。ヒクソンなんかは400戦無敗って言ってるけれども、ちょっとこれはいろいろ「?」がつくわけですよ。

——一説には佐山サトルさんが思いつきでつけたキャッチフレーズだって話ですからね（笑）。

堀辺 でもナツラの戦績っていうのは絶対に「?」がないわけですよ。彼がもし『PRIDE』で勝ちつづけていたら、またさらに〝無敗男〟っていうのが誕生したんですよね。『PRIDE』の中に無敗男がいてくれたら、『PRIDE』もナツラもまた輝けたんです。



柔道金メダリストとして鳴りもの入りでPRIDEデビュー。いきなりノゲイラと対戦し寝技で善戦するも1R8分38秒、マウントパンチで敗れたパウエル・ナツラ。しかし、デビュー戦とは思えぬ闘いぶりは、大きなるポテンシャルを感じさせた。

——神話ができるわけですもんね。

堀辺 そう！　その神話をつくれる逸材をああいう形で早々と潰してしまったっていうのは、興行的にはマイナスじゃなかったかなと思うわけですよ。

——それはドリームステージさんに警鐘を鳴らしたいですね（笑）。

堀辺 彼の才能を持ってしたらね、そのうちチャンピオンとやっても勝てますよ！　そういう素材を未熟な段階で〝キズもの〟にすることはない。

——あのミルコ・クロコップだって、最初は完全なPRIDEルールではやらずに、徐々に『PRIDE』の闘いに慣れていったわけですからね。

堀辺 そうでしょ？　もしミルコが最初からチャンピオンとやって負けてたら「ミルコって別に強くないね」で終わってたんです。それを考えてほしい！　素材のいい選手っていうのはただでさえ少ないんだから。そういう選手は甘やかすんじゃなくて、もっと輝ける状態をつくってやって、それを世界に発信する。『PRIDE』から発信するっていうことは観客にとっても嬉しいし、『PRIDE』っていう主体にとっても重要なことじゃないかなって思うんですよね。

——そういった意味での〝育成〟も、主催者側のプロデュース能力にかかってきますもんね。

堀辺 大会っていうのは幻想と現実っていうのが交差することで、よりいい状態で発光体になるわけですよ。いつも光を放っている存在になる。ナツラに関しては幻想が足りなかったよね。それに桜庭戦にしても、スポーツ紙なんかを見ると「桜庭が弱くなった」っていう報道もずいぶんあったわけだけど、これははっきりいって全部ペケだね！

——全部ペケですか！（笑）

堀辺 まったく間違った考え！　桜庭が弱くなったっていう報道には警鐘を鳴らしたいし、それこそドドドドド素人ですよォ！

——「ド」が5つもつく素人ですか（笑）。

堀辺 なんならもう2つ3つ付けてもいい！　先ほど言った『PRIDE』が進化してるってことを見てないからそういう結論がでてくるわけ。桜庭は何も弱くなってないんだよ。弱くなってるんじゃなくて周りが強くなったの。具体的に言うと、もともと体力とパワーで勝る外国人選手が桜庭の〝発明〟を研究して自分のものにして、アローナなんかは〝桜庭殺し〟のテクニックを完成させたということですよね。そして同時に、あのアローナのテクニックを研究して自分の中に取り入れる作業をもうはじめてる人がいると思うんです。それが『PRIDE』のリングなんですよ。

——そうやって、いま『PRIDE』はこれだけ進化しているのに、見る側、伝える側は、相変わらず負けたらこいつ弱い、しょっぱい、使えないってなってしまう。そこに警鐘を鳴らしたいですよね。

堀辺 そうなる理由はね、ひとつは〝反動〟なんですよ。

——反動ですか？

堀辺 これまで『PRIDE』は格闘技としてどれだけ凄いことをやってるかってことを盛んに打ち出してきたんですよね。要は「プ

PRIDEはすでにK-1、プロレスとの差別化に成功しているのだから、もう勝負の厳しさを売りにすべきじゃない！

ロレスやK-1とはわけが違うよ」っていうことがあると思うんですよ。

――K-1はともかく、プロレスとはもう、わけが違いすぎますよね（笑）。

堀辺　違いすぎるんだけども、その原点がずっと残ってる。プロレスやK-1との差別化によって『PRIDE』の人気が出てきたはのはたしかです。『PRIDE』って情け容赦ない、凄いリングだぜ。負けたらもう終わりなんだぜっていう全否定か全肯定かどっちかしかない価値観。これが『PRIDE』のリアリズムっていうのを際立たせたわけですよね。とくにプロレスとの対比で言うと、プロレスは負けても何度も出てくるけれども『PRIDE』は負けたら終わり。そこが『PRIDE』の特異性っていうのを際立たせてきた。でもね、はっきり言うけども、『PRIDE』はもう特別にそのことを意識しなくてもいいですよ。だって、もう差別化されてるんだから。

――世界最強のリングってことは定着してるってわけですね。

堀辺　もういままでの歴史の中で『PRIDE』の厳しさってのは世界に伝わってる。だから甘やかすって意味じゃなくて、逆に今度は素質のある選手は育てるっていう気持ちが『PRIDE』に必要じゃないだろうかね。ちょうどミルコを育てたのと同じようなもんですよ。

――そういう意味では、素質抜群の瀧本選手だって田村潔司に負けた次は難しくなりますよね。

堀辺　本当にその通りですよ。

――田村潔司はなんで瀧本選手と試合をしたかっていうと、現時点の瀧本選手の力量を知ってるからですよね。こうやったら自分は負けないってわかってたから試合を受けたと思うんですよ。

堀辺　それはまあプロとして悪いことじゃなくてね。

――たしかに面白い試合ではなかったですけど、違う目で見れば柔道金メダリストを完封できるプロレスラーってどこにいるんだ、っていう話ですからね。

堀辺　だから田村 vs 瀧本に関して言えば、計画どおり柔道金メダリストを破った田村選手は賞賛されていい。でも、田村に負けた瀧本には価値がないと思ってる人は、それこそまたド素人！　あの最後の打撃戦の気の強さとパンチを受けても絶対に目をそらさない、つぶらない根性は大したもんですよ。

――田村潔司がそういった瀧本選手をKOするのをあきらめて判定狙いになったからああいう試合になったっていうことですもんね。

堀辺　だから判定では勝ったけれども、田村選手は対戦者として「この男はとんでもない男に成長するな」っていうのを、胸の中では感じてるはずです。本当に目利きができる人も、瀧本選手は成長していくなって実感してます。もちろん田村選手もえらいですよ。プロレスラーからあそこまでいったわけだから。これはこれでもっともっと評価されていい。

――それにしても、いままで話した内容に全部ついていかないといけないっていうのは、ファンも大変ですよね。

堀辺　大変ですよ！　『PRIDE』で行われる試合は禅問答みたいなものですからね。わかったようでわからなくなる。やっぱり報道する人がよっぽど簡潔に説明して、その筋道を立ててポイントを教えてやらないとファンの頭は混乱しますよ。その点ではね、『PRIDE』はいい意味でプロレス化してるんですよ。

――いい意味のプロレス化ですか？

堀辺　プロレスっていうのは試合があったときに「あーだったんじゃないかな」「いや、こーだった」って疑問がいっぱい残るわけ。

――プロレスは試合観ただけじゃどっちが強いかなんてわからないですからね。

堀辺　それと似たようなことが最近『PRIDE』には出てきてるんですよ。試合を勝敗だけで見ていては、本質は見えてこないんですよ。どうしてこういう結末に至ったのか、自分の頭の中で整理できないほど『PRIDE』は進歩しちゃってるの。だから勝ち負けははっきりついているんだけども、納得がいかない試合が出てきたわけなんです。そういう点でプロレスと似てきたんですよ。だから先ほど『PRIDE』は禅問答だと言ったんです。いや、これは素晴らしいことですよ。

――こういう時代に突入すると、今度はマスメディアの質も問われてきますよね。

堀辺　どこが一番、より禅問答の『PRIDE』を解説できるか。それができるところがファンを獲得できる時代に突入したということですよ。その意味ではね、"プロレスの復権"なんですよ。『PRIDE』という言う名の新たな謎解きゲームの"プロレス"がまた誕生しつつあるんです。

――そう言えば、むかしはよくプロレス研究会っていうのがありましたよね。

堀辺　そうそう。今度は『PRIDE』研究会ってのが出てこないといけない。いまの時代は"P研"だね（笑）。

――"P研"ですか（笑）！

堀辺　『PRIDE』の"P"！　青山学院大学P研、早稲田大学P研っていうのがあちこちに誕生して、「オレたちはこの試合はこう感じて、こういう結論だ」と。「オレたちP研の意見はこうだ」と。そういったことを語り合えるのが『PRIDE』のよさなんですよ。

――ターザン山本風に言うと「『PRIDE』を語ることは喜びである」ってことですね（笑）。では、そのP研の総本山として、これからも先生にはたびたびお話をうかがいに来ますので、これからもよろしくお願いします！

【05年7月5日／新宿にて収録】



田村の距離をとってのローキックと前蹴りに、自分の闘いをさせてもらえなかった瀧本だが、ラウンドを重ねる毎に地力を発揮。見事なクロスカウンターを田村の鼻に直撃させる場面も。

GP決勝前に揃えておけ！ PRIDEグッズ好評発売中!!



NEW
PRIDE
グローブキーホルダー
¥1050(税込)



ブラジリアン・トップチーム・ロゴ Tシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト／ブラック] ¥4200(税込)



ブラジリアン・トップチームTシャツ
[S·M·L·XL　ブラック／ホワイト／ブラウン] ¥4200(税込)



ヒョードル・イーグルTシャツ
[S·M·L·XL　ブラック／ホワイト] ¥3990(税込)



PRIDE.COM Tシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト／ブラック／カーキ／グレー] ¥3990(税込)



シウバ HEAD TATOO Tシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト／ブラック] ¥3990(税込)



teamCROCOP Tシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト／ブラック] ¥4200(税込)



武士道 花札Tシャツ
[S·M·L·XL　ブラック／ホワイト] ¥3990(税込)



武士道Tシャツ
[S·M·L·XL　ブラック／ホワイト] ¥4200(税込)



美濃輪無謀美Tシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト／グレー] ¥3990(税込)

ヒョードル・
イーグルキャップ
¥3150(税込)





ヒョードル・
リストバンド
¥1050(税込)



桜庭 モンゴリアンチョップTシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト] ¥3990(税込)



桜庭 炎のコマTシャツ
[S·M·L·XL　ホワイト] ¥3990(税込)



team CROCOP スポーツタオル
¥3150(税込)



ヒョードルジャージ
[M·L·XL　レッド] ¥9345(税込)



桜庭ジャージ
[M·L·XL　オレンジ] ¥9345(税込)




シュートボクセ・ジャージ
[M·L·XL　ブラック] ¥9345(税込)

非会員でもショッピング可能!!

アクセス方法

DoCoMo　iMenu ▶ メニューリスト ▶ スポーツ ▶ 格闘技／大相撲 ▶
au/TU-KA　トップメニュー ▶ カテゴリで探す ▶ スポーツ ▶ 格闘技 ▶
vodafone　メインメニュー ▶ メニューリスト ▶ スポーツ ▶ 格闘技 ▶


紙のプロレス Hand ▶ 紙プロ ショッピング


紙のプロレス
RADICAL
No.90 次号予告
ミルコ・
クロコップ
クロアチア現地取材第2弾
ヒョードルの
強さに迫る
『レッドデビル』徹底研究
その他、GP情報満載!!
読まずに、観れるか?
PRIDE
PRIDE GP決勝戦
直前特大号
8月19日(金)発売
※地域によっては多少発売日が遅れます

美濃輪が！
ヨアキムが！

熱い!! 暑い!!
『武士道ー其の八ー』
尾張・名古屋で





大炎上!!

五味が！ 川尻が！
ついでに大久保ちゃんも！



リニューアル
第1弾に続き、
特化追撃戦も大成功！

PRIDE武士道・其の八

7.17名古屋レインボーホール／9784人
（佐伯さんもご満悦の満員）

いまからでも遅くはない。この格闘現象に乗り込め！

『武士道』という名の気概が地熱を生んだ！

○五味隆典
●ジーン・シウバ
［2R 判定3-0］

前回に引き続きメインを任された五味は、ルイス・アゼレード戦で因縁が生じたシュートボクセからの刺客、ジーン・シウバを迎え撃った。1Rから積極的にKOを狙う五味は終了直前、アームロック、チョーク、腕十字と怒濤の攻勢！　結局、判定決着となったがそのアグレッシブさは光った

○川尻達也
●ルイス・ブスカペ
［2R 判定3-0］

ブラジリアン・トップチームのブスカペに試合早々、打撃で先手を取られた川尻。バックを奪われ、たびたび抱え上げられマットに叩き付けられる。あとがない最終2R目、川尻はテイクダウンからのパウンド攻勢、パスガードにも何度も成功！　顔面踏みつけも炸裂させて、ここいちばんの地力の差をみせつけた

会場に入ってまず驚いたのは、客入りのよさだった。まだまだ一般層には完全に定着しているとは言いがたいはずの『PRIDE武士道』、しかも地方大会で、掛け値なしの満員御礼。日本人選手が入場すると自然発生的に拍手が沸き起こる。じつにいい雰囲気。『武士道』に地熱というか地力というか、そういう確実なパワーがついてきたことの証明だろう。その推進力になったのが、五味隆典の存在であることはいうまでもない。『PRIDE』の舞台で求められるものが何なのかを、五味は完璧なまでにリングで表現してきたのだ。もちろん、この日も。

五味の対戦相手はジーン・シウバ。前回のルイス・アゼレード戦での五味の〝暴走〟を受けてのシュート・ボクセの復讐戦だ。ただし、実績からいって五味が完勝しておかなければいけない試合でもある。事実、五味は最初から最後まで優位に試合を進めていった。力の差は明らかだった。だが、カポエラをベースとした回転蹴りに手こずり、変則的なタイミングと軌道で繰り出すパンチを何度か被弾。グラウンドでも攻めあぐねる場面が目立つ。パスガードし、バックを奪い、何発となくパウンドを叩き込む。肩固めやチョークが極まりかける場面もあった。それでも、シウバをタップさせることができない。『PRIDE』参戦後、初の判定決着。当然、3－0で五味の勝利なのだが、五味の表情は冴えない。「内容は50点。相手はとにかくハングリーだった。ボクは心に贅肉がつきかけてる」。そう試合を振り返った五味。ただ、試合を見れば五味がどれだけ高いハードルと闘っていたのか、誰もが感じたことだろう。展開としては圧倒し、どう見ても判定勝ちは固い状況だった2R終盤、それでも五味は必死の形相で腕十字を極めにいった。終了ゴングに遮られたとはいえ、その姿勢が五味を『武士道』のエースたらしめているといっていい。

もう一人、『武士道』イズムを感じさせた



○ヨアキム・ハンセン［1R2:34 KO］今成正和●

にらみ合うだけで絵になる“足関十段”vs“北欧の処刑人”。ヨアキムの踏みつけをキャッチした今成がそのまま足関へ！極まったかと思われたが、ここはヨアキムがなんとか脱出し、今成がタックルにきた刹那のヒザ！　ヨアキムはヒットさせた瞬間、そのまま背を向ける会心の一撃。五味を脅かす存在感だ



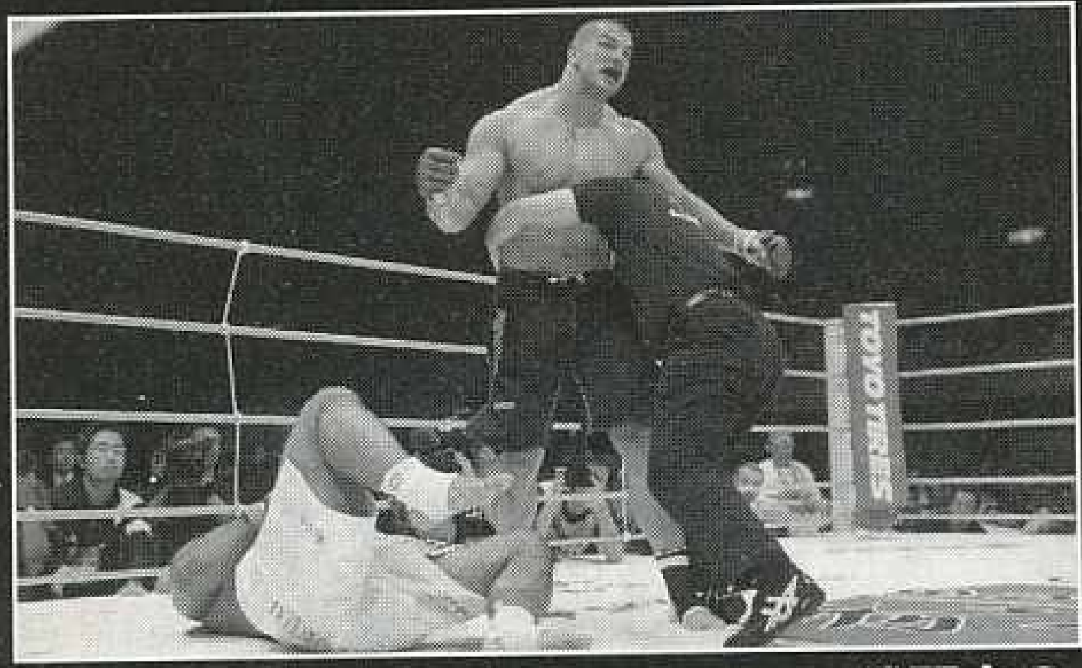
○美濃輪育久
●キモ
［1R3:11 アキレス腱固め］

美濃輪育久のモンスター討伐シリーズ！　タックルで美濃輪の上になり、体重差を活かした戦術で流れを支配しようとするキモだったが、美濃輪が身体をうまく入れ替える！　すかさず足を取り、一気にアキレス腱固めで決着!!　歓喜の美濃輪は「スタンディング・リアル・フィスト８回」で観客と一体化！



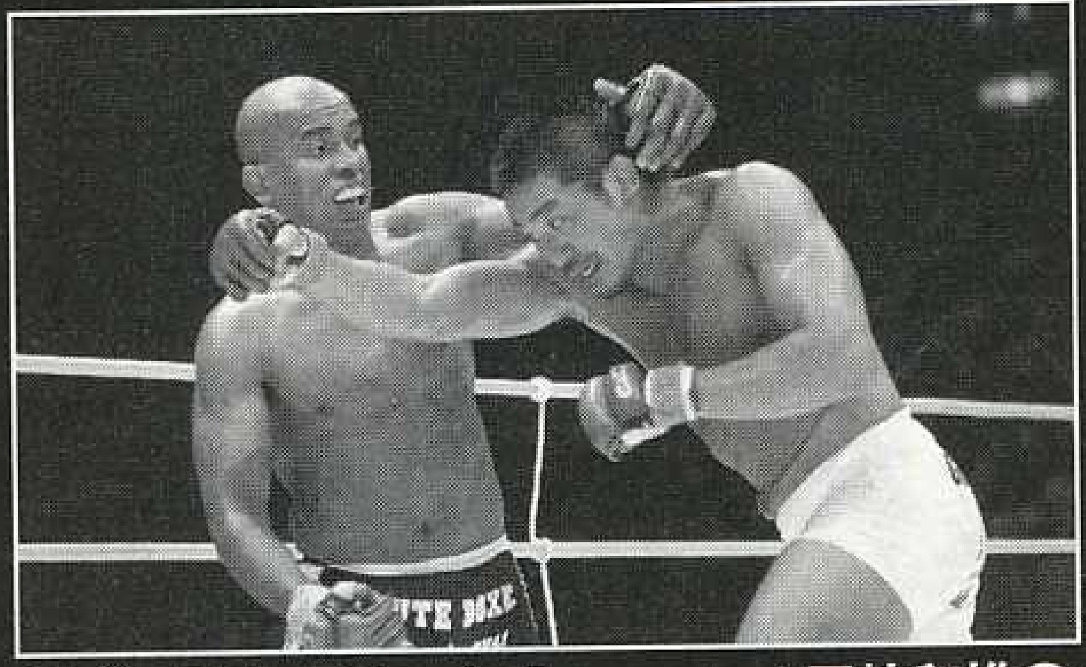
○フィル・バローニ
●長南亮
［1R1:40 KO］

ピラニアvs陽気なアメリカン（＝バカ）対決。長南はみごとなステップでローキックを叩き込みながら、バローニのブン回しパンチ（＝バカパンチ）を回避。しかし、パンチを打つモーションを止めたところをバローニの右フック、さらには返しの右フックがテンプルに炸裂！　長南まさかのKO負け！



○ジェームス・トンプソン［1R1:31 KO］戦闘竜●

気合い入れすぎのためプルプルと顔を震わす“格闘レッドキング”トンプソンがゴング＆ダッシュで襲いかかったが、戦闘竜の相撲の意地、炸裂！　なんとトンプソンの超巨体を寄り切りでロープ際まで押し込む！　最後はパンチでKO負けしてしまったが、そんなことはどうでもいい。相撲、恐るべし！



○ダニエル・アカーシオ［2R 判定3-0］三崎和雄●

郷野に続いてGRABAKAより“ヒットマン”三崎和雄が『武士道』に送り込まれた。相手は『武士道・其の六』で高瀬大樹を踏みつけKOしたアカーシオ。所属はシュートボクセ。打撃に自信を持つ両者は激しいボクシングマッチを展開。しかし、両者ともに決定打が飛び出さないまま判定へ



○マーカス・アウレリオ［2R 判定3-0］中尾受太郎●

修斗で活躍し、DEEPウエルター級王者の受太郎が『武士道』初参戦。対するアウレリオは、柔術でホイラーを下した剛の者で、ZSTではレミーガを撃破した実績がある。このライト級GP（73キロ以下）出場へ生き残りを懸けた一戦は、アウレリオが出血に悩まされながらもしぶとく勝利した

中・軽量級世界最強トーナメント
ライト級＆ウエルター級GP開幕!!

【日時】9月25日　開始16:00
【会場】東京・有明コロシアム
【特別先行電話予約】8/7(日)10:00〜18:00
【一斉発売】8/21(日)10:00〜
【チケット料金】
VIP ¥50000
(特典:専用入場ゲート&グッズ)
RRS ¥23000
スタンドS ¥13000
スタンドA ¥6000
【お問い合わせ】ドリームステージエンターテインメント
TEL.03-5464-1531



○ジョシュ・トムソン［1R2:35 膝十字固め］杉江“アマゾン”大輔●

愛知のジム「ALIVE」所属の修斗世界ランカーにして柔術黒帯の杉江“アマゾン”大輔がPRIDE初登場。対するジョシュ・トムソンはUFCの猛者だ。序盤、組み付いた杉江はフロントスープレックスで投げて上に乗る。杉江はサイドに移行して腕十字!!　ガッチリと入ったかに見えたが、トムソンは身体を回転させて脱出。目の前にあった杉江の足を取って膝十字固め！



○デニス・カーン［2R 判定3-0］アンドレイ・シモノフ●

ウエルター級（83キロ以下級）強豪外人ファイター同士の潰し合い。カーンはアメリカン・トップチーム所属、シモノフはヒョードルと同じレッドデビルに籍を置く。試合は早々にカーンが右フックで主導権を握るが、シモノフが徐々にカーンの攻撃パターンを見切り、互角の攻防が続く。勝負は判定にもつれ込んだ

のが川尻達也だ。かつては五味も73kg級トップ争いのライバルとして対戦を希望したルイス・ブスカペという強豪との一戦を課せられた『武士道』2戦目の川尻は、それを見事にクリアしてみせた。結果的には判定勝ち。試合後にオーバーワークで体調不良だったことを素直に吐露したあたりはまだ甘いという感じだし、「こんな試合で五味くんがどうのなんて言えない」というコメントも、まあその通りだろう。ただ、川尻も五味同様、最後の最後までKOを狙い続けた。終了間際に見せた顔面踏み付け攻撃の気迫。そこはキッチリ称えておきたい。

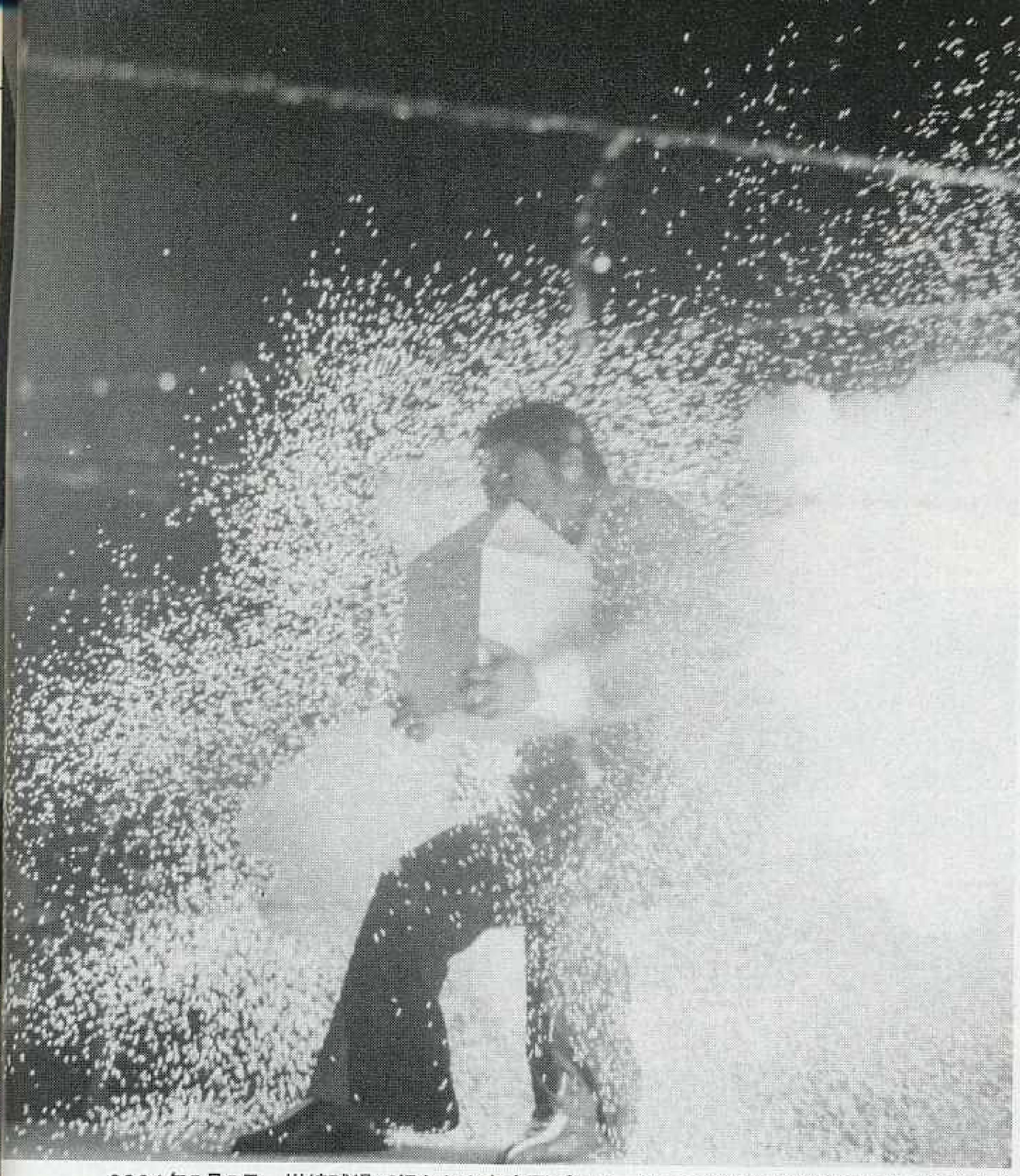
五味も川尻もよく分かっている。『武士道』に何が必要なのかを。それはつまり、五味の言葉を借りれば「『武士道』を引っ張りたいし、何かを起こしたいんです」ということだ。勝つだけではいけない。出て満足なんてもってのほか。そういう気概を見せることが『武士道』ファイターの条件なのだ。今回は9月の『武士道GP』を控えた大事な試合。まして日本人選手の対戦相手はことごとくツワモノ揃いだった（長南亮や三崎和雄は、本領を発揮できないままに敗北を喫している）。であれば「まずは確実に試合をモノにする」という姿勢になってしまってもおかしくはない。そんな中で、あくまで勝利以上の価値観を求めていった五味と川尻。こういう選手がいる限り、『武士道』が『PRIDE』本戦の二軍で終わることはないだろう。

最後に、美濃輪育久について触れておきたい。キモとの体重差対決を鮮やかなアキレス腱固めで制した美濃輪は、インタビュースペースでこんなことを言ったのである。

「昔、『U-JAPAN』って大会でビガロ選手がキモ選手に負けてるんですよ。それがずっと悔しくて、いつかカタキを取りたかった」

最高。ただただ最高。

（橋本宗洋）



2004年5月5日、川崎球場で行われた冬木軍プロモーションの冬木弘道追悼大会で橋本さんは冬木さんの遺骨を持って有刺鉄線電流爆破に自ら突っ込んだ。

橋本真也・元マネージャー村田氏 記者会見発言緊急掲載

「橋本さんは冬木薫さんと婚約していました」

7月21日の夜、翌22日の午前11時から都内ホテルで「故橋本真也と冬木薫についてのコメント発表」と題した記者会見が行われるというプレスリリースが流された。当初、会見に出席する予定だった冬木薫さんは体調を崩したため、会見直前に橋本真也さんの元マネージャー・村田知隆氏がひとりで会見に臨むことが決定。プロレスマスコミはもちろん、ワイドショーのTVカメラやレポーター、さらには一般マスコミも集まる中で会見が行われた。本誌は締切当日だったが、急遽誌面を変更してこの会見の模様を全文掲載します。

構成／坂井ノブ・ささきぃ

本日お集まりいただきましたのは、冬木薫に対しての多くの取材の申請などが殺到しておりまして、この状況を収拾するためということと、皆様に噂や憶測に基づいた記事や、過度の取材、橋本、冬木双方にお子さんがいらっしゃいますので、過度の取材の自粛・自重をお願いいただくためのコメントでございます。

えー、出席にあたりまして、冬木のほう、直前まで出席を予定していたんですが、現在、病院のほうに入院しておりまして、直前まで調整していたんですが、やはり状況は、表に出せるような健康状態ではないということで、えー、たいへん恐縮なんですが、わたくしひとりのみの出席でコメントをさせていただきたいと思っております。

基本的に事実のみをお話させていただきたいと思っております。橋本真也に誓って、すべての事実をお話させていただきます。

本日のコメント出しの流れですが、大きく3つに分かれてまして、ひとつめが葬儀についての、葬儀委員長からの報告、ふたつめが冬木薫について、代弁して私から発表できることをすべてお話したいと思っております。

さんばんめが橋本真也の今後につきまして。取り扱いといいますか、生前マネージャーを務めておりました私のほうから、見解などをお話しさせていただければと思っております。

とにかく、橋本さん本人は間違いなく揉めごとや、争いごと、リング外でのそういうことは間違いなく望んでいない方なので、そういった前提のもとで取材をしていただくように何卒よろしくお願いします。

それではあの、まず葬儀について。石田葬儀委員長に代わって御挨拶させていただきます。

非常に混乱した状況で行われながら、多くの方にご参列いただきまして御礼を申し上げます。また、混乱のまま整理し切れていない状況についてお詫び申し上げます。

なお、葬儀の香典の取り扱いにつきましては、葬儀にかかわる費用を差し引いた後、息子さんである大地くんほかお子さん3人に全額お渡ししたいと思っておりますが、金額の調整をただいまやっているところでございます。少しでも残るように葬儀委員会のほうで調整をさせていただいております。

ひとつめの件については以上です。ふたつめにつきまして、お話しさせていただきたいと思います。

冬木薫と、橋本真也のほう。交際のほうがございました。この点につきまして、あらためて正式に発表させていただきたいと思います。あの、噂や憶測や、間違った内容の記事があまりにも多いので、この点につきましては、明確にいまこちらで発表させていただきたいと思います。冬木と橋本の関係ですが、橋本真也が亡くなる直前の状況を言いますと、復帰後、結婚ということで話は予定しておりまして、6月の時点で婚約というかたちをとっておりました。このほか、そうですね、ご存じのとおり冬木薫さんのほうで、一昨年の3月に、ご主人である冬木弘道氏が亡くなられたので。そのあと、橋本選手、橋本さんのほうから、会社のことなど、相談にのる状況のうちに、橋本選手のほうからどうしても、と、恋愛関係に至ったというふうに聞いております。冬木薫の件につきまして、ご質問等がありましたら今受け付けたいと思いますが。

（以下、リポーターからの質問に対して）

——おかげんが悪いということですが、今後なんらかの形で記者会見の予定は。

村田　本日、本当に直前まで会見を予定していたので。今後まぁ、会見なり個別の取材を行うというのは、いまのところ来週半ば以降であればきちんとしたお話が出来ると思います。



一般誌などでは橋本さんとの交際が報じられていた冬木薫さん。体調が戻り次第、公の場に出てくる意向があるという。

——お話いただける範囲で構わないんですが、最後の状況というのは、どんな状況だったのでしょうか。

村田　私のほうが、（11日の）午前10時ごろに病院につきまして、その時点で冬木が待合室で取り乱している、というか気が動転している状態でして。えー、10時30分ごろに、病室の、集中治療室の中に入りまして。CTのほうを見せられまして、脳幹出血であると説明を受けまして。10時36分に、私と冬木2人で看取らせていただきました。

心臓のほうはもともと良くなかったので、単なる発作かと思いまして。これまでも、橋本にかかわることはなるべく記録を残したいと思っておりまして。ビデオテープを午前中も回したりしていたんです。ですが病院に入ったとたん、通常と違う状況だったという感じですね。自分のほうももちろん動転はしていたんですが、冬木のほうも、涙を流して。あの、橋本さんに向けて。

——橋本さんは元奥さんに対しては、どういう形で連絡を差し上げたんでしょうか。

村田　当日も12時くらいから、業界の関係者の方たちから連絡が入って、とりいそぎ生前親しくしていた友人の方たちを呼びまして、それから対策ということで、えー、岐阜の育ての親の方にどなたかが連絡をとったと。非常に混乱していましたので、誰がどう連絡をとったかというのは、思い出せないくらいの状態でした。

——橋本さんが亡くなられてから、冬木さんと元奥さんとお話しをしたり連絡をとったりというのはいかがでしたか。

村田　えー、自分のほうが把握している限りは、直接話したりということはないと思います。かずみさん（元夫人）のほうから伝言という形で、自分のほうが受けて、連絡をとったりということはありました。

——差し支えない範囲で、どういった連絡をされたのか教えて頂けませんでしょうか。

村田　申し上げられる範囲ですと「いろいろありがとうございました」というお言葉はいただきました。

——それに対して冬木さんは。

村田　あの、もう心労のほうが激しくてで

●蝶野正洋、武藤敬司、小川直也、大谷晋二郎が発起人となり『橋本真也プロレス界・プロレスファン合同葬』が7月30日（土）12時〜15時、東京・青山葬儀所でとり行われる。

すね、あまりそれに対して答えられる状況ではなかったと思います。混乱の中で動いていた話なので、それに対してどうだという状態ではなかったです。

——元の奥さんは、一時は悔しかったり、つらい時期があったと思いますけれども、それでも最後まで一緒にいてくれて感謝していますというような気持がこめられていると思いますが、その気持ちについては冬木さんに伝わっていますか。

村田　はい、それがまぁ、ありがとうございましたという言葉だと。

——今後の約束もしてらっしゃったということで、ショックを受けていらっしゃると思いますが。

村田　あの、亡くなったときの状況で、一番心に残ったのは、自分が泣いてはまずいという状況だったので、冬木を自分が支えるという感じだったのですが、「先に死なないと言ったのに」というようなことを言ったんですよね。前回のことをふまえて言ったと思うので、それが一番つらかったですね。

——短い期間に大切な方を2人、失われたという形になりますけれども、近くでご覧になっていて、現実をどのように受け止めていらっしゃるんでしょう。

村田　前回のことももちろんですが、今回のこともつらいと思うんですが、体調も崩しているのと、なるべく違う話題にと、周囲のほうが気をつかって。少しでも早く体調が戻るのをまつ形ですね。

——来週にでもまたこういう形で、体調が戻れば。

村田　来週にでも、またこういった全体での対応になるか、個別での対応になるかわかりませんが、本人としては、一部報道といいますか、事実でない報道に関しては大変心を痛めていますので、自分が出ることで誤解が解けるのであれば、橋本さんの気持に報いることが出来るのであれば、出たいと申しております。

——間違った部分の報道というのは、具体的にはどんな部分が。

村田　わたしのほうもすべての報道に目を通しているわけではないんですが、たとえば噂になっている報道というのは？

——（別の記者から）お亡くなりになる直前というのは、もうほとんど同棲状態というか。

村田　はい。救急車に乗ったのも冬木です。

——だいたいどのくらいの期間一緒に暮らしてらっしゃったんですか。

村田　完全な同居状態になったのは今年に入ってからだと思うんですが、はっきりいつからというのはちょっと。自分も1年数ヶ月しかついていないもので、そこまでプライベートなことはお話しできる立場じゃないので。また冬木のほうから発表があると思います。

——婚約というのは正式な婚約をされている状態で。

村田　何をもって正式な婚約というのか、自分もちょっと結婚をしたことがないので。まぁ、親しい友人の前で。それほど、というか全然高価ではないんですが、指輪のほうをと言う話を聞いています。

——双方にお子さんがいらっしゃると思うんですが、お子さんたちのほうにもなんらかの報告はされているんでしょうか。

村田　あの、そこまでは。なにぶん6月あけて7月11日の話なので、そこまでの話はしていないんですが。お子さんの話は今日のコメントでもさしひかえたいと思います。マスコミの方にも自重をお願いします。

——橋本さんの存在というのは、冬木さんの側のお子さんにも。

村田　同居していましたから、そのことについては（知っていたと思います）。自分が聞いている限り、仲もいいと聞いています。橋本さん自身が、プライベートな部分では子どもっぽいところがあったので、兄弟のようなほほえましい会話をしていると聞いています。

——橋本さんが冬木さんとの結婚を決意されたというのは、どういう点なんでしょうか。

村田　それは、冬木のほうからぜひ。自分のほうから言って、また、あの、伝聞した形というよりも、そうしていただいたほうがいいかと思います。そういう形で。それでは、最後に橋本真也さんの今後の権利等につきまして、生前マネージャーである私のほうからコメントさせていただきたいと思います。


橋本真也の最後を看取ったマネージャーの村田知隆氏が会見に臨んだ。

えー、橋本さんのマネージメント権等につきましては、亡くなった時点で消失したものと考えておりまして、えー、私のほうから橋本さんについてどうこうしたいということを強引にすすめるつもりはまったくございません。ただ、一部報道にもありますように、法廷相続人として3人のお子さんが、相続されることになっております。債務につきまして、お子さんのところに債務がかかるという懸念が自分の中でたいへん心苦しい部分で残っております。生前橋本さんの身近にいたものとしては、橋本さんが復帰してからのプラン、夢みたいなものをすごく聞いておりましたので、それを実現したいという意向がございます。私のほうには、ございます。

ただし、相続人であるお子さんの承諾を頂かない限りは、自分のほうから強引にことをすすめるつもりはございません。橋本さんの夢の、当面の夢といいますと、お子さんへの養育費。実際のお子さんへの養育費の支払いと、債務の返済。これは、有限会社ゼロ・ワンの分すべてと、個人で折っていた分すべて。その中にはもちろん星川選手の治療費等も含まれるんですが、そこらへんの債務の返済は、私のほうとやっておりましたので、自分の意向としては、債務のほうを、もし可能であれば、わたしのほうでいったん預かる形で、債務を返済しつつ、お子さんへの養育費をお支払いしていく。平行して期限をきめて、できるところまでになると思うんですが、やっていきたいという意向があります。

ただし、私のほうも冬木に近かった人間として、感情的にシコリがある方もいらっしゃるかと思いますので、冬木さんのところからは、まったく離れた状態で、監督等をおき、完全に透明性のある状態でもし出来ればと思っております。ただ、先ほど申し上げましたように、相続人の方の理解と委任と、プロレス界全体の賛同がなければこれはできないことだと思っております。もし、そういった賛同が得られれば、橋本が描いていた夢を、やっていけたらと個人的には考えております。が、それによって、自分がやるということで、前に出たり、ビジネスをするということでは全くございません。以上が、私の、生前マネージャーを務めていた私としての意見でございます。

冬木につきましては、本人の状況もありますので、しばらくの間窓口として私のほうにご連絡をいただければと思っております。来週にはまず間違いなく、皆様の前でコメントをさせていただくことが出来ると思いますので、何卒そのときにはよろしくお願いします。

（以下、会見後の囲み取材で）

村田　お子さんに債権がいくということは、基本的に相続放棄という形になると思うんですね。それは橋本が望んでいることではないと自分で思っているので、ただそれは難しいところで、俺がそうする、と主張しているわけではないんです。もし、まわりの皆さんが賛同していただけるのであれば、自分はそれをやりたいというだけの話です。

いったん債務をたとえばなんですけど、（有）ゼロ・ワンがまだ残っているので、そこの人間として、監督等は別において、橋本にかかわる本だとかＤＶＤの発売だとか、そういう話は聞こえてきてるんで、そこらへんを債務にあてることは可能なんじゃないかという考えなんですが、あくまでいまこれは自分個人の考えで。まったく冬木さんとも別の場所の話なんで。

——それは橋本さんの意志をくんで、村田さん本人が個人的に考えているということですか。

村田　そうですそうです。それで、自分に権利があるとか、俺が全部やってやるとか、そういうつもりは全くないです。

——法律的にはどうなるんでしょうか。

村田　弁護士さんにはそういう形があるというアドバイスをいただいただけで、具体的にどういう形だったらできるという概要を聞いただけで。こまかいところまで冬木さんも債務を帰したいと本人が言ったことは間違いないので、「やってくれるんだったらやってほしいけど、私と離れたところでちゃんとやってくれれば」と。お子さんの了承とプロレス界全体の協力があれば、難しいことではないと僕は考えているんですけど。そこでやっぱり違うことを言うかたがいると、自分は出来ないと思っています。

——現在での債務はどのくらいなんでしょうか。

村田　もともとあったゼロワンの債務と、橋本個人の債務で、金額についてはまだちょっと言える状況ではないですし、自分が言える状況では全くないので、死後もマネージメントをやる権利は自分にはないと思っているので、あくまで生前ついていた人間としてコメントさせていただいているという状況です。

——具体的に、イベント開催などを考えていらっしゃいますか。

村田　いまそこまで具体的に全く考えてるわけではなくて、このことで業界的に名をあげてとか考えているわけではなくて、いろいろ企画していただいているものの受け皿として、地味に契約関係のことをこなしていく立場になれれば。

——（有）ゼロ・ワンが債務を受け継ぐという形になった場合、代表は村田さんになるんでしょうか。

村田　それもまだ全く。誰もが納得する形をつくらなきゃいけないと思っているんで。それが大前提です。（橋本さん代理人弁護士の方の）フェニックスさんとは違う弁護士の方に「そういう方法もあるんじゃないの。でも出来るの？」って言われた状況です。そこにフェニックスさんの意志とかじゃなく、まったく自分自身のことです。

——冬木さんの体調というのは、やはり橋本さんが亡くなった心労というのが影響してらっしゃるんでしょうか。

村田　もともと体調はよくなかったんですが、いま聞いてるのは血圧の数値がすごく悪いのと、心臓のほうが。会見には、マスコミの論調を見て、あまりにもひどいので、と。事実と違うことが多いので出たいと言っていました。

『紙のプロレスRADICAL』読者＆『紙プロHand』ユーザーが選ぶ

紙プロ大賞2005年上半期結果発表!!



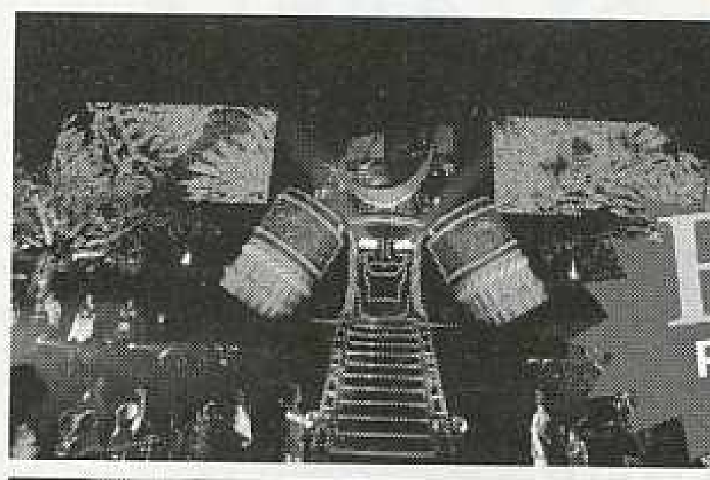
五味隆典

紙プロ編集部も驚き!!

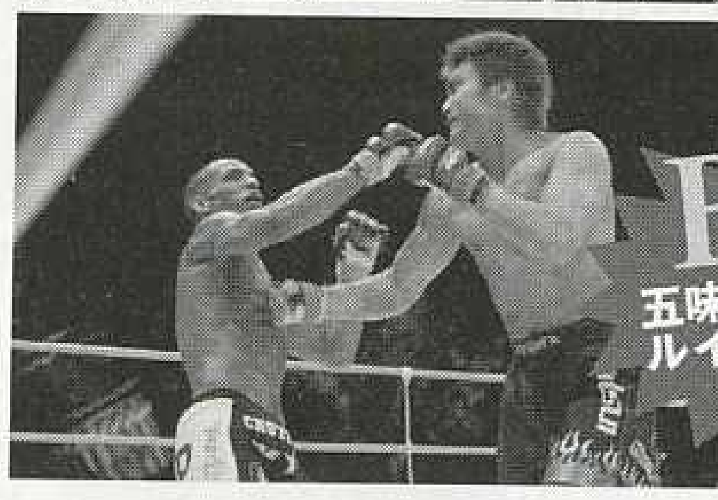
マット界に地殻変動!? 五味三冠の意味を読め!!

そして昨年MVPに輝いた"納税王"小川直也は……!?

な、な、なんと！　上半期の紙プロ大賞は五味隆典に決定——ッ!!　しかもベストバウトは"五味×アゼレード"、ベスト興行はその試合が行われた『PRIDE武士道ー其の七ー』と、1位はぜんぶ五味カンケイ。これはまさしく事件だ！　ちなみに昨年ぶっちぎりのMVPだった"納税王"小川直也は前田日明を抑えて堂々ワースト1に。ハッスルに続き非情なる"観客ジャッジメント"が下された格好の小川だが、これはある意味キャプテンにしかなしえない業。振り幅の広さはさすが。この周期でいけば、年末は逆転満塁ホームランでMVP返り咲きも夢ではない!?



Best Show
PRIDE武士道
-其の七-



Best Bout
五味隆典×
ルイス・アゼレード

Best Bout

1 nd PRIZE　5・22『PRIDE武士道ー其の七ー』
五味隆典×ルイス・アゼレード　332 POINT

2 nd PRIZE　6・26『PRIDE GP 2005 2nd ROUND』
マウリシオ・ショーグン×アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ　117 POINT

3 nd PRIZE　3・26『HERO'S 旗揚げ戦』
ヨアキム・ハンセン×宇野薫　108 POINT

4 nd PRIZE　4・23『PRIDE GP 2005 1st ROUND』
ヴァンダレイ・シウバ×吉田秀彦　97 POINT

5 nd PRIZE　いろんなところで
前田日明×永田裕志　45 POINT

6 nd PRIZE　2・20『新日本プロレス「新春黄金シリーズ」最終戦 in 両国』
小島聡×天山広吉

7 nd PRIZE　2・16『全日本プロレス REALIZE in 代々木』
川田利明×小島聡

トップ10のうち、ハイレベルな試合を連発している『PRIDE』ミドル級GPが3つもランクイン！　それも個人賞3位に輝いたショーグンの試合は2戦2勝だ。また中量級屈指の技術戦となった"修斗ウェルター級王者対決"ハンセン×宇野は『HERO'S』文句なしのベストバウトに。今期はミドル級以下の試合が大健闘した。

8 nd PRIZE　4・23『PRIDE GP 2005 1st ROUND』
マウリシオ・ショーグン×クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン

9 nd PRIZE　6・26『PRIDE GP 2005 2nd ROUND』
田村潔司×瀧本誠

10 nd PRIZE　5・27『K-1 WORLD GP 2005 in パリ』
ジェロム・レ・バンナ×シリル・アビディ

Best Show

1 nd PRIZE
5・22『PRIDE武士道ー其の七ー』　198 POINT

2 nd PRIZE
6・26『PRIDE GP 2005 2nd ROUND』　144 POINT

3 nd PRIZE
4・23『PRIDE GP 2005 1st ROUND』　94 POINT

4 nd PRIZE
3・26『HERO'S 旗揚げ戦』　27 POINT

5 nd PRIZE
2・16『全日本プロレス REALIZE in 代々木』　22 POINT

1位の『武士道—其の七—』につづき、異常な盛り上がりを見せる『PRIDE』ミドル級GPが後続を寄せ付けない勢いで2位＆3位に君臨！　前田日明率いる『HERO'S』は旗揚げ戦にして4位にランクイン。圧倒的な『PRIDE』人気に、追いつき追い越すのは『HERO'S』なのか!?

MVP



トップの五味につづいたのはなんと前田日明！　2月末に表舞台に復活して以来、蒼々たるファイターたちを抑え、専門誌はまさに前田一色に。また『PRIDE』ミドル級GPで名勝負を繰り広げているショーグンも強い！　8月のGP決勝戦での活躍次第では、年間MVPも射程距離だ。

1 nd PRIZE
五味隆典　270 POINT

2 nd PRIZE
前田日明　189 POINT

3 nd PRIZE
マウリシオ・ショーグン　144 POINT

4 nd PRIZE
ミルコ・クロコップ　72 POINT

5 nd PRIZE
美濃輪育久　45 POINT

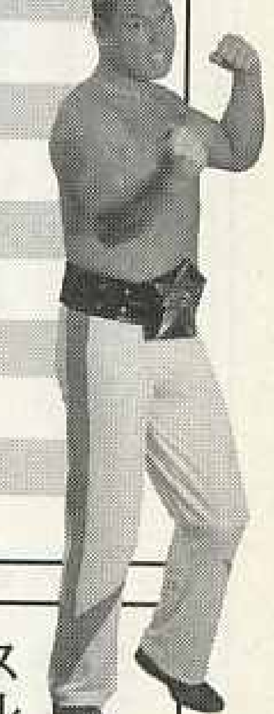
6 nd PRIZE
小島聡

7 nd PRIZE
桜庭和志

8 nd PRIZE
川田利明

9 nd PRIZE
田村潔司

10 nd PRIZE
アリスター・オーフレイム



Worst Show

1 nd PRIZE
1・4『新日本プロレス闘魂祭り』　136 POINT

2 nd PRIZE
3・19『K-1 WORLD GP 2005 in ソウル』　70 POINT

3 nd PRIZE
6・14『K-1 WORLD GP 2005 in 広島』　32 POINT

4 nd PRIZE
5・14『新日本プロレス NEXESS in 東京ドーム』　29 POINT

5 nd PRIZE
3・26『HERO'S 旗揚げ戦』　25 POINT

Worst Match

1 nd PRIZE　3・19『K-1 WORLD GP 2005 in ソウル』
曙×角田信朗　112 POINT

2 nd PRIZE　6・26『PRIDE GP 2005 2nd ROUND』
田村潔司×瀧本誠　60 POINT

3 nd PRIZE　3・19『K-1 WORLD GP 2005 in ソウル』
チェ・ホンマン×曙　54 POINT

4 nd PRIZE　5・14『新日本プロレス NEXESS in 東京ドーム』
小島聡×天山広吉　48 POINT

5 nd PRIZE　2・20『PRIDE.29』
田村潔司×アリエフ・マックモド　45 POINT

Worst Fighter

1 nd PRIZE
小川直也　90 POINT

2 nd PRIZE
前田日明　64 POINT

3 nd PRIZE
曙　54 POINT

4 nd PRIZE
ボブ・サップ　38 POINT

5 nd PRIZE
永田裕志　36 POINT

昨年紙プロ大賞でMVPに輝き、今期も『ハッスル』の舞台で大暴れした小川直也がまさかのワーストファイターに！　また、すべてのランキングをお騒がせしたのは、元横綱・曙だった。さらにMVPランキングで2位に輝いた前田日明はワーストランキングにも堂々登場。ここにランクインした全メンバー、ワーストというより裏MVP!?


紙のプロレス RADICAL

2005 NO.89

ありがとう破壊王！　さようならハッスル・キング！『紙のプロレスRADICAL』は、橋本真也さんの勇姿を一生忘れません!!



©DOUBLE CROSS 2005 本誌掲載の記事、写真等の無断転載、複写、複製、マッチポンプ発被害妄想を禁じます。



ありがとう、そしてさようなら！
ぼくらはあなたが大好きでした。

紙のプロレス編集部一同

談会

司会:堀江ガンツ



松澤チョロ
破壊王の訃報が飛び込んできた日は一日中、心ここにあらず状態でした。その日の午後、健介さんに電話で伝えたところ「エ〜ッ!? 破壊王って、は、橋本真也？……」と言ったっきり絶句された時は本当に心苦しかったです。2人とも大好き！

ジャイ子
『ロンドンハーツ』で破壊王最後の勇姿を見て、またションボリ。しかしエンドレスで見続けた結果、小力パラパラに磨きがかかりました。破壊王の前で披露していじられたかった……サヨナラ、破壊王。ありがとう、破壊王。ジャイジャイ。

吉田豪
今回、破壊王の訃報を誰よりも早く『紙プロ』編集部に教えてくれたのが、この金髪鬼。大好きな破壊王のためならということで『紙プロ』に久々の登場。ここ数日、雑誌、ラジオ等で破壊王の素晴らしさを語りまくっている。

原タコヤキ君
破壊王の告別式に大阪から駆け付けてくれた破壊王人生相談の仕掛け人。現在は大阪で音楽関係の会社に勤務する原タコヤキ君のタコヤキ日記拡大版はこちらからでっせ〜↓　押忍!!
http://blog.goo.ne.jp/taco0522/



ぼくらが大好きだった破壊王・橋本真也さんが亡くなってしまった。そりゃ悲しいさ、せつないさ、泣きたくもなるさ。
でも、いつまでもクヨクヨしてたって天国の破壊王は喜びはしないはず。
ぼくらに出来ることといえば、破壊王の素敵なエピソードをたくさんの人に伝えること。
こんなときだからこそ、あえて破壊王について笑いながら語ろうぜ！

ぼくらが愛した破壊王座

構成／松澤チョロ　designed by Tani-Yan (Two three)

豪　いや〜、こないだ収録した座談会、面白かったねぇ！

ガンツ　そうですねぇ。久々に吉田さんと一緒の座談会で破壊王を2時間たっぷり語り尽くして。あれ、どこの座談会でしたっけ？（笑）。

豪　……『紙プロ』だよ！

チョロ　い、いや、あの日は告別式の直後ということで、ちょっとしんみりしちゃった部分もあるので……。

タコ　今日はたまたま東京出張なんやけど、なんか俺もこないだ告別式で東京に来たような気が……。

豪　俺、いまの方がしんみりしてるよ！　どういうことなの？

チョロ　まあ、あの……テレコが壊れてて、何も音が入ってませんでした……。翌日、『PRIDE武士道』の名古屋大会に行って、帰りの新幹線でジャイ子から「チョロメ〜ン、テープ何も入ってないよ」って電話がきて、そんなことねえだろと思いながら、選手のコメントを確認したら、みんな無口で何も言ってないんです（泣）。

豪　こっちだって破壊王の死とは関係なく泣きたくなったよ！

タコ　あり得へん話やで、ホンマ！　え〜、みなさんチョロが座談会の録音に失敗して今日は取り直しです！

豪　テーマが破壊王じゃなかったら絶対に受けないよ、録り直しなんて！

タコ　しゃーないから、空元気だして行くで〜！

豪　で、何から話せばいいの？

ガンツ　まず今回の破壊王の死っていうのは……プロレスラーの死っていうのはいままで何度もありましたけど、欠場中だったとはいえ、まだ40歳ですし、ダメージというか、ショックはかなり大きかったですよね。

タコ　俺なんかの世代やと、新弟子の頃から知ってるわけやもん。まず思い入れはあるよね。

豪　そうだね。プロレスラーの死でここまでショックを受けたのは初めてだった……さすがにこの前対談したときよりはだいぶ癒されてきたけど（笑）。破壊王にそんなに思い入れなくても、「死んで初めて破壊王が好きだと知った」みたいな人が多いでしょ。あと、マスコミ関係の人で誰も破壊王を嫌いな人っていないのも凄いよね。直に接したら誰もが好きになるという。

ガンツ　吉田さんが破壊王と初めて会ったのはいつになるんですか？

豪　破壊王の『紙プロ』初登場って、ちっちゃい判型の『新日本凸凹大学校』だよね。

ガンツ　ああ、あれが初登場ですか！

ジャイ子　『愛の塊』ね。

ガンツ　「違う、愛の魂や！」って怒られたヤツですね（笑）。

豪　それは社長（柳沢忠之）ギャグね（笑）。もともと名盤『橋本元年』のビラをもらってきて爆笑してたんだよね。でも、定価で買うほどの興味はなかったら、六本木の闘魂ショップで500円ぐらいで出てたという。

ガンツ　もう激安だったんですか！

タコ　たしかに会社でずっと聴いてたよなあ（笑）。

豪　その頃、版元が倒産したからね。それで軽い気持ちで買ったらあまりにもすごかったんで、会社で流したりとかしてて、じゃあ破壊王に音楽の話を聞こうみたいな、ふざけたテーマになってたんだけど。だけど、俺が『キャンディー奥津の人生相談』ってコーナーの3代目担当を任されたとき、「新日本のドーム行って退屈で寝ちゃいました」みたいな相談に、「そんなことないですよ、面白いですよ。私もちょっと用事あったから途中で帰っちゃいましたけど」とか彼女が答えたら、新日本が怒っちゃったんだよね。どうやら業界内の掟として、選手が他団体のことを口にするのはタブーみたいなのがあったみたいで。

ガンツ　へえ〜っ！　そんな業界のルールなんて知りませんよね、『紙プロ』は（笑）。

豪　知るわけがない。そんなことも気にせず松林さん（現・エンターブレイン）が道場でマサ斎藤の取材したら、なぜか横に永田裕志がいて、ずっと腕組んで睨んでたんだって（笑）。居心地悪いなんてもんじゃなかったって話を聞いてて、それで破壊王の取材が決まったら当時の破壊王は選手会長だから、要は呼び出されんだよ。「責任者と一緒に来てください」って広報から言われて、それで会長（山口日昇）と社長と一緒に、しかも日曜日に行ったという。「行きたくですねえ」って言ってたら、「俺たちだって行きたくねえよ！」って。このやりとりは10年ほど後、俺が『紙プロ』を離れることになったときにも再現されて、会長は「こういうの何年ぶりだろうなあ」とか言ってたんだけどね（笑）。

ガンツ　え〜、話を戻しましょう（笑）。

豪　うん。暗い道場に気持ちで行ったら、破壊王が俺らの姿を見るなり笑顔で言うんだよ。「あれ、どうしたの？　今日はみんなで来ちゃって」って（笑）。「どうしたもなにも、呼び出されたんですよ！」って言ったら「えっ？　あ、そういえばなんか言ってたな。じゃあ、ちょっと一筆書いといて。それ渡してチャラにしておくから。じゃあさ、飯でも食おう！」って、話が早いなんてもんじゃないわけ（笑）。

チョロ　さすが破壊王！（笑）。

豪　数年後、『title』って雑誌の取材でこのときのことを聞いたら「だって、いがみ合ったってしょうがねえだろ。上が取材拒否とかやるたびに、こっちはバカじゃねえかと思ってたんだよ」って言ってて。まず、それでハートを掴まれちゃったわけ。だって、気まずい感じで飯食いながら取材したら、破壊王が話すのは「俺は音楽にはうるさいぞ。昔からステレオはフルボリュームで聴くから天井からホコリが落ちるんだ」「それ、うるさいの意味が違います」みたいな、どうでもいい馬鹿話しかしないのに感動したんだよね。

ガンツ　あとはジュリーの話とかですよね（笑）。

豪　だから、あのインタビューって聞き手のクレジットが吉田豪になってるけど、実は山口日昇と柳沢忠之も加えた3人が聞き手なんだよ。横から2人が何度も茶々入れてきて。

ガンツ　豪華ですねえ！

タコ　いまとなってはな（笑）。

豪　最初で最後というか、今後もまず実現不可能だからね（笑）。この3人が揃ってインタビューすることもあり得ないし、なおかつその相手が破壊王だったわけだから。その後は北朝鮮特集に再登場したぐらいだけど、本誌以外での接点が続いてたわけ。『マガジンウォー』とか『マガジンBANG』とか『Rintama』とか、『紙プロRADICAL』前夜に。

チョロ　『マガジンウォー』ではタコヤキ君とかが取材してたんですよね。

タコ　確かに『マガジンウォー』ではいろんな取材をやったよ。ずっと社長がやってたんやけど、途中で俺が引き継いで。破壊王も2、3度は取材したんちゃうかな？　でも俺の一番最初の取材は『Rintama』やったな。

豪　タコヤキ君は忘れてたけど、控室で脳腫瘍の手術直後のライガーの取材をしていたら「なんか聞き覚えのある声がするな」って言いながら破壊王が乱入してきて、ライガーが脳腫瘍になったって聞いたとき破壊王だけが「なんで俺に黙ってたんや！」って号泣した話とかしてたのが、すごい印象深いんだよね。

チョロ　破壊王の人生相談も『Rintama』でタコヤキ君が始めたんですよね。いまはいろんな媒体でプロレスラーの人生相談ってやってますけど、当時はかなり斬新で。

豪　でも、そもそも人生相談の原点はキャンディー奥津なんだよ！　高橋紅

天国へ届けこの想い
紙のプロレスHand 破壊王ファンからの哀悼メッセージ

Q1　あなたの印象に残っている破壊王の試合、破壊王語録、破壊王エピソードなどを教えて下さい

●文句ナシで1999・1・4の小川戦です。でも後に、破壊王と接することによって本当に"目を覚ました"のは小川の方でしたね。（マサ）

●小川戦後の休場中に包茎手術してそのうえカムアウトしたとこ。（勇気をありがとう）

●札幌で『燃え盛るビルからおばあさんを救出』事件。破壊王の男らしさがあらわれたエピソードだったと思います。（うらさん）

●1996年4・29の髙田延彦とのIWGP戦。小川との抗争！　印象に残った言葉は再開した父親に言った「親父がいなかったからこそ逆に強くなることができた」です。（くりひで）

●WARとの抗争においての一連の天龍戦、Uインター対抗戦におけるIWGP髙田戦、後はなんと言っても小川戦。小川戦は全てがベストバウトでした。（オーバーラン）

●初めて見たプロレスの試合が、小川選手との2回目の試合だった。僕はその異様な空気にすぐ引き込まれた。僕は今、『PRIDE』やK-1など、あらゆる格闘技を見る時に、常に求めているのは「あの時」の空気だ。（ロシモフ）

●印象に残っている試合というより、その姿自体がプロだったと思う。（きちくひろき）

●新日本時代の長州vs橋本の試合はラリアートと蹴りの、殺るか殺られるかの男同士の意地のぶつかり合いだった。（ひょうたんじま）

●最初のG1が終わった後、ワープロの企画で「闘魂三銃士の夏休み」みたいなのをやっていた。武藤はカジキ釣り、蝶野はマルティナさんとデートなんかして優雅に遊んでいたのだが、橋本は鎖鎌使いと修行。スゲエ！（こー）

●「時は来た！」しかないでしょう。闘魂三銃士のなかでも一番のトンパチ。それだけに失ったショックは大きいです。（大平寛）

●昔ある番組の企画で、猪木の泊まるホテルの一室の前で「ダーッ！」をやってダッシュで逃げる破壊王の少年のような笑顔を見た。私は彼のファンになった。（コジコジ）

●試合は1・4小川戦。ライガー夫人に「ライガーと真剣に付き合ってく気が有るのか？」と聞いた橋本さんが大好き。（さんたろー）

●小川対橋本の一連の抗争からプロレス→格闘技を見るようになり、橋本はいわば私を格闘技に導いてくれた方です。（D・D伊東）

●銀座行って肉食って、いい車に乗る。僕もそれがプロレスラーだと思う。（万生園）

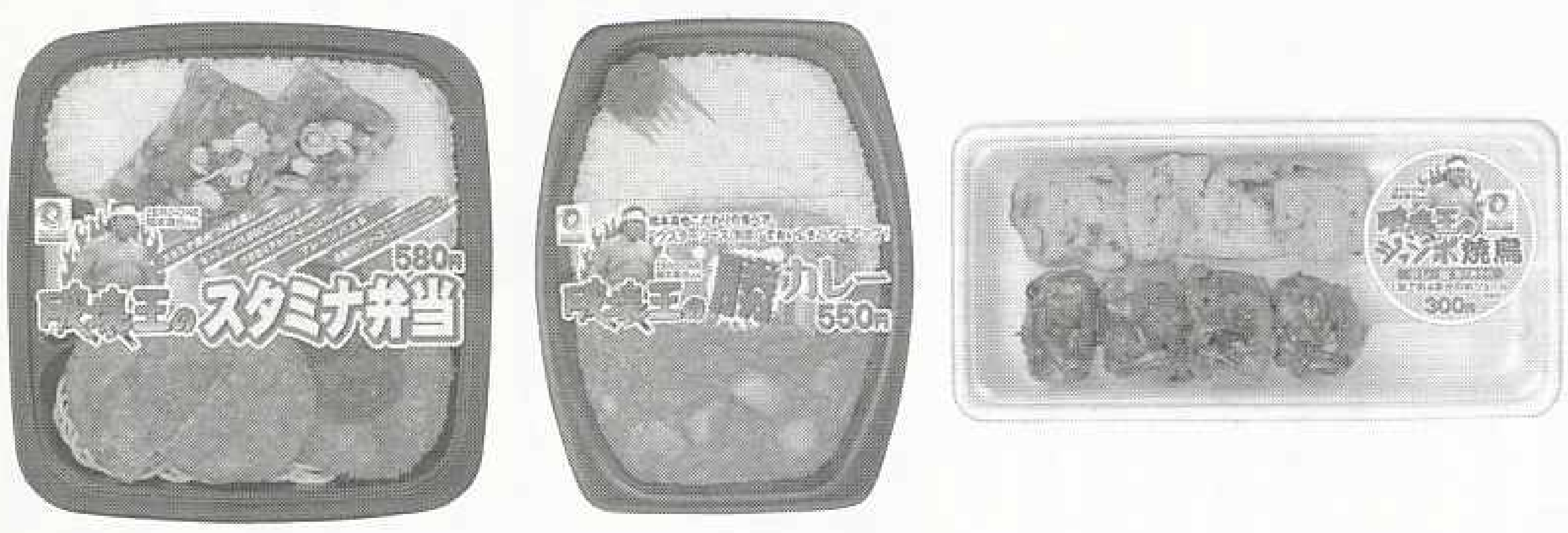
●ゼロワン旗揚げ両国！　「破壊なくして創造無し……時は来た！」（同郷のこぱっち）

●破壊王が92年の横浜でヒゲモジャで中国帰りとかで水面蹴り披露したトニー・ホームとの一戦が印象的でした。（アマゾン）

●学生の頃、仙台のパチンコ屋で見ました。長州力と一緒でイライラする長州に気を使

茶っていう極初期の編集者が自分の意志で始めた企画だったんだけど、彼女がいなくなったもんだから松林さん〜俺とシフトしていって、正直興味もないし俺がやりたいようにやるってことで『鍋野ゆき江の人生相談』に変えたわけ。で、その流れで『Ｒｉｎｔａｍａ』でも人生相談をやろうっていうときに破壊王を起用したら、下ネタしか言わなかったという（笑）。
ガンツ　あれはホント人生相談の金字塔を打ち建てましたね。
タコ　あれは自分で取材しててビックリしたなあ（笑）。「昔、大阪で電動コケシを買いに行ったことがあるんだけど、防犯カメラで見てた親父が出てきて、サインくれって言われたことがあるんだよ」とか「いままで最高1日12回イったことがある」とか「俺は、いま恋をしている」とか、連載一回目で暴走しまくりやもん！
豪　前田日明の人生相談も面白かったけど、やっぱりちゃんとしてるしカッコつける部分があるじゃん。破壊王にはそれが一切ないもんね。
ガンツ　いま読むと再録するのにはばかれることばっかりなんですよね(笑)。
タコ　連載一回目で俺が気ぃ遣って、「こんなことばっかり言うて、奥さんに怒られませんか？」って言うたら、「どうせこんなもん、読みゃあしねえだろ！」って笑い飛ばすのよね。もちろん、それも載せたんやけど。ほんなら次に取材で会ったら、開口一番「お前が自宅に本を送るからバレたじゃねえか！」やって（笑）。「ふ〜ん、いま恋してるんだぁ」って奥さんに言われたらしいよ（笑）。でも、その奥さんの返しも素敵というか、さすがやわな。
チョロ　いま読んでも面白いですよ。
タコ　俺は凄い思い入れがあるねんなあ。あのインタビューを編集部のみんなが読んで爆笑したのよね。俺、会長とか社長に褒められたのあれが初めてやったと思うねんけど、インタビューの自信がちょっとついたのを覚えてるわ。まあ、中身は浮気話とか下ネタばっかりなんやけど（笑）。
豪　「浮気はする」って宣言してたからね。「しないって言っといて隠れてするより、そっちの方がいい」って。
ガンツ　吉田さんは当時、どんな接点があったんですか？
豪　同じくサン出版の『マガジンＢＡＮＧ』って雑誌で格闘家やプロレスラーに3か月連続で「金」と「女」と「喧嘩」について聞くという企画をやってて、初期の『紙のプロレスＲＡＤＩＣＡＬ』で佐山聡の喧嘩インタビューとか再録してたでしょ。あの企画に破壊王が登場したわけ。
ガンツ　いま読み直すのはキツそうなテーマですねえ……。

これが伝説の破壊王弁当だ！



これが数年前、サンクスで限定販売され好評を博した破壊王弁当三種。ちなみに「破壊王のスタミナ弁当」は総カロリー約1500キロカロリー！　中にはセントーン（1000ｔ）コロッケやプレーンパスタ、完食証明書も入ってました。

豪　喧嘩にしても夫婦喧嘩の話とかしてるからね。「そんなときはセックスすれば仲直りできる！」とか（笑）。その「女」編の取材申請をしたら、なぜか新日本も「スケジュール取れないんで北海道じゃなきゃダメです」って言われたんだよね。
チョロ　ＺＥＲＯ-ＯＮＥ時代にも「とりあえず巡業先に来てください」って、青森まで行って取材できなかったことありますよ（笑）。他にも福島まで行ったら、破壊王がセミが始まる頃に会場入りして、そのまま無理矢理インタビューしてメインに出るっていう危なっかしい経験もありますからね。インタビュー中にコスチュームに履き替えて、あのパンタロンの下は三角の黒ビキニでした（笑）。
タコ　あ、そうなんや（笑）。
チョロ　黒ビキニでウロウロしながら「首引いてくれ」とか言われて、時間はないし、話は聞かなきゃいけないし、首を引くやり方もわかんないし、もう破壊王パニックでしたよ、ホントに(笑)。
ガンツ　濃密な付き合いですねぇ(笑)。で、吉田さんは札幌まで行ったと。
豪　予算が足りないからカメラマンも編集者も同行できなくて、1人で札幌に行ったわけ。せっかくだからホテルを自費で取って、前乗りして地元の古本屋を回ってたりして。でも翌日、取材に向かったら俺の泊まってたホテルより駅から遠いわけ。そしたらそのホテル、入り口に「ご休憩●千円」とか書いてあって、明らかにラブホテルなんだよ（笑）。後日、調査してみたら北海道の興行主がそっち関係と繋がってるらしくて宿舎をそこにしてたんだって。だからフロントで破壊王を待ってると、部屋のパネルが並ぶ暗いスペースで安田とかがウロウロしてるんだよ（笑）。最悪でしょ？
一同　ダハハハハ！
豪　で、フロントから破壊王に連絡して部屋に行ったら、ラブホテルそのもののロココ調みたいな柱があるベッドがあって（笑）。でも、破壊王なりに気を使ってくれたんだよね。「ドア開けたままでいいぞ」とか「靴履いたまま入れ」とかって。たぶん、ここでドア閉めたらマズいって思いがあったんだと思うんだよ（笑）。こっちも向こうも1人だし。でも、ベッドサイドの小さなテーブルで「座れ。何か飲むか？」って、破壊王が冷蔵庫からドリンク出してくれたりするのもまたちょっと気まずくて。そのシチュエーションで女の話だからね（笑）。
ガンツ　まあ、得意分野じゃないですか（笑）。
豪　「俺は24時間がセクハラや！」ってことで、新日本の事務所で靴に手鏡つけてスカートの中を覗いてる話から始まって、「結婚前に二股かけてたけど片方と別れたから誉めて欲しくて、もう1人の相手の言ったら本気で怒られたんだよ。それでわかったよ、家庭を壊しちゃいけない」とか、いま読むとしみじみするような話もあって（笑）。
一同　ダハハハハ！
豪　あと、「浮気した直後に帰ったら、女房に言われたんだよ、『あなた正直に言って、いま浮気してきたでしょ』って。これは正直に言えば怒られないと思って、『ああ、そうだ！』って言ったら本気で怒られた」とか、そんな話ばっかりで（笑）。
タコ　人生相談でも「俺はときどき『なんで日本の社会は一人としか結婚できないんだろう？』と疑問を持つこともある」って言うてたけど、これもいま読むとしみじみするなぁ（笑）。
豪　そんな取材後、「橋本さん、実は相談があるんですよ。ボクもいま下半身の病気の疑いがあって……」って言ったら「近寄るな！　お前、絶対ススキノで遊ぶなよ！」とか怒られながらも、「無茶苦茶効く抗生物質があるんだよ」ってトランク開けて、「これ飲んだら一発や！　ただキツすぎるから

ぼくらが破壊王

いながらも握手してくれました。（くま）
●一連の長州との試合。互いに意地と意地のぶつかり合い、特にラリアットを耐え続ける破壊王のあの表情だけで毎回、感動、満足しっぱなしだった。（ＴＫＳ）
●「小川の目とんどるやん！」「ときはキターー！」「みんな恥ずかしがらずにハッスルするぞーー！」「プロレスなめんな！」（茂丸）
●昔、破壊王がテレビの実験で破壊王の蹴りは小型トラックの激突と同じくらいの衝撃という結果にさすがプロレスラーだなという思いがしました。（杉原邦洋）
●ハッスル1の控室にて小川が高田の泣き虫を読んでいる時に「何読んでるんだ？」と問い掛け小川が「泣き虫っす」と言ったら「茶わん蒸しか！」（アロエ）
●いま、ハッスル10の会場からです。爆勝宣言流れて、泣きそうでした。（じょり）
●橋本＆永田 vs 三沢＆力皇。破壊王弁当自分で食べて「ありゃ身体に毒だ！」（永田亀吉）
●札幌のビルが火事になった時に破壊王が真っ先に人命救助をしたエピソード。破壊王の人柄が出てますよね。破壊王の悪口を言う人なんていないよね。（小倉の歯科医師）
●海外遠征時代、リアルな女性器の絵を「浮世絵」と称して、現地の少年プロレスファンにプレゼントしたこと。（擬枕擬）
●Ｕインター戦後、新日の強さの象徴が「技術的にあちらさんに学ぶことはたくさんある」。正直な性格、大好きでした。（みそつゆ）
●他の雑誌では決して見せなかった破壊王の弾けまくった話を読みたいがために『紙プロ』を毎月購入していた。（マイ）
●猪木祭りで猪木の108つビンタを受けに笑顔で花道を全力疾走してきた橋本の姿が今だに忘れられない。（ＨＯＬＬＹＷＯＯＤ）
●バラエティ番組で金の肉布団になったり、一食で一日分のカロリーの弁当作ったり、プロレス以外でも身体を張ってたこと。（ｐｉｙｏ）
●これだ、って言うのが言えません。破壊王のガキ大将的な行動、全てが好きでした。（メスタレ）
●川田・武藤組と対戦する時の、負傷を抱えながら入場してきたときの後ろ姿の格好よさ忘れられません。（豊島佳）
●96年4月のドーム大会で高田延彦からＩＷＧＰを奪回した試合が一番印象深い試合です。あの時点での日本最強は橋本真也に決定した様な試合だったと思います。（發知崇）
●vs 小川戦。当時、会社でテレビ担当だった時、20人ぐらいの社員が我を忘れてテレビに食らいついていました。男ってやっぱり好きなんだな、と思いました。（中澤）
●橋本が使っていたＤＤＴ（垂直落下ではない）で相手選手がくの字にマットにめり込む姿がとても印象に残っています。（りんご）
●ゼロワン旗揚げ戦。近年のプロレスには感じられない空気があそこには確かにあったかと。写真で見ただけだけど。プロレス界の夢と希望に満ちてた。（こうじ）
●昔、黒猫相手にニールキックを空振り、最後3カウント取ったものの顔を真っ赤にして黒猫につっかかって乱闘を起こしたこと。恥ずかしかったんかな？（ＢＡＤＧＥ）
●最後の小川戦。カメラが橋本の表情を捕える。「もうだめだ」と呟いた後、無情のゴング。

胃薬と一緒に飲め」って。
チョロ　常備してるんですか（笑）。
豪　そうそう。さすがは破壊王、ナイスガイ！って感動して。でも後日、木村健悟の取材申請で、のものも（編集者）が電話して「インタビュアーは誰ですか？」「吉田豪です」って言ったら広報の倉掛さんが「ああ、あの性病の」って（笑）。破壊王が新日本の内部で言い触らしてたんだよ！　だから、ただのいい人でも悪い人間でもない、ヤンチャだけど憎めなくて、根底には人情があるっていう破壊王らしいエピソードだよね。
チョロ　そういう意味では、吉田さんがいつも言ってた「映画版ジャイアン」っていうのが一番しっくりくるかなって思ったんですけどね。
豪　あと『東スポ』の高木記者が書いてた、「夏休み気分の小学生が、夏休みが終わったのに気づかないまま大人になった」っていうのがね、あれは染みるよ。
ガンツ　いいですよね。体育館に太鼓あったら叩いて（笑）。「叩くなよ」って先輩全員に言われて、やっぱり叩いちゃうっていう。もちろん曲は「いなかっぺ大将」（笑）。
豪　だから破壊王、ダチョウ倶楽部的なとこあるよね（笑）。
ガンツ　その企画のときは他にどんなことを聞いたんですか？
豪　破壊王が「テコトラで入場したい」って言ったのは、このときなんだよね。あとは矢ガモ話とか、天山にスズメを食わせた話とか（笑）。「ウチの地元じゃスズメ食うんや！」ってスズメを調理して天山に食わせたら、ビビッた天山が目黒寄生虫館に電話して「寄生虫大丈夫でしょうか？」って（笑）。
ガンツ　天山はセミの天ぷらとかも食わされたみたいですからね（笑）。
豪　でも、破壊王ってイジメながらもちゃんとケアはしてるんだよね。天山がある先輩にイジメられて一回、新日本を辞めたときには破壊王が電話してたりして。
ガンツ　親分肌というか、兄貴分的なとこがありますよね。
豪　カルガリー遠征が終わって帰国することになったときも、お世話になったヒトさんに「僕はお父さんがいないので、ヒトさんをお父さんのように思っています。いざ会って話してしまうと絶対泣いてしまうので手紙にしました」って手紙を書いたっていう感動的な話があったでしょ。何年後かに聞いてみたら「俺そんなん出したんか？」だって（笑）。
ガンツ　ガハハハハハ！　でも破壊王って凄い気さくなのに、ちゃんと見栄は張るんですよね。そこがプロレスラーとして素晴らしい。ベンツを何回も買い替えたり、泊まるホテルは毎回破壊王スイートっていう（笑）。
タコ　でもそういう見栄の張り方は大事やで。最近のレスラーにはないよな。
豪　プロレスラー幻想を守ってたんだよね。よく飲み、よく遊び、よく暴れる、みたいな、闘魂じゃなくて力道山イズムを伝承したっていう。ミスター・ヒトとかドン荒川に学んだって言ってたよ。「それの正反対が坂口さんやな。30円返せって言われたよ」って（笑）。
ガンツ　確実に、その辺から学んでますよね（笑）。
豪　だからこそああいう体型になり、みんながプロテインとか飲んでるときに暴飲暴食を続け、寿命を縮めたんだろうけどね。ただ、力道山も人前ではステーキだけど裏では魚食ってたわけじゃん。そういう切り替えがどこまでできてたのかが謎だよね。
ガンツ　普段も焼肉丼と味噌ラーメンの世界だと思いますよ（笑）。人に見られてるからグラスまで噛んじゃうとか、そういうんじゃないですからね。
豪　結局、梶原一騎の世界がホントに好きなんだよね。『四角いジャングル』と『空手バカ一代』の影響で山篭りしたりして。柔道部で山篭りする意味がわかんないんだけど（笑）。
ガンツ　柔道着に「極真會」って書いて先生に怒られて（笑）。
豪　帯には「芦原」って書いたんだよね、「芦原真也」って（笑）。
ガンツ　ケンカ十段を自称して（笑）。
豪　なぜか番傘さして高校行ってたという（笑）。インタビューで衝撃的だったのは、実はあのパンタロンがベニー・ユキーデの影響だったってことだよね。
ガンツ　誰も気付かないですよ、そんなの（笑）。

破壊王は、ヤンチャだけど憎めなくて、根底には人情がある（豪）

豪　あと、SAMURAI!の開局記念立食パーティーのとき、ホテルの宴会場にリングを組んでバトラーツの試合とかやってたんだよね。で、極真の氷柱割りが始まったとき、みんな普通に歓談したり飯食ったりしてるんだけど、俺は最前列で1人かぶりつきで見てたら、ふと横を見ると破壊王がいて。2人だけが注目してて、他はみんな無視っていう（笑）。あのとき、破壊王は信用できる男だなって思ったね。
タコ　それは信用できるなぁ。
豪　あと、ドラマに本気でハマるでしょ。『星の金貨』にハマってたときは、「最近、俺は手話で女を口説くんだよ」とか言ってたし（笑）。
ガンツ　ホント、小学生の休み時間の会話ですねえ（笑）。
豪　セックス覚えた小学生みたいなもんだからね、破壊王は（笑）。「喧嘩」の話を聞いたときも、「最近やった夫婦ゲンカは『星の金貨』の最終回のときやな。のりピーが死んだのに俺が激怒して、『なんでノリピー殺すんや！　テレビ局に電話せい！』って女房に言ったら『なんで私が電話するの！』って、それでケンカになってさ。俺、テレビ壊しそうになったわ」だって（笑）。
ガンツ　最近のレスラーって、そういうエピソード少なすぎますよね。
豪　そういう豪快な世界への憧れと、小学生的なセンスがミックスされてたのがいいんだよね。朝礼台の上でジュリーを踊ってた頃から全然変わってない（笑）。
ガンツ　クリスマスツリーの電飾を袖から通して『TOKIO』を歌うってヤツですね（笑）。
豪　憧れるジャンルがわかりやすいんだよ。
ガンツ　『仮面ライダー』と任侠映画と（笑）。
豪　『トラック野郎』と極真空手とかね。
チョロ　あとは時代劇とか織田信長ですか（笑）。
豪　知り合いが渋谷のタワーレコード店員だった頃、破壊王がテンガロンハットにヘビ革のブーツで現れて、その店員に向かって「時代劇のフロアーはどこや！」って聞いてきたらしいから（笑）。「ないです」って言ったら「そ



憧れの織田信長を意識した鎧兜姿で『週プロ』の表紙を飾った破壊王。残念ながらサイズは合っていないが、この表紙を見たら即ジャケ買いだ！

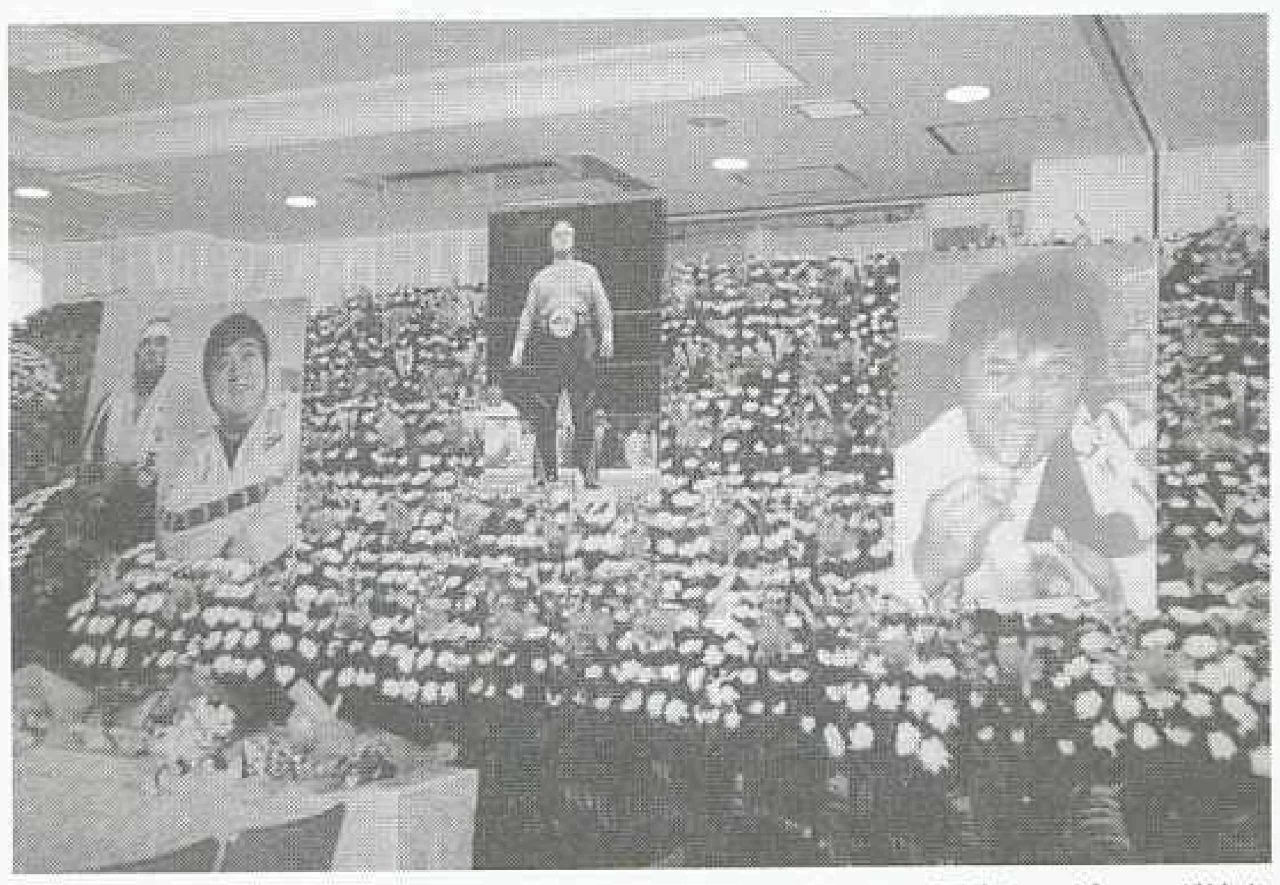
プロレスで非常な勝負論を問う20世紀最後の名勝負でした。（奥脇光伸）
●ベタだけど、高田延彦とのIWGP戦。プロレスを本格的に見始めるきっかけになった試合です。三冠を獲った時の「アポッー」も印象的な台詞でした。（殲滅王）
●小川と引退を賭けた試合から復帰戦まで。あそこまで人生をさらけだしたこと、負けたけど見る者に伝わる緊張感があったことが印象に残る。（よっしー）
●91年頃トニーホームとの異種格闘技戦に連敗していた頃。重そうなパンチを食らって、でもよけない、さらに殴られる……の無限ループ。当時ハラハラ見てたけど、いま思うと殴られっぷりの良い橋本は異常にイキイキしてた！（ヒカルド）
●やはり引退をかけた小川戦です。男の生き方がわかりました。逃げずに小川に立ち向かう橋本さんをみて鳥肌がたった。（なる）
●盛岡でやったベイダー戦。たしかリングアウトで橋本が勝った。当時はベイダーとまともにやれる日本人レスラーなんていなかったからリングアウトでも凄いと思ったのを覚えている。（小森達矢）
●前田、高田にUWFに誘われた時、まだ新日に恩返ししてないという理由で断った話にはしびれた！（サッキー）
●広島で藤波さんに負けた試合が印象的です。「甘い、殺すつもりでやれ！」と言われた破壊王が数年後に小川にやられ、長州戦で伝説のドラゴンストップをされるとは夢にも思わなかったことでしょう。（山田修巳）
●元々キャラが立っていたが、小川戦以降は何をやっても最高だったと思う。ドラゴンとの復帰試合、過去の悪戯バカ話、人生相談……。どれも最高！（水面ハッスル蹴り）
●破壊王の『紙プロ』でのインタビューはどれも好きでした。特にドン荒川と吉田豪がらみのやつ。（ショーストッパー）
●ベストバウトは99年10月の小川戦！　話題的には99年の1・4や「負けたら引退」の影に隠れてますが、あれがベスト！　総合とプロレスが融合した奇跡の名勝負！　もう一回小川との試合を見たかった！（ルーシファー）
●「奥さん！　遺骨貸してください」。冬木さんの魂と共に電流爆破に飛び込んだシーンが、元FMWファンの私には印象深いです。本当に嬉しかった。（すすきのHEAD）
●すずめを天山に食べさせたこと　ボウガンで金沢さんを撃とうとしたこと。（HO砲）
●橋本さんがトルネード・ハッスルを初披露した時、僕も含め会場全体が恥ずかしそうに腰を回していたのが、いまでは僕の大切な思い出です。（平山章弘）
●かつて一世を風靡した「時は来た！」という言葉。でも、こんな「時」は来て欲しくなかった……。（杉山史郎）
●一連の小川戦。「俺ならヒトヅマ・レッグ・ラリアートや！」。女モノのパンツはいてたこと。（ヒロ亀浜）
●泣き、笑い、怒る、そんな感情むき出しの橋本選手が大好きでした。高田戦を会場で観てました。前に座る見知らぬ人と抱き合い喜んだことを思い出します。あの頃のドームは熱がありました。（なりた）
●「あゝ一軒家プロレス」で御一緒しました。いろんな人にイタズラをしかけたり、ちょっか

ぼくらが破壊王

りゃそうや、CD屋やもんな。ダッハッハッ！」って肩ポンポンッって叩かれて、一発で惚れたって言ってたね。
ガンツ　そんなタワーレコードないですよ（笑）。
豪　破壊王ジュニアも父親の影響を受けてるみたいで、友達と「誰が最強か？」みたいな話を学校でしたときに、みんな特撮ヒーローとかスポーツ選手とか挙げてる中で、一人だけ「拝一刀」って答えたらしいからね（笑）。
ガンツ　それ誰なんですか？
豪　『子連れ狼』の主人公（笑）。小学生にはわかんないよ、それ！
ガンツ　相当見せられたんでしょうね（笑）。
豪　破壊王ジュニアは、いい感性してるよ。なぜか俺、ZERO-ONE両国大会を破壊王夫人（当時）と子供たちや親戚がいる破壊王ファミリー席で観戦したことがあって（笑）。破壊王ジュニアは底にローラーの付いた靴で国技館をひたすらグルグル回ってたんだよね。そのとき破壊王ジュニアに「お父さん、オモチャ好きだよね。最近もヤマトの超合金を買ったりして」って言ったら、「そうそう、いつも遊んでて……なんでそんなこと知ってるの？」って。家の秘密を知られてることに驚いてたよ（笑）。で、そのことを破壊王に話したら全然笑ってくんなくて、心配そうな顔で「アイツ、誰かに迷惑かけてなかったか？　俺に似てるから心配なんだよ。授業を抜け出してよく空を眺めたりしてさ」とか言ってたなあ……。
チョロ　健介さんは子供にオモチャを買いまくるけど、破壊王は自分の分を買いまくってたんですね（笑）。

破壊王の試合は泣いて笑ってケンカしての連続（ガンツ）

豪　基本的にあの2人は似てると思うんだけど、破壊王はそう言われることを嫌がってたよね。「アイツはズルいんや！　そんなもん、あの当時の選手はみんなわかる」って言ってるんだけど、健介だけは何もわかってない（笑）。でも、なんとかこの2人を絡みがみたかったから、ZERO-ONEが『火祭り』とかやってるとき破壊王に言ったんだよね。「いま一番熱いのは健介だから、健介を上げなきゃダメですよ」って。だけど「俺は絶対アイツとは絡まん！」って。
チョロ　そういう勢いでしたね。
豪　「たぶん同族嫌悪で絶対似てますよ」って言ったら、すごい怒られたんだよ（笑）。「俺のどこが似てるんだよ！」「だって2人とも『仮面ライダー』好きだし」って言ったら、「俺とは年季が違う！　アイツは子供が生まれてから平成ライダー見てるだけだ！　俺は昔からずっと見てるし、それにアイツは俺と違って釣りもしねえだろ」って、そんなこと聞いてないのに（笑）。
ガンツ　趣味自慢が始まって（笑）。
豪　そういう大人げないところが似てるのに（笑）。
ガンツ　実際、葬式で一番泣いてたのって健介ですもんね。
豪　全日本の追悼試合でも一番泣いてたんでしょ。
チョロ　北斗も「橋本さんがいなかったら、私たちはなかったから」みたいな発言もしてましたし。
豪　そもそも、破壊王は「北斗は俺に惚れてる」って言ってたからね（笑）。健介と仲悪くなったの、それが原因なんじゃないかっていう。「俺に惚れてた北斗を取りやがった」みたいな（笑）。
ガンツ　破壊王の試合についてはどうですか？　正直言ってプロレスの試合はそんなに見なくなってるんですけど、やっぱり破壊王の試合はなぜか感動できるっていうのはありますよね。
豪　『レッスル1』とかでも面白かったもんね、破壊王の試合だけは。
ガンツ　すべて大真面目というか、本気というか。人生からなにから、すべて虚と実とリアルとフェイクが全部地続きでドラマチックで、本人もよくわかってないっていうぐらいな感じがよかったのかもしれないですね。
豪　痛みと感情を伝えるのが抜群に上手かったでしょ。喜怒哀楽をそのまま出すっていうか、出しすぎだろってくらい出しちゃうから（笑）。そこで泣かないでいいよってところで泣いちゃうし、怒りの表現もすごいし。
ガンツ　すべてが過剰ですよね（笑）。破壊王が怒ると「待ってました！」って、自然に笑い、涙がこぼれるって感じですよね。破壊王の試合は泣いて笑ってケンカしての連続ですからね。
豪　「小川ぁ！　なんで村上に俺を襲わせたぁ！」みたいな説明過剰なマイクとかも、やっぱり破壊王にしかできないよね（笑）。
チョロ　今日は無口だけどジャイ子も破壊王には可愛がられてたよね。電話番号聞かれたり、お姫様抱っこしてもらったり。
豪　破壊王のセクハラは素晴らしいよ。相手のビジュアルは一切関係なく誰にでも平等にセクハラするフェミニストだから（笑）。
ジャイ子　（口を尖らせ）むぅ〜〜。
チョロ　でもジャイ子、破壊王から電話もかかってきたんでしょ？
ジャイ子　翌朝ちゃんとね。
ガンツ　初めて破壊王の取材についていったら、「今日はこんなに美人をつれてきてくれてありがとう」って言ったっていうのもすごいですよ（笑）。
ジャイ子　そうなの！　それでお姫様抱っこをしていただいて、「あと5キロ痩せてまた来い！」って（苦笑）。
ガンツ　「年はいくつだ？」「25歳です」「嘘やろ！　その小じわを見ればわかる！」って一発で見抜かれたりね（笑）。
ジャイ子　「ジャイ子を裸でテーブルの上に置いて眺めてたい」とか言われて。それはちょっと引くんだけど（笑）。あの破壊王様が、こんな初対面のデカい女にそんなこと言ってくれて、ホントすいませんって感じで。
豪　サービス精神あるよねえ。でもチョロはよく破壊王に恋愛相談とかしてたよね。
チョロ　はい。僕、破壊王に最後に会ったのって4月22日なんですよ。
豪　あれ？　亡くなる2週間ぐらい前に会ったとか言ってたじゃん。
チョロ　それぐらいのつもりでいたんですけど（笑）。でも、あのときは初めて破壊王のベンツに乗って六本木ヒルズに行って。最後に「いい女見つけろ


祭壇にはＩＷＧＰベルトを巻いたコスチューム姿の凛々しい写真や、ジャンボ焼き鳥を頬張る破壊王らしい素敵な写真も飾られていた。グッバイ、破壊王！

いだしたり楽しんでいた破壊王でしたが、ゾンビメイクの役者さんを本気で恐がっていた姿が忘れられません。（BJ JACKS）

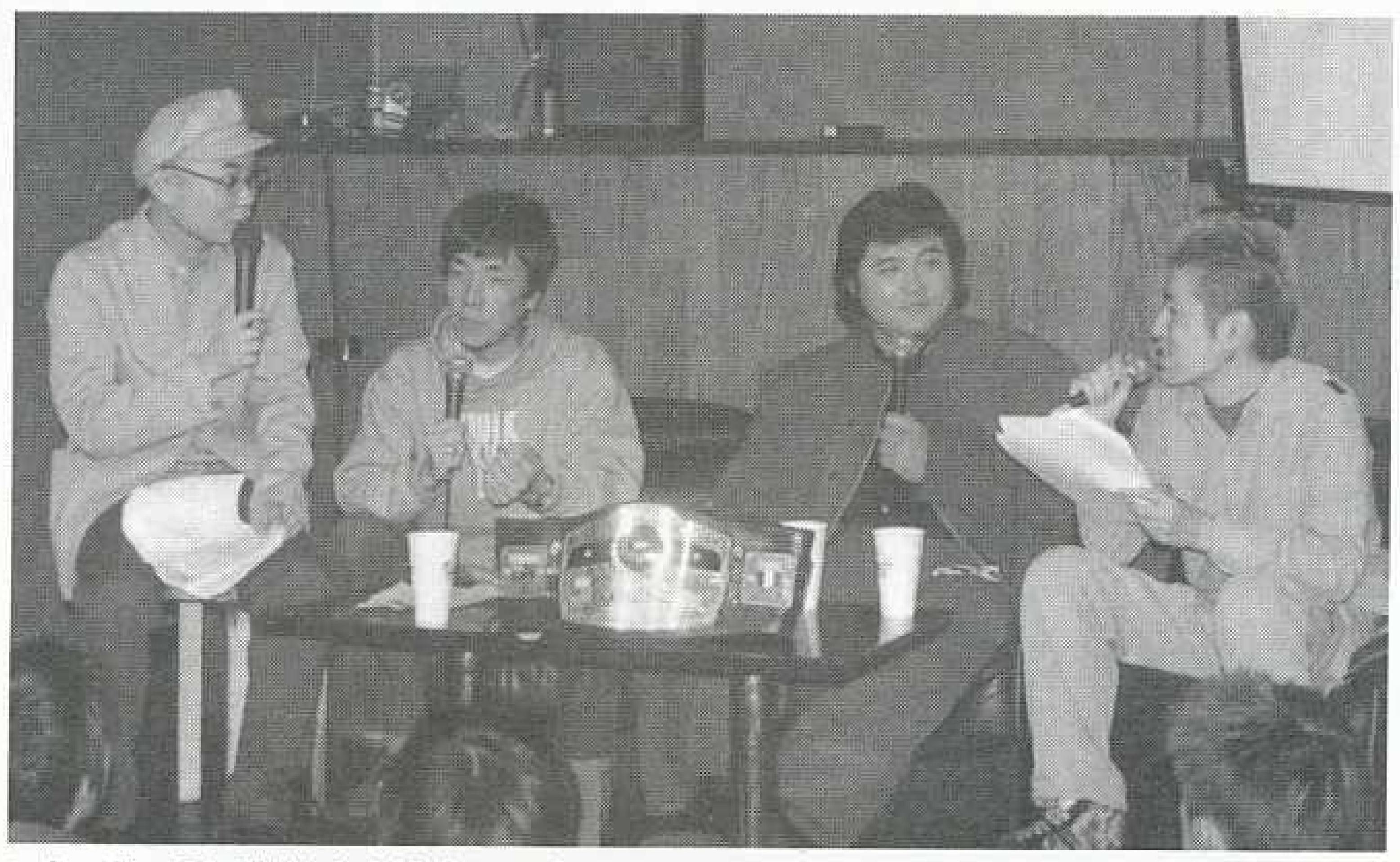
Q2 破壊王への追悼メッセージをお願いします

●ボクは「紙プロサイト」の人生相談で最初に橋本さんに相談に乗ってもらった者です。橋本さんのおかげで彼女もできました。さよなら破壊王。さよならキング。（マサ）
●プロレスは受けてなんぼ、受けた分を何倍に返してビックカムバックするのが橋本真也の生き様だったのに……無念。（勇気をありがとう）
●今だに信じられません。ほんとしゃれにならんて!!　頼むよ、嘘だと言ってくれ。今日のハッスル10、「嘘だよーん」って出てくると思ってたのに……。（オーバーラン）
●正直、こんなに寂しいとは思わなかった……。そして、自分がこんなにもプロレスのことを好きだったとも思わなかった……。最近プロレス見てなかったけど、また見てみようかな。ありがとう、橋本。（ロシモフ）
●大好きな破壊王、地獄の閻魔もDDTで破壊して一杯飲んで食って歌って下さい。（アルク・コーガン）
●とうとう自身まで破壊してしまって、真の破壊王になりましたね、凄い男だなぁと思います。でも悲しいです。（ネモトヒデアキ）
●橋本真也は本当に一直線ファイトで新日時代、憎らしいぐらい強かった。プロレス界にとって大損失だ。（ひょうたんじま）
●負けて負けて最後に勝つレスラー、それが橋本真也。その生きざまが、いまなおマット界に影響を遺そうとしている。おれも橋本のように生きるぜ！　アリガトー！（こー）
●消えそうなプロレスの火を灯し続けて、道を創ってくれたのが橋本選手だと思います。そして最後まで身体を張って、業界に波を起こしてくれたのだと思います。遺志を受け継ぐ人は大勢いますから、安心してお休みください。（大平寛）
●破壊王。私はあなたに数えきれない程の感動、勇気、そして笑いを提供して頂きました。橋本真也というプロレスラーがいたことを一生忘れません。（コジコジ）
●橋本、最後の破天荒なプロレスラーだったよ。あの世でも、銀座行って肉食べて いい車乗ってエンジョイしてください。（万生園）
●プロレス復興の夢は必ず小川選手が成し遂げてくれると思います。天国で安らかに。（山元勇人）
●正直、まだ信じられないし、周囲にいた関係者の方々は特にそうだと思います。アンディの時もそうでしたが、なぜ最も愛される人が最初に亡くなるんでしょうか？　理不尽にもほどがありますよ。（ニセ大学院生）
●不謹慎ですが「らしい」生き様でしたね。破壊王にはいっつも降り回されっぱなしでした。さらば破壊王！（黒田知洋）
●肩の手術成功してこれからの時だけに本当に残念です。破壊王の意志は最大のライバルであり最大の友の小川が継いでくれますから安心して天国からハッスル見てて下さい。橋本、ありがとう！（永田亀吉）
●天国プロレス期待の新人として活躍願って

よ」って言われて肩を叩かれて。そのシーンが何回も出てきますね。それと「アポー!」やってるとときの顔が（笑）。
ガンツ 三冠王者になって「橋本さん、感想は？」「アポー」（笑）。
チョロ 「こちらもお願いします」「アポー」（笑）。
豪 しかも血まみれで（笑）。ホント、美しい話だよね。
ガンツ 追悼の写真そんなのばっか出てくるっていう。なんで葬儀場で破壊王がジャンボ焼鳥食ってる写真がデカくなって飾られてるんだっていう（笑）。
豪 ああ、暴飲暴食のせいって死んだんだな、破壊王弁当ばかり食べてるとこうなっちゃうんだなって（笑）。
ガンツ あれが売れたっていうのもすごいですけどね。マヨネーズ1本入った弁当が大ヒットして（笑）。
豪 前に取材したとき、弁当の発売直後だったからオッキーに「どうや、昨日の売上は？」とか、えらい聞いてるんだよね。「俺は弁当には本気なんや！」って言ってたけど（笑）。
ガンツ 本気で監修してたと（笑）。
タコ タレントの企画モノとは一線を画してるね。
豪 普通は大体、お任せなんだけどね。でも、ホント1・4で潰されたのが破壊王じゃなくて、早い段階で小川と組んでいたら違う人生になっただろうね。もし初期のUFOで佐山聡と一緒に破壊王が行動してたら、理想のバカ団体になってたでしょ（笑）。猪木さんに隠れて2人で食い物ばかり食って。

破壊王は「60になったら変態ジジイになる!」って宣言してた（豪）

チョロ その後ろにゴルドー（笑）。
豪 1・4で小川に潰されて鼻を折って入院したときも、破壊王は「ついでにこれも会社の金で手術する！」ってことでイビキの手術と包茎手術も一緒にしてたわけだからね、誰もが心配してるときに（笑）。
ガンツ しかもイビキの手術は失敗だったっていう（笑）。
豪 オチまでついて完璧すぎるよね、ホント。しかも、その話を原稿にしたことを反省してたみたいだし（笑）。
ガンツ 破壊王の「これだけは書くな！」って話は全部面白いですからね。
豪 破壊王の鼻血凄いから、病院で「鼻の中、焼きましょうか？」って言ったら「そんな痛いの嫌や！ ……でも、そんなこと言ってると小川に笑われるかな」ってかわいらしく言ってた話とかね（笑）。
ガンツ そんな素敵な破壊王ですけど、お葬式では泣きました？



01年12月26日に開催された紙プロ10周年イベントのゲストとして登場してくれた破壊王。頼んでもいないのにNWAベルトを持参する太っ腹ぶり。この日は他に、前田、サスケ、ヤマヨシらも登場。

豪 その前には泣いたけど、忙しくて告別式は30分で帰っちゃったからね。
タコ 俺は泣いてしもたなあ。『爆勝宣言』流れながらの橋本コールは反則やで、ホンマ。
ジャイ子 お葬式に行ったら実感沸くのかしらと思ってて、出棺のときはさすがに泣いたけど、でもなんかまだピンと来ない。
豪 それより、なぜか焼香の順番が俺が一番最初だったのがホントに嫌で嫌で。ターザンが「喪服を持ってないから行かない」とか言ってたけど、喪服云々はどうでもいいと思うんだよ。そんなの俺も持ってないから。一応、長いパンツ履いてネクタイはしてたんだけど、よく見るとドクロマークがついてて。
ガンツ 不謹慎ですねぇ（笑）。
豪 いや、直前に喪服を買って香典で5千円とか払うより、遺族のために余計な金は使わず香典に5万円入れる方がいいと思ったわけ。
チョロ お葬式でも、棺が閉まらないっていうハプニングがあったみたいですね。破壊王らしいっていえば、らしいですけど（笑）。
豪 閉まらなかったから母校の柔道部の旗で蓋の代わりをしたっていう。
ジャイ子 あの盛り上がってたのってそうだったの!?
豪 スポーツ新聞情報によるとそうらしいよ。
ガンツ それでこそ、破壊王みたいな（笑）。
チョロ 次号から関係者が破壊王のいいエピソードを語る連載でもやりましょうか？ タイトルは『俺とお前と破壊王』って感じで（笑）。
豪 全然、大五郎とかかってないけど（笑）。じゃあ、大五郎つながりで小池一夫先生に題字でも書いてもらって。
ガンツ でも『紙プロ』的な破壊王追悼本も作りたいですしね。
タコ 『紙プロ』はやるべきちゃうか？ やっぱりこれだけ破壊王の面白がり方を広めた功績は『紙プロ』にあると思うもん。
ガンツ だってみんな普通に「破壊王」とか言ってますけど、『紙プロ』がずっとあだ名として言い続けたからですもんねえ（笑）。
タコ そうそう（笑）。ちょっとね、最後に言わせてもらうと、当時の『紙プロ』って、ツッコミとかイジリが過剰だったから、普通のレスラーやと逆に潰れてしまうのよね。幻想を消しかねないのよ。ところが猪木さんや前田日明や破壊王なんかは、こっちがどんだけイジろうとしても、向こうの方が全然タフだから負けちゃうのよ。それが気持ちいいというか、そういう人たちはうまく『紙プロ』に乗っかってくれるねんな。特に前田日明や破壊王は絶対に『紙プロ』の本質をわかっていて、それで利用していたっちゅうところはあるよね。
チョロ こんなにいい関係はなかなかないですよね。
豪 俺が最後にやった破壊王取材が、さっき言った小池先生との対談だったんだけど、話はほとんど祇園での芸者遊びとかで、最後は破壊王が「俺は60になったら変態ジジイになる！」って宣言してたわけ。よく破壊王は「人生50年って言ってた」とか言われてるけど、俺が取材すると毎回この話になってたんだよ。「引退したらセクハラ好きの変態ジジイって呼ばれたい！」って（笑）。その夢が叶わなかったのが本当に残念だよね……。

【7月16日／銀座ルノアール「新宿区役所横店」にて収録】

●今度はつくばに小川直也を連れてくる!!」といった言葉を信じています。最高だったゼロワン、いまはもう……。（飯村隼人）
●余計な時が来た！　チキショー！（メスタレ）
●猪木、藤波、坂口、武藤、蝶野、小川、村上、長州、川田、金村、髙田、前田、大谷…etc…みんなで追悼してくれるはずだからパァーっとやろうぜ！（シノツカ）
●プロレスを見はじめた時、破壊王より小川の方が好きだった。でも『紙プロ』を読むようになって、破壊王の素が解って、それからは大ファンです。なんだかうまく言えないけどありがとう。（知的な野人）
●愛される人ほど早く逝く……を実感しました。貴方を見て貴方とプロレスに惚れました。天国でも破壊王であってほしいし、天下獲りの夢の続き叶えて下さい。（こぢ吉）
●あの世を破壊してでも戻ってきて欲しいです。（ぴじゃまーる）
●ずっと突っ走ってきた橋本さん、正直まだまだあなたの破壊を見たかったです。でもお疲れ様でした。いままで走り抜いたぶん、ゆっくり休んで下さい。（ダイチャン）
●天国の馬場さんの前で物マネして怒られないか心配です。破壊王最高でした。安らかにお眠りください。（サッキー）
●安らかに、そしてプロレス界がより良い方向に向かう様に見守ってください。（マサ）
●凄く残念です。あなたの笑顔を、歯を食い縛って立ち上がる姿を、泣き顔を、一生忘れません。破壊王ありがとう！（宇宙さん）
●肩を壊す前の"強い橋本"が地上波に乗らなかったため、世間の認識が「小川に負けた橋本」のままだったのが悔しい！……あなたは特別な存在だった！　ありがとう！本当にお疲れ様でした。ゆっくりとおやすみになってください。（ルシファー）
●ビッグマッチ用の爆勝宣言。イントロで思いを溜め続け、曲の冒頭からは最大のどよめきと橋本コール。あの花道奥からあなたが出てこないなんて信じられません。もう一度喉が枯れるほどコールさせてください。（氏姓）
●いつでも安心してプロレスで命懸けてる人がいるって言える人、それが破壊王なんだよ。それは死んでしまってからも同じだと思う。ただ本当に死ぬことはないと思う。（えんどどもや）
●カッコ悪かったし、情けなかったし、裏切られたし、涙も流した。だけど一番好き。これからも好き。（同じもみあげ）
●橋本さん！　みんなの、この声が届いてますか！　橋本の意志を受け継いで、選手、スタッフ、ファン、みんなでプロレスを盛り上げて行くぞ！「トルネ～ドォ～！ ハッスル!!」（平山章弘）
●破壊王よ、次は何羽の鶴を折れば復活してくれるんですか？（橋本伸也）
●あなたがいたからまだプロレスを見てました。さらばだ。（ヒロ亀浜）
●あなたの突然のニュースは日本国内を駆け巡りましたよ。晩年いろいろなことがあったと聞いてますが、きっと後悔してないですよね？　太く短く、濃い人生もまたあなたらしいです。ご冥福をお祈り致します。（なりた）

島田裕二レフリーも愛用！タレントの宮内美穂も絶賛！「髪一源（カミイチゲン）」の

髪技（カミワザ）



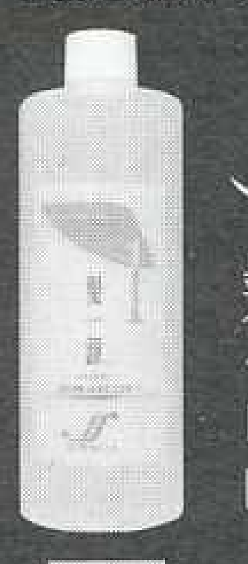
島田裕二プロフィール：1992年藤原組マイアミ大会にてレフェリーデビュー。現在PRIDEチーフレフェリー。テレビ東京「一撃入魂」、ラジオ日本「格闘頂点」パーソナリティー現在出演中。

宮内美穂プロフィール：NHK「土曜スタジオパーク」、テレビ東京「一撃入魂」・「ビジネス維新」、ラジオ日本「お笑い!ネタとこ勝負ハイパー」メインパーソナリティー現在出演中。

石井正能プロフィール：株式会社 鈴正代表取締役社長。1936年・兵庫県出身、1967年・美容業界に入る、1988年・株式会社 鈴正設立、2005年・現在に至る。

新発想 1,2&NC3μのステップ育毛が髪に効く！

頭皮を清潔に保つことが、健康な頭皮・毛髪を維持するのに大切なことです。



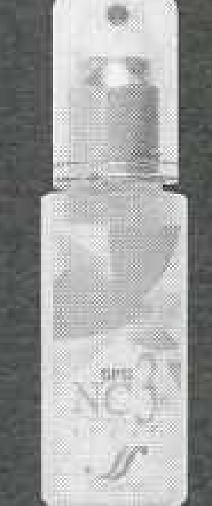
STEP 1
髪一源-1
ヘアー&スキャルプローション
NET 400ml



STEP 2
髪一源-2
ヘアー&スキャルプトリートメント
NET 200ml

フケ・カユミを抑え、不足しがちな水分を補い、頭皮、毛髪をすこやかにします。

このSPG-NC3μスプレーは2μのSTEP-1の成分を噴射して頭皮の奥深く入り、頭皮を柔らかく皮脂を包んで流し出します。
【特許 第1518989号】



for 1&2
SPG NC3μ SPRAY
ナノクラスタースプレー



髪でお悩みの方は是非…
いまなら間に合う！ 4ヶ月挑戦で解決します。

今まであきらめていた方、ぜひお試しください。
男女兼用・細い毛・抜ける毛・薄い毛・簡単に解決します。
100%これであなたも変わります。

髪にコシがなくなった
頭皮が脂っぽい
スプレーするだけで
解決！



2004年7月15日撮影　2004年10月14日撮影

「髪一源（カミイチゲン）」3本セット
●髪一源-1 ●髪一源-2 ●NC3μ
セット価格 **19,650円**（税込）

※2回目以降は単品でもお求め頂けます。詳しくは直接お問い合わせください。

「髪一源」のご注文はお電話・FAX・携帯・インターネットで今スグ

0120-800-417（ヤーヨイナ）
☎092-952-7880
FAX.092-952-7886
インターネット http://www.suzumasa.net
Eメール info@suzumasa.net

受付 9:00〜17:30（日祝は休み）
FAXは年中無休24時間受付

ハガキとFAXの必要事項

50円切手
〒811-1211
福岡県筑紫郡那珂川町今光4の165
株式会社 鈴正
紙のプロレス係

①商品名
②数量
③〒住所
④電話番号
⑤お名前（フリガナ）
⑥生年月日

【商品のお届けについて】●お支払い方法：商品到着時の代金引換のみです（送料は無料）。●商品のお届け：1週間前後となります。●返品：未使用に限り商品到着後8日以内に返品ください（返送料はお客様負担となります）。

株式会社 鈴正
〒811-121 福岡県筑紫郡那珂川町今光 4-165

紙プロ名作選より

新日本凸凹大学校
音楽教師
橋本真也先生
（シンガー）

ボクらはあの“破壊王節”を忘れない

もう一度、読みたい!!

そんな声にお応えして

橋本真也インタビュー

リクエスト再録掲載!!

designed by Tani-Yan（Two three）

紙プロ誌上で橋本真也をもう一度！

これまで破壊力抜群の数々の名言を紙プロ誌上で披露してくれた破壊王。
そんな多くの名作インタビューの中から、記念すべき紙プロ初インタビューを、哀悼の意を込めて緊急再録！
小さい版型の紙プロでの「新日本凸凹大学校」なる企画で、国語＝ケロちゃん、英語＝マサ斎藤、
道徳＝後藤達俊などと共に、すばらしい音楽の授業を披露してくれた橋本先生（シンガー）。
その破壊王節を永遠に胸に刻もう！




特集 ニュー・ジャパン バラエティー'95

IWGP&プロレスラー勝ち抜き歌合戦・二冠王

橋本真也先生

「洋楽も聴きますよ。ホイットニーとか、あとはロス……インディオス」

朝礼台の上でズボン下ろしてケツ出して歌ってましたよ

生徒／吉田豪、撮影／伊藤モトイ

1時限目	2時限目	3時限目	昼休み	4時限目
道徳	英語	国語	給食	音楽

47



ちっちゃい紙プロ16号に載ってます!!

生徒＝吉田豪　撮影＝伊藤モトイ
【95年4月9日、上野新日本プロレス道場にて収録】

「洋楽も聴きますよ。ホイットニーとか、あとはロス・・・・インディオス」

橋本　え～っ、オレが音楽の授業なの？　じゃあとりあえず歌いま～す。♪さ～く～ら～っ、さ～く～ら～っ……。

――あ、いきなりプロの歌を生で聞けるなんて感激ですよ！

橋本　この野郎！　お前、バカにしてねえか？

――いやいや、とんでもないです（笑）。ところで今回はプロレスラー勝ち抜き歌合戦のチャンプとして橋本さんにお話をうかがおうと思いまして。

橋本　ああ『橋本元年』ね。あれはダメだったんだよ。曲を全然知らないでレコーディングしたから、一小節ごとに録音してるんだもん（笑）。曲はよかったんだけどなー。そのとき、隣のスタジオでKANって人がレコーディングしてたんだけど、その人の方が歌が上手いんだよ。

――はっはー、KANですね！　隣では『愛は勝つ』をレコーディングしてて、橋本さんは名曲『愛の塊』を唄ってたと。

橋本　『愛の魂』だよ！　この野郎！　お前バカにしてねえか？

――いやいや、めっそうもないです（笑）。

橋本　でもさ、『橋本元年』の印税っていくらだと思う？　ここだけの話だけど、24円なんですよ。その印税の24円の中で、会社が12円取っていくんですよ。ということは1枚売れたら、俺には12円入ってくる。缶ジュース1本買うのに、10回頭を下げなきゃいけない（笑）。

――それはワリにあわないですね（笑）。

橋本　そういうもんよ。もう笑っちゃう、本当に。

――トータルで何枚売れたんですか？

橋本　知らないよ（笑）！　6万円ぐらいもらったのは覚えてる。

――あははは、そんなもんですか。

橋本　レコード出したっていって、キャンペーン回ってもギャラなしなんだから。だったらサイン会行った方がいいよ。

――橋本さん自身は売れると思ってたんですか？

橋本　歌をちゃんと知ってから出せばよかったなというか、ちゃんとやりたかったな。曲はすごいよかったからね。

――あの話はどこからきたんですか？

橋本　俺は中山美穂さんの事務所の社長と知り合いで、その人にちょっと出してみないかって言われて、レコード会社を紹介してもらって。でも、そのレコード会社潰れちゃったんだよね。

――らしいですね。橋本さんのレコードが売れなかったからだってプロレス・ファンの間では言われてましたけど（笑）。

橋本　この野郎！　だけど一生懸命やったし、あれは金はかけてるよ。

――それに、あの原悦生さん撮影のジャケットがたまらなくいいですね（笑）。

橋本　中身がともなってないけど（笑）。

――次のアルバムは『橋本新年』かなんかはどうですか？（笑）。

橋本　でもさあ、俺がこの名前だと思ってるヤツがいるんだよ。

――橋本元年さんだと（笑）。

橋本　「ああ、名前変えたんですか？」なんて言われてさ。それと頭にくるのはね、レコード屋に行くと、プロレスのテーマとかの特殊な音楽のコーナーに置いてあるんだよ。これは歌だって！（笑）。アーティストのとこにはないんだよ。それが頭にくる。テメエで入れ換えちゃったりなんかして。いろんな有名な人の隣に置いてきちゃたりして。

――まあ、『紙のプロレス』もエロ本のコーナーに置いてあったりしますからね（笑）。しかし歌詞も凄いんですけど、これもその場で渡されたわけですか？

橋本　いや、歌詞も知ってて、デモ・テープもあったんだけど、ちょうど俺は天龍さんを追っかけてたからさ、それどころじゃなかった。だから当日まで全然歌えないままで行ったんだもん。ちょっとこれ、音楽の授業じゃないじゃない！　俺の弁明だよ（笑）。

――いやいや（笑）。橋本さんは昔から音楽はお好きだったんですか？

橋本　はい、好きです！　僕は5教科以外はみんな良かったですから。

――あ、5教科以外は（笑）。じゃあ、図工とかも？

橋本　もう全部。だけど5は一個も取ったことないの。技術が良くても、テストの点が悪いから。

――じゃあ、橋本さんは教師型じゃないんですね。駄先生とは違って。

橋本　俺は先生と名の付くものは大嫌いだもん！

――ああ、やっぱり（笑）。昔からレコードとか出してみたいなあと思ってたんですか？

橋本　それはやっぱり誰でも思うんじゃないですか。歌謡曲に狂った頃なんかは。

――あっ、歌謡曲に狂ってましたか。

橋本　俺は沢田研二がよかったねえ。ジュリーが。

――ああ、そういえば『橋本元年』のジャケットも、ちょっとジュリーが入ってますね（笑）。

橋本　『勝手にしやがれ』じゃないんだから（笑）。やっぱ俺らが小学生、中学生の頃はジュリーが良かったじゃないですか、派手で。

――じゃあ、歌手を目指したこともあるんですか？

橋本　いやあ、それはないですけど、マネをしたことはありますね。

――どういうマネですか？

橋本　『TOKIO』なんかだと、学ランの間にクリスマスツリーの電球を通すんだよ。それを差し込んでやってた（笑）。『LOVE　抱きしめたい』の時には、いつも血がついている衣裳だったから、怪我もしてないのに手に包帯を巻いて、赤マジックで塗って、学ランを手を通さずに肩にコートみたいに背負ってやってたね。

――カッコいいですねえ、まさにチャンピオンの知られざる過去（笑）。それは学芸会とかで？

橋本　小学校の学芸会では『サムライ』をやってましたよ。包丁持って。

――危ない小学生ですねえ（笑）。

橋本　『勝手にしやがれ』のときは、ジャイアンツの帽子を投げてました（笑）。

――それはちょっとカッコ悪いですね（笑）。最初に好きになった歌手というのはジュリーですか？

橋本　う～ん、アグネス・チャンじゃないかな。いや、山本リンダだ。ちょうど小学校1年の時に♪ウララ～っていうのがあったじゃない。だから朝礼台の上でズボン下ろしてケツ出して歌ってましたよ（笑）。

――えっ、前も出して？

橋本　いや、ケツ向けてね。でも、こんな話したら俺のイメージ狂うから、違う話にしてよ！（笑）。

——ハハ、破壊王的には、どういうイメージがお好きですか？

橋本　やっぱり人格者！　宮本亜門みたいなね。本田多聞じゃないよ。

——わかりました、わかりました（笑）。そういえば、橋本さんが入場する時のコスチュームには、ちょっと山本リンダが入ってるような気はしますね。

橋本　あのパンタロン？

——そうです、ヘソも出してるし（笑）。

橋本　あれは違うの。あれはベニー・ユキーデなの。ベニー・ユキーデのつもりで何年か前の東京ドームの時に真っ赤っかのパンタロンをはいて行ったら、ヒンシュクかったからね（笑）。

——あのコスチュームのイメージが、ベニー・ユキーデだったとは驚きです（笑）。ところで、最近の音楽の趣味は？

橋本　俺はね、何でも聴くんですよ、いいもんは。これだと思ったらなんでも聴くし、コマーシャルで流れてて誰の歌だかわからないのはレコード屋に行って聞くし、昔のものでないものはテレ朝の地下に行って頼んだりさ。

——はあ。カーステレオではいつも何を聴いてるんですか？

橋本　いつも変わりますよ。事故を起こした時は『仮面ライダーV3』がかかっててね。200キロ以上出してたらぶつかっちゃって（笑）。一度、クルマであの曲聴いてみな、アクセル踏んじゃうよ、本当に。

——♪父よ～、母よ～、妹よ～、で？　やるなあ（笑）。

橋本　そうかと思えば、さだまさし聴いてたりとか。

——さだまさし！（笑）

橋本　最近はtrfも。

——trf！（笑）。洋楽とかは聴かないんですか？

橋本　聴きますよ。ホイットニーとか、あとはロス……なんだっけ？

——ロス・ロボスですか？

橋本　いや、ロス……インディオス。ガーッハッハッハ、それじゃ、ムード歌謡ですよ（笑）。

橋本　あー、そうか、いや、黒人の3人組でさあ。女の人で……。ロス……。

——もしかしてシュープリームスとか？

橋本　ダイアナ・ロス！

——ダイアナ・ロスとロス・インディオスじゃ全然違いますよ（笑）。

橋本　いや、ダイアナ・ロスはかあちゃんの影響でね。かあちゃんと知り合ってから、いままでとジャンルが変わって、尾崎亜美とか高橋真梨子とかさ、そっちの方面を聴いてたりとかもしたし。でも俺は根本的には暗い歌と情熱の歌が好きなんだよね。

——暗い歌が好きって言うわりには仮面ライダーも好きなんですね（笑）。

橋本　だからいいもんはいいんですよ。だから海援隊も、ツイストも聞くし。

——暗い歌というと中島みゆきは聴かないんですか？

橋本　聴かないね。山口百恵はよく聴いてたけど。

——猪木さんは五輪真弓が好きですよね。

橋本　五輪真弓は顔を思い出すとね……って、そういうこと言っちゃいけないんだよ（笑）。

——新日本で一番音楽にうるさいのは誰なんですか？

橋本　俺じゃない？　俺は音にうるさいから。だけど、本当にいいオーディオを揃えようと思ったら1000万円以上かかるんですよね。だから諦めた。田舎にいた時は、ステレオのボリュームを3分の2ぐらいまで上げて、屋根から土が落ちるぐらいにして聴いてたんだけどさ。本当に100メートル向こうから聞こえるんだもん。でもいまはそういうことできないじゃない。だから主に聴くのはクルマの中ですよね。

——クルマの中でも沢田研二とか？



「朝礼台の上でズボン下ろしてケツ出して歌ってましたよ」

橋本　たまに聴くけど、昔の音はあんまりよくないですよね。最近は録音技術が変わったから音が全然違うじゃないですか。ただ、いまの打楽器なんかもみんなシンセサイザーじゃない。本当の楽器の音の方が俺は好きだからさ。

―はあ、本格派ですねえ。

橋本　最近わかったことだけど、MDもCDもレコードの音にはかなわんらしいですね。高周波かなんか、耳に聞こえない音というのをレコードでは体感してるらしいというのをテレビで見てさ。それでまたレコード針探してきて、レコード聴いて。

―はあ、こだわり派ですねえ。カラオケなんかどうですか?

橋本　行きますよ。巡業中の次の日がゆっくりの出発の時なんか。前はよく蝶野とかと行ってたけど、いまは行けないから、リング屋さんとかと行って。

―オハコは何ですか?

橋本　演歌を歌います!　山本譲二とか千昌夫とか。演歌のCDは北島三郎とか石川さゆりとか持ってますよ。石川さゆりなんか最高よ。

―とんだ音楽好きですね（笑）。

橋本　その時代、時代で、自分が10代後半とか20代で聴いてたものがあるじゃないですか。それを取っておきますからね。それを引きずり出してきて聴いたりして。最近の新しいものではtrfが初めて良かったなあ。

―あれはほとんどキーボードですよね。生音が好きな橋本さんとしてはどうなんですか?

橋本　だけど歌を聴いてたらノッてくる気がするね。

―ああ、ノッてきますか（笑）。

橋本　1週間前にCMで聞いて「これは」と思ったから。ワケのわからん歌もいっぱいあるけどね。

―そういえば橋本さん、楽器はやらないんですか?

橋本　ドラムとかはやったことはありますよ。中学校の時、バンドを組もうとしたことがあったんですよ。でも、やった曲が悪かった。『セクシャル・バイオレット・ナンバーワン』（笑）。♪セクシャール・バ〜イオレットっていう間に、ダッタダンダンって入るんだけど、そこしかできなかった。

―それでバンドは諦めたんですね。

橋本　トランペットもやったんですよ。トランペットは小学校の鼓笛隊で。だから俺は楽器できる人っていうのは好きですよ。ピアノなんか弾いてるきれいなおネエさんとか。

―それピアノじゃなくて、おネエさんが好きなんでしょ（笑）。

橋本　ガハハハハ。だけどさあ、ババアが弾いてるよりはいいよ、やっぱり。

―橋本さんの奥さんはピアノは弾かないんですか?

橋本　いや。だから楽器できる人と付き合いたいなと思うよね。

―手取り足取り習っちゃったりなんかしてね（笑）。

橋本　俺、最近思うのはギターも中途半端だったからね。

―あ、ギターもやってたんですね。

橋本　でも、『禁じられた遊び』しか弾けないから（笑）。

―お決まりのパターンですね（笑）。

橋本　ええ。あのレベルですから、ピアノのスクールにでも通って、一つのものを身につけたいなというのは、最近凄く思いますね。

―チャンピオンがピアノ・スクールに通ってたらステキですよね（笑）。

橋本　でも、それがちゃんとできるようになったらカッコいいじゃない。

―はあ、今日は破壊王の意外な一面を見ましたね（笑）。

橋本　やっぱり音楽というのは、自分のテーマ曲もそうだけどさ、人間をノセちゃうというか。ちょっと気分がノらない時でも音楽でノッけちゃうとか、やっぱり精神的な影響はありますよ。

―仮面ライダーを聴くと暴走しちゃったりですね（笑）。

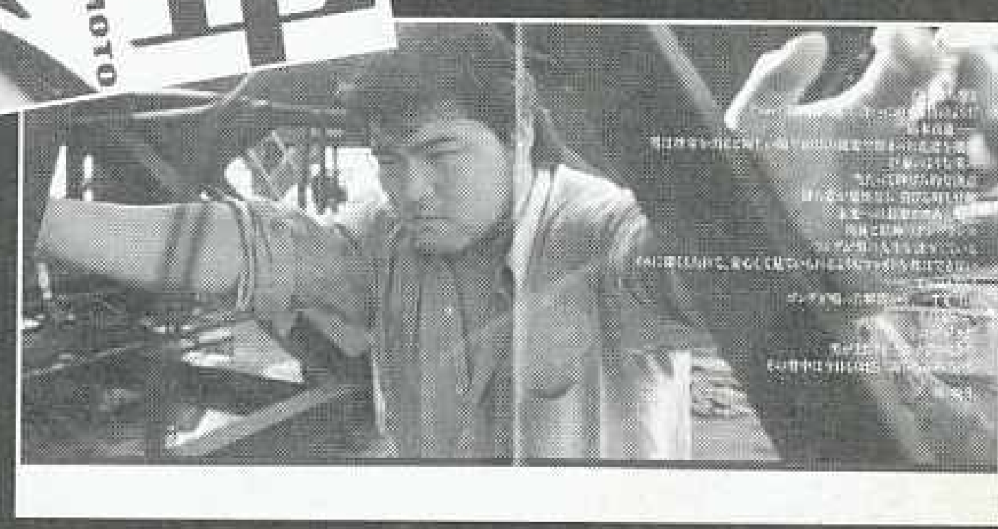
橋本　今度はあれで入場してくればいいかなあ（笑）。結局、みんなそれでやる気になってるわけでしょ。だから、いまの俺のテーマ曲の前半のメロディーも自分で探しましたからね。

―最初の前奏みたいなとこですね。

橋本　うん。あれは福岡ドームで流れてたんですよ。「お、これはもらった!」とすぐ思って、これを前奏にポッと入れたらいいなと思って。それで初めて使ったのが、日本武道館で天龍とやった時ですよ。テレ朝に自分の曲と繋げてもらったら、よかったんですよ。

橋本先生の魂を聴け!!

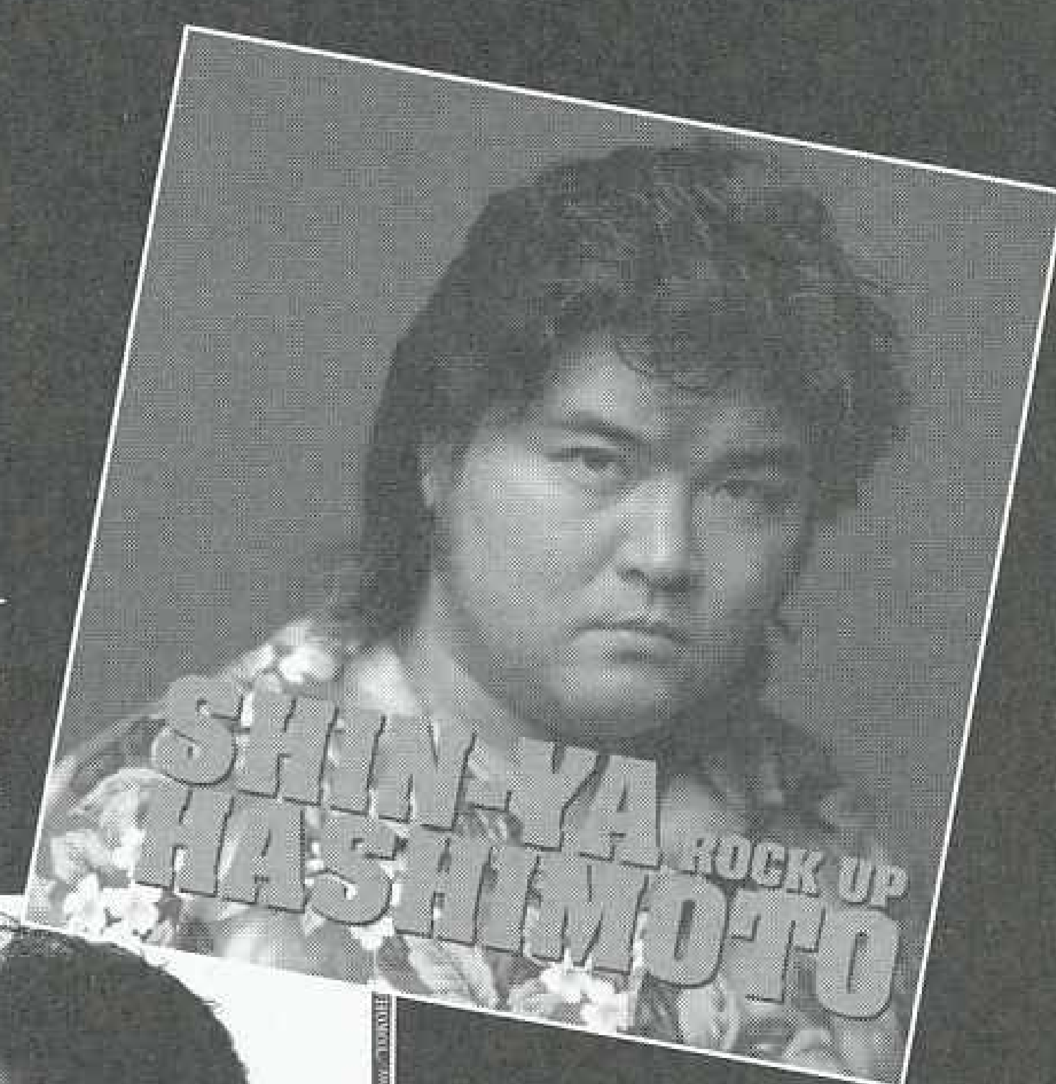


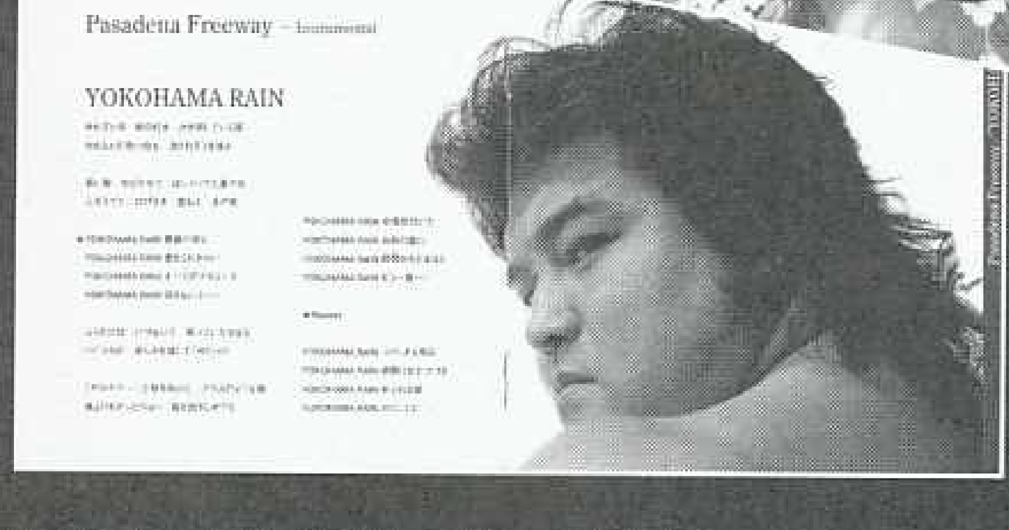


橋本元年

1993.08.25

破壊王のデビュー作。しかも直筆のサイン入り（これは貴重）！　さすが"プロレス界のジュリー"と呼ばれるだけある堂々たる写真うつり！　まさに西部劇スター顔負けのたたずまいだ





ROCK UP

1996.12.16

Vシネ役者ばりのこの睨みっぷりを見よ！　その存在感はプロレス界だけでなく、音楽業界、はたまた芸能界にまで及んだ

「一度、クルマで『仮面ライダーV3』聞いてみな。アクセル踏んじゃうよ、本当に」

──その前は坂本龍一の『ラスト・エンペラー』でしたよね。

橋本 そうそう。でも、いまの曲もそろそろ変え時かなあと思って。蝶野の曲がカッコいいなあと思ってさ、最近。

──でも、蝶野選手が去年のG1で使った曲はひどかったですよねえ。

橋本 あれは最悪だよ。

──あれは初日しか使わなかったですね。

橋本 あれは俺が文句言ったんだもん。「あれじゃ、対戦する方もこけるぞ」って言ったの（笑）。わけのわからんさあ、ちっともカッコよくなかったもんね。それで、テレ朝の音楽を担当してるヤツが「これは会社から言われてるから、勝手にやめたら怒られるんですよ」って言うから、「俺が責任取ってやるから変えろ！」って言ってやったの。

──さすが選手会長ですね（笑）。

橋本 俺も、もしチャンピオンを取られたりすることがあったら、曲をパッと変えちゃおうかなと思って。

──いま入場曲にしたい歌とかってありますか？

橋本 歌はないよ。歌じゃなくて音楽でしょ！　俺はいつも鈴木（橋本選手のテーマ曲作曲者）に言ってたの。「『ボンバイエ』を超える曲を作ってみろ、この野郎。できるもんならやってみろ」ってね。

──でも、最近、歌で入ってくる選手が多いでしょ。

橋本 でも、違う。やっぱり弦楽器、管楽器じゃないけど、『ボンバイエ』聞いたらわかるよ。どんなにシンセサイザーが効いてても、あれに泣かされちゃったらね、違うもん。そうでしょ？

──歌が入ってるとなんかコケますよね。尾崎豊なんか流された日には、どっと疲れちゃいますよ（笑）。

橋本 そんなのいる？

──某団体にいるんですよ。もうカックリしちゃいますけど。

橋本 俺だったら尾崎紀世彦で入った方がいいなあ。♪また逢う日まで～って。

──あははは、それは抜群ですね（笑）。モミアゲが実に効果的ですね。

橋本 みちプロは入場テーマ曲でウケたでしょ。だけど歌ってなんか合わないね。なんかテンポのあるいい曲がないかなあと思うけど、いざ自分がどうしようかと思ったら、やっぱ考えられないもんね。

──橋本さんは、歌手としてライバル視してる人はいますか？

橋本 お前、バカにしてねえか!?　誰もいねえよ、そんなもん！

──ハハ、あのー、音楽雑誌とかは読まないんですか？

橋本 読まないです。どこかで聴いてて、いいなあと思ったら聴きまくる。店の人にも「これ、なあに？」って聞くんだけど、だいたいウエートレスも知らないからさあ。

──若手選手は音楽好きが多いですよね。

橋本 俺が入った頃は、俺らが新人類とか言われたけど、いまの新人は言葉も超越して、俺らでさえ離れちゃったから。

──ラップなんかどうですか？　♪だよね～とか。

橋本 まあ、あれは面白いけど。日本語だから。でも、外人のはわかんないじゃない。俺がわからねえのは、最近のアメリカのガキが着てるようなダボダボの服着たのがいるじゃん。あれだけはわかんないのよ、俺。あの感覚が。中にはズボン下ろしてパンツ見せてるヤツもいる。俺、くらわしてやとうかと思って（笑）。

──だよね～（笑）。長袖の上に半袖着たりしますからね。

橋本 それは俺らもたまに練習のときにやったりするけど、パンツを見せるのはさあ。そのパンツが一個2万円とかしてるらしいんだよね。お前ら、おかしいんじゃねえかなと思って。男っていうのはさあ、アメリカでも、ちゃんとした人たちはちゃんとしたもの着てるんでしょ。へンなガキどもがあんな恰好して、そういうことばっかりマネしちゃってるんだよ。

──まあ、ボクもそんな恰好したりしますけど（笑）。

橋本 この野郎！（笑）。それで、夏でも暑いのにこんなブ厚いブーツ履いちゃってさ。あれだけはわからんのよ。俺も言われるかもしれないよ。俺もウエスタンの恰好してるからさ。ブーツはヘビ皮だし、「お前、頭おかしいんじゃねえか」と言われるけど、どっちがピッシリして見えるかと言ったら、ウエスタンの方だもん。

──んあ～。ウエスタンの方がピッシリしてますか（笑）。

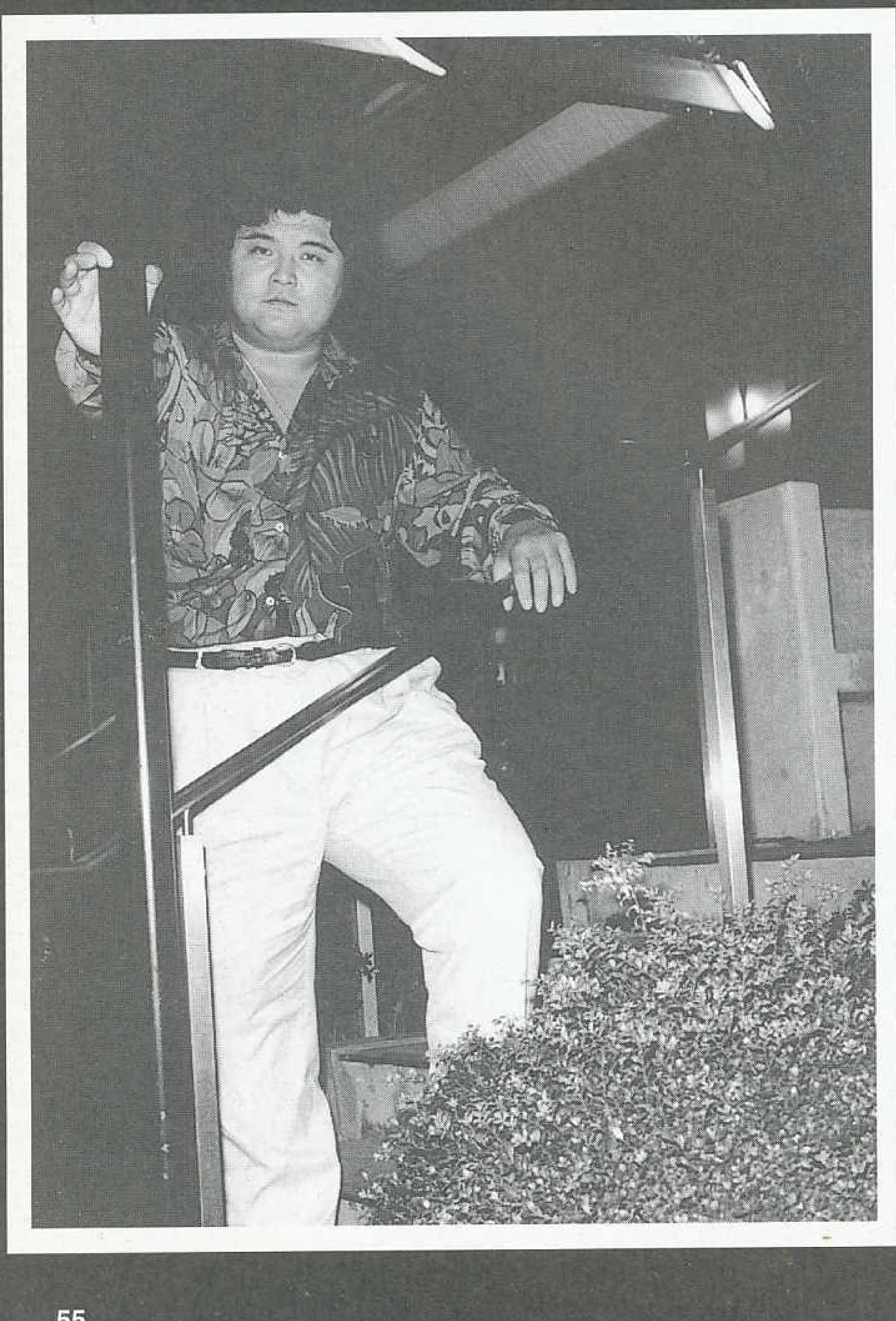
橋本 うん。だからラップもわかんない。だいたいウチに留学に来る黒人のレスラーなんかみんなあれ聴いてんの。みんなこうやって（ブレイクダンス）やってるんだよ。

──スコーピオ選手もそうですよね。

橋本 あれもそう。こいつら、流れてる血が半分サルの血なのかなあって（笑）。

──ちょ……、ちょっと、橋本さん（笑）。

橋本 動物的勘というのはこういうことを言うのかなあと思って（笑）。すごいリズミカルなわけでしょ。それに日本人みたいに悩んだりしないじゃん。べつにけなすつもりはないけどさ。でも、よくよく日本語に直して考えたら、ああいうこと言ってるんだろうね。♪だよね～みたいなさ。それが





「やっぱり水戸黄門の歌が一番いいんじゃないの」

なんだって。結局、そういう意味のない曲じゃない。このレベルに踊らされてちゃってるだけなんだよ。

――もっとちゃんとしたことを歌えと。

橋本　ねえ。やっぱり水戸黄門の歌が一番いいんじゃないの。

――♪人生楽ありゃ苦もありるさ、と。あれは心を鼓舞されますよね（笑）。『猪木ボンバイエ』以外で、他の人の曲でいいなと思うものはありますか？

橋本　やっぱり『スカイ・ハイ』がカッコよかったんですよ。

――テーマ曲も、パッとその選手の顔が浮かばないとダメですよね。高田選手とかは浮かばないですよね。

橋本　だってコロコロ変えてるんでしょ。

――いまは有名なヘヴィー・メタルのギタリストなんですけどイングヴェイ・マルムスティーンの曲を使ってるんですよ。

橋本　それだったら、まだ蝶野の方が全然カッコいいよ。出方もカッコいいしさあ。まあ、でもオレたちの試合というのは、試合までの間にいろんな盛り上がり方をして、もう音楽がないと試合ができないね。「入場です！」と言われて、音楽がかかった時というのは全身に鳥肌がたつからねえ。もう逃げられないという。

――前座の時はテーマ曲はないですよね。

橋本　ないですよ。ただ黙って入ってくるだけですよ。いまのヤツらは恵まれてますよ。最初から音楽もリングに上がる階段も出ちゃうんだから。

――しかし、個人的には橋本選手が自分の歌で出てくるところを一度見てみたいなあ（笑）。

橋本　嫌だ！

――そんな力強く言わなくても（笑）。藤波選手は自分の歌で出てきたことはなかったでしたっけ？

橋本　あれは曲だね。あれはカッコよかったよ、音楽だけ聞いてれば。歌入っちゃうとしょうがないもん（笑）。ジャンボ鶴田選手のローリングなんとかいうのもカッコよかったじゃない。

――あれも鶴田選手の声が入ってるんですよね。

橋本　そういうのを聞くとカクッときちゃうよ。

――でも、『猪木ボンバイエ』だって、猪木さんの「ハイッ！」っていう声が入ってるじゃないですか（笑）。

橋本　あれ「ファイター！」って言ってるんでしょ。あれはカッコいいよ。あれは選挙の時に一日中かけてやったけど、寝るまで耳を離れないもんねえ。逆に嫌になってきちゃうよね。あんな音楽かかって寝れるわけないじゃない。

――あれは起き出しちゃいますね（笑）。

橋本　なんか立ち上がらなきゃいけないかなと思っちゃうよ。

――長州選手のテーマ曲も、そんな感じですよね。

橋本　みんなそういうけど、俺はそんなに思わないんだよなあ。昔はあれがすごくハマッてたんだよね。だけど昔の藤波さんの♪フェ～フェフェ～フェ～フェとかいうの、あれは笑うよ。気合いが入らないよ。

――あの爽やかさはないですよね（笑）。

橋本　あと坂口さんのもいいじゃない。

――ああ『荒鷲のテーマ』ですね、あれはいいですよ！

橋本　あれは打楽器でしょ。やっぱりああいうのは残るんですよ。まあ、こういうように少なからずもスポーツ選手と音楽というのは関係するとこが絶対にあると思うんで。ボクシングだって音楽を取り入れて練習してる人もいるしね。

――そうですね。

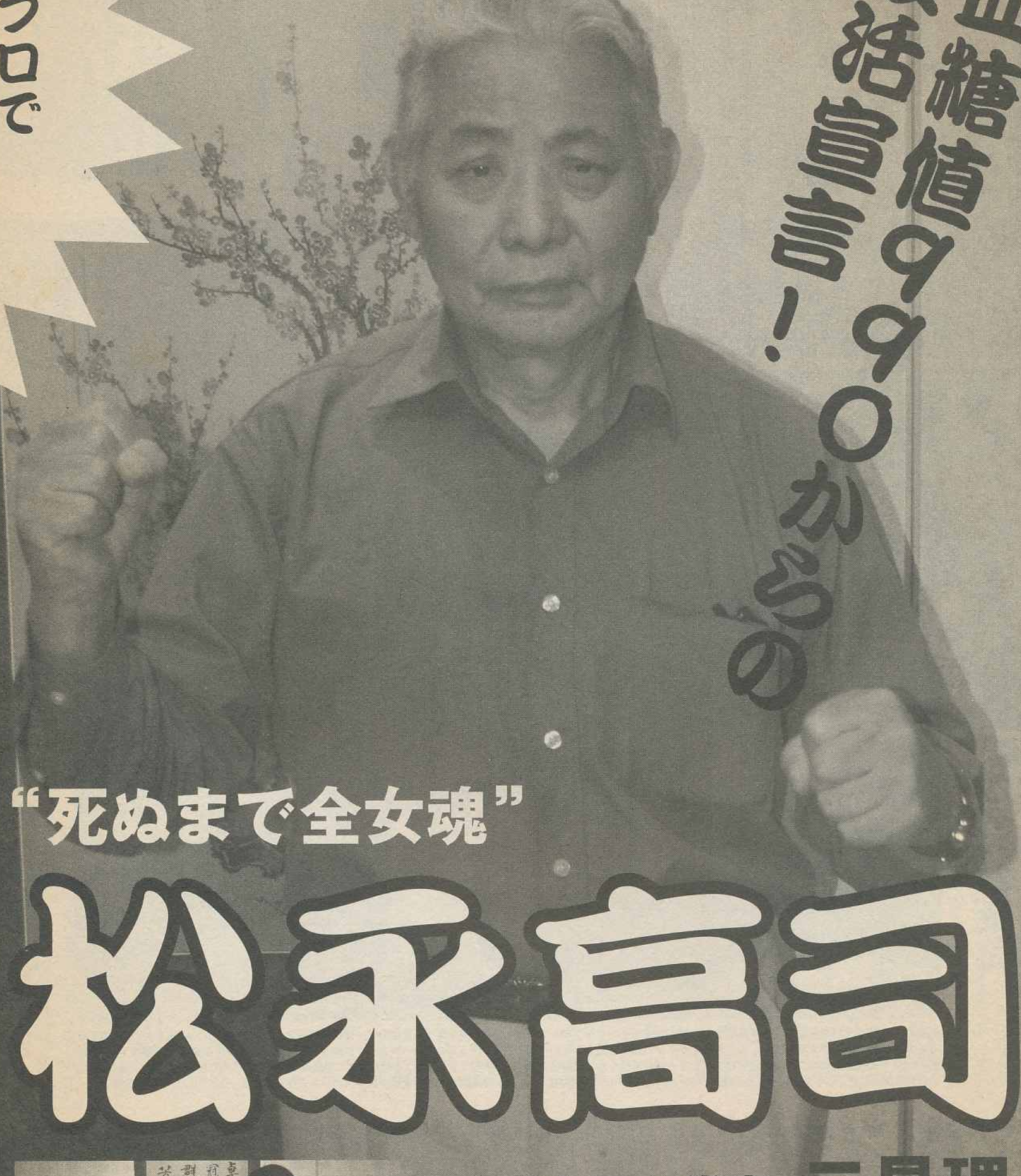
橋本　ということで、これで音楽の授業を終わります！

――へっ？　もう終わりですか？（笑）

橋本　本日はこれまで！

――先生さよ～なら、皆さんさよ～なら。

【95年4月9日、上野毛・新日本プロレス道場にて収録】



血糖値990からの復活宣言！

「女子プロでもう一旗あげるまで死ねん!!」

“死ぬまで全女魂”

松永高司

withT-1代表・二見理



“死ぬまで全女魂”松永会長が久々に『紙プロ』登場！　女子プロには、あまり興味がないという読者でも松永会長の動向は気になるという人は多いだろう。今回、松永会長には4・17後楽園大会での全女解散報道、さらには心配される、その体調までざっくばらんに語ってもらった。今回の取材には8月23日に女子プロオールスター「T—1グランプリ」を主催するチケット&トラベルT—1代表の二見理氏にも同席してもらい、2人の意外な関係にも迫ってみました！

聞き手／松澤チョロ　撮影／斎野もみじ　designed by Shiraki (TwoThree)



——会長！　お元気そうでなによりです。

松永会長（以下・会長）　まあ、なんとか元気でやってます（苦笑）。

——早速お話をうかがえればと思うのですが、全日本女子プロレスが4月の後楽園大会で解散というような形になっていますけど、実際のところはどうなってるんでしょうか？

会長　どうなんだろうねぇ（苦笑）。

——「どうなんだろうねぇ」って（笑）。

会長　まあ、いまの子たちは「借金は借金でわかるけど、なんらかの対応をしてほしい」と言うわけ。いままでは、自分たちの手で全女を再び盛り上げようって思って付いてきたわけですよね。

——そういうのもあって、全女は好きだけども、選手たちも4月の後楽園で決断せざるを得なかったんでしょうね。

会長　そういうのもあっただろうしね。旗揚げ当初だったらギャラが遅れても次の日になったら「過ぎたもんは払えない」で済んだんだけどね（笑）。

——アハハハハハ！　さすがに、そういう時代の選手とは、いまの選手は考え方も違うでしょうしね。

会長　まあ、そうだよね。お金が全てじゃないけどそんなこともあったし、アタシは倒産してから3回入院したんですよ。その間はホント何にもできなくてね。

——その入院すらも、ホントは何ともないんじゃないかっていう、よからぬ噂から、逆に、かなりヤバインじゃないかっていう噂も立ってたんですよ。

会長　なんかそうみたいですねぇ（笑）。

——実際のところ、お身体の方はどんな感じだったんですか？

会長　一時は看護婦から「こんな血糖値高い人見たことがない」って驚くぐらい血糖値が上がっちゃってね（苦笑）。普通は血糖値って100以下なんですけど、それが990までいったんですよ。

——け、血糖値990!?　それヤバすぎますよ!!（笑）。猪木さんだって血糖値600いくつで危なかったって言ってましたし。ホント、こう言っては失礼ですけど、よく生きてましたよね（笑）。

会長　そうだねぇ（苦笑）。最初、肺炎になったとき、医者に「普通の肺炎じゃない。鳥の羽や糞が癒着してる」って言われて。アタシは山で鳥を飼ってたんですけど、そういうものを知らないうちに吸っちゃってたんですね。

——いわゆる鳥インフルエンザってヤツなんですかね。

会長　そうそう。それだったの。

——山っていうと、秩父のリングスターがあったところですよね？

会長　そう。あそこの山で百匹ぐらい飼ってたの。鶏から七面鳥からホロホロ鳥とか。あと馬もいたしね。

——ちょっとしたムツゴロウ王国状態ですね（笑）。

会長　まあ、そこまではいかなかったけども（苦笑）。死にかけてたのはホント。

——そうでしたか。で、今日はいろいろとお話を聞かせていただければと思うんですが、まず全女のラスト興行と言われている4月17日の後楽園大会には、会長は体調不良ということで会場にはいらっしゃいませんでしたよね？

会長　いやね、行こうとは思ってたんですけど、ドクターストップがかかっちゃって。無菌のとこにいたんで、病院以外への外出は無理だって言われたんだよね。

——その前に勇退発表会見が行われた3月末の横浜大会のときも体調は悪かったんですか？

会長　あのときも、なにせ肺炎だったから「入院しろ」って言われてたけど、俺は死んでも入院しないって言ったの。

4月の後楽園の開催も危なくなって、会長から相談を受けたんです

恥ずかしい話だけど、お金を貸してくれって頼んでね（苦笑）



昭和11年、東京都目黒区出身の松永高司会長。妹の吉葉礼子の女子プロレス入りをきっかけに昭和29年業界入り。自らの手で女子プロ団体を設立したのが昭和43年。その後、数度のブームの仕掛け人として一時代を築くも、結局は多額の負債を抱え倒産。いまでも挑戦する心を忘れない女子プロ界の父親的存在。

インターネットを中心に一部のプロレス＆格闘技ファンには知る人ぞ知る存在のチケット＆トラベルT—1代表・二見理氏。プロレス＆格闘技の聖地・水道橋でチケットショップを経営する二見氏は女子プロレス界の復興をテーマに8月23日、後楽園ホールで女子プロレスオールスター戦「T—1グランプリ」を主催。

——まあ、死んだら入院できませんけどね（笑）。

会長　そうなんだけどね（笑）。それで、女房と娘と医者にこっそり相談したら、このままじゃ1～2ヶ月しかもたないよって言われて。で、肺炎を治すにはステロイドを使うんですけど、それを使うと血糖値が上がっちゃう。その時で自分の通常の血糖値が400～500で、かといってステロイドで肺炎を治さないと命はないって言われてね。

——その結果、血糖値990を叩き出したと（笑）。

会長　どうすりゃいいんだって話で（苦笑）。

二見　3月の横浜大会での会見でも会長と、正嗣さん（当時の全女プロデューサー）の言ってることはバラバラでしたからね（笑）。

会長　俺もあのときは「何て言ったらいいんだよ？」って感じだったから（笑）。

——会見で会長が後楽園で勇退するっていう報告があった後に、正嗣さんからは、全女という名にこだわって4月大会以降もやっていきたいという発言があったり、明らかに内部で混乱してるなっていうのが見えましたからね。

二見　そうだったみたいですよ。あれを言うな、これを言うなって感じで。

会長　恥ずかしい話ですけど、そういうことですよ。アイツ（正嗣氏）が「それは言っちゃ困る」ってことを、俺はベラベラ喋っちゃったけどね（笑）。でも何だかんだ言って、一番かわいそうなのは選手とスタッフ。

——そうですよね。ギャラの未払いもかなりあったみたいですし、大好きな全女がなくなるって急に聞かされたわけですからね。

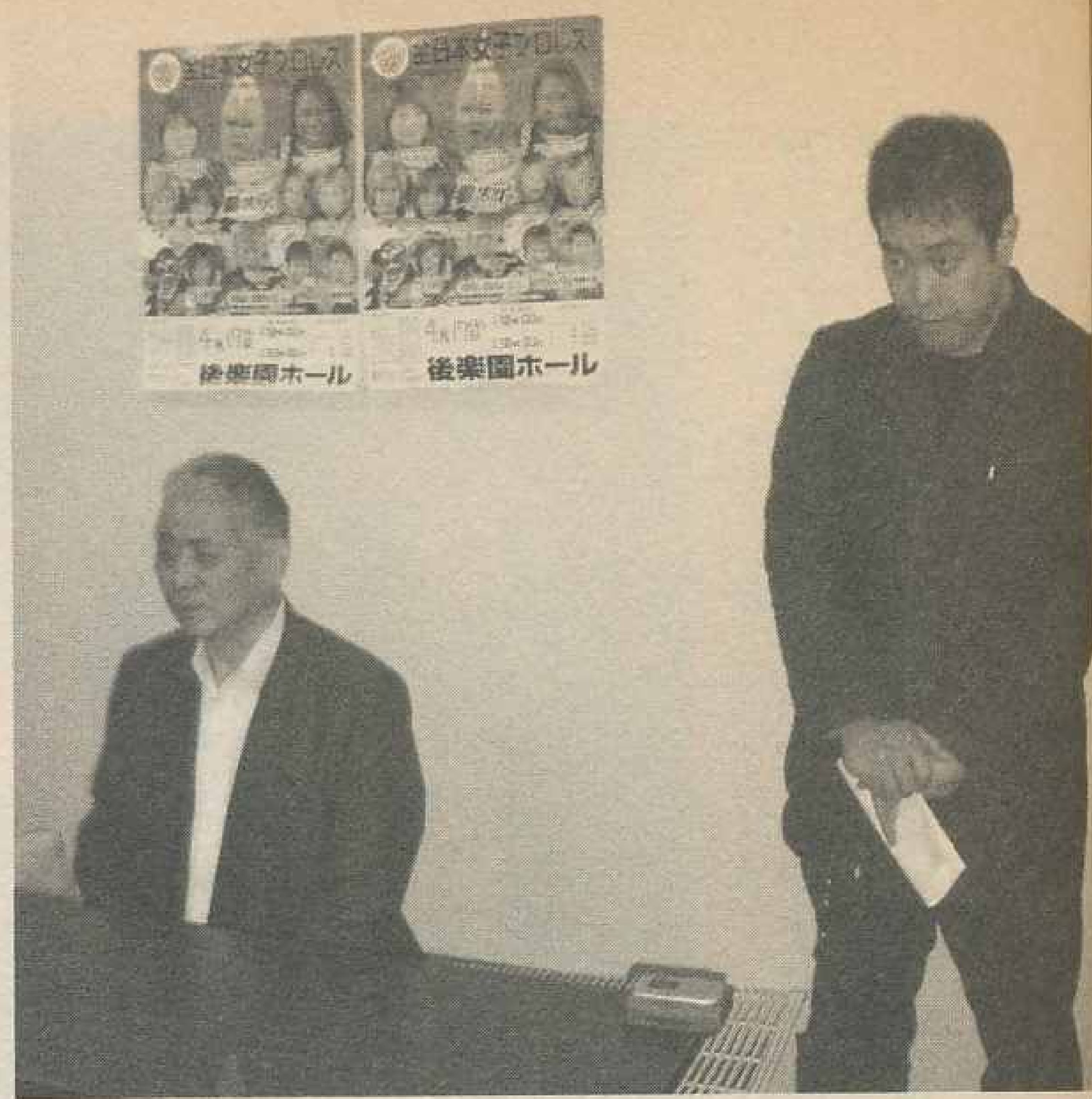
会長　そうそう。かわいそうだとは

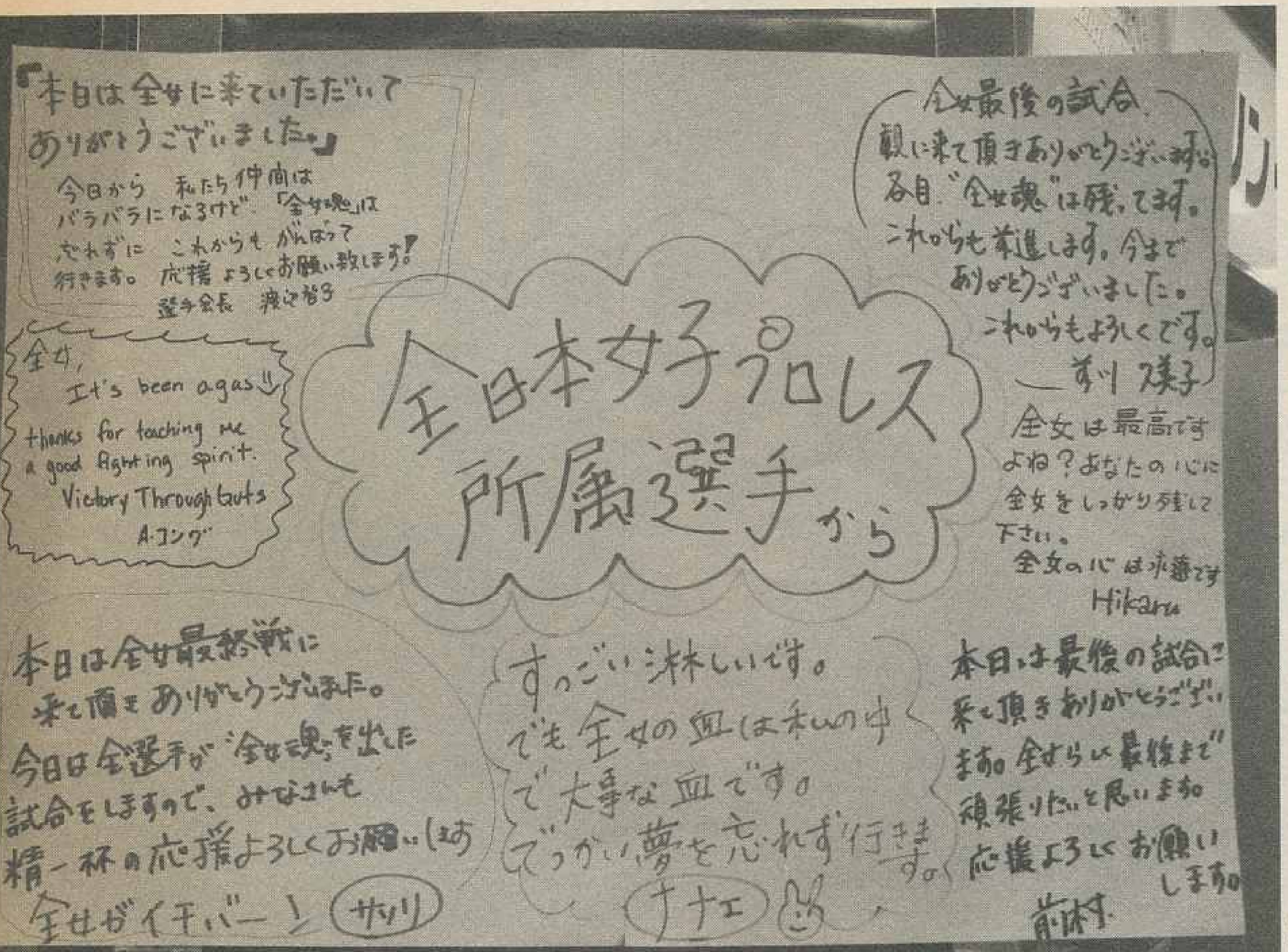
紙のプロレス RADICAL

スーパースター列伝

“死ぬまで全女魂”









4・17後楽園ホールで行われた全日本女子プロレス・ラストマッチ。松永会長は体調不良のため会場に姿を見せず。代わりにリングに上がった松永健司副会長と松永国松社長は「こんな終わり方をして申し訳ありません」と客席に向かって土下座。

思うんだけども、払えるものもないしね（苦笑）。

二見　もう実はいろんなとこから差し押さえがあって、4月17日の後楽園大会の開催も危なくなって。その時、会長から相談を受けたんですよ。

会長　恥ずかしい話だけど、お金を貸してくれって頼んでね（苦笑）、一緒に後楽園に行って4月17日はT―1さんが払うことになったんですよ。

――そうだったんですか？

二見　選手のことを考えると全女さんに一時しのぎに貸しても、また次も貸してくださいとなっても困るし、8月のT―1グランプリ（以下・T―1GP）につながるカードを条件に受諾したんです。

――あの大会は最終的にファースト・オン・ステージ主催って形で開催されたわけですが。

二見　でも、T―1主催興行っていうのは全女さんの全員にも確認済みでしたから。ただ正嗣さんだけには自分が条件として出していたカードは難しいと言われましたけどね。

――そういうのがあって、T―1主催興行という形ではなくなったんですね。ここ何年かの全女のマッチメークは、正嗣さん、ボブ矢沢さん、田口かほる（影かほる）さんの3人が中心にやられていたみたいですね。

会長　そうだね。みんな、なかなか我の強い子ばっかりで、若いから何でも自分の思い通りにやりたいんでしょ。

――マッチメーカーが変わって、全女のスタイルが以前と変わってきた部分もありましたよね。

会長　ハッキリ言っちゃうと、アタシが理想とするプロレスとは、まったく違う方向に行き始めたよね。

――『レディゴン』のインタビューでも仰ってましたけど、会長は男子プロレスと女子プロレスが関わるのは反対なんですよね。

会長　ミックスドマッチとかは反対だね。

――あと反対する理由として「男たちがいる中に行ったら、すぐデキちゃうから」って言ってましたよね（笑）。

会長　そうそう。思春期の女の子ばっかりで、彼氏がいたっておかしくない年の子ばっかりなんだから。こっちとしては、ガードしてそういう気が起きないようにしてるんですよ。

――いわゆる〝三禁〟ってヤツですね。

会長　そういうこと。どんな選手でもそれを破ったら、即クビなんですよ。いくら選手がいないからって、それをナアナアにしてたらダメになっちゃうから。

――で、ここ数年、プロレス界が元気がなくなったってよく言われますけど、会長自身のプロレスに対する哲学は昔から変わらないですか？

会長　変わらない（キッパリ）。

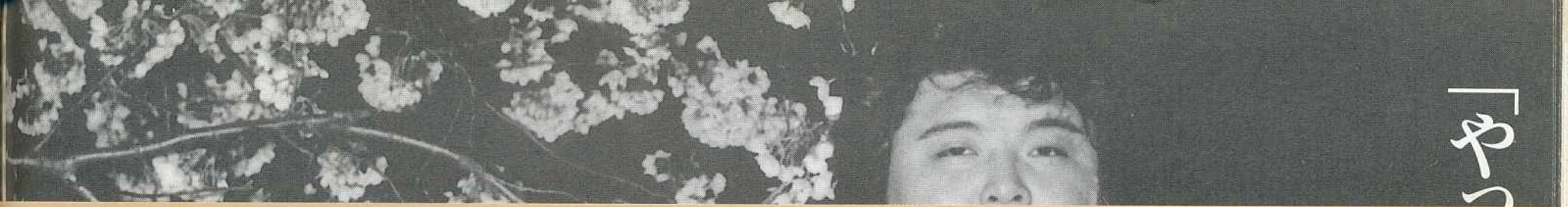
――時代が変わってきたところもあると思うんですが、会長的には、三禁とか25歳定年制っていうのは、いまの世の中でも必要だと思います？

会長　うん。だって25歳過ぎてからの試合と、20歳頃の試合とでは全然違うじゃん。格闘技でも芸能界でもそう。ゴルフやテニスだって10代からやんなきゃダメ。

――やっぱり、中学を卒業したばかりの女の子に一から教えるのが理想なんですかね。

会長　それが一番だね。17～18歳で色気づいてたらもうダメ。投げられて大股広げるのは恥ずかしいからヤダっていうのはねぇ。

――それは困っちゃいますね（笑）。あと会長は「恋をすると肉が軟らかくなる」っていうことを言ってたことがありましたけど、具体的にはどういうことなんですか？



アタシはゼロからでも女子プロをやっていこうと思ってる（会長）



「借金なんて、一人スターが生まれれば、すぐ返せる」が口癖の松永会長。今回のインタビューでも女子プロレスに対して変わらぬ情熱を見せていた。果たして松永会長は、ビューティー・ペア、クラッシュ・ギャルズ、キッスの世界らを上回るブームを巻き起こすことは出来るか？

会長　医学的な根拠なんかなくて、まったく経験だけなんだけど、要はセ●●スとか覚えると、ヒザか腰を必ずケガするんですよ。なんていうか緩むんだよね。

―セ●●スそのものの行為でヒザや腰を痛めるんじゃなくて、そういうのを経験することによって試合や練習に影響が出てくると？

会長　そうそう。だから、そういうのでケガが多くなると、そろそろ引退だなって。女の子でも筋骨隆々を保ってる選手がいるでしょ。でも男ができちゃうと、なんか身体が変わるんだよね。恋をすると綺麗になるって言うけど、それなりにホルモンが出るんですよ。

―へぇ～、勉強になりますねぇ（笑）。

会長　男でもそうよ。アタシもボクシングとか柔道やってたけど、トレーナーがやかましかったから、女も●●●もダメって言われてたの。

―格闘家とかは試合の直前はダメって言いますよね。

会長　そうなの。試合の前の日にこいちゃったりすると、腰に力入んないんだよ。だから、やっちゃいけねえ、やっちゃいけねえって思うんだけど、ついやっちゃうの（笑）。

―アハハハハ！　全女の男禁止っていうのは、ある意味、会長の経験からきてることでもあるんですね（笑）。

会長　そうだね。だって男もそうなんだから、女の子もそうだろうと。お客の半分ぐらいは、「レスラーは試合終わったらスタッフとヤッてんじゃねえか？」とか「スナックでご乱交だろう」とか、頭パンパンに膨らませて考えてるんだろうけど、そんなことないから。

―そういう噂話はよく聞きますけど、現実的に、そういうことはないと？

会長　よそは知らないけどもウチはないよ。でも、プロレス始めたばっかのときは、試合が終わったあと、みんなで宴会やってたんですよ。でも酒飲むと、酔っぱらってみんな狂っちゃうんですよ。机、引っ繰り返すは、選手同士で取っ組み合いするはで大変だったの。あんまり暴れる選手は死んだ弟（俊国）が家に隔離したりね。ホント大変だったんだよ（苦笑）。

―そりゃ酒は飲ませられないですよね（笑）。

会長　そういうのを見て、こりゃ酒も禁止だなと。

―残る三禁はタバコですけど、これは単純に身体によくないからという理由でですか？

会長　そう。影に隠れて吸うんだったら、プロレス辞めたらいいって言うの。どんなトップクラスでもそれは言いますから。

―昔の全女の入門テストには何千人も応募してきた時期もあったわけですから、辞めさせても、また育てればいいって感覚だったんでしょうね。

会長　そういうこと。

二見　会長は引退や離脱する選手を、ホント引き止めない方ですからね（笑）。

会長　だって、引き留めるということは、結局「頼むからいてくれ」って、こっちが頭下げる状態になるじゃない？　言っちゃ悪いけど、女っていうのは感情の動物だから、すぐ手の平返したみたいに「頼まれているんだから何してもいい」ってなるんですよ。だったらいてもらわない方がいい。

二見　結構、選手って計算高いとこもあって、どうせ止めてくれるだろうと思って「辞める」なんて言う人もいるみたいですけど、会長はそれがわかるから止めない（笑）。

会長　ケガもそうなんだよね。「痛い痛い」って言ってもホントかどうかわからないんだから。それでも、大体ホントか嘘かはわかるけどね。

―さすが何十年も女子プロの世界を見てきているだけありますね。でも、いくら試合してもギャラが出ない状況で100％の力で闘うっていうのは選手にとってはキツいでしょうし、そういうのがお客さんに伝わって悪循環になってる部分もあるんじゃないですか。

会長　そうなの。まずギャラを払えないのが悪い。それが一番なんだけども、お客が来ないのは内容が悪いからっていうのが大きいやね。

二見　あとは25歳定年制がなくなって新世代が出てこないっていう問題もありますよね。

会長　だって目一杯やってるかやってないかって、お客さんが見ればわかるじゃないですか。いまはみんなK―1とか『PRIDE』を見てるんだしね。

―そういうのも影響あるでしょうね。女子プロレスラーの心理を知り抜いてる会長ですけど、よく聞く女子プロ界のイジメとかについてはどう思っているんですか？

会長　まあ、イジメもあるだろうけど、こっちはそこまで見てるわけじゃないから。プロレスだけじゃなく相撲とかでも一緒で当然あるだろうし。

―稽古以外にも“かわいがり”ってありますからね。

会長　小競り合いっていうのは動物だからなくならないし、その中で切磋琢磨して育っていけばいいんじゃないの。

―全女流の選手育成の哲学がよくわかりました（笑）。話はちょっと戻りますが、8月に後楽園で開催されるT―1GPについてうかがいたいんですが？

二見　8月23日が、T―1の創業10周年の節目なので、業界に何か恩返ししたいと思って、昨年6月に最初に全女さんに話したところ、後楽園ホールは法人でも団体じゃないと会場を貸してくれないと言われまして。そういう経緯で全女さんが押さえてくれたものなんです。

―その間に、全女解散という発表もされちゃいましたけど（笑）。

会長　まあでも、アタシはゼロからでもやっていこうと思ってるし、一年経とうが二年経とうがやっていくつもりですから。

―まだまだ女子プロレスをやめるつもりはないと？

会長　まあ、それしかできないからね（苦笑）。

―いまはなき事務所にはファンにはたまらないお宝とかたくさんあったんじゃないですか？

会長　それほどでもないけど、ビデオのソフトが200本ぐらいあるわけですよ。

―未公開ビデオとかですか？

会長　そうそう。いまはダメだけど、もう一度新しいスターが生まれれば、古い時代の試合がDVDとかで何千万って利益になるから（キッ



紙のプロレス RADICAL
スーパースター列伝
“死ぬまで全女魂”

パリ）。

——それはお宝ですね。何千万という利益になるかはわからないですけど（笑）。でも、全女の試合って、遡れば遡るほど面白いというか、凄い試合をしてるってところがありますからね。

会長 だって、昔の選手はホント命がけだもの。それにハートで試合やってますからね。

二見 なにせ全女さんは、ガチンコというか、押さえ込みマッチとかありますからね（笑）。

会長 そうね。上に行くまでは、ある程度そういうのもやらせてるんだけども、あまり面白いものじゃないね。でも力が入るから、お客もそれを自然と応援するわけですよね。スターを作るには、やっぱりそういう試合も必要なんですよ。

——スターを作るには、押さえ込みマッチが必要っていうのはどういうことなんですか？

会長 あのね、ある選手が上り調子のとき、地方にファンクラブがあって会員がたくさん来たんですよ。そこで、後輩と押さえ込みマッチをやらせたんだよね。ある意味、凱旋興行みたいな感じで。

——普通、凱旋興行的な大会だったら、その選手に花を持たせる場合が多いですよね。

会長 そう。先輩の方の選手は、その日の試合とか軽く見てて観光とかしてたんですよ。で、後輩の方には柔道やってたウチの兄貴（健司）に頼んで、楽屋裏で抑え方とかずーっと教えてたんだよね。その選手も鼻にかかってた部分もあったんだろうけど、「絶対勝つんだ」っていう意識だったんですよ。で、やっぱり試合は先輩の方が負けたわ。

——大勢のファンクラブの前で大恥をかいたわけですよね。

会長 そうそう。その前でペロッと負けちゃったんだもん。あのときは、泣いて泣いて泣いてねえ。荷物まとめて、実家に帰るって言ってきたの。

——それぐらいショックだったんでしょうね。

会長 でも結果的にそういうことがあったから彼女は「もう一度頑張る」ってなったんだと思うんだよね。

——会長的には、「実家に帰る」って言うのも、しばらくしたら、また戻ってくるっていうのも計算ずくだったわけですか？

会長 そりゃあそうですよ。実家に帰るって言っても、たぶん両親とかが説得するだろうと思ってたしね。

——恐ろしいほどの読みですねぇ（笑）。

会長 まあ、そうやって選手を伸ばすためにも押さえ込みマッチとかは必要なんですよ。

——全女では凱旋興行とかとなると、その選手メインのポスターを作ったりしますけど、そういう大会で押さえ込みマッチをやらせるっていうのも、ある意味、全女らしいというか（笑）。

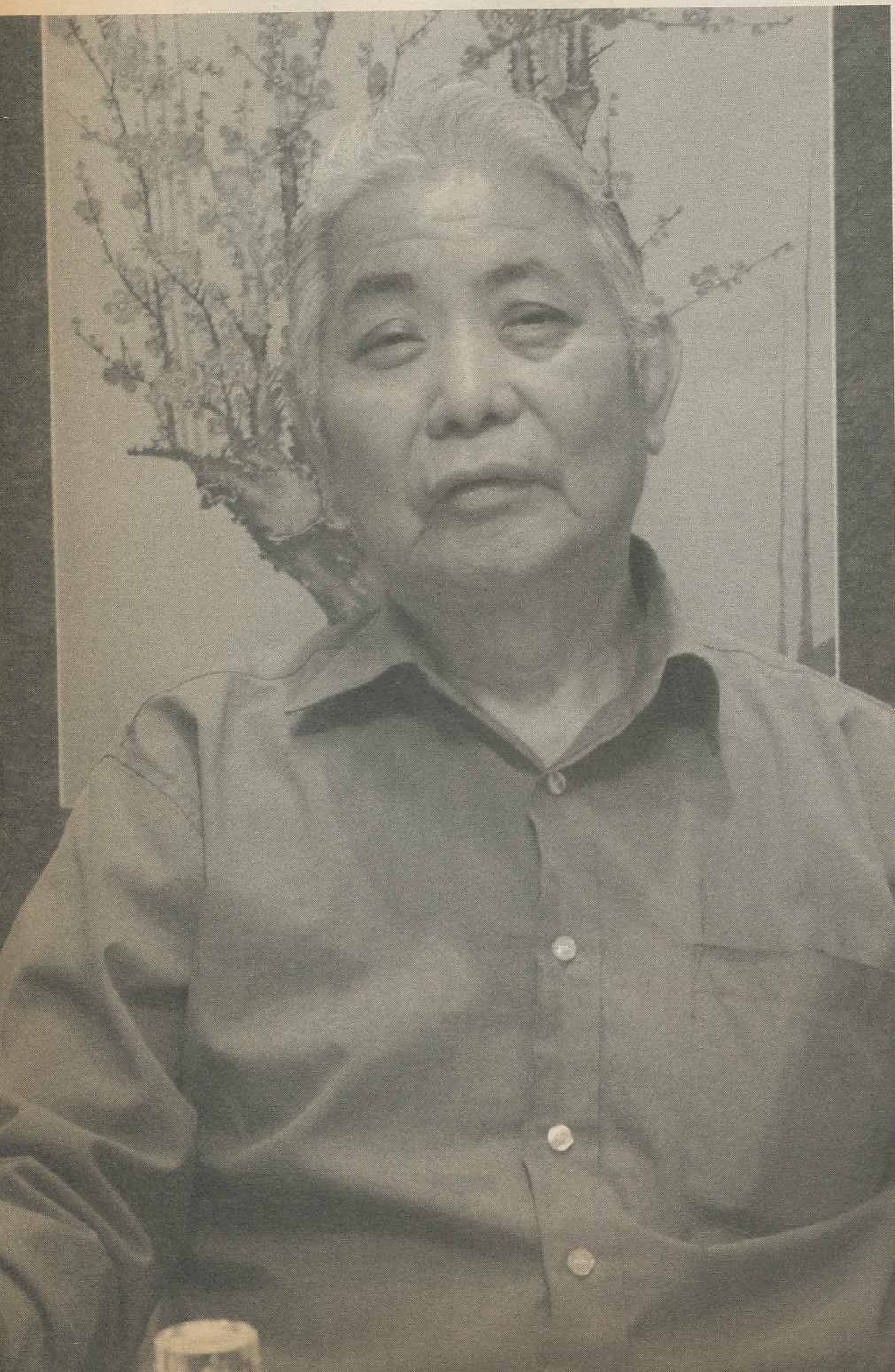
会長 押さえ込みマッチとかがあるから強くなっていくっていうのは絶対あるからね。

——それはあるでしょうね。先ほども、少し言ってましたけど、会長の中では女子プロでもう一旗っていう気持ちは当然あるんですよね？

会長 もちろん！

——だとすると、現状では、どこかの団体や既存の選手を集めてやるっていうより、新しい団体を一から

選手を伸ばすためにも押さえ込みマッチは必要なんです！





「や

創りたいっていうのが本音になるんですか。

会長　まあそうですね。でも、何をやるにしても肺が完全じゃないから、表出るときはマスクしなきゃいけないんだけどね（苦笑）。

――でも、今日はマスクされてませんでしたよね？

会長　別に死んでもいいやと思って（笑）。

――いやいや（笑）。いまは女子プロに限らずプロレス界は厳しい状況ですけど、プロレスをやりたいっていう若い子を集めるのは大変なんじゃないですか？

会長　いや、いつの時代にもプロレスをやりたい選手は必ずいるんですよ。何だかんだ言っても、どこの団体にも新人は何人かいますよね。その娘たちを昔の選手と同じように扱うのはよくないとは思うけど。

二見　それだと間違いなく続かないでしょうね。

――全女と言えば、テレビと共に育ってきた部分もあると思うんですけど、やっぱりテレビが付かないとブームを起こすのは大変なんですかね？

会長　まあ、付くにこしたことはないけど、すぐには無理ですよね。だから、まずはテレビがほしくなるような選手と試合を提供しないとね。あとは、お客も入れなきゃいかん。チケットも売れなきゃいかんって、いっぱいあるんだけど、やっぱり10代のスターを創らんとダメだよな。

――バレーでも卓球でもゴルフでも10代の選手がガンガン活躍してますからね。

会長　もうね、あれじゃなきゃダメですよ。

――ビューティーペアの時もクラッシュの時も、同性のファンが多かったと思うんですけど、やっぱり同性のファンを巻き込んだ方がブームは起こりやすいんじゃないかと思うんですが。

会長　女の子の女子プロファンは、プロレスっていうより選手にラブなんですよ。

――学校で女の子が同性の先輩に憧れるみたいな感覚ですよね。

会長　そうそう。ジャッキー佐藤のファンとか、試合がよくても悪くても、ジャッキーの顔見てりゃいいってなるわけ。

――選手に憧れというか恋心を持ってプロレス界に入ってくるような選手はダメなんですかね？

会長　ダメじゃないんだけど、どこか暗いとか、のめり込み過ぎてる娘は難しい。基準としては、何て言ったらいいのか、この先こうなるだろうっていうのがわかるんだよね、俺らは。

――会長みたいに長い間、女子プロレスラーを見てくると、そういうのも見ただけでわかるんでしょうね。

会長　大体、一発でわかる（キッパリ）。

二見　でも、いまはそういう熱狂的な女性ファンは少ないですよね。どの団体も男子のファンの方が多いですし。

会長　男のファンもいいんだけれども、男は男で、どっかおかしいからな（笑）。

――アハハハハ！　男性の女子プロファンって、アイドルの追っかけに近い見方をしている人も多いですからね。

会長　オカズにしてんでしょ？

――アハハハハハ！

会長　年齢とか聞いてみると40歳の独身とか言うしね（笑）。

二見　いまの女子プロには、そんなファンが多いんですよね。会場を見渡しても女の子のファンが全然いないなんてこともありますからね。

――へぇ～、そうなんですか。アイドル系の選手がプロレスをやるっていうのもアリだとは思うんですけど、会長的には、そういう路線の女子プロはどう思います？

会長　いや、やっぱりプロレスっていうのは基本的には男のやる格闘技なんで、どこか男っぽくないと。ヘナヘナしてる子ばっかりじゃ困っちゃうよな。まあ、可愛いのもいいとは思うんだけど、それだけじゃダメだからね。

二見　会長の言うとおりで、可愛い選手をたくさん揃えた団体が、たくさんお客さんを入れてるかっていったら現状は入ってないですから。結局、スキルが伴わないとダメですよね。

――ちなみに、会長はパッと見たら、この選手は来るなっていうのは大体わかるんですか？

会長　わかる！　最近の選手は見てないけどな。

――全女にいたＨｉｋａｒｕ選手なんかは、いかにも女性ファン受けしそうなタイプでしたよね。

会長　まあ、そういう風に育ててきたんだけどねぇ。

――8月のＴ―1ＧＰへも元全女の選手は何人か出るんですよね。

二見　そうですね。全女にいる頃から約束してくれてましたからね。いまは元全女って形になっちゃいましたけど、前川選手、前村選手、アメージング・コング選手には出ていただけるということで感謝してます。やっぱり、お金だけじゃなくて義理人情の世界でもあるわけじゃないですか。他の選手も含めて、お金以上の部分で動いてくれたのは嬉しいし、いまは協力していただける選手に出来る限りのことをしてあげたいという思いが強いですね。Ｔ―1としても会長に頼まれてたから、今大会を活用していただければ幸いと思ってますし。

――それで、ＷＷＷＡ世界王者の前川さんのＴ―1ＧＰ出場が発表

会長の人柄があったからこそ助けたってところはあります（二見）



6月20日に行われたＴ―1ＧＰ会見で、現ＷＷＷＡ世界王者の前川久美子の参戦が発表された。タイトルマッチの可能性を聞かれた前川は「全女のOKが出れば可能なんでしょうけど、いろんな問題や矛盾点もあるんで、ベルトを賭けるかどうかは微妙」と複雑な心境を吐露。



紙のプロレス RADICAL

スーパースター列伝
“死ぬまで全女魂”

されたんですが、タイトルマッチをやるにも、本人曰く「管理する人も認定書読む人もいないから、私にもやれるかどうかわからない」って会見で言ってましたが。

二見　全女さんが承諾すれば可能だと思います。前川選手自身はタイトルマッチをやりたい意向を示してるんですけど、封印することも考えてるっていう状態なんです。でも封印するにしても、それは会長が決めることだと思いますが、やっぱり、1回も防衛できないのは可哀想ではないかと。

会長　あのベルトっていうのは、もともとロスにいるミルドレッド・バークっていう人の物で、そこから外人選手を呼んでたんですよ。彼が「このベルトの権利を売るから日本で使ってくれ」ということで300万で買い取ったんですね。

——当時の300万って凄いですよね。

二見　いまだったら何千万でしょうね。

会長　それはわからないけども、ウチで買い取ってベルトを新調して、そこから歴史が始まってるからね。

——赤いベルトはもともと海外のベルトだったんですね。

会長　そう。新聞社が調べたんだけど、あのベルトは80年以上の歴史があるんですよ。ホントかどうかはわからないけど、少なくともウチに来てからは35年以上の歴史がありますからね。

——間違いなく35年以上の歴史はありますよね。ちなみに、赤いベルトのデザインって一回も変えてないんですか？

会長　いや、権利を買ったときに新調して、そのベルトはジャガーにあげたんですよ。ケガしてタイトルできなくなった時に「お前は頑張ってくれたから、それはお前が持っておけ。ベルトはまた新しく作り直すから」ということでね。

——へぇ～、それはいい話ですね。あと、あらためて、お聞きしたいのは全日本女子プロレスっていうのは解散しちゃったんですか？

会長　いやいや、解散じゃないです。全日本女子プロレス協会はそのままにしてあるんだから。ただ興行会社を封印しただけ。

二見　正嗣さんはタイトルマッチを反対してるんですけど、いろいろ複雑な事情があるみたいで、まだ一山あると思いますが（苦笑）。あと会長が常々言ってるのは、「WWAの価値がわかる相手とやってもらいたい」と。これまでの歴史のこともあって、他の団体とかではタイトルマッチはやって欲しくないっていうことなんですよ。

——その辺のこだわりは当然あるでしょうね。

二見　そういう意味でも、T—1GPでタイトルマッチをやるっていうのも責任が重大なんですよね。「枝を切って根を枯らす」で実現できれば、WWAはそれだけの価値があるベルトだと思ってるんで。

——男子のプロレスでは、60分時間切れって滅多にないですけど、全女とかでは結構頻繁にありましたよね。

会長　そうだね。ホントよくやってくれたなあと思うよ（しみじみと）。でも、それをやることによって、お客さんを感動させるし、選手の価値も上がるということですから。でもいざやってみて、限界を超えたときにどういう闘いができるかっていうのがあるわけ。

——それを乗り越えたら、レスラーとしても一人前って部分もあったわけですね。

会長　そうね。

——押さえ込みマッチもそうですけど、全女の選手はホント大変ですよね（笑）。

会長　でも、そういう闘いをやっておかないと弱くなっちゃうから。

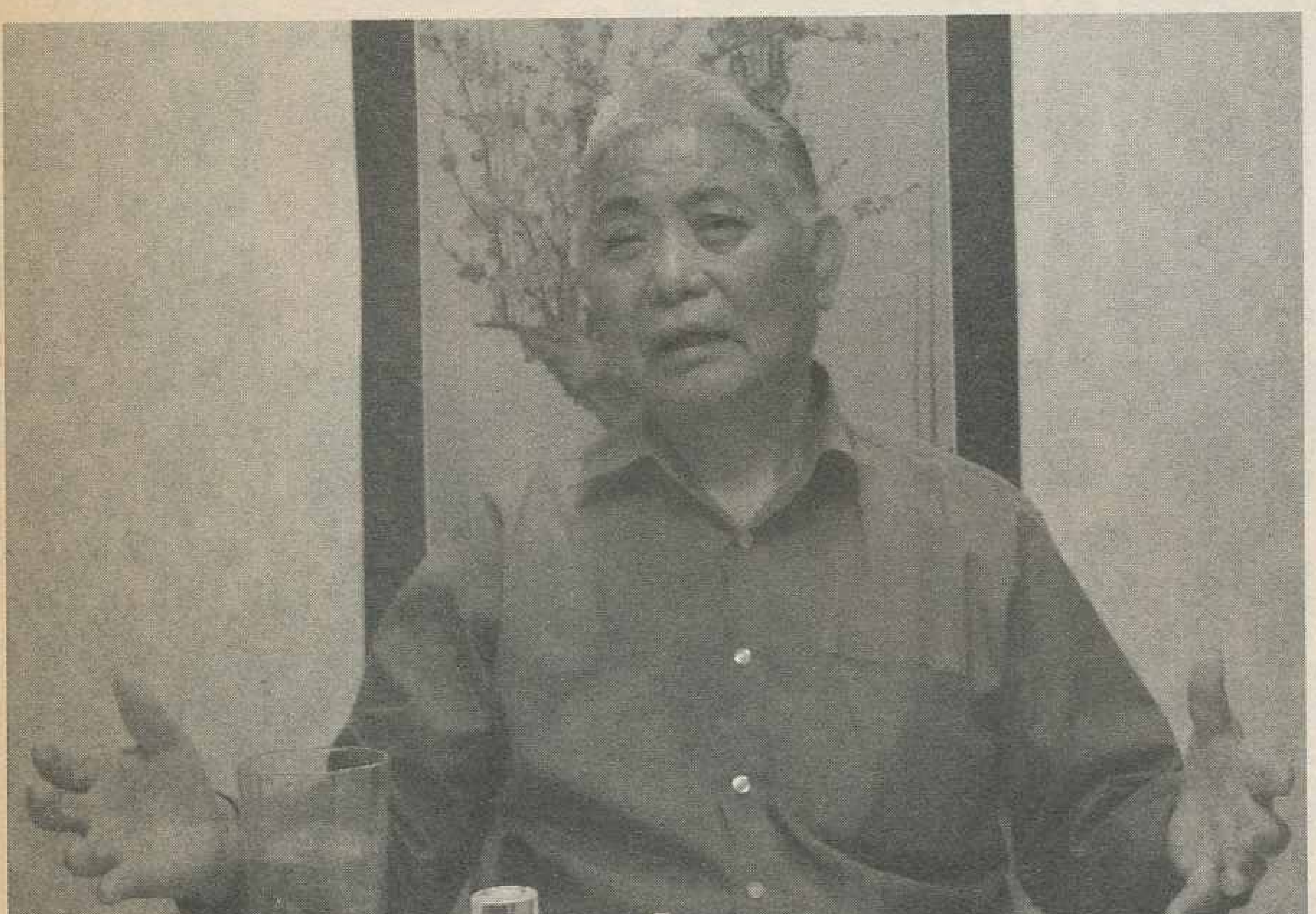
二見　同じことを他の人が言ったら説得力がないですけど、会長が言うと説得力ありますからね。

会長　まあ、ここまで女子プロをやってこれた人間は他ではいないよ、多分。

——多分というか絶対にいないと思います（笑）。

会長　でもホント、T—1さんには苦しいときに金銭面などで世話になりましたから、ちょっとは恩返ししないとね（苦笑）。

全日本女子プロレスは解散じゃないです。興行会社を封印しただけ



二見　あ、ありがとうございます。

会長　でも、昔、倒産するってなったときもね、結局取り立てに来た人は誰もいなかったよ。「倒産するからごめんなさい」ってお願いしたら、「じゃあ、会社がよくなったら返して下さい」って言われてね。

——へぇ～、その辺は会長の人徳なんでしょうね。

会長　いやいや、そんなことはないと思うけど（苦笑）。

二見　私も会長の人柄があったからこそ助けたっていうところはありますからね。ホントは全女かAtoZ主導でオールスター戦をやってもらいたかったんですよ。ウチはプロ野球でいうサンヨーみたくスポンサー的な冠として。でも会長や小宮社長（AtoZ）「ウチがやったんじゃまとまらないから、二見さんがやったらどう？」って（笑）。それでやることになったんですよ。

——そういう経緯だったんですか。で、実際動き出してみたら予想以上に大変だったと？（笑）。

二見　大変ですけど乗り越えて頑張ります。

——男子のプロレス団体以上に、女子のプロレスってしがらみとか面倒臭いことが多いって言いますもんね。

二見　今回、最初は9つの団体が協力してくれる予定だったんですけど、8つがよくても1つがダメだと、また振り出しに戻るのが大変です（苦笑）。結局、JDの参加はなくなりましたし。こちらの目的としては取引先への還元、団体所属選手に夢や憧れを喚起するリングの提供、やりたいのは、あくまでも女子プロ界の復興なんですよ。いまほどの団体が何やっても起爆剤にならないですから。

——実際、いろんな厄介なモノが降りかかってきてるわけですね（笑）。

二見　そうそう（苦笑）。いままで

は全女さんがある程度の防波堤になってたと思うんですけど、それが崩れちゃったもんだから、我を出してきた方もいました。

会長　迷惑かけたねぇ（笑）。

二見　とんでもございません（苦笑）。

会長　でも、そんだけ大きい大会にしようとしてるわけでしょ？　そこに出ないっていうのは損だよね。

二見　「自分の団体でそのカードをやりたい」って言います。それは当然かもしれません。でも実際にはそのカードをやらないでしょ。

今大会は売り興行かもしれませんけど、プロレス界の悪しき慣習は、いままで散々売り興行を買ってくれるスポンサーサイドの立場でモノを考えない。だから二度とプロレスに手を出したくないって言われるわけですよ。ボクが考えてるのは、今大会で名前を売ってもらって、その先につながる展開へ持っていくことなんです。

——会場は後楽園ホールですけど、超満員になってもチケットの料金設定を見ると、金銭的にはそれほどメリットはないですよね（笑）。

二見　しかし、踏み込んでいかなきゃいけない。一番高くて五千円、千円の指定席は後楽園では初ですから。

会長　あら〜、じゃあ平均すると三千円か。それじゃキツいわ。

二見　前に会長も言ってましたけど、「招待券はまかない方がいい」って。一回でもタダでもらっちゃうと次は買わないって。

会長　それはそうなの。

二見　たとえ千円でもお金を出して買ってくれた人なら酒のつまみにしますけど、招待した人は酒のつまみにもしないって。

会長　悪口しか言わないだろ（笑）。

——招待券で見せてあげて悪口まで言われたら、いいことないですよね。

会長　そう。だから、優待券はいいけども、招待は出しちゃダメ。

二見　プロ野球のチケットがあれだけ安くて、マット界はファンに甘えてる部分を感じますね。

会長　でも、そのチケットの値段はT—1さんしかできないね。やる前から損覚悟なんだから。

二見　損したら潰れますから（笑）。でも会長や、AtoZさん、JWPさんはじめ、他の関係各社の協力のもと、ゼヒ成功させたいですね。

会長　頑張ってね（笑）。でもウチも後楽園ではまかなかったけど、他の会場ならチケットが完売しても優待券はまくんですよ。

——チケットは完売しても優待券はまくんですね？（笑）。

二見　あとは全女は札止めにしないで、とにかく来た客は入れてましたよね（笑）。

——いくら入っても札止めないと（笑）。

二見　そうそう（笑）。他の団体とかはわざと〝札止め〟って打つときもあるんだけど、会長は「立ち見でも、千円でもいいから入れろ」って（笑）。

会長　ハッハッハッハッ。でも横浜文体のときかな？　札止めになったのに、あと千人ぐらいいたこともあったからね。

——それは入れないともったいないですよね（笑）。

会長　もったいない（笑）。ただ、後楽園とかでも客入れすぎて問題になっちゃって。毎回怒られて怒られて（苦笑）。

——怒られるのはわかっていても入れちゃってたわけですね（笑）。

二見　いまのところチケットの売れ行きも順調なんですけど、なにか成功のアドバイスをお願いします！

会長　いやいや、もう成功したも同然だよ。それに俺なんかがアドバイスしたら、俺の二の舞で倒産するから（笑）。

——アハハハハハ！　そういえば、小耳にはさんだんですけど、会長は焼き鳥屋をやりたいっていう考えもあるみたいですね。

会長　そうなの。

——会場でも、昔から焼きそばと焼き鳥はよく焼いてましたし、自信はあるんでしょうけど（笑）。

会長　ちょっとはね（笑）。やっぱり、体調が少しよくなったら、身体も動かなきゃいけないし、それに現実的に食ってかなきゃいけないからね。

——まあ、そうですよね。

会長　やっぱりね、鳥は一番安いし、グラム35円ぐらいで買えるところがあるからね。これが牛とか豚の内臓になるとグラム70〜80円はするから。

——すでにリサーチ済みなんですね（笑）。羅漢果ラーメンみたいに一発当ててやろうっていう感じではないんですね？（笑）。

会長　あれとは違う（笑）。欲は出さず生きていくためにやろうと思ってるの。

——そうですか。そちらも期待してます！　例えばですけど、赤いベルトを1億で売ってくれって言われたら売るつもりはあるんですか？

会長　1億なんかじゃ売らない（キッパリ）。あのベルトは10億以上、稼いでくれたんだから、いくら出されても売らないよ。

——たしかに、トータルで考えると10億以上は稼がせてもらってるわけですからね。

会長　そうそう。そんな10億で買うっていうヤツもいないだろうけど、それだけはできないね。

——はぁ〜、なんかしびれますねぇ。では、会長のご健康と今後のますますの活躍を期待してます！　それとT—1GPも成功するよう頑張ってください!!

【7月1日／東京・武蔵小山『中国料理　井門』にて収録】

赤いベルトは10億以上、稼いでくれたんだから絶対に売らない！



8・23T—1GP後楽園大会で、前川久美子が保持するWWWA世界王座選手権の開催を認定する旨の覚書にサインをした松永会長だったが、まだ正式決定には至っていないのが現実。はたして、タイトルマッチは実現するのだろうか？　注目！

T−1創立10周年記念興行
女子プロレスオールスター戦

T−1グランプリ
〜闘い〜天下〜ときめき〜

2005年8月23日（火）開場：17:30　開始：18:39
会場：東京・後楽園ホール

【決定対戦カード（すべて初対決）】
アメージング・コング（元全日本女子）vs山縣優（KAIENTAI DOJO）
木村響子（JWP）vs華名（AtoZ）
吉田万里子（M's Style並びに息吹代表）vs竹迫望美（I.W.A.JAPAN）


【『紙プロ』的、独断予想カード】
ファン投票1位濃厚な、この対決は鉄板!?
日向あずみ（JWP認定無差別級チャンピオン）vs西尾美香（AtoZ）
遂にWWWA戦実現!? そして松永会長は現れるのか!?
前川久美子（第59代WWWA世界シングル王者）vs元全女出身選手

藤原道場で特訓中のT−1マスクが佐山聡指導のもと衝撃デビュー!!
T−1マスク（仮）vs X
田村欣子（NEO）vs X
前村早紀（元全日本女子）vs X
※全試合対抗戦シングルマッチ7試合を予定

T−1しか出来ない革命的なチケット料金表。
しかも当日は2000円UP！

トップワンシート	¥5000	¥7000→sold out
オールスターシート	¥4000	¥6000
ファンタジアシート	¥3000	¥5000
ファイターシート	¥2000	¥4000→残り僅か
シングルシート	¥1500	¥3500→残り僅か
T−1プライスシート	¥1000	¥3000

【当日の注意事項】
後楽園ホール5Fフロア内禁煙（後楽園ではプロレス界初の禁煙興行）
※1階での喫煙は可能です。入場後も1回のみ退出できます。
主催&問い合わせ：チケット&トラベルT−1
TEL.03-5275-2778　http://www.t-1.jp



ありがとう、破壊王 さようなら、ハッスル・キング

橋本真也40歳、

平成17年7月11日午前10時36分

永眠——

平成17年7月16日、横浜・一休庵 久保山式場

故 橋本真也 葬儀・告別式



橋本真也テーマ曲

『爆勝宣言』が悲しく聞こえた日









平成17年7月11日午前10時36分、"破壊王" 橋本真也さんが脳幹出血のため急逝。40歳の若さだった。この突然の訃報に、マット界は深い悲しみに包まれ、15日の通夜、16日の葬儀・告別式には、選手、関係者、ファンが足を運び、故人の冥福を祈った。

撮影／乾晋也、福島勝儀



橋本さんのテーマ曲、前奏付きの『爆勝宣言』が流れると、大「ハッシモト！」コールが葬儀場を出発する霊柩車を包み込む。そして無数の赤いテープが次々と投げ込まれ、橋本さんを送り出した



遺影を持つのは喪主を務めた妹の真生さん。長男の大地くんが位はい、長女の茉莉さんが花束を持つ。その後列で小川直也、高田延彦、川田利明、安生洋二らが出棺を見守った



闘魂三銃士として、橋本さんと苦楽を共にした武藤敬司、蝶野正洋。棺を乗せた車が葬儀場を離れると、涙に暮れる蝶野は関係者の肩を借りながら会場をあとにした

さらば、橋本真也！　ファン、関係者が最期の別れ



午後2時30分過ぎ――橋本真也さんの棺は、坂口征二、藤波辰爾、武藤敬司、蝶野正洋、ライガー、天山広吉、中西学、ドン荒川らの手によって、霊柩車に運び込まれた



関係者によれば、告別式には、20000人以上のファンが駆けつけた。堀江貴文ライブドア社長も弔問。芳名板には読売巨人軍名誉監督・長嶋茂雄氏も名前も連ねた

7月16日、神奈川の一休庵・久保山式場で故・橋本真也さんの告別式が行われ、炎天下のなか多数の参列者が最後の別れを告げに会場を訪れた。関係者によると参列者の数は20000人超で、混雑の中、焼香を行えなかったファンも多数いたという。最後は『ワールドプロレスリング』担当アナウンサーによる「破壊なくして創造なし！　183センチ・135キロ、橋本真也～‼」のコールのあと、破壊王が新たな旅へ出た。

7月11日午前10時36分――横浜市立大学付属市民総合医療センターで橋本真也さんが急逝。同日は地上波でも速報テロップで「橋本真也さん急逝」を伝え、各テレビ局で緊急ニュースとして報道された。新日本プロレスでは予定されていたG1クライマックスの記者会見を中止に。正確な情報が発表されぬまま、坂口征二、蝶野正洋らをはじめ、関係者が続々と橋本さんが搬入された病院へ現れる。

橋本さんが参戦していた『ハッスル』を運営するDSEで行われた緊急会見では、100を超えるマスコミが詰めかけた。小川直也は「この目で見るまでは信じられない」と、呆然とした様子で語り、その足で葬儀場へ向かう。同日の22時30分、橋本さんの代理人である弁護士法人フェニックスの伊藤博弁護士、橋本さんの実妹・真生さんらが会見を開き、脳幹出血での逝去を発表。通夜、告別式の日程もあわせて発表された。

翌日のスポーツ新聞は軒並み一面で「橋本さん急死」を報じ、プロレス・格闘技をこよなく愛する草野仁氏が司会を務める日本テレビ系列「ザ・ワイド」では特集が組まれた。武藤敬司が「破壊王が破壊されてどうすんだって」と緊急会見。蝶野正洋は「（橋本の）顔を見たら、また起きあがってくるんじゃないかと思えるぐらい安らかな顔をしていた」と今生の別れを思いだし、言葉を詰まらせた。会見翌日の新日本山形大会で追悼の10カウントゴングが行われ、『ハッスル10』福岡大会では献花台が設置され、追悼の〝トルネード・ハッスル〟が捧げられた。

通夜には400を超える献花のほか、ファン・関係者など、2000人以上の参列者が足を運んだ。翌日の告別式には、『ハッスル11』大阪大会を終えて駆けつけた小川直也、川田利明、坂田亘、ファースト・オン・ステージ代表の中村祥之氏、大谷晋二郎ら、『ハッスル』&ZERO-1MAX勢が参列。坂口征二、蝶野正洋、武藤敬司、藤波辰爾、獣神サンダーライガー、天山広吉、中西学、ドン荒川らが棺を持った。

「敗北から立ち上がる姿に、幾度も勇気をあたえられました。天下人の輝きを放つ一番星として、私たちに空から勇気をあたえ続けてください。破壊王、ありがとう」。涙声のアナウンサーが、声を振り絞って別れを告げる。

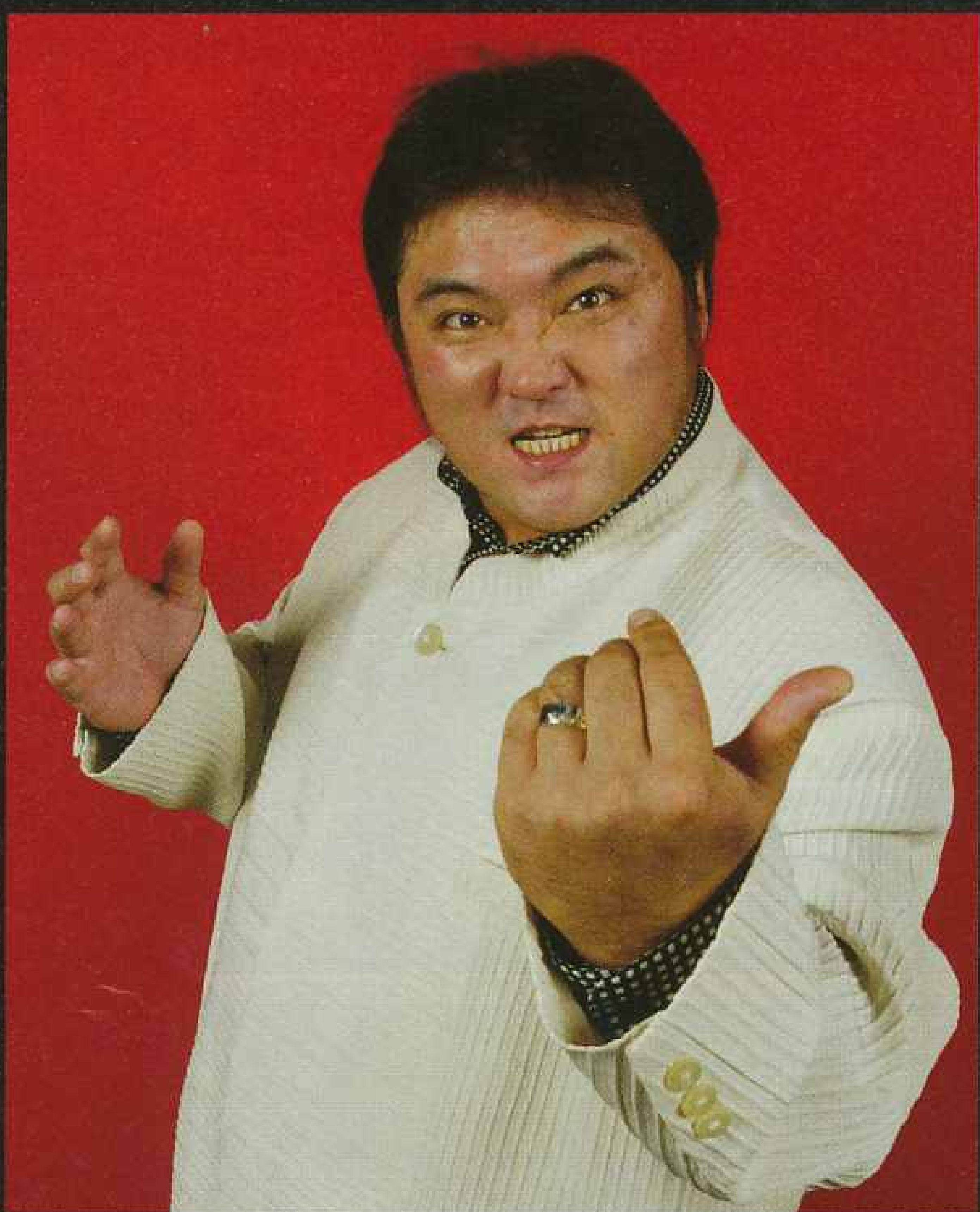
ビッグマッチ用前奏付きの「爆勝宣言」が鳴り響く中、ファンからは一斉に「ハッシモト！」コール。「ハッシモト！　ハッシモト‼」の声、無数の赤い紙テープが空を舞う。

破壊王は、幾度も挫折し、倒れたレスラーだった。それでも、ファンの声を裏切ったことは一度もなかった。「ハッシモト！」コールに対し、幾度も立ち上がり、ファンに勇気を与え続けてくれた破壊王・橋本真也。曲のタイトル通り「爆勝宣言」は、破壊王の勝利宣言であり、かならず勝って戻ってくる、という約束の曲だった。

今回だけは、もう立ち上がっては来てくれない。涙声の混じった「ハッシモト！」コールが響き、「爆勝宣言」が流れる中、破壊王を載せた車が静かに葬儀場を離れていった――。

天国の橋本さんへ——

選手・関係者、惜別のメッセージ





ドン荒川［フリー］

（一報を聞いたのは）亡くなってすぐです。思いがありすぎて、40年分ぐらいです。彼は40歳で亡くなりましたけど、実際は120歳まで生きたんじゃないかと。楽しいことも悲しいことも人の3倍やったんじゃないかと思います。まだ本当、今日はお通夜ですけど、彼はまだ生きてますから。亡くなったことは事実ですけど、泣いたりしたら真ちゃんに怒られちゃうから笑わなきゃ。もう、真ちゃんとは楽しい思い出しか残ってないから。もう苦しいとか全然なかったから。（一番最後に会ったのは）去年です。彼は7月3日が誕生日なんですよ。それをメドに復帰しようと、本人もその気でいたんですけど。ちょっと2年ぐらい前から悪かったんですね。心臓とかそういうのが。本人はサイン会のときに調子悪いというのがあったからね。（若手時代の思い出とかは？）もうムチャクチャある。子供がそのまま大きくなった感じですからね。裏表がない性格というか、人に愛される性格でしたからね。悪いことしても許される。極端な話、人を殺しても許されるぐらいの人ですよ。（思い浮かぶのは）酒飲んだこと、ハチャメチャやってですね。もう、いつもの倍、陽気になりますから。もう新日本に来たときからメチャクチャ飲ませましたから。レスラーは酒飲むのでも負けちゃいけないって言ってガンガン飲ませてね。それに応えてくれましたから。ラーメンでも10人前食ったらいくら、ってしょっちゅうやってましたし。寿司屋行ったら、いきなりウニ、トロ、イクラばっかり食っちゃうんで、まずはチラシ3人前食って、それから寿司食ったりね。明日になれば実感湧くのかな。正直いってピンとこないですね。さっき亡くなった顔を拝見しましたけど、安らかで。妹さんに『起きろ』って言われましたけど、もう返事しないのはわかってましたから。本当に供養の方よろしくお願いします。【お通夜にて】



武藤敬司［全日本プロレス］

破壊王って言われて自分が破壊されて、どうすんだっていう。あの野郎、織田信長を崇拝してて、「人生50年だ」なんて、いつも俺らに言ってたんですよ。それがアイツまだ40だよ！　織田信長に比べたら10年も短いじゃないですか？　そういう部分では、バカヤローっていう心境ですよね。（リング外での思い出は？）いっぱいありますね。やっぱ豪快無比というか。結果的にはそれが最後アダになったような気がしないでもないですけど。もともとガタイもいいし、暴飲暴食だし、『何だコイツ、なんでここまでメシ食えんの』っていうぐらい食ってた時代もありましたし。一緒に女ナンパしに行って、フラれて2人で台風の中、帰った記憶もあるし。いろいろありますね。（遺体に会われたらどういう言葉をかけます？）……（目に涙を浮かべ）まだ、いまはわかんねえ。出てこねえよ。【7月12日記者会見にて】

小橋建太［NOAH］

これまでは現実味がなかったですけど、いま手を合わせて、本当に死んでしまったんだと感じました。リング上では一度も交わったことがなかったですけど、プライベートでは食事をしたりしたことがあって。まわりに気を遣ってくれる優しい人でしたね。プロレス界にとって、橋本選手の死は大きな損失。でもそれを乗り越えてやってかないといけないです。【お通夜にて】



佐々木健介［健介オフィス］

わかっていたけど、自分の中で理解できませんでした。きっと橋本さんも思いっきり生きたんじゃないですか。ライバルだったんですよ。競い合って、また闘いたいってずっと考えてきたんですけど。こんなことになるなんて。お互い真っ直ぐなタイプで、彼がいたから自分も燃えられた部分もありますし。本当にね、永遠に実現できなくなっちゃったけどさ。今日の前に横浜で2時間以上橋本と話しました。長男の大（地）ちゃんが立派な男になってたのがうれしくて。かわいい子供たち残して無念だと思いますよ。だけど、残った大ちゃんが妹たちをしっかり守ってくれると思います。ほんっと、早すぎですよ。【告別式にて】



北斗晶［健介オフィス］

選手の健康管理をやってかなきゃって。橋本さんのお子さんが（佐々木家の）下の子と同い年なんですよ。本当に無念だろうなって。もし、いま（健介が）いなくなってしまったら私はどうなるんだろうって、すごく考えて。お子さんたちにはがんばってもらいたい。レスラーに言いたいんですけど、引退するときは笑ってリングをおりてください。ホントそれだけです。【告別式にて】

川田利明［フリー］

最初に（訃報を）聞いたときは、信じられなかった。同じ世代の、同じ時代を駆け抜けてきたプロレスラーで、『昔ながらのプロレスラー』というイメージが強く、〝レスラーらしい〟貴重なレスラーがいなくなったのは寂しい。それから、いまでは本名とも思えるくらい自然に読んでいる、石狩太

一というリングネームも彼が命名してくれたもの。「すぐに覚えてもらうことが一番大事」という考えでつけてもらったリングネームで、そういう考え方とかからもプロレスラーらしさを感じられた。ハッスルは、橋本が創ったようなもの。彼の分も、リングでがんばりたいと思う。

【ハッスルオフィシャルサイトより】

坂田亘 ［フリー］

公私共にお世話になった、尊敬する人。自分がプロレスの世界に入るターニングポイントになった一人で、自分の人生を振返ったときにははずせない人。直接試合をしたのは1回だけで、それもシングルマッチじゃなかったから、できれば一騎打ちをしたかった。いまとなってはもうかなわないことだけど。いろんな意味で寂しい。本当に残念としかいいようがない

【ハッスルオフィシャルサイトより】

榊原信行 ［DSE代表取締役］

ハッスルを小川選手とともに創生期から作り上げてきた第一人者が、こういう突然の死で亡くなってしまったということに関しては本当に残念に思っております。個人的にも仲良くさせていただいてましたし、現実的に肩のケガを治してから、ハッスルの方で復活という話をしていた矢先なもんですから、非常に驚いています。選手は闘うことで、橋本さんの果たせなかった意志を受け継いでもらいたいと思います。心からご冥福をお祈りするとともにですね、これからもDSEとして何ができるかわかりませんが、我々スタッフ、選手共々、一番いい形で送り出したいと思っております。

【7月11日記者会見にて】

大谷晋二郎 ［ZERO1-MAX］

（第一報を聞いたのは）午前11時ぐらいですかね。そのころから続々といろんな方たちから連絡があって。まだそんときは噂の段階で、その中で確実になったのは2時ごろですかね。みなさんが言ってますけど、信じられないと。その次の日に会いに行ったんですけど、顔を見ても信じられないと。いややありえないと。信じられない気持ち、瞬間瞬間いろんな気持ちになりました。追悼興行だとか、そんなことまで頭がまわんないで。まあ、ちっちゃい団体ですけど、（29日後楽園の火祭りでは）できる限りの俺たちだけしかできないことをしたいと思います。天国からツッコミを入れられるぐらい。（棺を担げなかったことに対して）情けないけど、自分の力のなさを痛感すると同時に最後の最後に橋本の意志を継いだ者たちが何かやらなきゃいけないと思ったんですが、ひとりも担がせてもらえないというのが情けなくて。しょうがないけど、俺が一番権利があると思っちゃってるから。力のないところだと思います。どんどん力をつけて大谷晋二郎、ZERO1-MAXをもっとでっかく



していきたい。（思い出は）たくさんありますけどね、一番っていうと、ウチの母ちゃんが亡くなったときにね、「俺は行かなきゃいけない」って言って、あの人、松葉杖で山口まで来てくれたんですよね。知り合いもいっぱい来てくれて、行列ができてて。で、その中に橋本真也が並んでるんですよね。「橋本さん、奥に部屋用意してますから」って言ったら、「バカ野郎！」って怒られたんですよ。「俺は並んでお焼香したいんだ！」と言われて。何でもないことかもしれないですけど、それ考えたら、たまんないですね……。

【告別式にて】

田中将斗 ［ZERO1-MAX］

やっぱ、信じたくない。信じたくないという気持ちでいっぱいだった。最後の最後に、ああいう形ですけども顔を見てあいさつしたかったから、最後にそれができたので、次がないという言い方はおかしいですけど、最後に会えてよかった。このまま顔を見ずにずーっと経ってしまうのはすごく嫌だったんで、僕は橋本さんにすごく感謝してるし、大事な一周年記念興行で一騎打ちを打ってくれたんで、そのことがあったからZERO-ONEに入ったんで、最後に橋本さんに会いたかったし、会えてよかったです。（思い出は）仕事の部分で言えば、試合終わったあと、橋本さんが「メシ食いに行くぞー！」ってしょっちゅう連れてってもらって、橋本さんが全部特上の肉を頼むんですよね。そんなの食べたことなかったし、金額も聞いてビックリするような金額だったんで、レスラーってすごいなってはじめて感じて。僕もいつかそういうレスラーになりたいなって思いました。

【告別式にて】

大森隆男 ［ZERO1-MAX］

橋本さんとの接点というのはNOAHのシングルからはじまった。いまでは橋本真也の血が流れてるつもりです。まあ、一報を聞いたときは信じられなかったし。昨日、お通夜で「何寝てるんですか、寝てる場合じゃないですよ」って言いましたけど。今日、お顔を拝見すると、やっぱり事実だったんだなって。プライベートでは接点なかったんですけど、試合であの人の重いキック、重いチョップが身体に染み付いてます。それが一番の思い出です。

【告別式にて】

佐藤耕平 ［ZERO1-MAX］

（死を聞いたときは）ガセだと思った。正直まだ信じられない。プライベートでも僕が落ち込んでいるときに気を遣ってくれたり優しかった。（今日最後に）顔を見て不覚にも泣いてしまいました。橋本さんは僕にとっての師匠。あの人がいなければ、いまの僕はない。メシの食い方、酒の飲み方、ひとつひとつがプロレスラーだった。僕はあの人のような存在になれるように頑張ります。

【告別式にて】

中村祥之 ［ファースト・オン・ステージ代表取締役］

当日は、昼前後にいろんなところから会社に電話がかかってきて、あまりに急なことでドッキリなのかなって思ったりもして。いまでもあんまり信じてないです。袂を分かった人ですけど、『ZERO-ONE』を『ZERO1-MAX』にしたのは、やっぱりZERO-ONEを残しておいてそれを大きくしたいという気持ちがあったからですよ。そのときはそういう言葉を言えなかったですけどね。いろんなことあったけど、キライなら集まってないでしょっていう。僕は、僕なりに（橋本さんは）幸せな人生を送ったと思う。好きなものを食べて好きなことをして。これから僕たちは、橋本真也が生きていればこういうことを考えていただろう、ということを実行にうつしていきたいし、ファンが知らなかった破壊王の顔を、どこかで少しずつ残していきたい。まずは、橋本さんが名付け親の『火祭り』開幕戦で、橋本さんを最もよく知るわれわれしかできない、凝縮したセレモニーをします。

【告別式にて】

沖田佳也 ［ZERO1-MAXリングアナ］

いつもホテルの部屋の広さのことで怒られてたんで。（橋本は）閉所恐怖症なんですよね。今日も棺の中でギュウギュウ詰めになってたんで、「ああ、また怒られるな」って思ってましたけど。自分は32歳になるんですけど、この5年間は生きてきた中で一番大変で、でもすごい早かったですね。人としてどうやって生きていったらいいかと、僕は橋本さんに教えてもらって。思い出話にしちゃいけないんですけど、事務所の広いソファーの3人掛けで話をすると、ピンチなときほど、パッと二人の考えが浮かんでおもしろいことができたんで。いろいろ勉強して、教わったことを生かしていきたいと。何回もケンカしたけど、感謝してます。ありがとうございました。

【告別式にて】

鈴木みのる ［パンクラスMISSION］

どうもこうもないですよ。訃報を聞いたときは「どの橋本さん？」と聞き返したぐらいですから。この世界で新日本に入って2、3年上だったのかな。アホなこと一緒にしてた先輩が、あとですっごい大きな人間になってて、団体持ってて。そのときから将来対戦できたらいいと思ってたんですけど。もう、ゆっくり休んでくださいってことだけですね。

【お通夜にて】



アントニオ猪木 ［新日本プロレス］

（最後に掛けた言葉は）「元気ですか！」ってね。あの世のにも元気で旅立ってもらいたい。

【告別式にて】

藤波辰爾 ［新日本プロレス］

一番元気なレスラーだったのに。いまでもね、起き上がってくるんじゃないかとね。いろんな思い出を残してきましたんでね。本

人もやりたいことがいっぱいあったでしょうけど、あまりにも早すぎた気がするし、自分がちょうど社長を任されたときにいろんなことがあったんでね。あのときは良かれと思って彼に道を選ばせてやったけど、もっとウチに置いとくべきだったんじゃないかとか、後悔ばっかりですね。太く短くって言っても限度があるだろうに。彼の復帰の相手も僕が相手したんですけどね。お互いに復帰の相手を交換しようかと思った矢先のことだったんでね。【告別式にて】



坂口征二【新日本プロレス相談役】

もう3日経ちましたけど、まだ信じられないですね。まだそういう心境です。十何年一緒だったけどね、天真爛漫でみんなに好かれるヤツでしたよ。（今日も）みなさんにこんなふうに集まってもらって、あらためてすごいヤツだと思いましたよ。（お焼香するときに）長男がいたんですよね。子供はね見守ってやるよってね、ま、できるかわからないですけどね、そういう言葉かけましたよ。彼自身も心身ともに疲れただろうし、やりたいことやれんだと思います。早かったけど。性格そのものの生き方をしたんじゃないですか。【告別式にて】

星野勘太郎【魔界倶楽部総裁】

信じられないです。はい。やりたいこともやれないで終わったんじゃないですか。（最後に会ったのは）1年ぐらい前。まあ、電話ではね、電話はよくかかってくるからね、僕もかけたりしてたからね。会うたんびに笑かすヤツだったからね。【お通夜にて】

蝶野正洋【新日本プロレス】

（橋本の）顔を見たら、また起きあがってくるんじゃないかと思えるぐらい安らかな顔をしていた。橋本はわがままで、寂しがり屋で、周りの人間に迷惑を掛けてばかりだったけど、ほっとけない、すごい純粋な人間だった。楽しくやっていくのが好きな人間だったので、華やかな形で彼を愛したファンも参加できる、橋本真也を忘れないためのイベントをやりたい。【7月12日記者会見】

天山広吉【新日本プロレス】

厳しくもあり、優しくもあり、橋本さんには本当に感謝してもしきれない先輩でした。いつの日か、リングでまた向かい合いたいと思っていたのに、もうそれが叶わない。いろんな場面を思い出すけれど、あの蹴りとDDTは本当に殺されるんじゃないかっていうくらいキツかった。本当にいなきゃいけない人でした。イタズラ好きで、ヒマさえあればスズメを食わされたり、『10数えるうちに逃げろ』って言われて、逃げ遅れて背中を空気銃で撃たれたりしたけど、その時代があるからいまの自分がある。さみしがりやで、周りに人がいないとすぐにさみしがって、子どもがそのまま大人になったような人で。いつまでたっても子どもみたいで。でも、そんな橋本さんが好きでした。ちょっと早すぎますよ……。いまはゆっくり休んでくださいとしか言えないです。【告別式にて】

角田信朗【K-1ファイター】

本当にびっくりしたときって、人間なんのリアクションもとれないんだなって。トレーニング真っ最中に聞いたんでね。ジムで固まってしまいました。大会があるときなんかは、どっちともなく挨拶する間柄だったんですが、小川（直也）に負けたら引退するっていう試合の前に、正道会館の道場に電話かかってきたんですよ。『プロレスラーの橋本です』って。『じつは今度の試合に自分の進退をかけるんだ』と。『ついては一から空手を学びたい』って。それで橋本さんが正道会館に来たり、逆に僕がZERO-ONEのジムに行ったり。それで一緒に練習してるときに、お互い対決したら良い試合できるかもしれないねって話してたんですけど、約束も果たさずひとり勝手なことして。【告別式にて】

山崎一夫【元・プロレスラー】

いつも闘ってる以外はイタズラしたり、元気なイメージしかないんで。試合でも闘ってましたけど、ZERO-ONE立ち上げたときもそうでしたけど、あんまり弱音を言わないヤツですけど、高血圧とかもそうですし、ボクらの知らないところで闘いつづけてたんだなって。【お通夜にて】

船木誠勝【俳優】

橋本選手の突然の死にとても驚いております。橋本選手とは、武藤・蝶野両選手の闘魂三銃士と一緒に入門しており、自分とは同期になります。一緒に練習していた期間は彼が海外遠征へ行くまでの3年間でした。その後、自分が新生UWFへ移籍したため、引退後に映画『新・空手バカ一代』の控え室で再会するまでは一度も会う機会はありませんでした。その次に会ったのも韓国映画『力道山』の控え室で……。最後になってしまったのが『紙のプロレス』での対談になってしまいました。そのときはかならず復帰するからと手術したばかりの肩を見せてくれて、次に上がるリングを探していたかのように感じました。彼の性格からして満足のいく年齢での死だとは思いません。やり残したこともたくさんあったのではないでしょうか。早すぎる死、とても残念に思っております。【FAXにて】

小笠原和彦【空手家】

涼しくなった秋ごろに復帰されるかなと思っていたんですけどね。両国ではじめてシングルをやって、向かい合ったときの印象が頭から離れないです。不思議なんですけど、存在感の大きさはいまでも変わらないです。いまにも笑い出しそうな感じでした。五月人形のような表情でした。これからも破壊王の打撃技を継承させていただいて使おうと思っています。【お通夜にて】

グレート小鹿【大日本プロレス】

会社は違ったんですけども、プロレスの道は一緒ですからね。早かったなと。まだやりたいことがあるだろうけども、本人は短い人生だったけど、十二分にこの世界でやれて、彼も満足できたと思います。田尻（現TAJIRI）が新日本プロレスに行ったときに、彼が新日本のシステムがわかんなくてノイローゼになりかけだったんだけども、橋本選手にラブレターというか、個人的に手紙を出して、看板選手になれる器だから力を貸してくれと書いた記憶があります。そしたら「心配いりませんよ！ 新日本プロレスはちゃんと田尻選手を育てますからね」という声を聞いて安心した覚えがあります。【告別式にて】

神取忍

まだ信じられない。アリかよ！っていう気持ち。まだひっそり出てくるんじゃないかって、そう思っちゃいますね。私が天龍さんと試合して、顔がボコボコですごかったんで、みんなが心配する中で、橋本さんだけが『一緒に飲みにいこうか』って言ってくれて。天真爛漫なところが魅力でした。（年代的にも）くやしいね。同年代としてすごくくやしい、破壊王だもん、いろんなものを破壊していってほしかった。【お通夜にて】

ウルティモ・ドラゴン【闘龍門校長】

橋本さんの死、突然のことでまったく信じられません。橋本さんには新日本の道場時代に本当にいろいろお世話になりました。橋本さんの出身地が土岐市で、僕の両親が隣町の笠原町在住ということから、同郷人として、陰でいろいろよくしていただきました。僕がメキシコから凱旋帰国した際、新日本さんの道場に顔を出すと『よく頑張ったな！』とお小遣いをいただき、その時はようやく橋本さんに認めてもらえたと、心から嬉しく思いました。いつも人生50年とおっしゃってた橋本さん。まだ10年も早いじゃないですか？ これからまた新たな破壊王伝説が生まれると思っていたのに……。もう、こんなプロレスラーらしいプロレスラーは現れないと思います。道場で一緒にスパーリングさせていただいたのは一生の思い出です。橋本さん、本当にありがとうございました。ゆっくりと休まれてください。遠いメキシコより橋本さんのご冥福をお祈りいたします。【FAXにて】

谷川貞治【K-1プロデューサー】

橋本さんと話したのは、02年のWRESTLE-1・東京ドーム大会のときが最後ですね。でも雑誌でインタビューしたこともあるし、なぜか橋本さんと山口日昇さんと僕の3人でパルコでトークショーをしたこともありますからね。そのとき橋本さんはコマネチのポーズで『サダハルンバ！』って叫んでました（笑）。印象としては、やはりすごくプロレスラーらしい破天荒な部分と童心を持ちあわせた人ですよね。とにかくいい思い出しかありません。K-1から橋本さんに出場をオファーしたことですか？ それは……なかったですね。でも前田日明さんも『若手時代のブッチャーは強かった』と言ってたし、昔だったら総合の試合も見てみたい、と思ったこともありましたね。……じつは、訃報を聞いたときに、ちょうど前田さんと一緒にいたんですよ。前田さんも絶句してましたね。心からお悔やみを申し上げます。【談】

草間政一【前・新日本プロレス社長】

三銃士興行の件があったんで、武藤選手や蝶野選手とは直接会って話をしましたけど、橋本選手だけは会ってなかったんです。いま思えばね、（三銃士興行を）やらしてあげたかったなというのは正直な気持ちで

すね。【告別式にて】

大仁田厚［プロレス・格闘技評論家］

本会議の前に関係者から電話があって知りました。まさか橋本さんだとは思わなかった。武藤選手、蝶野選手、佐々木選手と新日本で闘ったけど、橋本さんとは新日本以外で闘った選手。インディーとも向き合って闘ってくれた。サスケ選手と組んで橋本選手と闘ったのが一番の思い出ですね。闘う選手がいなくなって、ひとり残されていくようで寂しい。【お通夜にて】



パパイヤ鈴木［タレント］

友人から亡くなったらしいという話を聞いて。番組でご一緒させていただいたりとか、それから電話するようになって。年が近いのでざっくばらんにお話をしていただいたんで、本当に豪快な方だったなと。つい最近、「また復帰するからさ」って話をして、すごくハツラッとした声だったので、また闘う姿を拝見できるんだなと思ってたんですけど。早すぎると思うけど、ただ太い人生だったなと。まっとうされたのかなと思います。【告別式にて】

ウド鈴木［タレント］

（悲痛の表情で）昔、南原さんの番組で芸のアドバイスをしてもらったことがあります。（送別式で亡骸と対面したとき）その教えてもらったことを忘れません、と伝えました。19歳のときに、武藤さん、蝶野さん、橋本さんの闘魂三銃士と番組でお会いしてから、公私ともにお世話になって。精神というか姿勢というかポリシーというかすごかったです……（と声にならず）【お通夜にて】



セイン・カミュ［タレント］

TBSラジオの番組をやっているんですけど、1ヶ月ぐらい前にゲストとして番組に出ていただいたときに波長が合った。とてもフレンドリーな方でした。あんまりにも急だったので残念です。破壊王として迫力のある試合をしていたのを昔からTVで観ていたけど、実際にお会いしたら、優しくて、感情が豊かだったので、そのギャップがよかった。別れ際に名刺を渡されたんですけど、その名刺がバカデカくて（笑）。破壊王の手にあるときには普通のサイズなんですけど、自分の手に渡ると凄く大きいんですよね。それに名刺には「破壊王・橋本真也」と書いてあって、ユーモアのセンスがある方だなと思いました。もし生きていれば、一度飲みに行きたかったなぁ。ラジオに出ていただいたときも、肩の手術をしたばっかりだったので、「いつとは言えないが、復帰に向けて頑張っている」と言っていた。また彼のファイトを見られるのを楽しみにしていました。【お通夜にて】

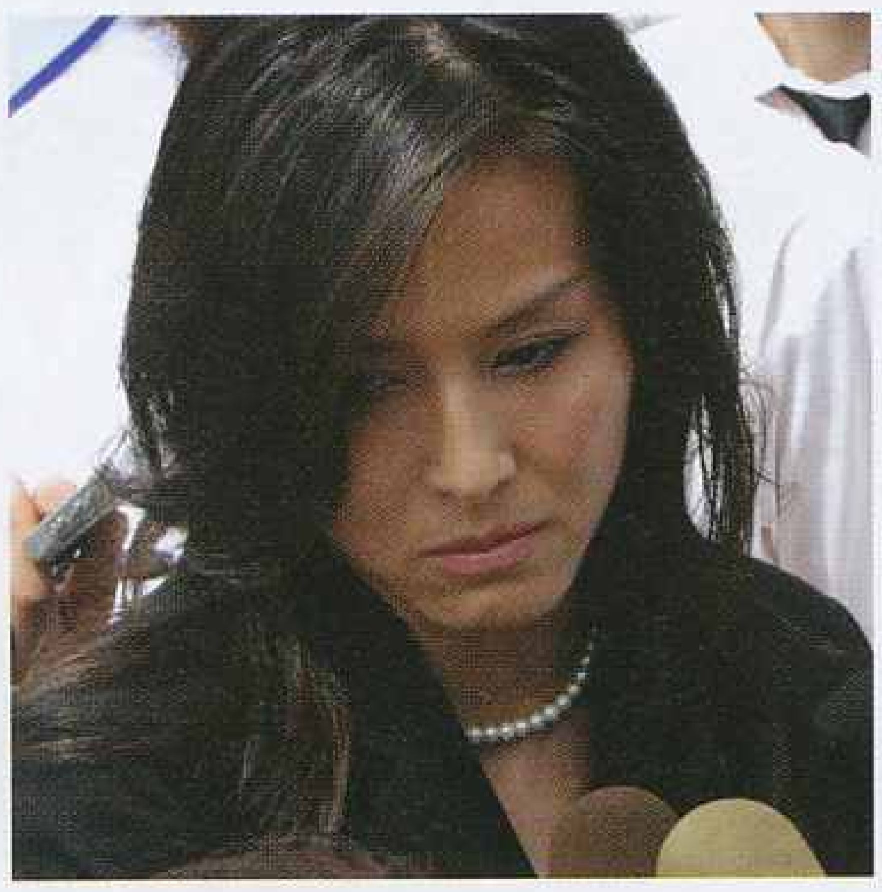
勝俣州和［タレント］

少し前に本人と話してたんで、信じられなかったです。手術をして、トレーニングを開始して、リングに戻るって話をされてたんで。正直信じられなかったですね。身体をつくるから待っててくれって話をしたばっかだったんで。それを信じてましたから。同い年ということもあって、ホントにね、兄弟みたいな感じで、難しい話もできるし、くだらない話もできる間で。僕がプロレスが好きだったんで、同い年でしたけど憧れだったんで。いろんな意味で大切なものを失ったと。僕はいつも会場に観に行ってたんですけど、負けたら（試合後に一緒に）飯を食うのがやめよう、勝ったら食べようという人で、思い出に残ってるのは大阪で小川選手との闘いに勝って、そのあとにどんちゃん騒ぎしたのが非常に楽しい思い出でした。【お通夜にて】



杉本彩［女優］

九州で橋本さんの試合を拝見して、そのあと一緒にお食事させていただいて。親身になって面倒見てくださる、本当に優しくかわいらしい方で、リングの上とプライベートでは別人のようで。男としてはまだまだこれからの年齢で、やりたいこともおありになったと思います。【告別式にて】



三浦大輔［横浜ベイスターズ 投手］

ゆっくり休んでくださいとしか言えないっすけど。リングの上での破壊王が一番印象的でした。（13日の広島戦の）完封のボールは置いてきました。【お通夜にて】

水道橋博士［浅草キッド］

（死去のニュースを聞いたとき）反射的に「目を覚ましてください」という言葉をマジメに思い出したよね。小川戦とかさ、人生のトラウマになるような試合があったけど、あのとき何を思い、どんな気持ちで闘っていたんだろう、と。そしてその二人が盟友となっていく過程があって、自分たちの想像も付かないようなドラマだったんだな、と。橋本真也ぐらい関係者に愛されたレスラーもいないよね。ホント残念だよ。【談】

玉袋筋太郎［浅草キッド］

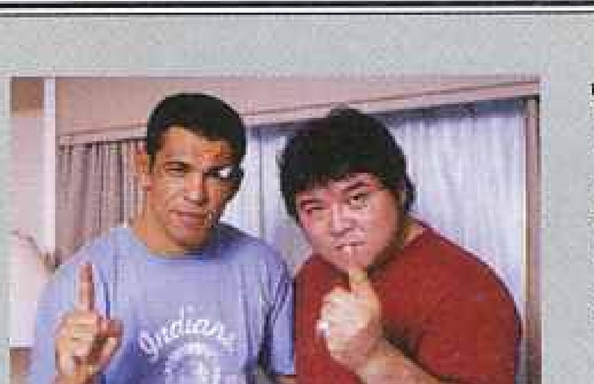
ショック受けるよねえ。あれぐらい脇が甘い人っていないじゃない。あの脇の甘さがすごい魅力でさ、ホントに爆発していて、さらけ出しすぎというぐらいさらけ出していたからさ。これからいっくらでも、マイナスを取り戻せる人生だったのに。悲しいなあ。あそこまで堂々と馬鹿ができるプロレスラーは最後だと思うよ。橋本はずっ～と馬鹿やっていてほしかったねえ。【談】

田村潔司［U-FILE CAMP.COM］

なんだろうな、ホントに。なんかもう、全然信じられないからさ。急すぎて。なんて言えばいいのかな。プライベートとかではないけども、新幹線とかでばったり会ったりしてたから。俺はどっちかと言ったらファン側だからさ。面識があったとしても橋本真也っていうのは憧れの人だから。信じられないの一言で。やっぱりもったいないっていうか。これからね、どんどんまだ試合もできただろうし。【談】

悲しみは世界中へ——国外からの追悼メッセージ

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ［ブラジリアン・トップチーム］



ボクの日本のマネージャーからハシモトさんの訃報を聞いて、信じられませんでした。まだ年も若くて、あんなに元気だったのに……。ハシモトさんは日本のスターでカリスマ性がある人なのに、実際、会ってみるとすごくフレンドリーで、ボクたち兄弟はそんなハシモトさんの人柄に本当に親しみを感じていました。日本では総合格闘技の人気に押されてプロレスの人気が落ちているというのは、ボクも知っていました。でも、ハシモトさんは『紙プロ』（76号）で対談したとき、「もう一回、プロレスの黄金時代を作る！」と言っていたし、ボクもハシモトさんだったら、それができると思っていました。そしてハシモトさんに「一度、プロレスのリングに上がらないか？」と誘われたとき、ハシモトさんとのタッグだったら出てみたいなと思っていたのに、その夢が永遠に実現できなくなってしまい、本当に残念です。あの対談のときにハシモトさんにもらったブレスレットはいまも大事に持っています。これが形見になってしまったなんて本当に信じられないし、悲しい。今日は神に祈ります。【電話取材にて】

ジェラルド・ゴルドー［ドージョー・カマクラ］

突然亡くなったという報告を受け驚いている。……いまはただ、安らかに眠ってくれとしか言いようがない。押忍!!

ニコ・ゴルドー［ドージョー・カマクラ］

生前はウチの弟が世話になったと聞いている。早すぎる死となってしまったが、心よりご冥福をお祈りします。押忍!!

写真提供／DSE



橋本真也"永遠のライバル"
小川直也

「橋本さん、天国でハッスルしてくれ!!」――『ハッスル10』福岡&『ハッスル11』大阪大会のリング上で、天国の橋本真也さんに追悼のトルネード・ハッスルをおくった小川直也。その場面で「いまでも信じられない」といういまだ現実感がない胸中を吐露していたが、今回のインタビューで小川は、天国の橋本さんのために尽力をつくすことを誓った――

聞き手／ジャン斉藤　撮影／乾晋也
designed by matsu (TwoThree)



盟友の突然の訃報――キャプテン、その胸の内を語る

「俺と橋本さんの本当の闘いは、これからだよ」

橋本真也と小川直也。苦楽を共にした盟友にして永遠のライバル関係。小川直也のプロレス人生に、橋本真也は決して欠かすことができない大きな存在だった。

二人の物語の始まりは――小川直也のプロデビュー戦の相手は、橋本真也だった。〝1・4事変〟は二人の運命を大きく変えた。小川直也は、一度は橋本真也を引退に追い込んだ。

新日本プロレスを離れた橋本真也を支えたのは小川直也だった。二人のタッグチーム、OH砲は世界一、強かった。

「ハッスル、ハッスル!!」

ハッスル・ポーズを考案したのは、橋本真也と小川直也だった。

そして小川直也はいま、その最高の盟友にして永遠のライバル、橋本真也を失った現実に、何を思うのか――?

――橋本さんの訃報は本当に突然のことで……小川さんは先日の7・13『ハッスル』福岡大会、7・15大阪大会で行われた追悼セレモニーの場で「いまも信じられない」という言葉を残していましたが……。

小川　……うん。信じられなかったね。いや、こうして葬儀を終えたいまでも信じられない。

――橋本さんが、まだどこかで元気に生きているんじゃないか？　と。

小川　そうだね。橋本さんは肩の負傷でしばらくリングから離れていたこともあるからさ。本当にそんな気がするよ。

――それと、これまでの小川さんのプロレス人生には、橋本真也というプロレスラーは必要不可欠な存在だったからこそ、いまだに実感がわかないところもあると思うんです。

小川直也

「俺と橋本さんの本当の闘いは、これからだよ」

「寝てるだけなんじゃないか?」って橋本さんの顔を軽く張ったら、硬くて冷たい頬だったから、もういないんだなって



7月11日に急逝した橋本さんについて、小川直也、DSE代表の榊原氏が出席のもと緊急記者会見が開かれた。小川は目に涙を浮かべながら「自分の目でたしかめなければ信じられない」とコメント。会見終了後、橋本さんの遺体のもとへ向かった

小川 そうだねえ……。亡くなられた当日の夜、遺体と対面したときにさ、何もなかったような顔して目を閉じているから「寝てるだけなんじゃないか?」って、橋本さんの顔を軽く引っ叩いたんだよ。そしたら体温のない、硬くて冷たい頬だったから「ああ、もうハッスル・キングじゃないんだな……」と思ってさ。いや、とても信じられないことだし、亡くなった実感はないんだけど、一気にさみしくなったね。

――橋本さんが亡くなられた日は、小川さんにとっても長い一日になったんじゃないですか?

小川 うん。俺が橋本さんに5月の『ハッスル』札幌（大会）来場を呼びかけたときに「今回は行けないけど、『ハッスル』でかならず復帰する!」って彼は明言してくれたんだ。だから、こないだの福岡、大阪（大会）に向けて「何かしらのメッセージがほしいよね」って、『ハッスル』のスタッフたちと橋本さんの話をしていた矢先のことだったんだよね。そしたら俺が知っている記者から連絡があって「橋本さんが死んだという情報が流れている」と。どうせガセネタだろうと思ってさ、橋本さんの携帯に電話をしたらコールするんだよ。でも本人は出ない。俺は「寝てるだけなんじゃないか?」って思いつつ、どっかで「お願いだから電話に出てくれ」って身体が緊張してたんだけど……そのときにはもう亡くなっていたんだよ。

――正式に訃報を聞かされたときはどんな心境だったんですか?

小川 もう、何も手に付かなくて、何が何だがわからなかったよ。『ハッスル』としても会見をやるということで榊原代表と一緒に出席して、そのあと横浜に安置されている橋本さんの遺体を確認にいって。信じたくなかったけど、ようやく現実が追いついてきて、唖然としたよね。

――そのとき小川さんは長い時間、橋本さんの遺体と対面されていましたよね。

小川 それは俺が橋本さんのそばにいてやんないといけないなって思ったんだよね。正直言ってね、橋本さんの周辺状況はいろいろ難しい問題があるわけだよ。

――プライベートな話題をスキャンダラスに報道するマスコミも見受けられますね。

小川 それにお母さんは他界されているし、妹さんは岐阜にいて、奥さんとは離婚されている。要は身内と呼べる身内が身近なところにいない。それから亡くなられた夜、俺は家族会議の席にもいたんだけど、遺された子どもさんのこともあるし、同じ子を持つ親としては……どうしてもね。

――小川さんが5時間もその場にいらしたというのは、そういう理由もあったんですね。

小川 そう。だって喪主も決まってないというすごく混乱した状況だったんだよ。これほどの男が亡くなったときにさ、それはねえだろう! という憤りがあったんだよな。その感情はこないだの葬儀のときにもあった。橋本さんと長らく疎遠だった人間たちが表に出て取り仕切ろうとするなら、責任を持ってかならず最後まで橋本さんのためにやりとおしてくれ!って心から思うよ。

――それは葬儀の席で前面に出ていた某老舗団体に対する思いなんですか?

小川 ……いや、べつに誰が表に出てもいいんだよ。ただ、「合同興行」とかマスコミ向けの発言ばかりするんじゃなくて、ちゃんと内務面をやってくれ! という気持ちは強いよね。それこそ橋本さんのために、親身に執り行ってくれると思ったから、俺は葬儀で一歩引いていたし。それは出棺の際、橋本さんの棺を持つ・持たないという……そういう話し合いも含めてね。

――小川さんが棺を持たないのは、ちょっと不自然さをかんじたんですけど。

小川 俺は、橋本さんを精一杯送り出してあげたいという気持ちはあったよ、もちろん。でも、どうしても表に出てきたい人たちがいるから、じゃあどうぞ、俺は退きますよと。もしかしたら、「小川! なんでオマエが持ってくれないんや!」って、橋本さんは天国で怒っているのかもしれないけれど……。

――絶対にそう思ってるはずです。

小川 これは誤解しないでほしいけど、俺は武藤（敬司）さんや蝶野（正洋）さんには何も含むことはないんだよ。ファンにとっては闘魂三銃士のほうが感慨深いつながりだろうし、俺はこのプロレス村ではまだまだ新顔だし。

――いや、携帯サイト『紙プロHand』の追悼アンケートでは、橋本vs小川・伝説の3連戦がもっとも印象深いというファンの声も多いんですよ。

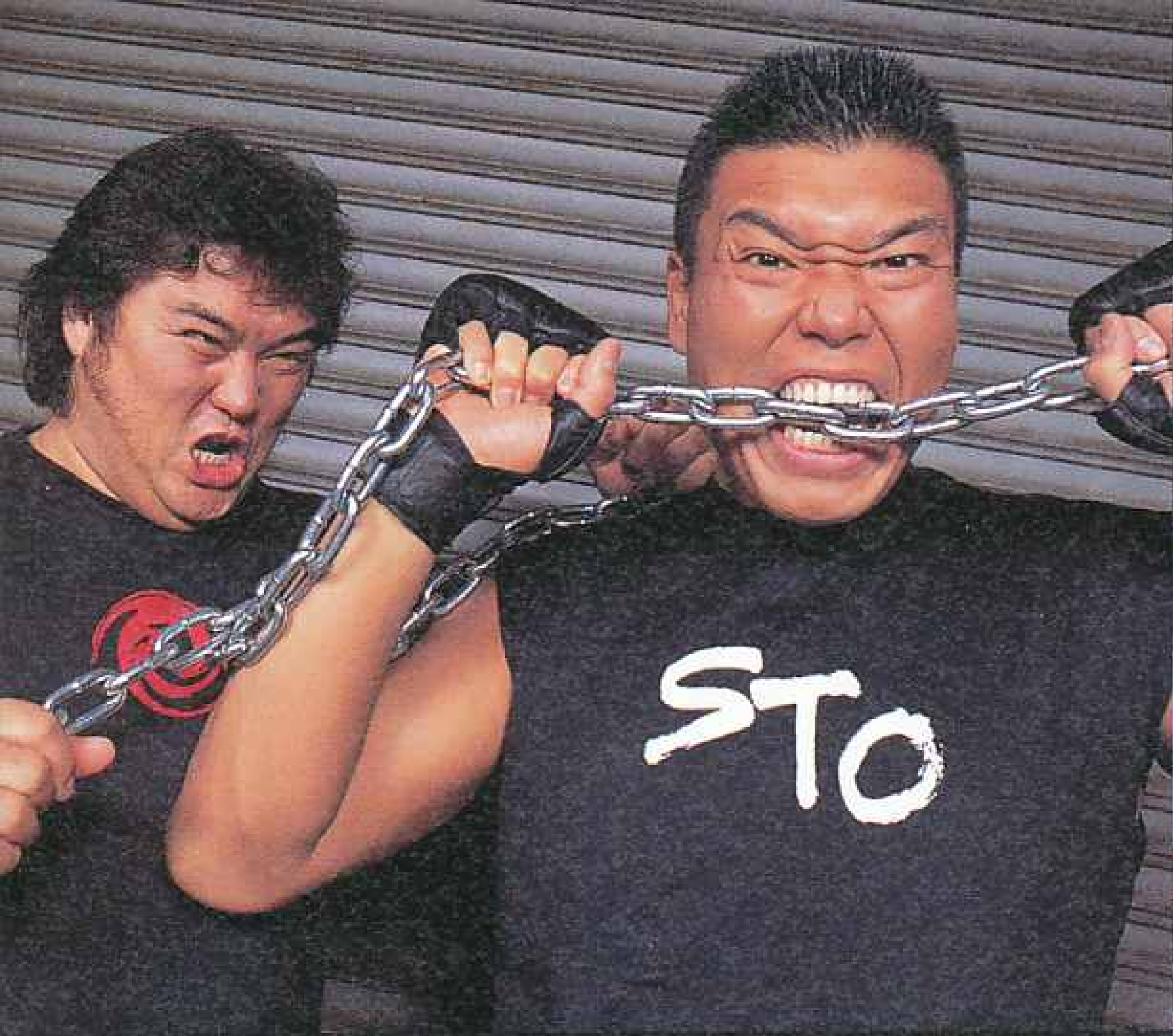
小川 ……みんなありがとう! だけど、俺は棺を持つことより、橋本さんのためにもっと大事なことをやり遂げる気持ちはあるから。俺と橋本真也の本当の闘いというのは、これからなんだよ。

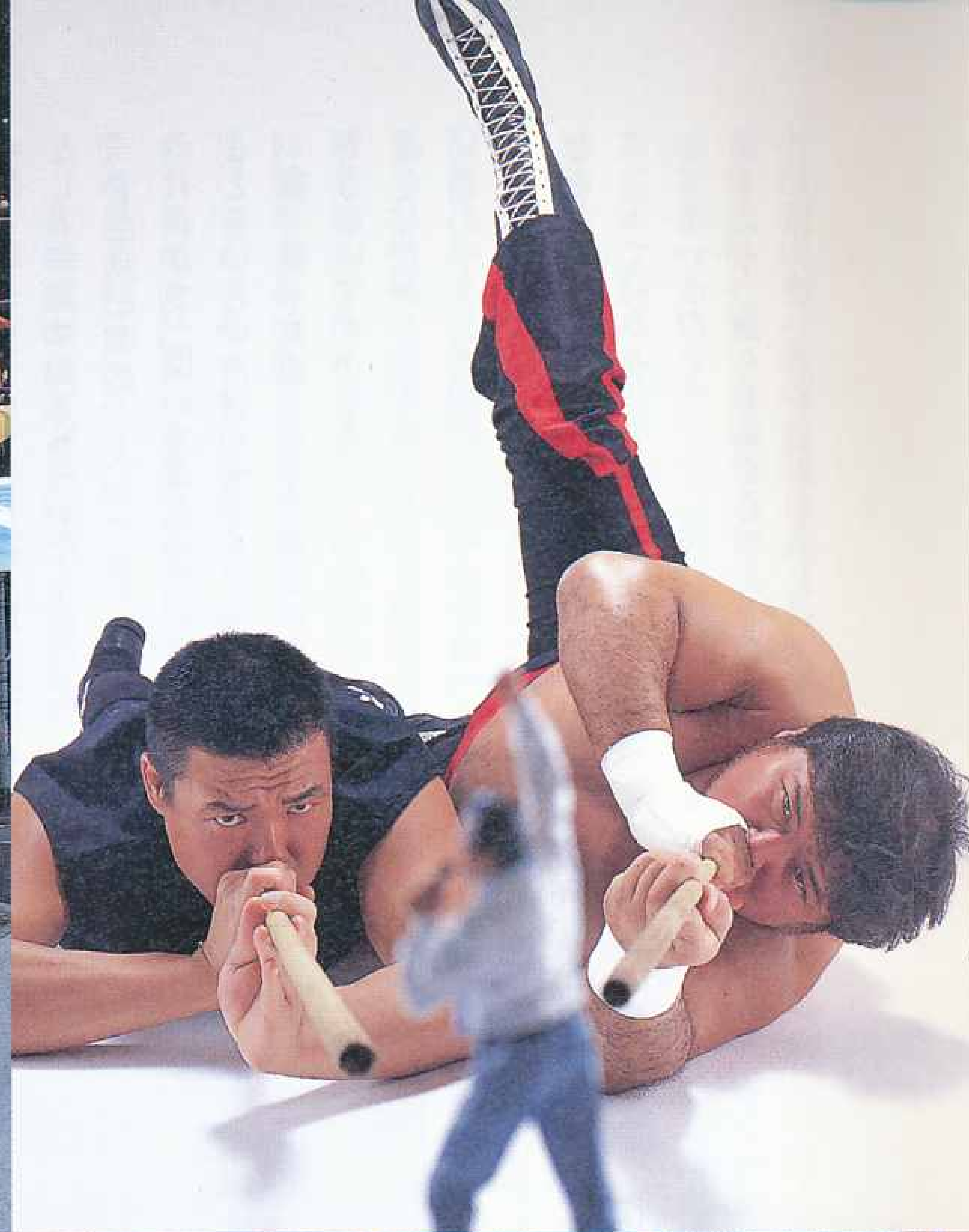
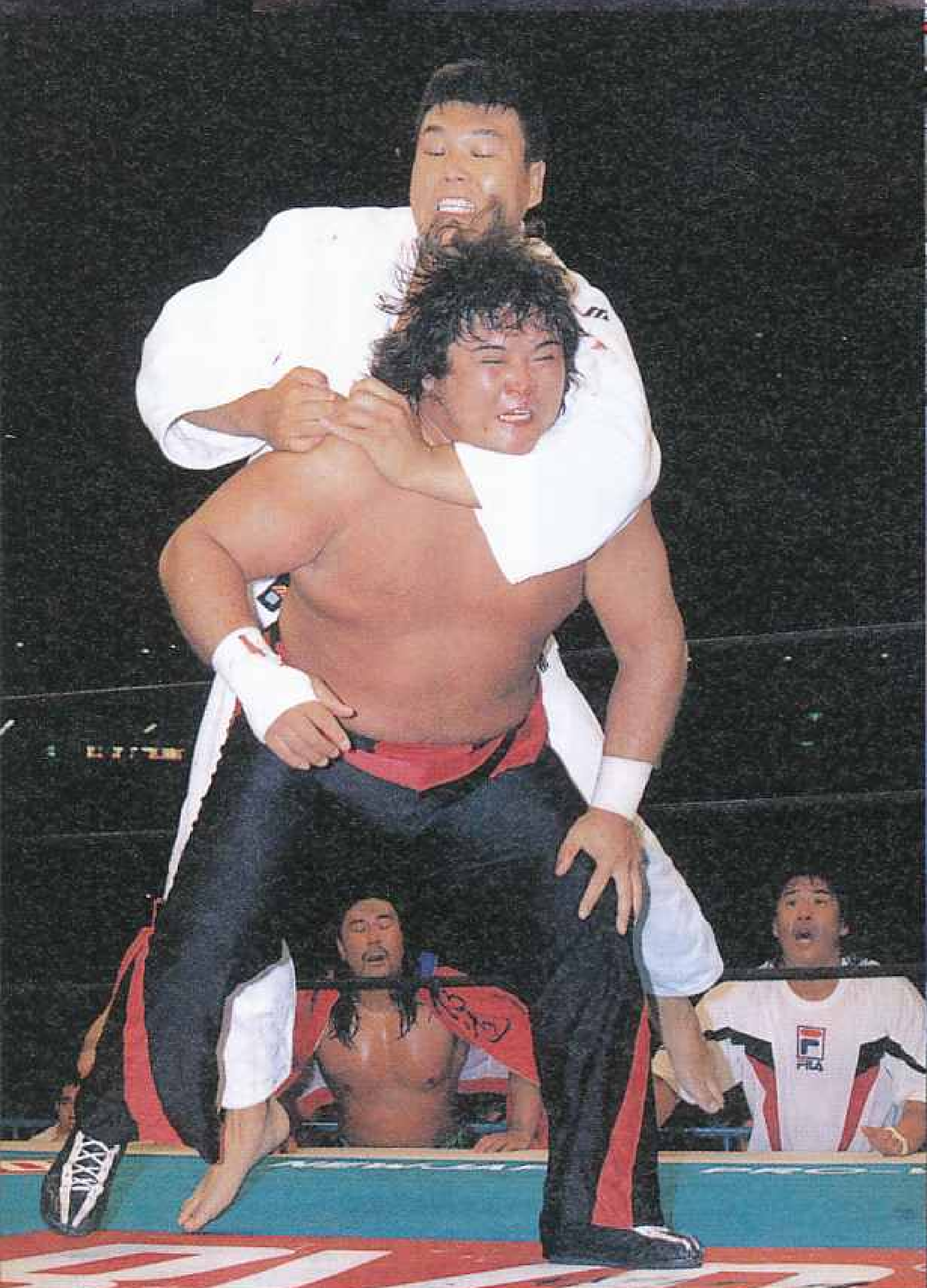
――本当の闘いは、これから。

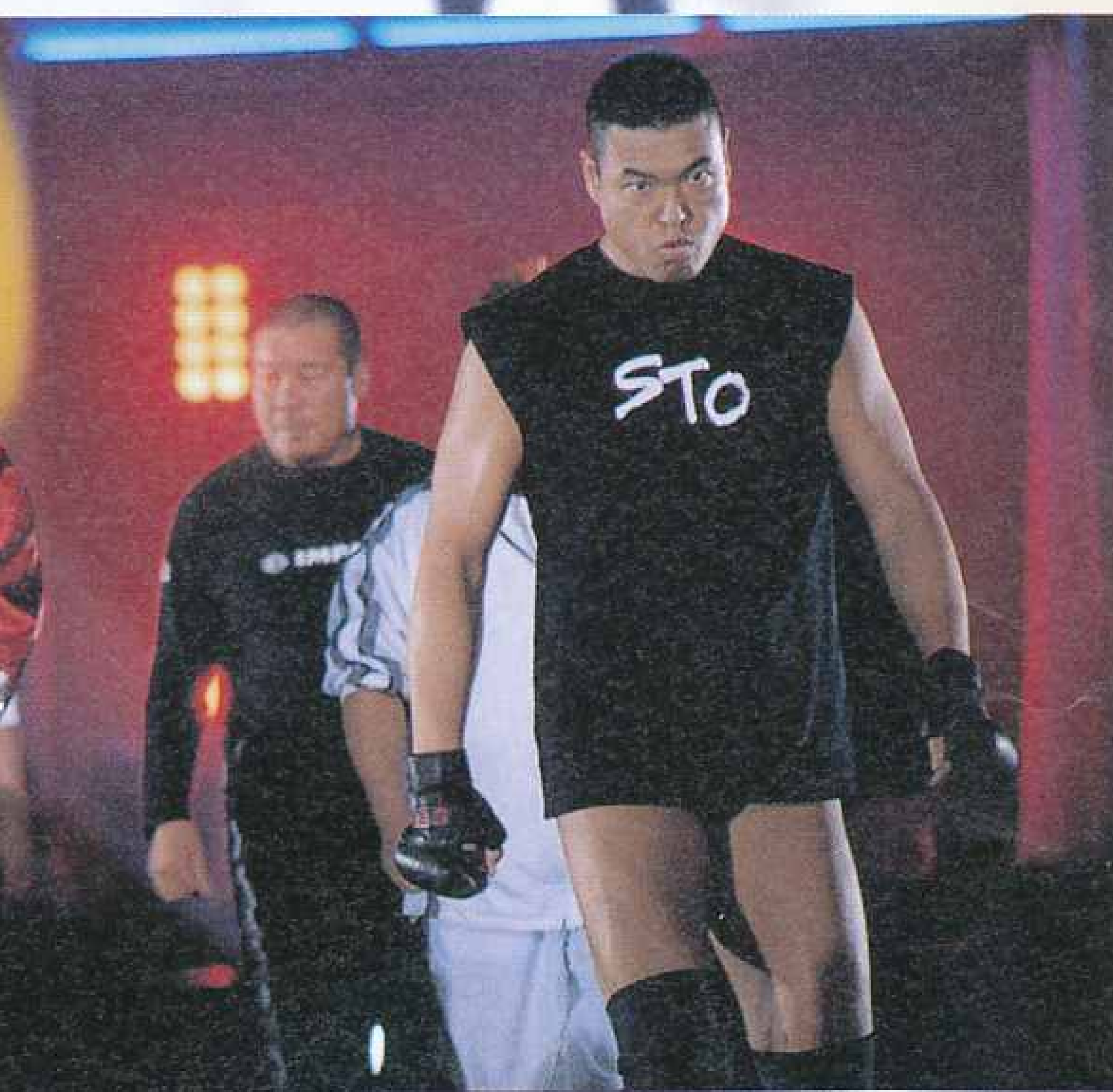
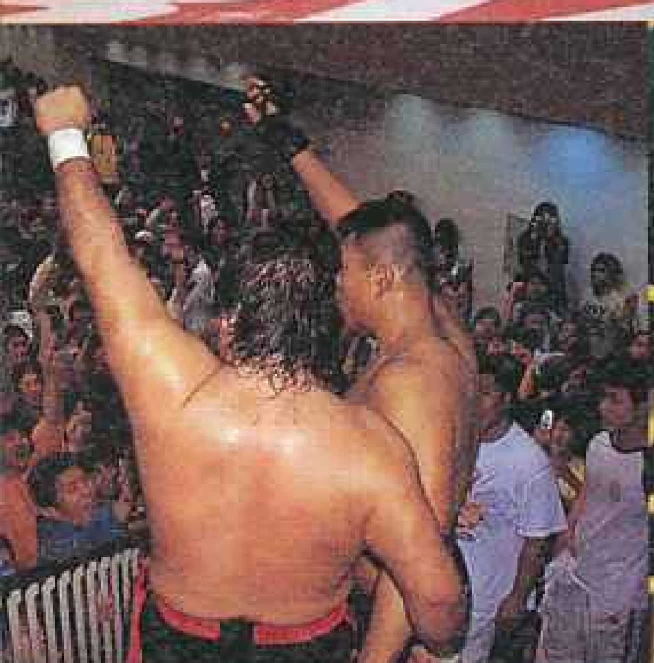
小川 そう、これから! 俺はこれからさ、いかに橋本さんのために何ができるか? という闘いをしなくちゃいけないんだ。たとえば、遺された子どもたちのことがある。子どもたちに養育費を払い続けていくというのは橋本さん自らの選択だったから、できればその意志を微力ながら力になってあげたいんだよ。それで奥さんの苦労がすこしでも報われればいいなという気持ちはあるんだよね。

――そのためにも合同追悼興行のプランが浮上していますが、先日の葬儀後、小川さんが武藤さんや蝶野さんたちとその件について話し合いをされたと聞いています。

小川 うん。三者会談はやったよ、たしかに。俺の肝としては、何をやるにしても「橋本さんの子どもたちのためにやる」ってことが大前提。そこを踏まえてもらうことを武藤さんや蝶野さんにも合意してもらったよ。まぁ武藤さんには武藤さんの立場があるし、蝶野さんには蝶野さんの立場があるからさ、俺が思うにはしがらみが生じる合同興行をやる前に足並みを


STO




FILA

IMPALA

STO


STO





揃える意味で、まずはファンも参加できる合同葬のようなものを開催したいという意向を伝えた。

——まずは合同葬開催が先。

小川　だって世間一般では、会社の偉い人がなくなったら葬儀とは別に社葬を行うわけじゃない。そういう意味で、橋本さんはプロレス業界のために尽くしてきたんだし、ぜひファンや各プロレス団体の手で送り出してあげるべきだと思うんだよ。それすらもできない業界だったらさ、しょせん合同興行なんかできるわけないよ！

——それは間違いないですね。

小川　正式な場を設けてファンのみんなに橋本さんを弔ってもらって、それから最後に「さよなら」のメッセージを告げれることができれば、それでやっと橋本さんが天国に旅立てると思うんだよ。やっぱりさ、もっと大きい会場で、たくさんの人間に橋本さんを見送ってもらいたいから。

——それを各プロレス団体で共催することは決定なんですか？

小川　いや……さっきも言ったように個人として合意はしてもらったんだけど、その三者会談に突然、入ってきた某老舗団体の社長がさ、聞いてるこっちが寂しくなることをいろいろ言ってきたんだよ。「年に一度、橋本真也メモリアルなみたい興行ができないですかねえ」っていきなり商売の話をしたかと思えば、こっちが提唱した合同葬のプランを聞いて「その費用って、どれくらいかかるんですかねえ」とか金のことをグジュグジュ言いやがって。マスコミに言っていることと裏側の言動が全然一致してないんだよ！　たしかにさ、合同葬を派手にやったらお金が必要になるよ。ちゃんと団体間で話を詰めないといけないことだし。でも、最初から躊躇するんなら、それ以前にもっと躊躇するとこあるだろ？　表に出てくる意味がないって話だから。

——そこでためらうんだったら、マスコミ向けのリップサービスだったのか？　ということになっちゃいますよね。

7・13『ハッスル10』福岡、7・17『ハッスル11』大阪で追悼セレモニー。橋本さんが編み出したトルネード・ハッスルで追悼。橋本さんのテーマ曲『爆勝宣言』が館内に響き渡り、大「ハッシモト!!」コールが発生。その光景は多くの関係者やファンの涙を誘った



小川直也

「俺と橋本さんの本当の闘いは、これからだよ」

小川　逆に榊原代表なんて「ＤＳＥは名前を出さずに黒子でもいいから、合同葬の費用を負担します」って後押ししてくれる。こういうお金の話を嫌う人もいるかもしれないけど、放っておいたら足並みが揃わないから、「銭ゲバ」と呼ばれる俺があえて言わしてもらうよ。それと……もし追悼興行の看板をもしかかげるなら、その収益のすべてを子どもたちに渡さないといけない。そうじゃなきゃファンは協力してくれないし、プロレスというジャンルや橋本さんの顔に泥を塗るだけだよ！

——橋本さんや、遺された子どもたちのためにやらないといけないと。

小川　当たり前だよ！　橋本さんを盛大に送り出して、「収益の一部」じゃなくて「収益のすべて」を子どもたちにあげる追悼合同興行なら、俺は何も言わずに喜んで協力する。というか、興行にこだわる必要はまったくなくて、橋本さんやその子どもたちのためになるイベントだったら何でも大歓迎だよ。これは俺だけの意向じゃなくてさ、『ハッスル』サイドの姿勢は一致しているしね。それはお通夜、葬儀に訪れた川田（利明）、坂田（亘）、笹原ＧＭ……あと髙田総統とやらの古くからの知り合いも含めて、みんなが望んでいることだよ。

——それはファンも望んでいることだと思います。

小川　橋本さんのため、子どもたちのため、ファンのために何かやるべきだよ。こういう言い方はしたくないけど……追悼興行の名前に隠れて、団体の利益を目論むなんてもってのほか。俺が綺麗事を言っているように見えるなら、それでけっこう！　俺はいま挙げた３つのために闘い続けるよ。うん。

●

——話は変わりますが、小川さんが間近で見た「プロレスラー・橋本真也」について聞かせてください。いや、もう付き合いは深く長くて色濃くて、時間はいくらあっても話し足りないと思いますけど。

小川　そうだなあ……。最近は「リアル・プロレスラー」という言葉をよく耳にするけどさ、橋本さんこそが「リアル・プロレスラー」だったよね。あの破天荒であけっぴろげなところは、一般人の常識からすると馬鹿にされてもおかしくなかったけど、ファンの共感を呼べる泥臭いセンスというか、何ごとにも真正面から受け切る豪胆な性格というのは、真似できるレスラーは他にいなかったから。

——その性格やセンスはリング内外でまったくブレなかったですよね。

小川　変わらないというかさ、プライベートもリングも一緒なんだから。だってさ、ポテトチップス食いながらリングの上でストレッチやってるんだよ（笑）。

——小川さんに「やせるサプリメントはないか？」って聞いてきたときもあったそうですけど（笑）。

小川　そうそう（笑）。逆に怪しいモノを俺に勧めるんだよな。精力剤とかさ、人参エキスとかさ、そういう代物をたくさんカバンに持ってるんだよ。俺は試合前にイヤイヤ飲んだふりをしたことがあったけど、ちゃんと飲んでいればよかったなあ……（しみじみと）。

——しかし、"1・4事変" といまでも語り継がれる、あれだけ凄惨な試合をやったお二人が、近い将来、同じリングでおたがいを信頼し、肩をならべることになるなんて想像できましたか？

小川　いや、あの当時はまったく思わなかったよね。闘いを通してわかりあえた部分は大きいというか、そこが絶対なんだけどさ。俺と橋本さんが闘っていた当時のプロレスは、まだ勝ち負けというのが決定的な重圧をもったものだったんだけど、じゃあ「プロレスの勝負論って何？」という猪木さんが仕掛けた問いかけに、俺たちは一生懸命答えを出そうとしていたんだよ。とくに橋本さんは勝ち負けを超えて、負けても負けても、そっからひきこもるんじゃなくて、一歩前に出て答えを探していたと思うんだよね。

――あの頃の橋本さんは、人生を剥き出しにして闘っていましたよね。

小川　うん。負けて見えてくることがあるっていうけど、勝ち負けを超えた芯の部分で闘っている橋本さんがいて、世間、試合、俺、新日本プロレス、猪木さん……彼はすべてに勝負を挑んでいたんだよ。結局、某老舗団体からは見捨てられたかたちになったけど、それでも自分のすべてを懸けて前に出ていたから、本当にすごかったよ。

――そうして橋本さんが立ち上げたZERO-ONEに小川さんは協力することになりますが、これは小川さんにとっても大きな転機になりましたよね。

小川　そうだね。ZERO-ONEのリングを通して、プロレスのライブ感を教えてもらったというかさ。プロレスというものと初めて融合できた実感はあったよ。たとえば、橋本さんとの合体技もそう。当時の俺のファイトスタイルからすると、合体技なんてやっていいいの？　というイメージがあったんだけどさ。

――相手を抱えながら「小川、俺ごと刈れ～～!!」と叫んだ橋本さんごとSTOで倒す合体必殺技「俺ごと刈れ！」ですね（笑）

小川　橋本さんが必死の形相であぁ叫ぶから説得力あるんだけど（笑）。あとZERO-ONEの地方シリーズを通して、団体や興行のあり方、プロレスラーとしての責任をはっきりと自覚するようになった。この団体を一緒に守るんだ、そしていつか、どんな団体よりも上に担ぎ上げてやるんだという思いが、俺の体にズ～ンと入ってきていた。それはいまの『ハッスル』にも繋がっている意識ではあるんだけどさ。



――橋本さんにも、もっと『ハッスル』を盛り上げてほしかったですね。

小川　本当だよ……。ちょっと前に、橋本さんが「某老舗団体に出るんじゃないか」という根拠がない噂があったけど、『ハッスル』札幌のときに俺の携帯に電話があったんだ。俺はちょうど試合で出れなくて、あとで留守番電話を聞いたら「小川！　俺を信用してくれよ。俺の復帰戦は『ハッスル』に決まってるんだから！」というメッセージが吹き込まれていて……。あれはうれしかったな（しみじみと）。

橋本さんに霊柩車なんか似合わない。ベンツかデコトラで送り出したい!

――橋本さんは、亡くなられた前の週に『ハッスル』復帰戦のことについて、関係者とお話しをされていたと聞いています。

小川　それはそうだよ。だって『ハッスル』は俺と橋本さんが立ち上げたイベントだし、橋本さんが『ハッスル』に上がったのは短かったけどホームリングなんだから。だからこそ『ハッスル』では、『ハッスル』ならではの追悼イベントをやってあげたいんだよね。辛気くせえのはハッスル・キングがいやがるだろうから、ド～ンと華やかにさ。たとえば、みんなが『ハッスル』仕様のコスチュームで橋本さんを追悼したり。

――そのときはモンスター軍との抗争を一時中断して、髙田総統にも参列してもらいたいですね。

小川　うん。あとそのセレモニーではベンツで橋本さんを送り出したいよね。橋本さん、ベンツ大好きだったし、ハッスル・キングに霊柩車なんか似合わないから。

――もしくはデコトラですよ！　橋本さんは以前からデコトラで入場することを夢見ていましたし。

小川　よし！　『ハッスル』の追悼セレモニーでは、デコトラで送ってやろう！

――それは本当に実現してほしいです（笑）。

小川　……でも、そんなことでお金を無駄に使ったら、子どもに渡す収益がなくなっちゃいそうだな～。ちょっと『紙プロ』で誌上募集してくれよ。デコトラを無料で貸してくれる気前のいいトラッカーをさ（笑）。

――わかりました！　とくにド派手にデコレーションされたものを募集します（笑）。

小川　しかし、こんなこと喋っていると、これは不謹慎な言い方になっちゃうけど、今回のことは『ハッスル』の中の物語の一環のような気がするんだよなあ。

――「俺が死んだって本当か!?」とか大声で叫びながら、いまにも橋本さんが現れてもおかしくない雰囲気はありますよね。

小川　繰り返すけど、それくらい実感が沸かない。でもハッスル・キングは、もういないから……。俺たちが意志を継いでハッスルするしかないんだよ。うん！

――それがいちばんの供養になりますよね。

小川　橋本さん……!!　あとのことは俺たちに任せて、天国でハッスルしてくれよ！　（立ち上がって）最後に、トルネード・ハッスル、行くゾーーっ！

――オ、オーーっ!!

小川　スリー、ツー、ワン、ハッスル、ハッスル!!　（腰を回転させながら）トルネ～ド～、ハッスル!!　ありがとう、ハッスル・キング！

【05年7月某日／都内某所にて収録】

※このインタビュー中に触れられていた、ファン、各プロレス団体による橋本真也さんの合同葬は、小川直也、武藤敬司、蝶野正洋、大谷晋二郎の呼びかけにより、7月30日（日）に青山祭儀場で行うことが決定した。『ハッスル』（DSE）、新日本プロレス、全日本プロレス、ファースト・オン・ステージ（ZERO1-MAX）が中心となって運営される。合同葬ではファンの献花を受け付けており、葬儀とは異なり華やかに橋本真也さんを送り出すことになった。

橋本真也、カルガリー武者修行時代の大恩師

ミスター・ヒト

愛弟子・橋本真也を語る。

アイツ、俺のこと“父さん”みたいに、慕ってくれてたよ。

故、橋本真也さんがカルガリーの海外武者修行時代、お世話になった恩師が元プロレスラー、ミスター・ヒトさん。橋本さんが「レスラーたるもの、安達(ヒト)さんの教えは必ず受けるべき関門」と力説し、また「俺がこうなったのは、安達(ヒト)さんのせい(笑)」と公私にわたって心酔していたヒトさん。地元、大阪で開催された7月15日のハッスル11の観戦後、急逝した橋本さんについて語ってもらった。

聞き手／真下義之
撮影／平工幸雄
designed by matsu (TwoThree)



7月15日、ハッスル11(大阪府立体育館)の会場前に設置された橋本真也さんの献花台の前で、たたずむミスター・ヒト。

――本日は急逝された故・橋本真也さんのプロレス海外遠征時の師匠であるミスター・ヒトさんに、橋本さんについて伺いたいと思います。

ヒト う〜ん。えらいことになったよなぁ……。

――ヒトさんは、どのような形で橋本さんの訃報を聞かれましたか?

ヒト まずウチのマネージャーから電話で聞いて、その後すぐプロレス記者からも電話がかかってきたよ。最初は「心臓マヒか?」と思ったけど。ただ「脳幹出血」というのは、お母さんと一緒の病気じゃないか? 橋本のお母さんは60歳くらいで、似た病気で亡くなってるんだよ。男の子って遺伝的にお母さんの血を受け継ぐから、その影響もあったのかもな。かわいそうだけど人生を「太く短く」生きた男だよ。

――「太く短く」という表現が本当にぴったりですよね。

ヒト 今日、テレビを見てたら、別れた奥さんがコメントを出してたけど素晴らしかったな。しっかりした立派な女性だよ。最後は別れてしまったけど、橋本のわがまま聞いて、サポートし続けて……。アイツは人徳というか、周囲を本当にいい人間に恵まれてたよな。

――橋本さんのことを悪く言う人っていないですよね。

ヒト それに橋本はやさしいからさ。年上の先輩をとても大事にするんだよ。ZERO-ONE時代もドン荒川選手とか、藤原嘉明選手とか、年とって他団体が使わないようなレスラーをよく使ってたじゃない。でもやさしい反面、豪快すぎるから、最後はZERO-ONE勢とも別れちゃったけど。

――そこは本当に残念でしたよね。

ヒト 大谷選手とも袂をわかってしまったけど、今日のハッスルの追悼セレモニーでは、(大谷選手は)キチッと遺影を持ってリングに上がったろ。あれは大したもんだ。最近のプロレス界って憎しみやねたみが多いけど、ああいう姿勢は気持ちいいよ。

――ヒトさんは03年のZERO-ONE USA大会(1月5日 後楽園ホール)で橋本さんのカルガリー時代のキャラクターであるハシフ・カーンのマネージャーとして登場されましたね。

橋本との思い出は……ありすぎるよ。

ヒト あのときは橋本から、一ヶ月前に突然「安達さん、マネージャーとして出てください!」って電話がかかってきてな。お客もいっぱい入ってて、本当に素晴らしい興行だった。リングに上がったときは俺も足が震えたよ。

――そのZERO-ONE USAの試合後のコメントでカタコトしか英語をしゃべれないハシフ・カーンが冗談めかして「ミスター・ヒト、ハーフダイ!」と言ったという逸話があるんですが、それは覚えてますか?

ヒト いやまったく、覚えてないなぁ。

――ああ、覚えてないですか。

ヒト でも、そんなこと言ってた奴が、先に逝っちゃうんだからな。やっぱり「いい人間」って、はやく死ぬんだよ。だって俺みたいのはいつまでも生きてるだろ(笑)。

――そんなこと言わないでください。ヒトさんにとっての“プロレスラー”橋本真也像はどうだったんでしょう?

ヒト 橋本は試合自体はガッチリ戦う選手だけど、その反面、すごくお祭り好きなんだよ。だから今日、はじめて見たけどハッスルのリングは橋本には合ってたろうな。うん、ハッスルも悪くない。ああいうスタイルのレスリングってい



03年1月5日、ZERO-ONE USA(後楽園ホール)の控え室で談笑する、橋本とヒトさん。橋本はヒトさんの帽子を「カウボーイハットの方が似合いますよ」とアドバイス

ミスター・ヒト

「アイツ、俺のこと"父さん"みたいに、慕ってくれてたよ」

橋本はプロレス界"最後の豪傑"だろうな。



03年1月5日、ZERO-ONE USA（後楽園ホール）にてハシフ・カーン（橋本真也）のセコンドとして登場したミスター・ヒト。試合終了後に、揃って勝ち名乗りを上げた。

ままでないし。ただ、レスリングじゃなしに……予告編というか（笑）。

——たしかにそういった面もありますね。

ヒト　選手が、みんなマイクに慣れてるし、うまいよな。新日本プロレスみたいに「このヤロ、バカヤロ、殺すぞ！」と言ったってダメなんだ。マイクはおもしろおかしくやらんとな。ただ橋本はどんな試合も対応できるし、ハッスルのショウに出たら、うまいこと試合できたろう。おもしろいジョークを言いながら、試合ではすごい蹴りをバッカバッカ入れる。するとお客さんは橋本に心を「パッ」と掴まれるんだよな。

——ヒトさんは橋本さんが大阪に来られたときにはよく御会いになったんでしょうね。

ヒト　俺んとこの店にもよく来てくれたよ。最後に会ったのは、前のZERO-ONEがつぶれる前、府立第2体育館の興行のときに話をしたときかな。その時はもう、肩が悪い状態だったから、心配してたんだけど。その後も電話したりして交流はずっとあったよ。

——そんな、橋本さんとの一番の思い出はなんでしょう。

ヒト　思い出は……もうありすぎる。アイツの場合、カルガリーマットに海外修行に来てから友だちになったんだ。それからアメリカに来るたびにいつも寄ってくれたし、俺が日本に帰っても何度もメシ食いに行ったし、本当によく慕ってくれてたよ。それに橋本のおやじさんって蒸発しちゃっただろ？　だから俺のこと、お父さんみたいに思ってくれてたんじゃないの？　俺も結婚してすぐ子供が出来てたら、ちょうど彼くらいの年だしな。

——カルガリー時代の思い出も多そうですよね。

ヒト　アイツは織田信長と伊達正宗の影響なのか、結構イキなことするんだ。カルガリーから日本に凱旋帰国で帰るときは、手紙を便せん10枚くらい書いて「面と向かって言えないけど、コレ読んでください」って空港でもらって。感謝の気持ちとかが丁寧に書いてあった。俺はボロボロ涙が出たし、俺のかあちゃんも泣いてたよ。橋本は文章を書くのが好きだからか、カルガリーでは馳選手とすごく手が合ってたな。馳選手は橋本より入門があとだけども、年もとってて、大学を卒業して学校の先生もやってたから、認める部分があったんだろう。橋本はいつも馳選手を立ててたし、お互いが「さん」づけで、呼んでたよ。両方とも偉かったよな。

——2人とも本当に仲が良かったんですね。

ヒト　アイツら、国際免許持ってないのに、平気で俺の車を乗り回してた。ああいう度胸は大したモンだ。貸す人間も大したモンだけど（笑）。馳選手は日本でもほとんど運転してなくて、俺も同乗して一回殺されかけたけど。でも橋本はすごく器用で、運転も上手かったね。

——橋本さんの性格って、どう見てらっしゃいましたか。

ヒト　とにかく言うことをまっすぐ聞く男だよ。あるとき、猪木さんが、ロサンゼルスに来て、橋本が練習に呼ばれたから、「行け行け！　楽しんでこい」と送りだした。それで、猪木さんと一週間くらい一緒に練習して、猪木さんは帰りにVISAのカード置いていったらしい。

——カードをまるごと預けた、という話ですね。

ヒト　そしたらアイツは4～5日間で450万円くらい使ったらしいよ。その後、凱旋帰国で日本に帰ったときに、当時、社長だった坂口さんから「コレは使い過ぎだから、半分でも払え」ってしかられた。でもアイツは豪気だから「ただならいいけど、半分ってなんですか？　じゃあ全部払いますよ」と言い張って、結局、全額を支払ったらしいよ。

——そうなんですか！　全額というのは初耳です。

ヒト　橋本から直接、聞いたから間違いないだろ。まぁ豪快な奴だよ。一緒に食事しても、こっちが払ったというのは聞いたことない。昔はそういう豪快な選手がいっぱいいた。グレート・小鹿さんや、大熊元司さんとか。大熊さんは銭はつかわなかったけど（笑）。でもいまの時代、天龍選手を除けば、あんなプロレスラーはいないよ。きっと最後の豪傑だろうな。

——橋本さんが亡くなられた「40歳」という年齢は、レスラーにとってどんな年齢なんでしょうか？

ヒト　そんなモン若いだろう！　今のプロレス界の連中、見てみろ。長州も藤波もまだやっとる。それに日本人は、50過ぎでまだトップとろうとするだろ。天龍選手みたいに下の選手とも上の選手とでも豪快に試合できる選手はいいわ。でも長州なんか体つきはいいけど、もう動けないだろ。恥の上塗りはしてはいけないよ。でも橋本は、まだまだ10年は活躍できた。だから「惜しい」じゃなく「残念」という気持ちだな。

——ヒトさんと仲がいい人で言えば、一緒に本も出した中島らもさんも昨年、亡くなってしまいましたが。

ヒト　そうなんだよ。（さびしそうに）俺と遭遇するとみんな死んじゃうのかなあ……。でも橋本が逝っちゃったというのは、心から悲しいし、ガクッと来たよ。俺はアイツの元気な姿しか見ていないしな。

——入院のような前段階のない、突然のことでしたし。

ヒト　アイツはもっともっとプロレス界にいいものを残せる男だったよ。いままでの功績だけでも彼は十分に素晴らしいよ。でも試合を通じて、若いモンや業界にさらにいい影響を残していけたよな。勿体ないよ。あと残念なのは橋本には「参謀」が欲しかったよな。レスラーで誰か頭のいい奴がついていたら良かったのにな。でもレスラーって俺も含めて、頭が悪いのが多いからな。

——サポートに徹するレスラーというのはなかなかいないですよね。

ヒト　トップとってる奴って意外と孤独なんだよ。でも猪木さんには坂口さんがいた。馬場さんには元子さんがいた。馬場さんには金もあったけどな（笑）。そういう参謀がいたら、アイツの人生はまた違ってただろ。しかし、世の中って上手く行かないよ。これからってときなのに。

——かえすがえすも惜しい人ですよね。

ヒト　あれだけ思いきり、相手を蹴っ飛ばすプロレスラーはもう出てこないよ……。ただ試合も私生活も豪気な男だから、病気になっちゃったのかもな。でも本人は苦しまず「スッ」と逝ったから、ある意味よかったかもわからん。

——そうですね。

ヒト　俺のかあちゃんも先に逝ってるからさ。天国で2人、一緒になって、俺の話でもしてるんじゃない？　俺は天国にいけるかわからないけどな。天国に行ったとこで、またかあちゃんに怒られるんだろうけど（笑）。

——ヒトさんには橋本さんの分もまだまだお元気でいてほしいです！　今日は本当にありがとうございました

【05年7月15日／大阪府立体育館内にて収録】



ミスター・ヒト　■本名：安達勝治。1942年生まれ。大相撲から、日本プロレスへ入門。カール・ゴッチの指導を受けたストロングスタイルとトリッキーなスタイルの融合で人気を集める。カナダ・カルガリーマットを主戦場に世界各地で活躍。馳浩、獣神サンダーライガー、そして橋本真也をコーチした名伯楽として知られる。



「立ってくれ、橋本ッ!!」
破壊王の苦悩と挫折を実況した男

辻よしなり

元『ワールドプロレスリング』
中継アナウンサー

「橋本真也という時代を実況できて本当によかった」

橋本真也の全盛期、すなわち平成・新日本プロレスが栄華を極めていた90年代、『ワールドプロレスリング』中継のメイン実況を務めていたのが辻よしなりだった。橋本真也vs小川直也の壮絶すぎる抗争では、「立ってくれ、橋本ッ!」と嗚咽ながらに実況(今回の訃報を聞いて、この辻アナの言葉を瞬間的に思い出した方も多いことだろう……)。そんな橋本真也の栄光と影を見てきた男は、いま何を思うのか——?

聞き手/ジャン斉藤
構成/斉野もみじ
designed by matsu (TwoThree)

三銃士の中でいちばん橋本が実況しやすかった

——辻さんは、橋本さんの訃報をどのようなかたちで知られたんですか?

辻　あれはラジオの本番を迎える前だから、午後2時ぐらいだったね。直接連絡が来る前に、番組の放送作家がネットで知って教えてくれて。ホント、ビックリした。俺より若いし、とても信じられなかった。

——まだ40歳でしたからね。

辻　春先に仕事で会ったときも肩の調子が悪そうだったんだけど、「身体の具合も絶好調ではない」という話をしてたんだよね。社交辞令じゃなく「お互い身体には気を付けようね」って言い合っていたばかりだったんだよ。でも、プロレスラーとしてのダメージで亡くなったわけではないと思うよ。

——古舘(伊知郎)さんはニュースで「ダメージによる殉職」という表現で伝えてましたけど、あれはちょっと安直過ぎますよね。

辻　ニュースでいえばさ、橋本のプライベートがだいぶ話題になったでしょ。あまり詳しくは知らなかったけど、一瞬だけ精神的なストレスも一因なのかなって思ったんだよ。でもそれはホント一瞬だけで、彼と一緒に過ごした日々を考えると、橋本はストレスをほとんど溜めない性格なんだよね。大きな問題にぶつかっても悩むのはほんの一時。それはもう「そんな性格でいいの?」って思うぐらい(笑)。

——みなさんが口々にそう言いますよね。それで辻さんは橋本さんの全盛期と言われる90年代に、その勇姿を『ワールドプロレスリング』中継で実況されていたわけですけど、橋本さんにとって大きな転機になったのは、やはり小川さんとの一連の抗争だと思うんですよ。

辻　そうかもね。もともと闘魂三銃士って、猪木さんの闘魂やポリシーとか生き方を受け継ぐ意味で命名されたわけで、「オマエらに期待してるんだよ」っていう証明だと思うんだよ。それで誰もが口を揃えて言うように、猪木さんに一番近いのは、やっぱり橋本だったような気がするんだよね。普段のハチャメチャさとか、破天荒な考え方とか、かわいい稚拙さとか。でもそこに小川直也が現れて、橋本を押しのけて猪木イズムの後継者の位置に座った。だから橋本と小川は闘う運命だったんだろうし、当時の小川には橋本しか闘える相手がいなかったと思うんだよ。

——当時の小川さんはこれからの方向性を模索しながら、プロレスという大海原をさまよっている印象がありましたよね。

辻　そして小川直也というプロレスラーは、当時は孤高の戦士で、胸襟を開いてくれる機会は滅多になかったと思うんだ。逆に橋本真也は常にダイレクトで飛び込んだり、受け入れたりする感覚を持ち合わせていた。橋本は「小川の心の扉を開いて本音を聞けるのは俺しかいないんじゃないの?」って常々言ってたんだよ。

——小川さんは橋本さんとの抗争を経て、プロレスラーとしてのキャパシティをグッと広げたところはありますね。

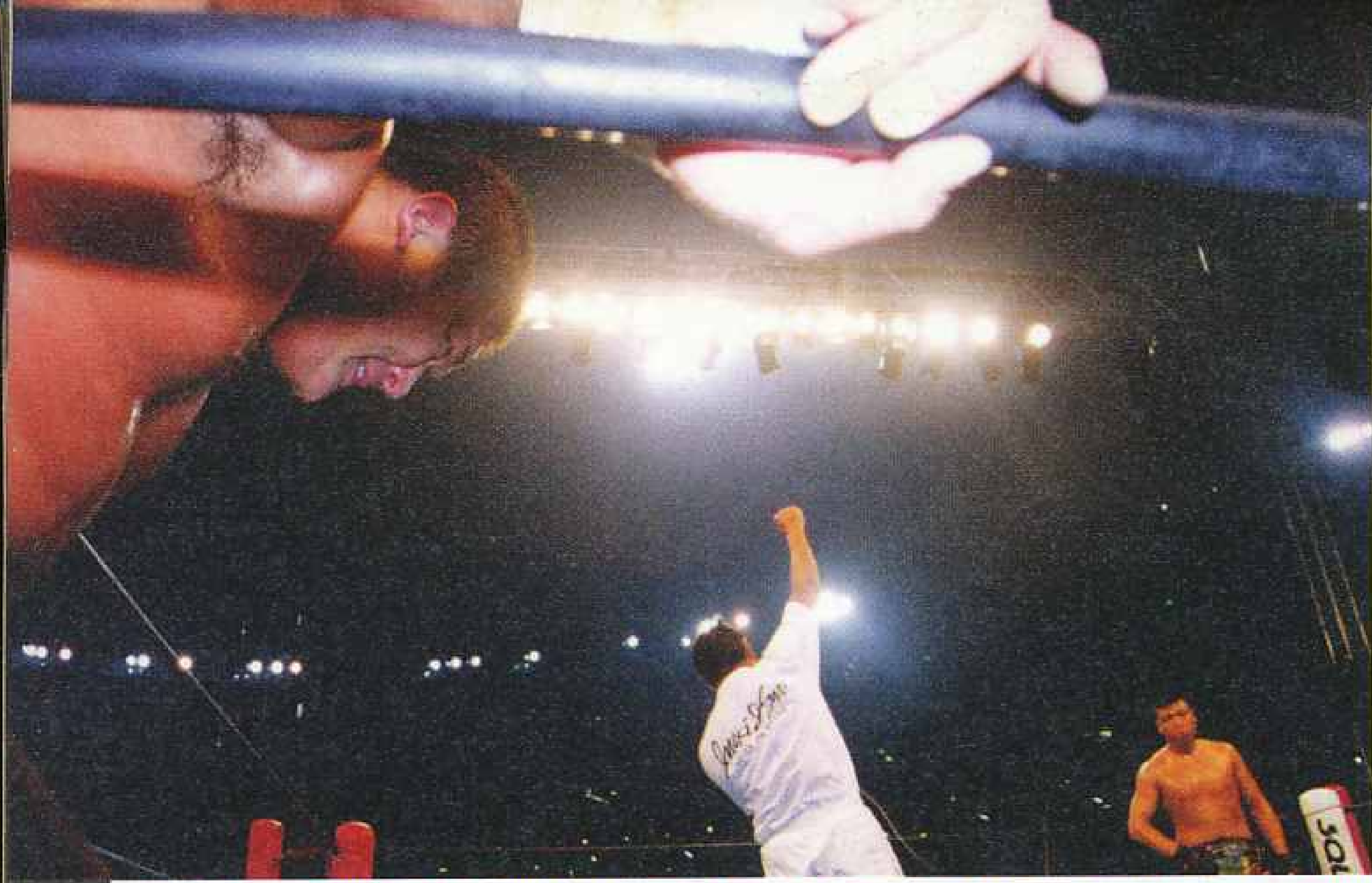
辻　小川が橋本と絡まないで試合ができるようになったのも、やっぱり橋本のおかげだったと思うし、小川のことをそこまでわかってくれる人って、そんなにいなかったと思うんだよね。

——そんな橋本さんはついには引退を懸けて小川さんと闘うことになった。それがゴールデンタイムで放映された『橋本真也34歳・負けたら即引退スペシャル』ですが。

辻　あれはいろんな思惑が絡んだ試合だったと思うんだよ。

——猪木さん、新日本プロレス、テレビ朝日、小川直也に橋本真也。そしてゴールデンタイムや東京ドームという大きな器の中で、それぞれの思惑という糸が複雑に絡み合ってましたね。

辻　それで、僕らテレビ局と橋本が「どうやったら一般大衆が注目して見てくれるか?」ということで話し合ったときに、引退を賭けるべきなんじゃないかという結論に達したんだよね。でもさ、あの試合で橋本が入場してきたときに、番組やプロレスというジャンルを盛り上げるということを引き替えに、橋本をここまで追い込んでしまったことに後悔したよね……。



あの“1・4事変”が橋本、小川の二人の運命を大きく動かしたともいえる。写真は引退スペシャルのもの。全身全霊を尽くして呆然と立ちつくす、二人の“リアル”な姿だ

――でも、引退を懸けるのは、橋本さんの意向でもあったわけでしょう？

辻　うん。その決意と覚悟が、小川が主人公になる可能性もあった番組を、橋本主人公の2時間スペシャルに変えてしまった。どこでどう目立つかということをいつでもテーマにするのがプロレスラーの宿命だから、「橋本、ここまで追い込んでゴメンね……」という個人的感情と、「猪木さんよりおいしいぞ、橋本！」という作り手の色気が入り混じってましたね。

――辻さん自身も我を忘れて実況してましたよね。「立ってくれ、橋本ッ！　まだ家のローンが残っている!!」と涙ながらに。

辻　あんまり覚えてない（笑）。花道を歩いてくる橋本を見たら、たしかに涙がこみ上げちゃってね。それは単なるプロレスの試合という枠を越えた感動が確実にあったから。そうでなきゃ泣けないよね。野球とかサッカーの実況も面白いけど、プロレスの実況はやめらんないって思ったもん！

――あの試合は本当に奥が深かったですよね。従来のプロレスの方法論でいえば、2連敗のあとの決着戦、しかも引退を懸けた破壊王がまさか負けるとは思ってなかったですし。

辻　いまさらだけど、あのときは橋本にホント感謝したよね。普通は後先のこと考えるじゃない。でも彼の人生には〝いま〟しかない。〝潔さ〟っていう言葉に尽きるよ、あのときの橋本は。そういう意味ではさ、とってもいい時代にプロレスの実況ができて、橋本真也という男に出会って、いい時間を過ごさせてもらったなという感謝の念がありますよ。

――当時辻さんはノリノリで実況されてましたもんね（笑）。

辻　とくに橋本は喋りやすいんだよねぇ。武藤も蝶野もカッコいいじゃない。だから茶化しても面白くならないんだよ。その点、橋本は茶化しても、カッコよく煽ってもおもしろいし、何でもハマるんだよね。〝茶化す〟っていうと失礼な言い方になるけど、橋本にはいろんな意味でキャパがあったってこと。もちろん器のデカさは武藤や蝶野もあるんだけど、橋本は容器自体が別なんだよ。その辺に小川が惚れたんじゃないかな。俺の中のプロレスラーのイメージって、凄く計算高くて緻密っていう印象があるんだけど、橋本はある意味で大馬鹿だったじゃない。そこまで馬鹿を貫き通せば立派。もう立派馬鹿！

――立派馬鹿（笑）。

辻　猪木さんが「馬鹿になれ！」なんて言ってたけど、橋本はそれを見事に体現してくれた。猪木さんが馬鹿になってるかって言ったら、もの凄く計算してると思うし。

――橋本さんはとくにプロレスラーらしいプロレスラーでしたよね。

辻　何を指してプロレスラーらしいのかは十人十色だと思うけど、橋本はプロレスラーにはこうあってほしいっていう我々の願いを、いろんなシーンで体現してくれた数少ない人間だったから。言ってみればファンが理想にしたいレスラーの一人だったよね。橋本がそういう性格になるには、家庭環境の事情もあって、それが人格形成にどれだけ影響を与えたか知らないけども、も

辻よしなり

「橋本真也という時代を実況できて本当によかった」

あそこまで馬鹿を貫き通せば、もう立派馬鹿

うああいうレスラーはなかなか生まれないだろうね。でも、橋本はホントに人を信じることができてたのか、わからない部分があるんだよ。育った環境もあるだろうし、これまでも人に騙されたりしたんだろうけど。そういうことが亡くなったあとも尾を引いてない？

――具体的に言うと？

辻　『紙プロ』も含めたいろんなメディアが報道するのはいいんだけど、団体の長と呼ばれる人間たちが、亡くなった次の日、下手したらその日に「追悼興行いつやる？」みたいな話が出てるのが俺はイヤな感じなんだよ。あまり言うつもりはないんだけども、せめて初七日とか四十九日という喪が明けるまでは、そんな話してもらいたくなかったよね。残された3人の子供たちのためのボランティアっていう部分から、合同興行が沸き上がってこないと。

――合同興行をやる意味を考えたら、子どもたちのためが大前提ですよね。もしボランティアで合同興行が開催できるんだったら、ぜひ辻さんに実況してもらいたいですね。

辻　ただうしろにうごめくものがあるんだったら、静かに見守ってたい感じはするけどね。そういう意味では、いまはプロレス自体の純粋な存在理由や価値が失われつつあるでしょ。橋本はそれを感じてて、ZERO-ONEで昔ながらのプロレスを取り戻したかったんだろうね。

――ZERO-ONEはその特色が爆発的なおもしろさを生んでましたよね。

辻　いい時代の新日本を再現できたと思う。そして橋本には小川との一連の抗争や三銃士同士の張り合いとか、ホントに素晴らしいプロレスを実況させてもらったから、お通夜で手を合わせたときは感謝の気持ちでいっぱいだったよね。橋本が死んだことで、ひとつの時代が終わったとは言いたくないけどさ。そんな気分があるのはたしかだよね。

――亡くなったことで、橋本真也はひとつの時代であったことを痛感しました。

辻　若くしてスターになっていくのもいいんだけど、そのスターになるためには、みんなを納得させれる道のりを歩まないといけない。叩かれて叩かれてはい上がっていく図式を、いま一度見直した方がいいよね。じゃないと、インスタントのヒーローで終わっちゃう。インスタントのヒーローが経験しない苦しい月日というものに、橋本がどれだけ費やしたかってことですよ。スターをつくるじゃなくて、スターになる人の打ちひしがれた時間がプロレスの隆盛をつくるんだと思うんだよね。いまのプロレスはそれを忘れてるとしか思えない。だって橋本は、苦悩や挫折をリングに投影させて我々に見せてくれたじゃない。いまの選手は自分たちの人生と、プロレスはプロレスというふうに遊離しちゃってるんだと思うんだよね。

――素晴らしく技術が高い試合は数多いですけど、選手の人間性がこれでもかと反映されて、それを見た人間のトラウマになるまでの試合って、いまはあまりないですよね。

辻　ないと思うよ。橋本がファンの気持ちをこれだけ掴んでるってことは、橋本真也というレスラーのあり方、打ち出し方が間違ってなかったっていう裏付けだと思うんだよ。プロレス界は橋本真也みたいな、泥にまみれて闘い抜いたレスラーをつくっていくことが大事。もはや外野になった人間がこんなこと言ってごめんなさい。ただ一ファンとして切に願ってます。

――今日はありがとうございました。

【7月19日／文化放送にて収録】



【つじ・よしなり】1961年3月29日生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒業後、テレビ朝日入社。2000年に独立。（有）ツジ・プランニング・オフィス（TPO）を設立。長州力の半生を追った「反骨イズム」や、自らのプロレス観やレスラーのエピソードを綴った「プロレス裏実況」の著書を持つ。現在は「朝は楽しく！　スマイルサプリメント（テレビ東京）／月～金曜日朝8：00～」「辻よしなりラジオグラフィティ（文化放送）／毎週月～金16：00」などに絶賛出演中。

破壊王にしめっぽさは似合わない!!

「紙プロは紙プロなりのやりかた」で
橋本さんを送り出します

「みんな、だいすき！破壊王！」フォトアルバム【シングル編】



写真としては、はじめての橋本ソロ表紙No.51のフォトセッション。ZERO-ONEの七夕興行を記念して、肩にかけた笹の葉と短冊が男らしい。(No.51)



ZERO-ONE設立当時、サンクスから限定発売された、破壊王弁当シリーズ発表会見にて。巨大やきとりをパクついて、御機嫌の破壊王。



02年8月のUFOの興行「LEGEND」の「橋本黒幕説」という噂に対し「そうかもしれない!　でもLEGENDって何?」と黒幕姿でボケる破壊王。(No.51)



サンクス限定の橋本真也監修メニューの第三弾「破壊王のAQUA ENERGY」を2本同時にガブ飲みしようとする破壊王。素敵だ。


謹賀新年
本年もよろしくお願いいたします

初心に戻り、必ず復活します。
皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。
プロレスラー　橋本真也

今年、年頭になんと破壊王本人から編集部に届いた、弩級のインパクトの年賀状。写真は1984年当時のもの、撮影は畑浩和さん（引退）。





見てみぃ!　この顔!　ZERO-ONE旗揚げ戦成功の直後、乗りに乗って大充実中の破壊王のインタビューカット。(No.36)

P82～83写真／松本崇、森モーリー鷹博、菊地茂夫、丸山剛史、山口比佐夫

破壊王表紙列伝

破壊王と歩んだ「紙プロ」。「紙プロ」と歩んだ破壊王、通算9回に渡る、全表紙の軌跡をいまここに完全プレイバック。



03年5月2日に新日本プロレス東京ドーム大会と同日開催となったZERO-ONE後楽園大会への決意表明的表紙。



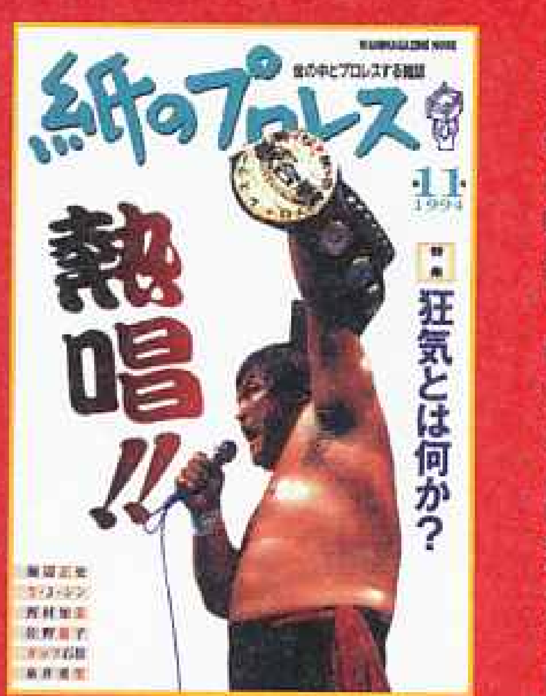
02年8月8日、伝説の大会と化した格闘技イベント「LEGEND」を前にOH砲がはじめて表紙でそろい踏み。



02年7月7日、七夕開催のZERO-ONE両国大会を前にして、破壊王がRADICAL本誌では初めて写真でのソロ表紙。



ZERO-ONE旗上げ戦の大成功を経て、イラストながら、RADICAL本誌での表紙に「ヘーンシン!」と初登場した破壊王。



版形の小さいころの紙プロの表紙も実は一度だけ、飾っていた新日本プロレスのIWGP王者時代の破壊王。



A・猪木の「いつなんどき誰の挑戦でも受ける」ポスター前でファイティングポーズ。橋本真也の破壊王的人生相談「人生ケサ斬りチョップ」より。(No.40)。

02年9月、小笠原師範との対決直前、ZERO-ONE道場にて破壊王フィギュアと一緒にリング上で同ポーズでキメる破壊王。(No.49)。

関係者の度胆を抜いた、破壊王のバットマンコスプレ。某映画監督から借りっぱなしになっていたというバットマンの衣装を事務所内で披露した(No.44)。

いわずと知れたハッスルキングの正装スタイル。純白の衣装にアフロ、仮面ライダーチックなベルト、どれをとっても破壊王的意匠に満ちたコスチュームだ。

橋本真也似のモンゴル遊牧民レスラー、ハシフ・カーン。03年1月5日のZERO-ONE USAで日本初登場。マネージャーのミスター・ヒトを帯同。

橋本真也似の日本出身レスラー、SHOGUN。セコンドは印篭、リング上で大根と人参の居合抜き。03年1月6日のZERO-ONE USAで初登場。

02年、武藤が新日本から離脱した分裂騒動に関し、1年前に新日本から解雇された破壊王の本音トークが爆発。当時、定番だった印篭ポーズを披露。(No.46)

当時、ZERO-ONEで抗争中だった小笠原和彦師範の「火の輪くぐり」特訓に刺激された破壊王は取材中、突然、炎特訓を実施! 燃えよ破壊王! (No.49)

編集者の「失恋したときの気分で」というリクエストに、事務所内のソファでこのポーズを披露した破壊王。意味不明だがとにかく素敵すぎる。(No.36)



イラスト/中川雅博



小川直也のみの表紙と思いきや、実はノゲイラと破壊王の奇跡的な邂逅も小さくハッスルしていた表紙。



04年3月のハッスル2、開催直前。金子ナンペイ氏によるハッスルのポスターがそのまま表紙になって登場。



04年1月4日に開催したハッスル1へ向け、OH砲が登場。同日開催となった「新日本の東京ドームに噛み付く」の意味。



03年7月開催の「OH祭り」を控え、絶好調OH砲の勢いを示す表紙。だが、本番前に破壊王が右ヒザ負傷のアクシデントが。

紙プロ秘蔵写真でつづる「俺とお前と破壊王!」フォトアルバム【タッグ編】



本誌では、破壊王の最後の取材となった、橋本×船木の黄金の同期対談。同期だからこそ語れる新日本プロレス青春時代、驚異の事実が次々と発覚。(No.83)



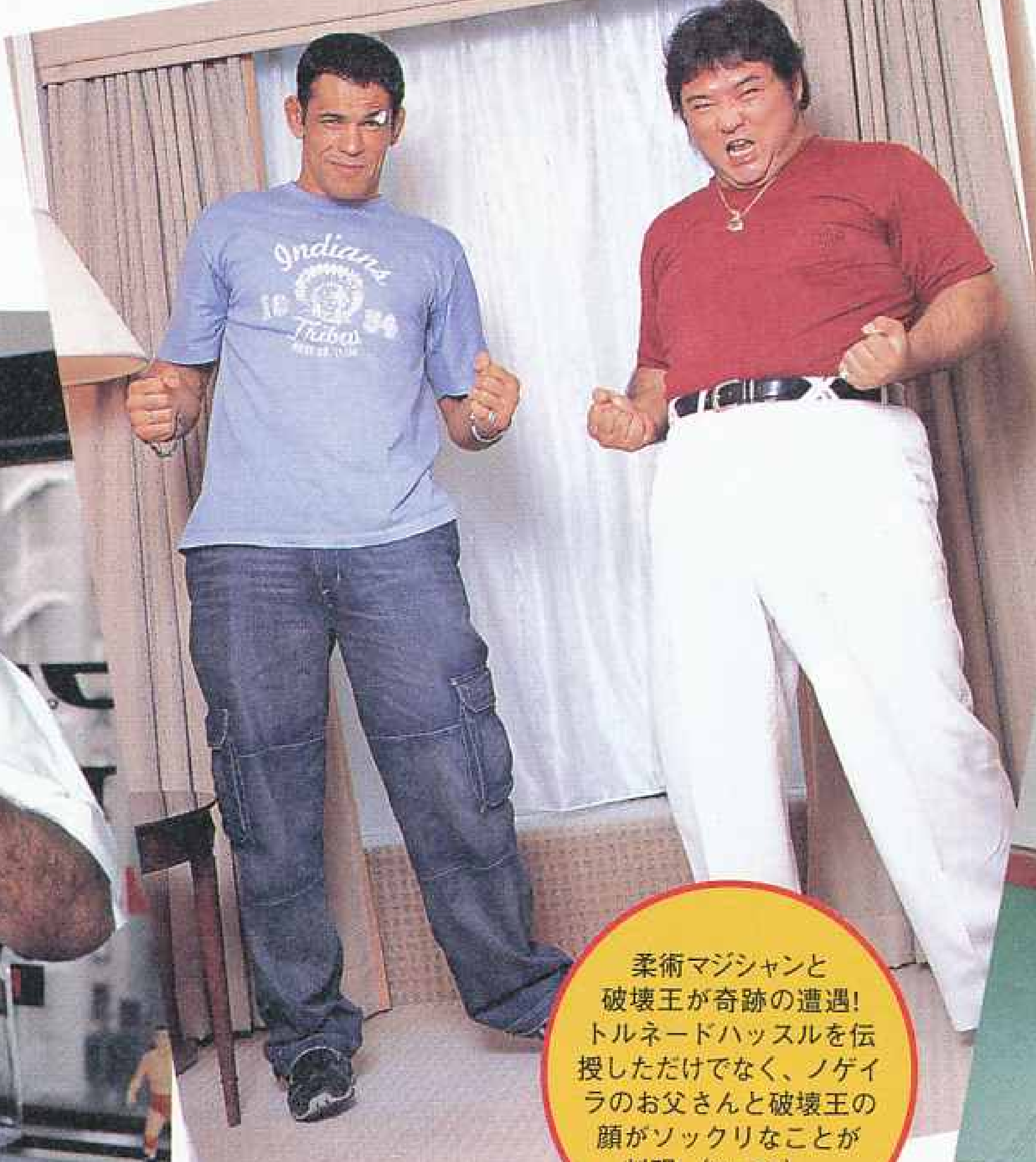
リングスを退団した田村がはじめて公式な舞台に出たのが、01年の「真撃」の記者会見。ここで破壊王との貴重なツーショットが実現していた。(No.43)



当時、新日本プロレスと舌戦の中、天山広吉が「小川と橋本はチキンとポーク」と挑発、実現した奇跡の一枚。数年後、実際にカレーが発売されることに。(No.50)



昭和と平成のトンパチ師弟が15年振りに再会した豪華対談。ドン荒川はお土産に焼酎「破壊王」を持参。常識を超えた2人のトークが展開。(No.42)



柔術マジシャンと破壊王が奇跡の遭遇! トルネードハッスルを伝授しただけでなく、ノゲイラのお父さんと破壊王の顔がソックリなことが判明! (No.76)



小川と破壊王が柔道着で向かい合う貴重なショット。小川とゆかりある柔道道場のこどもたちと合同練習を披露した。



03年1月19日、東京ドーム「W-1」にて、実現した"超変態"ジョー・サンと破壊王との異次元対決。



破壊王、唯一の主演映画である映画『あ! 一軒家プロレス』(配給：ソフト・オン・デマンド)より。(No.80)



03年4月に放送されたドラマ『きみはペット』(TBS系)に登場した破壊王。なぜか小雪の元カレ役として登場。



映画『首領(ドン)への道』の会見にて。破壊王鈴木宗男・元議員の元秘書、ムルアカ氏と遭遇。(No.60)



02年8月22日、ZERO-ONE岐阜大会、試合前に実現した組長と破壊王の相撲対決! 行事はドン荒川!! (No.54)



破壊王とプライベートで交流のあった哀川翔氏の映画『ゼブラーマン』公開を記念したスペシャル対談。この対談がきっかけで、ゼブラーマンがハッスルで誕生。(No.68)



02年6月、ZERO-ONE後楽園大会前、大仁田が入門書を持参し、団体への入門を懇願。破壊王も「冗談でしょ?」と困惑。(No.54)



03年12月、ZERO-ONEの会見に乗り込んだ長州力と破壊王の罵りあい「何がやりたいんだコラー」「何コラ! タココラ!」という「コラコラ問答」。(No.68)



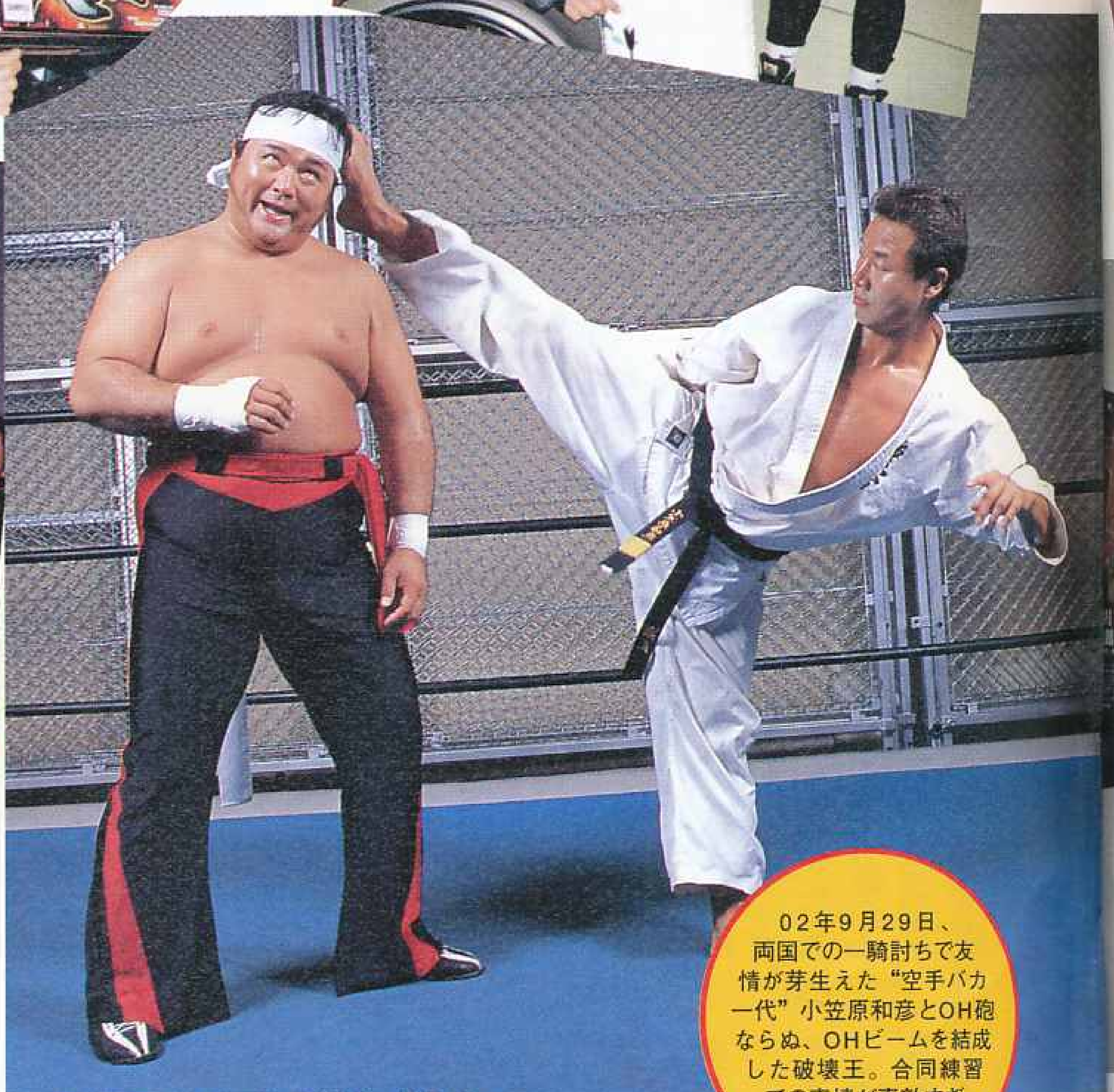
03年12月、熱狂的な橋本ファンとして知られ、プライベートでも交流があったタレントの勝俣州和さんと。パチスロ「破壊王」の発表会見にて。(No.57)



02年8月ZERO-ONE熊本大会に熊本在住の"金狼"上田馬之介が来場、橋本はバックステージまで招き入れて、懐かしそうに話し込んでいた。(No.53)



03年7月7日、新日本プロレス永田裕志の結婚式で団体のワクを超えレスラーが集結！破壊王はもちろん、全員が笑顔だらけの素晴らしい一枚。(No.54)



02年9月29日、両国での一騎討ちで友情が芽生えた"空手バカ一代"小笠原和彦とOH砲ならぬ、OHビームを結成した破壊王。合同練習での表情が素敵すぎる。(No.54)



ページ構成／真下義之　P84～85写真／松本崇、森モーリー鷹博、吉場正和、乾晋也、山口比佐夫、松澤チョロ



さよならハッスルキング！　さよなら破壊王！　そして、さよなら橋本真也！……。来世でも3、2、1、ハッスルハッスル！　トルネードォ～ハッスル！（絶叫）



紙プロに復帰した直後の破壊王と本誌編集長、山口日昇との秘蔵写真。やがて2人はハッスルの道を歩むことに。



元本誌編集者、片山ボンの結婚式に出席してくれた破壊王。最後は列席者とトルネード・ハッスル！(No.80)



同じく津田沼PARCO内の飲食店にて、女性ファンとの記念撮影におさまるサービス満点の破壊王。(No.41)



01年8月5日、千葉の津田沼PARCOの破壊王トークショウで実現したサダハルンバ谷川との組み合わせ。(No.41)

破壊王、『紙プロ』ラストワーク

紙プロHand連載 橋本真也の破壊的人生相談「人生袈裟斬りチョップ」 2005.4.24

『紙プロRADICAL』では38号に初登場、05年5月『紙プロHand』で復活した破壊王人生相談『人生袈裟斬りチョップ』。その人柄と破壊力抜群な言霊で好評を博しましたが、残念ながら最終回を迎えることなく終了してしまいました。そこで、これまで破壊王に寄せられた迷える子羊たちの相談の数々を一気に再録！ 破壊王の『紙プロ』ラストワークを読めーッ!!



Q ここ三年ぐらい性欲がまったく沸かず五年付き合っていた彼女にフラれてしまいました。どうすれば性欲が沸くのでしょうか？ また破壊王には、そんな時期はありませんでしたか？（マサ・28歳・男・デザイナー）

A ッ！（顔をしかめて）28歳で情けない **お前はイマジネーションが足りないんや！** それから、機械に触れすぎなんだろ。インターネットとかやって電磁波を受け過ぎてるんだと思う。人間はもともと動物なんだから、もっと第六感とか本能を働かせないとダメなんや！ だから、必ず休みの時には自然に触れろ！ 樹とか森林から力をもらわないと、人間はロボットじゃないから気を吸い取られてしまうんだよ。そういう人間がいまは多いけどな。**俺たちが若い頃なんて、ホントにギットギトしてたからな（笑）。** もっともっと脂ぎらなきゃダメだよ。28歳とかでスカスカになってどうすんだ。まあ、俺からのアドバイスとしては、自然回帰しなさい！ **男は野獣でなければいけない!!** そういうことだ。

ちなみに、俺は性欲が沸かなかった時期など一度もないぞ！ 皆無や!! いまでも五発はイケるからな!!（キッパリ）。

★

Q 半年前やっと彼女にめぐり逢え、いまも順調に続いています。でもひとつ困ってることがあります。どうやって彼女にSEXしようと誘えばいいのかがわかりません。彼女も僕も自宅なので、自宅以外の場所を利用するしかありません。友達に相談すると「ラブホテルに誘えばいいじゃん」とか簡単に言います。そういうのは直接的すぎて言えません。「飲みに誘って、そのあと行けばいいじゃん」とも言いますが、それは強引すぎて彼女の意志を尊重してないのではと思い嫌です。破壊王の豊富な恋愛経験から僕にアドバイスをお願いします！（達樹・19歳・男・大学生）

A 祭り上げちゃったんだろうな。でも、コイツは〝彼女〟って言ってんだろ!? お前、付き合うって意味をわかってるのか!? 付き合うってことは、心身ともに健康な男女であれば、自然とそうなるのが当然だと思うしな。やりたいんだったら、**ラブホテルとかに行かなくてもいいんだよ。** どこだってやれるんだから。（突然、声を潜めて）でもね、SEXの究極っていうか、**恋愛の究極はキスなんだよ（キッパリ）。** チ●ポは入れれてもキスがうまくできないってヤツが多いからな。だから、SEX云々で悩む前にホントに気持ちを込めたキスをする。そっからだな。**チ●ポを入れるなんてまだ早い！** それに、お前みたいなヤツは入れる前に出てしまうだろ。キスの上達方法か？ まあ、みんな映画のようにいかないからな。お互いの信頼関係があって、「いやいや」と口では言いながら、だんだんと身体の力を抜いていくもんだから。まずは、思い切ってキスをしなきゃダメだな。**お前は虎になれ！** 虎になるんだ!!

★

Q 橋本さん、おいら悩んでいます。杉本彩さんがたまらなく色っぽく、おいらのモノがおさまりません。彩さんがおいらを悩ませ頭から離れないのです。彩さんのことを考えると元気が良すぎて一日に何回もスッキリしなきゃいけません。青春真っ盛りのおいらに一言よろしくお願いします！（29歳・男・フリーター）

A オッ、29歳で、ついにその域に達したか！ まあ、そちらの方向に走り始めたということは、SM願望もあるんだろうな（笑）。俺から言えるのは、まぎれもなくアナタは変態です！ 変態五段……いや、**変態三段を任命します！** でもだいたいな、杉本彩さんとは知り合いだけど、俺だってやってねえのに、お前がやれるわけねえだろ！ 顔とチ●ポ洗って出直してこい!!（急に声を潜めて）でもな、コイツはたぶん杉本さんの新しい映画（『花と蛇2』）を見ちゃったんだろうな。天狗がアソコに鼻入れるヤツ（笑）。杉本さんはプロポーションもいいし、非常にセックスアピールもあるし、29歳でフリーターっていったら、ちょっと不安だけども、まあ、**大いにズリなさい！** 以上!!

★

Q 橋本さん、こんにちは。6年間付き合った彼女がいます。その人と結婚しようと思ってるのですが、長年待たせているので、何か一生の思い出になるようなプロポーズの言葉はないでしょうか？ 過去に「時は来た！」などの名ゼリフを残した橋本さんに頼らせてください!!

A プロポーズの言葉か？……（しばし熟考）「キミの理性を破壊してやる！」っていうのはどや!? それか、**「アナタを破壊したいぐらい愛してる!!」**。これで決まりや!!

★

Q 朝、昼、夜と稽古をしていますが、プロレス的な首のトレーニングが空手にはありません。何をやったらよろしいでしょうか？（小笠原和彦・

45歳・男・空手家）

A なんだか、聞いたことある名前やな？（笑）。朝、昼、夜はやりすぎです。火の輪くぐりもいいけどな、首を鍛えたいんだったら、**ひたすらラリアットを受けることや。**それか、俺の袈裟斬りを首の根元にガンガン受ければ、自然と首は固くなるでしょう。それが無理だったら●●●でもすることやな（笑）。押忍!!

★

Q 破壊王は他人に凄く慕われていますが、どうしたら破壊王のように人徳のある人間になれますか？ 心掛けていることを教えてください。（泰二・29歳・男・会社員）

A まずは、**自分に正直になることや。**自分のことをちゃんと説明できるようになることが先決だ。他人を思いやることができなければ人から慕われるっていうのは無理な話だからな。自分がどんな人物かわからなくて、伝えられない人は、最終的には信用してもらえないんや。俺は、こうだ、こういう人間だってことを、ちゃんと伝えられると他人も安心するんだよ。……というわけで、人から慕われる前に、**まずは自分のことをもっと知れ！ そして裸になれ！**っていうことや。

★

Q 同じ職場で1つ下の女性がいるのですが、なかなか告白できません。同じ職場なので、フラれたらどうしようと思って、なかなか決断できません。こんな私はどうすればいいですか？ 恋愛経験豊富な破壊王、よろしくお願いします！ ちなみに中二のときから大ファンです（義広・26歳・男・販売）

A お前がいいと思ってるということは、他人もいいと思ってる可能性もあるぞ。ねずみ算じゃないけど、お前が好意を抱いていたら、その後ろには何百人もいるかもしれないからな（笑）。だからな、いまので悶々としてるだけだったら、他のヤツに取られちまうぞ！ 取られるのが嫌だったら頑張れ!! 取られてから泣いても始まらないからな。**とにかく、やっちまえ！** 以上!!

★

Q 私の彼は浮気性で、私に隠れて女の子と遊びに行ってるみたいなんです。携帯でも、しょっちゅう誰かと楽しそうに話をしてて、相手は友達と言うけど「ホントに!?」と考えちゃってツライです。私は彼氏が女の子と遊びに行く時点で浮気心があると思うんだけど、破壊王は浮気されたことはありますか？ また男性が浮気をやめてくれるようにするにはどうすればいいですか？（優奈・21歳・女・大学生）

A エッ、**ゆうなって、天龍さんの娘じゃねえだろうな（笑）。**あ、違うのか!? まあでも、この男は間違いなく浮気してると思うよ。やめてもらいたかったら、脅すしかないだろうな。「私もするぞ！」って（笑）。ただ、そう言ってやめる人も中にはいるかもしれないけど、やめねえだろうな。まあ、この子もまだ若いんだから、俺からのアドバイスは、**「もっと旅をしなさい！」**ってことだな。もし、彼との仲が運命的だと思うんであれば、大事にすればいいし、それが嫌だと思ったら旅に出るしかないな。あと、なんだ。浮気されたことはあるかって？ そんなな、男がされたら、それでおしまいだよ。ジ・エンドや！

★

Q 人の評価が私の評価じゃない、言いたいヤツには言わせておけばいいと割り切ってきたつもりですが、あまりに周りの裏表ある態度と繰り返される悪口にいい加減嫌気がさすと同時に、自分の価値を見失ってしまいそうです。



破壊王の『紙プロ』ラストワークとなった、この人生相談を収録したのは4月24日。六本木の麻布警察署前で待ち合わせをし、破壊王運転のベンツに初めて乗せてもらい、六本木ヒルズ内の喫茶店へ移動し取材を行った。それまで何度か破壊王の人生相談を収録しているが、この日は正直ノリはイマイチ。リハビリ中というのも当然あっただろうが、何か破壊王らしくなかった気がする。まあ、いまとなっては、それも含めてボクの大事な大事な思い出です。（担当・チョロ）

自分らしくいるってなんなのでしょうか？ 最近、自分という人間が蝕まれている気がするんです。振り回されたくないのに。（美穂・女・秘密）

A **人は弱い生き物ですから。**誰だって悪い噂を立てられたら嫌だし、不安になるもんだよ。逆に、いい噂を聞いたら有頂天になるしな。そういう時にこそ、応援してくれる人間を大切にすることを忘れないことだな。結局、自分は自分でしかいられないから、他人にばっかり合わせてたら自分を見失てしまうぞ。人を騙したりするのは良くないけど、いまのままでいいと思えば道は開けてくると思うよ。自分が正しいと思ってるし。いままで、都合のいいことを言ってたヤツなんてどうでもいいから、自分のことを応援してくれてる人を大事にすることだな。俺も嫌な噂話を立てられることも多いし、言われたくないようなこともいっぱい耳に入ってくるけど、でも**テメエが正しいと思ってるから、どうってことねえよ**って思うようにしてるよ。まあ、**あまり深く考えないで気楽に生きるっていうのも大事なこと**だと思う。自分が正しいと思うんだったら、迷わず行けよ行けばわかるさ！ **おてんとさまは必ず見てますから。押忍!!**

★

Q 一年半付き合っている彼女がいるのですが、最近彼女の浮気が発覚し修羅場です。女の子の決めゼリフ「死んでやる！」が炸裂して、いまはなんとかつなぎ止めていますが、実際予断を許さない状況です。原因はボクの甲斐性のなさなんですが、昔からフーテンに憧れているボクと、島耕作がタイプの彼女。まったく価値観が合わないボクらは別れた方がいいんでしょうか？（トラ・男・31歳）

A ほんっと「死んでやる！」って言う女ってよくいるんだよな（苦笑）。ハッキリ言って、その女と別れられないって言うんだったら、お前は一生地獄だよ。好きなことはわかるけど、勇気を持て！ いい女はまだだいるんだから。多分、この男は女の前で全部さらけ出してきて、それを受け入れてくれる彼女が心地良かったんだろうな。でもな、また次の彼女ができれば同じことができるんだから。とにかく、お前に言えるのは……そんな**浮気しちまうような女は捨てちまえ！** 以上!!

★

Q 最近ドンドンお腹が出てきて、履けないズボンが増えてきました。破壊王のような逆三角形の肉体を維持できるんでしょうか？（ブッチャマン・男・会社員・34歳）

A コイツ、俺のことバカにしてんだろ!? でも、そうだな。体型を維持したいんだったら通販で売ってるトレーニンググッズとかダイエットグッズを買えばいいんじゃないか？（笑）。まあ、買ったところでやるかやらないかはアナタ次第だけどな。それが一番安上がりだし。関係ないけど、**俺も通販で、よく買い物してるんだよ。**包丁セットも買ったし、スライサーも買ったし、高枝切りバサミも買ったし、まあ他にも、たくさん利用してるよ。宣伝がうまいからすぐ騙されて、たいして使いもしねえのに、すぐ買っちゃうんだよ（笑）。よく通販の番組で、お客さんの「エ～～ッ!?」って声が入ってるけど、あれなんかドリフと一緒だろ（笑）。**俺なんか、ドリフ好きだから、なんか見ちゃう**んだよな。ちょっと、脱線しちゃったけど、でもな、この人が言ってんのは、やることがわかっててやらない人が言うこと。相談するより前に身体を動かせ！……オイ、**チ●ポ動かしても意味ねえからな！** 以上!!

性欲が湧かないだと？ 俺はそんなこと一度もないぞ！ 皆無や!!

トーッ!!」

『紙プロ』82号で、ZERO-ONEの素晴らしさを語った“ゼロ中”な女性マスコミ3人。そのわずか7ヶ月後に、まさか破壊王の追悼原稿を書くことになるとは誰も想像すらしていなかったし、出来れば書きたくもなかった。3人が知る、破壊王・橋本真也というひとりの男、ひとりのプロレスラーの姿がここにある。



岐阜のホテルで、この原稿を書いている。プロ野球取材で出張した場所が偶然、この地だった。仕事の合間を縫い、橋本さんが会見を開いたことがある金華山に登った。急坂を踏みしめていくにつれて、01〜04年にZERO-ONEを担当した当時の事が思い出されるかと思ったが、息が上がってしまい、頂上にたどり着くだけで精いっぱいだった。汗だくで岐阜城を再現した天守閣に上ると、岐阜の街が一望できる。雑音が聞こえてこない場所で、悼むことだけに集中したかった。

橋本さん。

帰り道の下り坂で、「山火事注意」を促す看板を見つけた。「金華山 火の用心で（禁火山）」。岐阜の人はダジャレ好きなのですか。（ ）は必要なのですか。ハッスルでは「泣き虫？ 茶碗蒸し」、マット・ガファリと対戦を控えた時は「またコンタクトレンズが目に刺さったらバファリン飲んどけ」と言い放っていたことを思い出した。

ZERO-ONEには夢が詰まっていた。新日本の衛星団体として旗揚げした01年春のスタート2戦で小川直也vs三沢光晴の初遭遇を実現させたが、母体と決別した後に選手の引き抜きに遭って苦境に陥ると、橋本さんは中村渉外部長（当時）と共に米国へ渡り、独自のルートを切り拓いた。それが〝ガイジン天国〟と呼ばれた最盛期につながっていく。いい話だ。

しかし、この頃は既に練習嫌いが顕著になっており、渡米中は某団体のリングで練習すると称し、結局「でんぐり返し1回」しかしていなかったという目撃談もある。伝説の興業「ZERO-ONE☆USA」ではハシフ・カーン、SHOGUNとして登場したが、大会1週間前に「おれ、本当にやっていいのかなあ」とハタと気づいてしまったという。





気づくなら、まず企画段階だろう。

宮城県の石巻大会に向かった折には、報道陣数人と仙台市と石巻市を結ぶ仙石線に乗り合わせた。小1時間の道程、空いた席に座るよう、報道陣から勧められると「おれはいいんや。プロレスラーが座ったらカッコ悪い」。立ったまま、じっと電車内の広告を見つめていた。いい話だ。

しかし。石巻駅に到着すると「みんな、行くぞ！」と号令をかけ、仮面ライダーの生みの親・石ノ森章太郎の作品を集めた「石ノ森萬画館」へタクシーを乗りつけた。電車内で見つめていたのは、この萬画館の広告だった。展示品を嬉しそうに見て回り、仮面ライダー仕様のバイクの前で立ち止まった。正面のビジョンと前方からの送風で疑似走行を体験できるアトラクション。巨大な体でバイクにまたがり、そよそよと前髪をなびかせる。大会開始時刻が迫っているのに。その後も、売店で子供たちへのお土産を購入していた。

破壊王伝説は尽きないが、冠婚葬祭の儀礼は欠かさない真面目な一面もあった。またも試合時間が迫る中、知り合いの結婚式に試合用のコスチュームにガウンを着たまま駆けつけ「オス」と出席したことがある。大谷晋二郎の母・恵子さんが亡くなった時は、右足骨折をおして松葉杖で山口県まで弔問に訪れた。思うように歩けない自分の体に半ギレになりながらも、きちんと並んで会葬していた。

私の姉が亡くなった際は、秋田県の小さな町まで花と弔電を送ってくれた。身を切り裂かれる思いに暮れる中、その弔電が漆塗りの最高級品であることに気づき、わが両親は恐縮していた。橋本さんはビックリするほどいい加減な一方で、他人への心遣いに溢れていた。しかし、自分の人生となるとイバラの道へ自ら突き進んでいく危うさがあった。

昨秋のZERO-ONE崩壊危機。その頃、1時間ほどじっくり話をしたことがある。私は新宿の街に立ったまま、携帯電話で約1時間。公私にわたる悩みから選手、社長としての業務に支障をきたしていたが、誰の忠告も受け入れなくなっていた。話していくうちに、もう仲間のもとに戻ってくることはないと知った。思わず言った。

「みんな〝漢（おとこ）・橋本真也〟の事が大好きなんです。これからどういう状況になっても〝漢・橋本真也〟でいて下さい」。

「ありがとう。分かったよ」。

数日後に、弁護士同席の解散会見が開かれた。その翌日から携帯電話に掛けても呼び出し音が鳴るだけで、本人と直（じか）に話はできなくなった。野球担当への異動の知らせは、年末に留守番電話に吹き込んだ。コールバックは永遠に、なかった。

岐阜城から坂を下っていく途中に、閻魔様をまつった御堂があった。拝んでみた。橋本さんが三途の川を渡った後に、「コラーッ」と試合を挑む可能性がありそうだから、閻魔様によろしく言っておきたかった。お賽銭と引き換えにお守りが置いてある。手に取って見ると「必勝祈願」と書いてあった。

破壊王と同じ空気を吸っていた時は、面白いことが向こうからやってきた。これからもきっと、そうだ。橋本さんを思う時、そこに橋本さんはいる。



スポニチ・元プロレス&格闘技担当

丸井乙生

プロ野球のヤクルト担当になって7カ月。グラウンドに破壊王級のキャラクターはいないと知る。ガッカリ。6月6日に32歳の誕生日迎える。独りで生きていく人生について想像。やや開き直る。7月初旬に台湾へ2泊3日の一人旅。マッサージに毎日通う。幸せ。やや健康になる。8月には「ねぶた祭り」のため青森へ帰省予定。破壊王がかつて「ねぶた祭り」と「火祭り」を連動する企画を考えていたことを思い出し、ボンヤリ中。

写真は2004年6月8日ZERO-ONE茂原大会で、モンスター軍とハッスル軍の構成について講義を行う橋本真也。黒板の文字がいちいち笑えるのがポイント。

「橋本さん、アリガト

ZERO-ONEウォッチャー・女性マスコミ3人による
本当は書きたくなかった橋本真也追悼原稿



『紙のプロレス』ZERO-ONE担当

ささきぃ

『紙プロ』電気部キャプテン兼なでしこ（自称）。破壊王ロスに呆然となりつつも「日高郁人＆藤田ミノルvs中嶋くん＆GEN-TARO」のカードを聞いてガッツポーズを決める。でも出張に行けず愕然。まだまだプロレス面白いです。昨年夏、イメチェンを思い立って髪をオレンジに。1年たった今になって「あれはヤバかった」と一様に言われ、ショックを受けている29歳。その時言ってくれよ！　30代まで残り数日。いまはおとなしい髪型です。

写真は2003年1月30日、ZERO-ONE徳山大会の試合前に行われた『就活革命』トークショー時のもの。就職活動に意気込む学生たちに混じって、なぜかカツを入れられたささきぃ。山口日昇は2階席で笑っていたという。

2001年のZERO-ONE旗揚げ戦を見に行って、私は本格的にプロレスファンになった。都内の興行に全部通って、大阪まで「真撃」を見に行って、火祭り開催に夢を見て、出場キャンセルに泣いた。Zeep2連戦で、帰ろうとする橋本さんを追いかけて握手してもらったこともある。1年たって、私は記者の端くれになって、仕事として橋本真也を追いかけられるようになった。旗揚げ戦のころ読んでいた『紙プロ』で、まさか自分が追悼原稿を書く立場になるとは、本当に思っていなかった。

ほかのお二人と違って、私は橋本さんにインタビューをしたこともなければ、直接会話をしたことがほとんどない。自分の力不足だからだが、何より橋本さんには、こちらの足りない点も未熟さもすべて見抜かれてしまいそうな気がして、話すのは少し怖かった。橋本さんはただ観ているだけでも本当に面白くて、満足していた。その言動を追いかけて、面白かったことを会社に帰って話し、原稿にしていくことで、私はたくさんのことを橋本さんから学んだ。

破壊王イズムというものを一言で説明するのは難しいけれど、私が学んだ破壊王イズムのひとつは「己の志を崩さずに、いかに大勢の人の思いをすくい上げ、面白いことをするか」ということだった。橋本真也のブチあげた言葉たちは、いつでも「プロレスラー」という存在に私たちが望む勢いがあった。札幌大会の意気込みを聞けば「オセロみたいに、日本をはじっこからひっくり返していく」と答えてくれた。岐阜大会の意気込みを聞けば「織田信長のように、岐阜（尾張）から天下を取る」と宣言してくれた。

日本対アメリカという図式について聞けば「これまでは、日本といえばトヨタ、ホンダ、スズキ。今後はトヨタ、ゼロワンにする」とブチあげてくれた。載せられないこともたくさんあったが、つねに高い志を持ち、高いアンテナを持ち、どんな状況でも「面白いこと」を考える。橋本真也の言葉は、プロレス内で収まるようなものじゃなく、世界規模でスケールが大きかった。いつも、その言葉を聞きに行くのが楽しみだった。

地方大会の試合前に行われたトークショーで、胸に水平チョップを見舞っていただいたことがある。気合い入れを希望する学生にまじって、なぜかオッキーに指名されたのだ。チョップは本気で痛くて、私は勢いで吹っ飛んだ。「勘弁してくださいよ！」と言いながら、本当はちょっと嬉しかった。

橋本さんが三冠王者となった2003年の2月23日、全日本武道館大会で、毒霧をあびた橋本さんに「ティッシュ持ってないか」と言われたことがある。「持ってません」とバツ悪く答えた私を「女は、ティッシュ持ってないとダメだ」と橋本さんが軽く怒った。ティッシュを持っていないことを怒られたのは小学生以来だった。いいじゃん、持ってなくたって、とふてくされつつも、大好きな橋本さんにそう言われてちょっと、しょんぼりした私は、あの日からずっと自分のカバンにポケットティッシュを入れている。

橋本さんは、どこからか回ってきたティッシュで毒霧と鼻血を吹いて、カメラに向かって馬場さんのモノマネで「アポゥ」を披露した。不意のことに吹き出した私は、うっかり鼻水まで吹きそうになって、ティッシュの重要性を再確認した。橋本さんは、集まったカメラ全台に対し、いちいち「アポゥ」「アポゥ」を繰り返し、最後に「馬場さん、ありがとうございます」と一礼した。

橋本さんは、いつも私に、プロレスの面白さ、奥深さ、プロレスラーの強さ、そして明るさという人間の魅力は本当に人の心を和ませ、やわらかくしてくれるのだということを教えてくれた。人の可能性を信じ、正面からぶつかるということの大切さを教えてくれた。だけど、人が死ぬということは、こんなにも悲しいことだということは、教えて欲しくなかった。訃報を聞いて、会見の記事を書き終わった12日の深夜、会社で「爆勝宣言」を聞きながら私はぼろぼろ泣いた。

いつか胸を張ってインタビューしにいける記者になりたいと思っていた。吉田豪さんでもなく、チョロさんでもなく、私だから書ける記事を書きたいと思っていた。それまで待っていて欲しかったのに、橋本さんはいなくなってしまった。私の知っている限りの橋本さんを真っ正面から書いたはじめての記事が、この文章になってしまった。



旗揚げ戦のインパクト、「クソデブ」「潰し合い」「根絶やし」という言葉たちの破壊力。プロレスラーに求める強さ、怖さ。橋本真也、そしてZERO-ONEを好きになって追いかけて観てきたもの。それら全部が、私が橋本さんから勝手に学んだプロレスの基準だ。面白く、強く、本人なりにかっこよく。そして自分の生まれた国を愛せ。己に誇りを持て。時には調子に乗れ。人を笑わせるチャンスを逃すな。橋本さんのことを思うと、いまはその不在が悲しくて涙が止まらない。だけど、どれだけ泣いても、私は何度も橋本さんのことを思い返す。その不在に泣いて、それでもそのいちいち面白かった言動に笑って、泣いたり笑ったりしながら、橋本さんを思い返している。





橋本さんへ。橋本さんが亡くなってからもう何日も経つというのに、相変わらず私はぼーっとしています。そりゃそうです、183センチ135キロの穴がぽっかりと空いてしまったんだもの、そう簡単なことでは埋まりそうにありません。未だに橋本さんの豪快すぎるエピソードの数々を思い出しながら、大笑いしたりしんみりしたりする毎日です。

はじめてお目にかかったのは1996年、まだサムライが正式開局すらしていない頃でしたね。東京ドームの脇にあった仮設スタジオに、サムライニュースの記念すべき初ゲストとして来て下さったのが橋本真也選手でした。生放送が終了したとたんに「もう終わった？じゃあう○こ」などと小学生みたいなことを言ったと思ったら片手で私のことを持ち上げて、まるで皿回しみたいにくるくる廻して下さったこと、覚えてらっしゃいますか？　スタジオの天井に頭がぶつかりそうで結構怖かったです。

橋本選手はでっかくて豪快で、プロレス処女だった私にとって最もわかりやすいプロレスラーでした。誰もが絶対手拍子をしながら「はーしーもとっ！」と叫んでしまうあのテーマ曲、問答無用の必殺技の垂直落下式DDT。

でもイベントやインタビューで親しくさせて頂くようになると、無邪気で天真爛漫でコドモっぽくて喜怒哀楽が激しい、素顔の破壊王がちょこっとずつ見えてきました。私が知っている破壊王は決して豪快なだけのプロレスラーじゃなくて、繊細で傷つきやすい寂しがり屋さん。

ずいぶん良くして頂きました。地方でイベントなんかあると必ずその後はご飯を食べに連れていって下さって、美味しいモノを何度もご馳走様でした。私の知る限り破壊王は大食らいでも大酒飲みでもなく、パスタにサラダなんか可愛らしく召し上がったりしてました。私がびっくりしてるのに気づいたらしく、恥ずかしそうに「何だ、俺がパスタ食っちゃ悪いか」とかおっしゃってましたけど。

そうそう大阪でトークショーがあった時には空き時間に「ミタちゃんはもっとセクシーな格好をした方がええんや」と、すげえ露出の激しいキャミソールを買って頂いたこともありました。とても恥ずかしくて着られなかったんだけど。着れば良かったなあ。橋本さんの前で。

橋本さんの歌うジュリーは絶品でした。ほら、福岡で1回だけカラオケご一緒しましたよね。沢田研二が好きで、門田泰明の黒豹シリーズの黒木豹介が好きだって話してた。ハードボイルドなオトコが好きだって。

強くて厳しい破壊王も大好きだったし、ハシフカーンや下ネタ満載の破壊王も大好きでした。ハシフカーンの時にリング上でくどくどとインタビューしていたら段々辛くなってしまったらしく小声で「まだやるのか？」と言われたのが可笑しかったなあ。ハシフとして「アサショウリュー、チンギスハーン」とかとんちんかんなことばかりバックステージで喋ってるのにその隣でマネージャーのヒトさんが感慨深く「いいねえ、こういう橋本みたいな華のあるレスラーはそういないよ」としみじみおっしゃってたのも楽しかった。

こんなにリング上で喜怒哀楽をむき出しにしてしまうレスラーもそういなかったと思うし、だからこそこんなにも私は感情移入してしまったんです。小川選手との引退をかけた試合で涙目になって天井を見つめていた破壊王、ZERO-ONEで小笠原先生と闘った後、向かい合って正座して涙ながらに礼した破壊王。

こんな時に1人でいってしまうなんて本当にひどいですよ破壊王。みんな約束していたのに。小川選手とだって元気になったらまた闘わなくちゃって言ってたのに。三銃士トークショーだって続きがあったはずだし三銃士興行だって実現させなきゃいけなかったのに。待ってたのに。

今回追悼番組で元気だった頃の橋本さんの試合を見たら、あまりに強くてカッコ良くて感動しました。最後にお会いした去年の8月、「橋本さんの垂直落下式DDTをまた見たいですよ」と言ったら、「肩壊してから全然やってないもんなあ。また元気になったらやってあげる」と約束したのに。結局見られなかった、垂直落下式のDDT。

今でも私は垂直落下式DDTが史上最強の技だと信じているし、「爆勝宣言」が史上最強のプロレステーマ曲だと思っています。これからも自分にカツを入れなきゃいけない時には必ず「爆勝宣言」をココロに鳴らします。私はリングには上がれないけどこれからもプロレスで頑張ります。逃げないで頑張ります。

橋本真也、というレスラーを知り、一緒に喜んだり悲しんだり怒ったり楽しんだり出来たことを心から幸せに思い、そしてそれがこんな形でふいに途切れてしまったことを心から悔しく思います。

橋本さん。本当に大好きでした。今でも大好きです。それが本当に悔しくて悲しい。これは手紙が得意だと威張ってた橋本さんへの、私からの最初で最後のラヴ・レターです。



『サムライ』ニュースキャスター

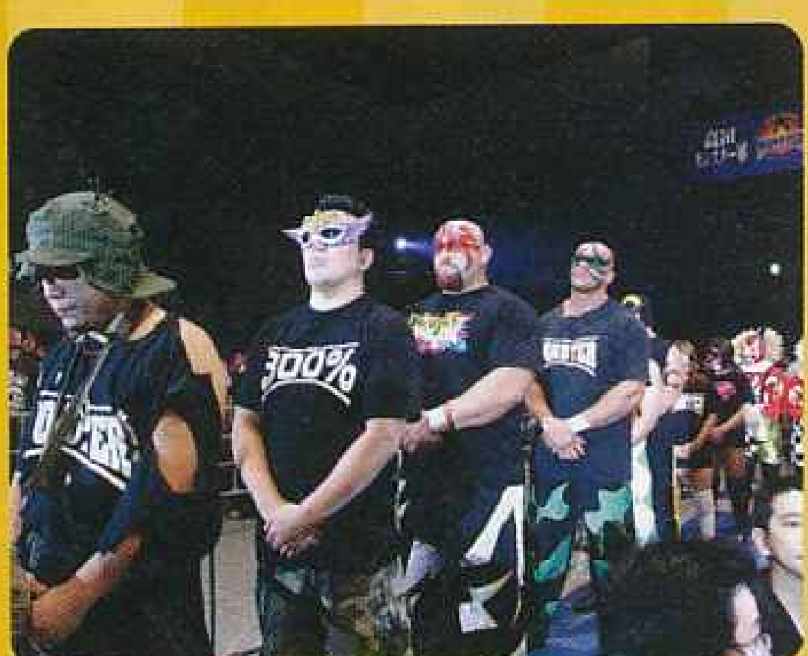
三田佐代子

プロレスとガンダムに麻雀が加わってますますオトコ道まい進中。さすがにこのままじゃマズいのでは？　と思いバレエを習ったり着物を愛でたりするものの時すでに遅い感あり。プロレスキャスター生活9年目、破壊王が自分とたった4歳しか違わなかったことに改めて驚愕。今の自分の年齢の時にはもうZERO-ONEを旗揚げしていたことに気づき、じっと我が手のひらを見つめています。

左上の写真は2003年8月20日に開催された三銃士トークショーでの一枚。翌年2004年5月のトークショーでも、三田さんが司会を務めている。破壊王だけLOVEポーズの指がキツネに。撮影ではひとりお地蔵さんにしたり、ピースサインをしたりしていた。上は2004年2月、サムライのゲストに訪れての1枚。



天まで届け トルネードハッスル









生みの親“ハッスル・キング”橋本真也さん亡きあと

それでもハッスルは続く



7・13 ハッスル10（博多）、7・15 ハッスル11（大阪）渾身レポート

ハッスル・キング、橋本真也さんがあまりに突然に、この世から旅立ってしまった。
それはハッスルの博多～大阪ツアーがスタートする、わずか2日前、7月11日の出来事だった。
業界全体を沈痛な空気が覆いつくし、
レスラーや関係者、多くのファンたちに巨大な動揺が走る中、
“ファイティング・オペラ”ハッスルは、
橋本さんへの思いを抱いた観客たちに何を見せ、何を提示したのか？
その場所で起こった2日間の出来事を誌上レポートする。

構成／真下義之　写真／平工幸雄　designed by bun-chan (Two Three)





われたのが可笑し

今回追悼番組で元気だった頃の橋本

のラヴ・レターです。

7·13
ハッスル10
福岡国際センター



「私がハッスルGMの笹原ですたい！」と祇園山笠のふんどし姿で登場した笹原GM。

「ハッスルらしさ」をつらぬいたメインイベント

一億モンスタードルが博多の空の下に舞う

橋本真也さんの訃報、という強烈なショックをひきずりながら、ふと「ハッスルはどうするんだろう？」と心配した人は少なくないだろう。主要人物である橋本真也の死という現実。2日後に博多、4日後には大阪大会を控えた切迫した状況。これまでハッスルは、総合格闘技の〝圧倒的なリアリティ〟が蔓延する状況に対し〝圧倒的なファンタジー〟を掲げてきた。プロレス業界を巧みに批評しつつ、バカバカしさを求道する新プロレスとしての〝ファイティング・オペラ〟。だが、リング上の登場人物の死、という極限状況を迎えても、その姿勢は有効なのか？　そしてそのとき、観客は〝それ〟を受け入れるのか？

7月13日のハッスル10（福岡国際センター）の会場前には、橋本さんの献花台が設置され、花束を持ったファンが続々かけつける。そんな追悼ムード一色の空気を察知しつつも、ハッスルは通常通りに進行した。なんとオープニングのスキットでは、「僕は死にましぇ〜ん」と髙田総統が絶叫。言うまでもなく、博多出身の俳優、武田鉄矢のモノマネだ。正直、かなりきわどいし、不謹慎ととられても仕方ない。実際ひいていた観客もいただろう。中2日間というタイムラグを考えれば、この部分はカットすることも可能だったハズ。だが、あえて流したことで〝いつも通りやる〟というハッスルの強い覚悟を感じたからこそ、これ以降、観客も安心して笑えたのではないか。休憩前には「橋



これが髙田総統が準備した、「髙田モンスタードル」だ！　総額一億ドルがリング上にばらまかれた。

本真也さん追悼セレモニー」が行われ（髙田総統とインリン様を除いた）ハッスル軍とモンスター軍の全選手がリングに集い、黙祷を捧げる。小川は哀悼のあいさつのあと「ハッスルなりのやりかた」で橋本さんを送りだすことを宣言。ややトゥーマッチな動きのトルネードハッスルをセレモニーの締めに選び、橋本さん自身の言葉「恥ずかしがらずにやれよ！」を引用したことで、見事に観客を先導してみせた。

この後も、コントローラーで動くシルバ28号、インリン様のM字ビターンなど、いい意味で破廉恥なハッスルの風景が続出。そして迎えたメイン、小川の相手はかつて橋本の付き人もつとめた安田忠夫。団体が倒産し、億単位の負債を抱えた橋本さんのことを思えば、「賞金一億マッチ」というテーマも微妙だが、「誰も一億〃円〃とは言ってない」という髙田総統のマイク、大量の髙田モンスター札（ドル）が舞い散る光景、そして「俺の保証人になってくれ」（安田）というお約束なオチを含め、観客は最後までブレずに押しまくるハッスルの世界感を堪能した。髙田総統劇場後に小川がマイクを握る。観客はもう一度、感傷的な気持ちになることを覚悟したが小川が呼びよせたのは、異様なスピードで腰を振りまくり「フォーッ！」と奇声をあげる〃ハードゲイ〃ことレイザーラモンHG。大爆笑に包まれる館内。思わず笑顔がこぼれる小川。ハッスルは最後までハッスル内ハッピーエンドを選択し、観客の支持を勝ち取った。

最後の最後に、もう一度、マイクを持った小川はこう切り出した「天国にいる橋本真也、お前もハッスルするぞ！」再度、爆発する館内。橋本さんの死は、小川直也をOH砲から精神的な意味でもひとり立ちさせ、キャプテンを変革させつつあるのかもしれない。


大阪での田中将斗へのHHH王座挑戦権をかけた、ハードコア戦では黒田から、人狼が逆転勝利。



冒頭のスキットで「僕は死にましぇ〜ん」と絶叫、観客を驚かせた髙田総統。（この映像は橋本さん死去の前に収録されたもの）


インリン様の官能のM字ビターンが炸裂し、博多地方の洗脳に成功。会場全体が熱いタメ息につつまれた。



会場前に故、橋本真也さんを偲ぶ献花台のテントが設置。ファンや関係者がつぎつぎに献花。（上）ZERO-1-MAXの中村代表も「目が合っちゃった」と献花台へ。約3分、微動だにせず、橋本さんに祈りを捧げた。（下）橋本さんが着用したハッスル・キングの衣装も一緒に展示され、ファンの視線を集めた。



坂田との抗争が勃発した笹原GMは、居酒屋にてモンスター軍を解雇されたM・コールマンと意気投合。


控え室で、ノン気にインリン様のDVDに夢中の石狩太一は川田の逆リンに触れ、テレビに激突。


大谷をつけねらう島田二等兵が準備した最終兵器「シルバ28号」。だがコントローラーを奪われ自滅。

新キャラ名鑑

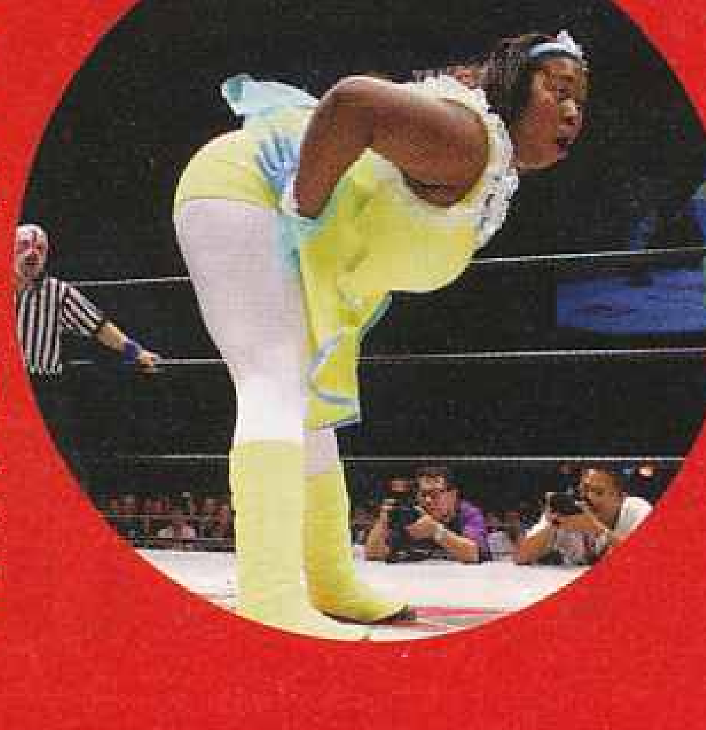
明太子（ミン・タイ・スー）

ハッスル恒例、地方大会のご当地モンスターとして登場した〃激辛カンフージェネレーション〃ミン・タイ・スー。右手から本物の明太子が噴き出し、ハッスル仮面の顔に押し付ける明太子クローで圧倒するも、イエローがそのまま食べちゃう機転をきかせて逆転負け。



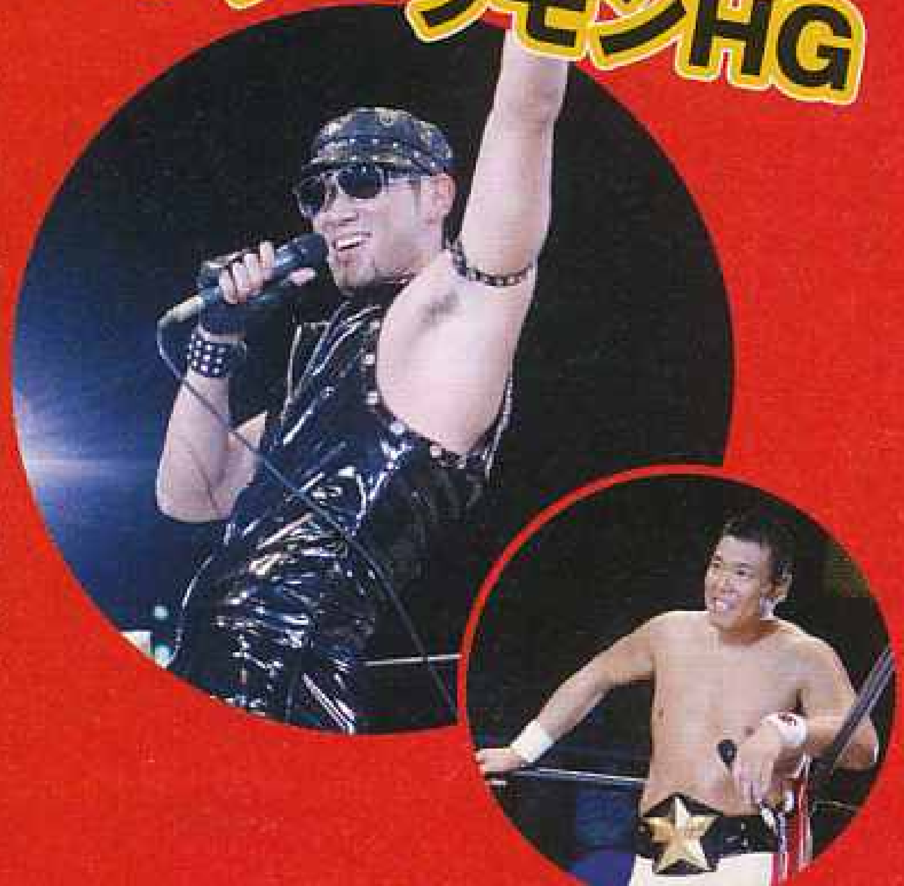
マーガレット

以前より、Ericaが投入を予告していた、「Erica美女軍団」の一員としてついに登場。巨体に似合わない乙女らしさと、ヒップドロップやディープキスなど凶悪な武器の数々を兼ね備えた最狂の刺客。うかつに「ワキ毛」のことに触れるとその怒りが沸点に。



レイザーラモンHG

「日本で最も腰を振る男」としてハッスル軍に参入した〃ハードゲイ〃レイザーラモンHG。一回のハッスルで10回以上腰を小刻みに前後させる新しいハッスルポーズを披露。最後に「フォーッ！」と腰を前に突き出す「激しいハッスルポーズ普及委員会」の会長に襲名した。



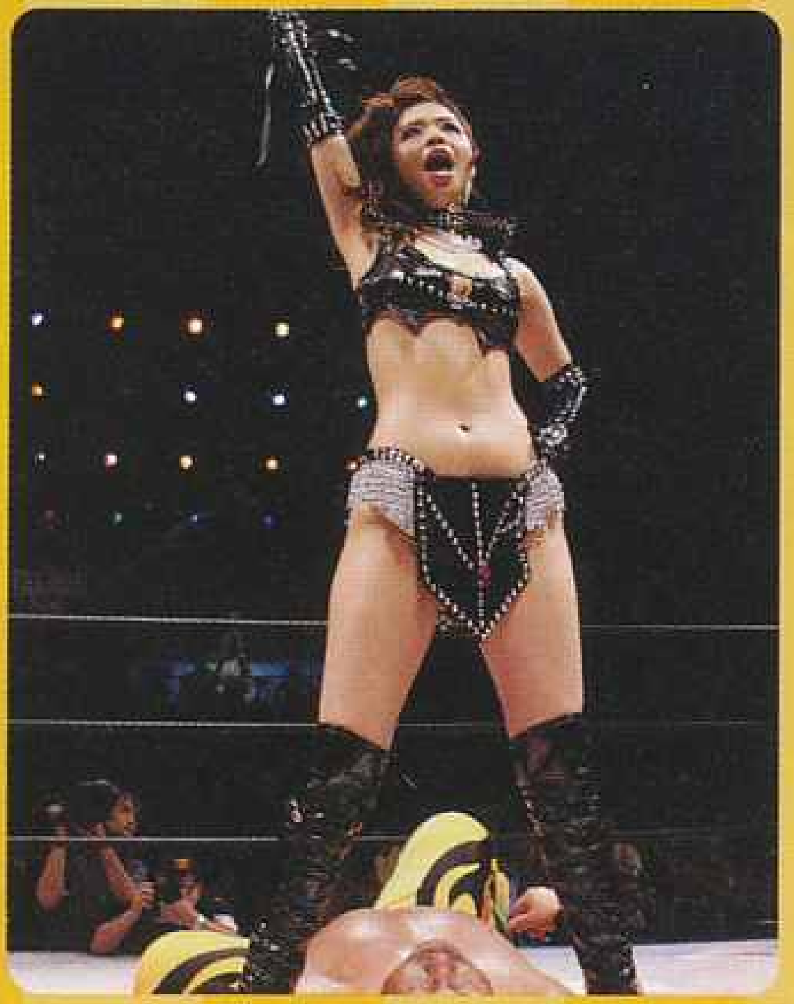


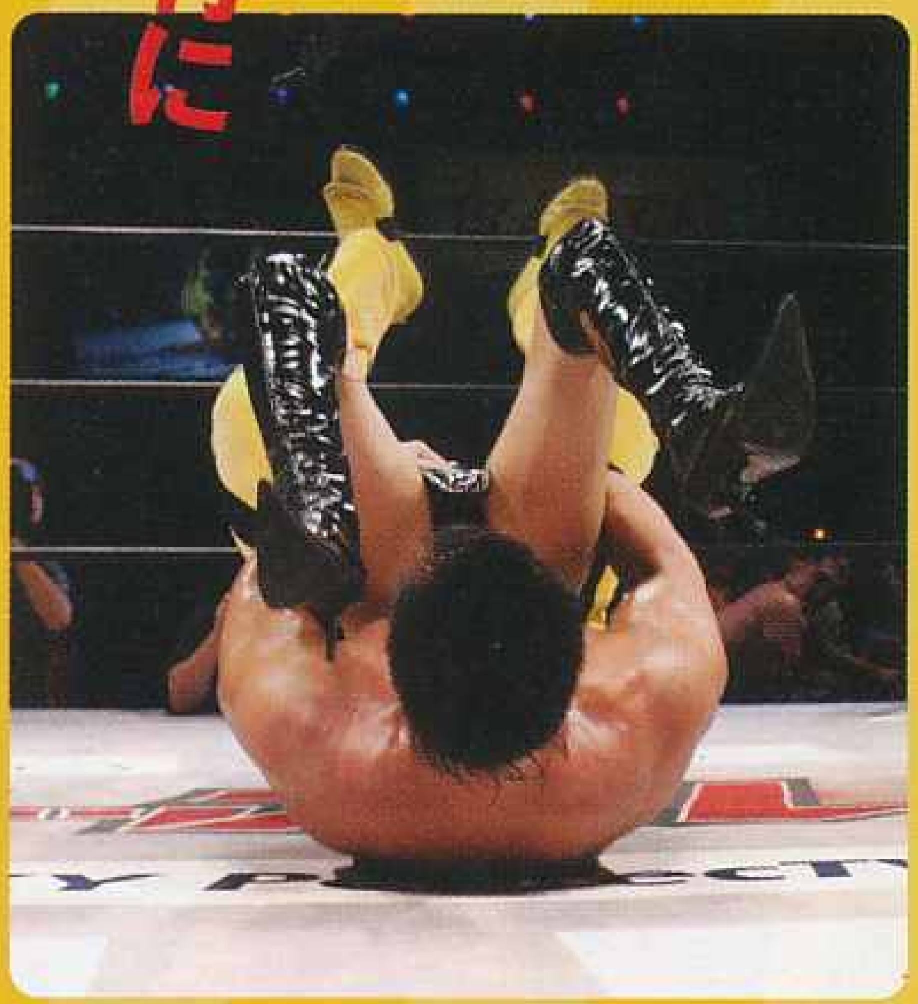
7･15
ハッスル11
大阪府立体育会館

『六甲おろし』のテーマにのり、阪神タイガースのハッピにキャップ姿で登場した笹原GM

インリン様、華麗なるドンデン返し
大阪はハッスル史に残るベスト興行に

インリン様は高田総統から授かった露出度の高い新戦闘服で登場し、大歓声を浴びる。リングでは川田と激しい視殺戦を展開。またインリン様のムチは「身体の一部である」と笹原GMが認めて試合開始。インリン様は大谷にピンヒールで顔面ウオッシュ。川田にはムチを使用してのストレッチプラムを敢行。そしてRAI-JINのパワーボム、FUJINのダイビング・ボディプレスでダウンした川田に、インリン様のM字ビターンを炸裂！　その瞬間、川田が回転エビ固めの体勢でインリン様をフォールし逆転勝ち。だが、高田総統は身体の一部であるムチがロープにかかっているのを理由に理不尽なノーコンテスト裁定に持ち込んだ。





橋本さんの急逝から2日後、というデリケートな状況の下、感動的な興行となった博多大会は、前述したように「ハッスルらしさ」をつらぬいたことが成功の最大要因だろう。ただ、その一方でどの団体よりも迅速に橋本さんの献花台を設置したり、追悼セレモニーを行ったりと橋本さんや、動揺するファンへ向けた真摯なサポート体制が見えたことも非常に大きい。横浜市内で橋本さんの通夜が行われた7月15日。この日もハッスルは「ハッスルらしい」姿勢で橋本さんを追悼した。ふたたび会場前には献花台を設け、休憩前には追悼セレモニーを実施した。

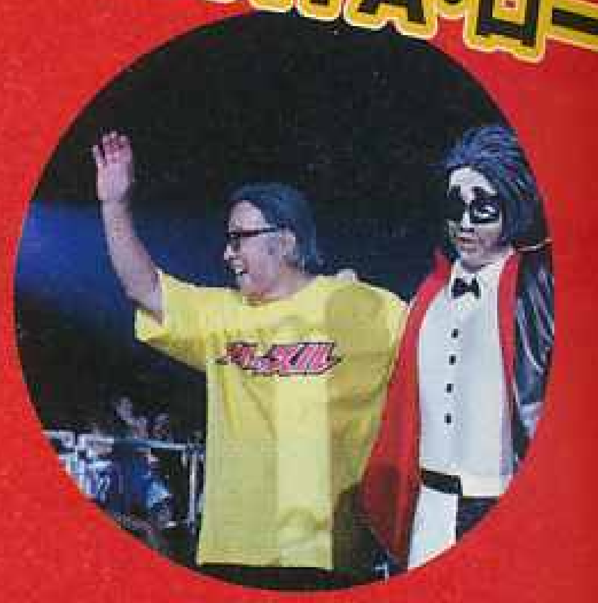
その一方で真夏を思わせる異常な熱気の大阪府立体育会館には、初登場となるハッスルへの期待感が充満し、試合前のオープニング・ハッスルに元新日本プロレスの草間社長がリングに登場した時点から、完全に〝できあがっている〟状態。日本一笑いに厳しい都市、大阪にも関わらず、好リアクションが連発。何をやってもウケる為か、どのレスラーの動きも格段に素晴らしい。ハッスル仮面イエローの軽快な動きにどよめきが起き、作曲家キダ・タローさんの分身〝KIDATA・ロー〟の攻撃で会場が一体となり、沸点に到達したような高揚感がつづく。

だが、この日のハイライトは、やはりインリン様がふたたび「プロレスをした」メインイベントに尽きるだろう。過激すぎる戦闘服で登場したインリン様に場内は騒然。川田と睨み合い、大谷へ逆顔面ウオッシュを仕掛けるなど、場内の視線をひとりじめ。この日、ハッスルを観戦に訪れた大阪在住の元プロレスラーであり、時代の証人であるミスター・

写真提供／DSE

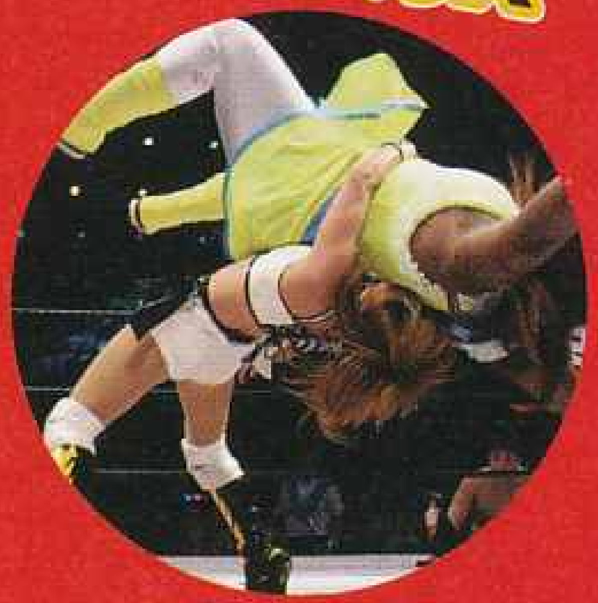
新キャラ名鑑

KIDATA・ロー



大阪の御当地モンスターは、〝浪速のモーツアルト〟キダタロー先生に対して〝浪速のベートーベン〟と呼ばれる男だった。得意技は葬送行進曲とともに相手を葬るローキック。本家のキダタロー先生と入場したKIDATA・ローは観客のかけ声とともに、大活躍。

ブランカX



ハッスル10よりモンスター軍に加わった、美白のデンタル戦士。「美貌の源である歯を大事にする」というインリン様のポリシーをくんだ女子モンスター。軽快な動きでハッスル軍を撹乱する。試合中にリング下でハミガキのCMを展開するなど、意味不明な行動も目立つ。

クイック・クック・リー



世界中のモンスターをことごとく料理してきた極悪料理人という触れ込みの中華料理のコック風の新モンスター戦士。ハードコア戦では、武器として中華鍋、おたまを持参。藤井軍鶏持が持参した大しゃもじとのラリーで、場内を沸せた。

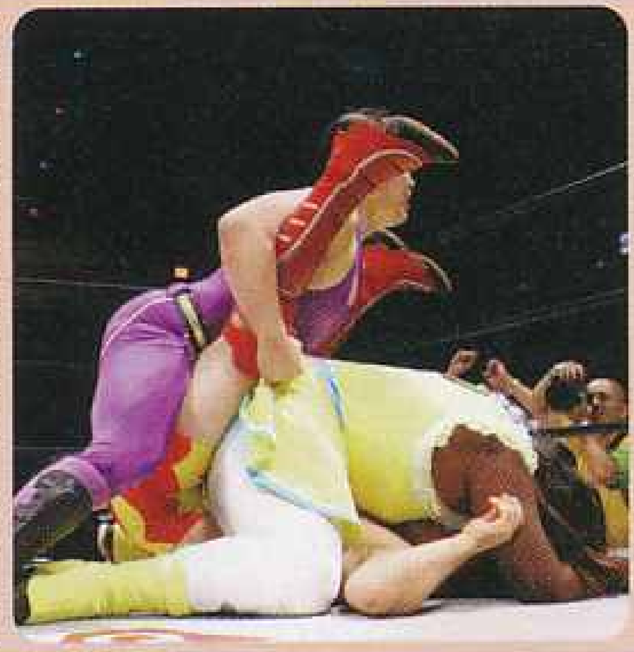
キング・ギラファ
ブルーノ・ヘラクレス



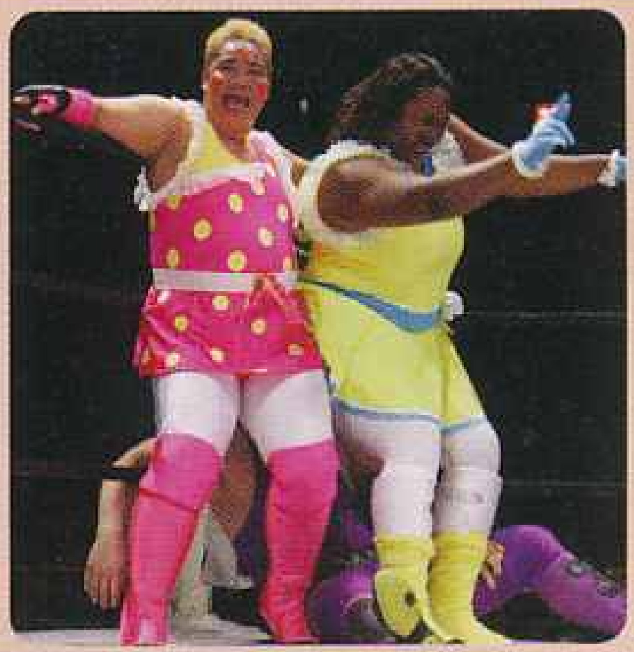
インリン様が川田への刺客として連れてきた巨大カブトムシモンスターがブルーノ・ヘラクレス、巨大クワガタモンスターがキング・ギラファ。両者とも巨体に似合わぬ試合巧者ぶりだが、試合中にクワガタポーズでアピールしたり、シューシューと声を出す無気味さも備え持つ。



試合を攻勢にすすめていたマーガレットだが、突如として味方のスパンキーにディープキス炸裂!



そこを見逃さなかったアン・ジョー司令長官がすかさず、2人を丸め込んでズルフォール勝ち。



アン・ジョー司令長官を悶絶させた、Ericaとマーガレットの驚異のダブルスティンクフェイス攻撃。



〝浪速のベートーベン〟ことキダタローさんが来場。御当地モンスターKIDATA・ローの応援を教授。



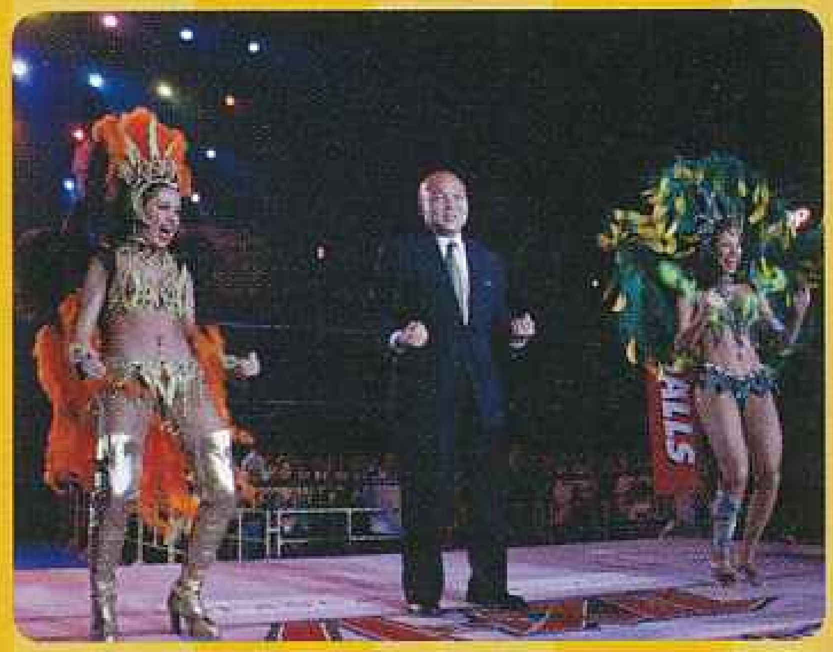
「ロー!」「ロー!」でローキック2連発。「KIDATA・ロー!」ダメ押しの一発を見舞うKIDATA・ロー。



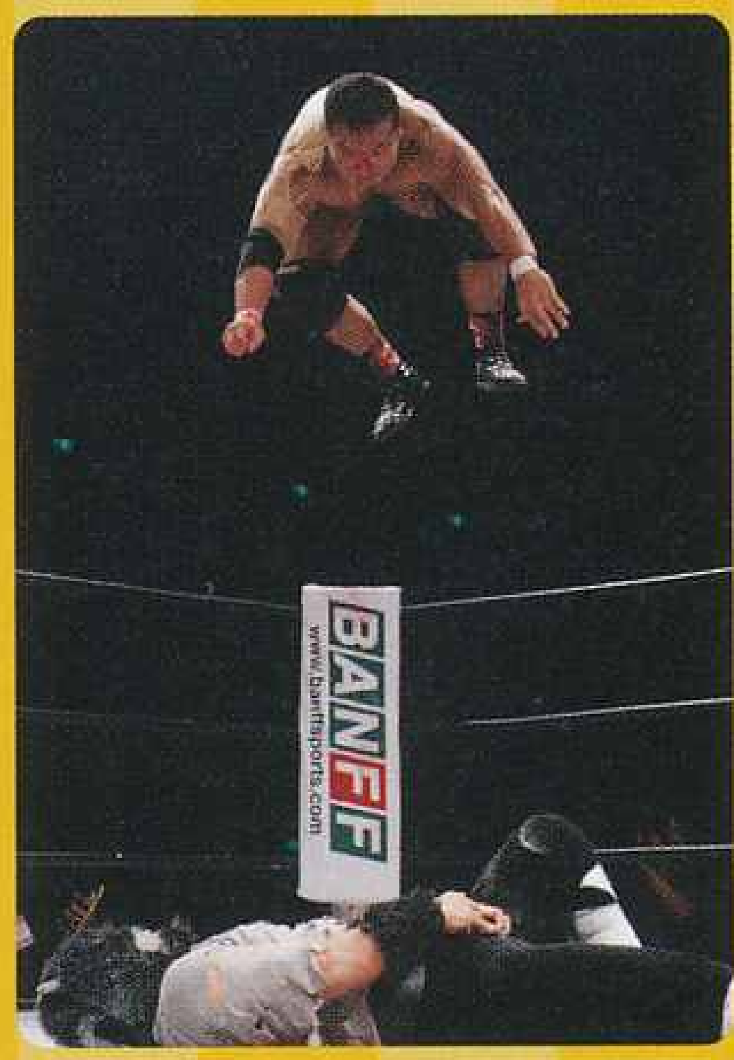
会場も一体となって、KIDATA・ローのローキック攻撃を後押し。ハッスル仮面を根こそぎ粉砕する。



レイザーラモンHGがこの日は、試合前の諸注意の映像に登場。ハードゲイ風に紹介した。フォーッ!



オープニングハッスルでは、某老舗団体の元社長である草間氏がリングに登場してハッスルポーズ。



新潟、札幌の因縁を踏まえた田中と人狼のHHH選手権試合。ハードコアな攻防の末に田中が防衛。

ヒト氏も「彼女はメインに登場したレスラーの誰より存在感があった。それに彼女のムチはよく腰が入ってる!」と大絶賛。最後は切り札のM字固めを、川田に切りされて敗れたものの、興行の最重要パートを見事に締めくくった。これを受けた形での裏メイン、髙田総統劇場では、「インリン様のからだの一部であるムチが、ロープにかかっていた」ことを指摘するというNWAばりの灰色決着が展開され、〝ファイティング・オペラ〟の真骨頂を発揮。だがインリン様からの勝利に気勢あげるハッスル軍のマイクには、さすがの髙田総統もやや動揺。11月のハッスルマニアのリングへの登場をほのめかしつつ、ハッスル史上のベスト興行は劇的に幕を閉じた。

振り返ると今回の橋本さんの訃報はスタッフやレスラー、そしてファンに「ハッスルの本質」を考え直させる、重要な分岐点だった。笹原GMのキメ言葉「レスラー、スタッフ一同、命がけでハッスルしていきます」という言葉が、この両日ほど切実に胸に響いた興行はなかったし、橋本さんの死を受け止めたハッスル関係者の団結力がひしひしと伝わった大会だった。徹底したバカバカしさの追求。〝ファイティング・オペラ〟という言葉はただのキャッチフレーズではなく、実は強い覚悟を持たねば遂行できない十字架だった。だが、今回のようにハッスルを遂行するのが非常に困難な状況下でハッスルをやり抜き、多くの観客の支持を集めたことは、レスラーやスタッフにとって、大きな自信になったのではないか? そう僕らは立ち止まらずに進まねばならない。「それでもハッスルは続く」のだから。



試合後の裏メイン、高田総統劇場では、〝おしゃべりがうまくなった〟川田と小川が総統を挑発。総統も最後には「そんなに私と試合がしたければ、どっちが出てくるか二人で決めておくがいい!」と言い放ち、リング登場を示唆した。今後の動向が注目される。

ハッスル夏祭り開催決定!

8月14日真夏の代々木公園で

某老舗団体が〝夏の本場所〟の決勝戦を行う8月14日。プロレスファンにとっては大きな意味を持つであろうこの日にハッスルはあえて無料のイベントをぶつけてきた。

7月15日、大阪府立体育会館で会見を行った笹原GMは「ハッスル夏祭り～カウントダウン ハッスルマニア～」の開催を発表した。

このイベント、スカパー!の開局10周年を記念したビッグ・イベント「Tokyo Plage（プラージュ）」の一環として行われるのだが、真夏の炎天下で灼熱の砂浜の上にリングを立てて10：00～18：00という長丁場で行われる。「トライアスロン級のイベントになる」と笹原GMも語っているように、やる方も見る方も過酷なイベントとなる。

この「Tokyo Plage（プラージュ）」はフィールド内に40cmの深さまで砂を敷き詰めた仮想ビーチ（イラスト参照）の中で、リングを組んでファン感謝祭的な入場無料の野外イベントを行う。仮想ビーチといっても海がないので、「むしろTokyo Sabaku（東京砂漠）では?」というツッコミもあろうかと思うが、是非とも水着での来場をオススメしたい。シャワー（ミスト）を浴びられるスペースもあるので、夏の真っ盛りに東京のど真ん中でビーチ気分を味わうには絶好のロケーションだ。

現在、イベント内容はまったく発表されていないが、笹原GMのコメントや関係者の証言を総合するとプロレスのイベントというよりも、真夏の野外イベントというシチュエーションを最大限にいかしたお祭り的な内容になる見通しだ。演目は「ハッスル軍・モンスター軍対抗 真夏の紅白歌合戦」「プロレス教室」「激しいハッスルポーズコンテスト」などさまざまな趣向を凝らしたものになる予定だという。さらに〝キャプテン・ハッスル〟小川直也も「そろそろハッスル音頭の季節でしょ?」と自慢の美声を代々木公園中に轟かす準備を進めているとか、いないとか。そうなると、当然のように高田総統率いるモンスター軍の妨害工作も予想されるため、何が起こるのかまったく予断を許さない状況となる。おそらく試合も組まれることになるだろう。

また、笹原GMによれば11月に開催される予定の年内最大のイベント「ハッスルマニア」について重大な発表が行われる模様だ。笹原GMは「プロレス史を根底から覆す」と語っており、ファンや一般客の前で超ド級の発表して強烈なインパクトを与えるつもりだ。草間政一・前某老舗団体社長がGMの座を虎視眈々と狙っており、GMも非常にモチベーションが高い。某老舗団体と真っ向からぶつかり合う、真夏の祭典の続報は携帯サイト『紙のプロレスHand』でもお伝えします!



これがTokyo Plage（プラージュ）の会場予定図。手前左側のフィールドゾーンでハッスル夏祭りが行われる予定だ。テントのスペースでは様々な展示も行われる模様だ。

ハッスル夏祭り
～COUNT DOWNハッスルマニア～

【日時】
2005年8月14日（日）10:00～18:00

【場所】
国立代々木第一体育館横のスペース
（アレグリア等が開催されたスペースです）

【料金】
入場無料

スカパー!開局10周年記念イベント「Tokyo Plage」の一環として行われる。Plageとは、毎年パリのセーヌ川のほとりで行われる仮想ビーチのイベントで、芸術とお祭りが渾然一体となったパリジャンの憩いの場となっている。

ハッスル グッズ発売中!!

通販方法はP160をご覧ください。



New Jersey Powerful Warrior Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト×パープル]
¥3990(税込)

ハッスルI Tシャツ
[S・M・L・XL ブルー]
¥3990(税込)

ハッスルK Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック]
¥3990(税込)

残りわずか!

ハッスルロゴTシャツ
[XS・S・M・L・XL
ホワイト/ブラック/イエロー/レッド/ピンク/ブルー/グリーン/オレンジ]
¥3990(税込)



モンスターJ Tシャツ
[S・M・L・XL グリーン] ¥3990(税込)

モンスター℃ Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック] ¥3990(税込)

インリン様Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック] ¥3990(税込)

ビターンTシャツ
[S・M・L・XL ホワイト/ブラック] ¥3990(税込)

高田モンスター軍Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト/ブラック] ¥3990(税込)



ハッスルホログラムステッカー
¥1050(税込)

ハッスルメッシュキャップ
[ブラック/レッド/イエロー/ピンク/ブルー/グリーン]
¥3150(税込)

ハッスルストラップ/キーホルダー
各¥1050(税込)

ハッスルリストバンド
[ホワイト/イエロー/グリーン/ピンク/ブラック/オレンジ]
¥1050(税込)

チーム鈴木の

世界に羽ばたく
夫婦対談

HIROKO

の季節でしょ？」と自慢の美声を代々木
公園中に轟かす準備を進めているとか、



社長退任の真相から
イズマイウ問題まで全てを語る

私が悪者だなんて、そんな馬鹿な!!

わずか1年で解任された
前・新日本プロレス社長が電撃登場!!

草間政一【前編】

聞き手／ジャン斉藤 構成／斎野もみじ designed by shiraki (TwoThree)

04年6月23日、「新日本プロレスの一部上場を目指す」と宣言し、外部から初の代表取締役として就任した草間政一氏。3年ぶりの黒字収支など財政面で手腕を発揮し、リング内外でもヒール社長として蝶野、武藤、北斗らと対立し大活躍を見せた。しかし今年05年5月26日、突如代表を退任。果たして草間氏の身に何が起こったのか？ 『ファイト』や『週刊現代』で新日本の内部事情を告発し、先日は『ハッスル』にも登場した草間氏に、千葉県流山市で直撃インタビューを試みた。

——本誌はなぜか新日本プロレスを取材できないので、草間さんの社長就任から今回の事実上の解任劇にしても、遠目から眺めていただけで本当にわけがわからないことが多くて。なので今日は、当事者である草間さんにしゃべっていただける範囲でいろいろとおうかがいしたいと思います。

草間　はい。

——その前にお聞きしたいのは、草間さんが近々出版されるというプロレスに関する単行本のことなんですけど。

草間　ちょっとまだ具体的な内容は言えないんだけど……。まぁプロレス経営に関する本になりますね。

——草間さんの『週刊現代』のインタビュー〈注1〉は新日本の内部にかなり踏み込んだ内容だったから、かなり期待しちゃうんですけど（笑）。

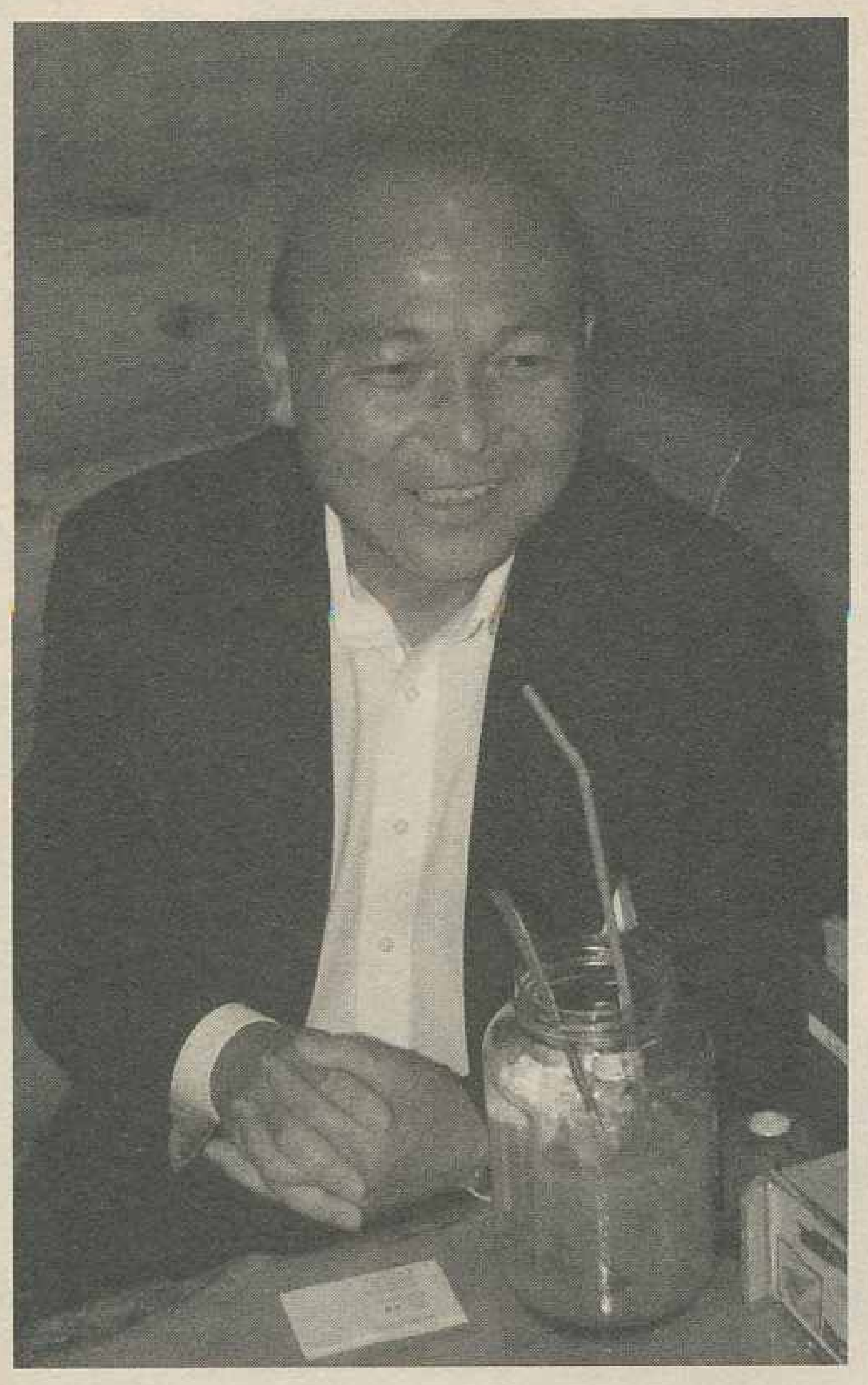
草間　そう？　べつに（『週刊現代』で）大したことはしゃべってないんだけどね。それにだいたいはみんな知っている話でしょ？

——アントンファンならおなじみですよね。「猪木は悪い奴！」というネガティブな感想じゃなくて、猪木さんの破天荒で魅力溢れる人間性をあらためて確認するというか（笑）。

草間　あれはね、もともと『週刊現代』の記者が猪木さんの借金や税金ネタとかを前から抱えていて、ちょうど私が新日本の社長を辞めたことがきっかけになってページになったんだよ。そうじゃなきゃ私の話題だけでページは割かないよ（笑）。

——でも、草間さんの単行本が出版されたら、おそらく内容を問わずプロレスマスコミは「暴露本だ！」と騒ぐと思うんですよ。以前、髙田（延彦）さんの『泣き虫』が出たときなんて、多くのマスコミが1ページたりとも読みもしないで批判していたこともありましたし。

草間　そもそも何を持って〝暴露〟というかなんだけどねえ……。私はまだしゃべってないことのほうが多いから。



——さらに踏みこむ余地のあるということですか（笑）。ちなみにこれまで猪木さんに親身に協力をした人や、もしくは知恵袋的な存在の人って、結局は猪木さんと袂をわかってしまって、そのあと恨み節に近いかたちで本を出版されるケースが多いんですよ。

草間　あ、そうですか。

——そういう意味では、草間さんも猪木さんに対して恨みを持っているという風に、ファンや関係者から見られているところもあるんです。

草間　いや、私はとくに恨みなんかないですけどね。やめさせられた意味がわからないという疑問はあるけど、べつに金銭的な被害をこうむったわけじゃないから。ただ、私はまだ新日本の債務保証が抜かれてないんだよね。

——『週刊現代』の報道によれば、草間さんは銀行や信用保証協会から4億円の責務保証しているそうですね。

草間　そうなんだよ。いつになったら外してくれるのか……まだ片付いてない問題もあって、新日本とはいろいろやりとりしている最中ですから。

——それだけ慌ただしい社長辞任だったということですよね。

草間　いまだにやめさせられた理由はよくわかりませんよ。猪木さんが成田会見で社長交代について言っていたことを記者から伝え聞いただけだから。

——事実上の解任の理由については、猪木さんから何も聞かされてないと。いまだに猪木さんと連絡は取れないんですか？

草間　まったく取れないですねえ。3期連続で赤字だった経常利益を黒字に転換させたし、これからだ！　というときだったのに。だからホントに意味がわからない。

——猪木さんは「ズバリ言って、世界戦略〈注2〉のためには、英語をしゃべれる人間が社長じゃないといけねえんです」と言っていたみたいですけど。

草間　（即座に）私だってしゃべれますよ！

——あ、草間さんもしゃべれる（笑）。

草間　だって私はアメリカの会社で責任者をやっていたわけだし、英語以外の語学も多少はできる。新日本のイタリア遠征の話だって私がひとりでまとめてきたんですよ。

——こんなに世界戦略度が高いのにダメ（笑）。猪木さんからすると、婿養子であるサイモン・ケリー猪木氏〈注3〉を社長に据えたかったわけですかね？

草間　そうなんじゃないの。前々からね、じつはサイモンを社長にしようとしているんじゃないかって薄々思っていたんですよ。でも、いきなり改革をやらせるなんてまず無理だよ。なにしろ彼には経験がないんだから。

——いきなり抜擢されてもわけがわからないでしょうね。

草間　だから私が提言したのは、彼を将来的に社長にするのは全然問題ないけれど、経営を勉強してからやらないと大変なことになりますよと。2、3年は修行するという意味で、日本で営業や管理部門の長をやってもいいし、とにかく経験を積ませればいいんだよ。それは彼に能力がないとかじゃなくてね、新日本は家族を含めて300人近い所帯になっているのに、いきなり彼に委ねちゃうというのはリスクがありすぎるから。会社もたいへんですし、彼自身もたいへんだよ。

——今回のサイモン氏の社長就任は既定路線で、草間さんは野球にたとえるとリリーフ的な役回りだったとみる向きもありますが。

草間　そういう話は聞いていないし、私

何をもって“暴露”と言うのか。
私はまだ喋ってないことの方が多しね。

はとりあえず2年間という任期でしたからね。正直、猪木さんはアメリカにいて日本のことがよくわからないのに口を出すから、こういった混乱を招くと思うんだよ。それが正しいか正しくないかはべつにしてね。たとえば、猪木さんがプロレスをずっと見ているとか、会社のことを知っていて判断するのならわかるんですよ。でも、そうじゃないからね。

――この交代劇の予感はあったんですか？

草間　予感というか、あれは俺が社長をやめる前の5月18日だったかなあ。猪木さんが「協力してくれる投資家がいる」みたいなことを言ってるわけ。新日本に資金を提供するとか。

――今年に入ってから、投資家の話を猪木さんはよく口に出していましたね。

草間　で、そういう話があったから、その人が社長になるんだと私は思ってたんだよ。新日本を良くしようとしてくれる能力を持って、なおかつお金を出してくれる人間だったら悪い話じゃないから。だから俺も最終的に辞任をOKしたんだけど、フタを開けてみたらビックリしたねえ。サイモンになったから。

――サイモン氏が社長に就任されることは全然知らなかったんですか？

草間　いや、サイモンがなるにしても、二人代表制と聞いていたからね。そうすると外部からもうひとり連れてくるんだろうと思ってて、それが投資家なら俺の債務保証も抜いてくれるだろうと……。

――ところが投資家は登場しない。債務保証問題も片付かない。それはあわてますよね。

草間　あわてた！

――猪木さんは「NＩKEの副会長も社長候補」という話もしてましたけど。

草間　韓国のNＩKEでしょ。役員で入る話をちょっと聞いたことがあるけど、それはあまり現実的な話じゃないと思ったよ。べつにNＩKEが資本を出すわけじゃないから。

――川村龍夫さん〈注4〉のような立場で役員入りする可能性はあったわけですか？

草間　どうなんだろう？　川村さんは新日本をしっかり支援してくれていますけどね。俺が辞任したときも「草間さん、サイモンを助けてやれよ」って、そう言っていました。私としても、なんとか社長を続行して、新日本を立て直したかったんだよねえ……。でも、猪木さんと話し合いすらできなかったから。

――そもそも草間さんは猪木さんとはどういうきっかけで接点を持たれたんですか？

草間　それは自分の知人が、猪木さんのこれまた知人と知り合いでして。そのつながりから「猪木さんが経営コンサルタントを探しているから一度会ってよ」ということになって。で、猪木さんと直接会って何回か話して、それで彼のコンサルタントを務めることになったんですよ。

――それは猪木さん個人のコンサルタントとして？

草間　そう。猪木さんの個人的な。

――それは具体的にどういう仕事だったんですか？

草間　猪木さんがやっている会社というか、口を出している会社とでもいうのかな。新日本プロレスや猪木事務所とか、事業関係でもいろいろあるでしょ。猪木さんには、いろんな夢があるじゃないですか？　永久電機〈注5〉から始まって。

――あります、あります（笑）。珊瑚の養殖から錆びない鉄の発明まで、ボクらのような凡人は、思わず頬っぺたをつねってしまうような巨大な夢を猪木さんは追いかけていますよね。

草間　猪木さんからすると、その会社に対して疑問が多かったわけですよ。たとえば社員に給料を払いすぎているんじゃないか？　とかね。

――もっとスリムな経営ができるんじゃないか？　と。

私が悪者!?そんな馬鹿な

草間　要するに「俺はもっと稼いでいるはずなのに、もらいが少ないんじゃないか？　ちょっと調べてくれ」ということなんだけどね。

――あ、自分の取り分の問題でもありますか（笑）。

草間　で、それぞれの会社の財務状況を調べてたんだけど、そうしたらいろいろ面で経費を削減できることがわかって、それで社員の給料を下げたり、いらない社員の整理をしたりしたんだよ。もともと猪木さんには、お金はちゃんと渡っていたんです。誰かに入れ知恵されて、「もっともらってもいいはず」って勘違いしたと思うんだよね。猪木さんに私が説明したのは「猪木さんはちゃんともらっているんですけど、猪木さんの指示で永久電機の資金になってるだけですよ」と。

――原因は猪木さん自身にあったわけですか（笑）。それに会社の経費を抑えたからって猪木さんの取り分が増えるわけでもないんですよね？

草間　うん。だからって新日本にいろいろ口出しはできないと思うんだよ。よく考えてみれば、猪木さんは新日本の株主というけれども、自分で金を出して株を買ったわけじゃないんでしょ？

――元・佐川急便会長で、新日本の筆頭株主だった佐川清氏（故人）から株を預かっているだけで、じつは猪木さんには何の権限もないんじゃないか？　という話は耳にしたことがありますね。

草間　私も社長就任当時は何も思わなかったけど、どういう立場で新日本に口を出してたのかなという疑問はありますよね。昨年の株主総会でも、猪木さんは株主名簿では大株主というわけじゃなかったから。非常に微妙な立場だと思うんですよね。アントニオ猪木という威光があるからみんな言うことを聞いてますけど、今回の私の辞任にしても、大株主のテレビ朝日が反対したらうまくいかなかったと思うよ。

――そういえば、猪木さんが最近のインタビューで「去年、俺が社長になるって言ったのは脅しだけじゃなかったんだけど。それに反対したのはテレビ朝日〈注6〉で」と言ってましたね。あと「ゴチャゴチャ小賢しいことをしている連中がいて、こいつらが裏で画作して…」とも言ってましたけど、内部でクーデター的な動きがあったりしたんですか？

草間　クーデター？　知らない。すくなくとも俺は小賢しいことなんかしてないよ。

――猪木さんを外して、新日本は独自でやっていこうという動きはなかった？

草間　いや、ハッキリとした態度でそういうことをやろうとした人はいなかったよ。中にはそういう気持ちを持った人がいたかもしれないけど、俺からすれば、猪木さんに頼まれて（新日本の社長を）やっていたことだから。その猪木さんをないがしろにするなんてことは絶対にありえない。

――もともと草間さんは、どういう経緯で新日本の社長に就任されたんですか？

草間　それは、ある日突然。

――ある日突然？（笑）。

草間　そう。去年の株主総会の前に、猪木さんからいきなりそういう話をされたんだよ。それまで俺は客観的な立場で人事の行方を見ていたから、かなり驚いたよね。

――社長にまで抜擢されるなんて、草間さんはそれほど猪木さんから信頼を得られたということなんですか？

草間　そうなんでしょうね。

――でも、先ほども言いましたけど、猪木さんとは袂をわかつ人間が多いわけですが、草間さんにそういう不安はありませんでした？

草間　たしかに「猪木さんは本当に大丈夫なのか？」という周りの心配はあったよね。評判は良くなかったし、「ちょっと

考えたほうがいいよ」とも言われましたよ。

——正直な話、周囲からすれば、誰もが揉めるだろうと思っていたはずなんですよ（笑）。

草間　そういう意味ではね、前に『DASH35』という改革プロジェクトがあったでしょ？

——それは新日本創立35周年に向けて、総工費10億円をかけて地下練習場完備の自社ビル「G-1PLAZA」の建設と、年商50億円を目標とするビッグプロジェクトですね。

草間　でも、猪木さんの鶴の一声でやめさせられて。

——すでに頓挫していたんですか（笑）。

草間　その改革にかかわっていた人が私にこう言いましたよ。「またこういうことが繰り返されないように私は見守っていきます」と。でも、今回もこういうことになったからねぇ……。まぁ、結果的にそうなるかもしれないけど、なったらなったでいいや！　とは思ってたよね。要するに社長の俺が、そんなことに気を遣っていてもしょうがないじゃない。それよりも、毎日の地道な業務があるんだよ。興行を成功させないといけない。資金繰りをよくしないといけない。利益を出さないといけない。

——ひとつの仕事として社長を引き受けたわけですね。

草間　そうそう。社長としては猪木さんの機嫌よりも、そっちを優先させるべきだよね。私は新日本のためにやるだけのことはやってあげようと思っていたし、最初のうちは、猪木さんはけっこうマジメに話を聞いていてくれていた。どこまで本気なのかはわからなかったけど。

——それで、草間さんが新日本を改革するために手を付けたことって何ですか？

草間　まずは無駄な経費をなくすこと。とくに接待交際費をボコボコ使っていたのをやめさせましたけどね。経費以外の問題でも、見積もりも取ってこない。相積も取らない。業者に勝手に仕事を発注しちゃっている。「なぜだ？」と聞いたら「むかしからの付き合いですから」って。そんなんで仕事をやられて赤字になっていたんじゃたまらないよ。東京ドームや両国大会にしたって削れる経費があるだろうと。

——『週刊ファイト』に際どく掲載されていましたが、営業未収金の問題もいろいろあったそうですね。

草間　要するにウチの会社って、社員やレスラーがチケットを売ったら、いくらかの手数料をもらえる仕組みになっているんですよ。

——いわゆる売れば売るほど手数料が懐に入るわけですね。

草間　で、そのお金を会社からもらっているのに、チケット代金をまったく回収しないレスラーや社員がいるんだよ。



05年5月26日、新日本プロレスは都内で第34回株主総会を開催。終了後に会見が開かれ、草間社長が同日付で退任し、新しい代表取締役にアントニオ猪木氏の娘婿、サイモン・ケリー猪木氏（写真・左から3番目）の就任が発表された。

藤波さんは悪い人じゃない。誰かに吹き込まれたんだと思うよ。

——それでは個人が潤っても会社的には困るでしょう。取り立ての業務命令を下す人はいなかったんですか？

草間　いない（キッパリ）。

——ワハハハハ！　どんな会社ですか！（笑）。

草間　それで私が社長になってから取り立てるようになって。3ヶ月に1回、未回収金が残っている場合は給料から相殺するようになったんだよ。過去にやめてしまった社員でまだ未回収金が残っている場合は、催促の通知を出したりさ。実際ね、それが滞っているから資金繰りが悪くなっていたところもあるんだよ。

——その事実を知ったときにどう思われました？

草間　驚きましたねえ。こんなことをやっていたら会社が危ないと。

——チケットが売れれば売れるほど、会社が傾くんですからね（笑）。

草間　だから、私が社長を辞めるときに「私が離れたら、会社が悪くなるよ」って言っていたけど、過去に逆戻りしないことを祈りますね。

——しかし、そこまで内部改革に全力を投球した草間さんが切られる道理はわからないですね。

草間　たぶん猪木さんは、誰かから間違った事実を聞かされていると思うんだよね。私がいろいろ改革をやることで都合が悪くなった人が、焦って猪木さんに何か言ってるんだと思うんだよ。

——実際、新日本内部から草間さんに関するリークが相次ぎましたよね。リークといっても低レベルな話で、たとえば、社長室をつくっただけでなぜか非難されていましたし（笑）。

草間　ああ、ありましたねえ（笑）。あのね、社長室つくったのは猪木さんの指示ですよ。なぜかといえば、「あの会社は情報が漏れやすいから、声が聞こえないように社長室をつくれ」って言われて。企業の形をなしている会社だったら当然なんだけどねえ……。

——重要機密が筒抜けになるのは問題ですよね（笑）。

草間　特殊なことをやっているつもりはなかったんだけどね。あたかも悪いことをやっている風にいわれて。面白いと言えば、面白いけどさ（笑）。

——あと「お抱え運転手を雇った」というバッシング記事もあったじゃないですか。社長として行動するなら絶対に必要だし、べつにいいじゃないかって（笑）。

草間　私が悪いというなら、藤波さんだって通勤時にハイヤーを使っているんですよ。坂口さんだって、会社の車を使っているし。それに私は千葉の田舎に住んでいるから、猪木さんに「都心のマンションを買ってやるから、そこから通え」と言われたんだよ。でも、犬を飼ってるんでウチから通わないとダメなんだ（笑）。

——散歩が大事ですか（笑）。

草間　それにマンションを買うとか借りるいっても、それはそれで大金になるでしょ。どのみち電車で通うわけにもいかないし、猪木さんは「それなら俺よりいい車を乗るなよ」ってことで国産車にしてもらって運転手も雇って。

——ヤスカクこと安田拡了〈注7〉の記事によれば、藤波さんが「あなたは経費削減と言いながら、社長室を作ったり、運転手を雇って車を買い、自宅から通勤している」と草間さんに抗議しているんですよね。藤波さんもハイヤーを使っているのに（笑）。

草間　まぁ、誰かに吹き込まれたんじゃないですか。藤波さんは悪い人じゃない

チーム鈴木の　世界に羽ばたく夫婦対談　HIROKO

ですよ。坂口さんもそう。坂口さんは細かい帳簿のことはわかるし、銀行からの信頼もあった。私のやることを後押ししてくれた。最初のうちは藤波さんにも坂口さんにもいろいろ反対を受けましたよ。でも、最後のほうは藤波さんも坂口さんもまったく支援してくれました。それはもう会社が安定したし、数期ぶりに利益も出た。で、私は毎週みんなを集めてミィーティングをやって、改革をする意味などを逐一説明していましたから。

——信頼関係を結ぶ作業をしっかりやられていたんですね。

草間　最初は私のやることを反対する人はたくさんいましたよ。私のうしろに猪木さんが控えていたわけだし、私が仕事を進めるうえで「猪木さんは……」と言ってたいたこともたしかにあったし。そうすると、反・猪木の方々は私をやめさせたくてしょうがなかったんだと思うんだよ。あとは単純にジェラシーの問題もあったんじゃないかなあ。

——「草間は目立ちたがり屋」「スタンドプレーが多い」というマスコミの報道もありましたし（笑）。

草間　あ〜〜（笑）。それは結果的にそうなったのかもしれないけど。やっぱり何かを改革しようとすると、ある程度抵抗がかならずあって、こっちは先頭に立ってそれを打ち破らないといけないわけだから。あともうひとつはね、選手が目立たなさすぎるということがある。

——草間さんが目立っているというより、選手が目立っていないだけ（笑）。

草間　そこまでは言わないけど（笑）。やっぱりプロレスは勝った負けたの話題より、その選手の個性が出たほうが面白いじゃない。でも、いまはK-1や『PRIDE』という他の団体がワッと誌面を占めちゃっているから、いまはその魅力が出せていない。選手は「俺が、俺が」なのに誌面に載れない。そこはジレンマですよね。

——それが嫉妬の感情になるのはよくわかりますね。

草間　それで俺が出過ぎるから、周りの選手や関係者に「出ないようにしてくれ」って言われましたけどね。それであまり表に出ないようにしたんだよ。でも、だからって選手に誌面が割かれたわけじゃない。結果的にそれが新日本にとってプラスだったのか、マイナスだったのかという疑問はあるよね。

——草間さんの対する報道が好意的じゃなくなったことには、どう思われました？

草間　ひとつはね、たぶん三銃士興行〈注8〉の問題があったと思うんだよね。あのイベントを私が勝手に中止にしたと。たしかに結果的にはそうなったんですけど、でも、それは新日本が会社として協議して「やるか・やらないか」を決めたんです。

——新日本として「やらない」と決議したのはどういう理由があったんですか？

草間　いちばんの理由は、本当に三銃士興行は成功するの？　ということですね。あの3人が集まって成功しないとなると、業界的にも良い影響を及ばさない。それにあの企画自体、外部の人間が新日本にプランニングもせずに、勝手に独断専行で見切り発車しているんですよ。

——あの一件で草間さんに対するファンのイメージはかなり悪くなりましたよね。

草間　ですよね。ファンもそう思っているからこそ、私が表に出た方が面白くなると思ったんだよ。両国大会のリングで蝶野（正洋）が私に「リングに上がれ！」とかなったりして。「あれってアングルなんですか？」と言われましたけど、何の打ち合わせもしてないよ。私からすると〝これぞプロレスじゃないの？〟という意識がありましたし。プロレスの中の話じゃなかったら、もっと怒っていたでしょうけど。

——草間さんは状況に応じて臨機応変に立ち回っていたということですか？

草間　そうだよ。うまく転がれば、ファンが現場に見に来るのがおもしろいんじゃないかと。G-1のときも私がリングに上がったらブーイングを浴びて、私としては表に出てことがうまくいったと思うんですけど。いい悪いか別にして、ファンとの関係ができたんじゃないかと。

——つまり、激怒したファンやマスコミは、草間釈迦の手のひらに乗っていたと？（笑）。

草間　そうですね（キッパリ）。

——三銃士興行に絡む武藤さんとの舌戦も、草間さんのシナリオというか。

草間　全部、私の考えですよ！

——おそれいりました！（笑）。

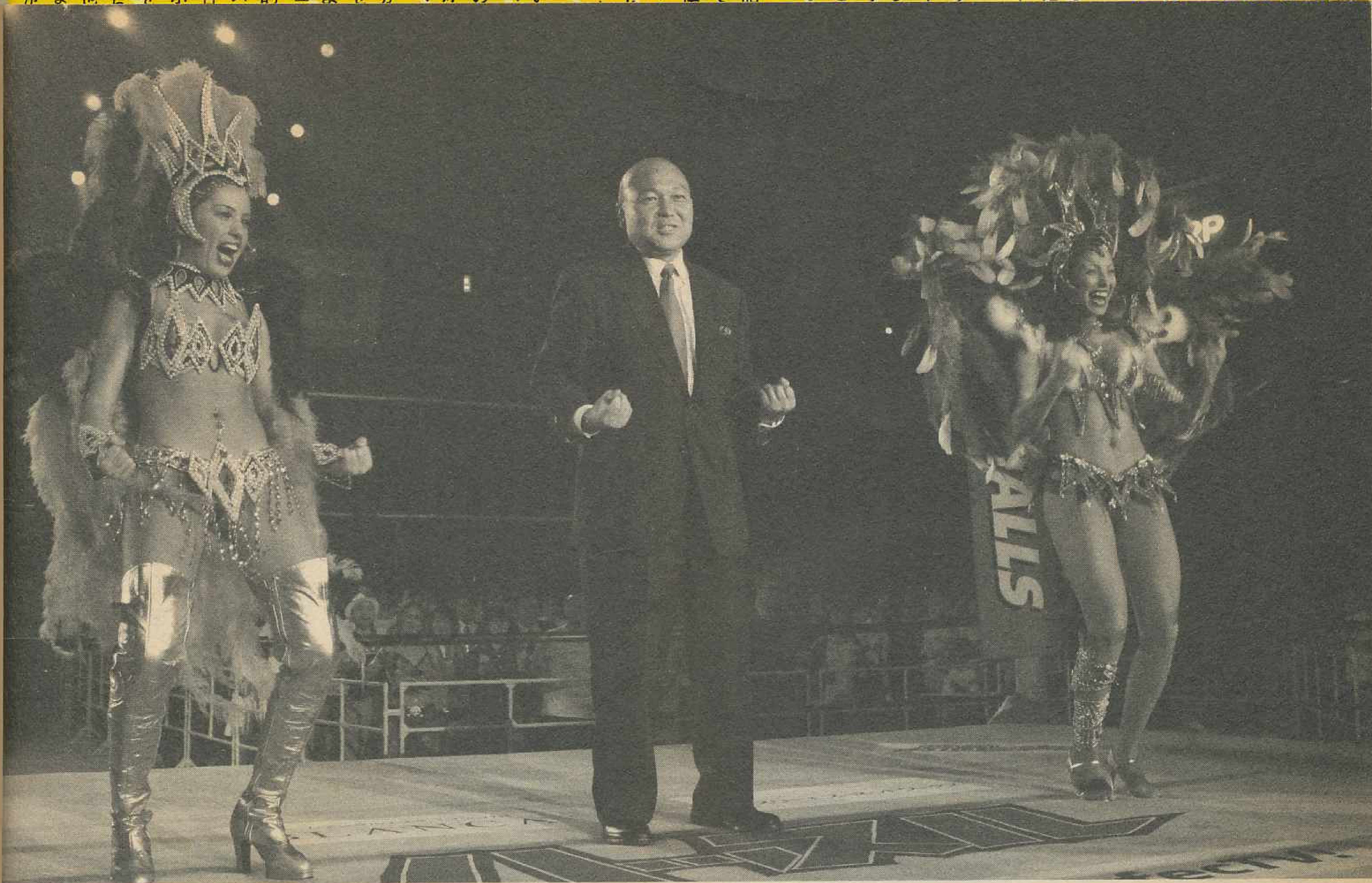
草間　要するに私が武藤さんにどうのこ



04年10月4日、佐々木健介vs藤田和之のIWGPヘビー級選手権試合。胴締めスリーパーを仕掛けた藤田が不可解なフォール負けを喫してしまった。新日本のやり方に激怒した北斗晶はリングサイドの草間氏に猛抗議。イスを蹴飛ばし、トロフィーも破壊してしまった。

私が悪者!?そんな馬鹿な

某 老舗団
を行う
にとっては大
の日にハッス
をぶつけてき
7月15日、
行った笹原G
ウントダウン
を発表した。
このイベン
年を記念した
Plage（プラ
れるのだが、
の上にリング
いう長丁場で
ン級のイベン
っているよう
なイベントと
この「T o
ジュ」」はフ
で砂を敷き詰
参照）の中で
謝祭的な入場
う。仮想ビー
「むしろT o
砂漠）では？
かと思うが、
ススメしたい
びられるスペ
盛りに東京の
わうには絶好
現在、イベ
れていないが
係者の証言を
ントというよ
というシチュ
したお祭り的
目は「ハッス
夏の紅白歌合
いハッスルポ
ざまな趣向を
という。さら
ル”小川直也
の季節でしょ
公園中に轟か



7月15日、大阪で開催された『ハッスル11』に草間氏が出現! モン娘。に誘われリングインするとハッスルポーズで腰を振り、第1試合からメインイベントまで観戦した。終了後はプレスルームに現れ、今後の「ハッスル」へ再来場に前向きな姿勢を見せた。

武藤選手との舌戦？
全部、私のシナリオですよ！

うの言ったり、「新日本が全日本を買ってやる」とか言ったのも、おもしろくてやろうと思ったから。マスコミがこういう話題をおもしろがらないかといえば、やっぱり飛びつくわけだよね。こんなにプロレスが低迷していて、何か変わったニュースがなきゃ取り上げられないでしょ？

――どうしてもマスコミはスキャンダラスな話題を求めますからね。

草間 新日本には、中邑（真輔）、棚橋（弘至）、後藤（洋央紀）とか良いレスラーがたくさんいましたけど、その選手たちが世間一般にあんまり知られてないのは、プロレスの低迷自体をよく現していることだと思うんだよ。私はK－1はあんまり見たことはないけど、テレビのプロモーションが強いから、実際に格闘技を見ていなくても選手の名前は知っているじゃない。山本KID選手や魔裟斗選手の名前はもう誰でも知ってるよね。

――おそらくその二人がこの業界でいちばん有名な選手ですよね。

草間 プロレスラーも、K－1や『PRIDE』の選手のように注目されるためには、とりあえず目を向けさせなければならない。さっきも言いましたけど、勝った・負けたの話題だけじゃ反応は薄いから、もうすこしバラエティに富んだやりかたをしたっていいと思うんだよね。

――草間さんにプロレス心があったのはわかりましたけど、プロレスファンは心の底から草間さんを憎んでいたと思うんですよ（笑）。

草間 本当の悪者になるのは意味不明だねえ。そんな馬鹿な！ って感じで。

〈注1〉『**週刊現代**』
6月9日号に草間氏の辞任に関するインタビューが掲載。アントンおなじみの金銭絡み話題や、なんとLYOTOに奥さんがいることなど、興味深い事実が触れられている。

〈注2〉『**世界戦略**』
アントンのライフワーク。北朝鮮、ロス、ブラジルなどでプロレスイベントを開催。「世界には通用しねえんです」「ズバリ言って世界規模で考えれば……」という具合に、「世界」という単語はアントンの重要な物差しになっている。

〈注3〉『**サイモン・ケリー猪木**』
今年の5月、新日本プロレス社長に就任。1973年、川崎市で米ペプシ・コーラの重役をつとめたアメリカ人の父と、日本人の母の間で生まれる。電通アトランタオリンピック支局（96年6～8月）、米コカコーラ（96年8～98年6月）を経て、新日本ロス道場経営に携わる。夫人の寛子さんとは幼なじみ。

〈注4〉『**川村龍夫**』
芸能プロダクション『ケイダッシュ』会長。むかしからアントンをバックアップし、現在新日本プロレス取締役も兼ねている。芸能界に強い影響力を持ち、あのヒクソンが『ボス』と崇める実力者。02年に『LEGEND』を開催したおりには、「すべてガチンコですから」などの名言を次々と生み出しファンのハートをとらえて離さなかった。

〈注5〉『**永久電機**』
科学の常識を根こそぎぶち壊す世紀の大発明。水力・火力・風力・原子力を利用せずに磁石の力だけでほぼ永久的に電力を発生する装置。お披露目会見ではボルト不備で稼働せず。なんと『猪木祭り』のリングで発表会見を実施する噂も流れたが実現はしていない。別称・永久電池。

〈注6〉『**テレビ朝日**』
新日本プロレス『ワールドプロレスリング』中継放送テレビ局。アントンはかつて成田会見で同局に対して「死んじまえって、もう！」などと、番組構成のあり方について超攻撃的な発言を向けていた。

〈注7〉『**安田拡了**』
通称ヤスカク。『週刊プロレス』を中心に活動するフリーライター。レギュラー連載コーナーでたびたび草間氏バッシン

〈注8〉『**三銃士興行**』



チーム鈴木の

世界に羽ばたく夫婦対談 HIROKO



──ワハハハ！ 盛り上げようとしているのに（笑）。

草間 そうですねえ。安田拡了は「草間社長はヒールになったほうがいいですよ」とか勝手なこと言ってましたけどね。

──ヤスカクはそう誘導しながら、本当に敵意剥き出しで書き殴ってましたけどね（笑）。それで途中からは反・猪木派どころか、猪木派の方々の反発も強くなったわけですよね？ 猪木さんが推進する海外戦略のひとつであるジャングル・ファイト〈注9〉なんかも「利益が出ないならやらない」と草間さんが発言したこともあって。

草間 う～ん、実際に利益が出ないからねえ、あのイベントは。

──不思議なのは、あのジャングル・ファイトで誰が儲かっているのかってことなんです。猪木さんだってそうは見えないし……。

草間 それはね、イズマイウ〈注10〉。

──イズマイウのひとり勝ちイベントですか！（笑）。

草間 それにイズマイウには顧問料的なかたちで月々お金を払ってましたからね。猪木さんの命令で猪木事務所が払ったり、新日本が払ったり。

──イズマイウが新日本界隈で嫌われている理由が少しわかりました（笑）。

草間 イズマイウはサイモンとも仲が悪いんですよ。猪木事務所も嫌っているし、新日本も嫌っている。

『PRIDE』でも、呼んでもないのに会場に侵入されたり、パンクラスの尾崎社長もエバンゲリスタ・サイボーグ招聘の件で揉めて、絶縁宣言してますね（笑）。

草間 でも、猪木さんだけは気に入ってるわけですよ。

──草間さんはイズマイウと会ったことあるんですよね？

草間 何回も会ってますよ。去年も釧路大会にも来ていたし。

──そういえば、なぜか猪木さんと一緒にリングサイドに座ってましたね（笑）。イズマイウっていまだに自費で来日しているんですか？

草間 あとで新日本に請求してくるんだよ。飛行機代もホテル代も。

──図太いなあ（笑）。しかし、そんなに嫌われているのに、どうして猪木さんは重宝するんですかね？

草間 つまり、イズマイウはプロモーターをたくさん知っているだよね。やっぱりイズマイウはブラジルで顔が利くわけだから。

──ブラジルでは「サッカーといえばロナウド、バーリトゥードといえばイズマイウ！」らしいですからね、本人いわく（笑）。

草間 で、イズマイウがいればブラジルで大会は開けるんですけど、お金は誰が出すかっていえば、新日本や猪木事務所なんです。選手にしてもお金にしても、猪木さんは新日本や猪木事務所に「イズマイウに協力してくれ」というわけですよ。それで選手を派遣したり、お金を提供したりしても、イズマイウからは何の見返りもない。そればかりか、あのイベントって、森林保護のテーマでやっていたでしょ？

──たしかイベントに協賛すると、その協賛金で購入したブラジルの土地に自分の名前を記した記念植樹を植えられるんですよね。

草間 それがね、その記念植樹、どこに植えたのかわからないんですよ。去年、植えた木はどこにいっちゃったんだという世界（笑）。

──ワハハハハ！ 森林保護の大義名分もないんだったら、本当にイズマイウのためのイベントですよ（笑）。

草間 ホントそうだよ。森林保護とか世界の酸素を救えというテーマでやっているのに、そういうことがあるから信頼感がなくなる。こっちだって、お金を出し

私が悪者!?そんな馬鹿な

づらくなるよね。それがあまりにもひどかったんで「もうやりません」と猪木さんに言ったんですよ。ハッキリいえば、新日本サイドは選手の派遣とその旅費だけで済む話ではあるんだから。

──あとサンタモニカ高級住宅地のど真ん中に位置するという、新日本ロス道場も経費がかさむ代物だったんですよね。長州さんも新日本退団時に言ってましたが、道場維持費として月々300万円も送金していたとか。

草間 ロス道場は新日本の持ち物ではなくて、新日本には何の見返りもないんだよ。そんな道場の経費を新日本が負担していたら、経理的にもおかしな話になってしまう。

──あと海外戦略でいえば、草間さんが独自に推進したイタリア遠征がありました。一部報道では採算が合わないとか、猪木さんが「最初の話と違う」と激怒していたみたいですが。

草間 「最初の話と違う」って、何も変わっていないよ。そもそも猪木さんはあの遠征に何の関係もないし。それに猪木さんは、新日本がギャラを払ってイタリアに呼んだんですよ。

──つまり猪木さんはゲストであって主催者じゃない。

草間 あれは俺がプロモーターを捜してきてイタリアでやりましょうという話になったんだよね。ウチが出す費用は、あくまでも日本からミラノまでの渡航費用だけで、あとは全部プロモーターが出しますと。イタリア国内の移動費とか滞在費用、プロモーションはすべて現地のプロモーターが持つわけですよ。

──いわゆる売り興行に近いスタイル。新日本は損しない契約だったんですか？

草間 そうそう。売り上げは折半。最初からそういう話ですよ。第一、猪木さんにもそう伝えてあるんですから。それなのにどうして文句を言える立場なんですか。もっと言うなら、ジャングル・ファ

〈注8〉『三銃士興行』
武藤敬司、蝶野正洋、橋本真也デビュー20周年を記念して企画された合同興行。新日本プロモーションの主導で進められ04年9月2日大阪府立体育館で開催される予定だったが、新日本プロレスが蝶野の派遣などについて反対したため中止となった。

〈注9〉『ジャングル・ファイト』
第一回大会はアマゾン河の上に特設リングをつくり行われ、とくに環境保護のテーマが色濃く出ていた。これまで計4回開催されており、レナート・ババル、ホナウド・ジャカレイ、ファブリシオ・ウェルダムら実力者が多数出場。格闘技興行としてはマニアからは高い評価を得ている。どういうわけか名古屋開催プランが浮上した過去もある。

〈注10〉『イズマイウ』
ヴァリッジ・イズマイウ。かつてカーウソン・グレイシー柔術四天王と呼ばれ、柔術でハウフ、ヘンゾ、ホイスを破り、ハイアンを喧嘩でKOする実力者（とくに柔術でグレイシー3たては凄い）……だが、日本では、猪木氏がいるところにかならず現れる〝闘魂ストーカー〟ぶりと、なんら関係ない撮影になり込む目立ちたがり屋精神から招くトラブルが有名。そんな事件のエピソードと、イズマイウの人間像に鋭く迫った直撃インタビューは、本誌NO65に収録。ぜひ一読してほしい。内容は保証する！

〈注11〉『百八つビンタ乱闘』
03年12月31日に開催された『猪木祭り』で、年越しカウントダウンセレモニーとしてアントン百八つビンタが催されたが、仕切りが悪く観客たちが次々とリング上に押し寄せ暴動寸前の事態に！「ルールを守れ！」「リングに入った奴は殺すゾ！」というアントンの怒号も無視されて、リングは一時騒然となった。ヒョードルも逃げ出したその混乱の模様は、本誌だけがNO65で徹底誌上再録。ぜひ一読してほしい。あの興奮が蘇る!!

〈注12〉『アントン・バイオテック（旧アントン・ハイセル）』
サトウキビから排出される有害なアルコールを家畜飼料として再利用するプロジェクト、アントン・ハイセル。莫大な負債を残して新日本プロレス自体にも暗い影を落としたが、現在はそこで研究された技術を活かしてアガリクスの製品化に成功。詳しくは本誌NO72の猪木啓介インタビュー（失敗に終わった永久電機始動会見の再録付き）を参照。

イトよりよっぽどマシですよ（笑）。

——なるほど（笑）。それから猪木さんが主導で進めていた世界戦略のひとつに、韓国と北朝鮮の38度線で『猪木祭り』を開催するという、とてつもないビッグプランがありましたよね。

草間 たしかイベントをやろうとした場所はね、韓国から北朝鮮に入れるところが一部あって、「そこにテントを張ってやりましょう」という話を猪木さんがしてたんだよ。

——前回は百八つビンタ暴動〈注11〉で締めた『猪木祭り』が次は北朝鮮の板門店で開催なんて、凄い話ですよね（笑）。

草間 ま、そういう話があったけど、あれは具体的じゃなかったと思うなあ。

——そのイベントの絡みなのか、「北朝鮮～ふぐ松茸食べ放題ツアー～」という企画がありましたね。国内の世論を無視したこの企画に抗議するため、街宣車が新日本に押しかける騒ぎになりましたけど、ヤスカクによれば、草間さんがツアータイトルを決定したとか。

草間 ……俺がさ、そんなことを勝手に決めるわけないでしょ（笑）。猪木さんの独断ですよ、それは。

——いやあ、いちおう念のため質問してみました（笑）。でも、草間さんがツアー概要を発表したわけですし、新日本としても協力したわけでしょう？

草間 それは要するに、猪木さんの力だけでできればいいんだけど、それは無理があって。できる範囲内で新日本としても協力してくれってことだったんです。……だいたいね、ふぐだって、あのときはシーズンじゃなかったんですよ。

——あ、そうだったんですか（笑）。

草間 それに北朝鮮でふぐを食べる習慣はなくて、日本から調理人を連れていったんだけど。内蔵を取らないで調理しちゃったのかなあ。みんな下痢しちゃったんだよね、猪木さんを含めて（笑）。

——ワハハハ！ ホント散々なツアーだったんですね（笑）。で、街宣車は「猪木と草間を出せ！」と要求していたみたいですけど、「なぜ俺なんだ？」って思いませんでした？

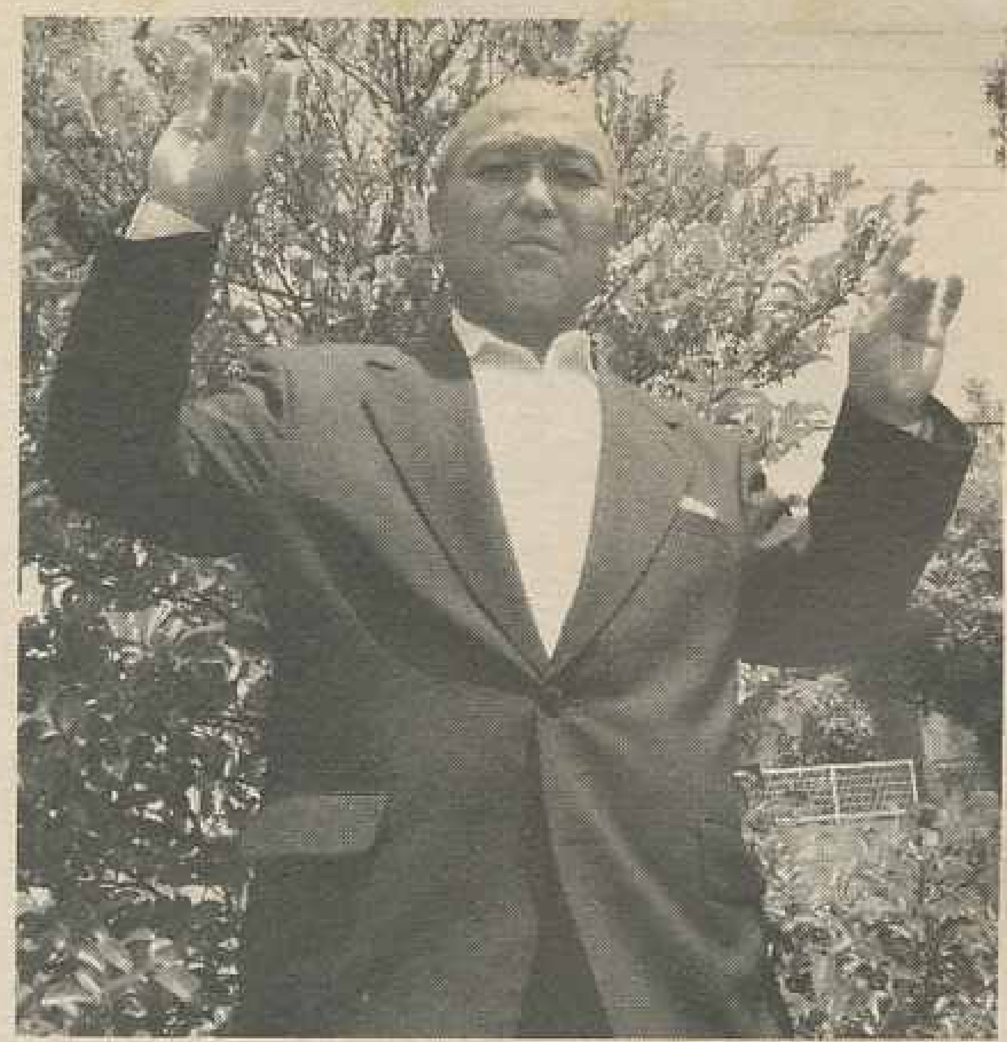
草間 思いましたよ。聞いたらね、最初に猪木事務所に行ったら猪木さんはいないし、「それは新日本でやっていること」って言われて、それで新日本に来ちゃったんだよね。もう北朝鮮のツアーなんてやめましょうという話ですよ。

——猪木さんにはそう進言されたんですか？

草間 それで猪木さんに言ったんですよ。「国内の世論や北朝鮮の飢餓の状態もあるし、ここで強行すると猪木さんにとってプラスになるかマイナスになるかといえば、マイナスだと思いますよ」と。そうしたら猪木さんが怒っちゃって……。

——あと草間さんは永久電気の件でも猪木さんと衝突されたみたいですね。

草間 衝突というか、猪木さんから新日本に永久電機への資金援助の申し出が



くさませいいち■1950年11月11日生まれの54歳。約15年間に渡り財務・経理の業務に携わり、退職後に渡米。04年5月よりアントニオ猪木氏の経営顧問となり、同年6月、新日本プロレスの代表取締役に就任。しかし今年5月、1年を待たずして解任された。

私が悪者!? そんな馬鹿な

永久電気への資金援助は満場一致で否決しました。

あったんだけど、役員の全員一致で断ったんだよね。

——全員一致で（笑）。猪木さんってこれまでそうとう電機に資金を投入されていますよね。

草間 まぁ想像にお任せしますよ。

——はい、勝手に想像してます（笑）。ちなみに草間さんは成功の気配は感じてました？

草間 ……去年の10月ごろに「電機が完成して私はお金持ちになります」って猪木さんは言ってたんだよ。それまでも会うたびに「カナダやメキシコ、アメリカの資本家も動いてますから」って言ってたんだけど、いくら何でも遅いんじゃないかと。あれだけ情熱をかけてやってるんだから成功してほしいけどね。

——4年前から猪木さんは「もうすぐ動きます！」って言ってるんですけどねえ……。

草間 いま永久電気の関連会社は、猪木さんの弟さんが社長をやっているじゃないですか。

——アントン・バイオテック（旧アントン・ハイセル）〈注12〉の社長でもある啓介さんですよね。草間さんは、茨城にあるという永久電機の実験施設には行かれたことがあるんですか？

草間 私はないですよ。でも、見学に行ったことがある人は何人もいますよ。●●●●の人もいったのかな。

——そんな一流企業の人まで！ 猪木さんがよく口にするのは、あまりの大発明のためにアメリカの巨大資本が妨害しかねないし、特許の問題もあるから公にできないと。ボクは以前、啓介さんにインタビューしたことがあるんですが、永久電機ってじつは当初の目的とは違った発明になってるそうですね。いまは効率の良いモーターをつくろうってことで、それがいわゆるエナライズという名称のモーターで。

草間 だから、最初に手掛けた発電機はなかなか難しいから、とりあえず効率のいいモーターをつくろうということなんだよね。そのモーターのことが日刊工業新聞に載ったとか載らないとか聞いたことあるよ。実際に効率の数字が出たらしいですけど、それがどれくらいビジネスに繋がるといえば、よくわからない。なぜなら、そういう発明をやっている人は世界中に6万人もいるらしいから。

——そんなにいるんですか（笑）。あと仰天事業といえば、猪木さんの知り合いの実業家がなぜか人工衛星を所有してて、そこからビジネスを発展させるという話は聞いたことがあるんですけど。

草間 じ、人工衛星……？

——いや、聞くのもはばかれるほどの不確定な情報なんですけど、どうしても真相が知りたくて（笑）。

草間 いや、聞いたことはない。……しかし、途方もない話だねえ、それは（苦笑）。

——はい。自分も聞いたときはビックリしたんです。

草間 猪木さんのそういう話は年から年中あるけどさ（笑）。

——草間さんもおもしろいですけど、猪木さんもバツグンですよ（笑）。

【05年6月某日／千葉・流山にて収録】

※衝撃の事実がまだまだ出てくる草間氏インタビュー！ 次号ではより詳しい社長辞任の真相、驚くべき人が名を連ねたIWGP実行委員会秘話、そしてその卓越したプロレス観が明らかになる！ 後編を心して待て!!



KENZO

世界に羽ばたく夫婦対談

チーム鈴木の明るい未来



HIROKO

ショック！『SMACKDOWN!』から『RAW』への移籍が発表された直後、ケンゾー&ヒロコ夫妻はWWEから契約解除の通告を受けた。そんな状況でもチーム鈴木は前へ進み続けます！

構成／長谷川博一・坂井ノブ

Q いきなり聞きづらい話で恐縮です。今回のWWE解雇ということになりましたけど……。

ケンゾー（以下K） そのままでいい（笑）。「解雇になった」そういうこと。

ヒロコ（以下H） だね。さすがに相当驚いたけど。

K 終身雇用の安定大国で育ったからね。

H 今回は一気に20人。私達がいた2年弱でトータルしたら50人近く、いや50人以上の人間がいなくなってる。日本じゃありえない。それに私は、特に健想が社長にもスッゴク気に入られてるっていうことを知ってたからさ……。

K そんなことは関係ないんだよ。ケガで長いこと休んじゃったことは、やっぱりマイナスに作用したと思う。厳しい競争社会のアメリカじゃ、「ケガは仕方ない」とか「俺は大丈夫」なんて言ってられない。

H そうだね。確かにアメリカの厳しい競争社会をある程度覚悟して、理解して渡米したつもりだったけど、お腹の中は全然日本人だったんだよね（笑）。

K その通り。だって一緒に解雇になった仲間のあっけらかんとした態度にはア然としただろ（笑）？

H あれにはビビった。解雇がわかってからトーリーの家に行った。彼女の夫のビリー（・キッドマン）も解雇になったんだけど、驚くことに皆、全然へっちゃらだったね（笑）。「よくあることだよ」って。他の子も皆「俺、2回目」とか（笑）。

K レスリングの世界だけじゃなく、アメリカでは、これはよくあること。でもって、また戻る人もいるし、そんなにうらまない。周りも「かわいそ……」っていう同情なんかしない。いつか自分にも起こりうることだから。さっぱりしてるのよ（笑）。だから俺達もそういう風にたくましく受け止めなきゃいけない。

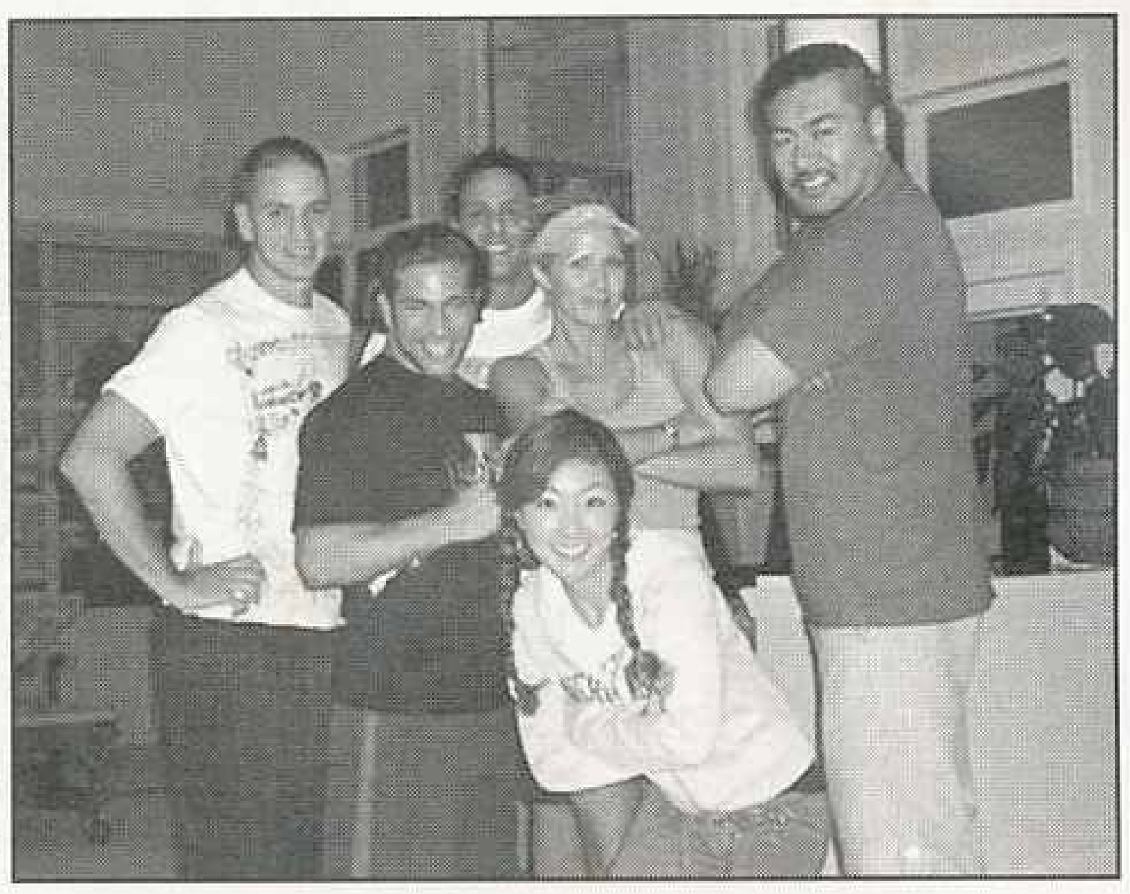
H そうそう。アメリカンビジネスに生きる以上、これにも対応しなきゃ。とらえ方だけいつまでも日本式ってわけにはいかないもんね。

K だから今回は、マジで勉強になった。ここからが本当のアメリカンドリームなのかもね。

H アメリカ人は苦労からの〝ビックカンバック〟っていうか、〝たたき上げ〟が好きなのってこういうところに由来するんじゃない？

K かもな。だって、アメリカ人の友達にこのことを報告したら「そぉか、健想！ ウェルカム・アメリカ！ いよいよ腕の見せ所だぞ！ さぁどうする!?」って騒がれた（笑）。日本人の感覚とは違うよな。

H だから逆に日本のマスコミのものすごい悲劇的な報道の方が私達には驚きだった！ 確かに、これが日本で起こったことなら大問題だけど、ここアメリカだし。



同じくフロリダ在住のトリー・ウィルソンらと共に。みんな笑顔!!

K だから日本企業でのリストラとかさ、上っ面だけでアメリカンビジネスを真似しちゃうのって、俺は正直「……」だと思う。アメリカ人はスーパー合理的だから。スパッと切られた相手でも、また必要になれば手をつなぐ。しかもうらみも後腐れもない。ビジネスはビジネスだから、徹底して利益第一なんだよ。

H 確かに日本はそうはいかない。とにかく、一瞬は驚いた。けど、その後、これこそが私達が選んだ〝生きる道〟だったんだってことに気付けた。また少し本場のショービズ、それからアメリカ自体を勉強できた。後はこれを〝悲劇〟で終わらせるか、更なる飛躍のチャンス、つまり〝新しいドア〟にするか、それはここからの努力だと思う。

Q 橋本真也さんの逝去について、親交が深かった健想選手はどんな思いを抱いてますか？

K ……。橋本さんはアメリカで一人前になったらちゃんと挨拶に行きたい人の一人だった。俺は、新日本プロレスに入門した頃、橋本さんの付き人だったから。すごくかわいがってもらって、色々教えてもらって。なのにすげぇ迷惑かけた。一人前になったら絶対挨拶に行って、いままでのわがままを許してもらいたかったのに。実際、ZERO-ONEの立ち上げのときも、橋本さんは俺に対して、言葉でちゃんと誘ってきたりはしなかった。けど、いつも近くにいて、かわいがってもらってて。俺が「ついていきます！」って言うのを絶対待ってたんだと思う。でも俺はアメリカに行きたいっていう夢があったから……橋本さんの気持ちわかってて行かなかった。だからここで、一人前になったらちゃんと会って話しがしたかったんだけど……。参った……。

H ……。誘ってこないっていうのは橋本さんらしいね。

K そういう人だった。豪快で、〝はっちゃけ〟てて、なんかお茶目で。それでいてかっこいい。いっつも大勢集めて、「どんどん食え！」って。夜になると、お酒を飲まない代わりに、いつもお菓子を大量に買い込む。「ケンゾー、コンビニ行ってなんか買って来い！」って財布を渡されるとスゲー札束が入っててさ。それを人にポンって渡しちゃって。そういう豪快なところが好きだった。

H そういえば私、橋本さんに一度言われたことあるよ。「ヒロちゃん。俺はいままで、健想みたいにつかえない付き人を見たことがないぞ」って（笑）。

K ハハハ（苦笑）。

H 控室で試合を待ってて、橋本さんの出番なのに、健想は一緒になってTVを見てたんでしょ？（笑）。で、トイレに行こうとして健想が外に出たら、橋本さんの音楽が流れてた。で、健想はフツーに「あのー、橋本さん。音楽流れてますけど」って（笑）。「なんやぁ！」って慌てた橋本さんはベルトを通しながら入場したって。

K しかも音楽繰り返しで3回流れてた（笑）。俺にとって橋本さんは、この世界の楽しさを最初に教えてくれた人。〝つかえない俺〟だけど、橋本さんの付き人になれたおかげで楽しさを教わった。いま考えたら、あの頃は色んなことが複雑になる前で、シンプルにすごく楽しかった。……ん～。さびしいな。もう一度、会ってちゃんと謝りたかった。ゆっくり朝まで豪快に騒ぎたかったよ。


H 夫婦でお世話になったもんね。お礼を言わなきゃね。

K 橋本さん。本当にありがとうございます。俺もくじけず、頑張ります。

K&H 心からご冥福をお祈りします。

※チーム鈴木に聞きたいこと、相談したいことがある方はドシドシと質問をお送り下さい。radical@kamipro.com「チーム鈴木への質問箱」まで。

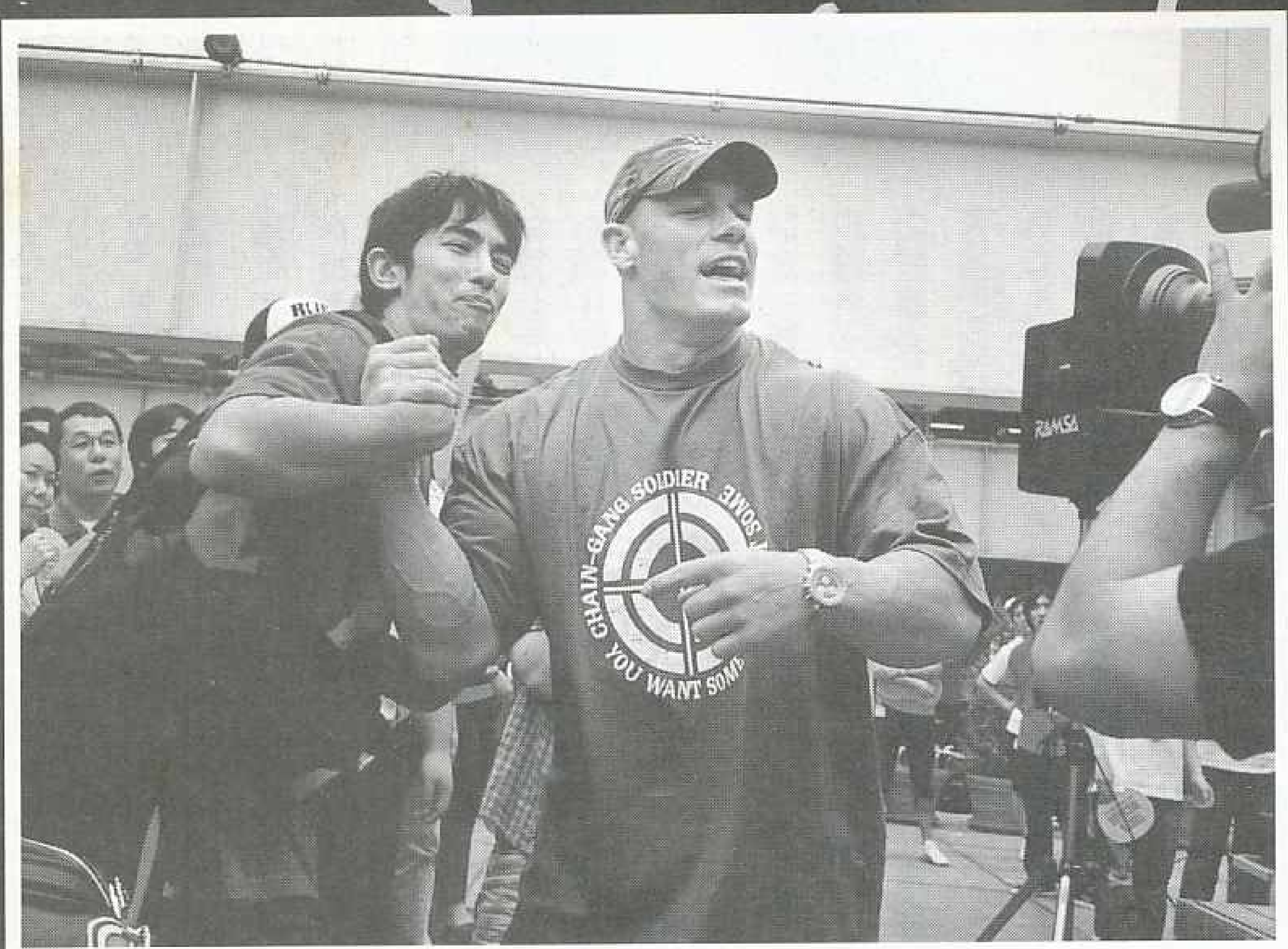
ソロDVD『ジョン・シナ ワード・ラ



2005年WWE 次の主役はこの男

今年4月の『WRESTLEMANIA21』でJBLからベルトを奪い、名実ともにWWEの頂点に立ったジョン・シナ。「ワル学」（サガノミック）の博士として、相手をラップでこきおろすキャラ、ストリートに根ざしたファッションセンス、そして斬新な技の数々を持ち込んだ試合展開でファンの支持率も急上昇中のスーパースターだ。今回、『SMACK DOWN!』から『RAW』に移籍したスーパースターの肉声をお届けします！

聞き手／長谷川博一　撮影／松本崇
designed by nogu（Two three）



2日、正午からタワーレコード新宿店でサイン会を行うと200人以上のチェインギャングたちが集結した。

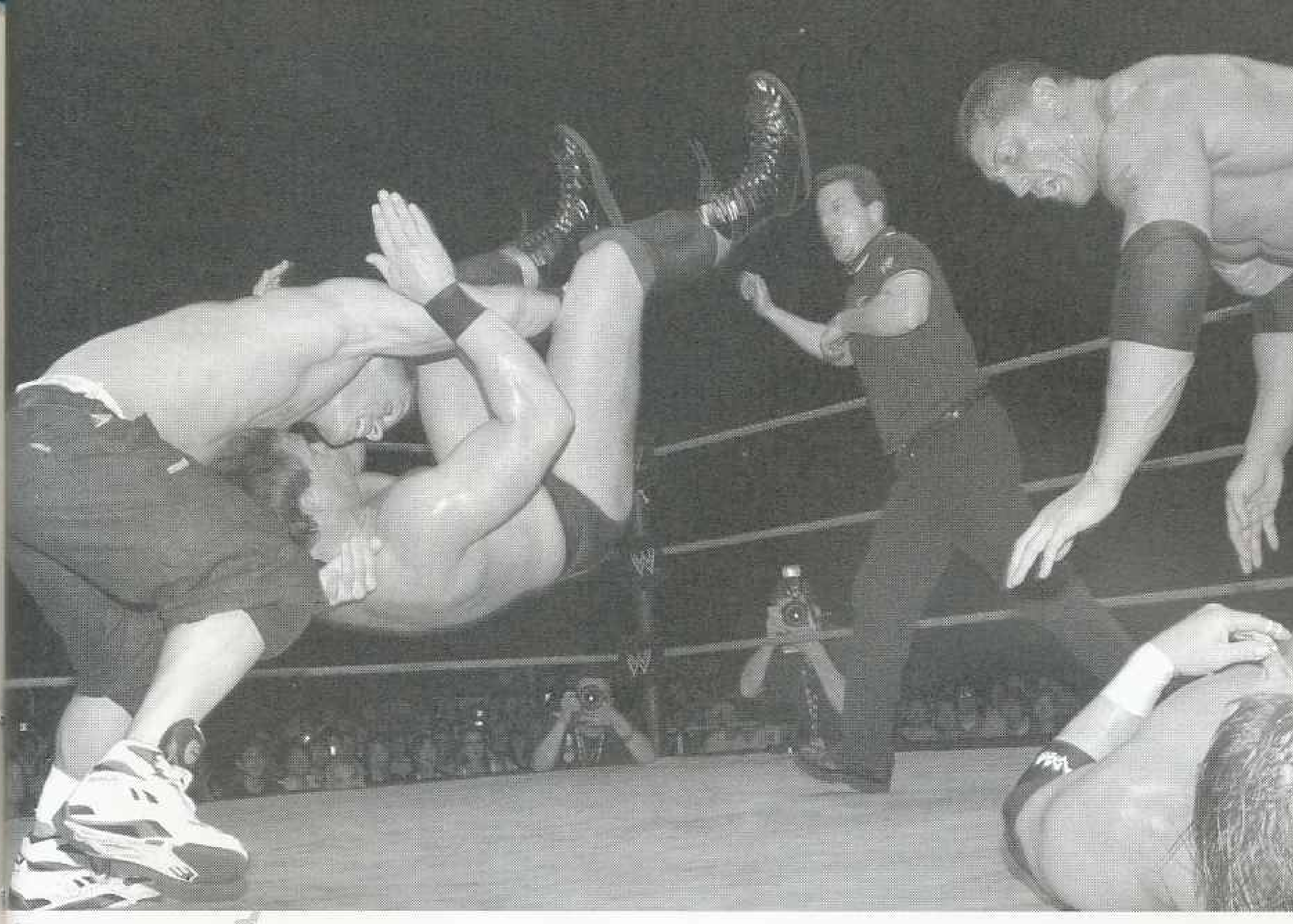
ソロDVD『ジョン・シナ　ワード・ライフ』で見るジョン・シナの横顔はいたずら好きの典型的なアメリカ中産階級のアンちゃんといった風。しかしWWEヘビー級ベルトを奪取し、ラップ・アルバムを堂々リリースした後のシナに会うと……。

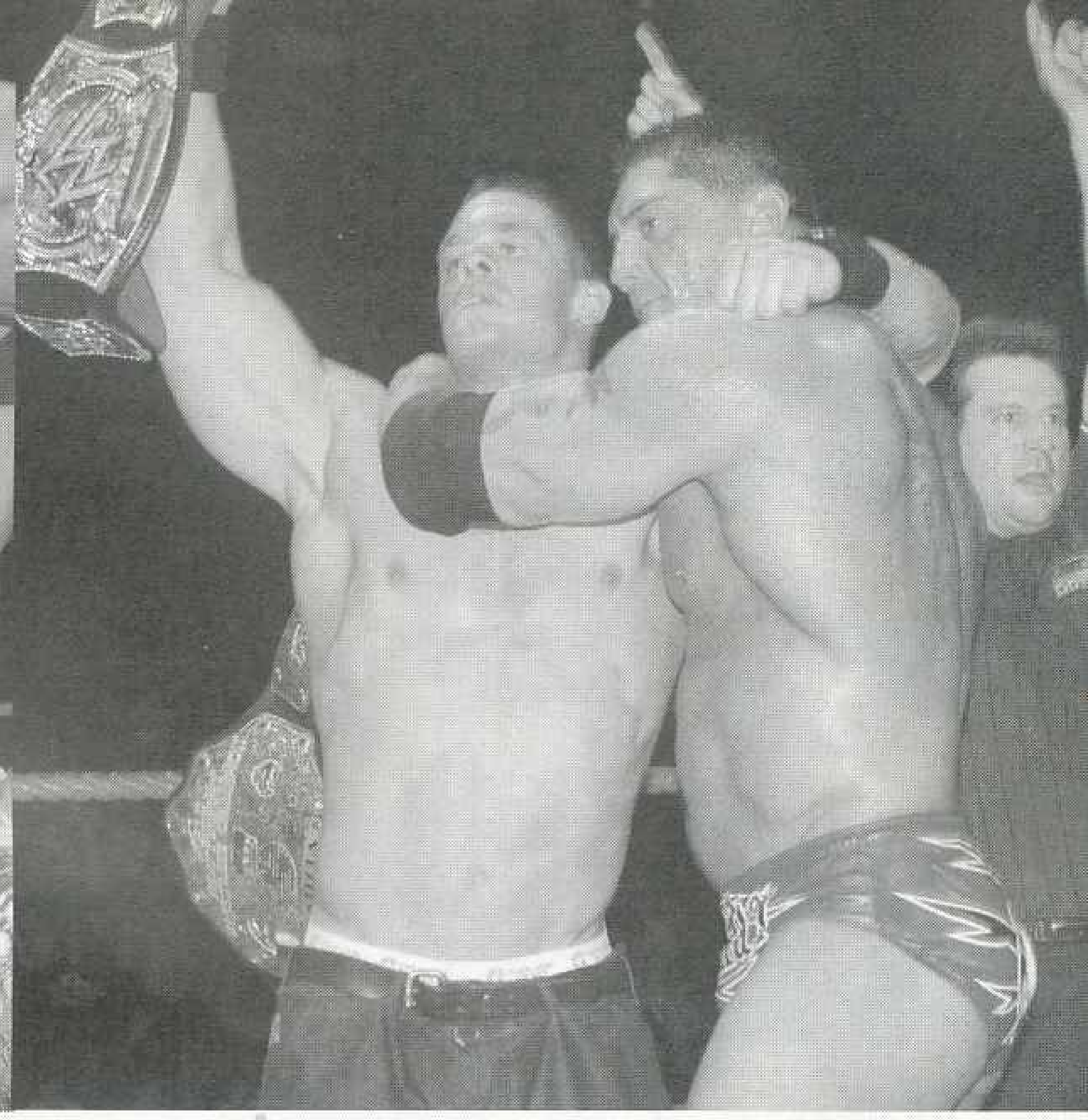
一転して落ち着きのある思慮深い好青年といった印象だった。取材開始は朝の10時。それから新宿タワレコでCDサイン会。ホテルでまた取材を受け、試合会場へ出発という忙しさ。しかしどこに居てもリングの若大将はハッスル、ハッスル（詳細は誌面で）。WWEチャンピオンとしての自覚と気概に満ちていた。目指せ、ミリオンダラー・ベイビー。ザ・チャンプ・イズ・ヒア！

JOHN

ない。お財布の中にはいつも、さっき言っ

ということを証明したくて、このアルバム





PHOTO/George Napolitano

――突然のRAW移籍を聞いて驚いちゃいました。

シナ　僕もビックリ。なにせTVショーの48時間前に言われたんだから。とてもエキサイトしてるけど、とてもナーバスだよ。

――デビュー・アルバム『ユー・キャント・シー・ミー』のジャケットを見ると新しいWWEヘビー級王座のベルトには『SMACKDOWN!』（以下『SMACK』）と書かれたプレートが付いてますよね。

シナ　つまり僕も移籍を知らなかった。今は知り合いの宝石職人に急いで『RAW』のプレートを作ってもらってる（笑）。WWEでデビューした時から僕はずっと『SMACK』の所属だった。『RAW』は番組もファンも僕にとっては未知のものだし対戦相手もよく知らない。何が起こるか自分にも分からないね。

――ビンス・マクマホンは何をあなたに期待しているんでしょう。あなたとバティスタを新しい王者に迎えて、再びビジネスのピークを狙っているのでしょうが。

シナ　WWEを次のレベルに持ち上げること。これまで以上に最高のレベルに置くこと。それが僕のゴールだ。僕はレスリングもするけど音楽も作るし映画にも出てる。レスリングについて何も知らないハリウッドの映画ファンをWWEの会場やTVに連れていきたい。本格的なヒップホップのアルバムを作れば、僕のヒップホップ好きが伊達じゃないことを証明できる。そして〝ヒップホップをやってるWWEってクールじゃないか!〟と感じさせることもできる。違うメディアにも進出して僕に興味を持ってもらうことでファンベースを拡げていきたいね。

――ビンスにとってあなたは一人のタレントなのか。もしくは自己流でWWEを改革していくパイオニアとして期待しているのか。どちらでしょう?

シナ　後者だといいね。ビンスは会社をより大きくしたいと願ってる。僕も同じ野望を持ってることを彼は理解してる。マクマホン家は「ハードワークに代用品はない」（※注：日本の諺ならば〝努力に勝る天才はなし〟か?）という哲学を持ってる。僕も同じ気持ちだ。

――あなたにとってビンス・マクマホンはどんな存在ですか?

シナ　尊敬しているよ。彼と同じビジネスに関わっていることを誇りに思う。僕はこの仕事を〝仕事〟と思っていない。無茶苦茶忙しいけど、好きなことをして生きられるんだから、まるでハッピーじゃないか。ビンスに会わなかったら僕は他の〝仕事〟を何かしなくちゃいけなかった。彼には大きな恩を感じてるね。

――バティスタはマッチョなボディのラフファイターという印象がある。ヒップホップ世代の申し子でもあるシナはどんなレスラーでいたいですか?

シナ　勝ち続けるレスラー!

――愚問だったかなあ（笑）。

シナ　100％のエキサイトメント、エナジー、パッションを感じさせるレスラーでありたい。しかもファッションも含めて自分自身のスタイルを持っている存在でいたいね。僕は自分の人生をWWEに投資している。毎日、自分をリングに捧げてる。失敗はしたくない。

――WWEが提唱する「スポーツ・エンターテインメント」という定義付けをあなたはどんな風に考えていますか。

シナ　僕の辞書には世界最高のアクションドラマ、エキサイトメント、大混乱と記されてるよ（笑）。今やどんな映画やライブを見るにも払ったお金以上の楽しみがあるかどうか、オーディエンスはいつも疑っているだろ?　WWEにそんな心配は要らない。絶対に入場料以上の興奮を約束してみせる。WWEは世界で最高の体験だと思う。そして大きなお金を生む世界でもある。

――あなたは『ザ・マリーン』という映画で主演していますよね（日本未公開）。映画『ミリオンダラー・ベイビー』を見て、僕は本当に感激したんですが、あの映画は見ましたか?

シナ　見たよ。映画でアスリート役を演じるということを僕も経験したしね。あの映画の登場人物の仕事に対する姿勢が好きだ。注文に絶対ノーとは言わない。前途多難なのに夢に向かってトライする姿には大いに共感したね。

――そしてあなたはもうミリオンダラー長者ですか?

シナ　ノー!　ノー!　未だそうじゃない。早くそうなるといいね（笑）。

――28才の若さでWWEを代表するチャンプに輝いているわけです。何か他の映画や小説の題名で、これまでの人生を喩えるとしたら?

シナ　映画でも小説でもないけど、僕の人生はこの言葉に集約できる。ハッスル。モットーはハッスルだ!

――これまた『紙プロ』が好きそうな答えが来ました（笑）。雑誌の「ハスラー」に喩えて?

シナ　そうじゃないよ（笑）。ハッスルは一番大事なことなんだよ。自分の才能を出し切って、それを大きく拡げてみんなに見せる。ベストの自分をキープしなくちゃいけ

JOHN CENA

俺のモットーは「ハッスル」だ！ ベストの自分をキープしなきゃ！

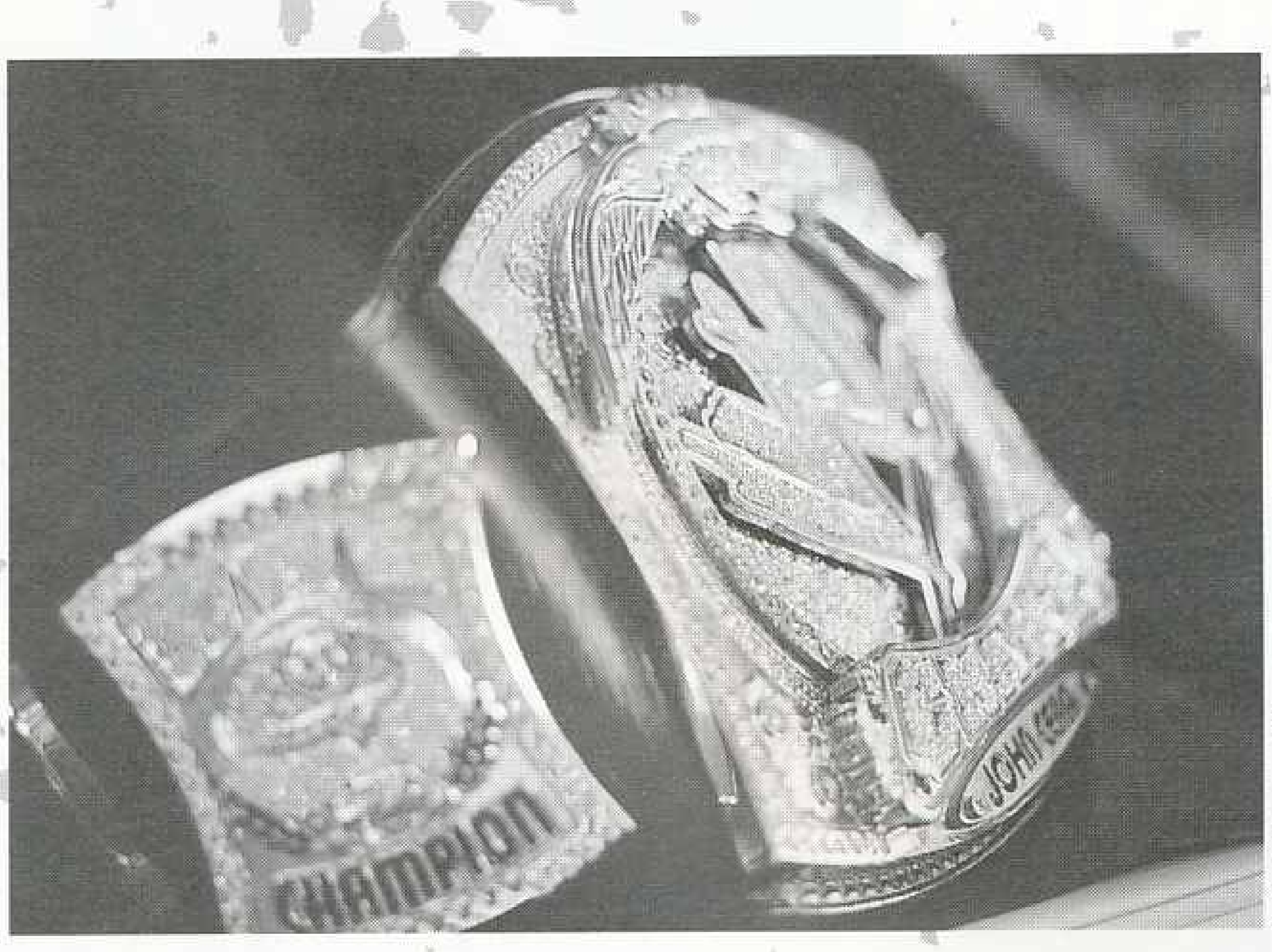
ない。お財布の中にはいつも、さっき言った〝努力に勝る天才はなし〟と書いた紙を入れてるよ。

——真面目なんですね。「一所懸命」が口癖の絶対王者＝小橋建太とかぶってきたなあ（笑）。目の前で右手を振って「ユー・キャント・シー・ミー！」。お得意のポーズは、つまり頑張ってる俺をよく見ろ、ということですかね。

シナ 真相を知りたいかい？ あれはジョークなんだよ（笑）。弟と一緒に自宅でヒップホップのビデオを見ていた。ダンスの中にあのポーズが出てきてね。弟が凄く受けてた。だから僕は弟に〝よし、今度ＴＶに出たら同じポーズをやるからな。そのとき俺はお前のことを考えてるんだぜ〟って伝えた。それが恒例になったんだよ。ヒップホップでは〝ユー・キャント〜〟というフレーズは、俺はお前より一枚上手なんだぜ、という意味になる。それもイケルだろ？ だから僕はあのジェスチャーをして〝俺のネクストレベルにようこそ〟という気持ちでフィフス・ナックルを落とす。

——どういった経緯でアルバム・デビューの話が決まっていったんですか。

シナ リング上でよくラップを披露してた。でも中には〝あいつは本当にラップが好きなのかよ？〟〝本人がラップを書いてるのかよ？〟とやっかみを入れてくる者もいた。僕の音楽への姿勢は作られたものじゃない



『ＳＭＡＣＫＤＯＷＮ！』でまずＵＳ王座を獲得シナは、回るチャンピオンベルトを着用。ＤＪがレコードをスクラッチするようにこすって見せるとファンも熱狂！『WRESTLEMANIA21』でＪＢＬを破ってＷＷＥヘビー級王座を獲得すると、それも回るベルトに！ 問答無用にかっこいいベルトだ。

ということを証明したくて、このアルバムを作った。アルバムを聞いてもらえたら〝本当の俺はこれだ!!〟と分かってもらえるはずだよ。

——アルバムはビルボード初登場12位という素晴らしいセールスを記録しました。やりましたね。

シナ エクセレント！ たくさんの人がこの音楽を楽しんでくれてる。8月にはライブをやるからね。（しみじみと）幸せだなぁ……。

——若大将！ そういえば今日もリング上と同じジーンズの短パンを履いてますね（『ＲＡＷ』に移ってからは黒のショートパンツに変更）。ジーンズの半ズボン姿は80年代末にブルックリンとかクィーンズからマンハッタンに溢れてきたヒップホップ小僧の影響ですか？

シナ そうじゃないな。ヒップホップの流行は日々激しく変わっていくからね。Ｔシャツ、ショーツ、パンプアップするスニーカー。これが俺。俺のスタイルなんだよ。誰に言われたわけでもない。ヒップホップ文化が元々好きだったから、普段着からしてこうだった。売り物のＴシャツのデザインだって、どんどんアイデアを出してるよ。

——真ん中がくるくる廻るＷＷＥヘビー級ベルトも大受けだったし。

シナ あれこそ自分がどうドレスアップするかの証明。タイトルを取ること自体はトラディショナルな行為じゃないか。でも人と違うことをやりたいから廻るベルトのアイデアを考えた。〝こいつ、またオカシなことやってるよ！〟なんて言われたらＯＫなのさ。それが自分のステイトメントになるんだよ。

【05年7月2日、都内ホテルにて収録】

マイク一本で音楽界に殴り込み！ ジョン・シナのあふれる才能をこのアルバムで堪能せよ！

ジョン・シナのデビューアルバム『ユー・キャント・シー・ミー』はじつに素晴らしい。シナの従兄弟・トレードマークと共に作り上げた17曲は本場アメリカでＨＩＰ ＨＯＰのアルバムとして通用するクオリティだからこそ、ビルボードで初登場12位という好セールスを記録したのだ。シナがリング上で披露する〝フリースタイル〟は聞きやすいマイクアピールであって、このアルバムの中で披露するゴツゴツとしながらも跳ねるように耳へと入ってくるラップとは完全に別物だと思った方がいい。シナの入場テーマ曲となっている「ＴＨＥ ＴＩＭＥ ＩＳ ＮＯＷ」や『ＳＭＡＣＫＤＯＷＮ！』でＰＶが放映された「ＢＡＤ ＢＡＤ ＭＡＮ」などプロレスファンも楽しめる曲が満載だ。とにかく聞いてみるといい。ロック様もプロレスだけにはおさまりきらない才能の持ち主だったが、このアルバムを聞けばシナにも同じような才能を感じることができるはずだ。これマジ！

（坂井ノブ）



シナのベルトがドーンとデザインされたジャケットが目印！ ジョン・シナ・アンド・トレードマークのアルバム『ユー・キャント・シー・ミー』（定価￥2520）はＳＯＮＹ ＭＵＳＩＣ ＪＡＰＡＮより絶賛発売中！

ネタバレ情報密売団F・B・Iプレゼンツ

ネタバレ通信 Vol.25

今年のハウスショーはレッスルマニア級だった!?

何時男　さあ、今月はまず日本大会を振り返りましょうか!

叙似位　今回はちょっと観客動員が渋かったですねぇ。特に初日は上の方の座席が空いてたからヒヤヒヤしましたよ。上の方の座席の人を前に移動させたり、いろいろやってたみたいですよ。

派乱暴　TV中継がなくなった途端に、こんなに動員が落ち込むとは……意外でしたね。

叙似位　内容は面白かったと思いますよ。まあ、スーパーショーだったからという部分は大きいですけどね。『RAW』とか『SMACKDOWN!』の単独ショーだったら、ちょっとキツかったでしょう。ハッキリ言って、「TVショーだから面白い」というのは幻想だと思うんですよ。2月の日本大会も、O.A.を見たらかなり大味な内容でしたからね。

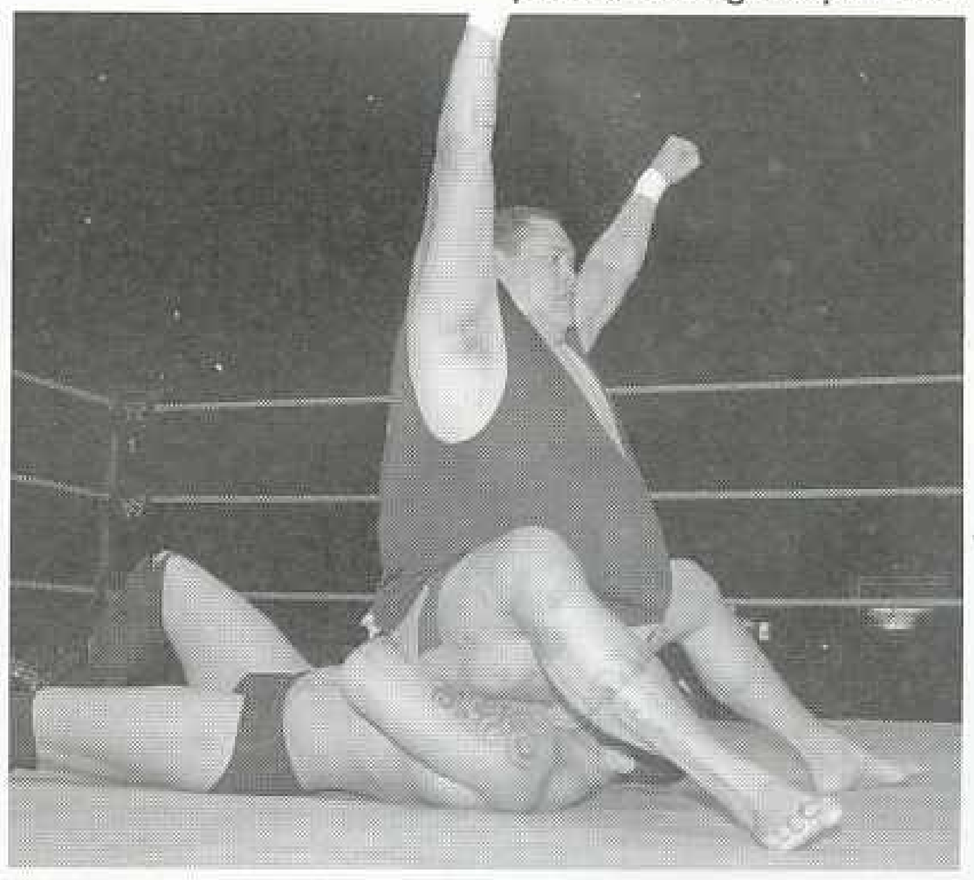
何時男　大味といえば、遂に日本でプロレスデビューした曙ですけど……。

叙似位　派乱暴さんは曙を大絶賛してましたよね?

派乱暴　最高でしたね（キッパリ）。特に初日は大会のMVPでしたよ!

何時男　まあ、完全に異物ですから普段以上に目立ってましたよね（笑）。2日目の試合も、フィニッシュのスポットだけで、あとは曙以外の3人が延々と試合を作っていくという（笑）。

叙似位　あの試合を作ったビッグ・ショー、カリート、マット・モーガンは、あのバロでしたねぇ。特にモーガンはプロでしたねぇ。特にモーガンは、あのバンザイドロップをよく受けたと思いますよ。曙は全体重を乗っけてケツの落としてましたからね、あんなにエグいバンザイドロップは初めて見ました（笑）。それに巻き投げはきれいだったなぁ。



photo／George Napolitano

何時男　元横綱の投げはさすがにキレがあってよかったですね。

派乱暴　ただ、初日のコスチュームの浴衣はすごくよかったのに、2日目は意味不明でしたね。もっと和風で相撲を強調したコスチュームだったらよかったのに。

叙似位　僕はロージーのようなコスチュームでも良かったと思いますよ。ファンが「あ、ロージーだ!」と思ったら、なぜか曙だったという（笑）。観客も「曙はWWEが好きなんだなぁ」と納得出来たと思います。

何時男　大会全体としてはいかがですか?　4時間近い長時間だったわけですけど。

叙似位　日本に来る前に大会をやった韓国よりも声援がかなり大きかったみたいで、スーパースターズはみんな張り切って試合をエンジョイしてたという噂です。日本大会の初日は韓国大会とほとんど同じカードだったんですよ。勝敗もほとんど同じなのに、試合のノリは全然違ったみたいです。アメリカのハウスショーだって4時間もやらないのに。

派乱暴　ファンクラブのイベントも良かったですよ。特にケインは最高でした。

叙似位　質問されたことに普通に答えてましたよね（笑）。

何時男　怪物キャラは?

派乱暴　まったく出さずに、普通に話してましたよ。キャラとのギャップがすごくて面白かったです。

叙似位　ただ、子供は怖がってましたけどね（笑）。さすがにWWEのカメラ・クルーも撮ってなかったですよ。まあ、あんなにこやかなケインの姿は撮れないんでしょうね。

何時男　ケインは試合もよかったですよ。特に、アンダーテイカー&ミステリオと組んだ2日目の6人タッグは最高!

叙似位　一本の映画を見ているような感覚になりましたよね。本当に絵になったよなぁ。

派乱暴　また来年2月の来日は内定したみたいですけど、次は何をやるんですかねぇ。

叙似位　また、さいたまスーパーアリーナでやるんですか?　1年前には「日本全国を縦断する」とか息巻いてましたけど、また力を付け直さないと厳しいんじゃないかなぁ。

何時男　厳しいですよねぇ……『週刊ファイト』によれば、WWEはマフィアと抗争が始まるみたいだし（笑）。

派乱暴　カリートの父親であるカルロス・コロンと交友のあるプエルトリコのマフィアが、WWEに興味を示しているという記事でしたけど。ビンス危うしですね!（笑）。

何時男　いま、プエルトリコ・マット界の情報を一面で読ませてくれるなんて、ホント貴重な媒体ですよ（笑）。あと、大会前日の某夕刊スポーツ紙に「RAW&SMACKDOWN!のガチンコ対決」ってコピーの広告も載ってましたけど（笑）、今回のツアーはあおり方を完全に間違えてるなぁという気がしてしょうがないですよ。本当にもったいない。

叙似位　W-1の広告と間違えたんじゃないですか?（笑）。WWEってガチンコとは無縁の団体なんですけどね。

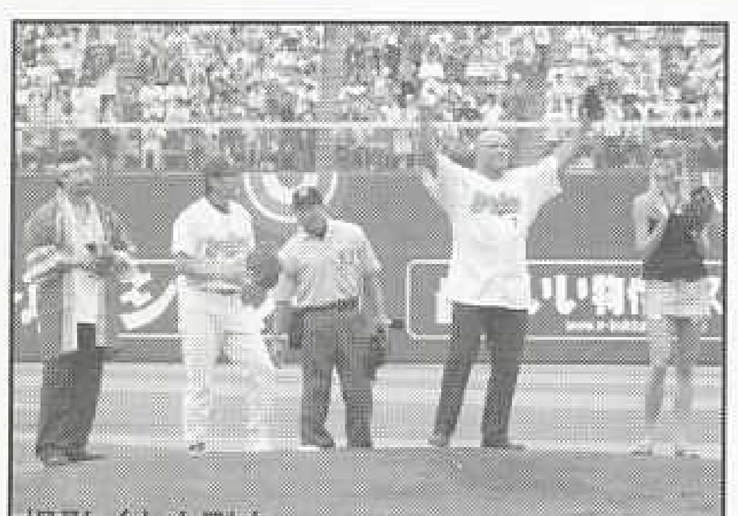
派乱暴　もう黙ってても動員できるような状態ではなくなったということですね。ただ、これが2日間じゃなくて1日だけなら超満員札止めになったはずですよ。

何時男　そういえば今回は花火が一発もなかったですね?

派乱暴　今回の来日が決まった時点で「アメリカのハウスショーとまるっきり同じものをそのまま持ち込もう」ということが決まったらしく、別にチケットの売り上げが芳しくないから花火をなくしたというわけではないみたいですよ（笑）。

叙似位　「ハウスショーの凄みを見せよう」ってことですね。

WWEスーパースターが横浜スタジアムで始球式!



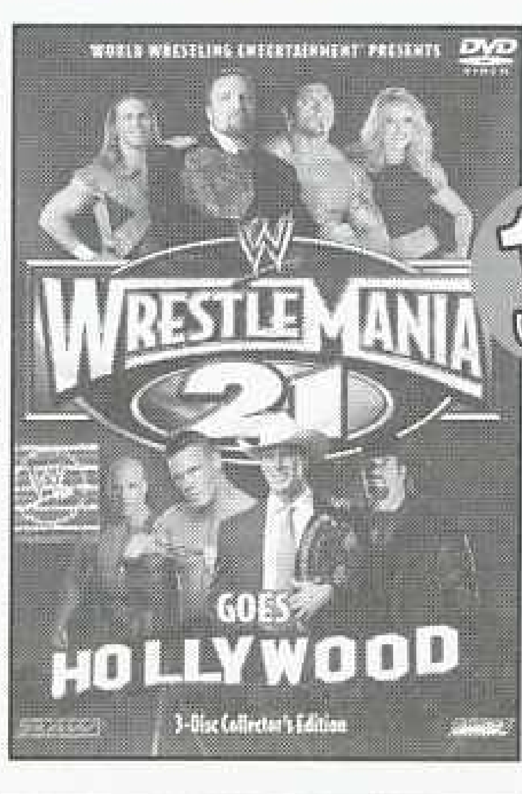
撮影／丸山剛史

2日、WWEスーパースターのカート・アングル、ステイシー・キーブラ、タジリらが横浜スタジアムで行われた横浜ベイスターズ×阪神タイガースの試合前に始球式を行った。

今月の新作DVDは超豪華3枚組です!　1名様にプレゼント

WWEの年間最大イベントは言うまでもなくWRESTLEMANIA!　世界中のプロレスイベントの頂点に君臨する豪華絢爛なる大舞台だ。今年は4月3日にLAのステープルセンターで行われ、日本から曙も参戦して大いに話題になった。今月の新作『レッスルマニア21』は全試合の模様、さらにホーガン、ロディ・パイパーらが殿堂入りして、シルベスタ・スタローンも駆けつけた式典の模様を特典DVDに収録。映画のパロディで話題になったWRESTLEMANIAのCMも完全収録!　これ以上ない豪華な3枚組DVDを1名様にプレゼントします!

提供■ユークス



『レッスルマニア21』（定価￥9240）
本編233分＋特典189分の3枚組。
絶賛発売中!

※このページのプレゼント応募方法はP157を参照!!

いろいろあったWWE日本ツアーの興奮もさめやらぬうちに相次ぐ衝撃がWWEを襲った。大量解雇、ドラフト、そしてもめていた大物たちの帰還……。ちなみに、WWEさいたまスーパーアリーナ大会の観客動員は7月1日が9500人、同2日が12500人と同所での過去最低となった他、4月30日まで四半期の総売上も11億8300万ドルと落ち込み(昨年の同四半期は12億6700万ドルだった)と、非常に状況は厳しい。どうなるWWE!?

■F.B.I.とは「踏み込んだところまで・バラしちゃって・いいかな?(いいとも!)」の略。何時男(なんじお)はプロレス業界の末端に潜伏中、叙似位(じょにー)は桁外れのパワーで圧倒的な情報量を誇り、派乱暴(ぱらんぼ)は裏方さんとしてWWEに携わる、WWEとアメリカンプロレスを愛してやまないズッコケ3人組だ。

何時男　それで4時間興行になった、と(笑)。

叙似位　今年のレッスルマニアも4時間でしたからねぇ。レッスルマニア級のハウスショーだったんじゃないでしょうか。

派乱暴　曙も出たしね(笑)。

大量解雇、大物復帰、ドラフト、そしてマットの電波ジャック!?

何時男　なんか大事件が発生したみたいですね。

叙似位　そうなんですよ。日本ツアーの後、『RAW』にマット・ハーディーが乱入してきたんです。

派乱暴　え〜っ!?

叙似位　リタがバックステージでプロモ映像を撮ってたら、マットが殴りこんできて、止めに入ったジョニー・エースを「お前、地獄に落ちろ!」って罵倒するという事件があって。ジョニー・エースの慌て方も尋常じゃないんですよ。さらにマットはスニッキーとケインの試合が終わった後に乱入してきて、リタに向かって「この売女! 絶対にいい死に方をしないぞ!」って。挙句の果てに「WWEなんかクソ食らえ!」ってマイクしたらしいです。しかも、WWEのHPでは、その事実に何も触れてないんですよ(笑)。生放送中の電波ジャックなのか、斬新なアングルなのか、さっぱり意味が分からない。

何時男　すごいですね! それにしても、WWEのHPでは、最近いろいろなネタが流されてますよね。裁判にまでなったブロック・レズナーとの再契約交渉の過程を写真付きでアップしたり。

派乱暴　あと、契約解除になった選手のコメントをアップしてましたよね。

叙似位　それぞれいろんなコメントを出してますけど、スパイク・ダッドリーはWWEのことをボロクソに言ってましたね。マーティ・ジャネッティは飲酒運転で逮捕みたいです。

photo／George Napolitano



何時男　まあ、それは解雇もやむなしですね(笑)。

叙似位　メイヴェンが小学校の先生に戻るって噂ですし、ドーン・マリーは妊娠してるそうです。シャノン・ムーアはTNAでハーディーズと合流するみたいです。ダッドリーズはギャランティで折り合いがつかなかったという話ですから、また戻る可能性はありますね。

派乱暴　ECWのPPV『ONE NIGHT STAND』には出てましたよね。

何時男　あれはいい大会だったなぁ〜。

叙似位　「WWEとは絡みたくない」ってポール・ヘイマンも言ってましたけど、結果的に面白い絡ませ方をしましたね。ブルー・ミーニーとJBLが大乱闘を繰り広げるというオマケもあったりして(笑)。じつは、この2人は98年にもめてるんです。

派乱暴　リング上の乱闘でもあの2人だけは本気で殴ってる感じだったもんなぁ(笑)。

叙似位　それをうまく転がして、『SMACKDOWN!』にbWoが出てきたりしてますから、良かったんじゃないですか? しばらくしたら、またECWのPPVをやると思いますよ。

何時男　ドラフト直後の大量解雇ですけど、これでWWEが大きく生まれ変わることになりそうですね。

叙似位　『RAW』の放送局もUSAネットワークに変わるし、『SMACK』は金曜日の他チャンネルが強い時間帯の放送になるんです。戦力もかなり『RAW』に偏ってる印象なので、かなり格差がついちゃいましたね。あとは脚本家の腕の見せ所だと思いますよ。脚本チームも入れ替わってて、女性ライターが増えたとか。OVWもジム・コルネットが解雇になって、代わりにポール・ヘイマンがストーリーを作ってるみたいで、非常に面白くなりそうなんですよね。

何時男　もう、何が起こってもおかしくない状況ですね。

派乱暴　ひょっとしたら、曙が来年のレッスルマニアでベルトに挑戦してるかもしれないですよ!

何時男　いや、それはさすがにないと思います(笑)。

【05年7月某日、都内某所にて収録】

ひと目で分かるWWEの変革の嵐

<契約解除>

ジョーイ・ジオバンニ
ケンゾー・スズキ&ヒロコ
マット・モーガン
チャーリー・ハース
ジャッキー・ゲイダ
マーティー・ジャネッティ
ドーン・マリー
マーク・ジンドラック
メイヴェン
シャノン・ムーア
ジミー・ヤン
ガングリル
ビリー・キッドマン
スパイク・ダッドリー
モーデカイ

<ドラフト>

RAW
※ハルク・ホーガン臨時参戦

SMACKDOWN! → RAW:
バティスタ
ランディ・オートン
クリス・ベノワ
モハメド・ハッサン&ディバリ
サイモン・ディーン
ウィリアム・リーガル
スティーブン・リチャーズ
シルヴァン・グルニエ

RAW → SMACKDOWN!:
ジョン・シナ
カリート
カート・アングル
ビッグ・ショー
ロブ・ヴァン・ダム
レネ・デュプリ
チャボ・ゲレロ
ダニー・バッシャム

SMACKDOWN!

WWEファンクラブはマニアも満足する特典が溢れんばかりに詰まっている

世界で唯一のWWEの公式ファンクラブであるWWEファンクラブはチケットの優先予約販売、オリジナルグッズの独占販売、オフィシャルサイトの会員限定ページへのアクセス、ファンイベントへの参加特典など、様々な特典がついてくる!

☆WWEファンクラブの会員特典
1. メンバーズカードの発行
2. 会報誌「RAW MAGAZINE」日本語版の発行(年6回隔月発行)
3. WWE来日時のチケット最優先予約受付(応募が予定枚数を上回った場合は抽選となる場合がある)
4. 会員限定のWWEグッズ販売
5. スーパースターズ来日時にファンクラブ会員を対象とするイベントの開催
6. メールマガジンの配信(携帯メール不可)

入会案内・手続き・お問い合わせはWWEファンクラブまで。
http://www.wwefanclub.ne.jp/

今回はWWEファンクラブ限定商品を特別にプレゼント!

提供■WWEファンクラブ

5セットで5名様に読プレ



WWE手ぬぐい
WWEファンクラブが作成した市販されていない特製のWWE手ぬぐい!レアです!



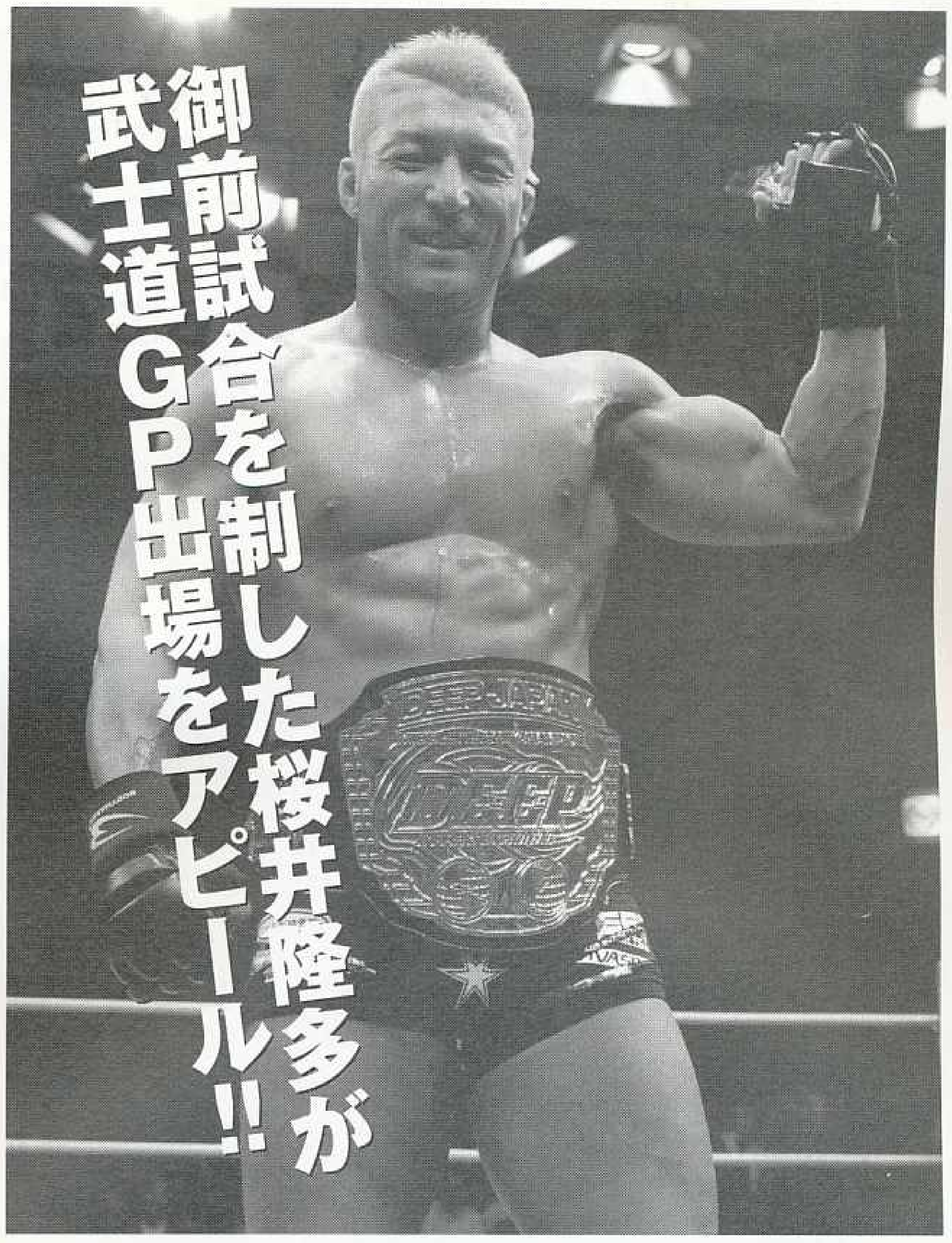
WWEうちわ
WWE新時代を牽引していく王者となったジョン・シナとバティスタがプリントされた堂々たるうちわ。

※このページのプレゼント応募方法はP157を参照!!

2005・7・8

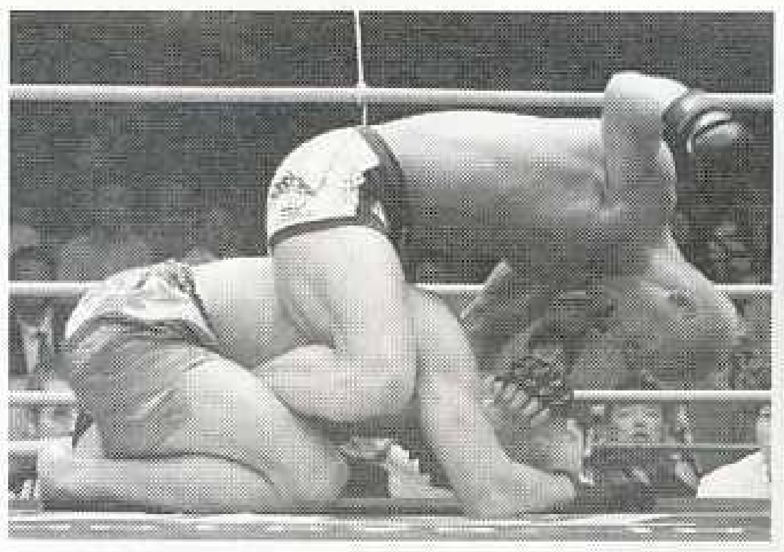
DEEP 19th IMPACT

東京・後楽園ホール

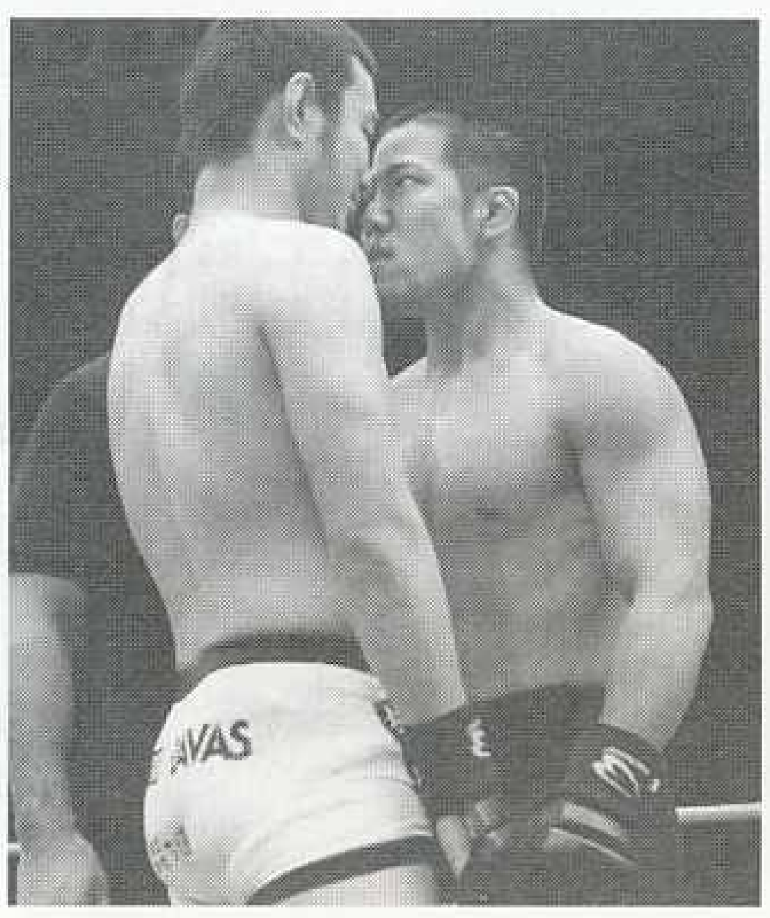


御前試合を制した桜井隆多が武士道GP出場をアピール!!



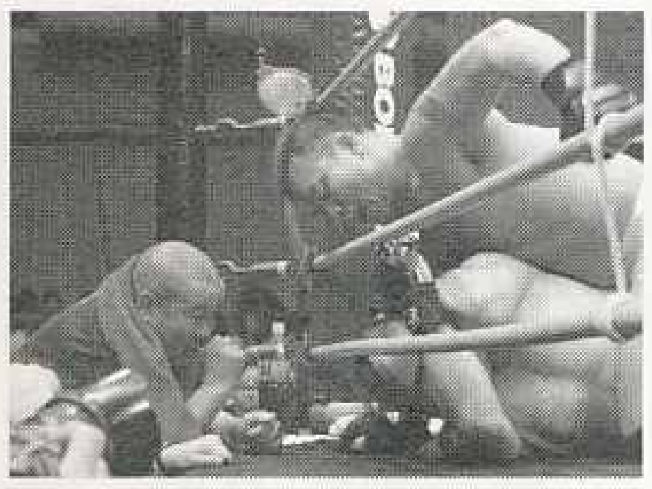


武士道GPへ向けての重要な一戦となった茨城県人対決。滑川康仁には美濃輪がセコンドについた。桜井は滑川のタックルをカブリ、立ち際にフックでダウンを奪うとマウントへ。逃れようとする滑川の腕を取り腕十字で勝利した。マイクを握ると「PRIDE武士道のトーナメントに出たいと思います。まだ決まってませんが、皆さんの声援があればできると思います」とアピールした。





修斗新人王・帯谷は、同じく木口道場の五味隆典をセコンドに登場。パンクラスのランカー長谷川を荒削りな特攻ファイトで圧倒し判定をモノにした。「練習で死ぬ思いしてたんで試合は楽でした。木口先生の方が強いかなって。誰も自分と試合したがらないみたいですけどメド根性モってついてる人とやれたらいい」と三島に宣戦布告。



元全日本キックヘビー級王者・力王は関節技を学ぶため藤原組長に弟子入り。一方、入江秀忠は組長を意識し『UWFのテーマ』&レガースで登場した。開始早々タックルに成功した入江が、何発ものマウントパンチを振り下ろし圧勝。試合後はVTで敗れたU戦士たちの敵討ち宣言や、大向美智子に愛の告白をするなど入江劇場を展開した。



103キロ契約にもかかわらず、前日の計量で契約より4キロもオーバーしていた“忍者”アンソニー・辰治・ネツラー。出場も危ぶまれ、ある意味試合より注目されたが、なんとか102.8キロでクリア。肝心の試合はというと、急激なダイエットが災いしたか、桜井隆多とのスパーで鍛えた大堀竜二の猛打であえなく轟沈してしまった。



金子真理の引退試合は、2月にドローで終わったしなしさとことのリマッチとなった。目まぐるしく変化する攻防は、判定でしなしが勝利。引退セレモニーで金子は「今日は勝って終わりたかった。これからも空手はやめません。立派な指導者になれるよう頑張ります」と涙ながらに語った。しなしは辻結花が初代ライト級王者に輝いたことに対して「私の（優勝）は何だったのかなって」とスマックにガブリ！

リングサイドには、髙田延彦PRIDE統括本部長の姿があった。『PRIDE武士道』運営の中心人物であるDSE加藤専務、それにもちろん佐伯繁DEEP代表も。

そんな7・8『DEEP』後楽園大会の光景が意味するものが何かといったら、当然、『武士道御前試合』である。会場には美濃輪育久、五味隆典、長南亮といった『武士道』ファイターも来場、〝準・武士道〟的なムードが色濃く漂っていた。

これがいまのDEEPのありようである。ここで活躍すれば『武士道』出場の可能性が高まるという査定の場。そういう大会として、いまのDEEPは実にうまく機能している。具体的な〝ニンジン〟をぶら下げられたことで選手のモチベーションが高まっているのは疑いようがないし、見る側にも観戦の確かな視座、〝軸〟のようなものができる。

実際、今大会の試合内容は『武士道御前試合』として充分なレベルの高さを持っていたといっていい。セミでパンクラス・ウェルター級2位の長谷川秀彦を下した帯谷信弘（これがDEEP2戦目）の特攻ファイト、その前のめりなハートと闘いぶりには目をクギ付けにさせるだけのものがあった。パウンドを狙う帯谷と、下から関節を絡め取ろうとする長谷川、両者の個性が見事なまでに噛み合っていたのも熱戦の要因だろう。

メインはDEEPミドル級王者・桜井隆多と滑川康仁という、『武士道』経験者同士の対戦。接戦が予想されたこの試合だが、1Rで桜井の一本勝ちとなった。体幹部の力とでもいうのか、際（きわ）の攻防で相手をねじ伏せる桜井のパワーは一級品だった。意地と意地とがぶつかり合う日本人対決を鮮やかに制した桜井がマイクで『武士道GP』出場をアピールしたところで、今大会は終了。実によくまとまったエンディングである。

面白かった。いい大会だったと思う。決して不満はない。が、不満がないのと満足したのとでは微妙に違うのが難しいところ。いい大会ではあったが、DEEPらしかったかといえば「……」ということだ。修斗でもない、パンクラスでもない、純格闘競技からはみ出した部分がDEEPの魅力のはずなのだが、今大会でのそれが入江秀忠vs力王では、やっぱり満足はできないというもの。「昔みたいにルチャを出してよ」というのは簡単すぎるかもしれない。そんなことは佐伯代表も分かってはいるんだろうし「いまのDEEPはこれなんだよ」と言われれば確かにその通り。でもねぇ……。

この〝……〟の部分にこそ、DEEPの肝があると思うんだが、どうだろうか。

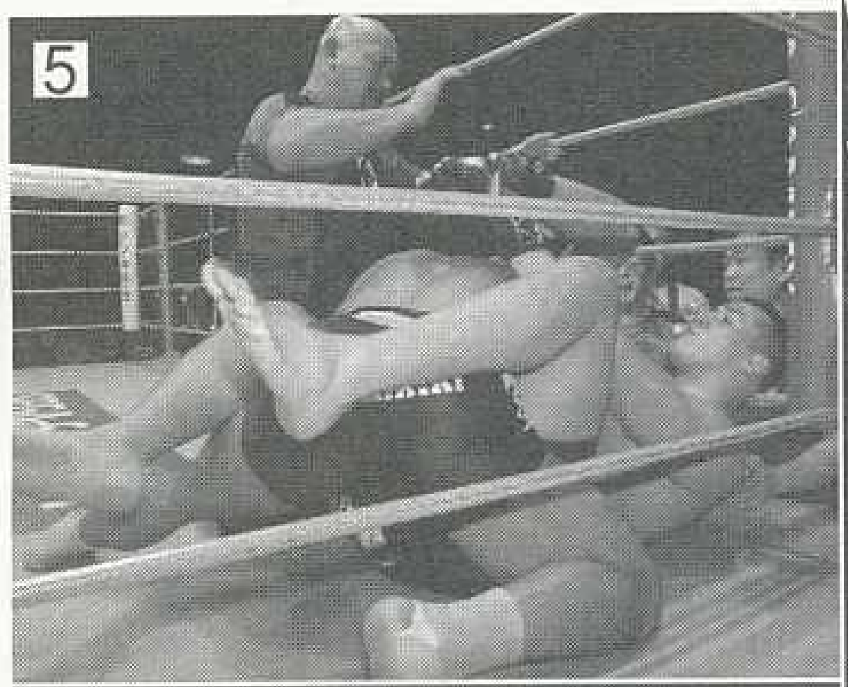
（橋本宗洋）

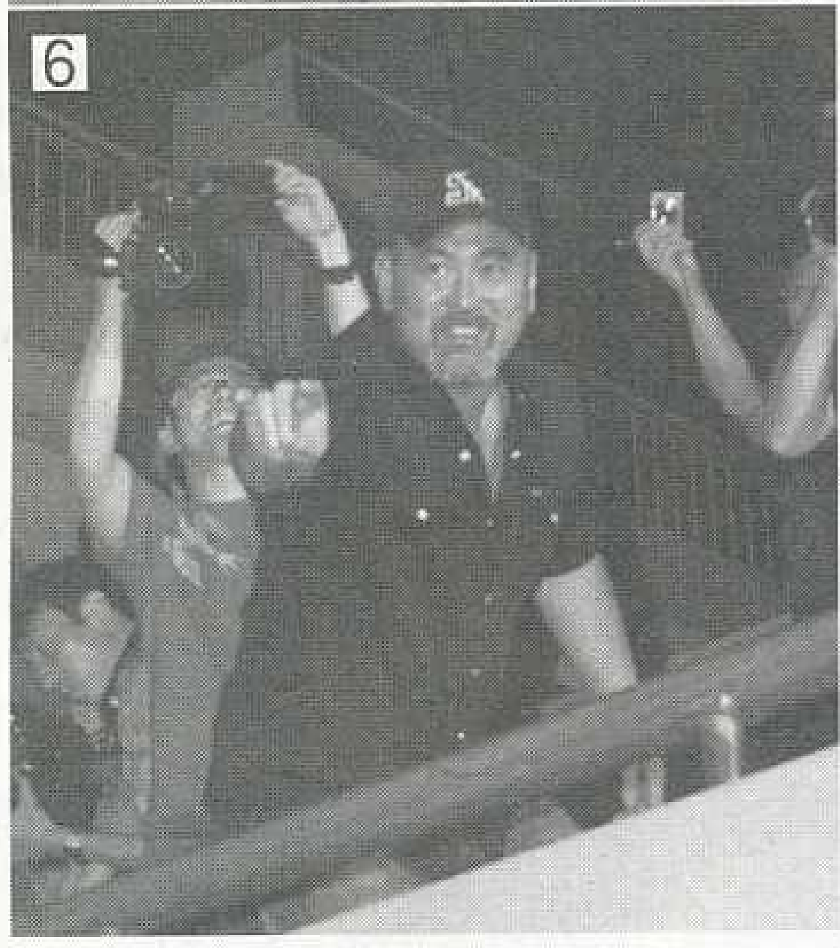
DEEP vs GRABAKAの全面対抗戦!!
『DEEP 20th IMPACT』

■日　時　9月3日（土）
試合開始　17:00（開場開始16:00）
■会　場　東京・ディファ有明
■チケット　VIP（最前列）￥15000
SRS席 ￥10000
指定A席 ￥8000
指定B席 6000
指定C席 ￥5000
■HP http://www.deep2001.com/

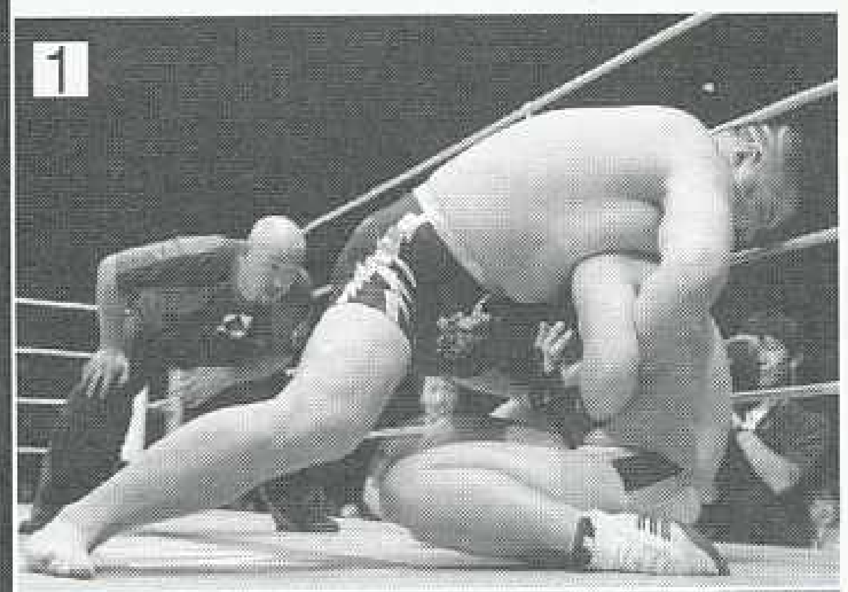
7・10パンクラス
横浜文化体育館

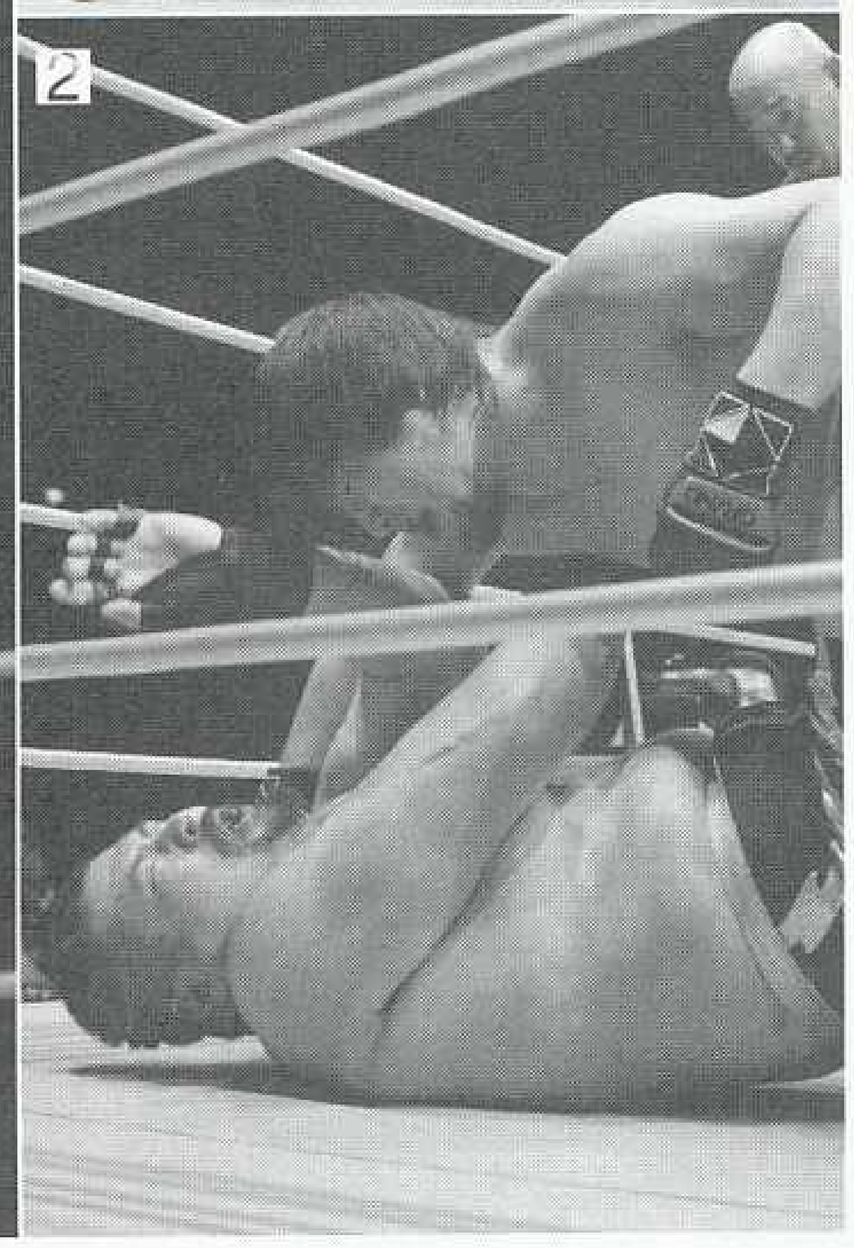
一番光ったのは、この男 佐藤光留だーッ!!





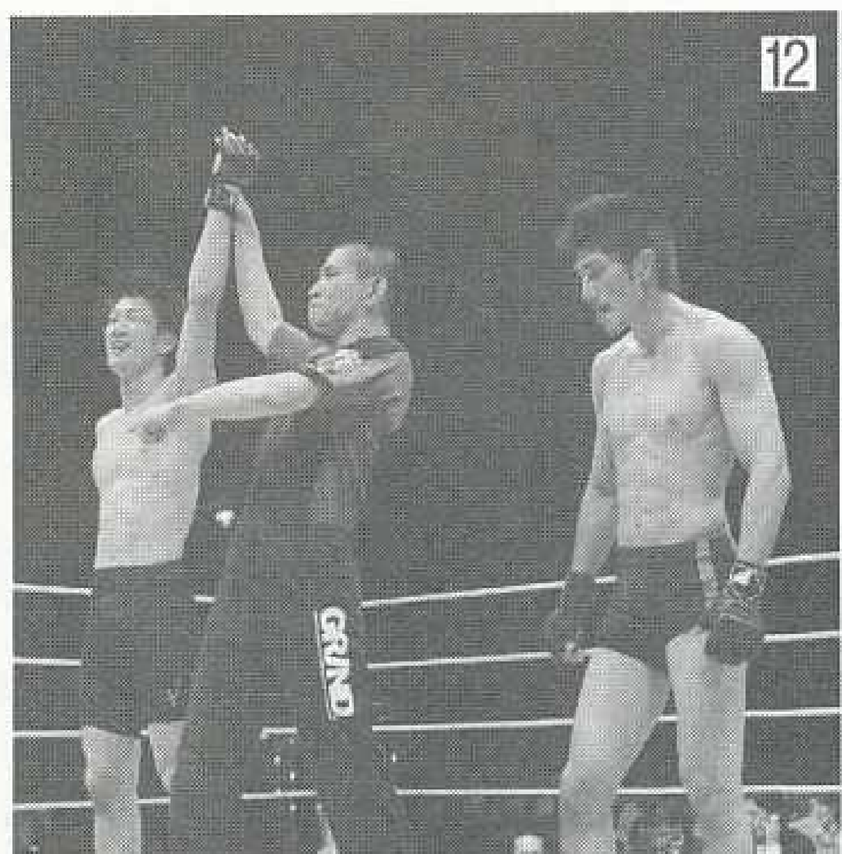


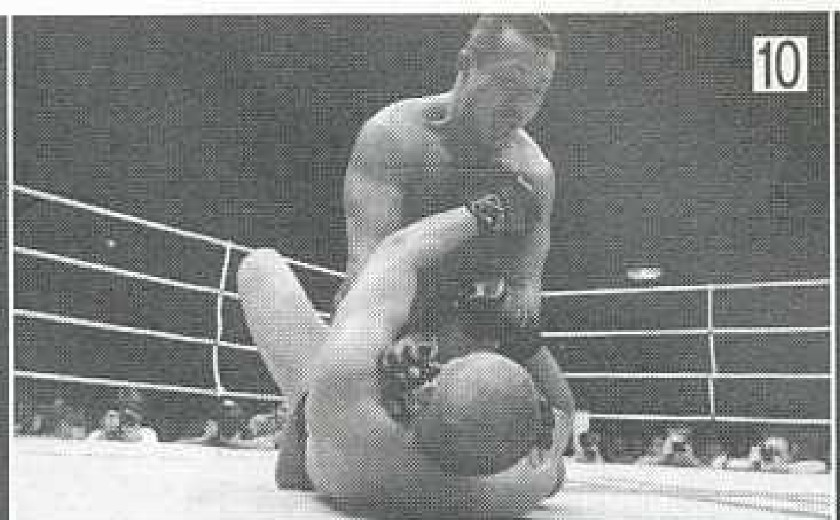




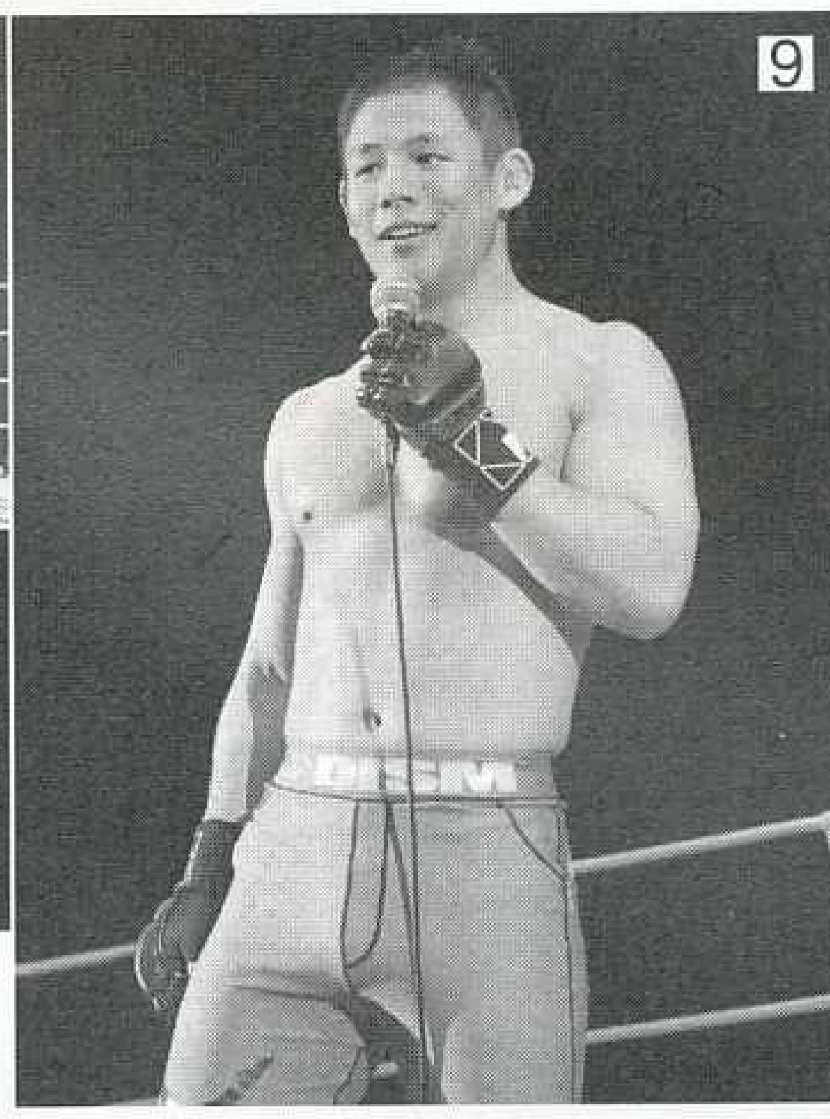
新生パンクラスの船出（by尾崎社長）

“勝つパンクラス”実証!!

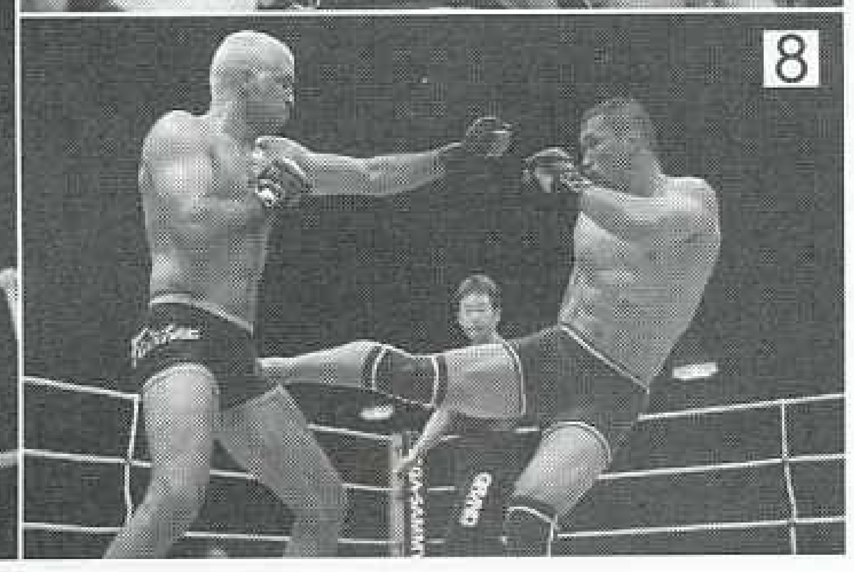












1 2 3 4 7 体重差60kgという超無差別対決に挑んだ佐藤光留。重いだけでなく198cmという身長も驚異なチーム玉海力の大巨人・小椋。ローを連打する佐藤にのしかかる小椋、フロントチョークで佐藤の首に猛烈な圧力をかけていく。しかしこれを抜いた佐藤ががむしゃらパンチ連打からマウントへ、最後はスリーパーで見事勝利!! マイクを持った光留は「オレが命をかけて守ってきたパンクラスの看板、適当なヤツに渡しやがって。前の試合に負けたヤツ、玉海力、俺と勝負だ! これは格闘技じゃない、男と男の真剣勝負だ。俺はパンクラスismの佐藤光留だ!!」5 6 元全日本・河野が総合初挑戦で玉海力と激突。武藤敬司のテーマのリミックスで入場した河野はギロチンからアームバーに移行し一本勝ち! 試合後、プロレスLOVEポーズを決めると観戦していた武藤も笑顔で応えた。8 高田道場の松井大二郎がパンクラス初参戦。エルビス・シノシックと対戦した松井だったが両者とも決め手はなく三者三様のドロー。9 セミでトーマス・シュルツと対戦した北岡がグラウンドでヒールホールドを鮮やかに極め秒殺! マイクを持った北岡は『HERO'S』で修斗王者の菊地昭に秒殺された同階級の暫定王者、井上克也に対戦をアピール。10 11 殴り合いが期待された高橋義生vs桜木裕司戦は、打撃を捨てた高橋がパンチを食らいながらも2Rにアームバーを極め桜木に勝利。12 5月の横浜大会で大々的に参戦が発表された元修斗ウェルター級1位の今泉。対戦の予定だった宮川博孝が欠場となり、急遽参戦となったD.J.takash相手に手こずった今泉。最後まで決定打が出ないまま、判定3-0でD.J.に敗れる大波乱。

見所は多かったけどやっぱり凄かったのは佐藤光留。60kg差対決などという、普通に考えて命の危険がある試合を組まされた上、一本取って「己の信じるもの」を守り抜いた。素晴らしかった。本人も「死ぬかと思った」と語っていたが、小椋のフロントチョークは相手の体重が全部首にかかっているようで、見ているほうが「首の折れる音なんて聞きたくない」と本気で思うほどだった。当たり前だが、あんなに体重差のある対決はあぶない。

パンクラスアテナ、メガトン離脱、チーム玉海力。そして7・6『HERO'S』での、パンクラス暫定王者・井上克也の秒殺一本負け。いろいろある中「パンクラスの未来」と、新たなことを始めるのにつきまとう「矛盾」を引き受けているのは、今のところ「パンクラスｉｓｍ」という、これまたど真ん中な名称のチーム名に所属する佐藤光留であり、北岡悟である。この2人が揃って勝ったということは、明るい希望ではあるけれど、パンクラスの混沌とした状態はまだ続くということでもある。

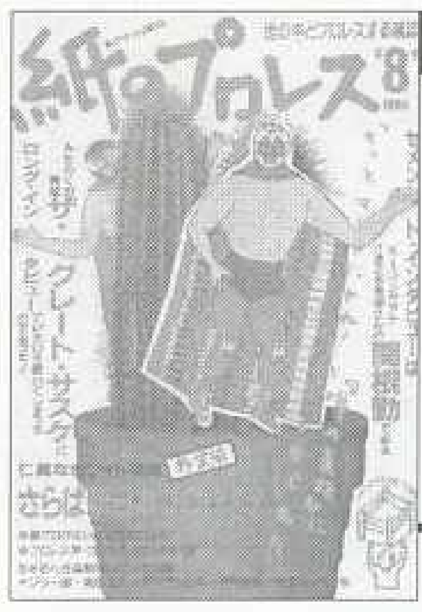
〝勝つパンクラス〟の言葉を守るということだけではなく、団体の名を背負って闘っている以上、負けられないのは当然のことだ。それでも、どんな状況であろうとベストを尽くし、会場のお客さんの期待に答えつつも自分のやりたいことをやりきって、自分こそがパンクラスを背負っていくんだと宣言した、この日の佐藤と北岡には拍手を送りたい。

何も背負わず、自身のためだけに闘うことは簡単だ。だけど、あえて団体の名を背負うと宣言する選手がいる。団体の光は、支える選手の輝きで決まる。そして、あえて背負うと宣言して勝ったとき、その選手にさらなる輝きが加わるのだ。（ささきぃ）

SEGA SAMMY Presents
PANCRASE 2005 SPIRAL TOUR

日時 7月31日（日）試合開始12:00（開場11:30）
会場 東京・後楽園ホール
対戦カード
【フェザー級戦 5分3R】
前田吉朗（パンクラス稲垣組）vs コリン・マンサー（チーム・シュクライバー）
【フェザー級戦 5分3R】
志田幹（パンクラスP'sLAB東京）vs イヴァン・メンジヴァー（トリスター・ジム）
【ライト級戦 5分3R】
矢野卓見（烏合会）vs クンタップ・ウィラサクレック（ウィラサクレックジム）
【ヘビー級戦 5分2R】
桜木裕司（掣圏会館）vsアスラン・デゼボエフ（マルプロジム）
【ライト級戦 5分2R】
NUKINPO!（パンクラスP'sLAB東京）vs 滝田J太郎（和術慧舟會東京本部）
【ライト級戦 5分2R】
井上和浩（インプレス）vs飯田崇人（和術慧舟會A-3）
出場予定選手 竹内出（SKアブソリュート）
問 パンクラス 03-5792-0815
HP http://www.pancrase.co.jp/

本誌 Back Number



no.08　'94.01

特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！ 20ページにも及ぶ大特集！

50% OFF

700yen⇒350yen



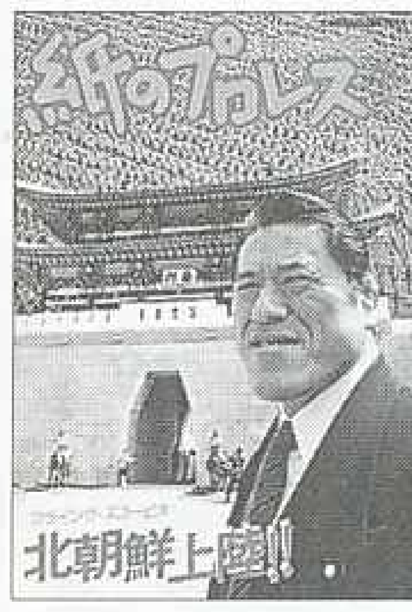
no.14　'95.04

特集 神秘とは何か？

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

50% OFF

780yen⇒390yen



no.17　'95.07

特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！　アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

50% OFF

780yen⇒390yen



no.13　'95.03

特集 道場破りとは何か？

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／『平成ファミコン・プロレス』馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

50% OFF

780yen⇒390yen



no.15　'95.05

特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？　山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋ－とは何か？　石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

50% OFF

780yen⇒390yen



『ハッスル』公式読本!!

ハッスルMAGAZINE vol.1

三大特別ふろく（❶高田総統のありがたいお言葉CD ❷インリン様のM字固め特大ポスター ❸マンガ『ハッスル物語』特製豆本）／高田総統×高田統括本部長 ／高田総統×綾小路翔／インリン様洗脳グラビア／『ハッスル』ポスターコレクション　他

1600yen（税込み）

---

no.60 表紙 ヒョードル　'03.03 / 880yen

英雄、変貌好む!!
『PRIDE』RE・BORN!!

- ●ノゲイラ撃破!!　E・ヒョードル
- ●驚愕の格闘芸術対談!! 武藤敬司×須藤元気
- ●あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし
- ●全日本中継の真実!!　倉持隆夫

no.62 表紙 ミルコ　'03.05 / 880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!

- ●ヴァーと笑顔で初登場!! 佐々木健介
- ●現役復帰間近!?　船木誠勝
- ●藤田と新日を一刀両断!! E・ヒョードル
- ●新日本バードを徹底検証!!

no.63 表紙 OH砲（イラスト）　'03.06 / 880yen

吉田秀彦が大英断!
ミドル級GP出陣!

- ●「お前は男だ」劇場炸裂! 高田延彦
- ●『PRIDE』REBORNを大総括!!
- ●憂国の虎 ザ・マスク・オブ・タイガー
- ●芸能界一の川田番　ダチョウ倶楽部

no.64 表紙 桜庭&田村　'03.07 / 900yen

灼熱の
『PRIDEミドル級GP』直前号!!

- ●“異次元格闘技戦戦” 田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- ●『PRIDEミドル級GP』 出場全選手インタビュー
- ●ミスター高橋の盟友が放つ“猪木の裏側”
- ●スマックガール・ビキニ特写!!

no.65 表紙 ミルコ　'03.08 / 880yen

ヒョードル×ミルコ、
闘争本能世界一決定戦!!

- ●“最後の皇帝”燃え上がる! ヒョードル
- ●“反逆の妖刀”、遂に皇帝へ!!　ミルコ
- ●吉田秀彦戦の“謎”に迫る! 田村潔司
- ●闘魂ストーカーを捕獲!　イズマイウ

no.66 表紙 ミルコ　'03.09 / 880yen

ミルコ、『武士道』電撃出陣!
もはや誰にも止められない!!

- ●緊急独占インタビュー!　ミルコ
- ●マッハの野望を砕いた “赤い暗殺者”登場!!　長南亮
- ●“天才空手少年”VT秒殺デビュー!! 中嶋勝彦
- ●『東スポ』とは何か?　柴田惣一

no.67 表紙 シウバ&吉田　'03.10 / 880yen

吉田とシウバ、いざ激突!!
衣（ギ）は赤く染まるか!?

- ●ノゲイラ戦に向けて緊急インタビュー! ミルコ
- ●“柔術超獣”復活へ!! ノゲイラ
- ●『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場 全選手インタビュー
- ●アントン“疑惑の時代”を知る男 加治将一

no.68 表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他　'03.11 / 880yen

人類史上稀にみる“大晦日・格闘技大戦”!!
白黒ハッキリ決めようやーッ!!

- ●大晦日三つ巴決戦に出撃宣言! 高田延彦
- ●横綱がK-1に殴り込み 曙とは何者か!?
- ●一年ぶりの勝利で ニコニコインタビュー　桜庭和志
- ●“野良犬”『紙プロ』初登場!　小林 聡

no.70 表紙 ミルコ　'04.01 / 880yen

年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!!
OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?

- ●PRIDE征服宣言!　ミルコ
- ●シウバに宣戦布告!　近藤有己
- ●ド真ん中の真実を語る! 佐々木健介&北斗晶
- ●発表! 紙プロ大賞&マット界語録2003

no.71 表紙 OH砲&高田　'04.02 / 880yen

プロレスよ、踊れ!
3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!

- ●『PRIDE GP』優勝宣言! ミルコ&ノゲイラ
- ●待望の『紙プロ』初登場!　川田利明
- ●理想のプロレスを追い求める! AKIRA
- ●スクープ! 幻の猪木 vs アミン戦の真実!!

no.72 表紙 ミルコ&ヒョードル&ノゲイラ　'04.03 / 840yen

最強への求道者たち全員集合!!
PRIDE・GPに格闘ロマンを見よ!!

- ●GPの大本命をオランダでキャッチ!! エメリヤーエンコ・ヒョードル
- ●第二のミルコとなるか!? ステファン・レコ
- ●K-1に暴力を持ち込んだ男 山本KID徳郁
- ●全て見せます!!『突撃! 佐々木健介邸』

no.73 表紙 小川直也　'04.04 / 880yen

暴走王が忘れたころにやってきた!
PRIDE・GPでハッスルするぞ!!

- ●GP出場決定、緊急インタビュー! 小川直也
- ●PRIDE・GP出場全選手 パーフェクトガイド
- ●キックの名伯楽登場！　伊原信一
- ●魔界のニューリーダー　村上和成

no.74 表紙 小川直也　'04.05 / 880yen

シュート? ワーク? くだらねえ、次元が違うよ!
いつ何時、どこでもハッスルするぞ!!

- ●PRIDE・GPでハッスル成功! 小川直也
- ●リベンジロード発進!!　桜庭和志
- ●“ハードコアのカリスマ” ミック・フォーリー本誌初登場!
- ●掣圏会館皇帝　佐山サトル激語り!!

no.75 表紙 小川&桜庭&吉田　'04.06 / 880yen

英雄、奇蹟の揃い踏み! 小川、桜庭、
吉田がPRIDE GP準決勝に集結!!

- ●シルバ戦直前に大ハッスル宣言! 小川直也with藤井軍鶏侍
- ●奇蹟の独占インタビュー!　高田総統
- ●インド狂虎登場! タイガー・ジェット・シン
- ●年金未納からUFOまで ザ・グレート・サスケ

no.76 表紙 小川直也　'04.07 / 880yen

プロレス大爆発へ最後の挑戦!
ハッスルするなら今しかねえ!!

- ●スクープ発言連発!　小川直也
- ●小川の“盟友”と“宿敵”が奇蹟の対談!! 破壊王×ノゲイラ
- ●厳しくも、飄々と戦路を進む! 桜庭和志
- ●新連載『月刊PG談（仮）』 吉田豪×掟ポルシェ

no.77 表紙 小川直也　'04.08 / 880yen

『PRIDE・GP決勝』直前濃密大特集!
小川、史上最大の査定試合へ!!

- ●「相手がヒョードルだろうと俺は ハッスルする!!」小川直也
- ●狙うは皇帝の首ひとつ!　ミルコ
- ●サンボの神様降臨!!　ビクトル古賀
- ●ロシアで英雄と再会!　ヴォルク・ハン
- ●幻想大国ロシア・現地潜入徹底リポート

no.78 表紙 小川直也　'04.09 / 840yen

『PRIDE・GP』徹底総括!
ハッスルとは出直しの連続なり!!

- ●衝撃の敗戦直後、独占インタビュー! 小川直也
- ●小川の敗戦をどう見る!? 高田PRIDE統括本部長
- ●K-1のトップが小川を語る　谷川貞治
- ●壮絶インディー人生!　田中将斗

no.79 表紙 高田総統&小川直也　'04.09 / 840yen

プロレス暗黒時代に魔王降臨!
高田総統の激白を独占スクープ!!

- ●ハッスルキャプテンに休息なし! 小川直也
- ●特別付録・高田総統特製ピンナップ
- ●谷川さん推薦企画『曙は是か非か?』
- ●ビビッたか? ボヤいたか!? 金原モンスター軍

no.80 表紙 ミルコ・クロコップ　'04.10 / 880yen

『PRIDE.28』直前!
守護神ミルコ、外敵狩りへ――

- ●独占ロングインタビュー　ミルコ
- ●ハッスル軍お家騒動を激白!! 小川直也
- ●新連載! 佐山サトルの右流々ン探訪紀
- ●袋とじ企画・女子プロ界の謎に迫る! グリズリー岩本

no.81 表紙 桜庭和志　'04.10 / 880yen

サク、4度目のシウバ戦決定!
大晦日格闘技戦争・濃密大特集号

- ●ヒョードルの弱点を発見!? ノゲイラ＆ノゲイラママ
- ●新日本でハッスル成功!　小川直也
- ●スーパーひとし君登場!　草野仁
- ●狂気の天才対談が実現!! 佐山サトル×船木誠勝

no.82 表紙 桜庭和志　'04.12 / 890yen

大晦日大戦・超直前特集号!
男のSADAME、見に来いやーッ!!

- ●「ボクは絶対に諦めない」 桜庭和志ロングインタビュー!!
- ●“道場破り”の全てを激白!　安生洋二
- ●WJの秘密を大暴露! 永島勝司×ターザン山本!×吉田豪
- ●伝説の悪徳レフェリー降臨!　阿部四郎

no.83 表紙 ミルコ　'05.01 / 880yen

打倒ヒョードルに向けミルコが激白!
PRIDEヘビー級王座への野望と渇望!!

- ●『PRIDE 男祭り』怒濤の大総括!
- ●2005年ハッスル大進撃計画を発表!! 小川直也
- ●蘇る新日本黄金伝説!! 橋本真也×船木誠勝
- ●『シベ超5』公開記念SP対談! 水野晴郎×サスケ

no.84 表紙 セルゲイ・ハリトーノフ　'05.02 / 880yen

ロシア人はロシア人が始末する!
ハリトーノフがヒョードルに宣戦布告!!

- ●PRIDE王座へまっしぐら!　ミルコ
- ●“殺人落下傘”が3強越え宣言!! セルゲイ・ハリトーノフ
- ●“頑固者”がPRIDE GPを語る 田村潔司
- ●“起爆剤”か、それとも“時限爆弾”か? 前田日明復活大特集!!

no.85 表紙 前田日明&高田総統　'05.03 / 860yen

PRIDE vs HERO'S開戦!
どっちが面白いか決めたらええんや!!

- ●PRIDE GP2005特集! 桜庭和志、田村潔司、高田延彦
- ●パンクラス2大王者が揃い踏み! 高阪剛×近藤有己
- ●怒濤の37ページ!『前田イズムとは何か?』
- ●HBKが大暴れ!?　草野仁×浅草キッド

no.86 表紙 ヴァンダレイ・シウバ　'05.04 / 860yen

出場16選手を徹底分析!
PRIDE GP 2005開幕直前号!!

- ●大物再会!　超U級対談が実現!! 船木誠勝×田村潔司
- ●ダンプ松本が全女解散の真実を語る!!
- ●皇帝、いざミルコ鎮圧へ　E・ヒョードル
- ●PRIDE GP&K-1 WORLD MAX 出場全選手パーフェクトガイド

no.87 表紙 吉田秀彦　'05.05 / 860yen

史上最も過酷な一回戦
PRIDE GP開幕戦を大総括!

- ●敗れてなお咲く花あり! 吉田秀彦
- ●GP1回戦突破対談! 桜庭和志×中村和裕
- ●船木誠勝のマッドネス対談シリーズ!! ゲスト・宇野薫
- ●蘇れ! 新日本プロレス学校対談 Part2 金原弘光×池田大輔

no.88 表紙 ハン&ハリトーノフ　'05.06 / 880yen

格闘幻想大国2005
ロシア潜入徹底大特集号!

- ●キラー発言連発!!　E・ヒョードル
- ●狼魂伝承対談!　ハン×ハリトーノフ
- ●メヒコで大激白!! 初代タイガー×ウルティモ・ドラゴン
- ●新生『武士道』大爆発!　五味隆典
- ●ADCC 17ページぶち抜き大特集!!

通販申し込み方法

▼バックナンバーは書店で扱っておりません。下記の通信販売をご利用ください。

①『紙プロHand』で注文
②電話注文 03-5368-1797
③メール注文 kapra@kamipro.com

※通販方法はすべて代引きとなります。手数料は315円です（代引き金額によって異なります）。

※送料は一律500円（何冊でも可。離島山間部は除く）となります。

ご注意 郵便振替は現在受け付けておりません。ご了承ください。

紙のプロレスRadical 常備店

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■タコシェ
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ



さらば、愛しき破壊王！ 橋本真也を胸に刻み込め!!

バックナンバーは電話で注文できます！！

03-5368-1797

【平日15:00～22:00 (株)ダブルクロス】

Radical Back Number

破壊王・橋本真也の言霊は生き続ける!!



no.36 「破壊なくして創造なし!」
01年3月、破壊王プロレスZERO-ONE旗揚げ!!
- ●破壊王流プロレスLOVE論、大爆発! 橋本真也
- ●ZERO-ONE参戦の本音激白!! 三沢光晴
- ●KOKの大成功で、前田節が大洪水! 前田日明
- ●戦慄のPRIDE.13ド直前! 桜庭和志

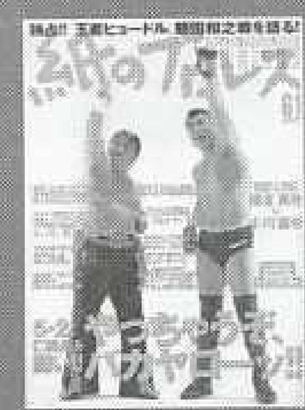
'01.03 / 880yen



no.51 「しょうもない争いなんてどうでもいいんや!」
50ページぶち抜き! ZERO-ONE大特集号!!
- ●"揺るぎなきプロレス"の確立へ! 橋本真也
- ●暴走王、新・超獣との金網マッチへ出陣! 小川直也
- ●"ZERO-ONEの頭脳"登場! 中村祥之
- ●Uインターの黒幕はこの男だ! 鈴木健

売り切れ寸前!!

'02.06 / 880yen



no.61 「どプロレス! 俺が思うプロレスはそれや!!」
破壊王が新日本ドームに徒手空拳で立ち向かう!
- ●OHスペシャル対談! 橋本真也×小川直也
- ●衝撃事実発覚! 元『全日本プロレス』実況・倉持隆夫
- ●絶好調! 山口日昇と吉田豪の毒舌トーク『Y2談』!!
- ●皇帝がリングス凱旋! リトアニア潜入レポート!!

'03.04 / 880yen



no.69 「PRIDEファンにプロレスを押しつける!」
『ハッスル1』直前! OHが『男祭り』へ登場!!
- ●新たなプロレスの可能性が立ち上る! OH砲対談
- ●白黒つけるゼブラ対談!(後編) 橋本真也×哀川翔
- ●榊原代表の「プロレスだから」発言に小川ブチ切れ!
- ●マット界大激震!『泣き虫』著者・金子達仁登場!!

'03.12 / 900yen

---

no.16 表紙 エンセン井上 '99.03 / 780yen

**格闘ノストラダムス!!
エンセン表紙初奪取号!!**
- ●環境問題を『紙プロ』で語る!! アントニオ猪木
- ●完全無欠の怪物!! 語ろうジャンボ鶴田
- ●相撲多重アリバイ 石川孝志
- ●マーク・コールマン

売り切れ寸前!!

no.29 表紙 秋山準 '00.07 / 840yen

**「格闘環境」は刻一刻と変化する!
ノア勢フルメンバーで登場!!**
- ●三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
- ●プロレススーパースター列伝 仲野信市
- ●本誌独占ジャンボ鶴田夫人 最愛の夫の真実を語る!!
- ●TKおかん

no.32 表紙 小川直也 '00.10 / 840yen

**針はどちらに向くのか!?
新プロレスvs純プロレス開戦!**
- ●田村潔司に快勝! A・ホドリゴ・ノゲイラ
- ●ドラゴンの大爆笑10 藤波語録
- ●プロレススーパースター列伝 ラッシャー木村
- ●"和製カレリン"本田多聞

no.34 表紙 小川直也 '01.01 / 840yen

**『猪木祭り』開幕ーッ!! プロレスは
「闘い」を忘れたときに老いていく!**
- ●UFCミドル級王者 ティト・オーティズ
- ●プロレススーパースター列伝 ミスターヒト
- ●修斗から『猪木祭り』へ! 宇野薫
- ●ボブチャンチン&オバチャンチン

no.35 表紙 サクマシン(イラスト) '01.02 / 840yen

**「純プロレス」を考え倒せ!
500人アンケートも実施!** 徹底検証号
- ●ZERO-ONE本格始動 橋本真也
- ●プロレススーパースター列伝 ジョー樋口
- ●"ノアの怪物"杉浦貴
- ●UFCの巨人 ランディ・クウートアー

no.37 表紙 小川直也(イラスト) '01.04 / 840yen

**小川と三沢が遂に絡んだ!!
純プロレス戦国絵巻**
- ●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
- ●アブダビコンバット2001一大探検記!
- ●シュート活字×ファンタジー活字
- ●他に比類なきプロレスがWWFにはある!

no.38 表紙 高田(イラスト) '01.05 / 840yen

**小川と長州、どちらが
孤独だったのか!?**
- ●忘れ物の正体は――。高田延彦
- ●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子 E・ヒョードル
- ●プロレススーパースター列伝 阿修羅原
- ●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.39 表紙 前田日明 '01.06 / 840yen

**どうなるんだ、リングス!
前田 is デッド!?**
- ●前田道場新エース・金原弘光
- ●怪物か!? それとも…… 藤田和之座談会
- ●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
- ●プロレススーパースター列伝・田上明

no.40 表紙 アントン総帥 '01.07 / 880yen

**猪木軍vsK-1に見たいものは
"地上最強のプロレス"**
- ●蘇れ!Uインター&キングダム伝説! 高山善廣×金原弘光
- ●熱いこの叫びを聞け! 大谷晋二郎
- ●プロレススーパースター列伝 グラン浜田
- ●グラバカの核弾頭 郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン '01.08 / 880yen

**Can you カミングアウト?
"最後の黒船"WWF襲来!**
- ●リングス10周年! ヴォルク・ハンが振り返る
- ●真樹日佐夫×三池崇史 巨頭対談が実現!
- ●W☆INGの真実・茨城清志
- ●毒舌知能犯 秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥 '01.09 / 880yen

**猪木なら何をやっても
許されるのか!?**
- ●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
- ●"ヒャッホーの真実"辻よしなり
- ●蘇れ!UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
- ●誇り高きルチャ戦士 カト・クン・リー

no.43 表紙 桜庭和志 '01.10 / 880yen

**サクと『PRIDE』のケツに
火がついた!!**
- ●ブラジリアン・トップチーム 3大柱インタビュー
- ●大谷晋二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
- ●金原弘光×サスケの 新日本プロレス学校同窓会
- ●野武士が語るんだよな 中野巽耀

no.44 表紙 桜庭&シウバ '01.11 / 880yen

**サクの連敗が『PRIDE』に
語りかけるものは何か?**
- ●その修羅場の数々! シーザー武志
- ●怪物伝承対談! 高山善廣&杉浦貴
- ●ハンス・ナイマン&ディック・フライ
- ●闘龍門大特集

no.45 表紙 アントン総帥 '01.12 / 880yen

**「K-1vs猪木軍」命懸けの
エンターテイメント!!**
- ●悪魔の書、現る! ミスター高橋
- ●ジェラルド・ゴルドー人生相談
- ●プロレススパースター列伝 グレート小鹿
- ●語録で振り返るマット界2001

no.47 表紙 ビンス・マクマホン '02.02 / 880yen

WWE日本侵攻5秒前!
- ●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
- ●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
- ●第一次リングス閉幕特集
- ●プロレススーパースター列伝 ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志 '02.03 / 880yen

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
- ●奇跡のメガトン対談! 小川直也 vs ノゲイラ&スペーヒー
- ●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
- ●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
- ●WWEを知る男 ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ&ヒクソン&小川&桜庭 '02.04 / 880yen

**究極の格闘技大戦争勃発!!
マット界灼熱の噂!**
- ●和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
- ●アレクに怒りの火を付けた 菊田早苗とは何者か!?
- ●破壊王も火のヤリ特訓! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行!
- ●ビッシビシいくわよ!! 小畑千代

no.50 表紙 桜庭和志 '02.05 / 880yen

サクが笑えば、世界が笑う!!
- ●「地方発世界」開始! 小川直也&橋本真也
- ●リングスロシア軍団の軌跡
- ●パンクラス取材解禁! 菊田、"尾崎の野郎"が登場!
- ●ギョ!? I編集長が新日本に三くだり半!

no.52 表紙 OH砲 '02.07/880yen

**見えない鎖を引きちぎれ!
小川直也リング外での暗闘!!**
- ●全身プロレスラー・高山善廣
- ●USAの渡世人ドン・フライ
- ●『PRIDE』侵攻開始!! ロシアン・トップチーム
- ●戦慄の『LEGEND』前夜!

売り切れ寸前!!

no.53 表紙 桜庭和志 '02.08/ 880yen

**世紀のビックイベント
『Dynamite!』直前大解剖!!**
- ●ノーフィアー×無謀美・対談!! 高山善廣×美濃輪育久
- ●独占肉弾スクープ! マット・ガファリ
- ●爆裂! 川村社長ガチンコ語録!
- ●偽造王の知られざる半生! 一宮章一

no.54 表紙 ノゲイラ '02.08 / 880yen

**不平等の時代を克服した
英雄ノゲイラ!!**
- ●"首の皮一枚"ホイス&エリオグレイシー
- ●"青い目のケンシロウ"ジョシュ・バーネット
- ●純プロ頂上対談! 武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
- ●猪木とは何か? アントン実兄・猪木快守

売り切れ寸前!!

no.56 表紙 Uインター '02.10 / 880yen

**愛すべき若気の至り!
受け継げ、Uインターの蒼き魂!!**
- ●田村戦直前! その覚悟を読み解け!! 高田延彦
- ●蘇れ! Uインター伝説!! 安生&金原&高山
- ●高田vs田村、観る側の覚悟! 浅草キッド
- ●『紙プロ』に世界一性格の悪い男が登場! 鈴木みのる

売り切れ寸前!!

no.57 表紙 高山善廣 '02.11 / 840yen

**一瞬の11・24!!
高田延彦引退試合を大総括!!**
- ●サップと地球規模のタイマン勝負!! 高山善廣
- ●新たなる"U"が始動!! 田村潔司
- ●悪魔の書、再び! ミスター高橋×大槻ケンヂ
- ●"北尾戦・セメントマッチの真実" ジョン・テンタ

no.58 表紙 武藤&船木 '03.01 / 880yen

**新春特大号!! 「明日、また
生きるぞ!」な対談の大連発!!**
- ●夢幻のファンタジー対談 武藤敬司×船木誠勝
- ●Uスタイル対談 田村潔司×高阪剛
- ●Uインター座談会 宮戸×安生×鈴木健
- ●カルガリー師弟対談 ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59 表紙 ヒョードル '03.02 / 880yen

**吹けよ!呼べよ嵐!!
マット界新風景が見えてきた!!**
- ●いざノゲイラ戦!! E・ヒョードル
- ●アメリカン・ドリーム ダスティ・ローデス
- ●爆発!! WJマグマ語録
- ●吉田道場の秘密兵器 中村和裕
- ●UWFの再興と再考 田村潔司

BACK NUMBER

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

RADICAL情報局

どプロレス！ 俺がやりたいのはそれや!!（by破壊王）

8月14日はG1決勝戦やリキプロでの長州vs柴田の裏で、『マッスル5』が遂に開幕！ プロレスなのかプロレスじゃないのかハッキリしない『マッスル』ですが、んなこたぁどうでもんだよ！ 合い言葉は「いこうぜ……プロレスの向こう側」！ 情報ページ担当は斎野です。

Fight & Ticket 試合・大会情報

コンセプトは“夏祭り”！ アジャがデビュー20周年興行開催!!

『アジャコングの20年だョ！ 全員集合』

■日時 8月21日（日）試合開始12:00 ■会場 東京・後楽園ホール

■決定カード ジャガー横田 vs 栗原あゆみ

【DRAGON GATE提供試合】ドラゴンゲート提供試合

CIMA&吉野正人&土井成樹vs斎藤了&堀口元気&谷嵜なおき

■チケット（当日500円up） SP寿シート8000円、松シート6000円竹シート5000円、梅シート4000円、立見シート3000円 ※小中学生は、竹or梅シートを1500円にて購入可能

『記念パーティ』

■日時 8月21日（日） 開宴17:30（開場17:00）

■会場 東京ドームホテル・天空（※立食パーティー）

■チケット 大人15000円、子供5000円（12歳以下） ■司会 ライオネス飛鳥

■問 ジャムダイス03-3454-6822 ■アジャ公式HP http://blog.livedoor.jp/aja_kong/

長州vs柴田決定！ 8・14RIKIPRO後楽園大会!!

『RIKIPRO一周年興行（仮）』

■日時 8月14日（日） 試合開始12:00（開場11:00）

■会場 東京・後楽園ホール

■決定対戦カード 長州力vs柴田勝頼

■チケット S席 7000円、A席 5000円、B席 4000円

■問 RIKIPRO事務所 03-3754-6340

■HP http://www.rikipro.com



柴合怒り心頭の長州。もう前フリはいらない。

真夏の祭典G1に ドラゴン、ジョシュが参戦!!

■出場選手 【Aブロック】天山広吉、蝶野正洋、藤波辰爾、永田裕志、西村修、鈴木みのる、ジョシュ・バーネット、ケンドー・カシン

【Bブロック】棚橋弘至、中西学、中邑真輔、真壁刀義、吉江豊、矢野通、ブルー・ウルフ、X

■日程

8月
4日（木）福岡・福岡国際センター（18:30）
6日（土）大阪・大阪府立体育会館（18:00）
7日（日）大阪・大阪府立体育会館（15:00）
8日（月）神奈川・横浜文化体育館（18:30）
10日（水）静岡・ツインメッセ静岡・北館（18:30）
11日（木）愛知・愛知県体育館（18:30）
13日（土）東京・両国国技館（18:00）
14日（日）東京・両国国技館（15:00）

■概要 A・B各ブロック8選手による総当たりリーグ戦を行い、得点上位2名ずつが14日の決勝トーナメントに進出。同点の場合、直接対決で勝利している方を上位とする。優勝賞金は1000万円。

■問 新日本プロレスリング 03-6407-3111

■新日本プロレス公式HP http://www.njpw.co.jp/

DDTも“毎日プロレス”！ ビアガーデン・プロレス開催!!

『闘うビアガーデン in 新木場1stRing』 ■開催期間 8月8日（月）〜14日（日）

■営業時間17:30〜21:30（試合開始19:00 ※14日のみ18:30）

■会場 東京・新木場1stRing ※屋内会場なので雨天時でも開催

■全席自由500円 ※最終日の8月14日（日）のみスペシャルデーとして通常興行のボリュームで開催するため全席自由3000円。

■ドリンク&フード 500円〜（生ビール、各種サワー、カクテル、ソフトドリンク）

■問 DDTプロレス 03-5360-6653 ■DDT公式HP http://www.ddtpro.com/

熱いヤツ、集まれ！ 真夏のリーグ戦『火祭り』開幕!!

破壊王が命名した『火祭り』が今年も開幕！ 注目はなんといっても佐々木健介の初出場。7月9日・新潟大会では大谷をシングルで破り、『火祭り』へ向け弾みをつけた。今年の火祭り刀を手に入れるのは一体誰だ？ なお、初日の29日には試合前に『橋本真也・追悼セレモニー』が行われるとのこと。ごちゃごちゃ言わんと全員集合!!

ZERO1-MAX『熱-1 GP 火祭り'05』

■出場選手

【Aブロック】佐藤耕平（前年度優勝）、大谷晋二郎（第1回、第2回優勝）、田中将斗、池田大輔、ライアン・サコダ

【Bブロック】大森隆男（前年度準優勝）、横井宏考、崔領二、佐々木健介、バンビ・キラー

■日程

◎7月29日（金）東京・後楽園ホール（19:00） S席5000円、A席4000円、B席3000円

◎7月31日（日）東京・後楽園ホール（18:30） S席5000円、A席4000円、B席3000円

◎8月2日（火）福島・いわき市総合体育館（19:00）
特別RS席6000円、RS席4000円、自由席3000円、小・中学生入場無料！

◎8月5日（金）大阪・大阪府立体育会館第2競技場（19:00） S席6000円、A席4000円

◎8月7日（日）東京・後楽園ホール（18:30） S席6000円、A席5000円、B席4000円

涙！ 笑!! 怒!!! インディー祭り、真夏の足立区2連戦!!

『〜Discovery〜 2days Cry-max』

■日時 8月12日（金） 試合開始19:00／13日（土）18:00

■会場 東京・バトルスフィア東京

■大会概要

・目的は「2日間の闘いを通してプロレスラーとしての意識を高める」こと。

・タッグトーナメントを2日間で開催し、最優秀選手を決定（賞品・副賞あり）。
殊勲賞、敢闘賞、技能賞、各1人をファン選出により決定。

・2日間を通したWorst-1選手には最終日罰ゲームを与える（ファン選出）。

・観客の野次は制限なし。ただし、良い試合を行っている場合は素直に応援に徹すること（観客義務）。

・見事な“新”野次を飛ばした方には記念品贈呈（オリジナルグッズ）。

・観客のストレスが最大限に達した場合は試合を強制終了する。

・危険物の持ち込み厳禁（笛・太鼓などはOK）。

・ビデオカメラ、デジタルカメラでの写真・動画撮影OK（ただし販売は禁止）。

■チケット 全席自由4000円

■問 ファーストオンステージ 03-5730-3966 ■HP http://www.zero-one-max.com/



“意地も誇りもあるレスラー”Bic Mouseの参戦決定!!

歌舞伎町に格闘技アリーナ誕生！ こけら落としはフジメグがプロデュース!!

■日時 7月29日（金）試合開始18:30（開場18:00）

■会場 東京・新宿FACE

■対戦カード

❶【グラップリング／4分2R】SAYAKA（AACC） vs 高林恭子（名古屋ALIVE）

❷【キックボクシング／2分3R】桜朋梨恵（伊原道場） vs 真（峯心会）

❸【柔術スペシャルエキシビジョン／5分1R】藤井恵（AACC） vs 近藤有希（ピュアブレッド京都）

❹【ボクシング／2分3R】ツバサ（山木ジム） vs 星畑裕香（ヒーロージム）

❺【総合格闘技／5分2R】MIKU（クラブ・バーバリアン） vs 柴田郁美（パレストラ旭川）

❻【プロレス】尾崎魔弓 & ダイナマイト関西 vs アジャ・コング & 豊田真奈美

■チケット RS席 10000円、S席 7000円、A席 4000円、立見 3000円

■問 キョードー東京 03-3498-9999

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001　東京都渋谷区東1-25-2 丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002　大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025　東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011　東京都目黒区青葉台4丁目4番5号 渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■掣圏会館　075-352-3109
〒600-8216　京都市下京区東塩小路町600-38-101
http://www.seiken-do.com/

■仙台ガールズ・プロレスリング
022-785-7755
〒984-0065　宮城県仙台市若林区土樋236愛宕橋マンションファラオ E-08
http://plaza.rakuten.co.jp/sendaigirls/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-5-10　九段有楽ビル6F　http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒142-0062　東京都品川区小山4-4-9-2F
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■高田道場　03-5749-5030
〒142-0062　東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂　03-5464-2806
〒150-0011　東京都渋谷区東2-17-12-404号
http://www.Takayama-do.com

■ドリームステージエンターテインメント(PRIDE)
03-5464-1531
〒107-0061　東京都港区北青山3-12-9　花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ 0489-63-0005
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス 03-5792-0815
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■みちのくプロレス
022-785-7755
〒984-0065　宮城県仙台市若林区土樋236愛宕橋マンションファラオ E-08
http://www.michipro.net

■レッスルエイドプロジェクト
03-5456-2345
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂2-20-12

■A to Z　03-3678-7777
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT　03-5360-6653
〒106-0022　東京都新宿区新宿1-23-6 グローイン新宿御苑702
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071　愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■DRAGON GATE
078-333-9797
〒650-0012 兵庫県中央区北最狭通7-1-4 サンクチュアリビル
HP:http://www.gaora.co.jp/dragongate/

■FEG(K-1事務局)
03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5701-7601
〒152-0023　東京都目黒区八雲3-11-4 ラ・ヴィコンテ3F
http://www.gaea-inc.com/

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061　東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン
03-3352-3366
〒160-0004　東京都新宿区新宿2-15-13　第2中江ビル402
http://www.iwajapan.jp/

■JDスター
03-5524-2339
〒107-0052　東京都港区銀座1-8-21　第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP　03-5849-2341
〒121-0052　東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW　03-5228-4331
〒112-0014　東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号

■NEO　044-422-8344
〒211-0011　神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■RIKIPRO
03-3754-6340
〒146-0085　東京都大田区久が原3-31-1（RIKIPRO道場内）
http://www.rikipro.com/

■SMACK GIRL実行委員会
03-3324-8790
〒156-0041　東京都世田谷区大原1-63-9　恒心ビル801　株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO
0467-82-2034
〒253-0053　神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F 株式会社エフ企画内

■U.K.R　044-833-7042
〒213-0027　神奈川県川崎市高津区野川2193ー11
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

■UNW
03-3362-3014
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F.スネークピットジャパン　03-3337-1889
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WMF
049-239-3520
〒350-0812　埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

■WWS　0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO-ONE MAX
03-5730-3966
〒105-0014　東京都港区芝2-8-13-2F（株）ファースト オン ステージ
http://www.zero-one.to/top.html

■ZST　03-5388-0707
〒106-0023　東京都渋谷区代々木2-23-1 ニューステイトメナー833号室
http://www.zst.jp/

Fight & Ticket

真夏の新木場にアパッチ軍が全員集合!!

『アパッチNO.1』
■日時　8月5日（金）　試合開始19:00（開場18:00）
■会場　東京・新木場1st RING
■参加選手　金村キンタロー、黒田哲広、BADBOY非道、GENTARO、佐々木貴、マンモス佐々木、葛西純、新宿鮫（cash box所属第1弾レスラー）
■チケット
RS席4000円、指定席3000円
■問　（株）キャッシュボックス 03-5385-8285
■アパッチ公式HP　http://www.cbox100.com/

命知ラズ、求ム!! 真樹道場が空手大会を開催!!

『2005オープントーナメント 第6回 全日本空手道選手権』
■日時　9月18日（日）試合開始10:00（開場9:30）
■会場　愛知・豊田市運動公園体育館（名鉄・猿投駅より徒歩15分）
■チケット　一般 1000円（当日1000円up）、小中学生 500円（当日のみ）
◎出場申込
■試合形式　3階級ウエイト制組手トーナメント
軽中量級62kg未満／重量級62kg以上〜72kg未満／無差別72kg以上
■計量　大会当日9:00
■参加費　10000円　■申込締切　8月25日（木）必着
■問　真樹道場愛知本部 0565-24-3861
■HP　http://www.hm2.aitai.ne.jp/~xyz-taka/

And Others　その他情報

いつ何時でも大暴走! ガチンコ格闘技トークバトル!!

『ターザン山本と吉田豪の格闘二人祭!! vol.22』
■日時　8月8日（月）開始19:30（開場18:30）
■会場　東京・ロフトプラスワン
■出演　ターザン山本&吉田豪、豪華マル秘ゲスト!!
■入場料金2200円（飲食別／当日300円up）
■HP　http://www.loft-prj.co.jp/

元B-CULB井口摂が竹ノ塚にジムをオープン!!

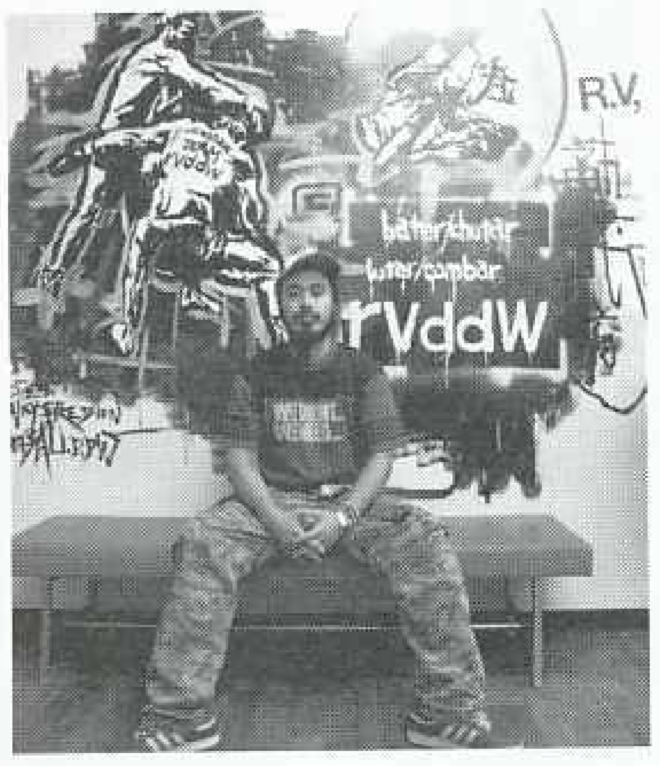
足立区保木間に『ファイティングスペース ゼロ 竹ノ塚』がオープン! 講師は7月30日に修斗デビューを果たす"慧舟會キラー"井口摂! ゴッチ、バトラーツに受け継がれたテクニックを身に付けよう!!

■住所　東京都足立区保木間3-2-12-103
■問　03-3883-7188
■ゼロプロジェクトHP　http://www.fightclub.co.jp/

"静寂"と"躍動"を感じろ! アブダビコンバット写真展開催中!!

『Submission Grappling-The Science of Control』
■期間　9月4日（日）まで毎日開催
■会場　Cystem Gallery（渋谷区千駄ヶ谷3-20-10）
■問　03-3470-0736

真夏のディープソウル 濃密なペイントとグラフィックの世界!!



独特の密度とアッパーな色彩感覚で人気の格闘技ブランド『reversal』のデザイナー・MANIC DEPRESSION DESIGNと、"SOUL" "BLACK" をテーマに力強い独特のタッチで活躍するペインターDRAGONが個展を開催する。会場でしか手に入らない限定アイテムも発売! 東西のストリートグラフィックシーンで人気の両雄が"音"をテーマに真夏の渋谷で熱い火花を散らしまくる!!

■会場　東京・渋谷『LOGOS GALLERY』（PARCO PART3/B1）
■期間　8月19日（金）〜31日（水）※会期中無休
■時間　10:00〜21:00（※最終日は17:00にて終了）
■入場　無料
■問　ロゴスギャラリー 03-3496-1287
■DRAGON HP　http://www.dragon76.net
■MANIC DEPRESSION DESIGN HP
http://www1.odn.ne.jp/manix

『HYBRID CULB』では現在、会員を大募集中!!

パンクラス公式ファンクラブ『HYBRID CULB』では現在会員を大募集中! 他団体の追随を許さない会員特典は以下の通り。なお、鈴木みのるブログ、その名もズバリ『俺が鈴木みのるだ!』が絶賛更新中だぜ〜!（http://blogs.yahoo.co.jp/minorusuzuki_kaze）

■会員特典
☆試合当日、開場の15分前に入場可能!!
☆グッズが定価の20%OFF!（一部商品を除く）
☆年3回開催される選手との交流イベント
☆5大会分のチケットを購入すると1大会ご招待!!
（※希望する大会日の40日前までに5大会分の半券を送ること）
■申込方法　郵便番号、住所、氏名、自宅の電話番号、携帯電話番号、Eメールアドレス、生年月日を用紙に記入の上、合計¥5000（入会金¥2000十年会費¥3000）を現金書留にて、下記の事務局まで送ること。
■住所　〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
（株）ワールドパンクラスクリエイト　HYBRID CLUB入会希望係
■問　03-5792-0815／FAX 03-5792-7080（受付時間は11:00〜18:00）
■HP　http://www.pancrase.co.jp/

紙プロHand　更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙のプロレスHand』では、試合結果速報・会見ほかニュースに加え、読み応え十分のコラムを毎日配信中！　産休に入ったリキプロ立石代表に代わって、男色ディーノが水曜コラム枠をゲッツ！　月曜日はただいま原タコヤキ君が登場中。こちらも要チェック！　写真は今月更新の中川画伯・長州力と長州小力、イラストだからできる（？）夢のツーショット待画。ショッピングコーナーも絶賛稼働中です！



Docomo	i Menu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	トップメニュー	カテゴリで探す	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	メニューリスト	スポーツ	格闘技

→ 紙プロHand

今回で最終回、次号から担当変わってリニューアル!な読者ページ

紙プロ元気大学

卒業式

時は来た!! ……こんにちは、読者ページ担当のささきぃです。本業は電気部です。もう担当して40回目です。やりすぎです。来月の8月5日で30歳です。いい歳です。なので、ささきぃ担当の読者ページは今月で終了ッ! 紙プロ元気大学も卒業式となります。中途半端な時期の卒業式です。アメリカ式です。読者ページは辞めても、『紙プロ』には居るんでよろしくね。次号からは、期待の25歳女子、大型新人(170cm)松下ミワが担当します。何度も書くことではありませんが、ささきぃの誕生日は8月5日です。それでは最後の紙プロ元気大学、はじまりはじまり。



(愛知県・たっつあん)「ごぶさたしてます。供養のつもりで描きました 破壊王、お疲れさま、そしてありがとう」❶わー! 超ひさしぶり!! ごぶさたしてます! 私が担当をはじめる以前からの常連投稿者、たっつぁんさん。卒業式にイラストいただけて嬉しい。おだやかな顔の破壊王。寂しいときは、空を見上げます。……ありがとう、破壊王!!

校内巡回

『紙プロ』88号 面白かった記事

【エメリヤーエンコ・ヒョードルインタビュー】
★今まで多くを語らず、固い回答が多かった彼がミルコ(・クロコップ)の挑発にブチ切れたのか? ぶっちゃけ、意地の悪さを見せ、面白かった。8月の対戦は、互いに最高のボルテージになりそうで期待が増した。
(東京都・佐藤望・44歳・清掃業)
❶前号の「面白かった記事」アンケート1位は「私は逃げも隠れもしません」、エメリヤーエンコ・ヒョードルインタビュー。ミルコの挑発をサラリと冷たい言葉で受け流すヒョードルが人気高でした。グランプリの試合前映像も楽しみになってきましたね! 以下、順不同でお送りします。

【―編集長の喫茶店トーク】
★『紙プロHand』のコラムが休載になってしまったのですが、体調を崩されたのでしょうか? ―信者として心配しております。
(大阪府・中島一郎・31歳・会社員)
❶一時期体調を崩されたため入院してらっしゃいましたが、いまでは体調も回復されたと連絡がありました。ご心配をおかけしました。連載再開までもうしばらく待っていてください!

【田村潔司インタビュー】
★最近、田村のトンパチトークにすごく共感できます(同年代として)。田村が結婚したら、僕も結婚します!
(大阪府・山内義久・36歳・おもちゃ問屋廃業)
❶えっ、田村選手と結婚? ……失礼しました。今月のインタビューでさらに共感してください。お仕事は大丈夫でしょうか?

【菊地成孔インタビュー】
★「シュート活字」、そして「ファンタジー活字」という概念から一歩前へ抜け出した非常に新鮮で文学的な内容でした。知り合いの某大手予備校の格闘技好き現代文講師が「2学期のテキストの付録に載せたい」と絶賛していました。ハッスルのあのエンディングを「多幸感」という言葉で表現するあたりが素晴らしいですね。
(茨城県・和田智裕・21歳・学生)
❶ちゃんと勉強している学生っぽい感想で、うれしく思います。「知らない人だから」って読まない人がかなりいるんですけど、もったいないですよ。

【アブダビコンバット2005レポート】
★こんなに詳しく載っていいのかしら。
(愛知県・寺本功弘・36歳・会社員)
❶そんなこと言っててキライじゃないんでしょ? いいんだよ。

【ロシア徹底大特集】
★「PRIDE GP 2nd ROUND」試合当日の朝、ホテルのレストランでヒョードルと(セルゲイ・)ハリトーノフのニアミスを目撃。その距離2m。しかしお互い完全にシカト。早くリング上の対決を観たい。
(広島県・河野弘幸・26歳・会社員)
❶それはいいものを目撃しましたね。このロシア人対決はとても楽しみです。来月から読者ページを担当する松下はハリトーノフ大好きなので(噂によると筋肉フェチでもあるらしい)、こういう話をたくさん送ってあげてください。

【デストロイヤーインタビュー】
★デストロイヤー、マスカラスとその名が出てくるだけでいい。
(群馬県・小野塚充・38歳・自営業)
❶なんか、そう言われるとあまり嬉しくない気がします。

今月のステキな一枚



(東京都・篠原光) ➡極妻じゃないですよ。電撃ネットワーク・ギュウゾウさん結婚式での1枚です。左が篠原光さん、右が横瀬いつかさんです。リング上の姿とはまた別人ですね。シュートボクシング後楽園大会に参戦する直前でしたが、この日の夜、酔っぱらいにからまれてあやうくファイトに発展するところだったらしいです。あぶないあぶない。「銭金」出演おめでとうございます。……めでたくないかも。

【エディ・ブラボーインタビュー】
★エディ様最高! オモロすぎ。
(秋田県・佐々木桂・24歳・会社員)
❶私も面白い人がいるもんだなぁと思いました。そしてけっこう日本に詳しいところも良かったです。

【柴田勝頼・掟ポルシェ。のPK談】
★ウチの勤務先(風俗店)の常連客には、大阪なのに掟さんとおなじ巨人の帽子をかぶった人がいますよ…!
(大阪府・三宅徳仁・29歳・風俗店勤務)
❶電話でも「巨人の帽子をかぶった人」話を寄せてくださった読者さんがいました。こんなにかぶっている人がいたなんて、堀内監督も大喜びでしょう。あれ? 嬉しくない?

【紙プロ元気大学】
★サッカーの知識が「キャプテン翼」で止まっているというささきぃさんの発言に、仲間意識をビッシビシ感じた。
(北海道・安倍正典・32歳・フリーター)
❶ねぇ。止まってますよねぇ。Jリーグのことも多少知ってますよ。三浦カズとかゴンとか。……ダメだ、私。

『紙プロ』88号 つまらなかった記事

【ターザン山本! が"田村劇場"を語る】
★アイスティーをぶちまけるほどの話ではないと思いました。
(東京都・大脇厚・36歳・会社員)
❶ちゃんと読んでいただいた上での感想ですね。すいません。大脇さんにとって、アイスティーは飲み物の中でもけっこうランキングが上なんだろうなと感じました。

【佐藤光留インタビュー】
★どうしてもビジュアルを受け入れることができません。
(東京都・神子佳世・22歳・事務員)
❶『紙プロ』読者ページマニアの皆さん、チョロさんが担当していたころの読者ページ(軽く3年以上前)常連だった神子さんですよ。佐藤光留選手のビジュアルは、私個人でいえば全体的にとても好きです。受け入れられないか、そうか。

その他のおたより

★つまらなかった記事は今月なかったが、「金ちゃんのドンとやってみよう」を久しぶりに読みたくなった。
(石川県・浅井清治・32歳・会社員)
❶ナイスタイミングです。今月は復活しています。ブログも要チェック。

紙プロ88号・読者が選ぶ 面白かった記事ベスト5

1位 エメリヤーエンコ・ヒョードルインタビュー
2位 田村潔司インタビュー
3位 アブダビ・コンバット特集
4位 ヴォルク・ハン×セルゲイ・ハリトーノフ対談
5位 ザ・デストロイヤーインタビュー

1位は"氷の拳"級発言連発! の、ヒョードルインタビュー。そして今月、ミルコは何を語るのか? 2位は頑固者の頑固者たる部分がサク裂した田村潔司インタビュー。6.26以前と以後では届くハガキの意見が全く違うのも興味深いです。3位は「他誌の特集よりずっと詳しい」というご意見を多数いただいたアブダビ特集! アリガトーッ! 字が小さくてゴメン! 4位は狼の魂伝承、ロシア師弟対談! 5位はデストロイヤーインタビュー。続いて初代タイガー×ウルティモ対談、読まないって人もいたけど読んだ人は大絶賛の菊地成孔インタビューと続きました。

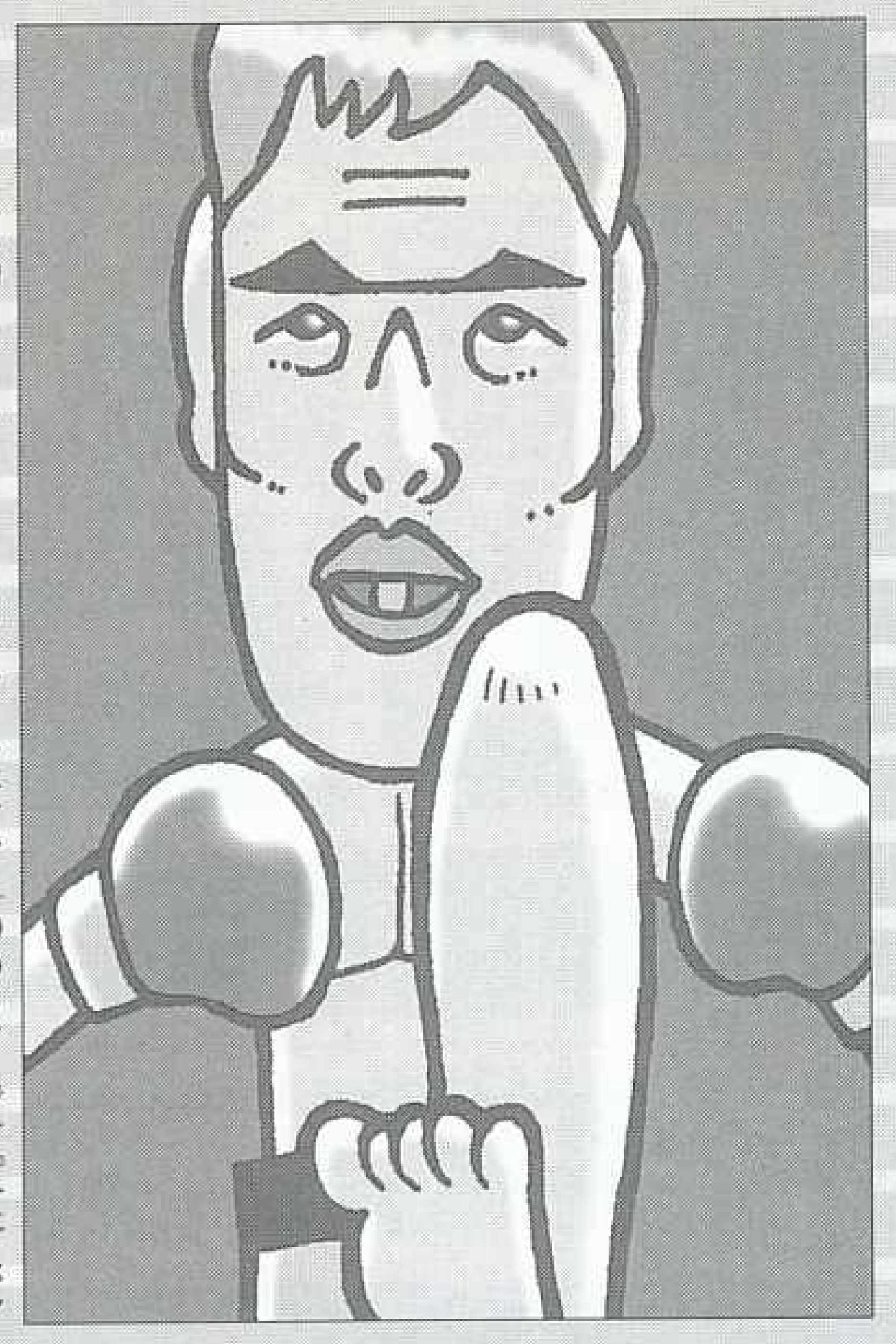
今月のタレコミ部!!



（静岡県・森上屋のり）「タレコミ部が帰ってきたぜー！というワケで『遠州力』です。（静岡県西部は遠州といいます）」➲13時間30分２本勝負！　えらいことになってるなぁ。ピクつく上腕二頭筋で……。静岡地方で盛り上がっていたタレコミ部、最近ごぶさたの目が覚メタロウを発見した方、タレコミお待ちしています。



（東京都・ヤー）➲先月いただいていたのですが、掲載できなかったイラストです。前田吉朗選手、長南亮選手。前回・今回の『武士道』で、おふたりとも残念な結果になってしまいましたが、ここからですよ、ここから。ヤーさんも、たくさんの投稿ありがとうございました。



（東京都・小枝）「チェッチェッコリ♪　ホンマン　チェチェ♪」➲わカラーです。チェ・ホンマン、強かったなぁー。最後なので小技さんHPのアドレス載せてあげます。http://kowaza.k-free.net/　ですね。これからも投稿よろしく！



（広島県・山田彰）➲雨を憂うボンヤスキー。バカバカしいですけど、こういうのは思いついたことを絵にするまで持って行く勢いが大切です。蚊取りブタがかわいらしいですね。



（埼玉県・大崎洋二）➲バッカス羽鳥選手。前号に続いて女子格闘技ファイターを表現してくださいました。



（埼玉県・小川徹）➲桜庭和志選手。骨折してなかったみたいで一安心ですよ。小川くんは最初のころから投稿していてくれましたね。アリガトーッ!!



（埼玉県・稲葉聡）➲腹筋がチャームなフジメグ選手。「息吹」で披露したプロレスもすごかったですよ。私の上半期女子ベストバウトです。かっこよかったぁ。



（大阪府・英加直純）➲英加さんもお久しぶりです！う゛ぉぉあああ、切り絵破壊王です!!　亡くなって３日後の15日に届いたんですよ。ビックリしました。



（埼玉県・稲葉聡）➲こちらも亡くなってから届いたイラストです。橋本さんが泣くところもたくさん見たけど、こんなに泣かされるとは思ってなかったなぁ…。

全員卒業! されどおハガキ・お便り・メールは募集中!!

紙プロ元気大学は今月で終了です。よって皆さんも今月で強制的に卒業です。いままでどうもありがとうございました。思えば自分の前に読者ページ（「読者病棟」という名前でした）を担当した３人が次々に病気で倒れ、のきなみ辞めていったときにはどうしようかと思いました。連続で３人ですよ。びっくりしましたよ。
病気的要素をいっさい排除しよう、元気でいこう、元気が一番、と思って、当時須藤元気選手たちが発足させた「東京元気大学」をモジって「紙プロ元気大学」は立ち上がりました。そうしたらその「東京元気大学」自体もうっすらとなくなっていきました。ここでまた、どうしようかと思いました。そのうち変えようと思って早３年。最近の読者には、ただのうかれたタイトルだと思われていたみたいですが、そういう理由だったのです。
読者さんとの関わり方なんてわかんないもんだから、最初はただ単に冷たく返答するだけでした。いま読み直しても、自分でも驚くくらい冷たい反応してます。ハガキを送ってきてくれた読者のみなさん、ありがとう。来月からの新担当・松下ミワをよろしくしてやってください。紙プロ元気大学は終わっても、皆様の心も身体も元気ですこやかでありますように。何度も書くことじゃないですが、ささきぃの誕生日は……しつこいですか？
それじゃ、また。

『紙プロ』読者ページでは、常時みなさまのお便りを募集しています。選手の似顔絵、『紙プロ』の感想、印象に残った試合など、じゃんじゃん送ってきてください。すべてのお便り・イラストのあて先は

メールはradical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6
パレ・ジュノ2F
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部
「新生DSP（読者ページ）」係まで。

携帯サイト『紙のプロレスHand』からの投稿もできます!

本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに!
プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によってはこちらに載ってしまいます。
匿名希望の人はその旨明記のこと。
旬のネタは掲載率が高いです



（北海道・アカツキ）➲省エネ道衣で登場の中村カズ選手。……びっくりしましたねぇ。シウバ、強かったですねぇ。道衣の上を脱ぐのって、私は小笠原先生のイメージがあるので「ここからが本番だ！」みたいなイメージで期待したんですが…。アカツキさんたくさん投稿ありがとうございました。これからも読者ページをよろしくね

RADICAL CALENDAR

7 JULY

27 WED.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■東京・後楽園ホール（19:00）
DEMOLITION■東京・新木場1st RING（19:00）

28 THU.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

29 FRI.
ZERO-1MAX■東京・後楽園ホール（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
K-1 WORLD GP■米国ハワイ・アロハスタジアム

30 SAT.
みちプロ■宮城・古川市総合体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
K-DOJO■静岡・清水マリンビル（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
華☆激■香川・琴平町営西駐車場（19:00）
TAMA■東京・西調布格闘技アリーナ（19:00）
NEO■新潟・焼山温泉駐車場特設リング（15:00）
キングダムエルガイツ■東京・ファーストスピリット（19:00）
修斗■東京・後楽園ホール（18:00）

31 SUN.
ZERO-1MAX■東京・後楽園ホール（18:30）
みちプロ■秋田・鹿角市アメニティパーク体育館（15:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
K-DOJO■富山・イベントプラザ富山（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
WMF■東京・バトルスフィア東京（15:00）
ターザン後藤一派■東京・キネマ倶楽部（17:00）
息吹■東京・新木場1st RING（12:30）
パンクラス■東京・後楽園ホール（12:00）
J-NETWORK■東京・ディファ有明（14:15）
全日本キック■神奈川・横浜赤レンガ倉庫（15:00）

8 AUGUST

1 MON.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

2 TUE.
ZERO1-MAX■福島・いわき市総合体育館（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）

3 WED.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

4 THU.
WRESTLE-1■東京・両国国技館（18:30）
新日本■福岡・福岡国際センター（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

5 FRI.
ZERO1-MAX■大阪・大阪府立体育会館第2競技場（19:00）
みちプロ■岩手・湯田町農業者トレーニングセンター（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

6 SAT.
新日本■大阪・大阪府立体育会館（18:00）
みちプロ■福島・白河市中央体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■神奈川・横濱サマーナイトフェスティバル
K-DOJO■千葉・BlueField（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
SPWF■東京・西調布格闘技アリーナ（18:30）
ナイトメア■群馬・館林駅前谷越町駐車場特設リング
格闘美■東京・新木場1st RING（18:30）

7 SUN.
新日本■大阪・大阪府立体育会館（15:00）
全日本■埼玉・青伸産業運輸大駐車場（18:00）
ZERO1-MAX■東京・後楽園ホール（18:30）
みちプロ■山形・新庄市かむてん公園すぽーてぃあ（15:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■神奈川・横濱サマーナイトフェスティバル
DDT■愛知・名古屋中スポーツセンター第二競技場（13:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
国際プロ■東京・バトルスフィア東京（14:00）
NEO■北沢タウンホール（17:00）
AtoZ■東京・後楽園ホール（12:00）
JWP■東京・赤塚公会堂（13:00）
M's Style■東京・新木場1st RING
我闘姑娘■東京・北沢タウンホール

8 MON.
新日本■神奈川・横浜文化体育館（18:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）

9 TUE.
みちプロ■青森・むつ市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）

10 WED.
新日本■静岡・ツインメッセ静岡（18:30）
みちプロ■青森・青森市浪岡体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・後楽園ホール（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）

11 THU.
新日本■愛知・愛知県体育館（18:30）
みちプロ■山形・三川町民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）

12 FRI.
みちプロ■山形・米沢市営体育館（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
K-DOJO■東京・北沢タウンホール（18:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）
インディー祭り■東京・バトルスフィア東京（19:00）
LLPW■福島・白河市中央体育館（19:00）
JWP■東京・JWP道場（18:00）

13 SAT.
新日本■東京・両国国技館（18:00）
みちプロ■宮城・気仙沼市総合体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
インディー祭り■東京・バトルスフィア東京（18:00）
AtoZ■愛知・名古屋市アスナル金山（16:00）
JWP■東京・JWP道場（18:00）
全日本キック■東京・後楽園ホール（17:30）
K-1 WORLD GP■米国ラスベガス・ミラージュホテル
G-SHOOTO■愛知・Zepp Nagoya

14 SUN.
新日本■東京・両国国技館（15:00）
NOAH■宮城・Zepp Sendai（18:00）
みちプロ■青森・八戸市シーガルビューホテル（15:00）
リキプロ■東京・後楽園ホール（12:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
マッスル5■東京・北沢タウンホール（13:00）
DDT■東京・新木場1st RING（19:00）
大日本■埼玉・桂スタジオ（17:00）
K-DOJO■東京・ディファ有明（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
東海プロ■愛知・名古屋市総合体育館第3競技場（13:00）
NEO■東京・新木場1stRing（12:30）
AtoZ■茨城・取手市ふれあい道路セントラルグループ敷地内（19:00）
MAキック■東京・後楽園ホール

15 MON.
NOAH■秋田・皆瀬総合支所前グラウンド特設リング（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
華☆激■福岡・さざんぴあ博多

16 TUE.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）

17 WED.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
スマックガール■東京・代々木競技場第二体育館（17:00）

18 THU.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本&NEO■北海道・札幌テイセンホール（19:00）

19 FRI.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■東京・後楽園ホール（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■北海道・札幌テイセンホール（19:00）
AtoZ■東京・亀戸サンストリート（19:00）

20 SAT.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■山形・山形市総合スポーツセンター（18:00）
ZERO1-MAX■茨城・水戸市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■岩手・遠野市総合運動公園特設リング（17:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
修斗■神奈川・横浜文化体育館（16:00）
UFC54■米国ラスベガス・MGMグランドガーデンアリーナ

21 SUN.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
全日本■東京・後楽園ホール（18:30）
NOAH■山形・酒田市営体育館（17:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■愛知・JR稲沢駅前特設リング（15:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・千里中央よみうり文化センター（13:00）
FUCK!■大阪・羽曳野J2K道場（14:00）
NEO■東京・東京キネマ倶楽部（13:00）
JWP■東京・東京キネマ倶楽部（17:00）
AtoZ■東京・江戸川小松川さくらホール（16:00）
アジャコング自主興行■東京・後楽園ホール（12:00）

22 MON.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■岩手・岩手県営体育館（18:30）
ZERO1-MAX■群馬・伊勢崎市第2市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
TITANS 2nd■東京・代々木競技場第二体育館（17:00）

23 TUE.
新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）
T-1グランプリ■東京・後楽園ホール（18:39）

24 WED.
NOAH■福島・福島国体記念体育館（18:30）
全日本■岩手・大船渡市民体育館（18:30）
ZERO1-MAX■長野・長野運動公園総合体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

25 THU.
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

破壊王・橋本真也さんのご冥福を編集部一同お祈りいたします

アストロ☆コラム



金ちゃんのMONTHLY BOYA-KING COLUMN

ドンとやってみよう！

第4回 前田さんの仲介で来月、リングス・エカテリンブルグの試合に出場決定！

『紙プロ』読者のみなさん、しばらくごぶさたしてました。最近、なんか『紙プロ』編集部からコラムの依頼が来ないなと思ってたら、気付いたら4ヶ月ぶりなんだよね。これどういうこと？　金原家の貴重な定期収入源なんだから、毎月やってもらわないと困るよ（笑）。俺はファンの人にも「コラム楽しみにしてます」ってよく言われるからね。『紙プロ』もそういう読者を裏切っちゃダメでしょう。まぁ、いざ「コラムお願いします」って言われても、この4ヶ月、なんのネタもなかったんだけどね（笑）。

6月に『PRIDE』で試合が組まれるって話があったんだけど流れて、「7月お願いします」って言われたんだけど、結局これも流れてちゃったからさ。せっかく自分を追い込んで身体をいじめたのに、追い込んだだけで終わっちゃったからね（笑）。もう張ってた気も抜けちゃって、すっかり夏休みモードだよ。夏休みって言うか、こっちは春からずっと休みなんだけどさぁ（苦笑）。とにかく早く試合がしたいんだよね。

その7月の試合も流れちゃった理由っていうのがさ、オファーは試合の一ヶ月前だったんだけど、「前回から『PRIDE武士道』は中軽量級に特化した大会になりましたんで、83キロ契約でお願いします」って言うんだよ⁉　俺は93キロで身体作ってるのに、一ヶ月で10キロ減量なんて無理だって！

「金原さんの体型なら落とせるんじゃないですか」っていう人もいるんだけどさ、俺の身体はUインターの新弟子のころから大きくしてきた身体だからさ、試合用で93キロだからそう簡単に落ちないんだよね。3ヶ月後の『PRIDE武士道GP』までに83キロの身体作ってくれっていうなら、なんとかなるかもしれないけど、1ヶ月じゃあねぇ。それで泣く泣くオファー断ったんだよ。試合やりたいのに断らなきゃならないって辛いよ。

そんなときに前田さんから電話がかかってきてさ、「おう、金原。ロシアで試合するぞ」って言われてね。前田さんが興行打つのかと思ったら、前号の『紙プロ』に載ってたニコライ・スーエフさんの「リングス・エカテリンブルグ」旗揚げイベントに出すって話でさ、「俺に任せとけ」とか言ってね。その場では俺はOKとも何とも返事しなかったんだけど、その数日後に久々にTK（高阪剛）から電話がかかって来てさ、ちょっと話したら「金原さん、ロシア行くんですよね？　僕も行くことになりました」って言うんだよ。「なんでその話知ってんの？」って聞いたら「前田さんが『金原も出るから、お前もロシア出ろ』って言うんで、出ることにしました。一緒に行きましょう」とか言ってさ、俺はまだ返事出してないのに、前田さんの中では決定事項になってるんだよね（笑）。前田さんらしいよね。

まぁ、どっちにしてもありがたい話なんで、そのあとOKしたんだけど。このロシアでの試合は、なんと俺もTKも旧リングスルールでのオファーなんだよ。パンチは禁止で掌底でさ、レガース着用、ロープエスケープ有り。なつかしいよね。でもさぁ、レガースとかもう使わないと思ってみんな人にあげちゃったから、俺もってないんだよ（笑）。かといって新たにこの試合のためにレガース作るのも一試合のためにもったいないからさ、レガースあげた人に「ちょっと貸してもらえますか？」って、元自分のレガースを貸してもらって使おうと思ってるよ（笑）。



8月20日、ついにロシア・エカテリンブルグにて復活する「リングス」。ズーエフ氏所有の「リングス・センター」旗揚げ戦は金原、TK出場、前田来場が決定し、ますます見逃せなくなった！

旧リングスルールで試合するなんて6年ぶりだけど、楽しみだよね。ロープエスケープが何回なんだかもわからないけど（笑）。たまにこういう試合をやるのもいいかもしれないよね。でも、またロシアに、しかもエカテリンブルグに行くとは思わなかったな。むかし日本のロシアンパブに行ったことがあるんだけど、そこの女の子に「俺、エカテリンブルグ行ったことあるよ」って言ったら、そのロシア人の子も知らなかったからね（笑）。まぁ、リングス・ロシアの人たちに会えるのも楽しみだし貴重な体験だと思って行ってきますよ。

それから今回のロシアをきっかけに、前田さんと一緒にやっていこうかなとも考えているんだよ。だからいまは結構マメに前田さんと会ってるんだけど、別に前田さんは団体持ってるわけじゃないからね。前田さんに協力してもらいながら、頑張って結果出していければいいかなと、いまは思っているよ。

とにかく、ようやく試合が決まったんで、それに向けて頑張りますよ。そして今年の下半期はバリバリ試合やりたいな〜。

最後に、橋本真也さんの突然の訃報にびっくりしています。40才という若さで亡くなるなんて信じられません。橋本さんの御冥福を心よりお祈りします。

Kanehara Hiromitsu

本音炸裂コラム毎日更新中！
金原弘光オフィシャルHP
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

今月は『キカイダー01』のDVD発売よ。後半最高!

花くまゆうさく



今月は仕事場の引っ越しだから、ここを休ませてちょーだいって頼んだけどダメでした。はぁ〜、『浅ヤン』DVD、じっくり見てえなあ。

▼6月26日
『PRIDE GP』をTVにて

大ノゲイラは、あそこまでいったらパンチでなく、腕十字で柔道金メダリストに勝ってほしかったなあ。

アリスターの快勝には驚いた。押さえから逃がして、相手をこっちに向かわせギロチン合わせるという小ノゲイラのパターンとまったく同じで見事。『紙プロ』前号で「オールドスタイルのオランダ選手と一緒にすんな」って言ってたけど、まさにそのとおりだね。

メインのシウバvs中村は、柔道衣を脱ぐときの慌てぶりが、ひとりダチョウ倶楽部みたいでなごんだ。中村の試合で、初めてなごみました。終わりよければすべてよし?

▼7月4日

3日の修斗名古屋大会の結果見たら、門脇(英基)が腕十字取られてるので驚いた。日沖(発)は着実に伸びてるね。高谷と再戦したらどうなるのかな?

▼7月6日
『HERO'S』をTVにて

またしても本番で神懸かった強さを出す所は凄いなあ。中原太陽戦、大石真丈戦、そして感動した『GT-F』での優勝と、ここぞというときの強さはホント凄いね。この試合中、宇野の顔をよく映してたけど、やっぱり本当の70キロ組とやったら、所も小ノゲイラもキツそうだなあ。今後は不安。KIDもいるんだし、やっぱ65キロ級作ってほしい。

▼7月17日
『PRIDE武士道』をTVにて

引っ越し前日でグチャグチャだけど、日本の正常な普通の男の子なら、今成vsハンセンだけは見逃すわけにはいかない。段ボールに囲まれながら、この一戦は凝視。んー、2人とも凄いぜ。ヒザで打って、クルッとコーナーに帰るハンセンの何とも言えぬカッコよさ。シビれる。でもやっぱ、今成KO負けはショック。でもでも、十段も十分持ち味を出したからいいかな。あれだけ足関のカタチに入ったのにギブしないのだからしょうがないかと、自分を納得さして引っ越し作業に戻りました。



デコトラで入場見たかった。



Hanakuma Yusaku

8月にロシア行ってきます(たぶん)。

中川画伯の絵日記
犬とTVの日々

http://chu-kichi.jp/

第11回

頭ん中は犬ばかり。
やっぱり犬が好き。

破壊王、ありがとう!
御冥福を心よりお祈りします。



6月18日 新国立劇場で『Cam on+(カムオンプラス)』を観たよ。構成・演出・振付・出演/黒田百合。大ファンの黒田百合さんのダンスを観たよ。スゴく面白かったよ。黒田最高!!

6月19日 『The LEGENDS of AX』ちゅうDVDを見たよ。またマァティン観たいな…。

6月26日 『PRIDE GP』観たよ。桜庭和志大好き。アグレッシブ。まさにプロフェッショナル! 胸がジーンとしました。勝負事は勝たなきゃダメのは解ってる。でもね、桜庭和志は格好良かったよ。だから、いいじゃん。次。次に期待してます。



6月29日 後楽園ホールで『スマックガール』を観たよ。辻結花選手のパンチや足関はスゴかったです。タックルもスゲー速くて低いの。あんなタックル、誰も切れないよ。辻結花選手はやっぱりステキ!モノ凄くウキウキしました。

6月29日 ずんのやすさんにサイン貰ったよ。嬉しい! 優しかったよ。

7月6日 TBSテレビで『HERO'S』見たよ。最高最高!! 所英男最高!! スカッとしたよ。

7月10日 『スマックガールF』観たよ。格闘技は小さい会場でジックリ観るのが楽しいね。

7月11日 破壊王が死んじゃった…。突然過ぎて全く信じられない。頭の中が混乱してる。

7月12日 『G-SHOOTO PLUS』観たよ。会場内が、みんな仲間みたいでチョッピリ居心地悪かったよ。茂木康子選手、格好良かったよ。

7月13日 神奈川のプリティ北海道犬アリーちゃんに犬オヤツをたくさん貰ったよ。大感謝。はじめての御中元。



何を書いて良いのか解らず暴走気味。ブレーキの壊れた自転車です。御指導御鞭撻願います。紙のプロレス「中川画伯絵日記係」まで。抽選で1名様にステッカー・プレゼント。

ザ・検証 REBORN

ども、担当の"泣き虫"チョロです。今月は破壊王ショックで5年分ぐらいの涙を放出してしまいました。いま7月21日の午前5時過ぎなんですが、ふと思いつき破壊王の携帯に電話してみる。……あら鳴っちゃった。コールバックしてみろ、コラッ！（涙）

【今月の検証　椎名基樹】徒然日記

長州力（この場合の読み方は《ちょうしゅう・りょく》。最近のはやり言葉の《人間力・にんげん・りょく》とか《老人力・ろうじん・りょく》みないな感じで）を得ようと、サイパンに行ってきました。3泊4日の予定を終え、成田空港に着き、さっそく携帯の電源を入れると、3通ばかりの着メール。内容はどれも、橋本真也死亡の報。帰って来たのは、7月11日だったので、亡くなられたその日に帰国したようだ。嘘か冗談だとも思ったが、3人から同じ嘘が届くハズもなく、頭でだけ現実を理解するも、当然、ピンとこない。プロレスラーの訃報はいつも突然だ。ブロディ、アドニス、そして橋本。波瀾万丈な人生。それが、プロレスラー・ライフ。身体も大きいから、喪失感も比例して大きく、余計に突然な感じがする。死は生きている人に、いろんなことを問うものらしく、歳も近いせいか橋本の死はいろいろ考えてしまった。とりあえずは、『烈闘生』をもう一度読み返してみようと思ったのであった。

7月はサイパン旅行の前に、久々会場に足を運んで、『HERO'S』を見に行った。会場で観戦するのはいつ以来だろうか？　もしかして2年くらい観てないかも。とにかく思い出せない。小ノゲイラが出るのいうので見に行ったのだが、所選手の見事な勝利は、嬉しいやら、ちょっと残念やら。やっぱ、KID vs 小ノゲイラが観たかったもんでね。

しかし、所選手、おめでとう。山本喧一が主宰した、小さな興行で、すごく早くから所選手を観て、これはスゴイと思ったことが、ちょっと自慢です。しかし、大会場での観戦は、所選手のバックブローKOのシーンですらそうだったのだが、俺が座っていた二階席のテッペンでは、マッチ箱の上で闘っているくらいにしか見えず、ふんわりとした夢の中の出来事のような感じであった。特にKIDの試合は「え!?　当たったの？」って感じでさっぱりわからく、その前にテレビで見た、いま話題の亀田興毅選手の「お前全然当たってないよ、それ！」な、KOシーンとダブってしまった。（に、しても亀田興毅選手の対戦相手、全員タイ人って何それ？　正規の階段登らなきゃダメだよ、若者）。結論としてVT観戦は、後楽園ホール規模まで。後はテレビ観戦が一番だと思ったのであった。あ、でも若翔洋の入場は最高だった。ものすごくカッコいいヘビメタ（ガンズかな？）に乗って、内山君がせり上がってくんだもんな。己を知らぬが故に、自己完結してて偉い！　でも、たまには鏡見ろよ〜！

テレビ観戦で今月一番良かった試合は、DEEP19thインパクトのメイン、滑川vs桜井隆多。こんなの、ガチンコの中のガチンコ、自分を賭けたサバイバルマッチ、グッド・マッチメイクですよ、佐伯代表。予想はまったくわからないか、滑川やや有利だったようだが、桜井が見事1R一本勝ち。桜井選手おめでとう。これで、桜井の『武士道』の83キロ級トーナメント出場が有力になったらしい。

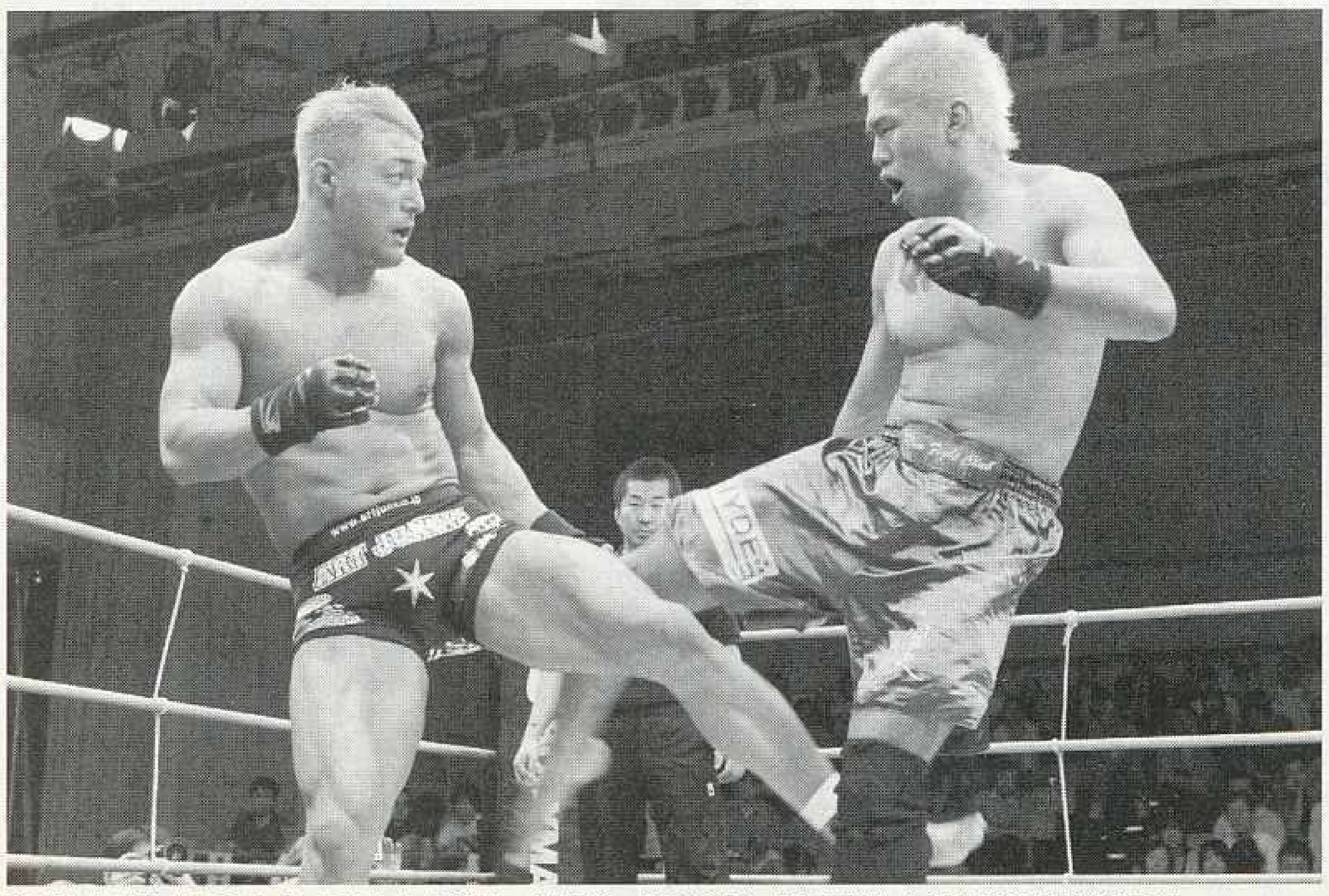
しかし、滑川ガッカリしただろうな。でも、これを機にアメリカに渡って、ボクシングジムに入門して、1年後に帰って来よう！　経費はお金がある人……そうだ、堀江社長出してやってくれ！　お願い！　俺からのお願い！　だが、この負けは、滑川選手にとって、間違いなく前進である。「頑張って〜！」（黄色い声援）。

そして、もう一人、こういう試合をして欲しいのが、この日アンソニー"辰治"ネツラーのセコンドに付いていた金原、我らが金ちゃん。83キロ級に絞って、滑川のカタキを討つべく、桜井選手に挑んで欲しい。もう一度光り輝くにはこれしかないし、もう一度、光り輝いて欲しいもんね。

その他に、このDEEP大会で、目立ったのはセミの帯谷vs長谷川。帯谷選手は五味選手と同門でスタイルも同じ、必ず上になり相手をブッ壊すようなスタイル。対する長谷川選手は柔術的な足がビックリするくらい利くタイプ。まったくタイプが違うので非常に噛み合ったいい試合だった。帯谷選手が判定勝ちし、これから注目の選手らしいし、その通り強く素晴らしい選手であるが、ついつい足が利く長谷川選手に面白味感じてしまう、オレなのでした。

あと、ベテランのMAX宮沢選手も出ていて、やっぱ応援しちゃうね。ずっと前に同じくDEEPであまりにヒドイ判定をされて、勝った試合を引き分けにされてしまっていたけど、今回もやや有利な試合だったが引き分け判定で、勝ち星に恵まれない。しかし、誰もが認める実力者、頑張って欲しいとみんなが思っているハズだ。

最後に修斗の北沢タウンホールの大会をテレビで観戦。ガッツマン道場の選手がたくさん出ていたが、みなレッスル＆打撃の、今風の、おおざっぱな言い方だが、シュートボクセ型の選手。さすが、桜田直樹の弟子たち、昔からの桜田さんのコンセプト通りの選手が育っていて感心。その放送の中で大河内衛選手が、もう一度、プロ選手を目指しアマから闘っていることを知る。素晴らしい！　大河内選手が引退した頃は、体重が合ったフェザー級なんて、ないも同然だったもんね。ガンバレ、大河内衛。マモル対決を制してチャンピオンだ！


茨城県人対決としてメインで行われた桜井vs滑川戦。鼻を折られ惨敗を喫した滑川の再起に期待だ！

”ささきぃの STAND BY ME“（仮）

極私的立ち技格闘技連載

第10回

『2005年上半期ベストバウト&MVPとは何か？』

ささきぃです！『STAND BY ME（仮）』もついに10回目！ 今月は2005年上半期のベストバウト&MVPを勝手に認定しちゃいます。興奮度マックス、緊張感マックス、そして面白さはゼロワ……あ、これは先月書きましたね。それでは橋本さん、よろしくお願いします！



橋本宗洋（はしもとのりひろ）

1972年生まれ、茨城県出身。『格闘技通信』を経た後、99年からは『SRS－DX』へ。同誌休刊後はフリーとして本誌でも活躍中。対談をはじめて半年が経過するのに、前号で名前を「はしもと・むねひろ」と誤植され、ささきぃが人の名前をボンヤリ覚えていると知る。今月は北海道・アカツキさんによる似顔絵を採用しました。まだまだ似顔絵募集中。

ささきぃ 今月号では読者アンケートで2005年上半期ベストバウトを決定したりしてますんで、立ち技部門ベストバウトとMVPも勝手に決めようと思います！

橋本 なるほど。（リストを見て）こうしてみると、いい試合たくさんあったねぇ。でも、小比類巻貴之vsダリウス・スクリアウディスも候補に入ってるのか（笑）。

ささきぃ もちろんですよ（笑）。

橋本 あれは迷試合のほうだろ（笑）。今年の最初には小林聡vs大月晴明があったんだよな。今の小林は、負けた試合をほめちゃいけないと思うから、あんまり持ち上げたくないんだけど、ただやっぱ試合前とか、1、2ラウンドの緊張感っていうのはただごとじゃなかったね。

ささきぃ 後楽園の空気とか、全員がリング上に意識を本気で集中させてるっていう感じはなかったですよね。私、小林聡は死ぬんじゃないかって本気で思っていましたしね。

橋本 それくらいの試合だったよなぁ。そして1月は宍戸大樹vsオーレ・ローセンもあった。これも名勝負だよ。

ささきぃ 昨日『SRS』で見ましたけど、あのハイキックはすごかったですね。

橋本 あのハイは、SBの必殺パターンだね。パンチからいって、そのままの距離でハイキックを放つという。あれは歴史を振り返ると分かるんだけど、たとえば村浜武洋がこないだの『MAX』でHAYATOを倒したのもあのパターンだし。

ささきぃ ほぅ。

橋本 もっと昔で言えば、吉鷹弘vs大江慎で吉鷹がダウンを奪ったのも全くこれと同じパターンだったね。だからあれ、伝統のSBコンビネーションだと思うなぁ。後でも触れるけど、宍戸の勢いは本当にすごいよ。2月にも名勝負があったね。

ささきぃ 佐藤嘉洋vs山本優弥……もう去年のことのような気がしますね（笑）。

橋本 いろいろあったからなぁ。でも、この試合の価値は全然落ちないね。佐藤のヒザの威力は本当にすごいんだっていうのを見せつけつつ、立ち上がって根性を見せつけた優弥のけなげさだね。『K-1 MAX』開幕戦もいい試合が続いて、次はJ-NETの真二vs牧。あー、これはいい試合だったなぁ。

ささきぃ 藤原対決に隠れてるかもしれませんけど、これは他の試合がなかったら上半期ベストバウトでもいい試合ですよ。負けた牧の表情とかがちょっと忘れられなかった試合でしたね。

橋本 『MACH55』は、一様に選手のテンションと勝敗のコントラストがスゴかったよね。中でも一番良かったのは、この藤原対決かな。

ささきぃ これがベストバウトで文句なしですけど、ホント…いい試合でしたよね。

橋本 一発逆転の醍醐味もあり、タオルもコスチュームも血で染めて死ぬほど泣いてる国崇に勝負の残酷さを見たり、名勝負の条件としていろんなものがそろってたと思うなぁ。

ささきぃ 団体対抗戦、王者としての意地。

橋本 レベルの高さ、試合展開、試合後、全部良かったな。足りないのは注目度と専門誌のページ数だけだよ。

ささきぃ なんで『紙プロ』がこんなに意地になって取り上げてるのかって話で（笑）。次の山本vsヴァシコバも、全日本とNJKF対抗戦シリーズで、國崇選手がヒジで負けたあと、アウェイで同じヒジで勝ったという、そのドラマに惹かれましたね。

橋本 山本の軽さも良かったね（笑）。翌月の宝樹まもるも素晴らしかったなぁ（笑）。

ささきぃ 3R2分59秒でKO負けという、勝っても負けてもKO男の名をかたくなに守った名勝負ですよ（笑）。

橋本 IKUSA GPも名勝負連発だったなぁ。4試合の中に「意外な接戦」「さすが本命という強さ」「まさかのアップセット」「あおりにあおられた対戦での劇的決着」っていう、開幕戦が盛り上がるための条件をすべて揃えた、ベスト興行といってもいい大会だったね。これともうひとつの団体対抗戦『マッハ55』は素晴らしかった。

ささきぃ いい大会でしたね。

橋本 両方、全日本キックがおいしいところをさらっていったね。で、『IKUSA』良かったって言いながら翌日の『R.I.S.E.』に行ったら、これも度肝をぬかれたね。キャリアで完全に勝る我龍から、龍二ががんがんダウンを奪って、そして最後にコブシあわせてヨーイドンで打ち合って。

ささきぃ なかなか見れるもんじゃないですよね。ものすごいドラマでしたよ。これで本当、リアルディールっていうのはすごい、龍二も本当にすごいって分かりましたよね。

ベストバウト候補一覧

1.4 全日本キック	小林聡vs大月晴明
1.23 SB	宍戸大樹 vs オーレ・ローセン
2.6 全日本キック	佐藤嘉洋 vs 山本優弥
	郷野聡寛 vs 西田和嗣
3.6 SB	宍戸大樹 vs 菊地浩一
3.6 パンクラス	郷野聡寛 vs 桜木裕司
3.12 IKUSA	裕樹 vs 拳士
5.4 K-1 MAX	小比類巻貴之 vs ダリウス・スクリアウディス
	安廣一哉 vs ジャダンバ・ナラントンガラグ
	ジョン・ウェイン vs シェイン・チャップマン
	マイク・ザンビディス vs 山本KID徳郁
5.6 J-NETWORK	真二 vs 牧裕三
	藤原あらし vs 藤原国崇
5.15 全日本キック	山本雅美 vs サトル・ヴァシコバ
	山本元気 vs チンチャイ・マイムアイコーン
6.12 全日本キック	箱崎浩康 vs 宝樹まもる
	ファイヤー原田 vs 藤井徹
6.14 K-1 GP	チェ・ホンマン vs “グリーンベレー”トム・ハワード
6.18 IKUSA	山本真弘 vs 小石原勝
	KAWASAKI vs 歌川暁文
	石川直生 vs TURBO
	輝浪 vs HAYATO
6.19 R.I.S.E.	龍二 vs 我龍真吾
	百瀬竜徳 vs マグナム酒井
6.26 SB	石川剛司 vs ラジャサクレック・ソーワラピン
	宍戸大樹 vs 大野崇

ベストバウトは『MACH55』の藤原対決。名勝負の条件がそろってたね（橋本）

橋本　そのすぐあとにSB後楽園か。今日、何回言ってるんだって話だけど、これもいい大会だったなぁ。宍戸は良かったねぇ…。負けた大野の株も下がらなかったし。

ささきぃ　大野選手、顔中傷だらけでしたけどね、勲章ですよ。宍戸選手は6ヶ月で3回も試合してるんですよね。

橋本　大物外国人と闘い、おなじ団体の次世代エース対決を制し、他団体との対抗戦に勝利と。全部違うテーマを全部いい内容でクリアしてるからね。

ささきぃ　候補にあげた中で3つ試合入ってる人いないですし、MVP決めるとしたら宍戸さんですかね。

橋本　ベストバウトは藤原対決だけど、MVPは宍戸だね。乗り越えた宍戸もリッパだし、宍戸をあてる意味大事にせずに、ガンガン強い奴とぶつけて、名勝負になりそうなシチュエーションをどんどん作ってる主催者サイドのやりかたも、またいいなと。

ささきぃ　伸びてきた奴を守らずにどんどん強い奴とぶつける、っていうのはシーザーイズムなのかなとも思いますね。

橋本　今SBはすごくノってきてるなって。舞台設定がうまいよね。イベントプロモーションの部分と、選手を抱えて育てる格闘技団体両方のいいところが出ていて、いい具合で回ってるなぁと思うね。選手の頑張りは伝わるし、ヘンに気取ったところもないし、非常に居心地いい空間ですよ。

ささきぃ　どんなにスカして見せても、とりあえず勝利者賞で羽子板は持たされますしね。

橋本　バカでかいやつな（笑）。

ささきぃ　6・26のカードも、頭から全部テーマがあるんですよね。女子マッチ、東西弟分対決あり。

橋本　レギュラーと新鋭の新陳代謝がいい感じで回ってる。羽子板もあり、片腕ドラゴンもあり、ジョー山中の歌もあり。

ささきぃ　ごちゃまぜですけど、それがいい感じですよね。

橋本　場の開放され具合もいいしね。SBの下半期は、特に宍戸というのがキーになってくるんじゃないないなあ。

ささきぃ　ジム内ではいまだに下っ端としてひどい扱いを受けてるみたいですけど。

橋本　本人にも確認したけど、一番羽根をのばせるのがリングの上だと。だからあんなにイキイキしてるんだよ（笑）。

ささきぃ　来年になったら簡単に宍戸さんと呼べなくなっているかもしれませんねぇ。

橋本　たとえば『K－1 MAX』に新しい人材を入れるって言ったら、一番は宍戸だろうからね。あとは龍二とか裕樹とか、宝樹くらいしかないだろ。

ささきぃ　4番目にもう宝樹まもるですか？

橋本　もう出番だよ。俺は宝樹が出るまで言い続けるよ（笑）。

ささきぃ　宝樹まもるはともかく（笑）、軽い階級がえらく盛り上がった上半期でしたね。

橋本　フェザー、バンタム、ライトっていうのが本当に面白いよ。『K－1 MAX』効果で中量級が盛り上がってるんだけど、軽量級はキック団体自身の努力で盛り上がってきてる。これはすごくいいことですよ。

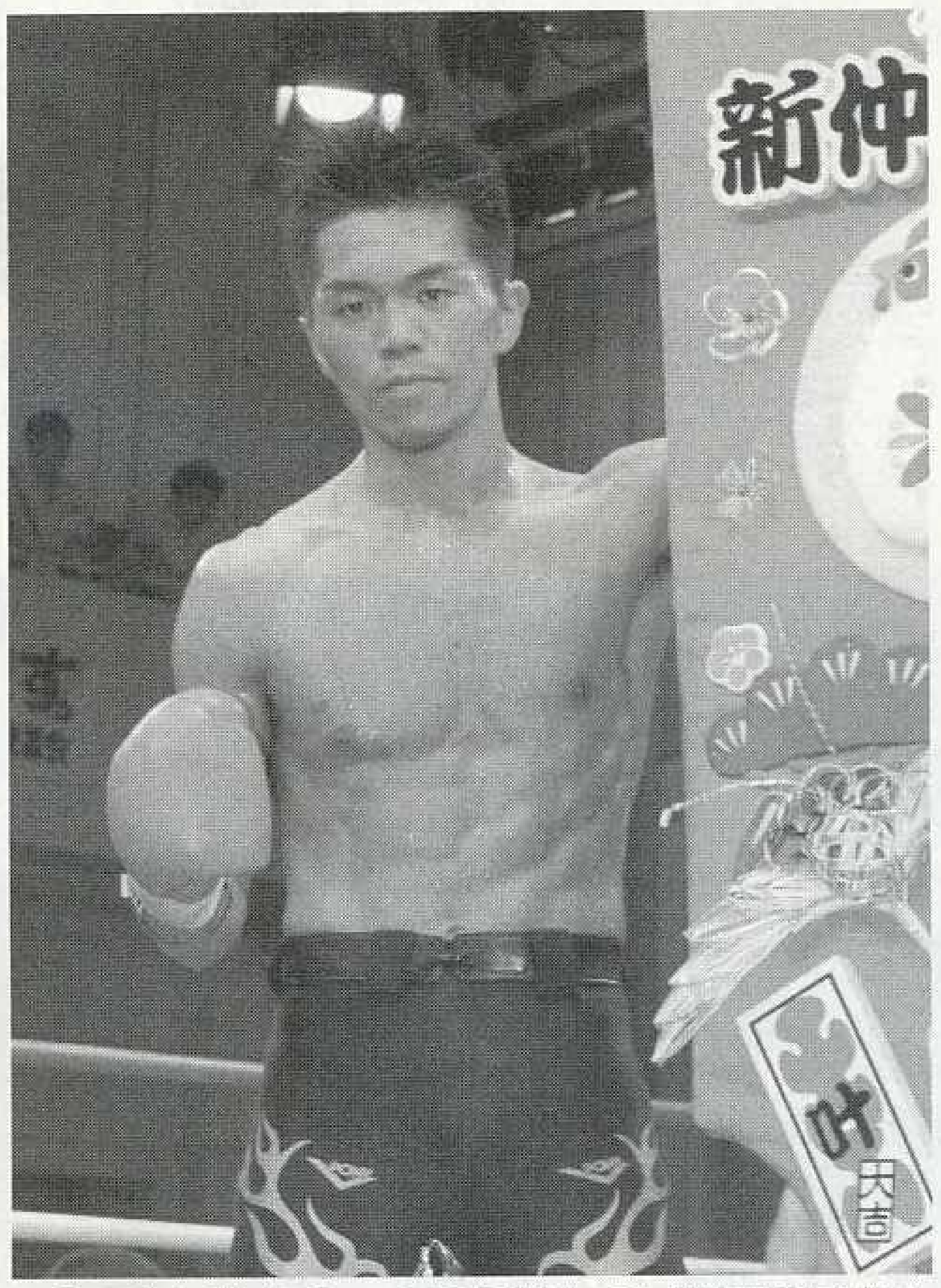
ささきぃ　70キロぐらいで軽いなんて言ってんなよと。

橋本　人類最激戦区って言うけどさ、70キロって普通のあんちゃんからしたら結構でけぇぞ。50～60キロだろ、日本で人類最激戦区は。タイで一番層が厚いのはココだしね。俺が言うのも何だけどさ。

ささきぃ　100kg超の橋本さんが言うのは確かに何ですけど、そうですね（笑）。

橋本　7・31は『MACH55』の決勝戦もあるし、立ち技は下半期もまだまだ面白いよ。まだまだ「軽い奴、集まれ！」ですよ（笑）。

【7月9日・ダブルクロスにて収録】



6ヶ月に3試合、どれもがテーマのある名試合という上半期MVPにふさわしい活躍を見せた宍戸大樹。手にしているのが噂のデカイ羽子板である

7·31 J–NETOWORK

7月31日（日）15:00開始予定
東京・ディファ有明

9.【MACH55 first 決勝戦】
藤原あらし（全日本キック） vs 真二（NJKF）
8.喜入衆 vs ゲンナロン・ウィラサクレック
7.牧裕三 vs 山本ノボル
6.田中貴之 vs 寒川直喜
5.長谷川康也 vs ウィル・リーバ
4.凱斗亮羽 vs ファイヤー原田
3.大原清和 vs 龍鬼神
2.夜桜弘治 vs 木村敬明
1.長崎秀哉 vs 武田晃一

【J-GIRLS】
3.グレイシャア亜紀 vs 星野久子
2.大島椿 vs 渡辺亜矢子
1.成沢紀予 vs 杉貴美子

問:J-NETWORK 03-3419-0536（15:00～）

8·13 ALL JAPAN KICKBOXING

8月13日（土）18:30試合開始
東京・後楽園ホール

【対抗戦七番勝負】
［全日本 vs NJKF］
前田尚紀（全日本フェザー級1位） vs 岩井伸洋（NJKFフェザー級王者）
［全日本 vs NJKF］
湟川満正 vs 加藤健
［全日本 vs J-NET］
千葉友浩 vs 山内哲也
［全日本 vs MA日本キック］
大輝 vs 網島容一
［全日本 vs J-NET］
ラスカル・タカ vs 赤羽秀一
［全日本 vs MA日本キック］
正巳 vs 田中信一
［全日本 vs J-NET］
上杉武信 vs 藤原王子

問:全日本キック 03-3365-1171

ささきぃが今月覚えたマメ知識（階級編）

	ささきぃのキック階級認識	ボクシング	修斗	シュートボクシング
フライ級	50か51キロくらい	50.80kg以下	52.0kg以下	50kg以下
バンタム級	たしか53から54キロくらい	53.52kg以下	56.0kg以下	52kg以下
フェザー級	57くらいだと思った	57.15kg以下	60.0kg以下	57kg以下
ライト級	61キロだったような気がする	61.23kg以下	65.0kg以下	62kg以下
ウェルター級	たぶん66キロ	66.68kg以下	70.0kg以下	67kg以下
スーパーウェルター級	69キロだった気がした	69.85kg以下		70kg以下
ミドル級	PRIDEで83キロ、キックは72キロ	72.57kg以下	75.0kg以下	72kg以下
ライトヘビー級	よくわからない	79.38kg以下	83.0kg以下	80kg以下
ヘビー級	ミドルより多かったらヘビーのはず	90.0kg以上、キックは主に72.58kg以上を指す	100.0kg以上	80kg以上

不定期連載としてスタートするこのコーナーでは、ささきぃが毎月、取材を通じてこっそり覚えた知識を皆さんと共有するため発表します。フェザー、ライト、ウェルター。名前くらいは聞いたことあると思いますが、体重別に階級が分かれていて、それぞれの名称が「フェザー」とか「ライト」とか言うわけですね。文中にも登場したので、せっかくだからちゃんと覚えようと調べました。「どうせなら、初心者の人にも分かりやすいように、いろんな団体の一覧を作ろう!」と思い立ちましたよ。「キックボクシング　階級」と打ち込んでググるという、立ち技担当とは到底思えない調べ方をスタート。団体によって体重が違うという壁にぶちあたりました。一覧を作るべく、いろんな団体の階級を調べたのですが……。こんなスペースでは紹介しきれないということもわかりました。……悪かったよ（逆ギレ）。

一番基本となる「ボクシング」の階級が上記の表です。団体によって多少の違いはありますが、これをぼんやり覚えておけば少し自慢できます。参考のため、というよりもささきぃ自身のために修斗とシュートボクシングの階級をあわせて載せておきます。個人的には、各団体はパンフに各階級が何キロかくらい書いておいてくれてもいいんじゃないかと思います。ささきぃはコピーして手帳に貼っておくつもりです。来月はあるのかこのコーナー。質問などもお待ちしてます。

6·26後楽園に参戦した“片腕の弾丸”バクスター・ハンビーの師匠、カーター・ウォン氏のインタビューは次号に掲載！　必読!!

大日本掣圏道帝国皇帝が真の武士道を求めて全国行脚

佐山サトルの

日本右流々ン（ウルルン）探訪記



第7回 佐山皇帝の『探偵物語』

文／中村カタブツ君（42歳）
取材協力／総合探偵社 ガルエージェンシー

諜報活動を制する者は世界を制す！ 佐山皇帝が勇気を出して初めての尾行!!

さて、今回の『右流々ン』は探偵編。総合探偵社ガルエージェンシーにお邪魔し、佐山皇帝がスパイ修行に乗り出すチャレンジ企画なのである。で、探偵と言えば7つ道具！

いまどきそんなものがあるのかと思っていたら実際あったのだ。腕時計型ビデオカメラに、ペン型カメラなど、秘密道具が続々と出てくる。

「楽しいなぁ〜！　面白〜い！」

そんな電子機器の数々を前にし、皇帝の目は見る見る輝き出す。もともと機械いじりが大好きな皇帝。電動自転車も独自に改良、通常の3倍のスピードが出るようにして、都内を足こぎなしでビュンビュン移動していたものだ。そんなお方の前に腕時計型カメラなんか出したのだから、最初からハイスパート・モードになるのも当然だろう。

「あ、画像は鮮明ですね。これはこちらで作ったんですか？　部品は秋葉原？　うんうんうん、今日作ろう！」

腕時計型カメラをさっそく身につけながら、講師の末永貴久氏に矢継ぎ早に質問を繰り出す皇帝。その時、カメラに接続されたモニターをふと見ると、僕ら取材班の股間が映し出されいる。何をしてるんですか？

「こんなのを持ったら普通、顔なんか撮らないで、こういう風に使うでしょ。ふふ」

いや、確かにそうだけど、ホント最低。



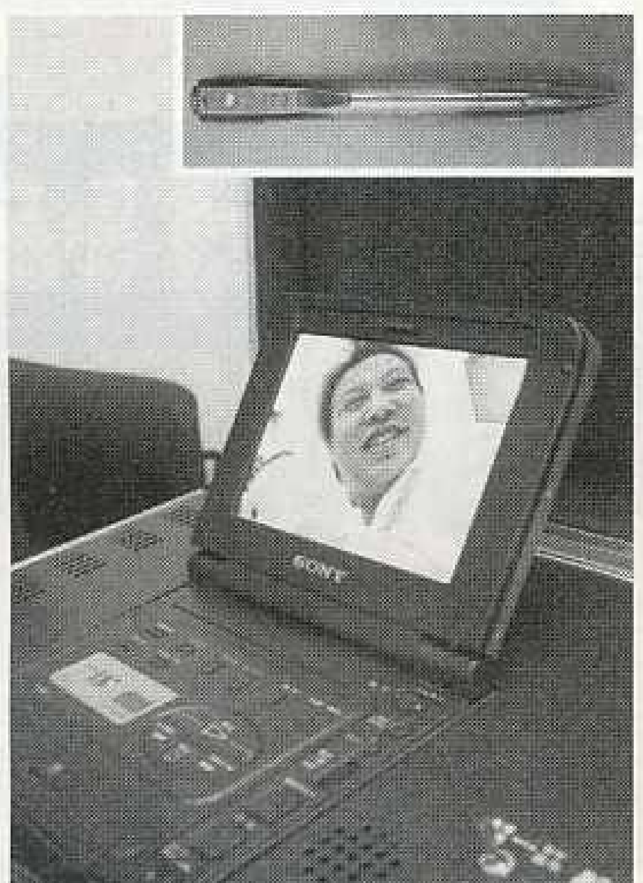
指紋を採取する道具の説明を受け「ウチの事務所に来たお客の指紋採っちゃおうかなあ。ふふ」とつぶやく皇帝。天壌無窮では物を触らないように気をつけよう!!



総合探偵社ガルエージェンシー全面協力のもと、佐山皇帝の探偵修行スタート！ 講師はタイガーマスク好きの末永先生。押忍!!（敬礼）



中には8mmカメラが内蔵されており、単にタバコの火で焼いたかのような穴（矢印）から盗撮! 探偵さんって怖いッ!!



イスラエル製のペン型カメラで佐山皇帝を撮影。見てみ、このクッキリ映像! 凄いぞ、諜報機関モサドの盗撮技術力!!

本来はターゲットの顔をさりげなく手に入れるための機器なのだが、いきなり悪用することが頭に浮かぶ辺りが、かつて女風呂ののぞきを常習していた新日イズム！

続いて登場したのはペン型カメラ。これはキャップの部分にカメラが仕掛けられ、胸ポケットに入れてるだけで動画が撮れてしまうイスラエル製の品だ。

「モサド（イスラエルの情報部）だね」

さすがはTIA（ティア＝タイガー・インテリジェンス・エージェンシー）という秘密組織を持つ皇帝。各国の情報部についても詳しい。

「この前もCIAの人と会いましたよ。そしたら話が合ってね。その人も催眠術と格闘技をやってるんですよ。特にその人は自己催眠の技術が凄くて、麻酔なしで手術とか受けてるんですね」

自己催眠は佐山皇帝も得意技。CIAエージェントがそれで痛みを消すことができる以上、皇帝も可能のはず。

「はい。できますよ。」

では、なぜ、メキシコ遠征とかでふくらはぎを故障した際使わなかったんだろうか？

「う〜ん、それはねぇ……。でも、この前、マッサージされたら、あまりにも強く揉まれて痛かったから使いましたよ（笑）」

マッサージ！　試合中になぜ使わない！

「休みたかったのかなぁ。ふふふ、冗談ですよ（笑）」

と、こんな感じでテキトーかつ、タチの悪い受け答えで取材班を煙に巻く皇帝。気が付くと、モニターにはまたしてもボクらの股間が映し出されていたのだった。

そして、次に登場したのは盗聴器発見器。末永氏の話によると企業からの依頼で使用することが多いらしい。また個人の場合はおおむね発見されないことが多く、発見された時は大抵身内が犯人だという。世知辛い世の中となったものだ。

一方、皇帝を見ると、発見器よりも盗聴器のほ

（写真・上）佐山皇帝の装着している腕時計が向かいに座るカタブツ氏を激写！ こんなモノを手に入れたら、下品な使い方をするのが男の悲しい性。もうするな

ちゃいけない（逆に不自然だから）」の4つ。で、

一方、皇帝を見ると、発見器よりも盗聴器のほうに興味津々。

「30年ぐらい前かな、新日の巡業中に、藤原喜明さんが持ってきて『旅館のアベックの部屋に仕掛けてこい』って言ったんですよ（笑）」と、懐かしそう。盗聴器が懐かしいっていうのも凄い話だが。で、結局、皇帝はアベックの部屋の盗聴器を仕掛けることに成功。その夜はレスラー全員が受信用のラジオの前に勢揃いし、カップルのあの声を楽しんだそうだ。ところが問題は誰が盗聴器を回収してくるのか？ だ。

「もちろん私ですよ。その頃一番下っ端で一番身軽だったしね。で、フロントがいないすきに鍵を持ち出して盗聴器を取り戻してきたんですよ。ただ、部屋に入った時は焦ったなぁ。盗聴器を付けてたテープが剥がれてブランブランしてて。もう今だったら、大問題になってますよね（笑）。で、一つ言っておきたいのは私がよくのぞきをやってたとか言われてますけど、みんな先輩から指示されたことだからね。藤原さんとか、荒川さんとかから。私はただの使いっ走りで首謀者はだいたいこの二人ですからね（笑）」とのこと。

盗聴器をきっかけに、そんな古き良き新日エピソードを披露しつつ、皇帝は最新盗聴器情報に関する話も開始。

「いまレーザーを使った盗聴もあるんですよ。窓ガラスにレーザーを照射すると、窓ガラス自体がマイク化して話が聞けちゃうんですね」

これには講師の末永氏も〝なぜそんな事まで知ってるのか？〟と驚きを隠せない。

「実は私の父親が定年退職した後に探偵をやってたんですよ（笑）」と意外な話を初公開。スパイとか、情報組織に興味を持つのはまさに血筋だったことが判明したわけだ。

その後、「ともかく腕時計型カメラとペン型カメラはいいですね。絶対に作ろう！」と言って、末永氏から部品の仕入れ先などを具体的に聞き始める皇帝。たぶん、これからTIAには新たな秘密兵器が導入されることは間違いないのであった。

そして次は実技編。探偵の基本である尾行術の講義だ。

まず、尾行心得として末永氏が語ったのが「見失わない」「バレない」「風景に溶け込む」「隠れちゃいけない（逆に不自然だから）」の4つ。で、皇帝の服装を見るといつものように黒スーツ。ガタイはデカいし、どう見ても怪しいのである。

とはいえ、講義の場所は新宿。こんな方々がわりと多い土地柄だけになんとかなりそうということで、早速繁華街に繰り出して街ゆく人々の尾行をスタート！

さて、最初のターゲットは3人組のサラリーマン。談笑しながら、時折立ち止まっては辺りをキョロキョロしている。それを見て末永氏は「たぶん飲みにいくんでしょう。店を探してるんだと思います」と一言。すると、3人組は本当に近くの居酒屋に入っていった。そして次のターゲットは一人で歩いていたこれもサラリーマン。彼も店を探しているのか、キョロキョロしている。だが、なかなか店に入らず、コンビニに行って飲み物を見たりしていて行動が不審。

「いま飲み物を見ていたので〝飲み〟に行くことはないでしょう」と末永氏。たしかに彼は飲み屋街からドンドン離れていくのだ。う～ん、さすがはプロ。状況判断が的確だ。

一方、佐山皇帝を見ると、険しい顔をしてターゲットから目を離さない。まさにトラの目なのだが、逆にそれが怪しさ満点なのであった。

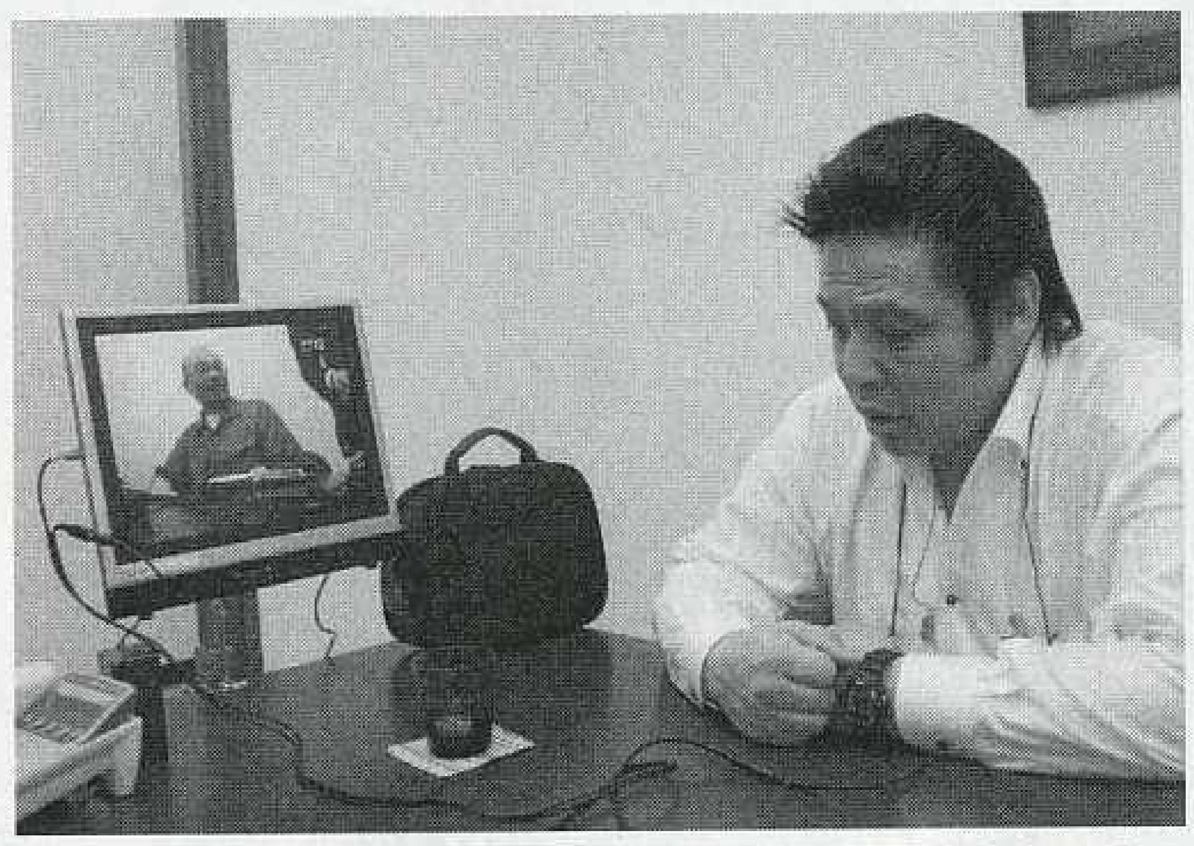
「う～ん、難しいね」

たしかに難しいのだ。相手が振り向くと、ドキドキするし、あと目線は基本的に腰を見てないといけない（通常は後頭部を見てしまいがちだが、それだと振り向いた時に目が合ってしまうから）のに、ついつい後頭部にいきがち。人を尾行するのは結構骨の折れる作業であることがよく分かったのである。

とはいえ、後半では皇帝も自然な動作でターゲットをぴったりマーク。ついに尾行術まで身につけ、危険なトラっぷりに磨きがかかったのであった。

さて、今回はあくまで講義編。次回は格闘技界にその人ありと知られた伝説の格闘家の私生活を赤裸々に追う、隠密行動編を敢行！ 期待してもらいたい。

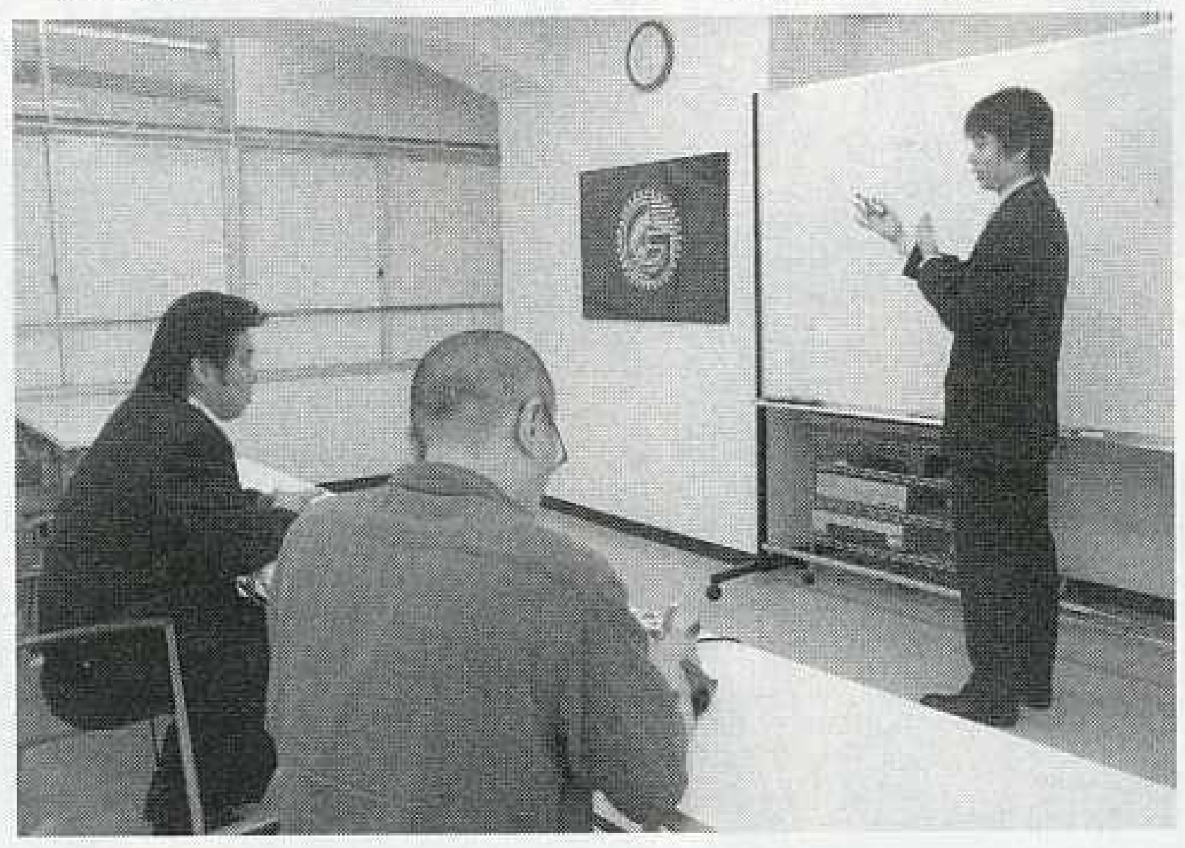
さらに知っている人は知っている、謎の開運アイテム〝猫ニャンみん〟についても迫ってみたいのである。



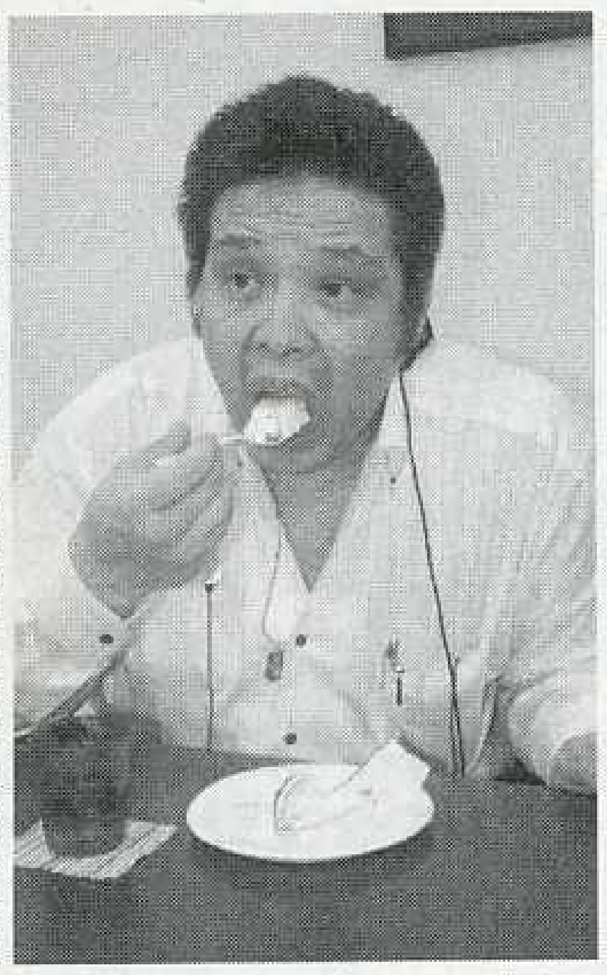


（写真・上）佐山皇帝の装着している腕時計が向かいに座るカタブツ氏を激写！ こんなモノを手に入れたら、下品な使い方をするのが男の悲しい性。もうするなっていう方が無理である。（写真・左）盗聴発見装置をフル装備し実に楽しそうな皇帝。『トイザらす』でハシャぐ子供のように目がキラキラしている。ちなみに皇帝の持つアンテナが盗聴器に近づくとノイズが発生し、発見に至るのだ！





（写真・下）尾行術の講義を受ける皇帝。その横でなぜか必死でメモを取るカタブツ氏。近ごろ嫁の行動に不振な点でもあるのだろうか…。（写真・右）実地訓練に繰り出した皇帝ご一行。魔都・新宿には怪しい人たちが大勢闊歩してるので、適当な被験者を決め早速尾行開始！ しかし先生の「風景に溶け込む」という教えとは裏腹に、皇帝の目は獲物を狙うトラそのもの！ 目立ちすぎです!!





尾行中は喫茶店や甘味処などの誘惑に一切屈しなかった皇帝。ガルの事務所に戻ると京王デパ地下のロールケーキで糖分を補給した。（写真・下）皇帝の胸には謎の開運アイテム・猫ニャンみん。その驚愕のパワーについては近日公開（予定）。

暴走右翼が『紙プロ』の真実を徹底暴露!?

“文豪”佐山皇帝の
『Voice of Tigermask』
http://www.seiken-do.com/

★ガルエージェンシーがあのベストセラー本を大盤振る舞い！
P157へゴー！ ゴー！ タイガー！

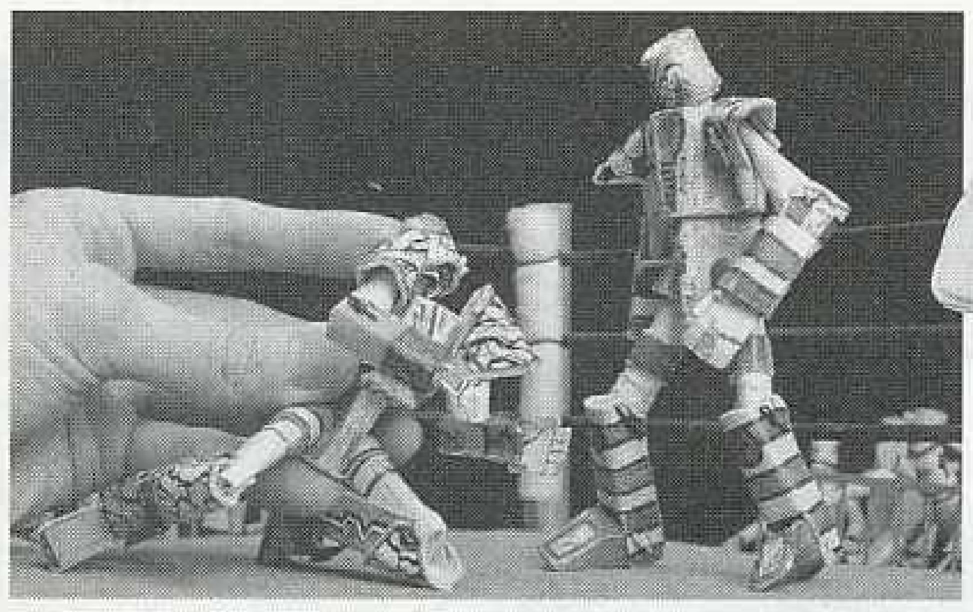
〈紙の人形〉「カミロボ」が、プロレス界に緊急参入！ 8月3日(水)後楽園ホールでのイベントが実現！

これは一体、何なんだ!?





◀現在、鋭意進行中の「カミロボ」レスラーたちのコスチュームデザイン。最終バージョンとは違ったものになる▶



カミロボとは、紙で作られた身長15cm～20cm程度のロボットファイター。体の各部に関節を備え、自在に操れる。両手にカミロボを持ち、専用リングの上でぶつけ合い、投げ合い、技を掛け合う。約20年間で作者の安居さんにより200体以上のカミロボが生まれ、戦いを重ねる中でその個性が形成、いくつも団体が生まれ、カミロボプロレスの歴史が刻まれてきた。カミロボは、公開を前提にしたものでなく、安居氏が純粋に「自分で遊ぶために」作られたもの。その世界には、誰もが持つひとり遊びの楽しさが広がっている。



きみは「カミロボ」を知っているだろうか？ もし知らなくても、小さいころにキン肉マンや怪獣の消しゴム人形を戦わせたり、紙相撲で遊んだことはあるハズだ。同じように、小学生時代から27年間も「紙でつくったオリジナルのプロレスラー人形」をずっと自分ひとりで、プロレスとして戦わせていた男がいる。それがカミロボ作者の安居智博であり、彼がつくった紙の人形たちが織り成す空想の世界感、それらがカミロボと呼ばれる世界そのものだ。

このカミロボ、昨年から日本各地で展覧会（「カミロボ・エキスポ」）が開かれたり、人形を動かす映像が納められたDVDはエイベックスから、関連グッズがバンダイから発売されるなど、世間的にも注目を集めている。

そんなカミロボがこの夏、なぜか一足飛びにプロレスの世界へと足を踏み入れることが判明した。（8月3日、『マックスリーグカミロボエンターテインメントショー』開催）。会場はプロレスの聖地、後楽園ホール。ただでさえ興行の過密日程がつづく後楽園をわざわざ押さえた、ことからも、プロレスファンへのアプローチを前提としたものであり、単なるイベントとして消化したくないという主催者側の本気感が伝わってくる決断だ。

当日は、カミロボのキャラクターたちがプロレスラーとしてリ・デザインされ、リング上に登場する。試合自体は、新崎人生率いる「みちのくプロレス」が全面協力し、人生も加わったタッグマッチが興行のハイライトとして提供される。さらにはカミロボの魂そのものと言える作者、安居智博による「カミロボ公式試合」も実現。リング上に作者があがり、自作のリング上でカミロボの試合をひとり敢行する。この模様は場内に設置されるヴィジョンで流され、実況が加わる。その他、テレビ番組『タモリ倶楽部』でおなじみ安斎肇氏も登場するトークショウや、人気上昇中のモノマネ芸人、長州小力のパフォーマンス、といった多種多様なラインナップが揃う。このカミロボ、そして今回のイベントの仕掛人はNIKEやキリン・ビールなどの広告も手掛けた著名なアートディレクター青木克憲氏（バタフライ・ストローク・株式會社）。彼が興行のひとつひとつの意匠やパーツをどう料理してゆくのか？ エンターテインメント化がすすむ00年代の日本プロレス界の新しいヒントが見つけられるかもしれない。

INFORMATION

公演日
8/3(水) 18:00 開場 18:30 開始

会場
東京・後楽園ホール

席種・料金
ブロック指定 1,800円

チケット取扱い
e+(イープラス) http://www.eplus.co.jp/battle/ (携帯&パソコン)
後楽園ホール 03-5800-9999

出演者
安居智博

ゲスト
新崎人生(みちのくプロレス)、安斎肇、渡辺祐、水野裕子、長州小力、ムーチャス入江、畑山護之


みちのくプロレス全面協力!!



何より驚いたのは安居氏の世界観だ。現代のプロレス界が忘れかけている大切なものがここには詰まっている。より多くの人々にカミロボの世界を知って頂きたいと思う。

みちのくプロレス 新崎人生
合掌

K-1 WORLD MAX2005
CHAMPIONSHIP FINAL
7・20横浜アリーナ



やはり魔裟斗は K-1 MAXのすべてだった!!

魔裟斗、右足骨折でまさかの途中棄権
その瞬間、MAXから求心力と遠心力が消えた……

文／橋本宗洋　撮影／乾晋也　designed by nogu (Two three)

準々決勝戦　3分3R延長1R

○魔裟斗（3R 判定 3-0）マイク・ザンビディス



"KIDを倒した男"ザンビディスを撃破！ 魔裟斗優勝の機運が高まったが……

豪腕ザンビディスを正攻法で切り崩していった魔裟斗。その闘いぶりの鮮やかさは出場選手の中でも群を抜いていたのだが……。

敗れたとはいえザンビディスのパンチの迫力は凄まじかった。特に左ボディフックは何度もヒットし、魔裟斗を苦しめる。

魔裟斗はリング上で棄権の挨拶をすると、車椅子で退場、そのまま病院へ。ひ骨骨折で全治2カ月の診断が下されたという。

試合結果



準々決勝戦　3分3R延長1R

○ブアカーオ・ポー.プラムック（3R 判定 2-0）ジャダンバ・ナラントンガラグ●

胴回し回転蹴りなど、ナラントンガラグの変則的な攻撃にやや戸惑った前年王者ブアカーオだが、ミドルキック連打や首相撲で着実にペースを掴み、貫禄の一回戦突破。



準々決勝戦　3分3R延長1R

○アルバート・クラウス（3R 判定 3-0）ジョン・ウェイン・パー●

魔裟斗VSザンビディスと並ぶ大会ベストバウトはこの一戦。ウェインの蹴り、クラウスのパンチがハイテンポで交錯する実力者同士の激闘は僅差でクラウスがものにした。



リザーブファイト　3分3R延長1R

○安廣一哉（2R 判定 3-0）ダリウス・スクリアウディス●

前回はケガで自爆した"前田の刺客"ダリウスは今回も不運。ローが金的に入って減点され、偶然のバッティングで安廣が出血し試合ストップ。その時点での判定で敗れてしまう。



スーパーファイト　3分3R

○新田明臣（3R 判定 3-0）朴光哲●

開会式直後の第一試合は、日本大会準優勝の新田が豊富なキャリアを活かして判定勝ち。しかし修斗環太平洋王者・朴も蹴りで互角に渡り合うなど成長ぶりを見せ付けた。

とにかく、波乱づくしの大会だった。何しろK-1 WORLD MAXの絶対的"主役"である魔裟斗の途中棄権である。大会前、「これまでと比べて、全ての面で今年の方がよくなっている」と豪語、王座奪回への自信をうかがわせていた魔裟斗。実際、一回戦でマイク・ザンビディスからダウンを奪って快勝している。

前大会で山本"KID"徳郁を下したザンビディスは、まさに昇り調子。得意のパンチにもさらに磨きがかかっていた。そのザンビディスを相手にムエタイ的な技術で"いなす"のではなく、しっかりパンチでダウンを奪ったのだからさすがといっていい。だが、この試合で魔裟斗は左足首を骨折。準決勝のリングにはリザーバーの安廣一哉が上がることに。ここから、トーナメントは混沌の度合いを深めていくことになる。

そもそも安廣はリザーブマッチで出血によるドクターストップがかかり、その時点での判定で勝ったという状態。準決勝のアンディ・サワー戦ではあっという間に傷口が開き、結局1Rでドクターストップによる TKO。もう一つの準決勝、ブアカーオVSクラウスはハイレベルな闘いだったものの、それゆえに一般層には伝わりにくい試合だったといえる。そして決勝、サワーVSブアカーオは再延長戦にもおよぶドロドロの消耗戦。サワーのパンチはクリーンヒットせず、ブアカーオはスタミナ切れからか組んでからのヒザ一辺倒。最後は無理やり振り切るような形でサワーが優勝を決めたのだが、客席からはブーイングも起こった。HPに原稿を書いたり、これまでシュートボクシングを追いかけてきた自分としてはサワー優勝を素直に喜びたいのだが、MAX目線で考えると、ちょっと……。

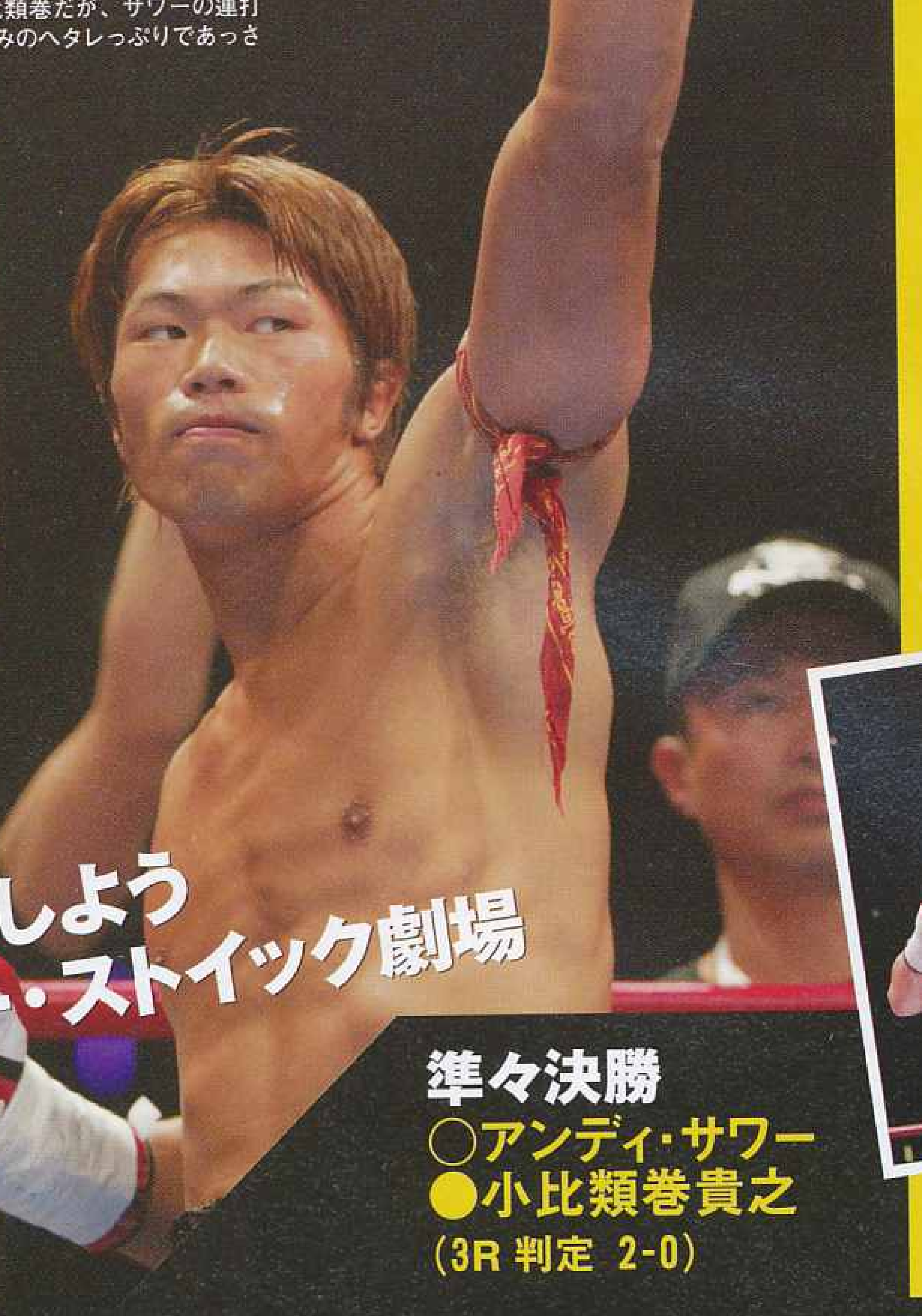
もちろん2人が悪いわけではない。結局、実力が拮抗してくるとこうならざるをえないということなんだろう。"奇跡の名勝負"など、そう簡単にできるもんじゃない。というより、今回に限らず昨年あたりからMAXにこういう傾向があったのは間違いな



戦前は自信たっぷりだった小比類巻だが、サワーの連打に後ろを向くという毎度おなじみのヘタレっぷりであっさり初戦敗退。

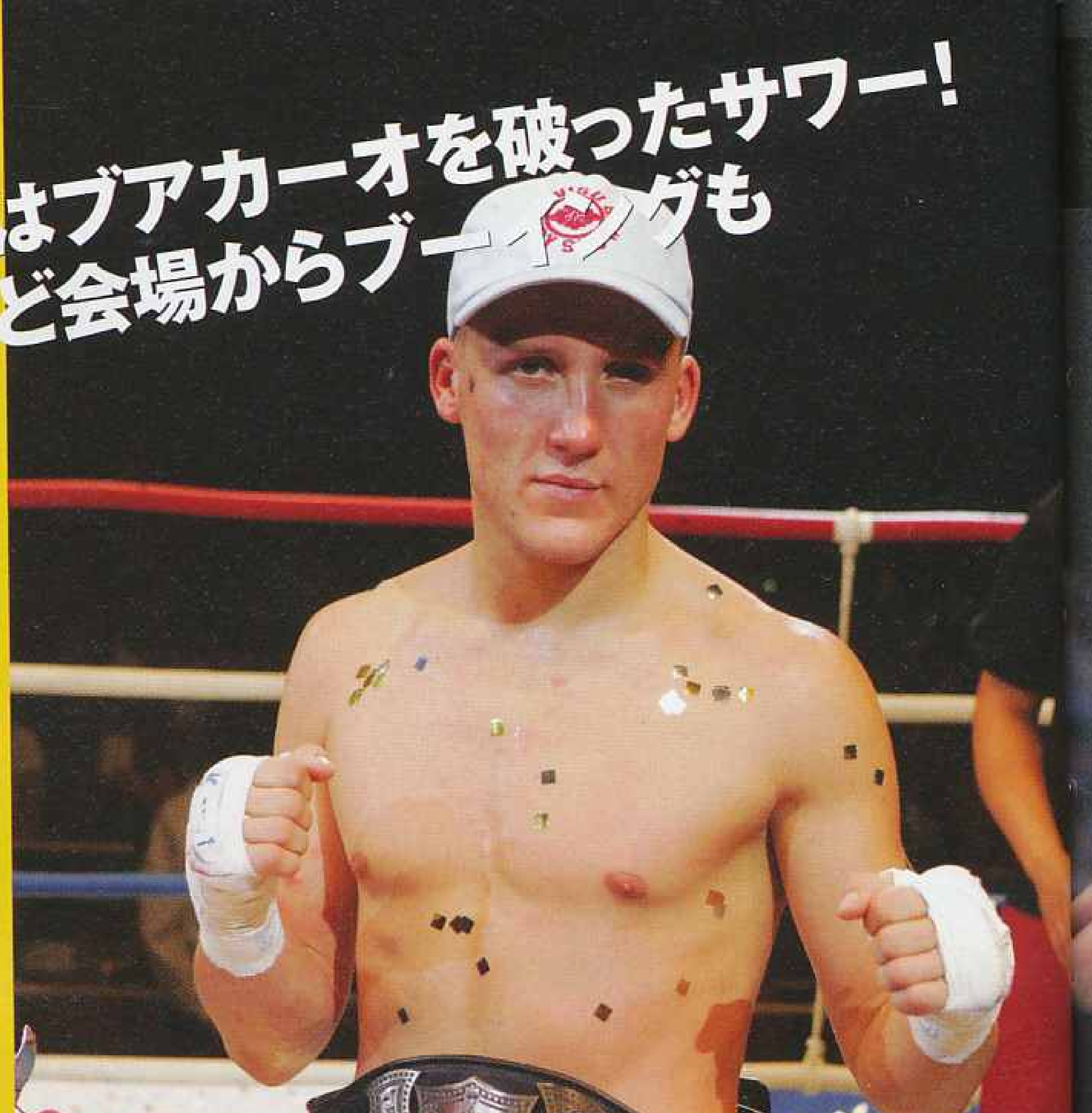


このＴシャツ、それに入場式でのカメラ目線、そして負けっぷり、など、小比類巻には目がクギ付け。どうしてこんなに面白いのか……。



スタートしよう ミスター・ストイック劇場

準々決勝
○アンディ・サワー
●小比類巻貴之
（3R 判定 2-0）



優勝はブアカーオを破ったサワー! されど会場からブーイングも



まったく噛み合わなかった決勝は再延長でサワーが僅差の勝利。が、直後にイトコの死を知らされ、一夜明け会見を待たずに帰国した。

決勝戦　3分3R延長2R
○アンディ・サワー
●ブアカーオ・ポー.プラムック
（延長2R 判定 2-1）



スーパーファイト　3分3R

○ヴァージル・カラコダ（3R 判定 3-0）佐藤嘉洋●

“日本最後の大物”佐藤はカラコダのパンチにズルズル下がって判定負け。実力先行型、勝ちにこだわってきた男が実力を出せずに負けちゃあ……。これがメジャーの洗礼か。



準決勝戦　3分3R延長1R

○ブアカーオ・ポー.プラムック（3R 判定 3-0）アルバート・クラウス●

初代王者VS前年王者の対決はブアカーオが勝利。凄まじい気迫のミドルキックでクラウスのパンチを寄せ付けなかった。ブアカーオは決勝進出とともに、２月のＭＡＸ初敗北のリベンジ成功。



準決勝戦　3分3R延長1R

○アンディ・サワー（1R 2分24秒 TKO）安廣一哉●

魔裟斗棄権により準決勝には安廣が進出。大技を連発するも傷口が開いて出血ストップ負け。この結果にザンビディスは「オレが出とけば面白い試合ができた」と怒りを露わに。



スーパーファイト　3R3分

○ラモン・デッカー（3R 判定 3-0）ドゥエイン・ラドウィック●

ワンマッチに大ベテラン“地獄の風車”デッカーが登場。異様な迫力（とにかく顔も雰囲気もメチャクチャ怖い！）でラドウィックを圧倒し、パンチで３度倒して大差の判定勝利。

ＡＸにこういう傾向があったのは間違いないのだ。ただ、それを救ってきたのがカリスマ・魔裟斗の人気であり、究極の異分子であるＫＩＤの暴れっぷりだった。

ＫＩＤは『ＨＥＲＯ'Ｓ』に集中し、魔裟斗も途中棄権。そうなったときにＭＡＸに残ったのは〝誰が優勝するのか〟という勝負論だけだった。それだけでは、ＭＡＸ史上最高の動員数でもある１７７２０人の観客、さらにはその向こうにいるテレビ観戦者を満足させることはできない。

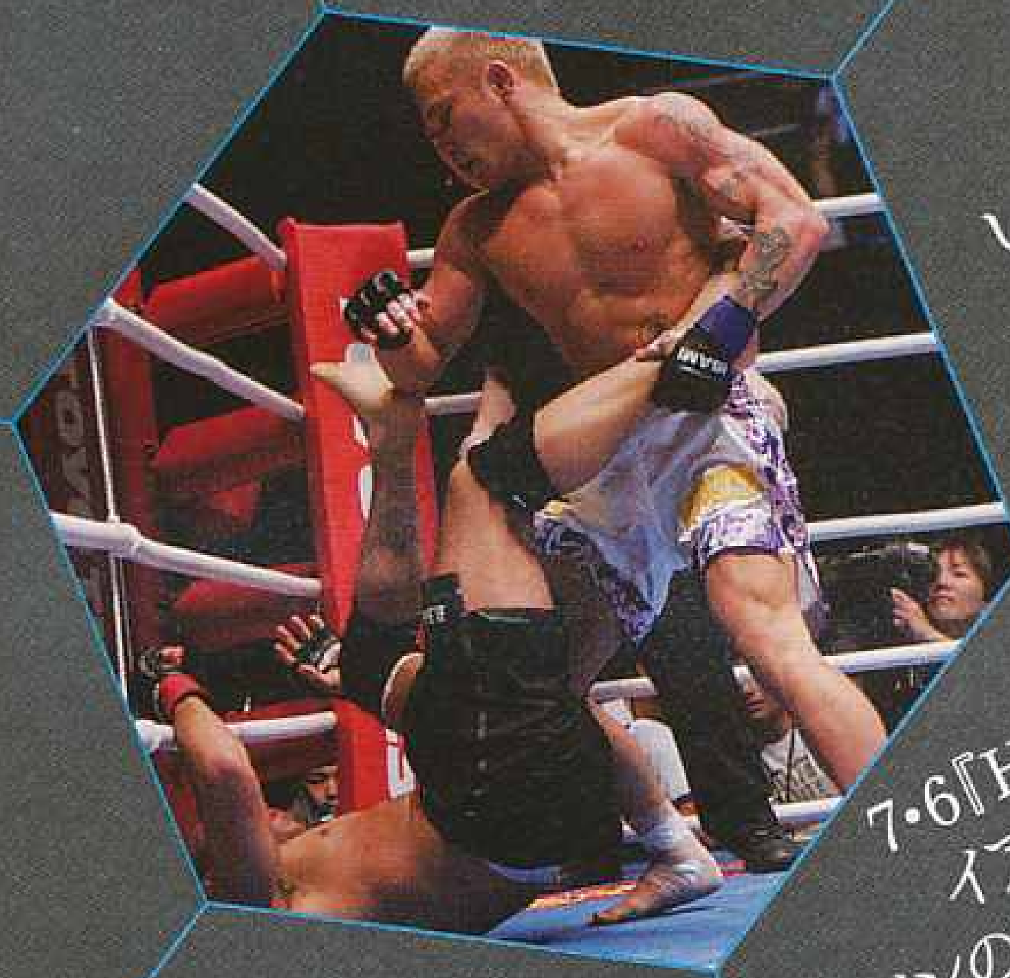
結局、ＭＡＸとは魔裟斗とイコールだったのか。いや、あるいは魔裟斗の存在がＭＡＸを凌駕していたといってもいいかもしれない。準決勝終了後の休憩時間になると会場を後にしたファンも少なくなかった。まあ、これは論外だとしても、ＭＡＸにおいては求心力も遠心力も、全てを魔裟斗が握っていたのだということだ。

魔裟斗のケガは全治2カ月だという。となれば10月の『世界王者対抗戦』出場は微妙な状態。この大会はワンマッチ戦だから、谷川プロデューサー曰くの「トーナメント自体がアングルになる」というマジックも通用しない。去年はＫＩＤが出場し〝アイツがいなくても、オレらのＭＡＸだし〟とキャッチコピーが打てたが、今年は（王者サワーには悪いが）主役候補すら見当たらない。〝結局は魔裟斗〟で終わるのか、それ以外の何かを創造できるか。ＭＡＸは重大な岐路に立たされている。

そんな中、揺るぎなき〝らしさ〟を見せつけたのが小比類巻だった。ウィンドウズＸＰがスポンサーに付き〝スタートしよう、ミスターストイック〟とプリントされたＴシャツで登場。入場式ではカメラ目線。試合ではサワーの連打に背中を向けるという〝見せ場〟を作って見事に初戦敗退である。誰がどう見てもサワー勝利でありながらドローの採点をしたジャッジがいたことも含め、やっぱり小比類巻の試合は期待を裏切らないのであった。



“神の子”の人間性に迫る——



7・6『HERO`S』で
イアンに熱勝!!
メインの重責を突き破った!!

『HERO`S』を
背負う英雄、
いざ9・7ミドル級Tに
出撃!!

山本“KID”徳郁

KID

大成功に終わった7・6『HERO`S』!
戦慄のレミーガ、所英男の大ブレイク、不気味な高谷の存在など、個性溢れるキャラクターが次々とメジャーデビューに成功したわけだが、しかし、この男を抜きにして、『HERO`S』の英雄物語は進みはしない。『HERO`S』のエース、山本“KID”徳郁だ!

聞き手／橋本宗洋
構成／ジャン斉藤
撮影／菊池茂夫
試合写真／乾晋也
design by さおとめの事務所



やっぱり強ぇ！　7・6『HERO'S』のメインイベント、イアン・シャファー戦で見せた山本〝KID〟徳郁の底力はタダゴトではなかった。風邪で体調を崩しながらも相手の目をパウンドで腫らし、タックルから前に落とせばいいものを思いっきり水車落とし。最後は豪快なパンチの連打でダウンを奪い、トドメに踏み付け！　いかにもKIDらしい勝ちっぷりで興行を見事にシメた。

今回、改めて中量級きっての実力と凄味を見せ付けたKIDに、『紙プロ』では久々となるインタビューを敢行。今回のイアン・シャファー戦、トーナメントはもちろん、アスリート時代や家族のことまで〝神の子〟の〝人間性〟に迫った。

—まずは7・6『HERO'S』でのシャファー戦についてなんですけども。もうビデオは見ました？

KID　見ましたね。

—風邪をひいてたということなんですが、客観的に自分の動きを見た感想としてはいかがですか？

KID　やっぱ、動きがあんまよくなかったかなって。フットワークがよくなかった、ホント。あと踏み込みも足りなかったし。

—とはいえ最後はキッチリKOですからさすがですよ。

KID　3Rは自分からガンガン攻めにいったんで。やっぱ、最初からいっときゃよかったかなって。

—もっとラクに勝てたかもと？

KID　そうっすね。自分からガンガンいっときゃよかったな。ま、でもそれがわかったから、次からまた本来の自分のファイトができれば。

やりたいのはホイラー。やっぱりグレイシーはこの世界のトップ。それを味わってみたい

—フィニッシュのパンチ3連打の前に、シャファーが下がったじゃないですか。あの場面はどういう状況だったんですか？

KID　ああ、あれはアッパーっすよ。

—KID選手が大きく踏み込んでアッパーを出してましたけど、あれが効いたんですね。

KID　けっこう当たってたんすよ。手応えあった。

—今回の試合でちょっと印象に残ったのが、会見で「いままであんまり食べないで練習してたけど、今回食べるようになった」って言ってましたよね。試合前って食が落ちちゃってたんですか？

KID　いや、普段から食べなかったから。なんかメンドくさい、食べるのが。

—食べるのがメンドくさい（笑）。

KID　あの、歯がなかったんで。

—歯がなかった？

KID　で、歯を入れたら食べれるようになった。それまで奥歯とかなかったから。

—それは練習で折れたりとか？

KID　も、あったし。あとは普通に虫歯ほっといて（笑）。

—そのせいで食べるのがメンドくさかったと（笑）。

KID　やっぱ、奥歯がないと食えないっすね（笑）。

—じゃあ栄養はサプリメントとかで？

KID　いや、それもないっすね。だからやっぱ、細くなってましたよ。

—だって、歯ってメチャクチャ大事なわけですよね。パンチを打つときだって、奥歯を噛み締める力が影響しますし。

KID　そうっすね。

—だけど虫歯をほっといたと（笑）。歯を入れたのはいつ頃だったんですか？

KID　試合の2、3週間前っすね。

—じゃあそれまでの試合では、奥歯なしであんな凄いパンチ出してたんですか!?

KID　っていうかあの、大晦日が終わってから、一気に4本抜いちゃったんですよ、歯を。そっからですね。食欲ないし、なんか力が入んねえなぁって。

—その状態でザンビディスと闘ったと。なんか凄いな（笑）。『HERO'S』に話を戻すと、他の試合はいかがでしたか？

KID　いろんなタイプの、やっぱ強い選手がいるんでおもしろかったっすね。

—ノゲイラ（アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ）が所（英男）選手負けたのはびっくりしませんでした？

KID　ね。結構あれは熱くなった。見てるオレも。

—所選手、面白いですよね。キャラはKID選手と正反対ですけど。

KID　おもしろい。粘り強い感じで。

—9月のグランプリ準決勝で誰とやりたいっていうのはあります？　こいつとやったらおもしろくなるんじゃないか、とか。





『HERO`S』スーパーファイト
○山本“KID”徳郁
（2R3分45秒／TKO）
イアン・シャファー●

宇野薫の直前の欠場で激震に見舞われた『HERO`S』だったが、好試合の連続で年間ベスト興行の呼び声も高まるクオリティ。それはなによりメインをKIDがしっかり締めたことも大きな要因になっている。試合後のKIDは「風邪薬飲み過ぎちゃって…」と、試合が長引いたことをマイクで詫びたが、9月はその神髄をぜひ目の当たりにしたい!!

KID　誰だろ……自分的にはまぁ、（ホイラー・）グレイシー。やっぱりこの世界、格闘技でトップっていうか。

——総合格闘技といったらグレイシーというか、イコールみたいなイメージはありますよね。

KID　そうそう。イコールな感じで。それがどんなもんなのか味わってみたいっすね。

——で、『HERO，S』にはKILLER BEEから、修斗王者の菊地（昭）選手も出たじゃないですか。井上克也選手との修斗VSパンクラス王者対決だったんですけど、本人的にはKILLER BEE移籍一戦目というのが大きかったみたいですよ。

KID　ああ～。

——で、試合前に話を聞いたら「KILLER BEEで練習やってたら負けるわけがない」っていうんですよ。KID選手から見て、KILLER BEEと他のジムの違いってどこにあると思います？

KID　それはなんともいえないけど。まぁ…、どうだろう。みんな追い込んでる。

——それは練習のための練習じゃなくて、ガチンコ度が高いっていうような？

KID　高いっすね、ガチンコ度は。

——試合と変わらないようなムードで練習をやってると。

KID　ま、ガーッて本気でやるのはたまに。そんな、毎日やったら身体ボロボロになっちゃうんで。

——ブラジルのシュート・ボクセがそういうガチンコ練習を凄くやってるっていうじゃないですか。その感覚ってよくわかります？

KID　それはやっぱ、結果で表れてるし、うん。やっぱ（胸を差して）ココが違ってきますよ。

——で、そういうハードな練習をしつつも、遊ぶときは遊ぶじゃないですか。柔道とかレスリングとか、アスリート系出身の選手って、どっか生真面目な雰囲気がある人が多いんですけど、KID選手は全然違いますよね。

KID　いや、まあ遊ぶ人は遊んでますよ。

——やっぱりアマチュア時代もレスリングをガッツリやりながら……。

KID　ガッツリ遊んで。

——なんか、体育会系って私服もジャージみたいなイメージがありますけど（笑）。

KID　それはない（笑）。まあ、オレは同じ部活のヤツとは遊ばなかったし。

——高校生のときとか、どんなかんじで遊んでたんですか？

KID　ま、普通にみんながやることっすよ。

マネージャー　まずいこととしかしてなかったんじゃないの？（笑）。

KID　そうかも（笑）。

——ダハハハハ！　KIDさんってレスリング出身だし、ましてサラブレッドなわけじゃないですか。でも堅苦しいところが感じられないのがいいですよね。

KID　そうっすかね。

——どんな感じなんですか、山本家というのは。

KID　オヤジは真面目かな。あと妹（聖子）も真面目。

——じゃあお姉さん（美憂）は……。

KID　オレ寄り（笑）。まあ、そんな他と変わんないですよ。

——いや～、やっぱり一家みんながオリンピックに出たり、目指してる家ってちょっと特別なものがあるのかなと思ったりもしたんですけどね。

KID　でも、誰だってなんか夢とかあるでしょ。それがただオリンピックとか総合格闘技だったたっていう。あんま意識したことないっすね。

——そういうKIDさんからすると、アマチュアスポーツ界っていうのは堅苦しさも感じたりしました？

KID　ま、それはあったけど、アマチュアスポーツはやっぱ、レベルが高いんで。

——はてしなく凄い才能を持った人間がウジャウジャいるみたいな。



KID　そうそうそう。プロも凄いんだけど、アマチュアっていうのはもう、世界中から集まっているから。やっぱ、国同士の威信もかかってるし。

――個人の闘いだけじゃないっていう部分で出てくるエネルギーもあるんでしょうね。

KID　プロは個人の闘いなんだけど、アマチュアは予選に勝ってる国の代表じゃないっすか、みんな。その国に一人しかいない代表だから。競争率が激しいっすからね。

――国を背負ってるとか、あとは同じ階級で負けた人も背負ってるみたいな感じってある

選手入場式ではいちばんの大歓声、入場時には地鳴りのような声援、勝負を決した瞬間、観客は総立ちでKIDを祝福した。いずれも特別なオーラをまとう者の特権だ

試合前に何を祈っているるって？ いや、言わない、それは。言っちゃったらお願いする意味がない

んですかね？

KID　そうなんじゃないですか。だから、いまプロでやってて、アマチュアでトップいってる人がいるじゃないですか。柔道の吉田（秀彦）さんとか。

――はいはい。

KID　やっぱ凄いと思う。基礎体力とか。現役が一回終わってからプロになってるのに、まだ強いじゃないっすか。やっぱアマチュアでトップ取ったってのは凄いっすよ。

――逆にKID選手にとっては、プロの世界に入って、伸び伸びできたというか、個性を全開にできる自由さみたいなものも感じたんじゃないですか？

KID　それありますね。そこがもう、プロの魅力。

――自分の地を出せるっていう。

KID　そうそう。

――やっぱりアマチュア時代っていうのは、多少押さえなきゃいけなかったわけですか。

KID　それはありますよ。

――それはKID選手でもやっぱりあるんですね（笑）。

KID　やっぱまだ学生だったから。まぁ、押さえつけられる部分もあるし。でも、その押さえつけられてる部分が良かった。

――ある種、修行というか。

KID　やっぱ辛抱強くなったり。いい教育になったっつうか、いまの自分のためによかったと思う。なんつうんだろ、こう……。

――芯ができたっていうか。

KID　そうそうそう。芯ができる。それは凄いよかった。

――で、それプラス、プロとしての自由な部分も気持ちいいと。

KID　だから、アマチュア時代があったからいまがあるっていう。

――あとですね、こないだDVDを見たんですよ、KID選手の。

KID　ああ、はい。

――あの中で印象に残ったのが、試合会場に行く前にジムの神棚に手を合わせたりとか、神社に寄ったりしてたじゃないですか。あれって毎回やってるんですか？　神の子が神に祈ってるっていう（笑）。

KID　やっぱゲン担ぎで。

――なんか意外だったんですよ。KID選手って、自分の能力とか才能、練習でやってきたことに絶対の自信を持ってるような印象があるんで。

KID　いや、でもやっぱゲン担ぎはしますよ。

――ああいうとき、どんなことを祈ってるんですか？　まあもちろん試合のことなんでしょうけど。

KID　いや、言わない、それは。口に出しちゃダメっすよ。言っちゃったらお願いする意味がない。

――そうかそうか。でも逆に言うと、単なる試合前の儀式なんかではないと。

KID　そりゃ真剣っすよ。形じゃ意味ないんで。



美憂＆聖子のレスリング姉妹と一緒に、リングサイドで観戦していたKID夫人の真里有さんは、KIDの熱勝に大喜び。ちなみに真里有さんは、モデルとして活躍するかたわらブランド"HONEY BEE"で子ども服デザインも手掛けている

――あと、もう一つ印象に残ってるのが、ジムの練習の場面なんですよ。子供の生徒が練習したあとに「ちゃんと礼してから下がれよ」って。ああいう場面も、まあ当たり前のことっていえばそうなんですけど、意外な一面というか。

KID　それは、その子が礼儀ができてなかったから。やっぱ、べつに無鉄砲であろうが、生意気であろうがいいんだけど、礼儀はちゃんとしとかないと。

――そういうことも含めて、KID選手が大事にしてるモノって何ですか？

KID　（即座に）仲間と家族。

――そういえばKID選手って、入場のときも仲間の人たちをたくさん連れてきますよね。

KID　それはやっぱ、ここまで来たのは周りがいたからっていうのがあるんで。だから協力してもらった人とか、みんなで同じ花道歩いてもらって。

――みんなで闘ってるんだっていう。

KID　そうっすね。あとはまぁ、後輩とかいるじゃないですか。そういうヤツもこう、花道に上がれば「いずれ俺もここ歩きたい」って、そういう気持ちになると思うし。

――いまは〝KIDファミリー〟ができてますからね。

KID　そう、KILLER　BEEがあるんで。

――そういう立場になって、気持の変化ってありました？

KID　ありますね、やっぱ。一試合一試合、負けられないって。他の選手に見せなきゃいけないから。負けられないと。

――自分の背中で見せていかなきゃいけないっていう。

KID　そうっすね。最近そうなってきた。自分が頑張ってれば、自然に周りもついてくるから。人にやらせるより、まず自分がしっかり見せないとって。

――なんかアレですね、KIDっていうより全然大人ですよね（笑）。



KID　まあ（笑）。

――それから本当の家族もできたじゃないですか。結婚して、お子さんもできて。その辺も精神的に違います？

KID　まぁ、食わせるっていう部分で。

――自分が家族を支えるんだと。

KID　あとはまぁ、思い出を作ってやりたいのと自慢できる親父になりたいかなって。

――ボクの知り合いでも、最近子どももできた人がいるんですけど「うちの子が一番かわいい！」って言うんですよ。全然そんな人じゃなかったのに、子どもができた瞬間、完全な子煩悩で（笑）。

KID　ああ～、それある。やっぱ自分の子ども見たら（大きくタメ息をついて）「他の子供、かわいそうだなぁ（笑）」って（笑）。

――ククククク！　「ウチの子はこんなにかわいいのに」と（笑）。

KID　そう。そういう親バカになっちゃう。

――やっぱりなっちゃうんですねぇ。そういう部分で、自分のあらたな一面が見えてきたりもします？　「オレ、こんな奴だった？」っていう。

KID　そうっすね。まだ生まれたばっかかなんだけど、朝とか顔見たりすると、なんか凄い……なんつったらいいかわかんないけど（感無量といった表情で）。

――どうですか、KID選手はどんな父親になりたいとかってありますか？　お父さんにしても、あとキックの渡辺会長（KIDに打撃を指導してきた〝鬼の渡辺ジム〟会長）とか、強烈なオヤジさんがいますけど（笑）。

KID　ああ、渡辺会長。あそこまで行き過ぎるとちょっとアレかなって思うけど（笑）。でもいい人っすよ。あの人に何か言ってもらうと、凄い安心するんですよ。厳しいことも言ってくれるし、いい練習させてくれるし。

――渡辺ジムの練習って凄いみたいですね。

KID　かなりヤバイっすよ。夏なんか、と

強いオヤジになりたい。自分の強いとこ見せて、子どもにいい思い出を残したい

くに。

――お父さんはどうですか?

KID 凄いっすね。ちょっと親バカかなと思ってたけど、それはオレも子どもができてわかった(笑)。

――以前、インタビューでKID選手は「自分と同じ年のときの親父と闘いたい」って言ってましたよね。

KID どんだけ強かったのかなって。

――「若い頃はそうとう強かったんだろうな」って思います?

KID 思う、うん。たぶんオレよりは強かったんじゃないかなって。

――マジですか!?

KID オレより全然ストイックだし、凄い才能あると思う。あと、やっぱガキの頃から習ってたから。いっつもコテンパンにされてたから、勝てる気がしないっつうのもあって。

――じゃあそういう、厳しくも強いオヤジになりたいという。

KID いいっすね、うん。強いオヤジ。自分の強いとこ見せて、子どもにいい思い出残してあげられれば。

――『HERO'S』優勝が強いオヤジへの第一歩ということで(笑)。今日はありがとうございました!

KID



【やまもと・きっど・のりふみ】
レスリング・ミュンヘン五輪代表の父、女子レスリングで輝かしい実績を誇る姉や妹をもつ格闘サラブレッド。学生時代はレスリングに励み、修斗で総合格闘技デビュー。K-1MAXで一躍その名を世間に轟かせた。163センチ、66.5キロ。

KILLER BEE

山本"KID"徳郁選手をはじめとしたKILLER BEE所属選手の様々な情報やグッズを提供するKILLER BEEオフィシャルサイト。KID選手本人が更新をしている「ブログ」は必見!

■住所:東京都港区白金3-1-1 第一麻布ビル4F
■TEL:03-3440-1770
■URL:http://killerbee.jp/

HERO'S 2005
〜ミドル級世界最強王者決定トーナメント準決勝〜

【日時】9月7日 開始17:30
【会場】有明コロシアム
【チケット】
SRS席 ¥20,000
S席 ¥13,000
A席 ¥6,000
山本KID応援席 ¥13,000
【準決勝進出ファイター】
山本"KID"徳郁、所英男、高谷裕之、宮田和幸、レミギウス・モリカビチュス、ホイラー・グレイシー、他シード2名





○レイ・セフォー[2R 0:30 KO]キム・ミンス●
試合中にここまで目線をカメラに送る選手も珍しい。「助けてくれ!!」という吹き出しをぜひ付け加えたい韓国の柔道王キム・ミンス。最後はパンチでダウンを奪われ、フラフラ立ち上がったところを右ハイで失神KOされた！ なお、この試合のみ3分3R、1Rにつきロープエスケープが一度だけ許される『HERO'S』特別ルールだった



7月6日『HERO`S』
代々木第一体育館





[スーパーファイト・5分3R]
○ピーター・アーツ[1R 1:36 TKO]若翔洋●
テーマ曲はGN'R、ビジョンには「若翔洋！若翔洋！」という文字が派手に踊り、ロックを体現する入場をやってのけた、我らが若翔洋。電車道でアーツを組み倒し、安田ばりのギロチンで攻め立てるがそこで謎のブレイク！ 故・二子山親方の年寄名跡行方不明騒動並に意味不明だよ！ 最後は右フックからのはたき込みで敗北！





[スーパーファイト・5分3R]
○ボブ・サップ[1R 3:44 KO]アラン・カラエフ●
試合写真だけ眺めると、まるでコメディショーのような超ヘビー級対決。スイープと呼んでいいのか、ゴロリと転がりながらポジション争奪戦、先に当てたもん勝ちの殴り合い。これぞ明るく楽し激しく総合格闘技だ！ 最後はサップいわくのスコーピオパンチで終了。その毒には観客もシビレタ！

軽量級の醍醐味、爆発！ 重量級の大味に万歳!!



[スーパーファイト・5分3R]
○秋山成勲[1R 0:59 腕ひしぎ十字固め]
カール"トゥームストーン"トゥーミィ●
セコンドと手をつなぎながら花道を闊歩、入場テーマが終わると同時にタイミング良くリングインした秋山成勲。鈴木みのるの的魅せ方というか、 いや、これはK−1イチの見栄男、角田信朗の魂を受け継いだ業なんだろう （こんがり日焼け具合も角ちゃん風）。試合は反骨の柔道王が腕十字であっさりと



[スーパーファイト・5分2R]
○ホドリゴ・グレイシー[2R 判定3-0]
國奥麒樹真●
パンクラス離脱後ほぼ1年振りの試合となる、元2階級王者の国奥は、船木誠勝の強い推薦を受けて参戦。セコンドには柳澤龍志と渋谷修身の元パンクラス組が付いて、フィーチャーファイトからとにかくパンクラス度が高い！ 試合はホドリゴがマウント奪取、スリーパーで攻め立てての判定勝利



[スーパーファイト・5分2R]
○菊地昭[1R 1:41 TKO]
井上克也●
修斗ミドル級王者（菊池）と、パンクラスミドル級王者（井上）の対決がひっそり実現。"和製カレリン"の異名を持つ井上の投げが期待されたが、試合早々にバックマウントを奪った"寝技大王"菊池が鉄槌を打ち続けて勝利！ 菊池は、山本KIDのチームKILLER BEE移籍第一戦を白星で飾った



[フューチャーファイト・5分2R]
○竹内出（2R 3:35 TKO）
三浦広光●
告知が行き届いてなかったせいか、会場観戦組でも見逃してしまった人が多い、このフューチャーファイト。パンクラスで活躍する竹内と、そのパンクラスから独立したばかりのTOKIN三浦の一戦は、1Rこそは三浦優勢で進んだが、2Rでマウントを奪った竹内が好機を逃さず。パンチラッシュで勝利



[トーナメント開幕戦・5分2R]
○レミギウス・モリカビチェス[1R 1:14 KO]
村浜武洋●
"小さいミルコ"レミーガの戦慄！ 観客の目が覚めるような鋭い打撃で、あの村浜を打撃でKO!! メジャーデビュー戦でその噂にたがわぬ戦闘能力をみせつけた。レミーガは試合後、リング上でZSTのフラッグを誇らしげに披露。所英男も大勝利して、まさしくこの日は"ZSTの日"となったのだ



[トーナメント開幕戦・5分2R]
○宮田和幸[1R 2:49 チョークスリーパー]
シャミール・ガイダルベコフ●
出場予定のアースラン・マゴメドフが前日の健康診断で出場不可能となり、シャミール・ガイダルベコフがピンチヒッター。ガイダルベコフはムエタイチャンピオンの肩書きを持ち、宮田のタックルを防いでみせたが、最後は五輪ファイターの地力の前の屈した。宮田が3戦目にしてうれしいプロ初勝利



[トーナメント開幕戦・5分2R]
○ホイラー・グレイシー[2R 判定3-0]
吉田幸治●
柔道で全日本ジュニアベスト8、ボクシングでは東日本新人王の実績を持つ吉田。MMAデビュー戦の相手は百戦錬磨のホイラー。タックルを防いだ吉田は得意のパンチでホイラーから尻餅を付かせるなど健闘したが、経験にまさるホイラーがジワジワと反撃。下からの三角、チョークでジャッジの支持を得た



[トーナメント開幕戦・5分2R]
○高谷裕之[1R 1:56 KO]
ヤニ・ラックス●
ヨアキム・ハンセンを破ったことのある欧州の強豪ラックスは、高谷にとっては事実上一階級上の相手。ラックスは首相撲からの膝蹴りで圧倒するが、"喧嘩師"高谷はひるむことなくパンチで応戦。左フックをヒットさせてラックスが崩れ落ちたところで試合ストップ。高谷の2回戦進出が決定した

――今日は世界の所さんをお迎えしてお話を

所 あ、ありがとうございます。……矢野さ

を

一夜にして立場逆転!? "ZSTエセ兄弟"誌上復活対談!!



所さんの古くからのお知り合い

テレビでおなじみのスーパースター

HEROSにシンデレラボーイ誕生!

×矢野卓見

たっぷりお伝えします!

TAKUMI YANO

“太陽の子”所英男×

“スター”所クンの素顔を

HIDEO TOKORO

風呂なしアパートから世界へ！

修斗世界王者ペケーニョにまさかの快勝!!



スターになった所クンの素顔をたっぷりお届けします！

ZSTの“小さなヴォルク・ハン”所英男が、『HERO'S』で修斗世界王者ペケーニョに勝利、一夜にして“世界の”所英男に。親切な『紙プロ』では、一気にスターダムへと駆け上がった所に興味津々というアナタのために、所のことを知りすぎている男・矢野卓見を迎え、ヒーローになってしまった所クンの素顔をたっぷりとお届け！

聞き手／堀江ガンツ　撮影／丸山剛史
試合写真／乾晋也　本文構成／松澤チョロ
design by さおとめの事務所

――今日は世界の所さんをお迎えしてお話をお伺いさせて頂きます。

矢野　あれ、世界チャンピオンでしたっけ？

――いや、修斗の世界チャンピオンより強い所さんです（笑）。

矢野　“絶対王者”より強い所さんですよね（ニヤニヤ）。

所　いやいや、そんなことないです（苦笑）。

――この間『HERO'S』で初めて見て「所さんってどういう人か知りたい」って声が巷に溢れていますので、今日は世界の所さんをよく知る矢野卓見選手に来て頂きました。いろんな壁を乗り越えて来て頂いたので、いろいろと教えて頂ければと思ってます（笑）。

矢野　知りたいって言われても、知っちゃいけないことばかりなんで（笑）。まあ、所英男の尻の穴まで知りたい、ということですね。

――所選手自身、尻の穴には多大なる興味があるという噂がありますからね（笑）。

矢野　やっぱり大きいことを為す人間は変わった人間が多いですからね（笑）。

所　いやいやいや（苦笑）。

矢野　でも、ア●●ぐらいはノーマルだよな？

所　いやいや、僕は知らないです。まだその辺は未経験なんで……。

矢野　未経験だけど、興味はあると？

所　まあ、僕も男のコなんで（微笑）。

――まあ、そういった話はおいといて、とにかく試合は素晴らしかったですね！

所　あ、ありがとうございます。……矢野さんのおかげです。

矢野　試合前、俺なんか言ったっけ？

所　試合前はスポセン（新宿スポーツセンター）で一緒に1回練習させてもらって、「バーリ・トゥードは、下からドンドン蹴っていけばいい」と言われました。その通り、突き放すことは今回の試合ではできたかなぁと思いますね。

矢野　勝てる確率は五分五分だなと思っていたんですよ。打撃が上回っていれば勝てるかなと。相性的にはいい相手じゃないかなと思ってたんで。それにペケーニョ（アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラの愛称）はスタミナない感じだし。逆に英男はスタミナだけはあるから。ただ、寝技をやろうとすると、やられちゃうので付き合わないで立っちゃえとは言ってたんだけど。

所　なるべくそうしようと思ってました。

矢野　修斗だと（ルールで）下からの蹴り上げがないから、パウンドがやりやすいんですよ。逆に言うと、蹴り上げがあるとパウンドできないんじゃないかなと。だから、ペケーニョは修斗ルールが『HERO'S』ルールになったときに通用しきれなかったっていうか。ZSTルールでやってきた世界の所さんも条件は同じなんだけど、ZSTでは、止まらないで仕掛けなきゃいけないところが、『HERO'S』ルールに似てたと（笑）。そういう意味では、ZSTルールの方が修斗ルールよりも『HERO'S』ルールに適応力が高いということをこの男が証明してくれたんじゃないですかね（笑）。

――ほ～、それは意外な真実ですね。本人は気づいてなかったようですが（笑）。

所　はい。まったく気づきませんでした。

――ペケーニョ戦のフィニッシュにつながった裏拳は矢野さんが教えたものなんですか？

所　教わったというか、矢野さんがやってるのを見ていいなと思って。

矢野　いや、俺もちょっと言ったんですけど



“ZSTエセ四兄弟”とは？

2002年11月に旗揚げした格闘技イベントZSTの日本人中心人物だったのが、小谷直之、今成正和、矢野卓見、所英男の４人。この４人を称しＺＳＴエセ四兄弟と呼ばれていた。ちなみに左下は小谷の実兄・小谷ヒロキ。

ね。どういう風に繰り出すかとか。でも、もう忘れてんじゃないの？

所　……なんとなく覚えてます（苦笑）。

矢野　あ、なんとなくね（笑）。でも、蹴り上げれば、まずパウンドは打てないというのと、スタンドでバックブローはこうやると使いやすいというのを話したぐらいなんですけど。

――しかし、見事なバックブローでしたね。

所　はい、自分でもビックリしました。

――試合中に「これはいけるな」というのはあったんですか？

所　いけるなっていうか、流れはこっちに来てるなと思ったんですけど。

矢野　判定ドローってなって、「ヨッシャー！」って、ちっちゃくガッツポーズしてたからね（笑）。それにペケーニョは最初のギロチン抜けられた時点から、もう動きが悪かったもん。

――前半はメチャクチャ動きが早かったですけどね。

矢野　それでも、動きが悪くなってから高々と持ち上げてテイクダウンするところとか、おかしいよな（笑）。



『HERO'S』ルールは世界の所さんのためのルールでしたね（笑）

――ペケーニョも〝メジャーデビュー〟だから張り切っちゃったんじゃないですか（笑）。

矢野　あれでさらにまたスタミナが落ちちゃったし、あとテイクダウンしといて寝技嫌がったりとか意味がわかんない（笑）。とにかく押さえ込んで、ポイント取ろうと思っていたんだろうけど、すぐブレイクかかるから、その時点で「もう、イヤ」って感じで。ある意味、所さんのためのルールでしたね（笑）。

――『HERO'S』ルールというのはTV向けに展開が早くなるようにしてたみたいなんですが、それって、よくよく考えてみるとZSTと同じ理念なんですよね。

所　あぁ、言われてみるとそうですよね。

矢野　しかもTV向きに男前だけを集めていると（笑）。

――そういうのもあったんですかね（笑）。

矢野　小谷弟（直之）がなんで『武士道』行ったかということ考えると、そういうことだったのかなと（笑）。TV局側が顔で選んだと。

所　いや、僕はコネで。

――コ、コネ？　どんなコネを使ったんですか？（笑）。

所　いやもう、コネというか情熱で。ずっとスケジュール空けて待ってたんですけど、全然オファーが来なかったんですよ。

矢野　俺も「スケジュール空けといて」って言われてたから空けてたんですけどね（笑）。

――前田日明推薦枠ですか？

矢野　でも前田日明推薦枠は男前しか選べないって（笑）。でも『HERO'S』にも一人だけ男前じゃない人も混じっているような気がするんだけど（笑）。素朴そうな人が。

――所さんが前田さんに選ばれたのは、リトアニアでの〝活躍〟が認められたんですよね。リング上もベッド上も含めて（笑）。

TAKUMI YANO × HIDEO TOKORO

所　……はぁ。でも、ありがたかったです。

矢野　でも、よく考えたら、（足関）十段（＝今成正和）にしろ、小谷弟にしろ、『HERO'S』とか『武士道』に出てんのは、みんな買ったヤツらばっかなんだよね。

――ガハハハハ！

矢野　やっぱね、その絶倫ぶりが大きいんだろうね。「英雄、色を好む」だから（笑）。

所　いやぁ、どうなんすかね（苦笑）。

――それこそホントにあのリトアニア遠征が全ての始まりだったわけですね（笑）。

所　結果的にホントそうなってますよね。

矢野　なんていうかね、勝ち組と負け組……というか、買った組、買わなかった組に分かれたよね（笑）。

所　買っててよかったです（笑）。

矢野　あ、買っててよかったんだ？（笑）。

――ドナタスさん（リトアニアBUSHIDO代表）に真っ先に「あ、お願いします！」って言った人ですからね（笑）。でも、これからは〝世界の所さん〟ですから、なかなか日本ではそういうことできないんじゃないんですか？

ZST広報・上原氏　いや、関係ないと思いますよ。

矢野　だって、煽り映像で、そぼろ弁当食べてたのも、全部そっち方面に金使ってるからでしょ？

所　でも、日本で行ったことないんですよ。

矢野　普通に決まった相手としているんですか？（ニヤニヤ）。

所　いや、まあ、あの～……。

矢野　決まってる人を指名してるんじゃないですか？（ニヤニヤ）。

所　いや、そんなことないです。

矢野　「金ない、金ない。家賃滞納してる」って言いながらも、「付き合いなんだよ」って言って仕方なしに行ってるんだよね（笑）。

――付き合いで行ってましたか！（笑）。

所　いや、違います、違います（汗）。

矢野　ホントは嫌なんだけども、金もないのに、食うもん切り詰めて行ってるんだ（笑）。

所　……（固まる）。

――ガハハハハ！　でもホント、TV的にはいいキャラになりましたよね。

矢野　「闘うフリーター」としてガッチリつかんだからね。俺としては、このままビンボーでいてほしいけどね。やっぱり変わってない、みたいな（笑）。

所　でも、試合の後、「早く、ビンボー脱出してください！」って言われたんですよ。

矢野　え、女の子に？

所　いや、イカツイ男に（苦笑）。

――ガハハハハ！

矢野　でも「所さんにおいしいゴハンを食べさせたい」っていう、お姉ちゃんとかもいっぱい出てくるんじゃない？



家賃は、まだ9カ月分ぐらいためてます（苦笑）







煽り映像で、ホカ弁を食べながら「魔裟斗選手は、こんなの食べないだろうなぁ」とボヤく所が映し出され、つかみはオッケー。試合は、修斗世界王者のペケーニョのギロチンをしのぎ、延長R開始早々、裏拳からのパウンドで、まさかの勝利！　会場は割れんばかりの歓声に包まれた。

所　そんなことないと思うんですけど。

矢野　多分、ア●●やらしてくれるよ（笑）。

所　いや、したくないッスよ。

矢野　健全に見るだけいいの？

所　見たこともないですよ、そんなの。

矢野　見たことないってことないだろ（笑）。

所　あ、見たことぐらいはあります（笑）。

矢野　これからはTV局の意向とかで、所さんの「ウソつきキャラ」っていうのも封印されるんですかね（笑）。

所　ちょっと僕はわからないです。

――では、『紙プロ』誌上で育んできた、ウソつき、遅刻魔、リトアニアの寝技王の裏歴史は封印される可能性もあると？

広報・上原氏　ちょっと、いまはわからないですけどね。

矢野　ファンというのはいろいろ知りたがるんですけど、表の歴史を作らなきゃいけないからね。光り輝く成功の軌跡みたいなのを。

――じゃあ『紙プロ』で、ひっそり裏の歴史でも作りましょうか（笑）。

矢野　光り輝く歴史の方は、野球をやっていた少年がヤマケン（山本喧一）のところ（パワー・オブ・ドリーム）に入ったと。師匠はどこかに行っちゃったけど、残りの仲間で頑張って、プレミアムチャレンジで初めて相手をバーリ・トゥードでボコったと。その相手が……。

――ここにいる矢野さんと（笑）。

矢野　スゲー、殴られましたからね。ホント酷い男だな（笑）。

所　……すいませんでした（苦笑）。

――やるときはやる男ですからね（笑）。

矢野　まあ、あそこで俺を踏み台にできたから、いまがあるんですよ。

所　い、いや、踏み台とか、そんなことは思ってないんで。

――でも、『HERO'S』でのブレイクで、そろそろ風呂なしアパートからの脱出も近いんじゃないですか？

所　まだ、いまのところ、予定はないです。



実は所と矢野は2002年5月に開催されたプレミアム・チャレンジで対戦している。このときは所が3-0の判定勝ち。この試合は所の数少ないバーリ・トゥードマッチでもある。

矢野　この前のギャラで、家賃払ったんじゃないの？

所　いや、払ってないです。（急に小声になり）まだ9ヶ月分ぐらいためてるんで。

――エッ、9ヶ月も!?　でもそこまでためたら、もう払う気がないってことですよね（笑）。

所　そんなつもりはないんですけど。

矢野　月いくらなの？

所　4万3千円です。でも、最近は払ってましたよ。

矢野　いや、払ってないから9ヶ月もたまるんでしょ（笑）。彼女に払ってもらったりとかしないの？

所　そ、それはちょっと。

矢野　あ、彼女いることもなし？

――前は普通に出してましたけどね（笑）。

矢野　「最近、別れちゃって。彼女にもビンボーで捨てられて」みたいなこと言ってんじゃないの（笑）。

所　それはないです。（またもや小声で）でも、携帯代は払ってもらってたんですけど。

矢野　それ、出していい話なのか微妙ッスね（笑）。まあ、スターになったんで「彼女はいないことにしてください」って感じなんだ？

所　まあ、そうッスね。その方がおいしいかなと思って（微笑）。

――ガハハハハハ！

矢野　腹黒キャラ全開だな（笑）。

――でも、『HERO'S』の試合後は取材ラッシュなんじゃないですか？

所　はい。急に増えましたね。

広報・上原氏　今度、『FLASH』さんでは、所の家を取材することになってるんですよ。

矢野　家よりも大家さんを取材してもらいたいね（笑）。

――「そんなに有名になったなら家賃払え」って言われるかもしれないですね（笑）。

所　多分、大家さんは僕が格闘技やってるの知らないと思いますよ。

――9ヵ月分の家賃払わなきゃ引っ越しもできないわけですね。

所　そうッスね。まずはそっからです。

矢野　いまのところ急に引っ越したら、「闘うフリーター、家賃踏み倒しで訴えられる」ってニュースになるよ。

――そしたら次号の『紙プロ』で大家さんを取材しますんで（笑）。

所　そうならないように気をつけます（苦笑）。

――そういえば、試合後、前田さんから前田賞をもらったらしいじゃないですか？

矢野　前田賞って何なんですか？

――かつてのリングスで、TKがイーゲンに勝ったりとか、ここぞというところで結果を出すと、前田さんがポケットマネーを出すんですよ。

矢野　なるほど。でもやっぱり、前田さんにしてみれば痛快だったんじゃないですか。いままで自分のことを、あまりよくいってなかったところのチャンピオンを、自分の後輩のとこの坊主がボコボコにしちゃったわけだからね（笑）。

――それはあるかもしれませんね。

矢野　それに前田さんは、ずっと表に出てなかったから、やっぱり世間的には前田日明が誰なのかわかんないわけじゃないですか。そういう人のところに、世界の所さんが真っ先に挨拶しに行ったわけですからね。

所　僕はそんなことはまったく考えてなくて。もう一所懸命ロープをくぐって挨拶しに行ったんですよ。

矢野　ま、基本ですよね。ZST出てる人間としてはね。

――でも、リング上から前田さんに挨拶するっていうのは、よくありますけど、下まで降りてやると、ホントに土下座してるように見えるんですよね（笑）。

矢野　でも、世界の所さんは基本的に上の人間には凄い腰が低いじゃないですか。だけど、後輩には凄い偉そうなんですよ（笑）。



HIDEO TOKORO × TAKUMI YANO

こちらがリングスファンなら誰もが憧れる前田日明サイン入りの「前田賞」だ！　一説によると縦に立つほどのボーナスが入っているという前田賞。所は9月もゲットできるのか？

所　いや、ぜんぜん違いますって。

矢野　オリケン（折橋謙）とかにはどういう感じで接しているの？

所　オリケンとはだいたい同等か……もしくは向こうが上ですね。

――ガハハハハ！

所　でも最近、誘っても遊んでくれないんですよね。

矢野　仲間として同等でやってきたのがボーンと上に行っちゃったから、「なんだよ、アイツ」ってなってるんじゃない？　それか、世界の所さんが眩しくて、一緒に遊ぶのも恐れ多いってのがあるんじゃないの？

所　そんなことないですよ。でもみんなの目標になるくらい、頑張りたいです。

――いや、もうとっくに、みんなの目標になってると思いますよ。

矢野　なんといっても難攻不落の絶対王者を倒したわけですからね。

所　でも、もう一回やったら確実に負けるんで（キッパリ）。

矢野　別にもうやらなきゃいいじゃん。

所　もう、やらないです。再戦はもうZSTで懲りているんで（苦笑）。

広報・上原氏　あの試合はマグレだったの？

矢野　マグレじゃないッスよ。あの最後のフィニッシュはオマケみたいなもんで。あれが当たろうが、当たるまいが、あのまま押し切って勝ってたと思いますよ。

所　ほぉ～（と人ごとのように感心）。

矢野　「ほぉ～」って、「いける！」と思ったから、ドローの後に「ヨッシャ!?」ってコーナーに戻って来たんじゃないの？

所　あのときは「よし、もう1ラウンド！」って思ったんですよ。「殺してやる！」って。延長はガンガン攻めていこうと思ってたんで。

矢野　でも、「いける！」と思ってたんでしょ。正直に言えよ。

所　「いける」っていうか、「極めたいな」とは思ってました。

――勝つのは確信してたけど、どうせなら、カッコよく勝ちたかったと（笑）。

所　いや、そこまでは余裕はなかったです。

矢野　でも、俺は見てて、「3R行けば勝てるわ」と思ってたもん。

所　そう言ってくれると嬉しいッス。最後、試合終わって、矢野さんが花道にいてくれたことも嬉しかったです。

矢野　思わず柵を越えちゃいましたからね（笑）。

――でも、よくあの大舞台で力が出せましたよね。

所　はい、自分でも、ちょっとビックリしてます。

――試合後、前田さんには何か言われました？

所　「やったやないか」って。もっといろいろと言ってもらったと思うんですけど……。

矢野　憶えてないの？　それとも聞き取れてない？（笑）。

所　いや、それが全部聞き取れるんですよ。

――え、ヒアリングは完璧になったんですか？

所　前田さんと会うということになって、リングスのDVDのコメントとか全部聞いたんですよ。失礼がないようにって思って。

矢野　でも忘れちゃったと（笑）。

所　……（再び固まる）

――ガハハハハ！　でも、どうですか2回戦は9月になるわけですが？

所　はい、まあ頑張ろうと思ってますけど。

矢野　基本的にこの男はやる男ですからね。まあ、なんだかんだ言っても1回戦はチャレンジャーっていうか、噛ませ犬のような立場だったんですけど、結果出しましたからね。

――大会翌日の会見では須藤元気選手と闘いたいとアピールしてましたよね。

所　はい。毎回、面白い試合をしたり凄く尊敬してる選手でもあるし、前に山本（喧一）さんが負けてるっていうのもありますし。

――実現すれば、かつての師匠のリベンジマッチにもなりますからね。大晦日とかにUFC―Jのベルトを懸けてやるっていうのもアリだと思いますけど。

矢野　で、世界の所さんが勝ったら、今度はヤマケンが挑んでくるという（笑）。

所　いやいや、そこまではちょっと（苦笑）。でも、『HERO'S』で勝った後に山本さん

がWEBの日記で僕のことを書いてくれて

「いける!」っていうか、
「極めたいな」とは思ってました



がWEBの日記で僕のことを書いてくれて、それが凄い嬉しかったです。

矢野　まあ、誰とやるにしても主催者が決めるんでしょうけどね。どれと当てると一番おいしいんだろうという感じで。でも、この前の放送では世界の所さんの試合はフルで流されたんですよね。

——カットされた試合も多い中、ほぼ全部流されましたからね。

矢野　ということは、TV局側が「コイツに決めた」ということですからね。もう●●なんかは使わない、と（笑）。

——ガハハハハハ！

矢野　視聴者はどういうもんを観たいかということに関してはTV局側はシビアですから。そう考えると世界の所さんの試合は、TV的にも、あれ以上ないってぐらい出来すぎでしたからね。相手の必殺技を受けて、ピンチってときにそれを抜けて、そして裏拳から鮮やかなKO勝利と。

所　自分でも、ちょっと出来すぎだったなと。でも矢野さん、次、パンクラスでムエタイのチャンピオンとやるんですよね？

——所さんが修斗王者を破った後は、矢野さんがムエタイ王者と対戦と。

矢野　打撃系あんまり好きじゃないんですけどね。何度も痛い目に遭ってるんで（苦笑）。

——数々のトラウマ経験があると（笑）。『HERO'S』でもう一人のスターになったレミギウス（・モリカビュチス）とかにも痛い目に遭ってますし。

矢野　もう俺はいいです（苦笑）。でも、レミギウスの試合も予想通りの展開だったというか。普通に叩きつぶすと思ったけど、一発で終わりですもんね。

——レミギウスも、やっぱり凄いですよね。

矢野　そういう意味では、やっぱり世界の所さんも凄いですよ。その凄い男に勝ってるわけだから。

所　いやいや、あのときはたまたまです。

矢野　たまたまが何べんも続いていると

（笑）。まあ、運命に選ばれた男ですから、しょうがないですけど。

所　いやー、そんなことないです。

矢野　レミギウスも凄かったけど、やっぱり、あの日は世界の所さんに尽きるよ。すべてが奇跡みたいな試合内容で、会場の人もTVで観た人もみんながヒーロー誕生を目撃したような雰囲気に包まれたからね。そして、その中心にいたのが、あなたですから！

所　……は、はい。もう一回、ああいう日が続けばいいんですけど。

矢野　これで死んだら、伝説になるよ（笑）。

所　早めに辞めた方がいいッスかね？

矢野　辞めるのはダメだよ。「あの人は、いま」になっちゃうから。まあそれは冗談だけど、多分、所英男っていう男は、まだまだいっぱい運を持ってると思いますよ。もちろん、ちゃんと実力もあるからこその運だけど。

所　矢野さんにそう言ってもらえるとホントに嬉しいッスね。

――いや、ボクもきっと所さんはスターになる選手だなと思って読者の反響も薄い中プッシュし続けてきたんですけど、それがホントに一夜でスターになってしまいましたからね。

所　ありがとうございます！

矢野　まあでも、K―1MAXと同じような盛り上がりを、たぶんTBSの人たちは求めてると思うんですよ。

所　K―1MAXと同じくらいの試合を求められても僕は絶対、出来ないと思うんですよ！

――そんなとこだけ自信満々に答えられても（笑）。

矢野　いや、試合なんてどうでもいいんだよ。もうキャラも出来ちゃったから。

所　出てればいいんですかね？

矢野　そうだよ。頑張ったら、勝手にスポットライトがバーンて当たるんですよ。

所　そうなんですかね。とりあえず、今日、帰ったらすぐ練習始めます。

矢野　まあ、頑張っても光が当たらない人には、永遠に当たらないけどね。例えば、●●●とかね（笑）。

――間違いなく強いからこれからでしょう。あのレミギウスや世界の所さんに秒殺で勝ってるわけですから。

矢野　強さは、神様から与えてもらったけど、光は与えてもらえなかったと（笑）。まあ、そういう星の元に生まれちゃったんでしょうね。そういう意味では所英男は〝太陽の子〟だよね。

所　た、太陽の子ですか？

矢野　もう日差しが強ければ強いほど、光り輝くというかね。KIDが〝神の子〟なら、所英男は〝太陽の子〟と。

――〝小さなヴォルク・ハン〟に変わる新たなキャッチフレーズですね。

所　いや、でも〝小さなヴォルク・ハン〟も好きなんで。

矢野　それはZSTでのキャッチフレーズだから。ZSTが終わったわけじゃないけど、こんな凄い選手が毎回試合してたなんて、ある意味、ZSTファンは歴史の目撃者というか。

所　そんなこと言ったら、矢野さんだって出てたわけじゃないですか。

矢野　いやいや、私も活躍を見させて頂いてた方なんで。

――ガハハハハ！

矢野　でも、スターになっても、たまには俺らとも話してくれよ（ニヤニヤ）。

所　いえいえ、矢野さんは大先輩なので。

矢野　ま、年は俺の方がだいぶ上だけどな。気づいたら、もう35ッスよ（苦笑）。

――もう大ベテランですよね。でも、ここ最近パンクラスでは6戦5勝1分と負けナシで絶好調じゃないですか？

矢野　絶好調っていうか、気づいたらその戦績なんですよね。とりあえず試合こなせればと思ってやると結果がいいんですよ。まあZSTからオファーがないんでパンクラスばっかり出てるんですけど（笑）。

広報・上原氏　いやいや、また機会があれば、お願いしますよ。

矢野　機会があれば、ゼヒ（笑）。

――それでは今後も元・ZST4兄弟の世界に羽ばたくような活躍を期待してます！

所　はい、頑張ります！

矢野　俺は地道に低空飛行で頑張ります（笑）。

【7月13日／東京・ひばりヶ丘『ヤノタク道場（仮）』にて収録】

とりあえず、今日、帰ったら、すぐ練習始めます

俺は地道に低空飛行で頑張ります（笑）

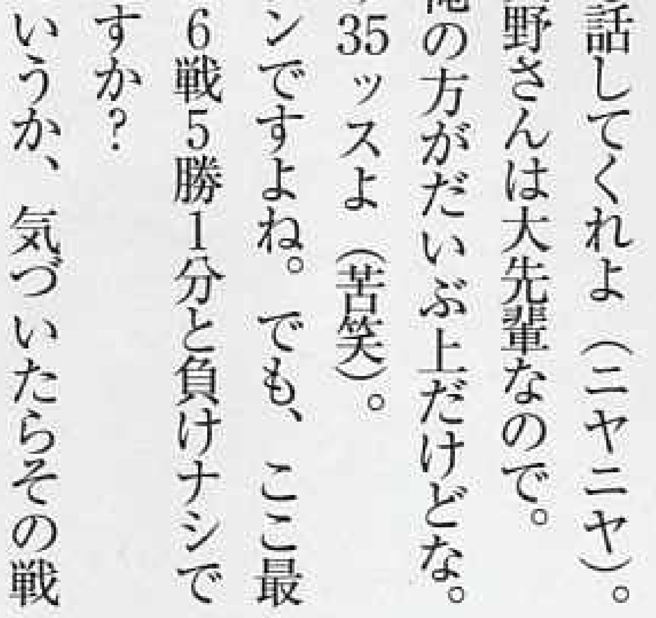


TAKUMI YANO × HIDEO TOKORO

やの・たくみ■1970年1月3日、東京都杉並区出身。その独特の寝技ぶりから“東洋の神秘”の異名を持つ個性派ファイター。ここ最近はパンクラスマットを主戦場に抜群の勝率を誇るフィギュア好き。171cm 64kg

ところ・ひでお■1977年8月22日、岐阜県揖斐郡出身。ヤマケン主宰のPODへリングスのチケットを買いに行ったのがきっかけで格闘技を始める。ヒーローとなった現在も清掃業のアルバイトは続行中。170cm 65kg

この夏、ヤノタク道場（仮）がひばりヶ丘にオープン！



現在、絶賛改装中のヤノタク道場は、つい最近まで日焼けサロンとして営業中していた物件。なぜか、いまでも日焼けマシーンが置きっぱなしになっていたが、この夏までには畳を敷き詰めた道場が出来上がる予定だ。詳細は次号で紹介。その前にヤノタクは7・31パンクラス後楽園大会でムエタイファイターと対決！こちらも大注目だ!!

RINGS生まれのZST育ち、
赤いパンツの田舎者があなたを優しく指導！

『僕で良ければギロチンの外し方教えます』by所英男

所英男がインストラクターを務めるリバーサル格闘技ジム（ACADEMIA　reversal）が男女問わずフィットネス感覚の初心者から選手を目指す本格派の方まで会員募集中。総合クラスは所英男、松根良太、鶴屋浩。柔術クラスは大内敬、弘中邦弘のトップ選手が優しく丁寧に指導。高品質60畳マット、シャワー室2部屋、更衣室完備。

★アクセス

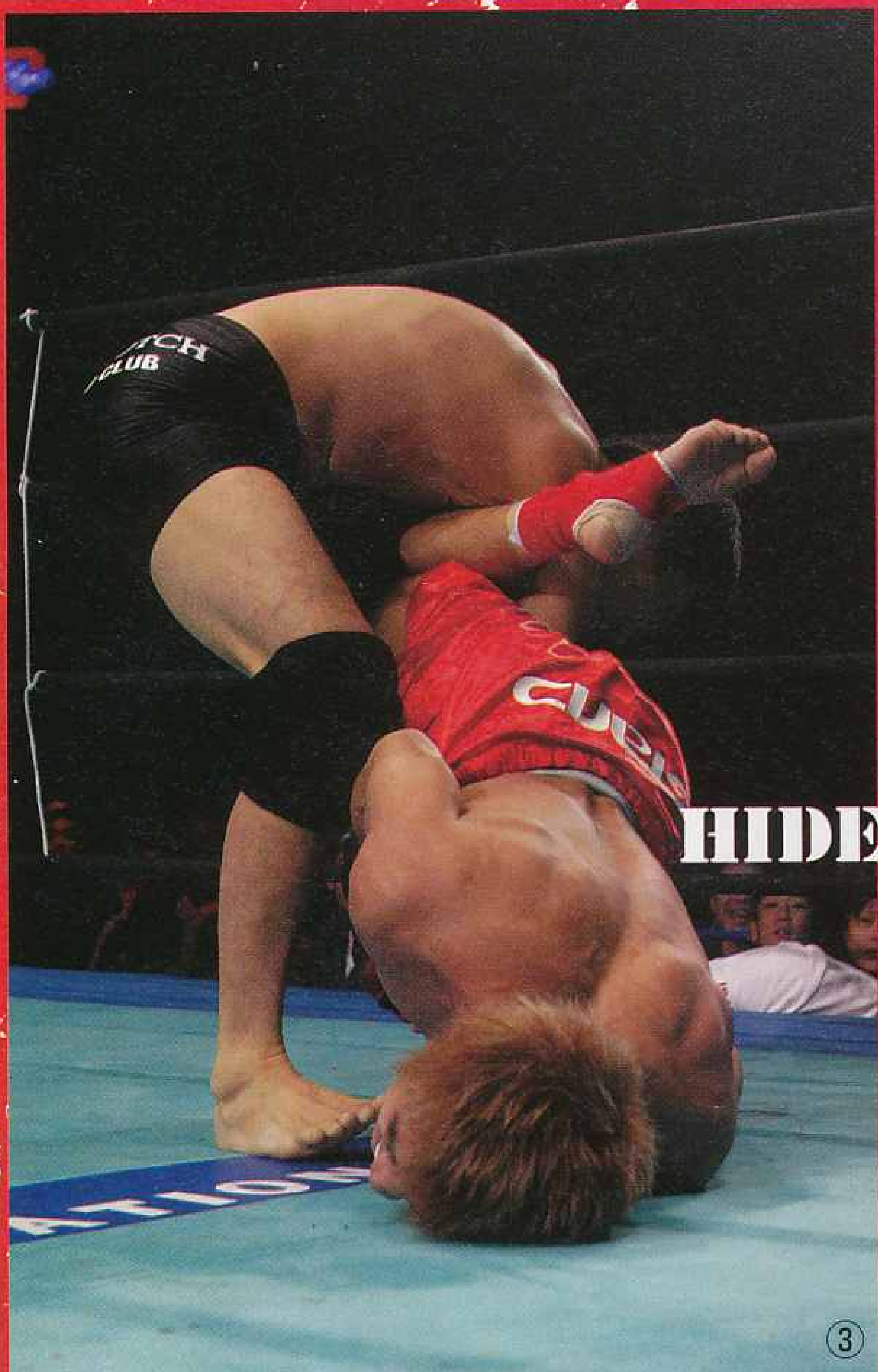
小田急線「代々木八幡」より徒歩7分、小田急線「代々木上原」より徒歩8分、千代田線「代々木公園」より徒歩7分

【お問い合わせ】

リバーサル格闘技ジム（ACADEMIA　reversal）
住所　渋谷区富ヶ谷2-41-10　B1F
TEL.03-3481-6521　HP www.reversal.jp



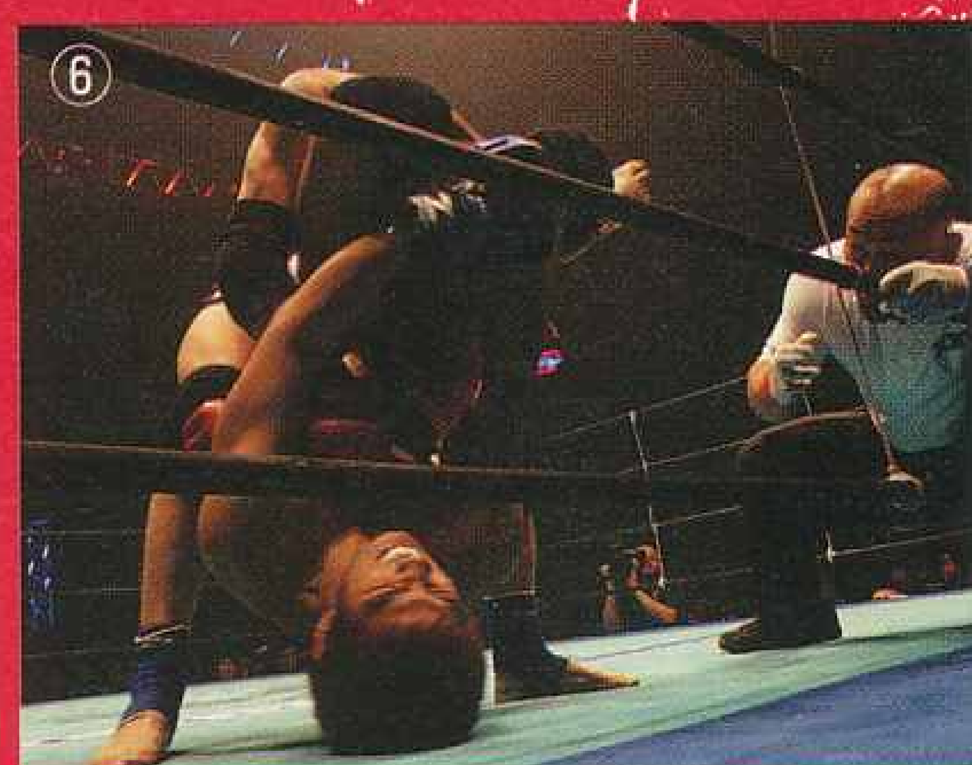






HIDEO TOKORO ZST BOUT HISTORY









① 02.11.23記念すべき『ＺＳＴ.1』で坪井淳浩から腕十字で一本勝ち。② ZST.3でライバル、レミーガと初対決。強烈なヒザ蹴りの前に初の失神ＫＯ負け。③ 03年第１回ZST・GP１回戦で第２代修斗世界フェザー級王者・大石真丈から腕十字で一本勝ちの金星。④ ところがZST・GP２回戦でTAISHOに秒殺ＫＯ負け。期待をあっさり裏切るのも所流。⑤ ZST主催のグラップリング大会『ＧＴ－Ｆ』で見事優勝！⑥ 04年５月のZST.5でレミーガに腕十字でリベンジ成功！ ⑦ 04年９月、小谷直之とのZST頂上対決ではアキレス腱固めで一本負け。 ⑧ そして今年、前田日明に認められついに『HERO'S』出場へ。

Q1 お名前と、お名前の由来を教えてください。

A→所英男です。名前の由来は……父親がつけたって言うことぐらいで、あんまり聞いたことないです。すいません。

Q2 性別と血液型を教えてください。

A→性別は男で、血液型はA型です。

Q3 誕生日と出身地を教えてください。

A→1977年8月22日、岐阜県揖斐郡出身です。

Q4 座右の銘（好きな言葉）はなんですか？

A→「恍惚と不安」かなぁ。あ、違いました。「継続は力なり」です。

Q5 自分で自分の性格をどう思いますか？

A→気が小さいですね。他人からは腹黒いって言われますけど。

Q6 好きな異性のタイプは？

A→頭が良くて家庭的な人です。

Q7 好きな食べ物、嫌いな食べ物は？

A→好きな食べ物は焼肉で、嫌いなのは生ガキです。

Q8 好きな飲み物、嫌いな飲み物は？

A→好きな飲み物はコーラで、嫌いなのはお酒です。アルコール系は苦手ですね。

Q9 好きなアーティスト、嫌いなアーティストは？

A→好きなのはサザンオールスターズで、嫌いなのは特にないですね。あ、でも、トンガリキッ……いや、やっぱないです（苦笑）。

Q10 好きな人はいますか？ 嫌いな人は？

A→好きな人はいます。嫌いな人もいます。

Q11 好きな本、嫌いな本は？

A→好きなのは格闘技系の雑誌です。技術的なものを見るって意味でも読んでます。嫌いなのは読まないんでないです。

Q12 好きな教科、嫌いな教科は？

A→好きな教科は体育で、嫌いな教科は理科です。

Q13 好きなテレビ番組、嫌いなテレビ番組は？

A→好きなのは、さんまの……8時ぐらいにみんな集めてしゃべるヤツ。あ、『さんま御殿』ですね。嫌いなのは特にないです。

Q14 好きなスポーツ、嫌いなスポーツはありますか？

A→好きなのは野球で、嫌いというか苦手なのはバスケットですね。

Q15 好きな動物、嫌いな動物は？

A→好きな動物は犬。嫌いなのはカエルです。

Q16 その他に好きなものはありますか？

A→好きなのは自分の仲間です。

Q17 その他に嫌いなものはありますか？

A→嫌いなのは天災ですね。地震とか、災害。

Q18 携帯電話は電話派？ それともメール派？

A→メール派ですね。

Q19 家族構成を教えてください。

A→父、母、兄が二人です。1人はリバーサルで働いていて、一番上の兄はクリーニング屋さんです。

Q20 兄、弟、姉、妹で欲しいのは？

A→姉ですかね？ あ、やっぱ弟です。

Q21 幽霊とかオバケって信じますか？

A→信じてます。見たことはないですけど、いるだろうなと思います。

Q22 あなたの長所は何ですか？

A→長所は……八方美人ってことかな？ あ、八方美人は短所か（苦笑）。長所は……ふれあい!? いや、言うことを聞くことです。

Q23 あなたの短所は何ですか？

A→短所は八方美人でお願いします（笑）。

Q24 明日、地球が滅亡するとしたら何をしますか？

A→滅亡するんだったら、とりあえず実家に帰りたいです。それで、寝ます。

Q25 生まれ変わったら何になりたいですか？

A→頭のいい人間に生まれ変わりたいです。

Q26 忘れたい大失敗って何ですか？

A→忘れたいぐらいの大失敗はないです。小さな失敗はたくさんありますけど（苦笑）。

Q27 インターネットは好きですか？

A→最近ブログを始めて、よく見てるんで好きだと思います。良かったら『紙プロ』の読者の皆さんも見てください。前田さんも見てるので。アドレスはこちらです↓
http://blog.livedoor.jp/zst_tokoro/

Q28 携帯の着メロは何ですか？

A→「キャプチュード」と「燃えよドラゴンズ」です。

Q29 試合直前に必ずすることは何ですか？

A→入場前にするのは、深呼吸と、先祖へのお祈りですね。

Q30 自信をもって扱える道具はなんですか？

A→野球のグローブです。

Q31 女性の胸とお尻はどっらが好きですか？

A→（即座に）両方です。あ、それじゃダメですか。どちらかというと胸……いや、やっぱお尻でお願いします！

Q32 前世があるとしたら、自分は何だったと思いますか？

A→魚類系ですかね。それか爬虫類系。

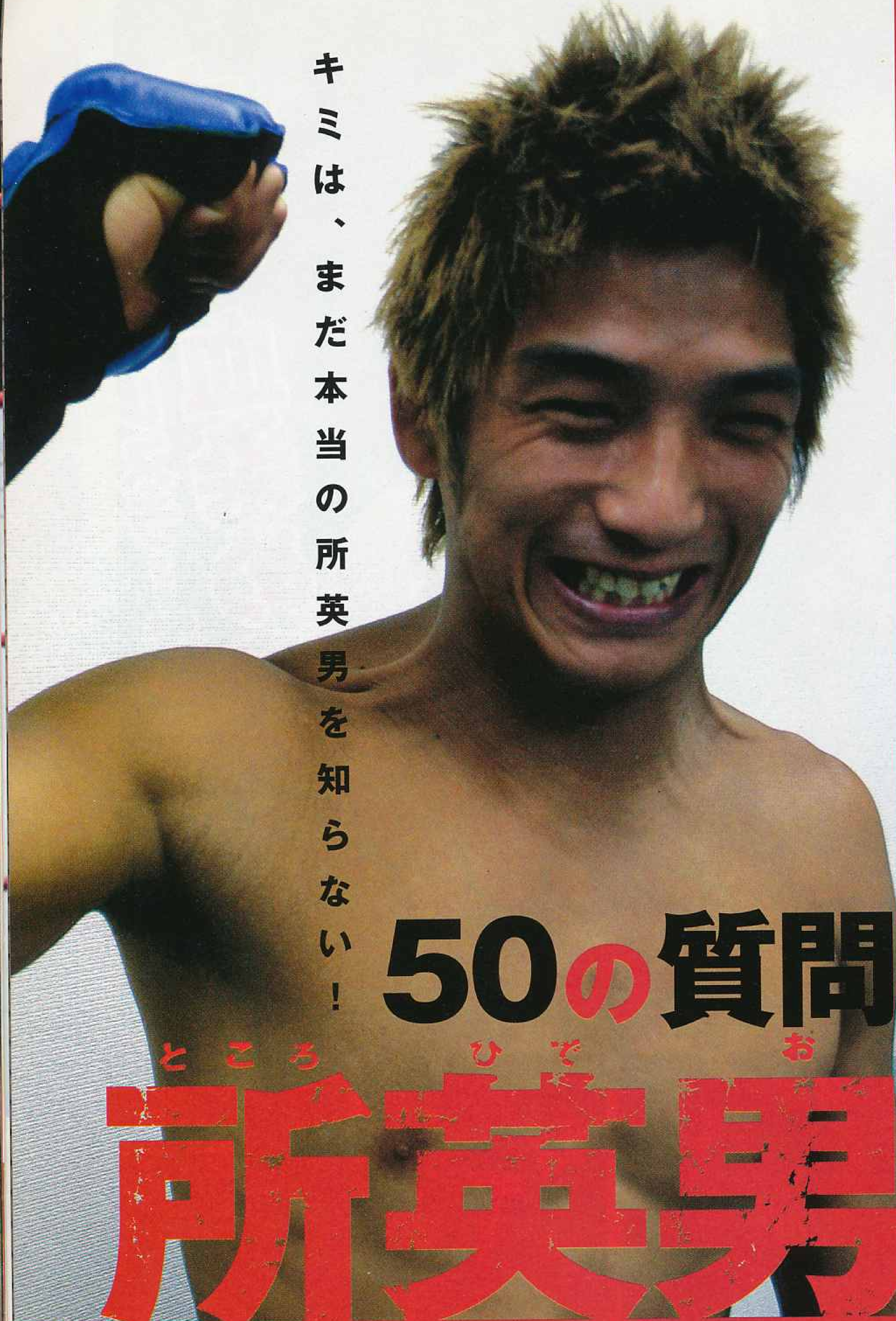
Q33 あなたが一番落ち着く場所はどこですか？

A→布団ですね。自分ちの布団。

"小さなヴォルク・ハン"から サイン入りTシャツプレゼント!



"小さなヴォルク・ハン" 所英男選手から、『紙プロ』通販で絶賛発売中の"等身大ヴォルク・ハン" Tシャツにサインを入れて1名様にプレゼント。サイズはS！ 女の子からの応募待ってます！ 宛先はP159参照!!



キミは、まだ本当の所英男を知らない!

50の質問 所英男（ところひでお）

修斗の“絶対王者”ペケーニョからの勝利で、一夜にしてスターダムにのし上がった所英男。ちょっと前からの『紙プロ』読者なら、その魅力や変わった性癖も丸わかりだと思うが、『HERO'S』を見て初めて知ったというアナタのために本当の所英男を知るための50の質問をぶつけてみました。これを読めば、所さんのことがスッゲクわかるはず!!

Q34 あなたのライバルを教えてください。

A→ ZST4兄弟（今成正和、矢野卓見、小谷直之）と言われてた人たちと、レミギウス（・モリカビュチス）ですね。

Q35 好きな匂いを教えてください。

A→ みかんとかフルーツの匂いが好きです。

Q36 あなたにとって「やさしさ」って何ですか？

A→ 腕枕です（笑）。

Q37 1日が25時間あったら余った1時間を何に使いますか？

A→ 寝ます。

Q38 いまの仕事以外に自分はどんな職業が向いていると思いますか？

A→ 工場関係じゃないですかね。流れ作業とか。

Q39 あなたの尊敬している人は誰ですか？

A→ 両親です。

Q40 目的を決めずに旅に出るとしたら、東西南北どちらの方向に向かいますか？

A→ う～ん、とりあえず南。

Q41 あなたが一番犯しやすそうな罪は？

A→ なんだろう？ やっぱチカ……いや、間違えました。最近、自転車を盗まれたので、取り返します（笑）。

Q42 理想の献立の一例をあげてください。

A→ ごはんに豚汁、あと肉があれば完璧です。

Q43 大地震です。何を真っ先に持ち出しますか？

A→ 寒くなってもいいように布団とか。いや、やっぱ枕ですね。

Q44 何のため、あるいは誰のためなら死ねますか？

A→ う～ん、家族のためでもちょっと……。未来の奥さん？のためなら死ねると思います。

Q45 もし100万円拾ったらどうしますか？

A→ 100万だったら交番に届けますね。でも、10万円とかだったらもらいます（笑）。

Q46 リング上での必殺技はなんですか？

A→ スリーパーです。

Q47 対異性への必殺技があれば教えてください。

A→ まだないですね。金さえあればとかは思いますけど（笑）。しいて言えば、同情を引くことですかね。

Q48 人に言えなかった秘密をひとつだけ公開していただけませんか？

A→ かなり昔の話なんですけど、小学校のとき、転校生がきたらいじめてたってことですかね。それも本当は遊びたいのに、照れ隠しでやってたんですけど。

Q49 結婚願望はありますか？ 子供は何人ほしい？

A→ 結婚願望はいまはないですけど、生活力がついてきたらあると思います。子供は、かわいい子は好きですけど、いまは考えられないです。

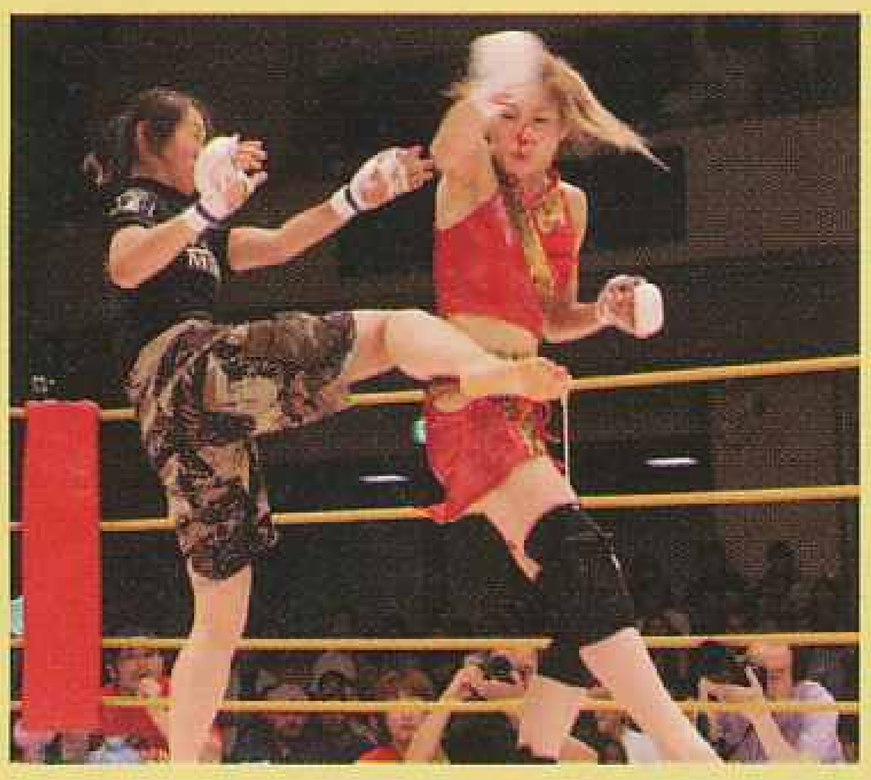
Q50 2005年中に必ず実現したいことは何かありますか？

A→ 大晦日の大会に出場することです。ワンマッチでもいいんで。

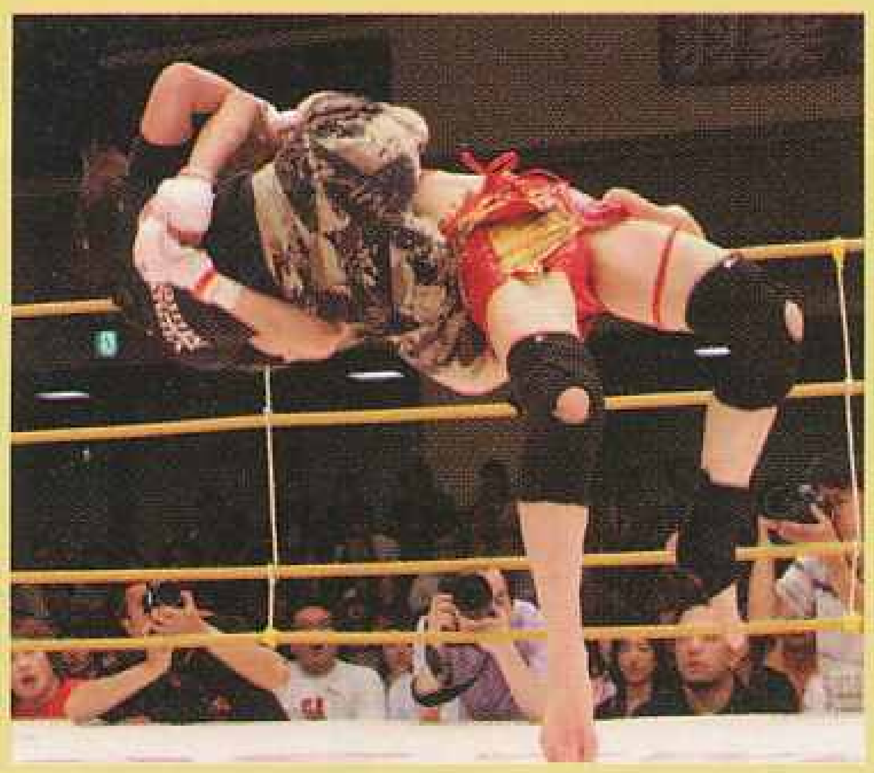
リアルプロレスラーはここにもいた！
大向、血染めの激勝!!



セコンドに美濃輪育久、AKINO、GAMIといったプロレスラーを付けてド派手なコスチュームで入場してきた大向。勝利後、鼻を骨折し血まみれのままガッツポーズを決めた大向は「リアルプロレス、最高ッ！」と絶叫。バックステージに戻った大向は曲がった鼻を見て「ショックです〜。鏡見て誰かわかんなかった」とガックリ



開始早々、いきなりバックブローを炸裂させダウンを奪い大歓声を浴びた大向。しかし、その後、ヒジンのパンチを受け鼻から大量出血！



血まみれになりながらもバックドロップ一閃！その後も大向はパンチを振り回しヒジンからダウンを重ね、最後はパンチの連打で見事勝利！



成長著しい羽柴まゆみが、軽量級の実力者・大室奈緒子と対戦。羽柴はローキック＆前蹴りで大善戦、あわやのところまで追い込むも判定負け



ライト級王座次期挑戦者決定トーナメントの決勝は、おっさんvs斎藤〝ｅｄｇｅ〟あゆみ。試合はおっさんが判定３－０で勝利、先輩の辻との対戦権を獲得した。



念願のベルトを手にした辻は「もうちょっといろいろやりたかったけど、一本取れて嬉しいです」と笑顔。8月に対戦が決まった、おっさんには「次はお互い頑張りましょう！」



注目の辻結花vs渡辺久江の初代ライト級王座決定戦は、1R3分過ぎ、辻が腕十字で完勝。見事、初代王者に輝いた。



今回、辻の入場ネタは般若。「試合の時、顔怖いって言われるので、般若の面を被ったら取っても変わらないと言われて」

メインの辻vs渡辺戦も良かったが、個人的にグッと来たのは、やはり大向の総合デビュー戦。ド派手な入場シーン、試合後の血まみれのガッツポーズと、なんだかわからないけど涙腺緩みっぱなしだった。レベル的には、正直まだまだではあったが、それでも大向はプロレスラーとして最高の勝ちっぷりを見せてくれた。何かしらの格闘技経験があるわけでもなく、プロレス界に飛び込み10年以上のキャリアを持つ大向。もちろん、試合前は美濃輪や、藪下らの指導を受け、総合対策を錬ってきたようだが、当然ながら短期間で身に付く技術なんてたかがしれている。結局のところ、試合で出たのはプロレスで培った技術と、持って生まれた本能のケンカ魂。

大向はレスラーとしての体力にまかせ、殴られたら一歩も引かず殴り返し、最後は鼻血まみれになりながらも殴り勝ち。勝利後は「リアルプロレスラー最高ーッ!!」と喜びのあまり絶叫した大向だったが、ある意味、プロレスでの勝利以上の喜びがそこにはあったんだろう。

で、8月の代々木大会での闘いっぷりを楽しみにしていたのだが、以下のリリースが大向から届けられた。「今回、鼻骨陥没骨折と診断結果が出てドクターストップがかかりました。私自身も何より練習が出来ない不完全な状態でリングに上がるのはファンの皆様にも対戦相手にも失礼と思い欠場に踏み切りました！　また万全な身体でスマックのリングに女リアルプロレスラー復活しますので、応援宜しくお願いします！」

了解。次回もガンバッテ〜〜！　（チョロ）

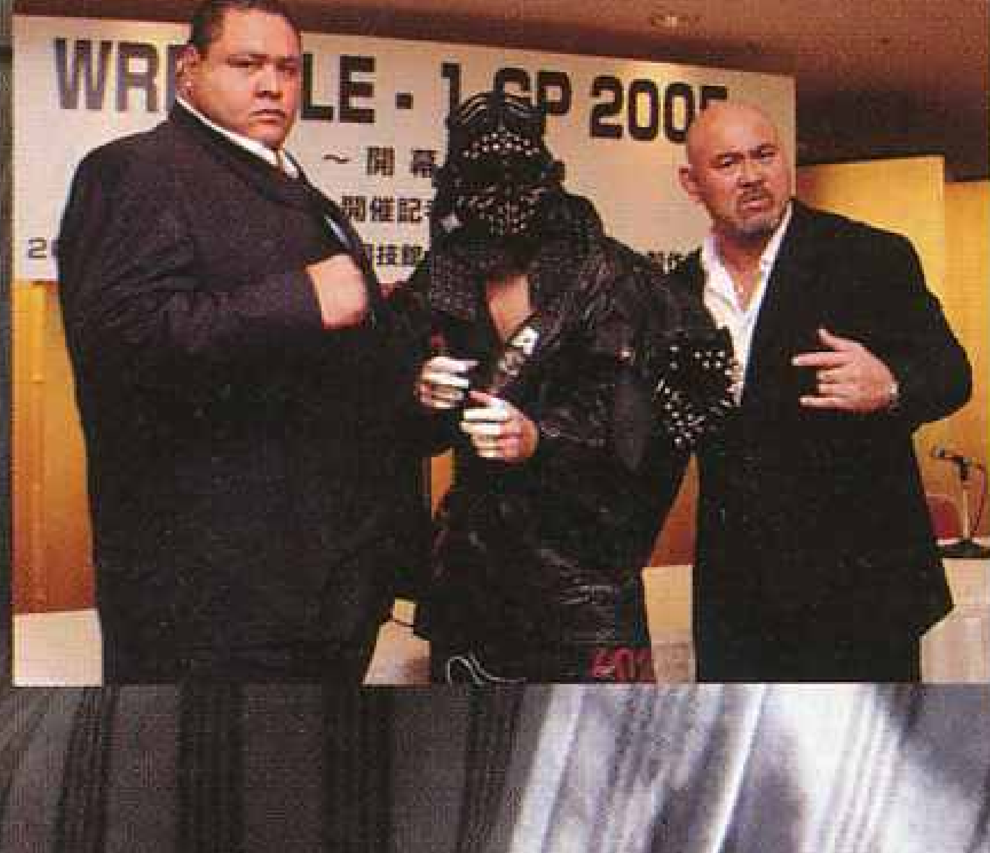
SMACKGIRL2005～Dynamic!!～

■**日時**:8月17日（水）16時開場　17時開始予定
■**会場**:国立代々木競技場第二体育館
■**予定対戦カード**
【スマックガール初代ライト級王座防衛戦】
辻結花vsおっさん
【スマックガール初代ミドル級王座決定トーナメント準決勝＆決勝戦】
□トーナメント出場選手
藪下めぐみ/テビ・サイ/ X / XX
□渡辺久江vs舞
□前川久美子vsたま☆ちゃん
【ネクストシンデレラトーナメント決勝戦】
□-48kg級決勝戦　永易加代vs関友紀子
□-59kg級決勝戦　赤野仁美vs端貴代
【フルコンタクト空手特別試合】
小林由佳vs藤舘恵理
※出場予定選手：WINDY智美 /風香
■**お問合せ**:スマックガール実行委員会(TEL .03-3324-8790)

超W-1級カード
ムタvs曙実現!
はたして"天才"は
どう闘うのか!?

武藤敬司

「"馬"が相手でも俺のプロレスをやるだけ "痛いプロレス"なんてやる気ねぇよ!」



一時はもはや開催不可能とまで噂された『WRESTLE-1』がトーナメント形式の『W-1 GP』として、ようやく正式に開催が決定! いきなり曙vsムタという"ファンタジー・ファイト"丸出し、インパクト抜群のカードが発表された。しかし、曙という"プロレスど素人"を相手にするのはリスクが伴うことも確か。はたして天才・武藤はこの"巨大な食材"をどう料理するのか?

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也　本文構成／真下メキシコ君
designed by matsu(TwoThree)

※このインタビューは破壊王・橋本真也さんがお亡くなりになる前に収録したものです。

—どうもごぶさたしてます!

武藤 うーし。『紙プロ』最新号ある?

—あ、もってきました。どうぞ。

武藤 (本誌をパラパラ見ながら)なんだよ。『紙のプロレス』とか言って……最近格闘技ばっかじゃん? もう、いっそ『紙の格闘技』にすりゃいいんじゃねえか?

—いや〜。あくまで広い意味で"プロレス"という意味ですから。

武藤 広いも狭いも、プロレスと格闘技って全然"対極"なもんだよ。同じ枠に入れるのは違うんだよなぁ。

—まぁ、ウチは昔から同じ枠で取り扱ってるんですけどね(笑)。で、その格闘技とはまさに対極の『WRESTLE-1』(以下『W-1』)がついに再開するんですが。これは"『W-1』の復活"と言っていいんでしょうか?

武藤 復活……じゃないよね。1回目と2回目の『W-1』ってのは、なんだかんだ言っても全体の20パーセントから30パーセントは俺の意志が入った興行だったわけ。でも今回は俺の意志は入ってねえもん。

—あくまで、今回は1タレントで参戦すると。

武藤 そう。だからイベント全体としたら前回とは別モンだよ。でも、こと俺の試合に関しては前回の延長戦かもしれないな。前の『W-1』の時は「ファンタジーファイト」っていうコンセプトを意識した試合をしたからさ。今回も興行の全体像はともかく、俺は延長戦のつもりでやるよ。

—ホント、ムタvs曙なんてファンタジー・ファイトの神髄みたいなカードですもんね(笑)。前回の『W-1』っていうのは、リング内外において、武藤さんが全身全霊の情熱を注いだプロジェクトだったわけですよね。

武藤 あの時は本当に「プロレスの復興」じゃねえけどさ、そういう明確なテーマがあったし。「一般の人にプロレスをどう広げるか?」っていうチャレンジだったからさ、おもしろかったよな。

—でも、心血を注いだ分、武藤さんもかなり苦労したと思うんですが。

武藤 そりゃ苦労はしたよ。ただ、あれを経験したことによって、全日本では「プロレスラーは職人を選ぼう」っていう気持ちが出てきたね。やっぱネームバリューじゃねえんだよな。プロレスには職人が必要だよ! それを改めて痛感させられたね。

—その『W-1』の反省をもとに、こつこつ積み重ねてきた成果が、この1年くらいの全日本の好調にあらわれてますよね。関係者やファンの誰に聞いても「今の全日本はいい」という状態になりましたし。

武藤 そうそう。あの1回目、2回目の『W-1』があったからこそ、全日本はそういう方向性になったんだよ。

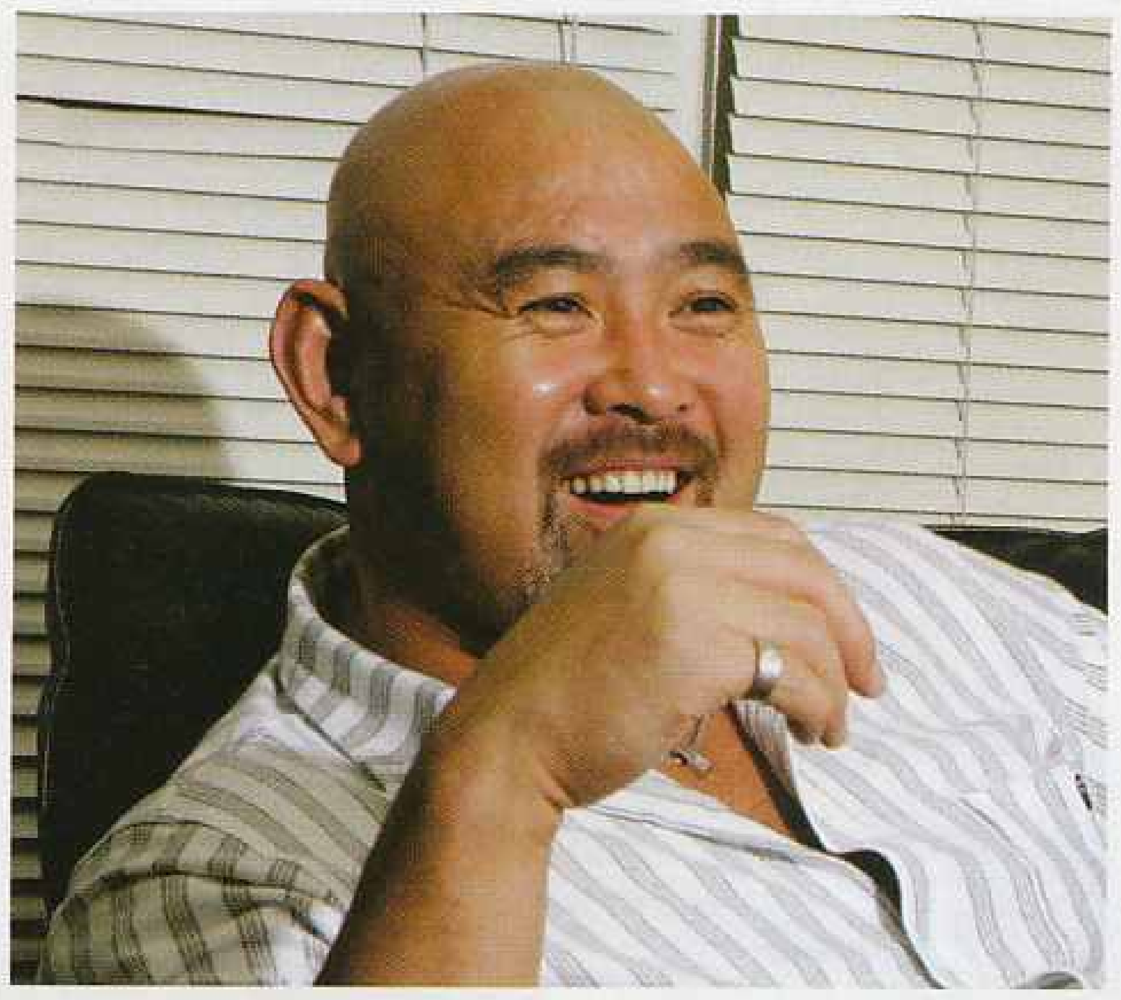
—全日本もその頃と今では、リング内外で状況が全然違いますもんね。

武藤 そりゃそうだよ。だってさ、あの頃は『PRIDE』とK-1だって仲良かったじゃん? (笑)。

—そうですよね。まぁ、その『W-1』が原因で仲が悪くなったというか(笑)。

武藤 あ、そう? (笑)。でも、当時といまじゃ全然状況が違うことはたしかだよな。

—じゃあ今回の『W-1』参加っていうのは、前回のような責任を背負ったかたちとまったく違った身軽な状態なんですね。



**前回の『W-1』と
今回は別モノ。
今回は俺の意思が
入ってねぇもん**

武藤 だから、たのしいよね(笑)。それに全日本というパッケージの状態が上向いてるって言ってもさ、狭い範囲の「センズリビジネス」にしたってしょうがねえじゃん。

—センズリビジネス! (笑)。

武藤 だから今回の『W-1』は全日本を世間に広めるための格好の題材というか。そういう意味では「おいしい」よな。

—全日本は地上波TV中継も一旦終了してしまって……後楽園ホールや代々木第2に来たお客さんは毎回満足させてますけど、全日本を"外側"にアピールする機会は減ってますからね。

武藤 そうそうそう。それにプロレスラー武藤敬司個人にしたってさ、TVに出てなかったら衰退していくわけよ。だからその時々でボブ・サップを食べたり、曙を食べたり、ネームバリューがある奴とやって、知名度を上げてまた生き長らえる……。それってプロレスラーには必要な独特の「エキス」だよな。だって俺らの商売、20年〜30年やんなきゃいけないし、『PRIDE』の選手みたいに2、3年で辞めるなんて考えてないからさ。プロレスで一生食ってく為に、必要なエキスなんだよ。

—じゃあ、今回はちょうどいい時期に曙戦がめぐってきたというか。

武藤 そう、おいしいタイミングで来てくれたよ(笑)。だけど試合は大変だよ!

—いや、本当にそう思います。第1回『W-1』のときのボブ・サップ戦も大変だったと思いますけども。

武藤 いや。だってボブ・サップは一応プロレスやってたからさ!

—WCW2軍での基礎はありますからね。

武藤 この間、新日本の1・4東京ドームでやった外人(ロン・ウォーターマン戦)の時にも相手を「ほうき」に例えたけどさ〜。ほうきは強引にやれば動くからいいよ。でも今回はねぇ〜。重いじゃん? もう巨大なスコップ相手にプロレスするようなもんだぜ(笑)。コレ題材としては、すご〜く難しいよ。

—だからこそ、マッチメーカーも「グレート・ムタならなんとかなるだろう」っていうことだと思うんですけど(笑)。

武藤 でも難しいよなぁ。あいつにドラゴンスクリュー出来そうにねえもんなぁ。この前、生で見たらさ、本当にデケエんだよあいつ! あと足も長いし、なんか普通の野郎よりも、ヒザの甲の位置がすごい高えんだよ。俺、あの高さまでシャイニング・ウィザードが届かねえよ!

—ダハハハ! 人より高くジャンプしなくちゃいけないと。

武藤 困ったな〜と思ってさ(笑)。ま、そうやって悩むのもおもしろいけどな。

—そういう相手だからこそ、武藤敬司のクリエイティブな側面が刺激されるというか。

武藤 で、その1週間前には小島戦もあるわけさ(7月26日、国立代々木競技場第2体育館で小島聡の三冠に挑戦)。こっちはまた違った形で"対極"のプロレスだよな。1週間の間にふた通りのプロレスを見せなきゃいけない。まぁ、レスラー冥利につきるよな。

—まったく発想を変える必要がありますね。しかし曙は本当に向かい合っただけでもおもしろそうですよね。

武藤 そうそうそう。曙戦をなんでヤル気になったかと言うと……やっぱり存在感だよな。知名度もすごい、横綱というイメージもある。もうリングに立ってるだけで(会場の雰囲気が)出来上がるワケだ。それでグレート・ムタにも色があるから、やっぱり出来上がるワケ。お互いに向かい合うだけでも「オッケーだな」って部分がある、それがいいんだよ。

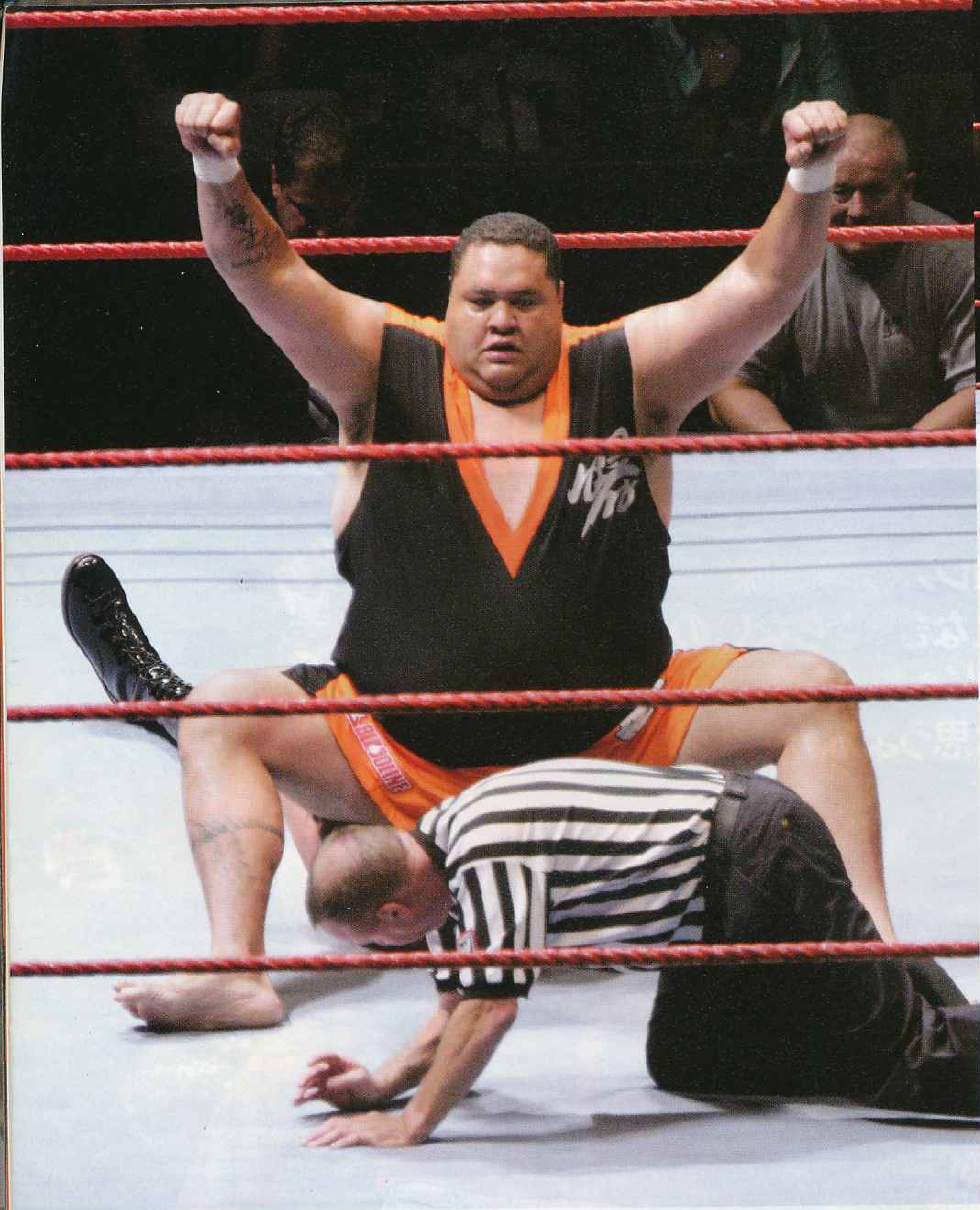
—向い合うだけで、すでに点数を稼いでるっていう、安心感はありますよね。試合展開も「おそらくやるだろう」とわかっていても、曙の顔が毒霧で染まるところは絶対に見たいですよ(笑)。

武藤 それって出来るのかな〜? 昔、新日本でエル・ヒガンテとやった時はイスの上に立って毒霧吹いたけどな。

—毒霧だけでなく、グレート・ムタにはぜひとも曙を流血させてほしいですよ(笑)。そのあたり、武藤さん的にはどんなムタ・ワールドに導こうと思ってますか?

武藤 知らないよ! まだ、その試合

藤 敬司





7月2日、さいたまスーパーアリーナで行われたWWE「スーパーショー」に出場、ビッグ・ショーと組みカリート&モーガン組と"デビュー戦"を行った曙は、ぶちかまし、ツッパリ、すくい投げ、そしてトドメはただ座っただけのようなバンザイドロップで圧勝！　一度もバンプを取ることなく見事な（？）プロレスデビューを飾った。こんな"強豪"相手にムタはどう闘うのか？

ほうき相手でもプロレスできるけど曙は重たいじゃん。すげぇ難しいよ

で何ができるかわかんないからさ。まぁ、彼が「マナ板の鯉」になってくれりゃあいいんだけどな。

——ムタが料理してやるよと（笑）。しかし、またデカイ鯉ですねー。

武藤　ちょっと料理するには重すぎるけどな（笑）。ただ、やっぱり曙だから（『W-1』に）出るっていうのはたしかだからな。じゃあ、ビックマウスの抱えてる選手で、健介だ、長州さんとの対戦ってのは、今の俺の中では「想定外」だよな。柴田（勝頼）だなんだ言ったって絶対に想定外。さっきの「エキス」の話に例えるなら、柴田とかは知名度の面でエキスにならねえから。だって地方の人は知らないでしょ。でも曙は子供から年寄りまで日本中が知ってるからなぁ。

——未だに、曙はK-1のTV放送で一番視聴率稼いでますからね。だから、なんだかんだ言って、ムタvsサップ以上に見てしまうカードですよ。

武藤　（遮って）いや、今回はボブ・サップ以上に苦戦するって！　まず身体能力がサップの方が全然いい。アイツはプロレスをかじってるじゃない？　それからボブ・サップはあの頃、勢いが凄かったでしょ。だから、良かったわけ。でも、曙はねえ……ハッキリ言って下り坂じゃん。身体能力云々もそうだけど、テーマ設定がすげえ難しいよ！　起動力を生かしてっつっても、俺のヒザの状態だって良くないしさ。

——そう言いながらも、この試合がおそらくメインイベントになるでしょうから、今回も『W-1』の浮沈は武藤さんにかかってますよ（笑）。

武藤　いや〜それは、ないんじゃん？　そこまでのプレッシャーはいらねえよ（笑）。しょせん人の興行だけどさ、アドバイスさせてもらえば、やっぱりメインは綺麗に締めくくれる試合の方がいいと思うよ。

——ダハハハ！　ムタvs曙じゃ奇麗に締めくくれませんか？（笑）。

武藤　最善はつくすけどさ、やめといたほうがいいんじゃねぇかな〜（笑）。

——それから前回の『W-1』で「プロレス界で生きてる人間を食わせるためにやってるんだ」という武藤さんの発言がありましたが、今回はそういう意識はありますか？

武藤　今回？　……ないね（アッサリ）。

——ない（笑）。

武藤　まぁさっきも言った通り、武藤敬司個人のためには絶対いいよな。かといって、全日本プロレスのリングに曙を迎えるっていう考えもないし。そっちはそっちで徹底したいしね。

——積み上げてきた世界観が崩れてしまいますよね。

武藤　状況次第では、曙がリングに可能性もあるかもしれないけど。全日本の歯車の役割に入れるんだったら、彼の利用価値はあるけど。それで今の歯車が崩れるのはイヤだよな。

——前回の『W-1』では、直後に開催された「最強タッグ」の動員が落ちたりと、全日本の興行に影響が出ましたし。それを侵したく無いという気持ちはわかりますね。でも『W-1』には、全日本からさらに選手が出場しそうですよね。噂によると、ジャイアント・バーナードや、ジャマールという名前が挙がってますが。

武藤　ああ、はいはいはい。

——彼等をもうひとまわり大きくする、という意味では格好の舞台ではあるんじゃないですか？

武藤　う〜〜ん。でもなんか意外に……舞台としての総合力や影響力はない気もするんだよね。それにこれは主催者側の希望だとは思うけど……俺は「トーナメントなんてクソくらえ！」って思ってるからさ。

——ダハハハハ！　『W-1・GP』開幕前からなんてこと言うんですか！（笑）。

武藤　K-1や『PRIDE』とは違うプロレスの醍醐味を伝えなきゃいけねぇのに、「トーナメントじゃねぇだろ！」とか思っちゃうよな。興行が単発だからトーナメントが一番自然なアングルなのかとは思うけど、そういう単発な興行で、バーナードや、ジャマールを生かすプランを主催者側が考えられるかどうかだよ。

——確かに1対1で「どっちが勝つか？」という興味だけだったら格闘技のほうが上だし、もったいないですよね。では、

イベントのコンセプトに、若干の疑問点はあると。

武藤　いや、わかんない。こっちが成功するかもしれないよな。ウチらみたいな本来の長期的展望のプロレスじゃなくて、単発だからさ。食い付きとか考えたら「トーナメントにしなくちゃいけねえのかな?」とも思うけど……そこにプロレスラーのジレンマがあるよね。「これが新しいプロレス界の構図だったらつまんねえな」とかさ。「だったらドサ回りの方がいいだろう!」と思ったりな(笑)。

——ダハハハ！　世界最高峰のWWEだって、ある意味、全世界中をドサ回りしてるわけですからね(笑)。ちなみに今回のWWE(7月2日、3日にさいたまスーパーアリーナで開催された『WWE SUPER SHOW』)は御覧になられるんですか?

武藤　いや〜その日は大阪で仕事があるんだよ。本当はリック・フレアーと対談するって話もあったんだけど。俺のスケジュールが合わなくて。あいつら、いつも日本に来てから連絡をもらうから、時間が合わねえんだよ!

——え〜と。そのフレアーとの対談はウチでお願いしてたやつですね(笑)

武藤　あれ、『紙のプロレス』だったか!

——はい。またいずれお願いします。で、今回は曙のプロレスデビューがあるみたいですけど……。

武藤　(突然、スタッフに向かって)おい!　曙の試合だけビデオ録っとかなくちゃヤバイなぁ!　ちょっとは見とかなきゃヤバいだろ。だってもう……馬とプロレスやるのと一緒だからなぁ(笑)。

——"マット界のハルウララ"と呼ばれるだけに馬ですか(笑)。それは、そうとうイメージ作っておかないとマズいですよね。

武藤　本当は会場に行くことになってたんだよ。リングサイドに招待もされてたんだけど。でも仕事なんだよね。

——武藤さんがリングサイドに来れたら、『W-1』にとってはすごい宣伝になったんでしょうけどね。WWEと言えば、記者会見で上井さんからは「『W-1』はWWEをすでに超えてます!」という素晴らしいビッグマウス発言があったわけですけど(笑)、武藤さん的にはどう感じてますか?

武藤　まぁ、何を持って「超えてるか?」という問題だよな。『W-1』でも俺の試合だけは超えさせようとつとめるよ。ただ、WWEでアイツがやる試合と比べたら、すげえハンデなんだよ。なぜかと言うと、あっちはタッグだろ?　おそらく曙の他に3人のプロフェッショナルが揃うんだよ。でも俺はマンツーマンだろ?　このハンデがあるよな。

——そのハンデは大きいでしょうね。

武藤　それでもWWEを超えようとは思ってやるけどさ。興行のトータル的な部分はしらねえよ。

——しらない(笑)。でも、今回はビッグマウス、FEG、レッグロックの三社の協力で開催ということなんですけど。

武藤　そのあたりって、よくわからないんだよ。誰が主導権を握ってるのか?とか。俺にはウチの信頼しているブッカーから依頼されて出るだけだからさ。それはスタッフががんばってくれればいいよ。ただ、3社共催っていうのは難しいと思うよ。やっぱり、プロレスは一ケ所で大きく仕切っていかないとな。

——ビンス・マクマホンみたいにトップダウンを下せるところが必要なわけですね。ところで上井さんとはお話されてますか?

武藤　記者会見の時に、話したよ。

——それくらいなんですか?

武藤　そうだよ。だからさ、おれ記者会見までトーナメントの話、知らなかったもん!　そしたら記者会見の時になんか言ってるからさ「ああーン?」って思ってさ。「センス悪ィことしてんなぁ」とか思って。

——ダハハハ!　会見の主役である武藤さんがトーナメントのことを知らなかったというのは、それもまたビッグマウスらしい話ですね(笑)。

武藤　だからさ、これからどうなるかわからないけど、現時点で「描きたいもの」がトーナメントひとつしかないっていうのは、苦しいと思うぜ。

——それからトータル・コンセプトという点でも、今回、ムタvs曙戦と、長州vs健介戦というまったくいろあいの違うラインナップが発表されたりと、描きたいものがハッキリ見えてこない部分はありますよね。

武藤　そうそう。だから「自分は自分の延長線でやる」しかねえじゃん。それを想定してブッキングされてるんだと思うし。まさか俺に「痛いプロレス」なんて要求してないと思うしな。

——前田さんの言うところの「顔面の腫れるプロレス」ですね(笑)。



2002年11月の"旧"『WRESTLE-1』のメインでボブ・サップと闘ったムタ。しかし、今回の曙はサップ相手よりプロレスとして試合を作るのが難しいという。

今度入門した杉浦一生には日本版のバーナードみたいになってほしいね

武藤　そういう俺の大嫌いなプロレスは要求してないと思うからさ（笑）。

――要求されても困りますしね。武藤さん自身は、もう一度、トータル・コンセプトがしっかりした『W-1』を自分の手でやりたいという気持ちはありますか？

武藤　いや、いまの全日本プロレスこそが〝俺のW-1〟だよ！

――ああ、なるほど。それこそいまの全日本は武藤さんの意思が色濃く反映されたプロレスですもんね。そして、それを広めるために、おいしい曙を食べるために『W-1』に出ると。

武藤　そういうことだよな。

――ちなみに旧『W-1』が中途半端な形で終わってしまったことへの挫折感ってありました？

武藤　ん？　でも当時からイメージ的にいい興行とは言われなかったじゃん。割と反省ばっかりしてたからね。ショックとはまた違うよね。

――ではあれがあったからこそ、今の全日本があると。

武藤　そうだよ。もう一度、プロレスってもんを考える機会になって、「無名でも職人の方がいいな」と思ったりさ。あと商売的なことを言えば今の全日本って、『PRIDE』とかK-1とかと違ってゲート収入がメインだから、会場に来てくれたお客が大事だし、リピーターをつくらなきゃいけない。5000円のチケット買ったら5000円以上の満足感を与えないと商売として成り立たない、そういうことがわかったりとかね。

――『W-1』をやることで、逆にプロレスビジネスの基本に立ち返ったという面があったわけですね。

武藤　だから一生懸命、〝職人〟育ててますよ。

――そういえば全日本は大型新人、杉浦一生選手も入団しましたが、いかがですか。なんか「鼻から金粉が出る」特異体質という話ですけど（笑）。

武藤　ホントに鼻かむと金粉が出るわしいよ。体のいろんなところに金粉がついてるって話だし。

――それで「ゴールデンルーキー」だと（笑）。

武藤　アイツさ、自衛隊に行ってたんですよ。でも歩幅が大きすぎて、自衛隊で行進やってたら、どうしても自分だけ歩調が合わないらしいんだよな。



先月、全日本入団を発表したアマレス、インカレ1位の杉浦一生。1982年7月25日生、北海道岩見沢市出身の22歳。195cm、130kgの巨体を誇り、未来のエースとして期待がかかる。

――そういうトンパチは逆にプロレス界には向いてそうですね。

武藤　とにかく存在感あるね。あとスゲえ食うらしいよ。この前は回転寿司80皿食べたらしいよ！

――80皿！　都合160カンですね（笑）。

武藤　あとはカレーの『ココイチ』だかなんかで、大盛りカレーを20分くらいで完食しなくちゃいけないのを4分で食ったとかさ、そんな話ばっかりだよ（笑）。

――いやぁ、ひさびさにプロレスでそういう話聞きましたね（笑）。

武藤　彼は本当はアマチュアレスリングを続けたかったんですよ。でもウチはアマレス関係ないから「アマレスやるんならやめてくれ」と言ったの。それでウチの後に「新日本に行って草間社長と面会する」って言うからさ。新日本はアマレスをやってる闘魂クラブがあるじゃん。で、草間社長に「闘魂クラブで結果が見えなかったら、必然的にプロレスラーにする」って言われたらしいんだよね。でも彼はずっと「プロレスをやるんだったら武藤さんの下でやりたい」って思ってたらしいのよ。だからアマレスの未練も断ち切って、全日本に来た。新日本からも勧誘を受けてるにも関わらずにこっちに来たのは、嬉しいよね。

――やっぱり「この世界で生きていく」って覚悟があってこそですよね。

武藤　理想としては日本版のバーナードみたいになってほしいよね。ああいう風になったら最高だけどな。

――じゃあ、武藤さん的には将来が非常にたのしみですね。

武藤　ただ、腹の肉がしょっぱいんだよ。やっぱりプロレスラーの肉をつけるのは10年かかるからな～。本当に日々、障子紙みたいな薄い紙を張り付けていくような作業だからね。

――それは、プロレスの技術もしかりですよね。

武藤　そうそう。本当に一緒ですよ。だから長い目で見てやってほしいよね。

――では、最後に今年の下半期の武藤さんのプランを教えてください

武藤　下半期？　ん～下半期はとりあえず三冠戦をカマして……五冠王をめざす！　そんなとこかな。

――武藤さんぐらいになっても、まだベルトへの執着心ってあるんですか？

武藤　いや、小島が四冠とったからそれに対抗して言ってるだけだよ（笑）。そしたらこの前、東スポの記者に「あと2冠どうします？」って言われてさ。まぁGHCとか可能性の薄いことを言っても仕方ないからさ。いま、ZERO-1 MAXにAWAのベルトがあるじゃない。それがひとつと。あと昔、俺が封印した新日本のグレーテスト18クラブのベルトを復活させれば五冠だろ？って（笑）。まぁ、そういったホラもたまには吹きつつね、全日本プロレス的にはワイドショー的なことよりも、来たお客を確実に満足させたい。口コミで入る、旨いラーメン屋みたいな世界を作っていきたいなと、現時点ではそう思ってますよ。

――今の全日本は大きい選手から小さい選手まで、本当にいい仕事してますよねー。

武藤　いや、いい仕事してるんだけどさ、みんなフリーなんだよな。フリーだけどウチに居座ってるんだよ！　居心地がいいからさ。健介や川田もみんなそうじゃん。

――昔の「テレビに出たいやつ、みんな来い！」じゃないですけど全日本は「プロレスのしたいやつ、みんな来い！」状態になってますよね。

武藤　それにフリーの人間って、やっぱりハングリー精神があるからね。それからその都度「上がるリングの郷」に従わなきゃ使ってもらえない、という部分で、選手の頭がやわらかくなってるよな。

――昔は、武藤さんのように海外でプロレスを学ぶ時代でしたけど、日本でもそういったプロ意識を学べる時代になったんですね。システム的には武藤さんが理想とする団体になりつつあるんでしょうか。

武藤　いや、本当は「王国」を作りたいんだよ！　選手もフリーじゃなくビシッとしたピラミッド状の王国を作りたいんだよ。目指すはやっぱりWWEですよ。でも現状としては、まだ無理だわ。

――現在は王国に至るまでの過程ですね。では、W-1では王国の陣地を広げるためにも、曙戦に期待してますので！

武藤　いや～あんまり期待されてもな～～。

――では「期待されてもな～」という程度に期待しときます（笑）。

【05年6月30日／九段下・全日本プロレス事務所にて収録】

WRESTLE-1 GP 2005 ～開幕戦～

NOAH秋山準参戦決定!!

◆日時　2005年8月4日（木）　開場17:30／開始18:30

◆会場　東京　両国国技館

◆入場料金（消費税込み）　20,000～4,000円

◆対戦カード
曙vsグレート・ムタ　長州力vs佐々木健介
ボブ・サップvsバーナード　天龍源一郎vs村上和成

◆大会に関するお問い合わせ先
WRESTLE-1製作委員会
TEL 03-3234-0969（LEGLOCK）

全日本プロレス興行日程

特別興行

8月 7日(日)18:00　埼玉・青伸産業運輸大駐車場

SUMMER IMPACT 2005

8月21日(日)18:30　東京・後楽園ホール
8月26日(金)18:30　北海道・釧路市鳥取ドーム
8月27日(土)18:00　北海道・北見市立体育センター
8月28日(日)17:00　北海道・浜頓別多目的アリーナ
8月30日(火)18:30　北海道・旭川地場産業振興センター
9月 1日(木)18:30　北海道・札幌メディアパークスピカ

【問い合わせ】全日本プロレス　03-3288-0610

フォーエバー破壊王!!
RADICAL PRESENT

KING

各1名様

編集部に保管されていた貴重なお宝を大盤振る舞い！　どれもこれも破壊王を身近に感じる品々ばかり。破壊王、おつかれさま！　そして、ありがとうございました!!
【編集部提供】





★破壊王使用ハチマキ&フィギュア・セット

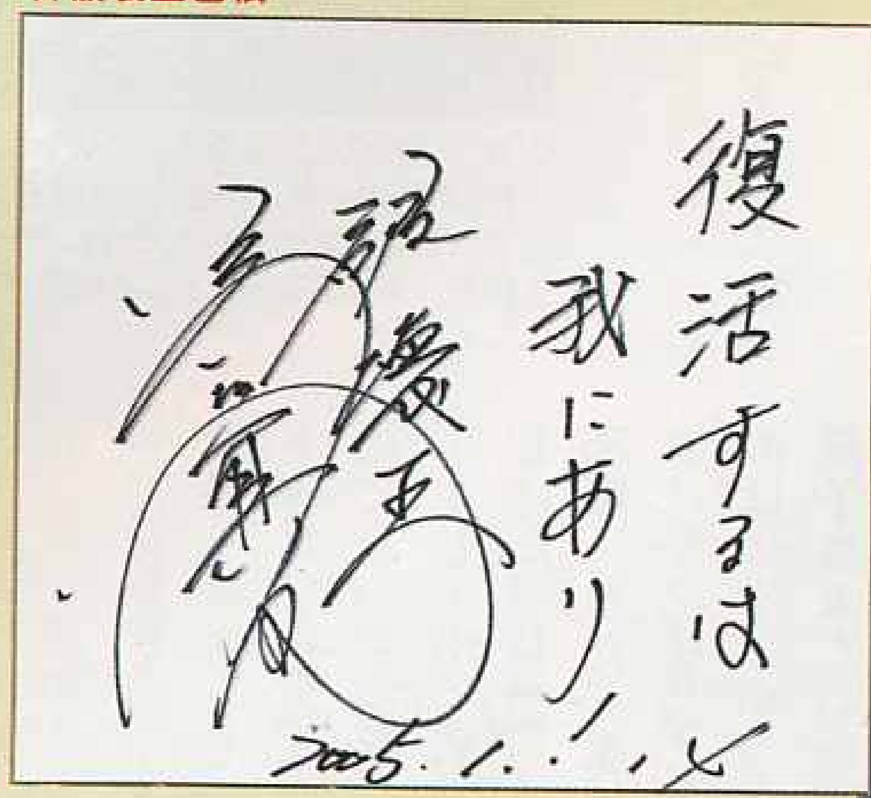


サイン入り!!



★『橋本元年』&『ロックアップ』セット

★破壊王色紙



Kami-Robo



カミロボ フジヤマ
カミロボ バードマン
カミロボ マジンジュニア
カミロボ ザ・オーレ

各1名様

★カミロボ・クイックイットモデル

P128で紹介しているカミロボの世界観を体感できる簡易組み立てのプラキットモデル登場！　アントンと同じ二重関節（ダブルジョイント）構造のため、さまざまなプロレス技が再現可能!!
【BANDAI提供】

■HP***http://www.kami-robo.com/
■HP***http://www.tamashii.jp/

reversal

創業70年を迎える武道具メーカー『ISAMI』が展開するブランドreversal。下記のステッカーがオマケでついてきます！　reversalグッズを数多く手がけるデザイナーMANIC DEPRESSION DESIGNが個展を開催!。詳しくは情報ページで。　【reversal提供】

各1名様

オリジナルステッカー付



★柔術用パッチ2種&ワッペン



セットで2名様

■HP***http://www.rvddw.com/



★リバーサル・NEWAZA Tシャツ

★シュートボクセ日本オリジナルカラーTシャツ

★リバーサル KARATE Tシャツ

★リバーサル ムエタイ Tシャツ

★柔術衣生地半袖シャツ

DSE&CMA

必見の入場シーンを再現した美濃輪Tシャツ登場！　CMA提供の美濃輪キャップのロゴが「MINOWA」じゃなく「MINDWA」になっちゃってるのは、ここだけの秘密!!
【DSE&諸岡CMA代表提供】





★美濃輪 無謀美Tシャツ
¥3990（税込）S～XL／ホワイトorグレー

★美濃輪キャップ





★PRIDEグローブキーホルダー
¥1050（税込）

各1名様

■PRIDE公式HP***http://store.prideofficial.com/
■美濃輪公式HP***http://homepage3.nifty.com/ikuhisa-minowa/

各1名様



★REMYGA
¥5040（税込）

★TOKORO Part2
¥5040（税込）

★TOKORO Part1
¥5040（税込）



★ステッカー



貧乏団体（byTBS）のエース所英男を救え！　Tシャツを買って所の"ジャパニーズドリーム"（風呂付きアパート引っ越し）へ協力しよう!!
【reversal提供】

■ZST公式HP***http://www.zst.jp/

SHINJUKU FIGHTER



1名様

★捌き一筋Tシャツ

新宿ファイターから、なにやら喧嘩上段なオリジナルTシャツ登場! なお下記HPでは『よろず相談室』を開設中! 変わり者の店長にビシバシ悩みを打ち明けよう!!【格闘技ショップ 新宿ファイター提供】

■TEL***03-3354-1903
■HP***http://www13.ocn.ne.jp/fighter/

LUTADOR

今号&来号でお届けするルタドール・読プレ第一弾! ブラジル&ジャパン柔術・総合格闘技等の発展をサポートするルタドール(ポルトガル語でファイターの意)では、ブラジル系Tシャツが必見の充実ぶり! 下記HPにレッツアクセス!! 【LUTADOR提供】

各1名様



★ルタドール・サングラス
¥3990(税込)

★ホナウド・ジャカレTシャツ
¥3990(税込)S~XL/ホワイト

★デラヒーバ先生Tシャツ
¥3990(税込)S~XL/ホワイト

★DOG Tシャツ
¥3675(税込)
S~XL/ブラックorホワイト

★シウバモデル・タンクトップ
イエローorオレンジ

■HP***http://www.lutadorfight.com/

ART JUNKIE

各1名様



★マッチョ・キングダムTシャツ
¥3990(税込)S~XL/ブラック

★パレストラ博多Tシャツ
¥3990(税込)S~XL/ネイビー

滑川を撃破した"マッチョな兄貴"桜井隆多Tシャツと、"パウンダーvsスカル仮面"のパレストラ博多Tシャツが登場! プレゼントはどちらもLサイズ。 【ART JUNKIE TOKYO&R-GYM提供】

■TEL***GROUND COBRA 092-711-1021 ■HP***http://www.artjunkie.jp/

HIDAKA & FUJITA

1名様



★合体ロボTシャツ

日高郁人&藤田ミノルのイベント『合体ロボ』で限定発売し、アッという間に売り切れた貴重なTシャツをゲッツ!!【日高&藤田提供】

GRACE

1名様



サイン入り!!

★ホイス・グレイシーTシャツ

日本初のホイス・グレイシー柔術道場『グレイシー・アカデミー』がオープン!会見でホイスは「もしかしたら『Dynamaite!!』では私と兄・ヒクソン両方が試合をするかも」とニヤリ。ゼヒお願いします!!【ホイス提供】

■グレイシー・アカデミー***東京都渋谷区神宮前2-12-2 ステージ神宮前B1
■TEL***(株)エターナル・エージェンシー 03-3582-6660

HARDCORE CHOCOLATE

1名様



★世界の怪奇音楽展
¥3675(税込) キッズL、S~XL
ブラックorネイビーorグリーン

夏休みのお楽しみと言えば『恐竜展』に代表される大袈裟な展覧会! コアチョコ流にやるなら『世界の怪奇音楽展』!! プレゼントはブラックのLサイズ。
【ハードコアチョコレート提供】

■TEL***03-5481-3561
■HP***http://www.core-choco.com/

CD

3名様



★『esperanto』
viper ¥2800(税込)

テレビ東京で放送中の『一撃入魂』のエンディングテーマ『flame』を含む、viperの2ndアルバムが発売! チェストーッ!!
【クライムミュージックエンタテイメント提供】

■viperオフィシャルHP***
http://viperweb.jp
■クライムミュージックエンタテイメントHP***
http://www.climbmusic.com/

BOOKS



3名様



5名様

★『DRAGON GATE FIRST PHOTOBOOK』
¥3800(税込)

今年もやってきました『毎日プロレス』! 勢いに乗るドラゲーが超豪華写真集を発売! 試合中の写真はもちろん、選手プロデュースのスタジオ撮りおろしカットもてんこ盛り!!
【ワニブックス提供】

■HP***http://www.wani.co.jp/

★『完全探偵マニュアル Best+(ベストプラス)』
渡邉文男・著 ¥700(税込)

40万部を突破したベストセラー『完全探偵マニュアル』1&2のベスト版が登場! 総合探偵社ガルエージェンシー創設者の著者が、プロのみが知る禁断の極意を徹底暴露!
【ガルエージェンシー提供】

■HP***http://houjin.galu.co.jp/

T-1 GP



サイン入り!!

★田村欣子 サイン入りポートレート

★日向あずみ サイン入りポートレート

8/23に開催される女子プロ・サミット『T-1 GP』の"実現して欲しい対戦カード"アンケートで、現在(7月20日)トップの田村vs日向。NEO王者vsJWP王者は実現するのか?
【チケット&トラベルT-1提供】

■HP***http://www.t-1.jp/

POSTER

各1名様



お船ちゃんの引退記念にプロジェクト・ブリーダーが特製ポスターをプレゼント! ホイラー&ヘンゾは『ブラジリアン柔術セオリー&テクニック』(新紀元社・刊)の販促ポスター! なにげに貴重だ!!
【プロジェクト・ブリーダー&橋本欽也提供】

■プロジェクト・ブリーダーHP***http://projectbreeder.com/

応募要項

応募券

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦HERO'Sミドル級トーナメントの優勝予想
⑧一足早い、大晦日に見たい夢のカードは?

【宛 先】

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6
パレ・ジュノ2F (株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「俺とお前と破壊王」係まで

※締切は2005年8月19日(金)当日消印有効

QUEST

先月に引き続きクエストでは20周年大キャンペーンを実施中! 購入した商品に貼付されている『20th Anniversary』のシール3枚を集めると、もれなくクエストのDVD全182作品のハイライトが収録された特製DVD『クエスト全作品 武道&格闘技』(下記参照)をプレゼント!! 【クエスト提供】

各1名様



★『易筋経 eki-kin-kyo』
カラー65分/
税込¥5040(税込)

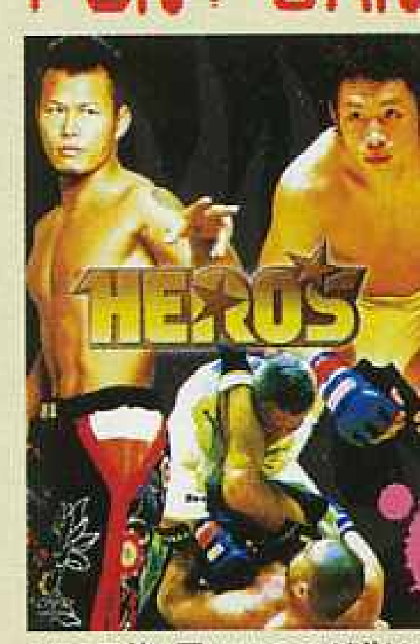
★『武神館骨法術』
カラー40分/
税込¥5880(税込)

★『クエスト全作品 武道&格闘技』
カラー240分/¥980(税込)

★『プロフェッショナル柔術 Gi-06』
カラー240分/
税込¥5880(税込)

■TEL***クエスト 03-3360-3810 ■HP***http://www.queststation.com/

PONY CANYON



★『HERO'S』
DVD 120分
¥5040(税込)

3名様

3/26の第1回HERO'Sが遂にDVD化! 宇野vsハンセンの名勝負やサップvsキム・ミンスの珍対決はもちろん、特典映像として『前田日明完全密着~HERO'S開催への道』も収録やんけ!! 【ポニーキャニオン提供】

■TEL***03-5521-8044
■HP***http://www.ponycanyon.co.jp/

人気絶頂K-1MAXが遂にゲーム化!!

K-1 WORLD MAX 2005 ～世界王者への道～

昨年12月に『K-1 Dynamite!!』を発売しプロレス&格闘技ファンを中心に好評を博した株式会社ディースリー・パブリッシャーが、新たな対戦型格闘ゲーム『K-1 WORLD MAX 2005～世界王者への道～』を発売！　『紙プロ』読者には、いまさら説明の必要はないだろうが『K-1 WORLD MAX』は、魔裟斗や小比類巻貴之、さらには総合格闘技でも活躍する山本〝KID〟徳郁、須藤元気らも出場し、人気絶頂の立ち技格闘技イベントである。『K-1 MAX』としては初のゲーム化となる、この作品には、魔裟斗や元気といった人気選手はもちろん、大野崇やアースラン・マゴメドフといった渋めのファイターまで、なんと21名の選手が実名で登場！　一部選手によるモーションキャプチャー協力で、パンチ&キックといったテクニックだけではなく、勝利後のガッツポーズや入場シーンまで細かいところもリアルに再現。当然のことながらMAXに登場するファイターさながらの高速でアグレッシブな動きだってバッチリ。

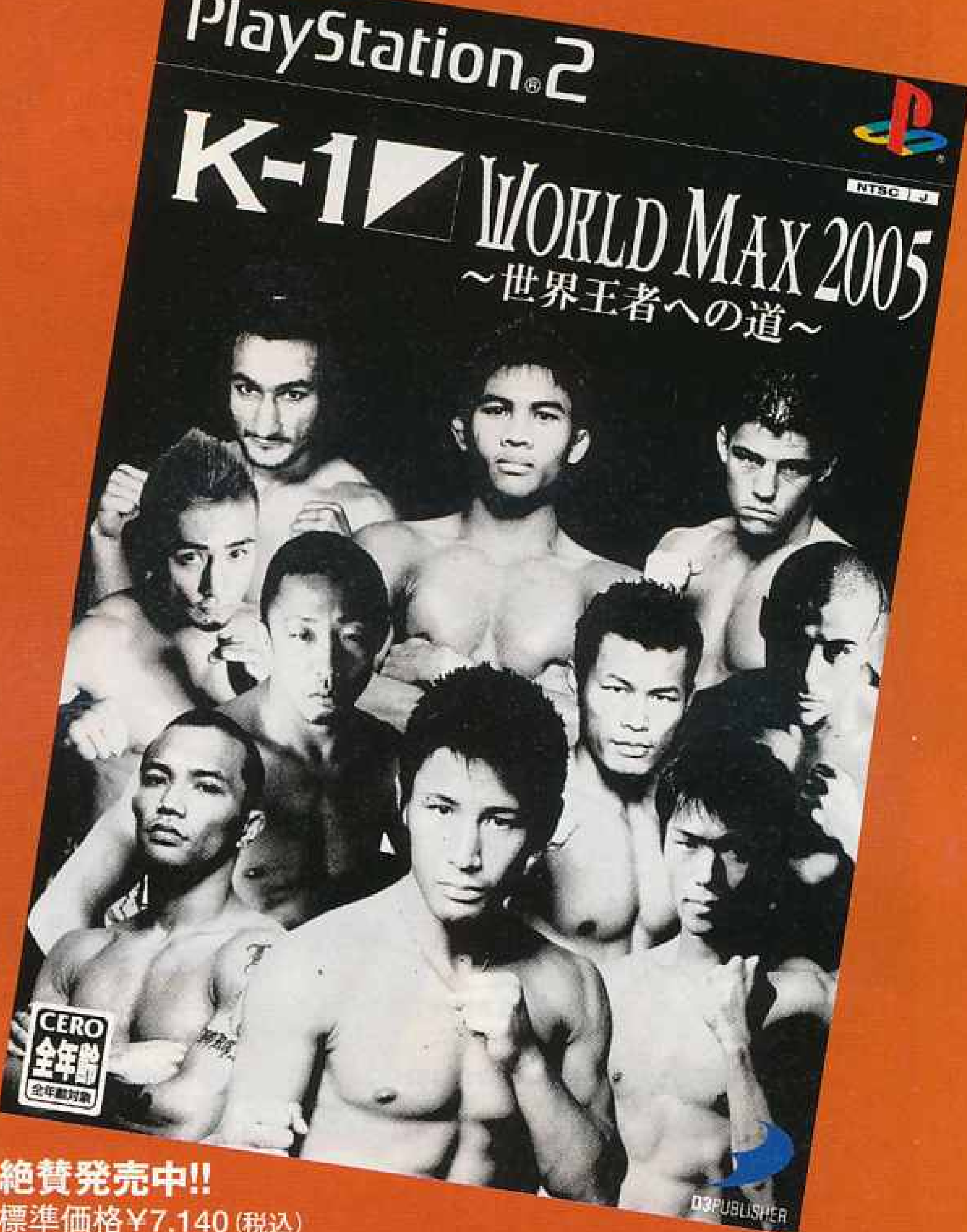
さらに、試合の実況はTBSの初田アナウンサー、解説は谷川貞治イベントプロデューサーが担当。テレビで見ている『K-1 MAX』そのまんまの臨場感が体感できる優れもの。昨年の『Dynamite!!』での魔裟斗vsKIDを再現するもよし、バレントvsイルマッツといった個性派外国人対決で熱くなるもよし、様々な夢のマッチメークが、いとも簡単に実現可能なのだ。凄い！

そして、このゲームのもう一つのウリが、キミ好みのオリジナル選手を作成し、世界王者を目指し育成するゲームモード「MAX ROAD」である。キック、ムエタイ、空手、ボクシングからバックボーンを選択、さらに顔、髪型、体型からタトゥーまで理想のファイターを自ら作成し、プレイヤー独自のトレーニング方法で強化、最終的には『K-1 WORLD MAX』での優勝を目指すというもの。

自ら作成したオリジナルファイターは、ベストエイジ登録することにより「BATTLE START」「SUPER FIGHT」での使用が可能となる。

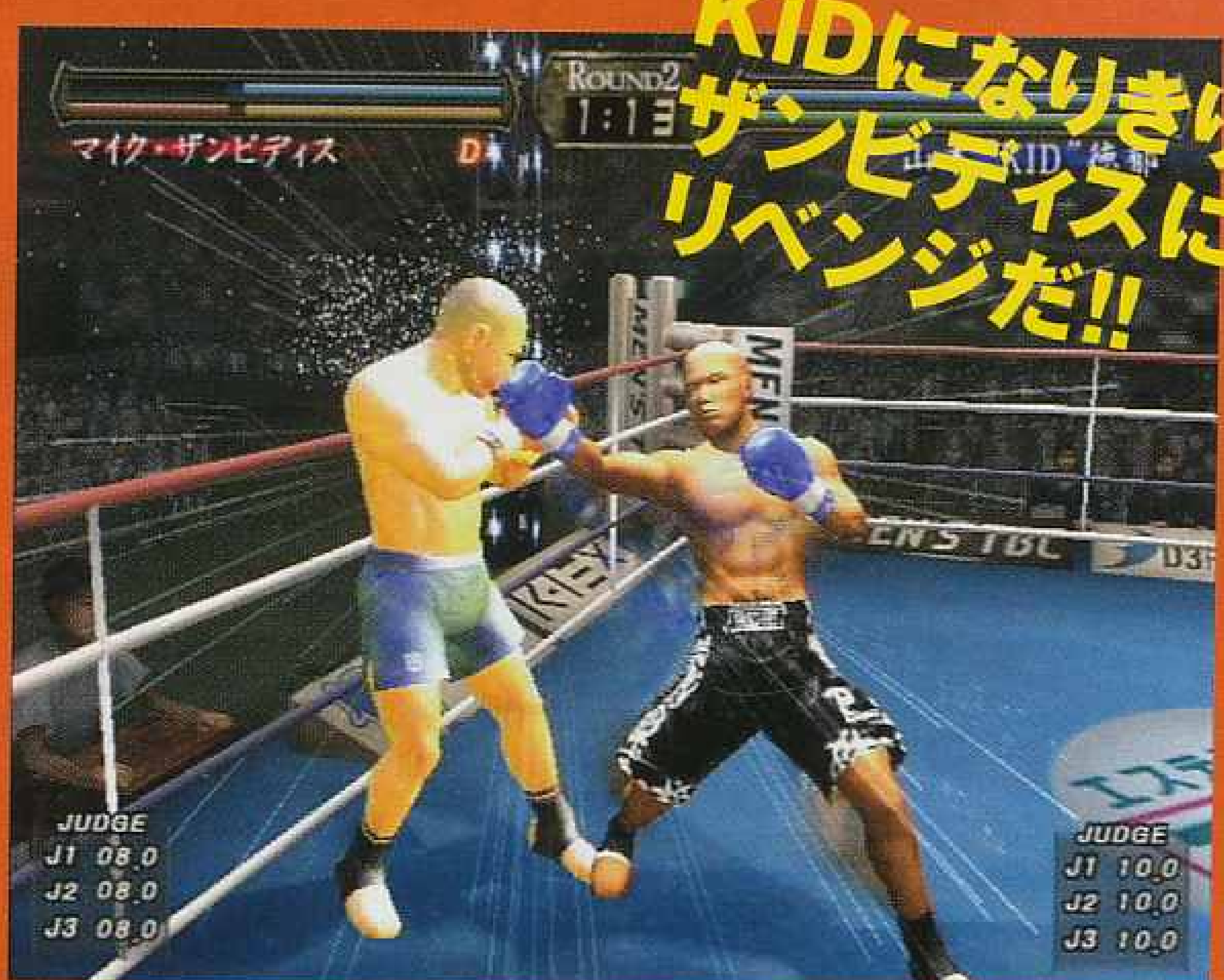
果たして、キミが育てた選手が、ブアカーオ、クラウス、魔裟斗といった強豪をブッ倒し、世界王者となる日は来るのか!?

何はともあれ、買わなきゃ何も始まらない！　世界王者を目指し、3、2、1、ウゥ～～～～MAX!!



絶賛発売中!!
標準価格¥7.140（税込）

KIDになりきりザンビディスにリベンジだ!!



コヒ自慢のヒザでブッ倒せ!



小比類巻、自慢のヒザ蹴りもリアルに再現！　2002年の世界王者アルバート・クラウスをブッ倒した飛びヒザ蹴りはもちろん、その固いスネに要注意だ！　迂闊なローキックは危険です!?

異次元対決もお手のもの!



現実のリングでは未対戦の須藤元気vsトニー・バレントの異次元対決も、このゲームなら朝メシ前！　キミが選ぶならトリッキーな元気スタイル？　それともトラックスーツを着て「アチョー！」？

あの伝説の死闘が甦る!



2004年のK-1WORLD MAX世界一決定トーナメント決勝戦の組み合わせ、魔裟斗vsブアカーオ戦だって、このゲームでなら難なく実現しちゃいます。キミはどちらの選手で優勝を狙う？



見てみぃ、このリアルさ！ な、なんと驚ガクの実名選手21名が登場!!

君だけのオリジナル選手を育成し、目指せ世界王者!!

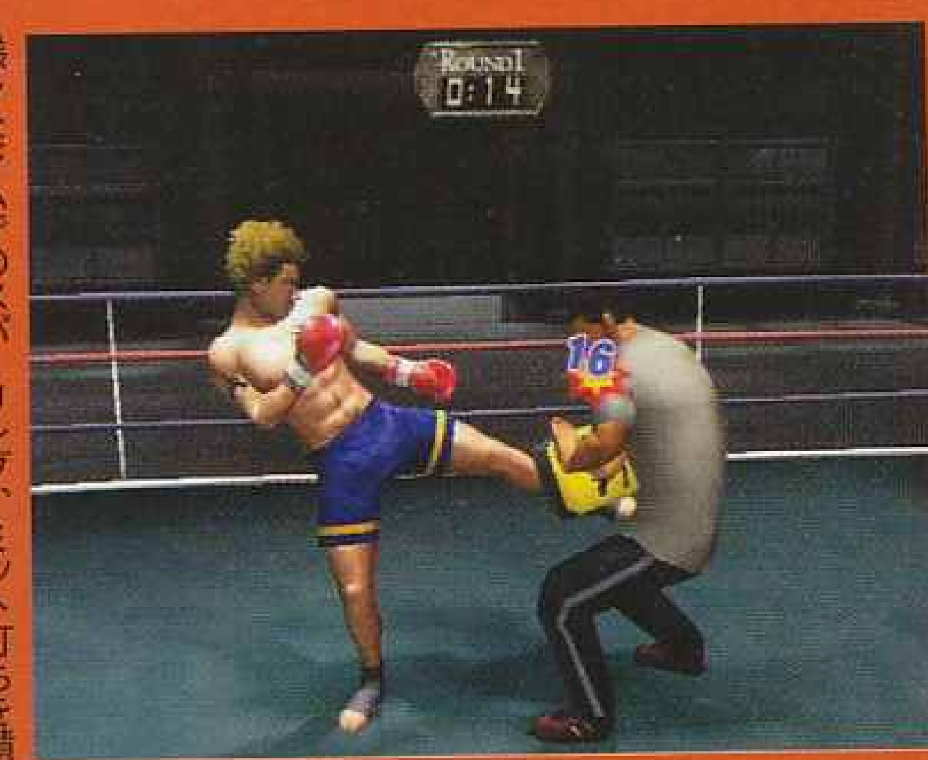
このゲームのウリの一つが、好みのオリジナル選手を作成し、世界王者を目指して育成するゲームモード「MAX ROAD」だ。髪型、体格、コスチューム、タトゥーだって思いのまま！



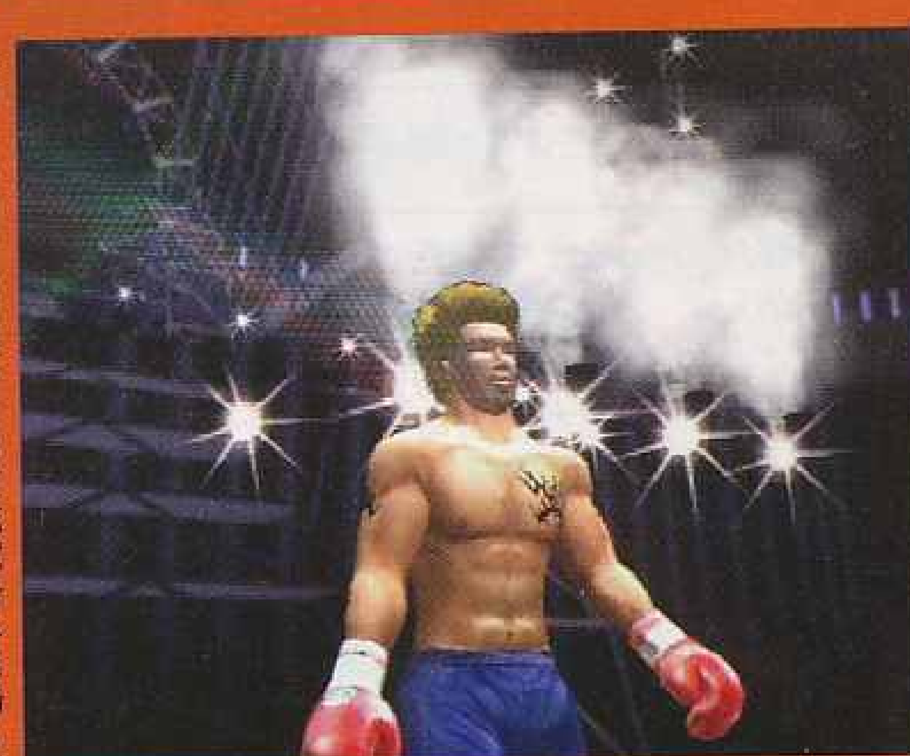
週単位で区切られた年間スケジュールの中でジムに通い、食事や疲労にも十分気を配りながら、様々なトレーニング方法でひたすら訓練あるのみ！ 時には絶食だって仕方ない!?



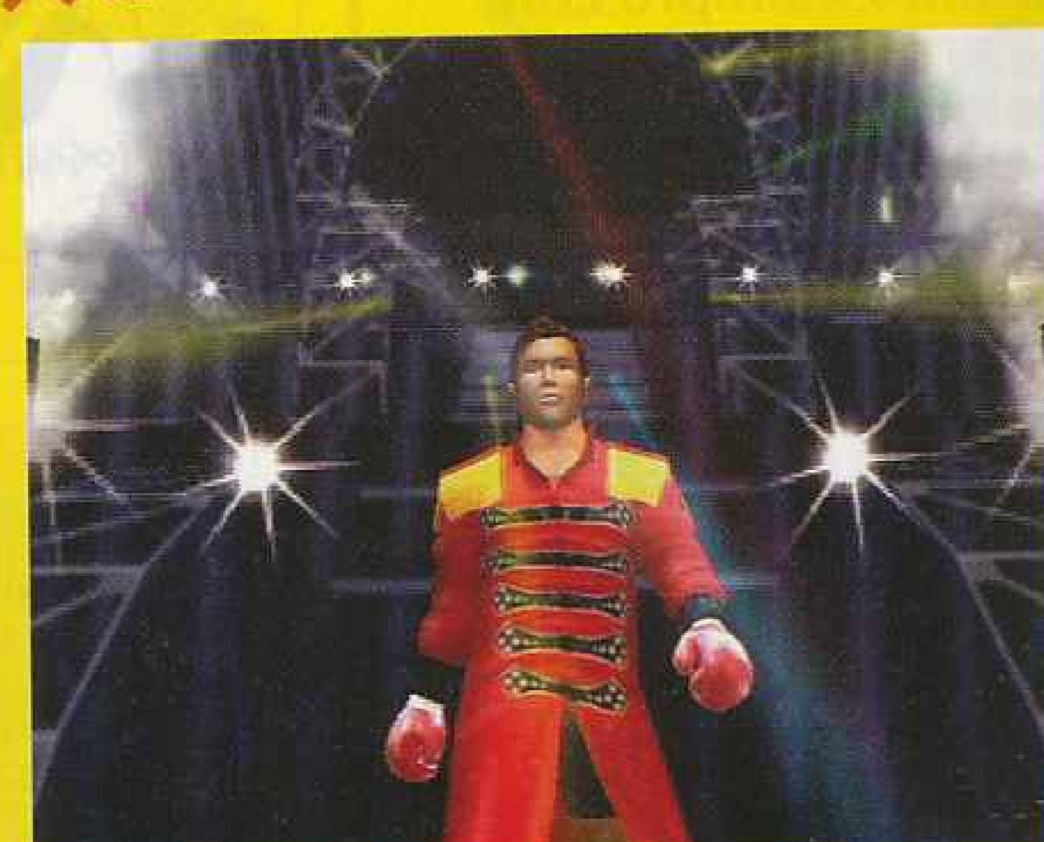
様々なジムでのスパーリング、ミット打ちを積み重ねると新たな能力や技が習得できるぞ。プレイヤーのファイティングスタイルによって、どんな技を会得するかが決められるのだ。



最初は他のジムの選手との交流試合へ出場し、戦績を重ねていけば、徐々に大きな大会への出場権をゲットできるぞ。もちろん、目指すはWORLD MAX本戦出場、そして世界王者だ!!



入場シーン&試合会場も完璧!!



ファイターの入場シーンだってバッチリ再現！ 試合会場も、代々木第一体育館、有明コロシアム、さいたまスーパーアリーナから選択可能。本物のK-1MAXの興奮と感動が君の目の前に！

【お問い合わせ】株式会社ディースリー・パブリッシャー ［HP］http://www.d3p.co.jp 【カスタマーサポート】［東京］03-5428-3458［名古屋］052-794-0638

©FEG/K-1 ©D3 PUBLISHER

第1弾 髙田総統グッズ



「ビビったか? たじろいだか?」Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック／ホワイト] ¥3990 (税込)

「BITAAAAN!」Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990 (税込)



「髙田総統」フェイスタオル
¥2100(税込)



「BITAAAN!」メッシュキャップ
[ブラック／パープル] ¥3150(税込)

第2弾 笹原GM「SHUT UP!」Tシャツ (ラグラン七分そで)



[S・M・L・XL ホワイト×レッド] ¥4200(税込)

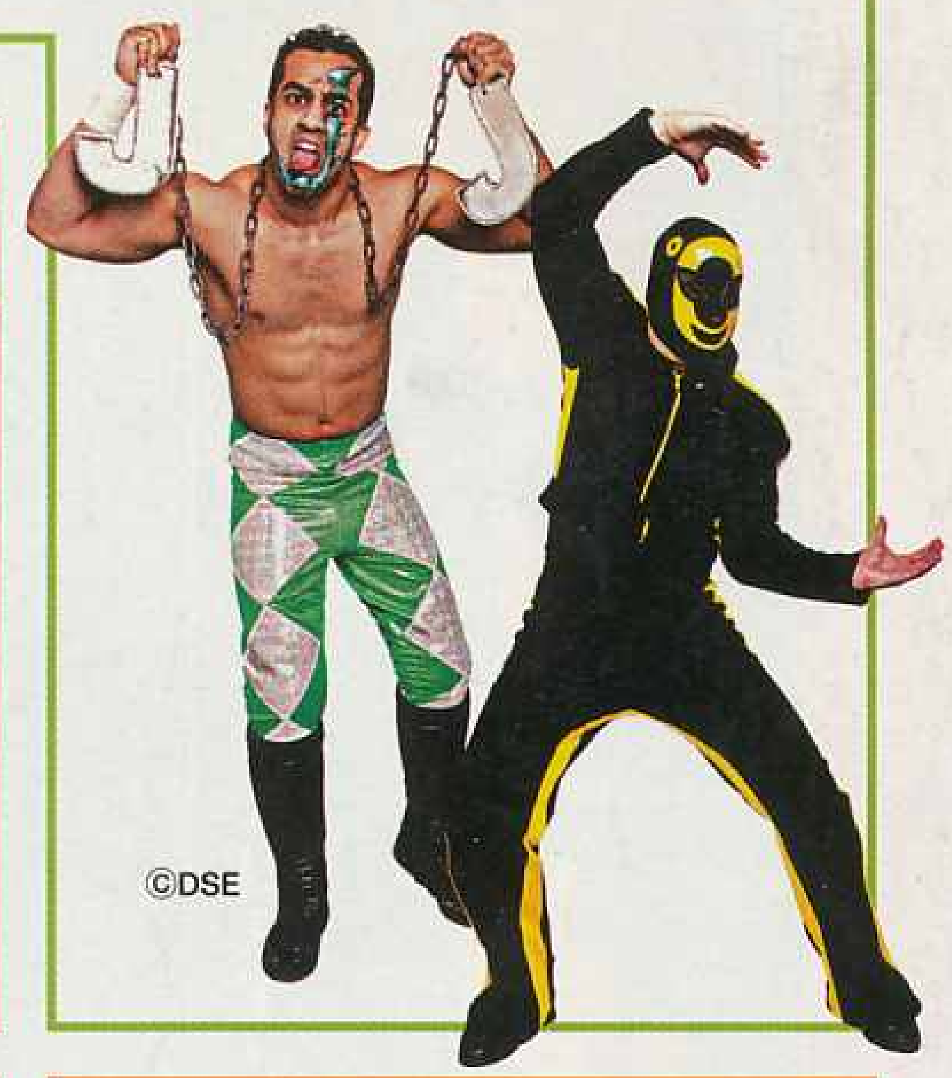
第3弾 ハッスル&紙のプロレスコラボグッズ

新作モンスターTシャツで
夏を感じろ!! ビートを感じろ!!
3、2、1、シャッフル! シャッフル!!



°c-pod Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990 (税込)

j-pod Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990 (税込)


©DSE

『紙プロ』通販方法

★通販はすべて代引きです。お支払いは、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。
★全国どこでも送料一律500円です。
(何枚でも可。離島・山岳部の方はお問い合せ下さい)
★代引き手数料は315円です。
(代引き金額によって異なります)

『紙プロHand』でご注文の場合

詳しくは『紙プロHand』の通販コーナーをご覧下さい。ご注文後、確認メールを送りますので注意してご覧下さい。

電話でご注文の場合

平日15:00～22:00
(株) ダブルクロス 03-5368-1797

メールでご注文の場合

郵便番号、住所、氏名、電話番号(携帯)、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを
kapra@kamipro.com
までお送り下さい。申し込みメール確認後、佐川急便にて発送いたします(確認メールはいきませんのでご了承下さい)。

『カズ・H』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,465 SOLD OUT or S or M or L or XL



『COZY BAKA』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,465 SOLD OUT or S or M or L or XL



マット・ガファリTシャツ〈キナリ〉
¥3,500 S or M or L or SOLD OUT



ガファリ・バスターズTシャツ〈ホワイト〉
¥3,000 XS or S or M or SOLD OUT or XL



赤いキャップの頑固者Tシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL



紙のプロレス RADICAL
No.89
2005年8月25日発行
No.90は
8月19日(金) 発売予定!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇
編集スタッフ
堀江ガンツ
ジャン斎藤
真下義之
松下ミワ(新人)
八木賢太郎
(W-1に備えて非番)
電気部
ささきぃ
松澤チョロ
斎野もみじ

企画制作部(仮)
坂井ノブ
上杉八等兵
終身名誉バイザー
吉田豪
助っ人
ジャイ子

アートディレクター
出田さん(TwoThree)
デザイン
金井ヒサくん
松坂マツくん
谷タニやん
廣田ブンちゃん
野口ノグッチー
白木しらき (以上TwoThree)
トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志 (以上さおとめの事務所)

カメラマン
森鷹博
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島勝儀
菊池茂夫
黒田史夫
試合写真
平工幸雄
乾晋也

お勘定&衣料部
林"GOKUTSUMA"一枝
新境地開拓!
マサ入江(TwoThree)
印刷
図書印刷株式会社
印刷人
大杉すぎすぎ昌也
前田昌一
協力
BUSHIDO KOVOTOJO KELIAS

ロシアより暑中お見舞い申し上げます
死神（ハリトーノフ）Tシャツ大好評発売中!!



やっぱり"赤"が好きなハリトーノフさん

『PRIDE』HPで絶賛販売中!!
http://www.prideofficial.com/
『紙プロHand』でも購入可能!!



ハリトーノフSKULL Tシャツ
レッド / ¥3,990(税込) S or M or L or XL



ハリトーノフSKULL Tシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込) S or M or L or XL



ハリトーノフ パラシュートTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込) S or M or L or XL

ハリトーノフ パラシュートTシャツ
レッド / ¥3,990(税込) S or M or L or XL



ハリトーノフTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込) S or M or L or XL

RTTトリコロールTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込)
S or M or L or XL
※RTTとはロシアン・トップチーム略です

コピィロフTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込)
S or M or L or XL

ヴォルク・ハンTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込)
S or M or L or XL

ミーシャTシャツ
ホワイト / ¥3,990(税込)
S or M or L or XL

非会員でもショッピング可能!!

アクセス方法

DoCoMo	iMenu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	トップメニュー	カテゴリで探す	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	メニューリスト	スポーツ	格闘技

紙のプロレスHand ▶ 紙プロショッピング

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZINE MOOK 271
2005 NO.89
さらば僕らが愛した破壊王 橋本真也さん追悼号
平成17年8月25日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580　東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6 パレ・ジュノ2F　電話／03-5368-1795
ワニマガジン社　定価：本体838円＋税



9784898297513
ISBN4-89829-751-X
C9476 ¥838E
1929476008381
雑誌 69860−71
©DOUBLECROSS 2005 Printed in Japan
印刷：図書印刷株式会社